東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書14

—木更津市笹子城跡—

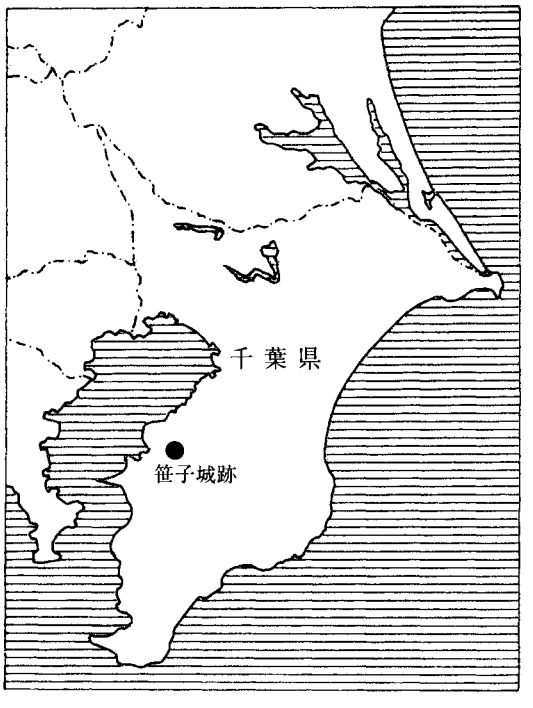
平成16年3月

日　本　道　路　公　団

財団法人　千葉県文化財センター

東関東自動車道(千葉・富津線)
埋蔵文化財調査報告書14

—木更津市笹子城跡(きさらづしささごじょうあと)—



1　笹子城跡航空写真

2　水晶製五輪塔　123

3　独鈷杵　1

4　和銅開珎　179

和同開珎　180

5　分銅　2

1　中国製茶入れ　1

3　中国製茶入れほか　2　3　5

2　中国製茶入れ　4

4　織部向付　524

5　瀬戸美濃産　灰釉皿

1　青磁

2　染付

序　　文

財団法人千葉県文化財センターは，埋蔵文化財の調査研究，文化財保護思想の涵養と普及などを主な目的として昭和49年に設立され，以来，数多くの遺跡の発掘調査を実施し，その成果として多数の発掘調査報告書を刊行してきました。

このたび，千葉県文化財センター調査報告第486集として，日本道路公団の東関東自動車道(千葉・富津線)建設事業に伴い実施した木更津市笹子城跡の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

この調査では，中世城館跡の大規模な土木工事による堀跡などが調査され，また大量の中世陶磁器が出土するなど，この地域の歴史を知る上で貴重な成果が得られております。

刊行にあたり，この報告書が学術資料として，また埋蔵文化財の保護に対する理解を深めるための資料として広く活用されることを願っております。

終わりに，調査に際し御指導，御協力をいただきました地元の方々を初めとする関係の皆様や関係機関，また，発掘から整理まで御苦労をおかけした調査補助員の皆様に心から感謝の意を表します。

平成16年３月

財団法人千葉県文化財センター

理事長　清水新次

例　　言

1　本書は，日本道路公団による東関東自動車道(千葉・富津線)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書である。

2　本書は，下記の遺跡を収録したものである。

笹子城跡　　千葉県木更津市笹子字裏北409－1ほか(遺跡コード206－005)

3　発掘調査から報告書作成に至る業務は，日本道路公団の委託を受け，財団法人千葉県文化財センターが実施した。

東関東自動車道(千葉・富津線)建設に伴う埋蔵文化財の調査遺跡は本文中に掲載している。

4　発掘調査及び整理作業の組織，担当者及び実施期間は，第1章に記載したとおりである。

5　本報告書の執筆・編集は，主席研究員相京邦彦が担当し，上席研究員伊藤智樹の協力を得た。

ただし，第1章第2節3は柴田龍司が執筆した。

6　発掘調査から報告書の刊行に至るまで，千葉県教育庁教育振興部文化財課，木更津市教育委員会，国立歴史民俗博物館小野正敏氏，財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター藤澤良祐氏の御指導，御協力を得た。また，カワラケの分類等については，千葉市立加曽利貝塚博物館簗瀬裕一氏の御教示をうけた。

なお，千葉県立房総風土記の丘研究員井上哲朗氏には貿易陶磁についての教示を，また，房総における城館跡報告に関する全般的な助言・協力を得た。

特に，陶磁器に関する分類作業は井上氏が行った作業を基本に，整理作業の進捗による変更があったために最終年度に再度実施した。

7　本書で使用した地形図は，下記のとおりである。

第1図　国土地理院発行　1／50,000　地形図「富津」　(NI－54－26－1)
国土地理院発行　1／50,000　地形図「木更津」　(NI－54－25－4)
国土地理院発行　1／50,000　地形図「千葉」　(NI－54－19－15)
国土地理院発行　1／50,000　地形図「姉崎」　(NI－54－19－16)
第2図　国土地理院発行　1／25,000　地形図「上総横田」　(NI－54－19－16－4)
国土地理院発行　1／25,000　地形図「木更津」　(NI－54－25－4－2)
第3図　参謀本部陸軍部測量局作製　1／20,000　迅速図の縮尺改変後転載
(明治15年測量・明治20年発行)
第4図　国土地理院発行　1／200,000　地勢図「千葉」　(NI－54－19)
国土地理院発行　1／200,000　地勢図「大多喜」　(NI－54－20)
国土地理院発行　1／200,000　地勢図「東京」　(NI－54－25)
国土地理院発行　1／200,000　地勢図「横須賀」　(NI－54－26)

8　周辺航空写真は，京葉測量株式会社による昭和42年に撮影のものを使用した。

9　本書で使用した図面の方位は，すべて座標北であり，日本測地系に基づいている。また，座標値は平成3・4年度に実施した基準点測量の数値に基づいている。

10　本書で使用した遺構番号は基本的には調査時のものを使用したが，遺構の性格が明らかに誤りのものは，番号はそのままにし，遺構の略称のみを付け替えた。詳細は遺構一覧に記載してある。

11　遺物の色調については，農林水産省・(財)日本色彩研究所監修，日本色研事業株式会社発行「新版標準土色帖」1988年掲載の用語を使用した。

12　本書で使用した遺構の略称は以下のとおりである。

SK　：　土坑　　SD　：　溝　　P　：　ピット．柱穴

本 文 目 次

第１章　はじめに ……1
　第１節　調査の概要 ……1
　　1　調査の経緯 ……1
　　2　調査の方法 ……7
　第２節　遺跡の位置と環境 ……7
　　1　遺跡周辺の地形 ……7
　　2　周辺の城館跡 ……9
　　3　笹子城跡の構造 ……11
第２章　各平場の構造と遺構 ……23
　第１節　各平場の概観 ……23
　　(1)平場１　(2)平場２・３　(3)平場４・５　(4)平場６・７と周辺の造成　(5)平場８と周辺の造成
　　(6)平場９　(7)平場10　(8)平場11　(9)平場12・13と周辺の造成　(10)平場14　(11)平場15 ……24
　第２節　検出された遺構 ……101
　　(1)堀　(2)溝跡　(3)掘立柱建物跡　(4)門跡　(5)竪穴状遺構　(6)土坑　(7)盛土整地面 ……101
第３章　笹子城出土の遺物 ……104
　第１節　笹子城跡築城以前の遺物 ……104
　　(1)縄文土器　(2)弥生土器　(3)土師器 ……104
　第２節　平場出土遺物の概観 ……106
　　(1)平場１の出土遺物の概観 ……106
　　(2)平場２・３の出土遺物の概観 ……106
　　(3)平場４・５の出土遺物の概観 ……106
　　(4)平場６・７の出土遺物の概観 ……106
　　(5)平場８の出土遺物の概観 ……107
　　(6)平場10の出土遺物の概観 ……107
　　(7)平場11の出土遺物の概観 ……107
　　(8)平場12の出土遺物の概観 ……107
　　(9)平場13の出土遺物の概観 ……107
　　(10)平場14の出土遺物の概観 ……107
　　(11)平場15の出土遺物の概観 ……108
　第３節　貿易陶磁器 ……108
　　(1)中国褐釉陶器　(2)白磁　(3)青磁　(4)染付 ……108
　第４節　国産陶磁器 ……117
　　(1)瀬戸・美濃　(2)常滑　(3)瓦質土器　(4)カワラケ　(5)東海系羽釜　(6)内耳鍋　(7)近世陶磁器 ……117
　第５節　その他の遺物 ……120
　　(1)土製品 ……120
　　(2)金属製品　銭貨・鉄鍋・独鈷杵・その他 ……120

(3)石製品　硯・水晶製五輪塔・その他 ……121
(4)木製品 ……122
第4章　まとめ ……265
1　笹子城について ……265
2　出土遺物について ……265
3　笹子城の存続年代 ……266
報告書抄録……巻末

挿　図　目　次

第1図　遺跡の位置図 ……3
第2図　遺跡周辺の地形図(現在) ……5
第3図　遺跡周辺の地形図(迅速図) ……6
第4図　安房国・上総国主要城館跡 ……9
第5図　笹子城跡測量図・概念図(1) ……12
第6図　笹子城跡測量図・概念図(2) ……13
第7図　調査区周辺の地形……15
第8図　平場と大グリッド関連図……16
第9図　堀検出状況図……22
第10図　平場1　全測図・土層断面図……25
第11図　平場2・3　全測図・土層断面図……26
第12図　平場5　全測図……27
第13図　平場5　土層断面図……29
第14図　平場6・7　全測図(A面)……31
第15図　平場6・7　全測図(B・C面)……33
第16図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(1) ……35
第17図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(2) ……36
第18図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(3) ……37
第19図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(4) ……38
第20図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(5) ……39
第21図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(6) ……40
第22図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(7) ……41
第23図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(8) ……42
第24図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(9) ……43
第25図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(10)……44
第26図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(11)……45
第27図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(12)……46
第28図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(13)……47
第29図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(14)……48
第30図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(15)……49
第31図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(16)……50
第32図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(17)……51
第33図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(18)……52
第34図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図(19)……53
第35図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図

(20)……54
第36図　平場６　遺構実測図・遺物出土状況図
(21)……55
第37図　平場６　遺構実測図・遺物出土状況図
(22)……56
第38図　平場７　遺構実測図・遺物出土状況図
(1)……57
第39図　平場７　遺構実測図・遺物出土状況図
(2)……58
第40図　平場７　遺構実測図・遺物出土状況図
(3)……59
第41図　平場７　遺構実測図・遺物出土状況図
(4)……60
第42図　平場８　全測図……61
第43図　平場８　時期別検出状況図……62
第44図　平場８　遺構実測図・遺物出土状況図
(1)……63
第45図　平場８　遺構実測図・遺物出土状況図
(2)……64
第46図　平場８　遺構実測図・遺物出土状況図
(3)……65
第47図　平場８　遺構実測図・遺物出土状況図
(4)……66
第48図　平場８　遺構実測図・遺物出土状況図
(5)……67
第49図　平場８　遺構実測図・遺物出土状況図
(6)……68
第50図　平場９　全測図・土層断面図……69
第51図　平場10　全測図・土層断面図……71
第52図　平場10　遺構実測図・遺物出土状況図
(1)……72
第53図　平場10　遺構実測図・遺物出土状況図
(2)……73
第54図　平場11・14　全測図……74
第55図　平場11・14　土層断面図……75
第56図　平場12・13　表土除去後測量図・土層断面図……76
第57図　平場12・13　遺構検出後測量図……77
第58図　平場12・13　土坑検出状況図……78
第59図　平場12・13　堀Ｓ測量図……78
第60図　平場12　遺構実測図・遺物出土状況図
(1)……79
第61図　平場12　遺構実測図・遺物出土状況図
(2)……80
第62図　土層断面位置図……81
第63図　平場６・７　土層断面図(1)……82
第64図　平場６・７　土層断面図(2)……83
第65図　平場６・７　土層断面図(3)……84
第66図　平場11・12　土層断面図……85
第67図　平場12　土層断面図(1)……86
第68図　平場12　土層断面図(2)……87
第69図　階段虎口実測図……102
第70図　障子堀実測図……103
第71図　縄文土器拓影図・弥生土器・土師器実測図……105
第72図　中国褐釉茶入・天目茶碗……108
第73図　貿易陶磁器　白磁(1)……109
第74図　貿易陶磁器　白磁(2)……110
第75図　貿易陶磁器　白磁(3)……111
第76図　貿易陶磁器　青磁(1)……112
第77図　貿易陶磁器　青磁(2)……113
第78図　貿易陶磁器　染付(1)……114
第79図　貿易陶磁器　染付(2)……115
第80図　貿易陶磁器　染付(3)……116
第81図　瀬戸・美濃　灰釉碗……117
第82図　瀬戸・美濃　灰釉皿(1)……123
第83図　瀬戸・美濃　灰釉皿(2)……124
第84図　瀬戸・美濃　灰釉皿(3)……125
第85図　瀬戸・美濃　鉄釉皿……125
第86図　瀬戸・美濃　天目茶碗……126
第87図　瀬戸・美濃　摺鉢(1)……127
第88図　瀬戸・美濃　摺鉢(2)……128
第89図　瀬戸・美濃　摺鉢(3)……129
第90図　瀬戸・美濃　摺鉢(4)……130

第91図　瀬戸・美濃　摺鉢(5)……131
第92図　瀬戸・美濃　摺鉢(6)……132
第93図　瀬戸・美濃　摺鉢(7)……133
第94図　瀬戸・美濃　摺鉢(8)……134
第95図　瀬戸・美濃　摺鉢(9)……135
第96図　瀬戸・美濃　摺鉢(10)……136
第97図　瀬戸・美濃　摺鉢(11)……137
第98図　瀬戸・美濃　摺鉢(12)……138
第99図　瀬戸・美濃　摺鉢(13)……139
第100図　瀬戸・美濃　摺鉢(14)……140
第101図　瀬戸・美濃　鉄釉摺鉢(1)……141
第102図　瀬戸・美濃　鉄釉摺鉢(2)……142
第103図　瀬戸・美濃　その他……143
第104図　常滑　壺・甕(1)……144
第105図　常滑　壺・甕(2)……145
第106図　常滑　壺・甕(3)……146
第107図　瓦質土器　摺鉢・その他……147
第108図　カワラケ(1)……148
第109図　カワラケ(2)……149
第110図　カワラケ(3)……150
第111図　カワラケ・耳カワラケ(4)……151
第112図　東海系羽釜……152
第113図　内耳鍋……152
第114図　近世陶磁器　鉄釉小壺・織部向付…153
第115図　土製品　土錘(1)……215
第116図　土製品　土錘(2)……216
第117図　土製品　土錘(3)……217
第118図　土製品　土錘(4)……218
第119図　砥石に転用された土器片……218
第120図　刀子……225
第121図　鉄製品……226
第122図　環状鉄製品・鉄鍋……227
第123図　鉄釘……228
第124図　銭貨(1)……229
第125図　銭貨(2)……230
第126図　銭貨(3)……231
第127図　銭貨(4)……232
第128図　銭貨(5)……233
第129図　銭貨(6)……234
第130図　銭貨(7)……235
第131図　銅製品(1)……236
第132図　銅製品(2)……237
第133図　硯・磨製石斧・紡錘車・水晶製五輪塔……243
第134図　石製品　茶臼(1)……244
第135図　石製品　茶臼(2)……245
第136図　石製品　挽き臼……246
第137図　石製品　砥石(1)……247
第138図　石製品　砥石(2)……248
第139図　石製品　砥石(3)……249
第140図　石製品　砥石(4)……250
第141図　石製品　砥石(5)……251
第142図　石製品　砥石(6)……252
第143図　石製品　砥石(7)……253
第144図　石製品　宝篋印塔・五輪塔(1)……254
第145図　石製品　五輪塔(2)……255
第146図　石製品　五輪塔(3)……256
第147図　石製品　五輪塔(4)……257
第148図　木製品(1)……258
第149図　木製品(2)……259
第150図　木製品(3)……260
第151図　遺物出土状況図(中国製陶磁器)……268
第152図　遺物出土状況図(白磁)……269
第153図　遺物出土状況図(青磁)……270
第154図　遺物出土状況図(染付)……271
第155図　遺物出土状況図(瀬戸・美濃　灰釉碗)……272
第156図　遺物出土状況図(瀬戸・美濃　灰釉皿)……273
第157図　遺物出土状況図(瀬戸・美濃　鉄釉皿)……274
第158図　遺物出土状況図(瀬戸・美濃　天目茶碗)……275

第159図　遺物出土状況図(瀬戸・美濃　擂鉢) …276
第160図　遺物出土状況図(常滑)……277
第161図　遺物出土状況図(東海系羽釜)……278
第162図　遺物出土状況図(カワラケ)……279
第163図　遺物出土状況図　別図(カワラケ・灰釉皿) ……280
第164図　遺物出土状況図(銭貨)……281
第165図　Ⅴ期堀状況図……282
第166図　Ⅳ期堀状況図……283
第167図　Ⅲ期堀状況図……284
第168図　Ⅱ期(古)堀状況図……285
第169図　Ⅱ期(新)堀状況図……286
第170図　Ⅰ期堀状況図……287
第171図　カワラケ編年表……297
第172図　平場面及び陶磁器関連図……299
第173図　東関東自動車道(千葉・富津線)調査遺跡位置図……300

表　目　次

第１表　周辺遺跡一覧 ……2
第２表　堀新旧対照表 ……8
第３表　笹子城跡の層位関連図 ……8
第４表　周辺城館跡一覧……10
第５表　遺物・出土層位凡例一覧……23
第６表　遺構一覧……88
第７表　縄文，弥生，古墳時代の土器観察表 ……104
第８表　土器観察表(1)掲載遺物……154
第９表　土器観察表(2)接合遺物……200
第10表　土製品計測表　土錘・転用土器片 …219
第11表　金属製品計測表　刀子 ……224
第12表　金属製品計測表　鉄製品 ……235
第13表　金属製品計測表　環状製品・鉄鍋 …237
第14表　金属製品計測表　鉄釘 ……238
第15表　銭貨計測表 ……239
第16表　金属製品計測表　銅製品 ……242
第17表　石製品計測表　硯・磨製石斧・紡錘車・水晶製五輪塔 ……261
第18表　石製品計測表　五輪塔・宝篋印塔 …263
第19表　木製品計測表 ……264
第20表　遺構別　実測・接合遺物破片総数一覧 ……288
第21表　平場別　実測・接合遺物破片数一覧 ……294
第22表　中世陶磁器時期判明破片組成表 ……295
第23表　出土遺物組成表 ……296
第24表　カワラケ集計表 ……296
第25表　平場別関連図 ……298
第26表　東関東自動車道関係遺跡概要 ……301
第27表　東関東自動車道調査遺跡一覧 ……302

写真図版目次

巻首図版　1
1　笹子城跡航空写真
2　水晶製五輪塔
3　独鈷杵
4　和銅開珍　179
　和同開珎　180
5　分銅
巻首図版　2
1　中国製茶入れ　1
2　中国製茶入れ　4
3　中国製茶入れ　2・3
　瀬戸美濃産鉄釉小壺　5

4　織部向付　524
5　瀬戸美濃産　灰釉皿
巻首図版　3
1　青磁
2　染付
図版1　遺跡周辺航空写真
図版2　遺跡周辺航空写真
図版3　1　城跡全景(北から)
2　城跡全景(北東から)
図版4　1　調査区全景(北から)
2　調査区全景(北西から)
3　調査区全景(北西から)
図版5　1　平場1　全景(東から)
2　平場1　近景(北西から)
3　平場1　土塁全景(北西から)
図版6　1　平場1　先端部(南東から)
2　平場1　土塁断面(北東から)
3　平場1　土塁断面(東から)
図版7　1　平場2・3　調査前現況(北東から)
2　平場2・3　調査中状況(北東から)
3　平場2・3　完掘状況(北東から)
図版8　1　平場5　調査状況(西から)
2　平場5　調査状況(東から)
3　平場5　調査状況(南から)
図版9　1　平場6・7　調査開始時現況(北東から)
2　平場6・7　西側調査開始時現況(南東から)
3　平場6・7　東側調査開始時現況(南西から)
図版10　1　平場6・7　堀D・E調査状況(南東から)
2　平場6・7　堀D・E調査状況(南東から)
3　平場6・7　堀D・E調査状況(西から)
図版11　1　平場6・7　堀D・E・H西側完掘状況(南東から)
2　平場6・7　堀D・E・H中央部完掘状況(南から)
3　平場6・7　D・E・F・G・H東半部完掘状況(南西から)
図版12　1　平場6・7　完掘状況遠景(東から)
2　平場6・7　完掘状況近景(東から)
3　平場6・7　東側完掘状況(北東から)
図版13　1　平場6・7　堀F・G(内枡形虎口)全景(北西から)
2　平場6・7　堀F・G(内枡形虎口)全景(真上から)
3　平場6・7　堀F・G(内枡形虎口)全景(真上から)
図版14　1　平場6・7　竪穴状遺構(西から)
2　平場6・7　竪穴状遺構(東から)
3　平場6・7　竪穴状遺構(真上から)
図版15　1　平場6・7　階段状虎口完掘状況(南西から)
2　平場6・7　階段状虎口完掘状況(西から)
3　平場6・7　階段状虎口完掘状況(東から)
図版16　1　平場6・7　堀D　五輪塔出土状況(北西から)
2　平場6・7　堀D・E土層断面(南東から)
3　平場6・7　堀D・E土層断面近景(南東から)
図版17　1　平場6・7　堀D・E土層断面(北西から)
2　平場6・7　堀H完掘状況(北西から)
3　平場6・7　堀F　土層断面
図版18　1　平場6・7　堀G　端部完掘状況
2　平場6・7　堀F　土層断面

3　平場６・７　堀Ｇ　土層断面
図版19　1　平場６・７　鉄鍋出土状況
2　平場６・７　鉄鍋出土土坑土層断面
3　平場６・７　瓦質蓋香炉出土状況
4　平場６・７　瓦質蓋香炉出土状況
図版20　1　平場６　SK102・162
2　平場６　SK111Ａ・Ｂ
3　平場６　SK130・153・160
4　平場６　SK131
5　平場６　SK174
6　平場６　SK187
図版21　1　平場６　SK198
2　平場６　SKA002
3　平場７　SKA003
4　平場７　SKA003
5　平場７　SK011
6　瀬戸美濃窯・緑釉小皿出土状況
図版22　1　平場８　調査状況(東から)
2　平場８　Ｂ・Ｃ面完掘状況(東から)
3　平場８　最終時完掘状況(東から)
図版23　1　平場８　堀Ｉ・Ｊ完掘状況(北から)
2　平場８　堀Ｉ土層断面(北西から)
図版24　1　平場８　調査状況(西から)
2　平場８　西側完掘状況(東から)
3　平場８　堀Ｌ完掘状況(東から)
図版25　1　平場８　堀Ｉ土層断面(北から)
2　平場８　堀Ｊ土層断面(北から)
3　平場８　堀Ｋ土層断面(北から)
図版26　1　平場８　堀Ｋ土層断面(北東から)
2　平場８　堀Ｊ・Ｋ土層断面
(北東から)
3　平場８　堀Ｊ・Ｋ土層断面遠景
(北東から)
図版27　1　平場８　堀Ｋ北端部完掘状況
(北東から)
2　平場８　堀Ｋ中央部完掘状況
(北西から)
3　平場８　堀Ｋ北側完掘状況
(南から)
図版28　1　平場８　Ｄ面遺物出土状況
(北東から)
2　平場８　Ｄ面遺物出土状況(西から)
3　平場８　SK049　遺物出土状況
図版29　1　平場８　SK005・006完掘状況
2　平場８　SK012遺物出土状況
3　平場８　染付出土状況
4　平場８　カワラケ出土状況
5　平場８　硯・カワラケ出土状況
6　平場８　鎌出土状況
図版30　1　平場９・10　調査前現況(北西から)
2　平場９・10　完掘状況(北西から)
3　平場10　西側調査前現況(北から)
図版31　1　平場10　調査前現況(東から)
2　平場10　完掘状況(東から)
3　平場10　SK001木材片出土状況
4　平場10　SK001完掘状況
図版32　1　平場11　完掘状況遠景(南西から)
2　平場11　完掘状況(北東から)
3　平場11　調査前現況(東から)
図版33　1　平場12・13　調査開始時現況
(西から)
2　平場12・13　西側完掘状況
(北西から)
3　平場12・13　西側完掘状況
(西から)
図版34　1　平場12　西側調査開始時現況
(北東から)
2　平場12　西側調査現況(北西から)
3　平場12　西側完掘状況(北西から)
図版35　1　平場12　西側調査開始時現況
(西から)
2　平場12　西側完掘状況(西から)
3　平場12　東側完掘状況(西から)
図版36　1　平場12　堀Ｑ・Ｓ土層断面(西から)

2　平場12　完掘状況(北東から)
3　平場12　東端部完掘状況(北西から)
図版37　1　平場13　調査開始時現況(南東から)
2　平場13　調査途中現況(西から)
3　平場13　土層断面(南から)
図版38　1　平場12・13　西端部完掘状況(西から)
2　平場12　SK002
3　平場12　SK007
4　平場12　SK010
5　平場8　SK012
図版39　1　平場6・8・12　接合部完掘状況(西より)
2　平場6・8・12　接合部完掘状況(北から)
3　平場6・8・12　接合部完掘状況(北から)
図版40　1　平場6・8・12　接合部完掘状況(真上から)
2　平場6・8・12　接合部完掘状況(真上から)
3　平場6・8・12　接合部完掘状況(北西から)
図版41　1　平場14　完掘状況(南西から)
2　平場14　堀Ｔ土層断面(西から)
3　平場14　堀Ｖ土層断面(西から)
図版42　1　平場15　調査途中状況(南西から)
2　平場15　001
図版43　出土遺物　縄文土器・弥生土器・土師器・磨製石斧・紡錘車
図版44　出土遺物　白磁・青磁・染付・瀬戸美濃産鉄釉皿・灰釉碗・カワラケ
図版45　出土遺物　瓦質土器摺鉢・瀬戸美濃産天目茶碗・その他・摺鉢
図版46　出土遺物　摺鉢
図版47　出土遺物　常滑・東海系羽釜・内耳鍋
図版48　出土遺物　土錘・刀子・釘
図版49　出土遺物　小礼・鎌・火打金・環状鉄製品
図版50　出土遺物　銅製品・硯
図版51　出土遺物　砥石
図版52　出土遺物　石臼・挽臼・宝篋印塔・五輪塔
図版53　出土遺物　五輪塔
図版54　出土遺物　五輪塔・現地説明会の様子
図版55　現地説明会の様子

第1章　はじめに

第1節　調査の概要

1　調査の経緯

日本道路公団は千葉市から富津市に至る高速自動車道である東関東自動車道を計画した。そのうち千葉市から木更津市までの約35kmの区間について事業化され，東関東自動車道(千葉・富津線)として，建設が進められることになった。

建設用地内には多くの遺跡が所在することから，千葉県教育委員会と日本道路公団はその取扱いについて協議を進め，現状保存が困難な部分については，やむをえず発掘調査を実施することとし，発掘調査を(財)千葉県文化財センターが担当することになった。

発掘調査は，平成元年1月から開始され，平成6年6月にはすべての発掘調査が終了した。その後，平成5年からは本格的に整理作業が進められた。整理作業の終了した遺跡の報告書は順次刊行され，すでに13冊が刊行されている。本報告書は14冊目となり，東関東自動車道(千葉・富津線)建設の千葉・木更津区間事業の発掘調査に関わる発掘調査報告書はこれですべて刊行されたこととなる。(表26・27，第173図)

笹子城跡の資料紹介や資料はすでに多くの研究者によって利用されている。そのことから本報告書では，笹子城跡の研究的な解釈は極力さけることとし，発掘調査で得られた資料を出来るだけそのまま提示することにつとめた。

笹子城跡の調査によって提起された問題点は，

1　笹子城跡に代表される中世城跡の発掘調査によって明らかにされた遺構の解釈

2　出土貿易陶磁器の出土量の多さとその流通

以上の2点に集約できる。本報告書ではなるべく詳細なデータを提供し，遺構と遺物の関係，また，遺物の出土状況から房総に流入した貿易陶磁器と国産陶磁器との伴出関係の資料を提供することに重点を置いた。

発掘調査及び整理作業の担当者と事業内容は以下のとおりである。

平成3年度　発掘調査

調査期間　平成3月4月1日～平成4年3月27日

調査の対象　対象面積　9,900㎡

発掘調査　上層B面　9,900㎡

(組織)市原事務所　班長郷田良一　担当職員　柴田龍司，加藤正信，小林清隆

平成4年度　発掘調査

調査期間　平成4年4月1日～平成5年2月26日

調査の対象　対象面積　9,900㎡

発掘調査　上層B面　9,900㎡

(組織)市原事務所　班長郷田良一　担当職員　柴田龍司，大谷弘幸，半澤幹雄，四柳隆

平成11年度　整理作業

調査期間　平成11年4月1日～平成12年3月31日

整理作業の対象　記録整理の一部まで

（組織）南部調査事務所長高田博　担当職員　副所長小久貫隆史

平成12年度　整理作業

調査期間　平成12年４月１日～平成13年３月31日

整理作業の対象　記録整理の一部から実測の一部まで

（組織）南部調査事務所長高田博　担当職員　副所長小久貫隆史　井上哲朗

平成13年度　整理作業

調査期間　平成14年２月１日～平成14年３月31日

整理作業の対象　実測の一部から原稿執筆の一部

（組織）南部調査事務所長高田博　担当職員　副所長小久貫隆史，高梨友子

平成14年度　整理作業

調査期間　平成14年４月１日～平成15年３月31日

整理作業の対象　原稿執筆の一部から編集まで

（組織）南部調査事務所長鈴木定明　担当職員　副所長柴田龍司（第１章第２節３執筆）

平成15年度　整理作業

調査期間　平成15年４月１日～平成15年５月31日

整理作業の対象　編集の一部から報告書刊行

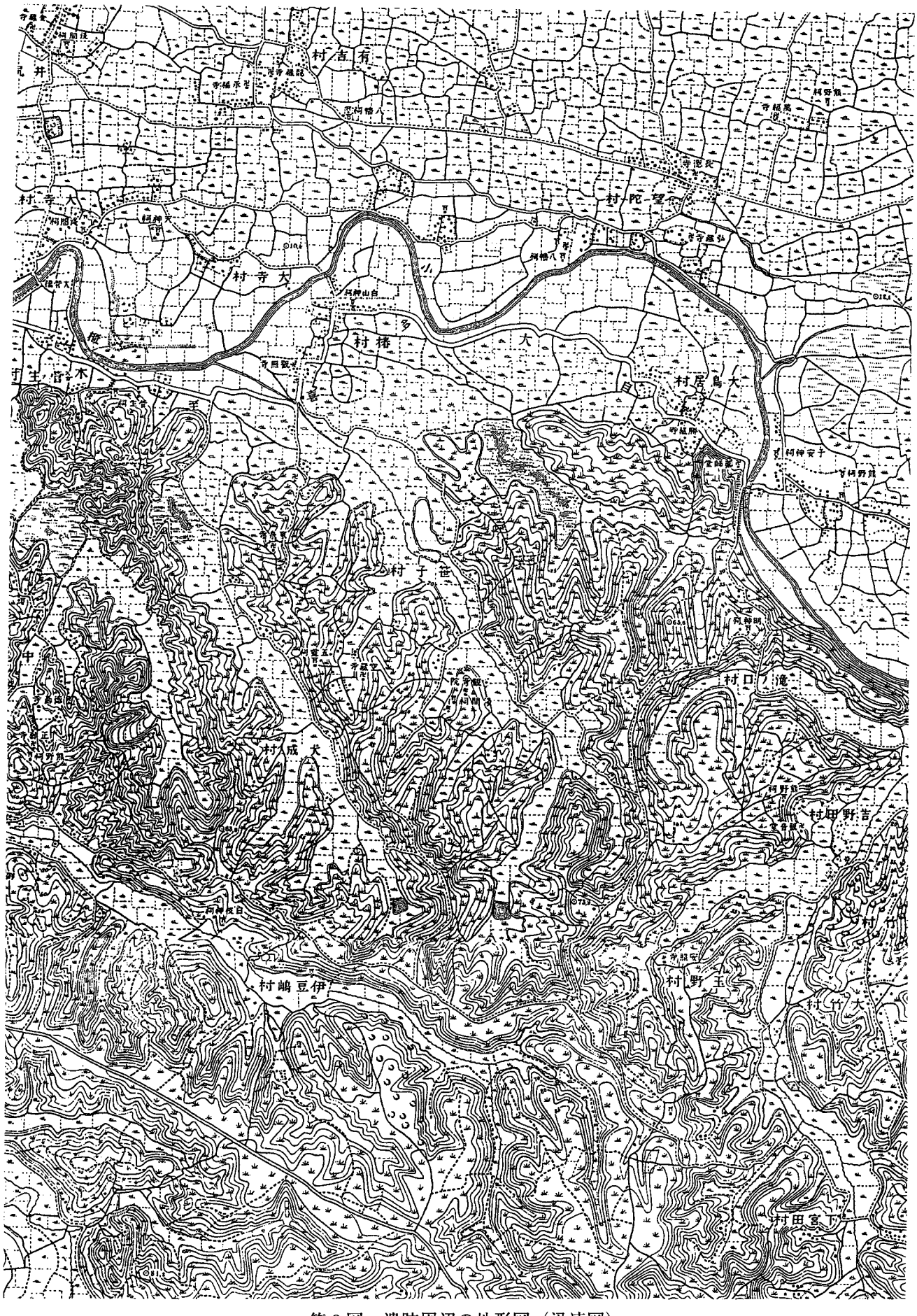
（組織）南部調査事務所長鈴木定明　担当職員　主席研究員相京邦彦

第１表　周辺遺跡一覧

	遺跡名	備考		遺跡名	備考
1	笹子城跡	本報告書	28	永藤城跡	
2	中尾城跡		29	椎津城跡	
3	椿古墳群	館山道	30	正坊山城跡	
4	大坪城跡		31	妙経寺館跡	
5	滝ノ口向台遺跡		32	姉崎城跡	
6	上ノ原城跡		33	畑木城跡	
7	大竹砦跡		34	天羽田稲荷山遺跡	
8	中台谷遺跡		35	山谷遺跡	館山道
9	小坪館跡		36	七人堀込遺跡	
10	高谷館跡（1）		37	内屋敷１遺跡	圏央道
10	高谷館跡（2）		38	内屋敷２遺跡	圏央道
11	荒久遺跡		39	丹過遺跡	圏央道
12	野里城ノ越遺跡		40	沢間１遺跡	圏央道
13	文脇遺跡		41	沢間２遺跡	圏央道
14	北口城跡		42	重三台遺跡	圏央道
15	芝野遺跡	館山道	43	根岸古墳群	圏央道
16	菅生遺跡		44	根岸小妻遺跡	圏央道
17	大寺廃寺		45	林遺跡（1）	圏央道
18	有吉城跡		46	林遺跡（2）・中世城館跡	圏央道
19	境遺跡		47	林遺跡（3）	圏央道
20	向山野遺跡		48	林遺跡	圏央道
21	向萩原遺跡		49	猪尻遺跡	圏央道
22	寒沢遺跡		50	上宮田台遺跡	圏央道
23	蔵波砦跡		51	下谷遺跡	圏央道
24	神田遺跡		52	吉野田遺跡	圏央道
25	久保田城跡		53	新開１遺跡	圏央道
26	椎津中林遺跡		54	新開２遺跡	圏央道
27	百枚田砦跡		55	御祈祷谷古墳群	圏央道

袖ケ浦市
木更津市
長浦
長浦駅前
蔵波台
蔵波
久保田
上久保田
浜宿団地
代宿
権の木台
有秋台
桜台
奈良輪
福王台
大野台
神納
飯富
角山
野田
のぞみ野
萩原野
西萩原
下泉
岩井
下新田
富納士東
有吉
芹田
牛袋
若葉町
川西
十日市場
祇園
永井作
横田
大鳥居
大原新田
蔵沢
成竹
三黒
長泉寺
大和田
野里
向
御灵原
三箇
高谷
中尾台
真理
下内橋
戸国
今関
根岸
原林
下郡
大鎌
茅野
湯名
伊豆島
矢那
吉野田
島田
大竹
鍛冶山
上宮田
下宮田
笹子
日の出町
館山自動車道
久留里線
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
第１図　遺跡の位置図

第２図　遺跡周辺の地形図（現在）



第3図　遺跡周辺の地形図（迅速図）

2　調査の方法(第７図)

調査範囲は笹子城跡の北端の一部，北郭と呼ばれる一角で，事業範囲は斜めに軸線を持ち，東西に長い形状であった。そこで調査に先だち，西側から東側にむかってアルファベッドでＡ・Ｂ～Ｊ・Ｋ区を，北側から南側に向かって１・２～５・６区の一辺20mの大グリッドを設定し，西北隅の大グリッドを「１Ａ」区と呼称した。さらに，この大グリッド内に一辺２ｍ×２ｍの小グリッドを100個設定し遺構の図化，及び出土遺物の記録に使用した。

調査時に検出された遺構は，土坑，ピット，溝の３種に大まかに分類し，おのおのに遺構番号を付した。従って，土坑，ピット，溝のそれぞれに同じ番号が付されており，そのうえ，土坑とピットとの分類基準が曖昧で，図面による形状確認では土坑かピットか不明であった。さらに，遺構の整理を困難にしたことは，研究連絡誌や県史に「堀」が「堀Ａ」から「堀Ⅴ」として掲載され，かつ説明されているが，発掘調査段階にはこの名称はなく，研究連絡誌の執筆段階で初めて付したものであったことから，図面整理および遺物整理の段階で番号の振替作業が必要となり，混乱を生じてしまった。さらに，土坑が調査の進捗により堀になったり，平場ごとに「堀Ａ」があったりと，調査担当者でなければ分からないことが多々あった。また，笹子城跡では大規模な埋め立てや，整地作業により，同一と目視される平場が別々の平場であったり，別個の平場と推定されたものが実は同一の平場であったりと，調査の進捗にともなって，平場の性格や検出された遺構の性格が変更され，遺構の性格の把握が難しかったことがあった。

発掘調査は調査前の地形の検討から，平坦な地形及び人的な平場に番号を付与し(例，平場６，平場７)，平場ごとにあるいは複数の平場にトレンチを設定し，両者の関係の把握につとめた。

平場によっては，視覚的には単独の独立した平場として確認できたが，調査の過程で後世の耕作による改変のために分かれていた平場もあり，調査開始時の平場番号が消滅したところもあった。

第２節　遺跡の位置と環境

1　遺跡周辺の地形(第１～３図)

笹子城跡は小櫃川中流域の左岸に位置する。小櫃川はその源を清澄山系に発し，北流しながら流下し，笹子城跡の所在する本地域の上流で流れを西方向へ取り，東京湾に流入する。西方向に蛇行しながら東京湾に流入する小櫃川は両岸に沖積平野を形成するとともに，小櫃川に流入する小河川によって開析された舌状の小台地を形成している。笹子城跡はこのような北側に延び，小櫃川によって形成された沖積地をのぞむ小台地に所在している。本地域にはこのような小櫃川に向かってのびる台地は多くみられるが，笹子城跡のある台地はその中でも規模の大きいものである。同様の台地は多くあり，けっして笹子城跡の所在する台地が特に城館として適しているとはいえない。むしろ，両側の台地がより小櫃川に近くまでのびており，けっして眺望的にも良好とはいえない。台地は全体に北方向，つまり小櫃川に向かって傾斜しており，笹子城はもっとも北側の今回調査された部分にまず城館が造成され，その後次第に南側(南郭)に城館自体が移っていったものと推定されている。

参考文献

千葉城郭研究会編「千葉城郭研究」第１号1989・第２号1992
市村高男「房総における中近世城館跡の地域的時代的分布とその特質」(「千葉県所在中近世城館跡詳細分布調査報告書Ⅱ」1995)
井上哲朗「研究紀要」20(財)千葉県文化財センター　2000　平成12年

小笠原長和「「笹子落草子」にみる戦国の映像－上総武田氏とその内争－」(中世房総の政治と文化)1985　吉川弘文館
小野正敏「出土陶磁よりみた十五・十六世紀における画期の素描」「MUSEUM」416　東京国立博物館　1985
笹生衛，柴田龍司「小櫃川流域における中世遺跡の変遷」(研究連絡誌37号)(財)千葉県文化財センター　1993　平成5年
柴田龍司「中世城館の画期－館と城から館城へ－」新人物往来社　1991
柴田龍司「掘跡や曲輪から出土する石塔」「中世城郭研究」第6号　中世城郭研究会　1992
柴田龍司「笹子城跡の概要」(研究連絡誌37号)(財)千葉県文化財センター　1993　平成5年3月

第2表　堀新旧対照表

遺構番号	旧遺構番号・調査時		備考
堀A		平場　2	
堀B	堀（新）	平場　5	
堀C	堀（古）	平場　5	
堀D	堀A，溝003	平場　6	
堀E	堀B	平場　6	
堀F	土坑014	平場　6	
堀G	土坑016	平場　6	
堀H	堀C	平場　6	
堀I	堀C	平場　8	
堀J	堀B	平場　8	
堀K	堀A	平場　8	
堀L	堀D	平場　8	
堀M	堀A	平場　10	
堀N	堀B　新	平場　11	
堀O	堀A　旧	平場　11	
堀P	堀A	平場　12	
堀Q	堀B	平場　12	
堀R	堀D	平場　12	
堀S	堀C	平場　12	
堀T		平場　14	
堀U	堀B	平場　14	
堀V	堀A	平場　14	

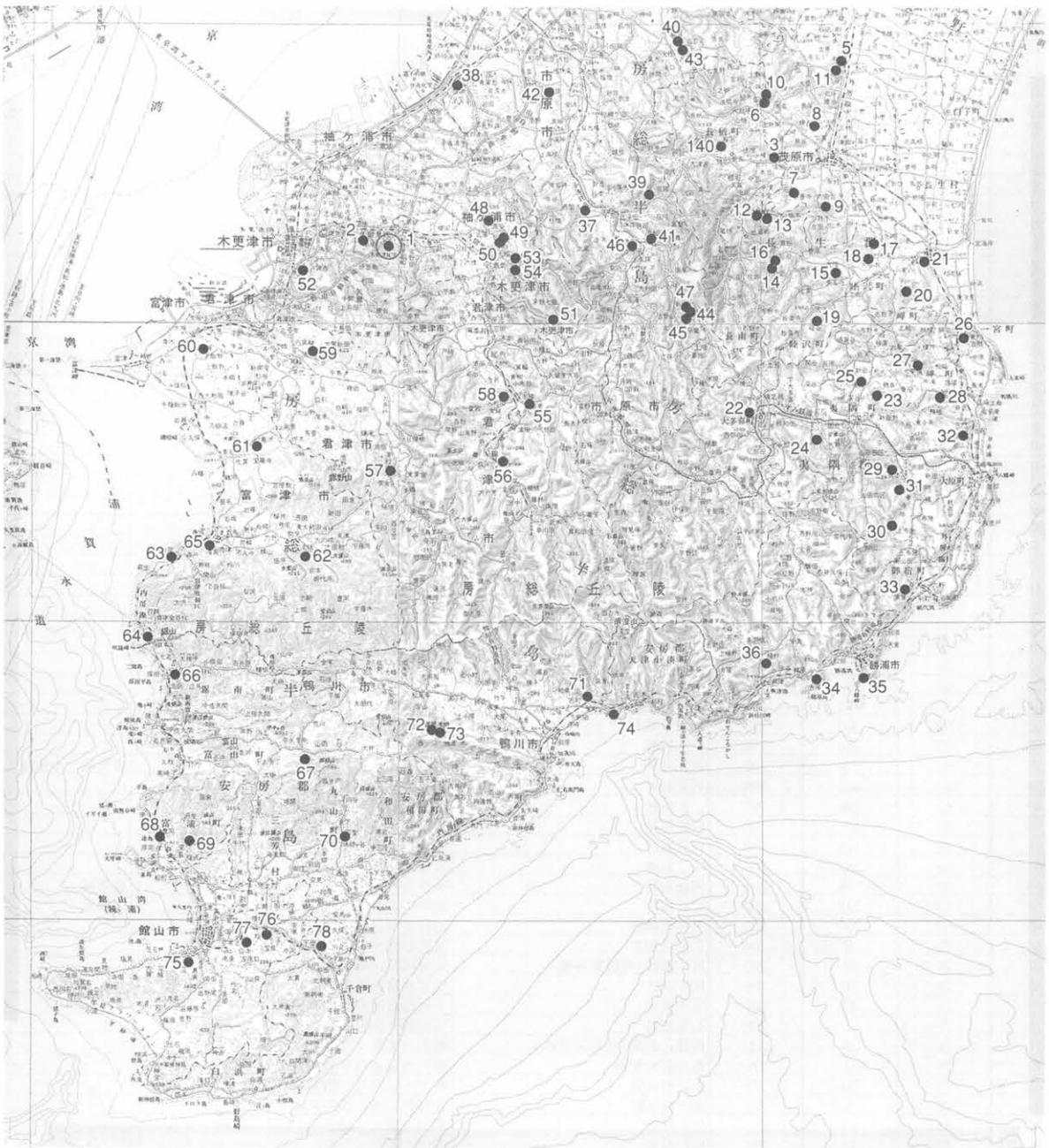
第3表　笹子城跡の層位関連表

		Ⅰ層 表土層	上位 下位			堀との関係
A面	Ⅰ期 A－1	A層		A面直上	Ⅰ①直上 ＝Ⅰ層最下面 中世盛土面	堀ＲＱＴＶ
	Ⅱ期（新） A－2 堀Dの中位面	B層	A'面 B面直上 ＝Ⅱ② （＝Ⅱ③④⑥）	A面下層	A面下	堀ＤＩＰの新しい階段 堀Ｓ
B面	Ⅱ期（古） A－3					堀ＣＩＤＰの古い階段
	Ⅲ期		B面1	B面2		堀ＢＧＦＥＪＰ
C面	Ⅳ期	C層		B面下層	B面下	堀は原則なし この階段は日常的な性格が強い
			ⅡⅡ③層			
D面	Ⅴ期	D層	C層下盛土層	C面下盛土		堀A H K L が同時
			Ⅱ⑦		D面直上 ＝C面下	
Dに先行地山面	Ⅵ期	E層 最も古い	中世地山面	旧表土黒色土	旧表土	堀Hに先行する堀（堀Hの障子堀か？）

柴田龍司「考古学からみた房総の中世城館の構造」　東総文化財センター・光町教育委員会　1995
柴田龍司「笹子城跡」千葉県の歴史　資料編　中世１　考古資料　県史シリーズ14　1998　平成10年３月
柴田龍司「発掘成果からみた房総の城館跡」図説房総の城郭　国書刊行会　2002　平成14年８月
柴田龍司「笹子城跡」図説房総の城郭　国書刊行会　2002　平成14年８月
西野　元「校注　上総国日記」「歴史人類」17　1989　筑波大学歴史・人類学系
牛房茂行「真里谷城跡」木更津市教育委員会　1984
藤澤良祐「瀬戸大窯発掘調査報告」「瀬戸市歴史民俗資料館研究紀要」Ⅴ　1986
藤澤良祐「古瀬戸古窯址群Ⅱ－古瀬戸後期様式の編年－」「瀬戸市歴史民俗資料館研究紀要」Ⅹ　1991
井上哲朗「袖ケ浦市　山谷遺跡」東関東自動車道(千葉・富津線)埋蔵文化財調査報告書９　平成13年３月　日本道路公団(財)千葉県文化財センター

2　周辺の城館跡(第４図　第１・４表)

本報告書では，笹子城跡の存続した時代の城館跡のすべてを図示するつもりであったが，当センターの



第４図　安房国・上総国主要城館跡

第4表　周辺城館跡一覧

番号	県遺跡分布地図		研究紀要NO.	遺跡名	所在地	備考
1	56	221	187	笹子城跡	木更津市笹子字北裏作	
2	56	101	192	中尾城跡	木更津市中尾字小門	
3	53	156	139	榎本城跡	長生郡長柄町榎本	
4	52	204	140	立鳥城跡	長生郡長柄町立鳥	
5	53	80	141	本納城跡	茂原市本納	
6	53	20	142	真名城跡	茂原市真名字小諸	
7	59	162	143	石神城跡	茂原市石神	
8	53	37	144	小林城跡	茂原市小林	
9	59	170	145	上永吉城跡	茂原市上永吉	
10	53	138	146	真名宿谷城跡	茂原市真名	
11	53	174	147	鞘戸城跡	茂原市本納	
12	58	18	148	長南城跡	長生郡長南町長南字中城他	
13	59	23	149	利根里城跡	長生郡長南町坂本字利根里川間他	
14	59	88	150	根小屋城跡	長生郡長南町下小野田	
15	59	94	151	下芝野城跡	長生郡長南町下芝野	
16	59	34	152	城ケ谷城跡	長生郡長南町中原字城ケ谷	
17	59	3	153	勝見城跡	長生郡睦沢町勝見城之内他	
18	59	14	154	富喜楽城跡（大柳城跡）	長生郡睦沢町寺崎字城之内	
19	59	65	155	掟城跡	長生郡睦沢町大上字城之内	
20	59	8	156	高藤山城跡	長生郡一宮町高藤山	
21	59	9	157	一宮城跡（城内遺跡）	長生郡一宮町一宮城ノ内	
22	64	47	158	大多喜城跡	夷隅郡大多喜町大多喜	
23	65	66	159	万喜城跡	夷隅郡夷隅町	
24	65	74	160	大野城跡	夷隅郡夷隅町大野	
25	65	50	161	権現城跡	夷隅郡夷隅町松丸字向台	
26	66	44	162	鶴か城跡	夷隅郡岬町中原字古地他	
27	65	63	163	矢竹城跡	夷隅郡岬町桑田字矢竹	
28	65	72	164	中滝城跡	夷隅郡岬町中滝字熊ノ山	
29	65	34	166	城谷城跡	夷隅郡大原町山田	
30	71	90	165	布施殿台城跡	夷隅郡大原町上布施	
31	71	58	167	金山城跡	夷隅郡大原町長志	
32	66	37	168	日在城跡	夷隅郡大原町日在字大山他	
33	71	22	169	最明寺裏城跡	夷隅郡御宿町須賀	
34	77	103	170	吉尾城跡	勝浦市吉尾	
35	77	105	171	勝浦城跡	勝浦市勝浦字郭内	
36	74	76	172	興津城跡	勝浦市興津字要害	
37	58	132	173	佐是城跡	市原市佐是字武城	
38	51	316	174	椎津城跡	市原市椎津字城山	
39	58	154	175	真ケ谷城跡	市原市真ケ谷宿要害	
40	52	666	176	犬成城跡	市原市犬成字湯武倉	
41	58	92	177	池和田城跡	市原市池和田字城廻	
42	51	433	178	分目要害城跡主要部	市原市分目字要害	
43	52	998	179	犬成向山城跡	市原市犬成字湯武倉	
44	58	54	180	平蔵城跡	市原市平蔵城山地先	
45	58	52	181	吉沢城跡	市原市吉沢字榎台	
46	58	81	182	雀ケ崎城跡（御園生館跡）	市原市藪字外部田	
47	58	1040	183	城部田城跡	市原市平蔵	
48	57	496	184	高谷堀ノ内城跡	袖ケ浦市高谷字堀ノ内	
49	57	337	185	高谷館跡（2）	袖ケ浦市高谷字平台	
50	57	223	186	高谷館跡（1）	袖ケ浦市高谷字平山	
51	57	402	188	真里谷城跡	木更津市真里谷字真地	
52	56	55	189	真武根陣屋跡	木更津市請西字堰の上他	
53	57	368	190	要害城跡	木更津市真里谷字要害他	
54	57	375	191	天神台城跡	木更津市真里谷字天神台他	
55	63	306	193	久留里城跡	君津市久留里字内山	
56	63	316	194	千本城跡	君津市千本	
57	62	206	195	秋元城跡	君津市西粟倉字古城	青鬼城・小糸城
58	63	402	196	岩室城跡	君津市向郷字岩室	
59	62	56	197	三直城跡	君津市三直字字曽貝	
60	61	31	198	飯野陣屋	富津市下飯野字本丸他	
61	62	145	199	佐貫城跡	富津市佐貫字城山・城跡	
62	68	282	200	峠上城跡	富津市上後字	
63	67	326	201	造海城跡	富津市竹岡字城山	百首城
64	73	342	202	金谷城跡	富津市金谷字御代岱	明鐘城
65	67	300	203	天神山城跡	富津市海良字天神台	
66	73	6	204	下ノ坊館跡	安房郡鋸南町保田字下ノ坊	
67	74	15	205	富山城跡（用田要害城）	安房郡富山町平久里中字用田	
68	78	20	206	岡本城跡	安房郡富浦町豊岡字聖山・要害他	
69	78	43	207	宮本城跡	安房郡富浦町大津字要害	
70	79	15	208	石堂城跡	安房郡丸山町石堂	
71	76	38	209	西郷氏館跡（東条陣屋跡）	鴨川市東町字宝性寺	
72	75	57	210	藤四郎台館跡	鴨川市主基西字嶺岡東上牧	
73	75	56	211	山之城城跡	鴨川市主基西字嶺岡東上牧	
74	76	24	212	葛ケ崎城跡	安房郡天津小湊町天津字引土	
75	81	63	213	館山城跡	館山市館山字城山	
76	82	42	214	稲村城跡	館山市稲	
77	82	71	215	山本城跡	館山市山本字堀ノ内	
78	82	58	216	宇田城跡	安房郡千倉町宇田字本郷	

研究紀要番号と重複する部分が多分に生じるため，村田川以南の安房国，上総国の一部について図示するにとどめた。笹子城跡を含む本地域は，戦国時代末期には北条氏と里見氏の勢力の拮抗する地域で，境目の城として里見氏側の重要な城として位置づけられていたものと考えられる。このように，笹子城跡は木更津へ出る交通路を押さえるための武田氏の支城のひとつであったと考えられる。

3　笹子城跡の構造(第５・６図)

笹子城跡は，南から北に延びる支丘陵の全域を城域としている。城域は南北850m，東西400mを測り，県内に所在する約1,000か所の中世城館跡の中でも有数な規模である。

城域の構造は，城館中央部よりやや北寄りに位置する堀１(第６図参照，以下同じ)を境いに，北側(以下「北半部」と記す)と南側(以下「南半部」と記す)では現状の構造は全て様相を異にしている。すなわち，極論すれば北半部には城郭のメルクマークとなる堀や土塁といった明確な城郭遺構がほとんど認められないが，逆に南半部においては堀や土塁が至るところに認められることが最大の特徴である。

このような北半部と南半部での構造上の大きな違いの要因として以下の点が考えられるであろう。

①　北半部の構造は，南半部の構造に比べて先行するものととらえる考え方で，具体的には北半部は16世紀前半の構造を，南半部は16世紀後半の構造を，各々が示していることである。この場合，北半部と南半部は全く別々の城郭とみるか，元々は南半部も含めて16世紀前半の城郭が築かれていたが，16世紀後半になって南半部のみ改築を受けたためとみるか，２説が考えられる。

②　北半部と南半部は当初から一体の城郭として築かれ始め，南半部は構造的に完成したが，北半部は何らかの事情により未完成に終わった，とする考え方である。

以上，2点の考え方はあくまでも現状の観察によってのものであり，現に後述する発掘調査の結果から②の考え方は否定される。

発掘調査は北半部のうち北端部のみ実施されたが，当初斜面中段部に設けられた腰曲輪状の平場と想定されたところから，ほとんどの平場の下から人為的に埋め戻された堀跡が検出されたことから北半部における現状の構造は，城郭が機能していた最終段階の構造に大規模な破壊を加えた結果形成されたものと明らかになった。

このため，北半部については全域にわたって破壊作業が行われていることが確実といえることから，本章では現状においても城郭構造が多く残されている南半部の構造について述べることとする。

南半部の構造

南半部の城域は丘陵頂部に位置し，両端をそれぞれ堀によって画されている郭が８か所(第６図の郭Ⅰ～郭Ⅷ)と11条の堀跡(堀１～堀11)などで構成されている。北から順に個々の遺構について説明する。

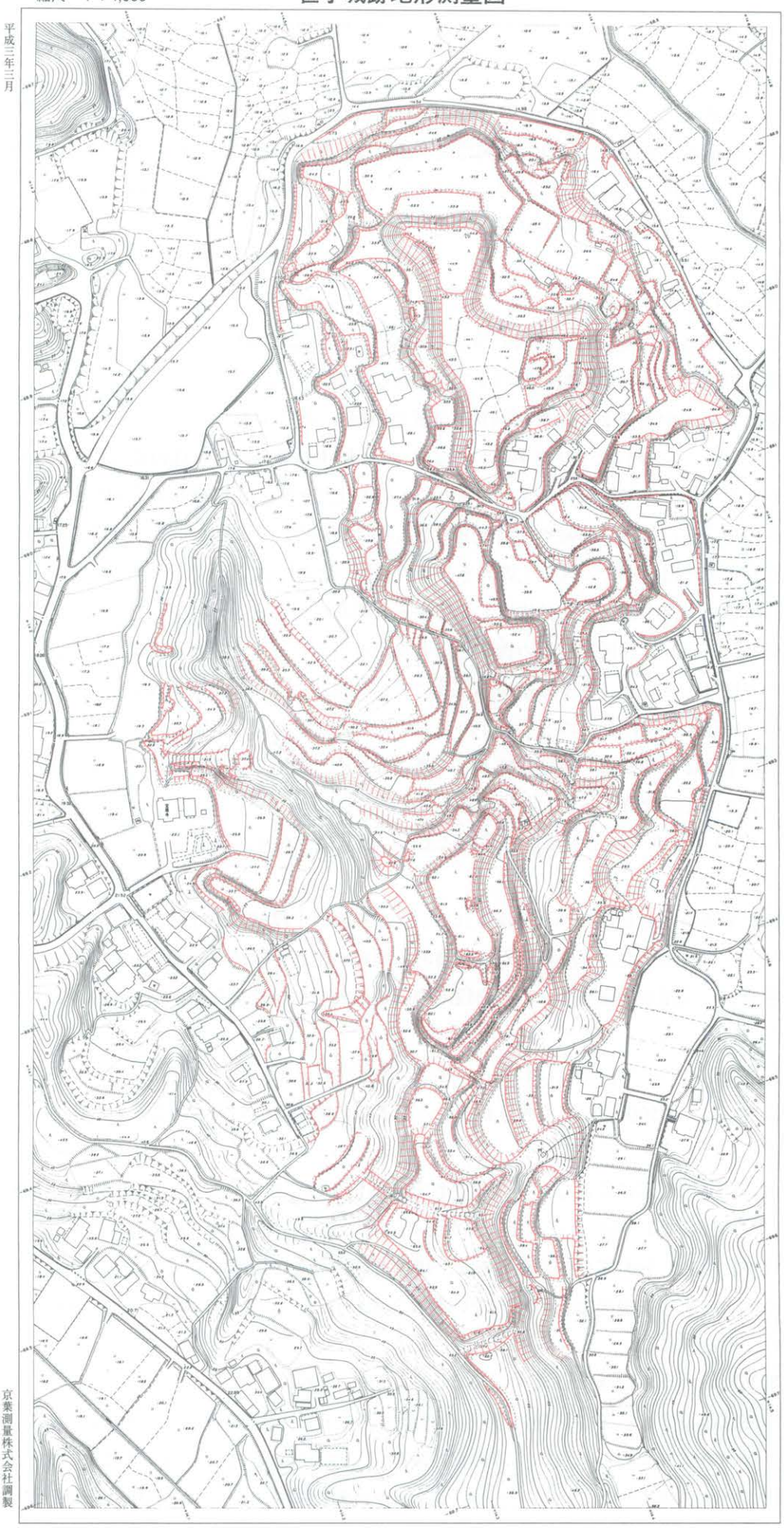
堀１は城域の北半部と南半部を画するもので，現在城跡を東西に横断する切り通し道として使われている。このため本来の構造や規模は留めていないものと思われるが，全長約100m，上幅10m程の規模を有していたものと想定される。

郭Ⅰは南半部地域のうち北端に位置する郭である。南北100m，東西20m～30mの規模で，平面はＬ字型を成す。内部は段差でもって４区画に分けられ(Ⅰａ～Ⅰｄ)，標高は46.5m～52.4mである。郭内は平坦である。土塁の痕跡は認められない。郭の東西両側下には，他の郭でも同様であるが，3～４段にわたって腰曲輪状の平場が取り付いている。どの平場までが城郭遺構でしかも本来の形態を留めているかどう

縮尺　1：4,000

笹子城跡地形測量図

平成三年三月

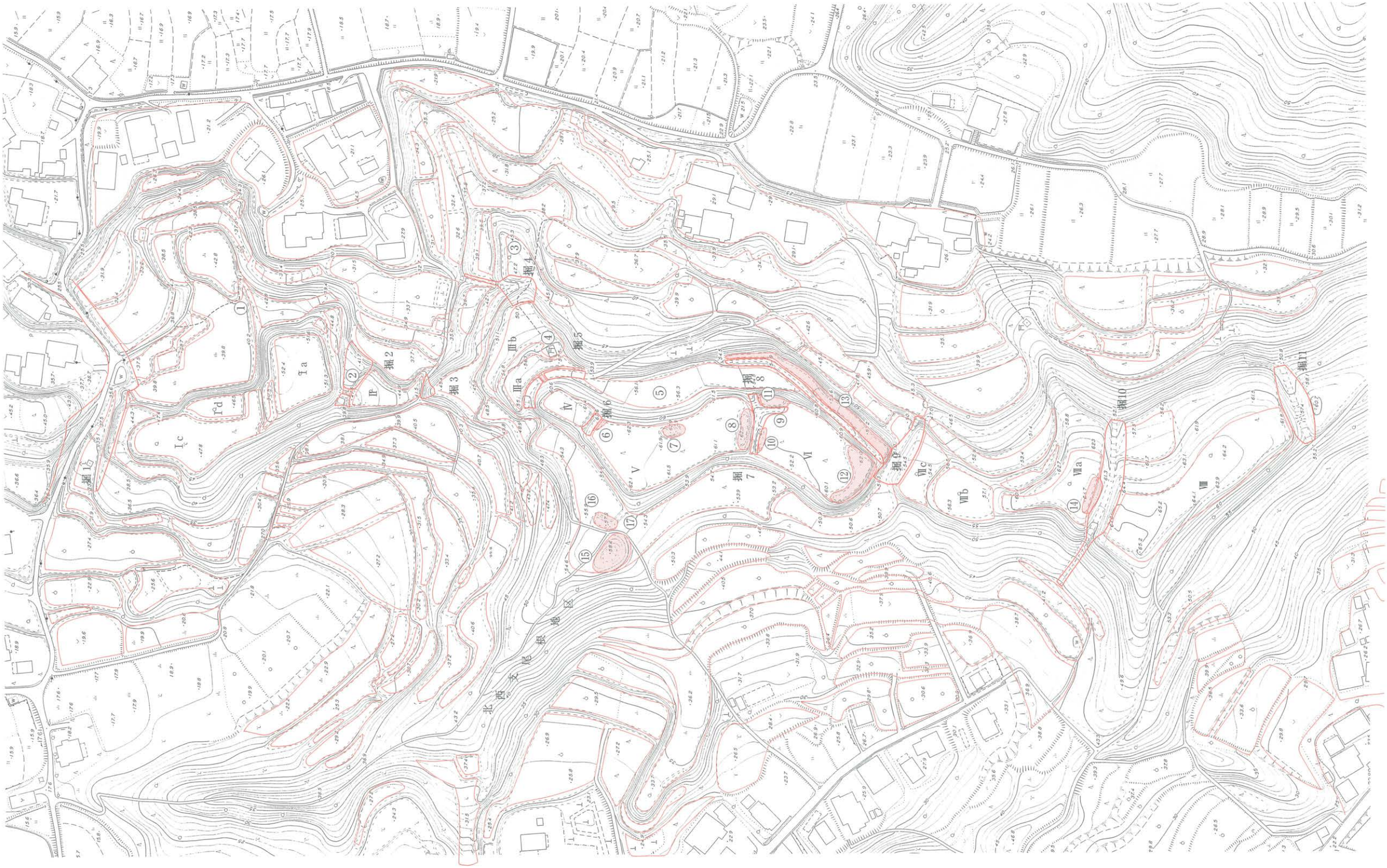


京葉測量株式会社調製

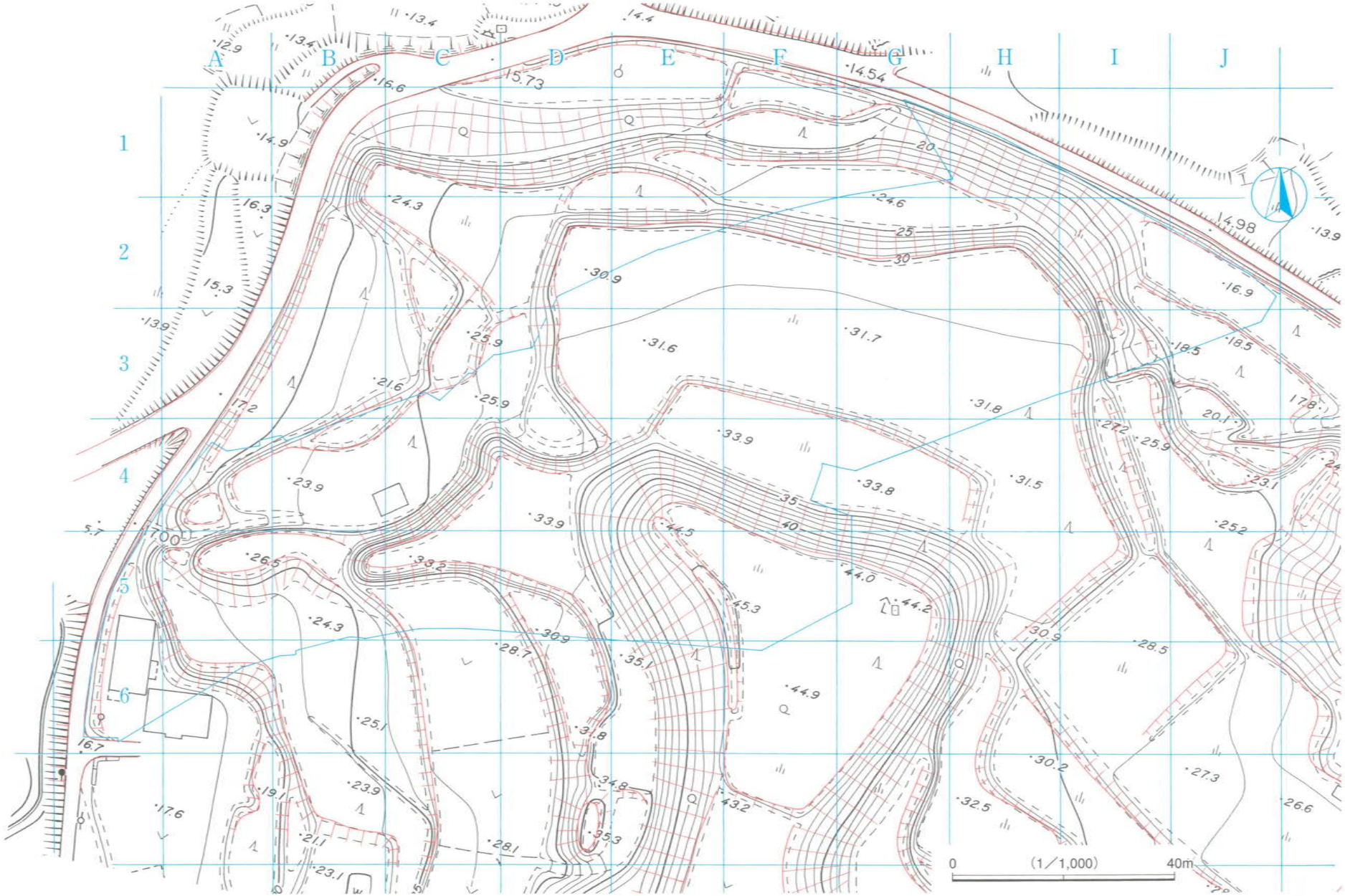
財団法人千葉文化財センター

縮尺　1：4,000

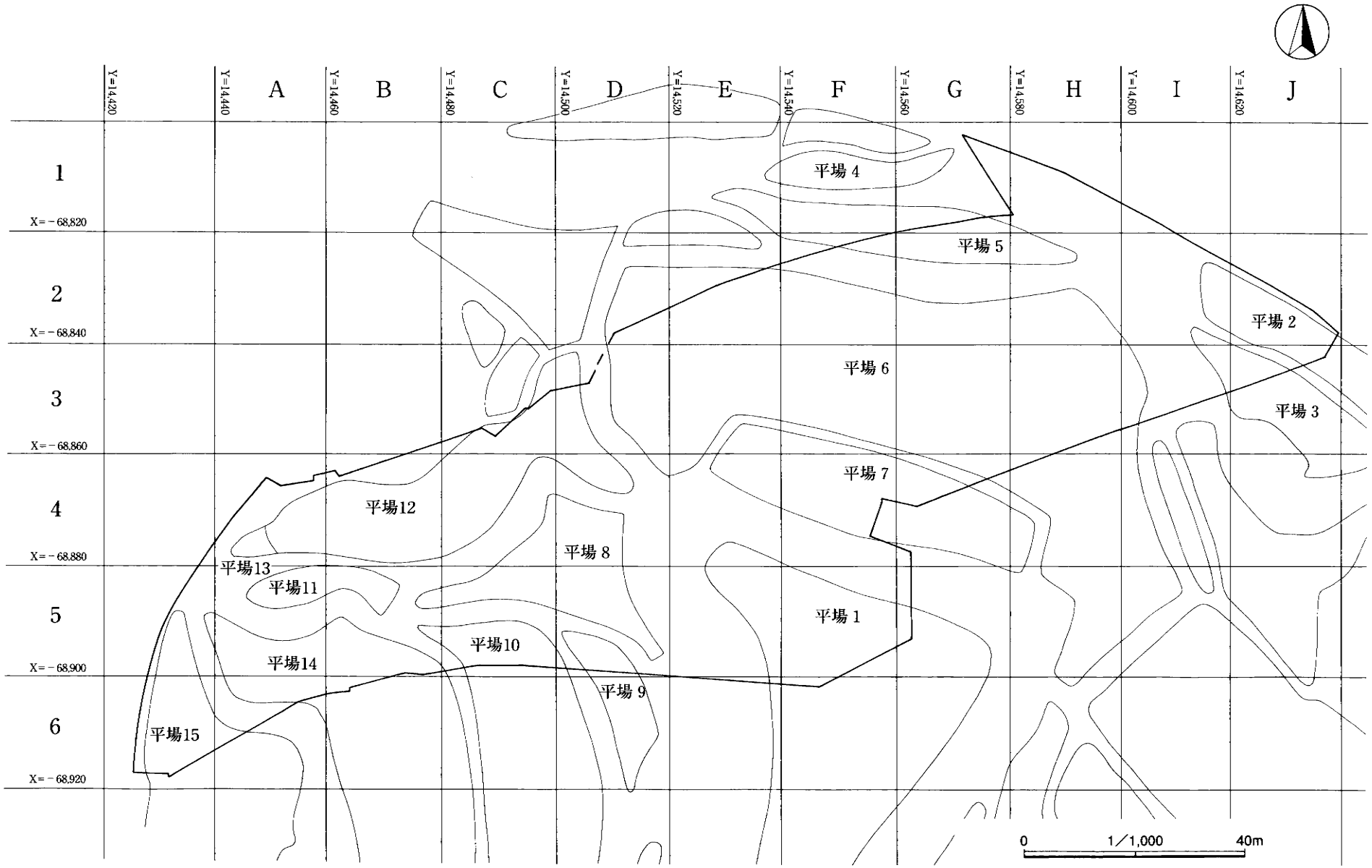
第5図　笹子城跡測量図・概念図（1）



第6図　笹子城跡測量図・概念図（2）



第７図　調査区周辺の地形



第８図　平場と大グリッド関連図

か，判断がつきかねるが，発掘調査の成果を考慮して標高20m以上の平場について城郭遺構の可能性があるとして図化した。Ⅰ郭の東側は大手の可能性が高いところである。現在①の屈曲した小道を経て郭Ⅰａに取り付いているが，現状では大手道として唯一とらえられるところである。

堀２は郭Ⅰと郭Ⅱを画する堀で，上幅７ｍ～13m，郭Ⅱから深さ3.5m～６ｍ，全長25mの規模を有し，東端は平場状に広がっている。また中央部に土橋状に高まり②が認められる。

郭Ⅱは，南北35m，東西７ｍ～15mと小規模で，しかも北端が標高47.5m，南端が45mと南に向かって緩斜面地形となっている。また郭Ⅱの最高所でも郭Ⅰａよりも４ｍ程低位である。郭Ⅱは堀２と堀３によって画されていることから，明確に郭ととらえられるが，郭が小規模なこと，郭内が緩斜面で多分に自然地形が残されていること，郭Ⅰより低位であること，の３点から他の郭とは性格を異にしている可能性がある。一つには，郭Ⅱの位置が東西両側から入り込む浅い谷によって丘陵頂部としては最も狭小な地形であることが基因していると思われる。この箇所は当城にとって最も防御的に弱点となるところから，この視点で郭Ⅱの性格をとらえる必要がある。すなわち，先述した郭Ⅱの形態からみて，郭Ⅱは郭Ⅰに従属することは明らかである。そして郭Ⅱが堀２と堀３によって画されていることを考慮すれば，郭Ⅱは郭Ⅰの南側の防御を強化するために設けられた馬出し郭とみることができる。そして，郭Ⅱを馬出し郭ととらえるとすると，郭Ⅰと郭Ⅱからなる郭群は，後述する郭Ⅲ～郭Ⅵからなる郭群とは向かい合う位置関係となり，堀３を境いに互いに独立した関係となる。

堀３は郭Ⅱと郭Ⅲを画する堀で，上幅７ｍ，深さは郭Ⅱ側から1.5m～２ｍ，郭Ⅲ側から3.5m，全長13ｍ，を各々測る。現在堀底は，堀３が位置する地点が東西両方向から入り込む２つの谷地形が最も接近し，かつ丘陵頂部が最も狭まり低位となることから，城跡内を走る小道が交わり，小道として利用されている。このため，堀底はかなり削平を受けている感があり，本来の形態を留めていないようである。堀の規模だけみれば，小規模であり防御的に強固とはいえないが，郭Ⅱでもふれたように，堀３が設けられた位置が本来の自然地形に左右されて，南半部の城域の性格を大きく二分する起点となる城郭施設と位置づけられる。

郭Ⅲは，北西端を一段の平場を介して堀３と，東端を③に平場を堀４と，南西部を郭Ⅳと堀５で，それぞれ画されている。長軸(北西―南東方向)40m，短軸25m～35mの規模を有し，郭内は南西から北東方向に標高57m～50mと緩斜面地形となっている。中央部あたりで２ｍ程の段差があり，郭内は郭Ⅲａと郭Ⅲｂとに二分される。郭内にある④の神社によって，その周囲も含めて改変が認められるものの，全体的には遺存度は良好といえる。郭Ⅲの性格については，郭Ⅳとの関連性が強いことから，郭Ⅳのところで一緒に説明することとしたい。

堀４は郭Ⅲと③の平場を画する堀で，上幅13m，深さは郭Ⅲ側から５ｍ，③の平場側から2.5m，全長15mプラス竪堀部分15mを，それぞれ測る。この堀は東側から入り込む谷津の南側斜面や③の平場の東側斜面方向からの侵入に対して設けられた最初の本格的な防御ラインととらえることができる。換言すれば堀４から内側がこの地区では狭義の城域といえるであろう。

郭Ⅳは堀５で郭Ⅲと，堀６によって郭Ⅴと，それぞれ画される。平面形態はほぼ長方形で，東西12m，南北23mの規模を有する。郭内はほぼ平坦で標高は61m前後である。郭Ⅳの性格は前面を堀５に囲まれ，背後は堀６によって遮断されていることと，後述するように郭Ⅴが当城の主郭にあたることから，馬出し郭とみて間違いないであろう。そうすれば，郭Ⅲも郭Ⅳと同様に前面を堀３と堀４によって画され，背後

を堀５によって遮断されているとみることができる。郭Ⅳほど明確な馬出しとはいえないが，郭Ⅲも基本的には馬出し的性格の強い郭といえるであろう。

堀５は上幅５ｍ，深さは郭Ⅳ側から５ｍ，郭Ⅲ側から1.5m，全長は郭Ⅳの北面から東面を囲むように弧状に40m，をそれぞれ測る。ほぼ中央部に土橋状の高まりが認められる。また，堀５の南端は⑤の平場へと続き堀としては消滅している。ただ，⑤の平場の南端では堀９が南より延び途中で途切れていることを考慮すると，あるいは本来は堀５と堀８は接続していた可能性も考えられる。

堀６は上幅４ｍ，深さは郭Ⅴ側から1.5m，郭Ⅳ側から0.5m，全長11ｍと，規模的には極めて小規模な堀といえる。

郭Ⅴは逆Ｌ字型に近い平面形態を呈し，堀６で郭Ⅳと，堀７で郭Ⅵと，それぞれ画される。規模は東西25m～40m，南北60m～75mを測り，８か所の郭の中では郭Ⅷに次ぐ面積を有する。郭内はほぼ平坦で標高は62m前後を測る。東辺部中央に12m×６ｍの楕円形プランで，高さ２ｍ程の⑦のマウンド状遺構が認められる。古墳を再利用したものかどうかは判然としないが，いずれにせよ櫓台として使われたものであろう。また，南辺部には堀７に接して⑧の土塁が認められる。全長20m，下幅６ｍ，郭面からの高さ1.5ｍ，最高所標高62.5mをそれぞれ測る。郭の性格については郭Ⅵのところでふれることとする。

堀７は郭Ⅴと郭Ⅵを画するもので，平面形態は東西方向に郭を横切る堀と堀中央部東寄りで南北方向に郭Ⅵに入り込む堀９から構成される。上幅は東西方向では４ｍ～６ｍ，南北方向では３ｍ，深さは郭面から両方とも１ｍ～1.5m，全長は前者で28m，後者で12mを，それぞれ測る。

郭Ⅵは堀7，堀8，堀９で三方を画されている。東西28m，南北50m～65mを測り，長方形に近い平面形態となる。郭内は平坦で標高は60m前後である。堀７に面する北辺に⑩と⑪の２か所の土塁が認められる。⑩の土塁は全長11m，下幅３ｍ，高さ最大0.7m(標高60.7m)の規模で残存している。⑪の土塁は全長15m，下幅３ｍ～６ｍ，高さ最大1.4m(標高61.4m)の規模である。また南辺から南東コーナーにかけても⑫の大規模な土塁が認められる。全長40m，上幅３ｍ～８ｍ，下幅６ｍ～10m，高さは最大で1.9m(標高62m)を測る。また東辺部直下には⑬の土塁と并走する堀８が全長95mにわたって認められる。当城跡では唯一認められる横堀である。上幅は⑬の土塁面で４ｍ～５ｍ，深さは郭Ⅵから６ｍ，⑬の土塁から１ｍを測る。先述したように堀８は堀５と本来は連続していた可能性がある。⑬の土塁は堀８が掘られたために必然的に形成されたものであるが，上幅が広いところで６ｍもあり，かなり念入りに造られたことがみて取れる。

堀９は郭Ⅵと郭Ⅶを画する堀で，上幅７ｍ～13m，下幅３ｍ～４ｍ，深さは郭Ⅵから11m，郭Ⅶから3.5m，全長35mをそれぞれ測る。上幅と深さを基準にすれば，城跡内では最大規模の堀といえる。後述する郭Ⅶが北から南へ順次標高を上げていることからも明らかなように，堀９のあたりが鞍部になることから，鞍部の北側に位置する郭Ⅴ・Ⅵを絶対的に守り切るために設けられたものである。

郭Ⅶは大きく３か所に区分される。郭Ⅶは元々は南から北に行くにしたがい高くなる緩斜面地形であったことから，段差をもって細分割されたのである。郭Ⅶａは最高所の区画で東西30m，南北15m～40mの規模で標高60m～63mで，頂面はそれなりに平坦ではあるが，縁辺部以下は自然地形の残った緩斜面となっている。堀10に面した南辺に下幅６ｍ，高さ１ｍ，全長18mほどの規模で土塁が認められる。郭Ⅶｂは標高56m～57m，東西20m，南北30m，を測る。郭Ⅶｃは標高53m～54m，東西27m，南北13mを測る。郭Ⅶｂ・ｃとも郭内は平坦面となっている。当郭の郭内はいずれも平坦化はされてはいるが，各郭間の段差に人為的な処理が施されておらず，また土塁は１か所(土塁⑭)しか認められないことを考慮すれば，郭

としてとらえられることは間違いないが，機能としては南方から攻撃してくる敵に対して，郭内に籠って戦う面的な防御空間ではなく，堀10と⑭の土塁で防御する線的防御の足場的なものとみることができる。

堀10は郭Ⅶａと郭Ⅷを画する堀で，堀切り部分と竪堀部からなる。堀切りは上幅10m～12m，下幅３m，深さは⑭の土塁から3.4m，郭Ⅶ側から3.5m，全長50m，をそれぞれ測る。堀切りの西端部からは33mにわたって標高60mから標高45m間を竪堀となっている。

郭Ⅷは城域の最南端に位置する郭で，東西22m～30m，南北100mで，郭Ⅴと並んで城内では最大規模の郭である。標高は北から南に順次低くなり，62m～65mを測る。当郭は郭面はしっかりと平坦化されておらず，また土塁が認められず，腰曲輪群との関連も弱いことから，郭としての防御性は決して高いとはいえない。しかし，城内で最大規模の郭であることを考えると，単に「捨て曲輪」と簡単に決めつけることは躊躇する。最終的には放棄されることが前提になってはいるが，当郭は警戒線的な機能よりも一時的にせよ郭内を使った面的な防御空間の機能を備えていたとみられる。

堀11は城域南端を画する堀で，ここより南は城外となる。上幅10m～15m，下幅３m，深さは郭Ⅷ側から4.4m，城外から3.3m，全長40mをそれぞれ測り，上幅および深さからみれば最大規模の堀である。また，東半部は竪堀状となっている(標高50m～55m)。

以上，丘陵頂部に展開するⅠ～Ⅷの郭と堀11条を中心に説明してきたが，次に郭Ⅴの下から北西方向に派出する支尾根部(北西支尾根地区と記す)と腰曲輪状平場についてふれておく。

北西支尾根地区は，⑮と⑯の高まりを基点に北西方向に260m程延びた支丘陵である。位置的には確実に城域に含まれる地区である。そして先端部を除く斜面部には腰曲輪状の平場が数多く造り出されている。しかし，尾根上に目を向けると，そこは自然地形のままで人為的な平坦化の処理がなされていないことがみてとれる。当然なことであるが，この地区には尾根筋を遮断する堀は認められない。このような無防備に近い状況でありながら，重要な防御拠点となる郭Ⅴの直下につながっていることは，他の地区における防御面での工夫を考えると理解しにくい。そこで，あくまでも何らかの防御施設があったと仮定するならば，⑮と⑯の高まりの存在が注目される。⑮の高まりは長軸22m，短軸13m，高さ3.6mの規模を持つ楕円形プランの高まり。⑯は長軸12m，短軸７m，高さ1.7mの高まりで，それぞれ一見して古墳である感を有する。古墳の是非は別として，郭Ⅴの直下に位置するこの場所に，2か所の高まりが置かれていることは，防御性を考える上で注目する必要がある。そのような視点で⑮，⑯をみた場合，⑮は巨大な櫓台を，⑯は土塁の残存部，⑰が北西支尾根地区から郭Ⅴの下に通じる虎口とすることが可能であろう。

斜面上に造り出された腰曲輪状の平場については，多数見い出されることもあって個々にはふれていない。ただ，概念図作成の段階で，水田化されていないことと水田面よりも最低でも２m～３mは高位であることを条件に，城郭遺構として可能性がある平場とみて図化している。

以上，現状の表面観察でとらえられる笹子城跡の南半部城域の構造について記してきた。この部分の城域は８か所の郭(郭Ⅰ～郭Ⅷ)から構成されていることが明らかとなった。ただ，郭Ⅱ，郭Ⅲ，郭Ⅳは馬出しかそれに近い機能を持った空間であることから，厳密にいえば郭とはいえない。このことから，狭義の郭としては郭Ⅰ(ａ～ｃの三区画から構成)，郭Ⅴ，郭Ⅵ，郭Ⅶ(ａ～ｃの三区画から構成)，郭Ⅷと，5か所の郭が該当することとなる。

次に５か所の郭のうち，どの郭が当城の中心となるか考えてみる。まず，郭Ⅶと郭Ⅷについては，城域の南端でしかも丘陵基部に位置していること，他の郭に比べ腰曲輪状平場が郭と一体化していないこと，

郭面が他の郭に比べ平坦化されていないこと，郭縁辺部に土塁がほとんど認められないこと，などから面積は大規模ではあるが，郭Ⅴおよび郭Ⅵを守るための防御機能を担った郭群といえる。では郭Ⅰと郭Ⅴ・郭Ⅵとの関係はどうかというと，堀３のあたりが元々鞍部地形であったため，地形に規制されて郭Ⅰと郭Ⅴは防御的には一体化しておらず，互いに独立した防御空間といえる。このことは郭Ⅰに付属する馬出し郭的な郭Ⅱと郭Ⅴに付属する馬出し郭的な郭Ⅲが，堀３を挟んで互いに正面を向き合い相対峙していることからも明らかである。そして，郭Ⅰと郭Ⅴ・郭Ⅵのそれぞれの独立性を重視するならば，当城の南半部の城域では核となる郭が２か所あり，郭Ⅰは周囲の腰曲輪状平場群と一体化となって北半部全域および大手筋を防御するための拠点と位置づけられる。しかし郭Ⅴ・郭Ⅵと対比した場合，全く対等の関係とは以下の点でいえない。

まず郭の面積を比べてみると，郭Ⅰと郭Ⅴ・郭Ⅵでは後者の方が倍近い面積となり大きな違いが認められる。次に郭縁辺に注視すると，郭Ⅰには土塁，櫓台の防御施設は全く認められないが，郭Ⅴ・郭Ⅵには⑥，⑦，⑧，⑩，⑪，⑫の土塁や櫓台が認められ，郭縁辺部の防御性にも大きな差が認められる。このことから，郭Ⅰと郭Ⅴを対比した場合，郭Ⅴ・郭Ⅵが当城の中核となる地区であることは明らかである。

次に郭Ⅴと郭Ⅵの２か所の郭のうち，どちらの郭がより中心(近世城郭の本丸に相当)なのか検討してみる。郭Ⅴと郭Ⅵは堀７によって画されているが，この地区が郭間の優位差を表わしているとするならば，Ⅴ郭側の土塁⑧の最高所が標高62.5m，Ⅵ郭側の土塁⑩が最高所の標高60.7m，同じく櫓台⑪が61.4mを測り，堀７を挟んで向きあう土塁では郭Ⅴ側の方が1.8m高いことになる(あくまでも当時の形状に近いとする前提において)。次にそれぞれの郭が他の郭とどう画されているのかをみてみると，郭Ⅴは郭Ⅲおよび郭Ⅳの馬出し郭を界して郭Ⅰと接し，郭Ⅵは堀９によって郭Ⅶと画されている。問題は郭Ⅴ側の馬出し郭群と郭Ⅵ側の堀９のどちら側に防御性をより認めるかであろう。また馬出し郭は攻撃(反撃)性も兼ね備えた機能も有しているが，堀切である堀９は大規模なこともあって防御一辺倒の機能であり，性格の違いも考慮に入れる必要がある。ここでは，中世城郭ではより後出の防御施設ととらえられている馬出しの有無と，郭Ⅴ側の土塁の方が郭Ⅵ側よりも高いことから，郭Ⅴの方が郭Ⅵよりも優位であったとしたい。

改めて笹子城跡南半部の構造の特色についてまとめてみると以下のようになる。

１．城域は大きく郭Ⅰを中心とした北部地区，郭Ⅴ・郭Ⅵを中心とした中央部地区，郭Ⅶ・郭Ⅷを中心とした南部地区の３か所の地区に分けられる。機能的には北部地区は地域北半および大手筋の防御，中央部地区は城郭の中核部であり最終の防御拠点，南部地区は中央部地区防御のための一時的な防御拠点，とすることができる。

２．城域内に馬出しおよび馬出し状の郭が３か所あることは特筆される。なかでも，郭Ⅳは前面の堀５が半田状をなす典型的な丸馬出しである。いまのところ県内の城跡では唯一の遺構である。また，郭Ⅱ，郭Ⅲを広義の馬出し郭とすれば，一つの城跡内に３か所馬出しが認められることと，郭Ⅲと郭Ⅳからなる連続馬出しの存在は，やはり県内では他に類例はない。

３．郭Ⅴ・郭Ⅵからなる主郭群を防御するために，堀９・堀10・堀11の大規模な堀切が３条も掘られ，丘陵基部側に対して強固な防御を施していることは注目される。通常であれば大規模な堀切は１条，あるいは多くても２条の事例がほとんどであるが，当城跡のような３条の事例は希有である。それだけ郭Ⅴ・郭Ⅵの主郭群の防御に気が配られていた証しとなる。

４．郭Ⅵの東辺直下に所在する直線的な横堀である堀８の存在も注目される。直線的な横堀をもつ城跡は

県内でもそれほど多くはない。なかでも上総，安房地区の丘陵部に占地した城郭では極めて事例は少ないといえる。この点からいえば，当城の構造には大規模な地形改変を伴う当時としては最新の築城技術が導入されていたとみることができる。

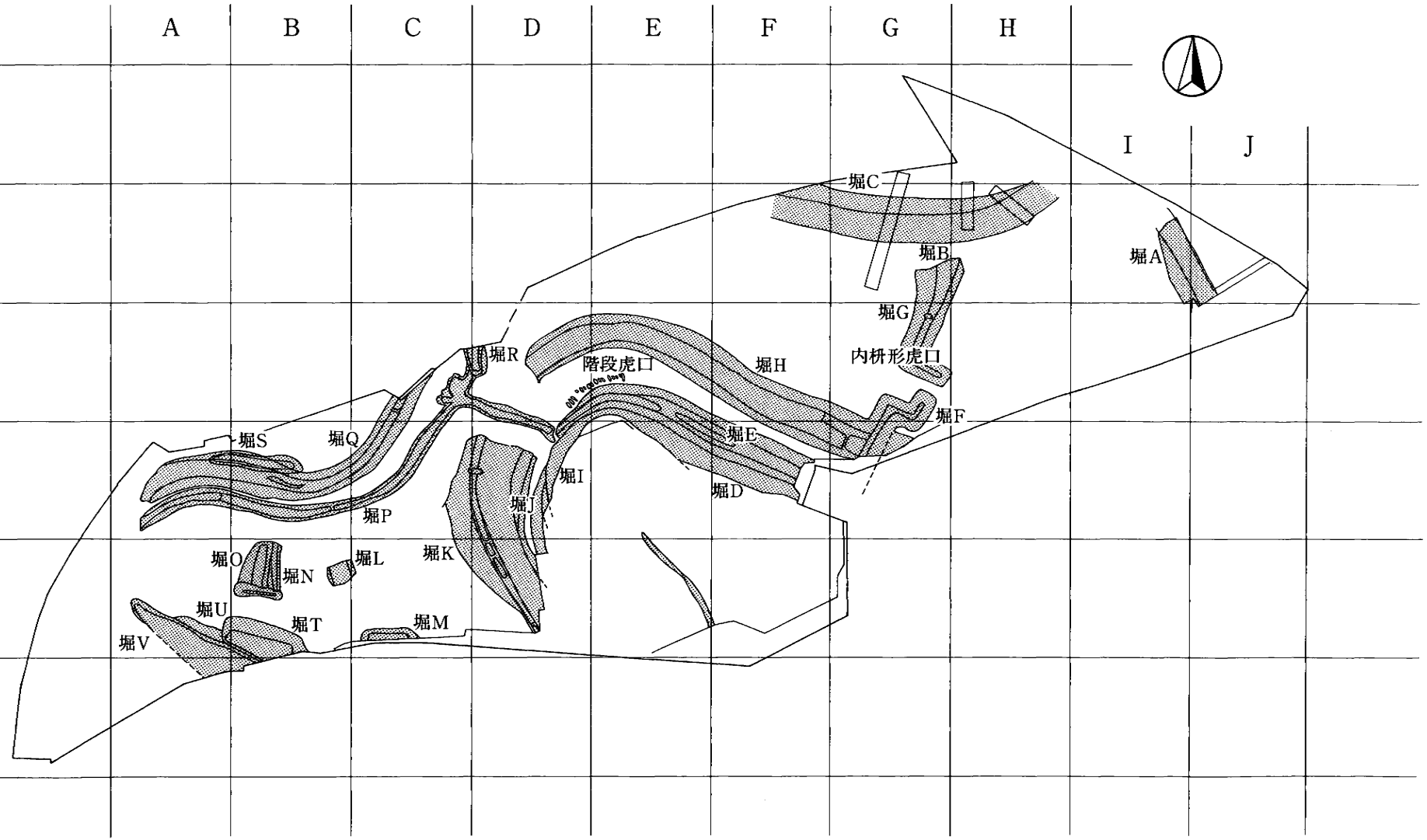
5．当城の中核となる郭Ⅴ・郭Ⅵの主郭群は，上記の2～4でみたように周囲を厳重な防御施設で守られている。しかも郭Ⅲおよび郭Ⅳからなる連続馬出し郭ととらえられる施設や堀8の直線的な横堀と，中世城郭では最新の技術が導入されている。そして，馬出し郭の存在から主郭群は防御一辺倒ばかりでなく，攻撃性を兼ね備えた機能を有していたといえる。

6．郭Ⅰから郭Ⅷまでの8か所の郭から構成される当城南半部の城郭構造は，いつ頃の段階に機能していたかであるが，この点は中世城郭遺構のなかでも普遍化するのがかなり後出ととらえられている馬出しと直線的な横堀がメルクマールとなる。これらの遺構は確実なところで16世紀後半代，強いていえば早くて1560年代の永禄期以降，遅くても1580年代の天正期とみるのが妥当であろう。何れにせよ後述する発掘調査の成果によって，当城の北半部の城域が1530～40年頃に廃城となり，以後城郭として機能していなかったことが明らかにされていることから，南半部の城域は北半部の城域を使っていた勢力とは別の勢力が保持していたといえる。ただ，南半部の城域が既に北半部の城域と同様に16世紀前半代から機能していて，16世紀後半代に大規模な改築を受けた結果なのか，あるいは北半部にあった16世紀前半代までの城郭の外に16世紀後半に入って新城を築いたのかは現段階では不明である。なぜならば，北半部は発掘調査の成果によって導き出された時期，南半部は表面観察による城郭構造の最終形態から導き出された時期と，同質の資料で対比できないためである。

7．北半部の城域については，前章で述べた歴史的環境と後述する発掘調査の成果からみて，真里谷武田氏関連の城郭であったとしてまず間違いないであろう。しかし，真里谷武田氏は遅くとも1540年代初めには滅亡していることから，16世紀後半代の構造を留めている南半部の城域には真里谷武田氏の関与は全く考えられないこととなる。真里谷武田氏滅亡後の16世紀後半の西上総地域は小田原北条氏と里見氏の勢力が一進一退を繰り返すが，当城の周辺は里見氏の勢力下にあったことから，当城南半部の城域は里見氏勢力によって築かれ維持されたものであろう。

8．南半部の城域についてなぜ築城され維持されたのか，その目的はいま一つ不明確である。なぜならば，北半部の城域が占地する丘陵先端部は東西の丘陵がさらに北に延びていることから，眺望の点で決して良好な場所でないにもかかわらず，南半部の城域はさらに奥に占地し，眺望は全くきかない場所となっているからである。では，南半部城域の正面は南側を向いていたのかというと，南端は郭Ⅶ・郭Ⅷから構成される郭群はあくまでも一時的な防御拠点であることと，郭Ⅰの存在から城の正面は北側と想定されることから，やはり城の正面は北側に向いていたとせざるを得ない。眺望を全く無視した場所に上総・安房地区では希有ともいえる当時の最新の築城技術が取り入れられた城郭が築かれ，しかも臨時的な築城ではなく大規模な土木工事を伴う恒久的な城を築いていることは，城郭が築かれる場所の選定，里見氏の戦術，などの問題に関わってくるが，現段階では課題として残される。

以上，笹子城跡南半部の城郭構造について，現状での地表面観察から得られた知見をまとめてみたが，発掘調査でも明らかになったように，近世以降現代までにわたって地形の改変が行われてきたことも事実であり，現状での構造が廃城時の姿を完全には留めていないことは十分注意する必要がある。ただ，丘陵頂部に展開する郭Ⅰ～郭Ⅷの郭群については後世の改変は最小限に留まっていると認識している。



第9図　堀検出状況図

0　(1／1,000)　40m

第2章　各平場の構造と遺構

第1節　各平場の概観(第8・9図　第4～6表)

各平場から検出調査された遺構の数は膨大な数になる。そこで，遺物の出土した遺構，特異な性格をもつと思われる遺構を重点的に図化し，他の遺構は全体図で図示することにした。「遺構一覧」の「遺構の深さ」は，遺構検出面からの深さである。また，欠番になった遺構から遺物が出土している記録(あきらかな誤り)があるので，あえて一覧にも欠番を掲載している。遺構の名称については，以下のような付し方で遺構番号を付している。「A001号跡」は「A面に属する001号遺構」と言う内容であるが，遺構全てにアルファベットによる検出面の記載がないので，これらアルファベットの記載はすべて省略し，遺構一覧の「所属面」欄に記載した。また，重複して遺構番号のついてしまった遺構については，遺物の出土している遺構は番号をそのままとし，他方の遺構には新規に番号を付けた。新規に番号を付した遺構については，遺構一覧の当該平場の最後にいれた。

第5表　遺物・出土層位凡例一覧

コード番号	大別			注別
1	貿易陶磁器	▲		白磁
2				青磁
3				染付
4				褐釉陶器
5	瀬戸・美濃	●		灰釉碗
6				灰釉皿
7				鉄釉皿
8				天目茶碗
9				擂鉢
10				鉄釉擂り鉢
11				鉄釉盤
12				その他
13	常滑	□		捏ね鉢
14				壺・甕
15	瓦質土器	■		摺鉢
16				その他
17	土器	○		カワラケ
18				東海系羽釜
19				内耳鍋
20	近世	△		近世磁器
21				近世陶器
22				近世土器
23				近世　その他
110	土製品		A	土錘
115			B	土器片を転用した硯（砥石）
120	金属製品	*	C	鉄製品
130			D	刀子
140			E	環状製品
150			F	鉄釘
160			G	銭貨
170			H	銅製品
180	石製品	◎	I	硯・茶臼・砥石・水晶製五輪塔
185			J	五輪塔・宝篋印塔
195	木製品	★	K	建築材

出土層位面凡例

	略	説明	略	説明
	A	A面	Ⅰ	Ⅰ層
	B	B面	Ⅱ	Ⅱ層
	C	C面	Ⅲ	Ⅲ層
	D	D面	Ⅰ①	Ⅰ層①
	E			
	上	上層		
	中	中層		
	下	下層		

(1)平場１(第10図)

城跡北半部地区では最も高所であり，かつ最大規模の平場で，近世城郭では本丸に相当する郭である。標高は北端部と中央東端部で２ｍ～3.5ｍの段差をもって高くなるため43ｍ～48ｍを測るが，大部分は44ｍ～45ｍで平坦である。規模は長軸(南北方向)180ｍ，短軸(東西方向)16ｍ～92ｍを測る。北西端部で確認された土塁と盛り土整地層が検出されたのみで，他の遺構は検出されなかった。土塁は，調査区内に21ｍにわたって残されていた。上幅0.5ｍ～1.1ｍ，下幅2.0ｍ～5.0ｍ，高さ0.8ｍを測る。土塁の構築方法は，断ち割り調査の結果(第９図SPB－B')，地山層である黄灰褐色砂礫層を上幅2.0ｍ，下幅3.5ｍ，高さ0.6ｍ程削り残し，その上に0.2ｍ程に地山層を多量に含んだ土を盛り土している。土塁内側裾部には溝跡が併走するが，溝跡底面近くで地山層を主体とした人為的堆積土層が認められたことから，土塁が造成されていたのは中世まで遡ると推定される。盛り土整地層は，調査区北東辺に沿って幅３ｍ～４ｍ，最大厚さ0.8ｍの規模で認められた。盛り土は焼土粒と炭化物粒を含む明灰褐色土と暗灰褐色土とで施されているが，特に固くたたき締められてはいない。

城跡北半部においては本丸に相当する郭であったが，建物跡や土坑等の遺構は全く検出されなかった。このことは，調査区が郭の北端に位置するため，元々建物などの施設は存在しなかったのか，あるいは廃城時かそれ以後に大きく削平を受けて遺構が消滅したことが考えられる。平坦面で検出された地山層がハードローム層であることと，削り残しを主体とした土塁の残存状態を考慮すれば，築城時および改築時の改変以後は大きな削平はなかったと思われる。つまり，平場１の北端部(調査区内)は城郭が機能していた段階でも居住空間としては利用されていなかったと考えられる。平場１からの遺物出土は少ないが，白磁片が出土している

(2)平場２・３(第11図)

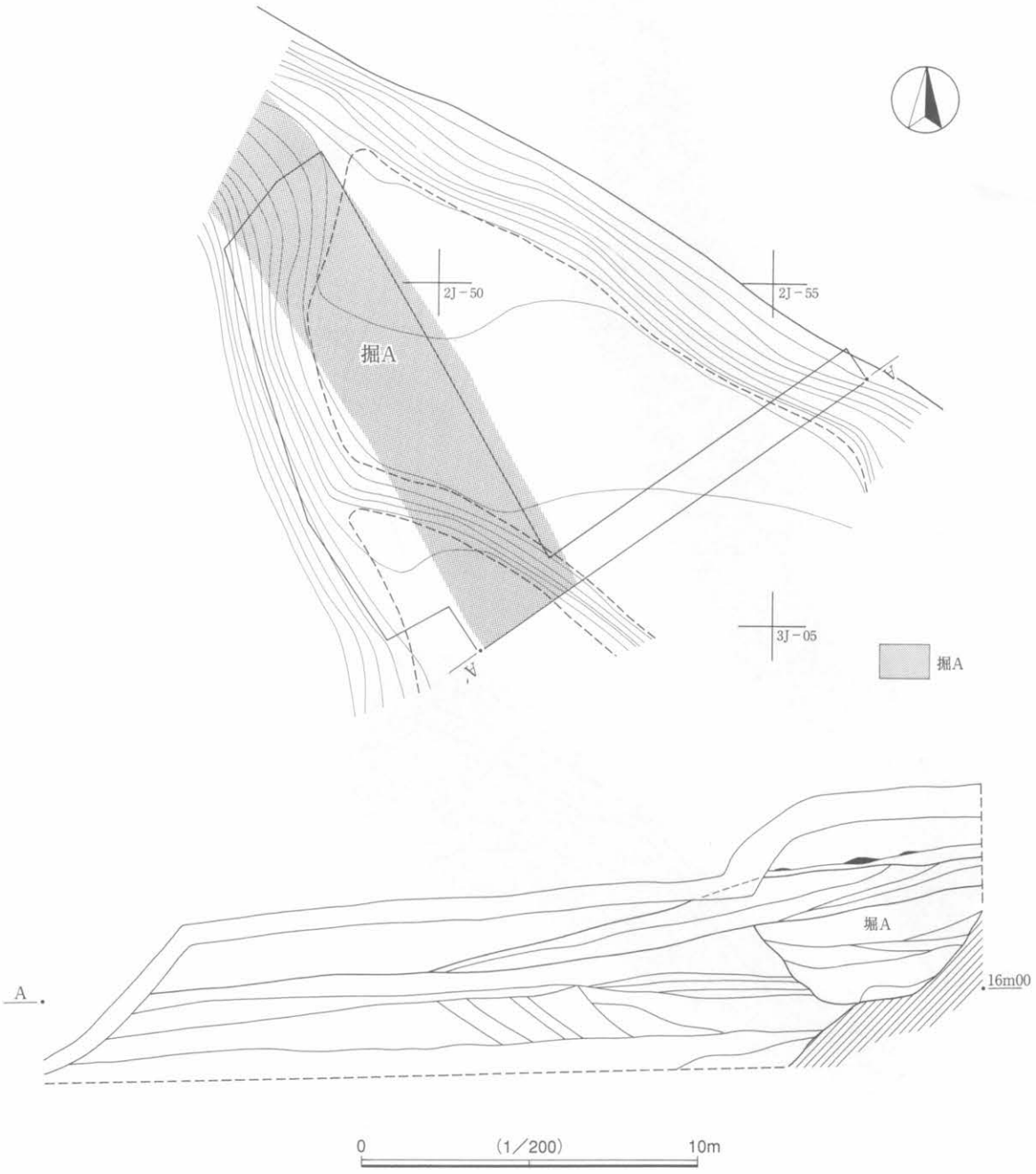
調査区のもっとも東側に位置し，現道と平場６・７の間に位置する。土壙やピットなどの遺構は検出されなかった。平場２は東西60ｍ，南北９ｍ～11ｍ，標高16ｍ～17.5ｍを測る平坦な平場である。平場の北側は２ｍ程下に城跡裾部を巡る道路が通り，さらに１ｍ～1.5ｍ下位は水田面となる。このことから平場２は調査区内の平場群の中では最も低位の平場に位置する。平場３は平場２より1.5ｍ上位に位置する。東西42ｍ，南北10ｍ，標高18ｍ～19ｍを測る。

調査方法は土層観察用のトレンチを手掘りで掘り下げたほかは，すべて地山整形面まで重機で掘り下げている。このため検出遺構の構造や新旧の遺構検出面の把握は行っておらず，土層断面からの観察のみしかできなかった。

平場２・３は，廃城後も大きく改変されず，腰曲輪としてとらえて調査に着手した。ところが土層断面の観察から，平場２と平場３を画する段差よりも下位から1707(宝永４)年に噴火した富士山の火山灰(宝永テフラ)が層位的に検出された。このことから平場２および平場３は城郭遺構とは全く関係ないものであったことが考えられる。さらに宝永テフラ層より下位から堀跡とそれに先行する盛り土整地層が検出された。

堀Ａの山側は岩盤層である灰黄白色軟質泥岩を掘り込み，沖積地側は盛り土層を掘り込んでいる。堀Ａは，上幅3.5ｍ，深さ1.2ｍ～1.8ｍを測る。覆土はローム土を主体とした人為堆積である。堀Ａの走向および全長は調査区外に延びているため不明であるが，少なくとも山裾に沿って約14ｍは確認された。

第10図　平場１　全測図・土層断面図

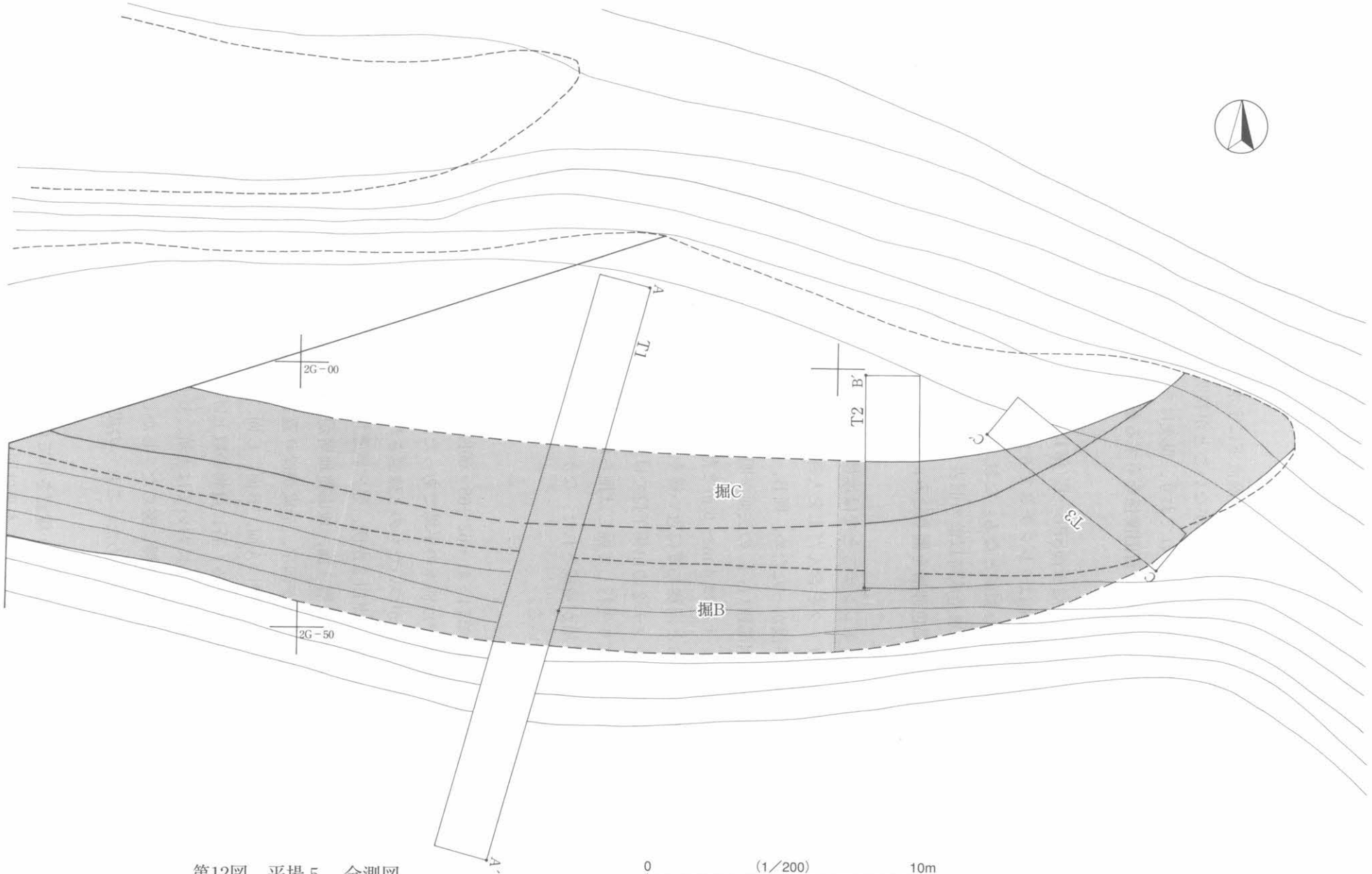


第11図　平場２・３　全測図・土層断面図

⑶平場４・５（第12・13図）

調査区の最も北に位置する。現況地形図から平場４と平場５を設定したが，調査範囲の確認によって平場４は事業地外となり，平場５のみ調査を実施した。遺構としては堀Ｂと堀Ｃが確認された。堀Ｂは調査時点では「堀古」として遺物取り上げや図化されている。また，堀Ｃは調査時点では「堀新」として扱われていた。堀ＢとＣは切りあっており，堀Ｃが古く，堀Ｂが新しい。東西67m，南北10m，前後の細長い平場で，標高は24m～25mを測る。水田面との比高は11m程である。

調査は平場５の東半部を対象とした。しかし，調査期間の制約から手掘りでの調査は土層堆積現況の観察および遺構の有無を確認するために入れた３本のトレンチのみで，残りは重機を使って堀跡肩部の検出



第12図　平場５　全測図

を実施した。

平場５の現況では，土層堆積の観察から表土層直下に宝永テラフ層(1707年噴火)が面的に認められたことから，廃城時の形状とあまり大きな違いがないことが判明した。ただ，城が築城，改築，廃城された各々の段階では大規模な改変が常に行われており，現況はあくまでも廃城後の形状に近かったことを示しているにすぎない。検出された遺構は新旧関係を有する堀跡(堀Ｂ，堀Ｃ)と，堀が掘られる前に構築された盛り土整地層である。

堀Ｂは，トレンチ２(Ｔ２)の土層断面SPB－B'(第13図)，およびトレンチ３(Ｔ３)の土層断面SPC－C'(第13図)で確認できる。堀の上幅はトレンチ３で６ｍ，深さはトレンチ２・３の状況から1.5m～２ｍである。法面は45度に近く緩やかな傾斜となる。なお，法面はトレンチ２(Ｔ２)では山側(左手)は不明だが，裾側(右手)は下側を盛り土整地層造成時以前の旧表土層を掘り込み，上位を堀Ｃの覆土を切り込んでいる。Ｔ３では山側を地山層である褐色砂層を掘り込み，裾側は上位を堀Ｃの覆土を，下位は盛り土整地層をそれぞれ切り込んでいる。

堀Ｂの覆土はトレンチ２とトレンチ３とでは堆積状況は異なるが，いずれもソフトローム・ハードローム・灰白色粘土の粒子やブロックを含んだ土を人為的に埋め戻している。なお，トレンチ１(Ｔ１)では堀跡にあたる部分の掘り下げが浅かったため，堀Ｂ，堀Ｃの断面は明確にすることはできなかった。

堀Ｃは，トレンチ２では裾部側(右手)の法面が明確でない。堀の規模は堀Ｂによって切られているため本来の規模は不明であるが，上幅は４ｍ～６ｍと想定される。深さはトレンチ３では0.8mと浅い。法面はトレンチ２の山側では堀Ｂと同様45度に近い緩やかな傾斜であるが，トレンチ３の裾部側は70度近い傾きで立ち上がる。法面はトレンチ２の山側下位では地山層を掘り込んでいる他は，すべて盛り土整地層を掘り込んでいる。また堀Ｂより先行して堀Ｃは掘られている。城郭が機能していた段階の平場４は，大規模な盛り土層によってまず平場が造成された。なかでもトレンチ１(SPA－A')の裾部側では２ｍ以上の厚さの盛り土整地層面となっている。

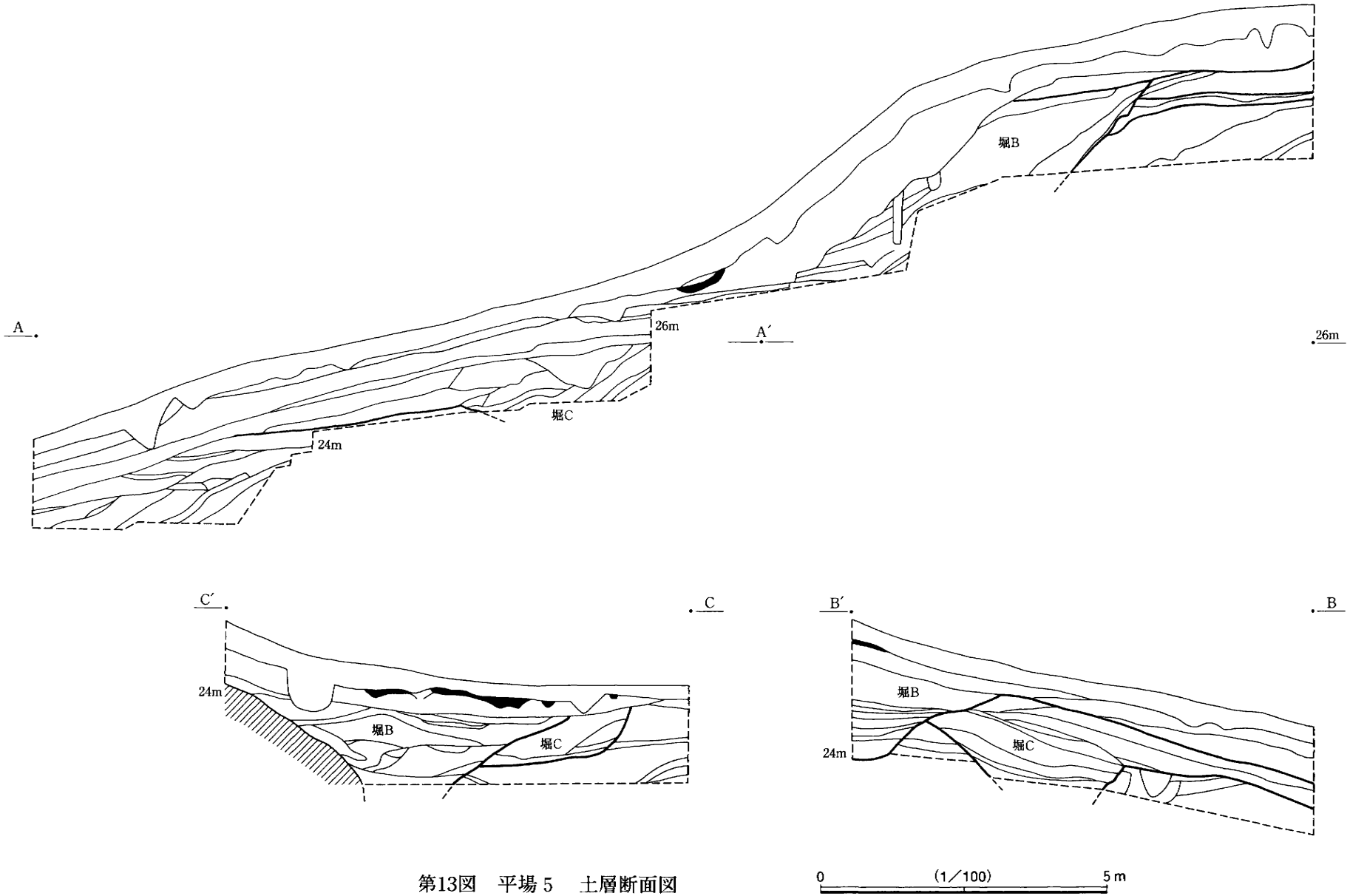
(4)平場６・７と周辺の造成(第14～41・62～65・69図)

平場６・７は，現状の地形では別々の平場であったが，調査が進むにしたがって堀が掘削されていた関係で，後世になって整地され段がついたものと確認され，もとは同じ平場であったことがわかった。

平場６・７からは，堀５条，虎口２か所，竪穴状遺構５基，土坑240基，溝10条と多数のピットが検出された。その他として盛り土整地層３面，地山整地層が１面検出されている。

笹子城跡の調査では，城跡全体が削平，造成が繰り返されており，おぼろげながら整地面による城使用時期が推定されている。発掘調査ではＡ面，Ｂ面，Ｃ面，Ｄ面が記録されており，各土坑，溝なども所属面が遺構一覧のとおり把握されている。特に遺物の取上げについては，個々に出土面の記載が在り，遺物一覧に記載してある。特に平場６・７においては土坑，ピットが非常に多く検出されており，個々の遺構の同時代性を出すのにこの「面」の把握に努めた。しかし，整理作業によって矛盾も生じており，遺構一覧及び遺物一覧に記載した程度にとどめた。これらの成果は，第172図のとおりに，出土層位との関係が認められる。

堀は，堀Ｄ，堀Ｆ，堀Ｇ，堀Ｈの４条が確認されている。堀Ｇと堀Ｈは別々の名称が付けられているが，内枡形遺構によって分けられているだけで本来は同一の遺構である。



第13図　平場５　土層断面図

堀Ｄは，調査時点では「堀Ａ」として調査をしている。堀Ｄの南側法面，平場１に近い側は斜面になるため完全に表土層を除去していない。堀Ｄの覆土は自然堆積の後に，再掘削されている。この堀Ｄの覆土中位の平坦面から五輪塔・宝篋印塔の部材が出土している。これは平場１から捨てられた状況であった。このことは，落城によって過去を否定する一般的行動を考えれば，「戦いに勝利→敵・前任者の墓を破壊→墓石を廃棄」ということになり，この時期に笹子城跡に大きな変化があったものと推定される。このことは堀Ｐでもみとめられることで，後述するように切り合い関係のない堀の同時代性を示す根拠となる。時期はⅡ期の新段階と推定されるため，Ⅱ期古段階は落城前と考えられる。

堀Ｅは調査時点では「堀Ｂ」と呼ばれていた。堀Ｅは発掘調査の所見からＣ面から掘削されていることがわかった。堀Ｆは調査時点では「土坑014」と，また，堀Ｇは調査時点では「土坑016」と呼ばれていた。研究連絡誌執筆時に「堀」に付け替えられている。

堀Ｈは調査時点では「堀Ｃ」と呼ばれていた。土層断面の観察から堀Ｈには障子堀が掘られていたことが分かる。

次に特徴的な遺構について触れたい。調査時「Ａ003号跡」は「土坑003」に遺構番号を付与した。覆土中から骨片，石塔，擂鉢，鉄製品が出土している。骨片は第１層から出土しているが，全体に散乱している。石塔類は一か所にまとまっている。中央部からは礫石が認められる。「Ｈ７－018号跡」は「平場７の土坑018」で，Ａ面から検出された。人骨の歯と古銭が出土している。土坑墓としては規模が小さいので火葬墓か再葬墓と思われる。

土坑421と土坑422は３Ｆ－82から検出された。人の頭骨片が出土している。遺構の性格は不明である。人骨の下に小土坑がある。また，周辺からは銭貨が出土している。

虎口が２カ所確認された。１カ所は堀Ｆと堀Ｇによって構成されており，堀ＦがＬ形に屈曲し，内舛形虎口を呈している。また，堀Ｅには階段虎口があり，堀Ｅから階段状に整地面に移動できるような構築になっている。

平場６・７の調査によって，Ａ面からＤ面の区別，および堀の切り合い状態から，Ⅴ期の変遷が認められた。（第24表）

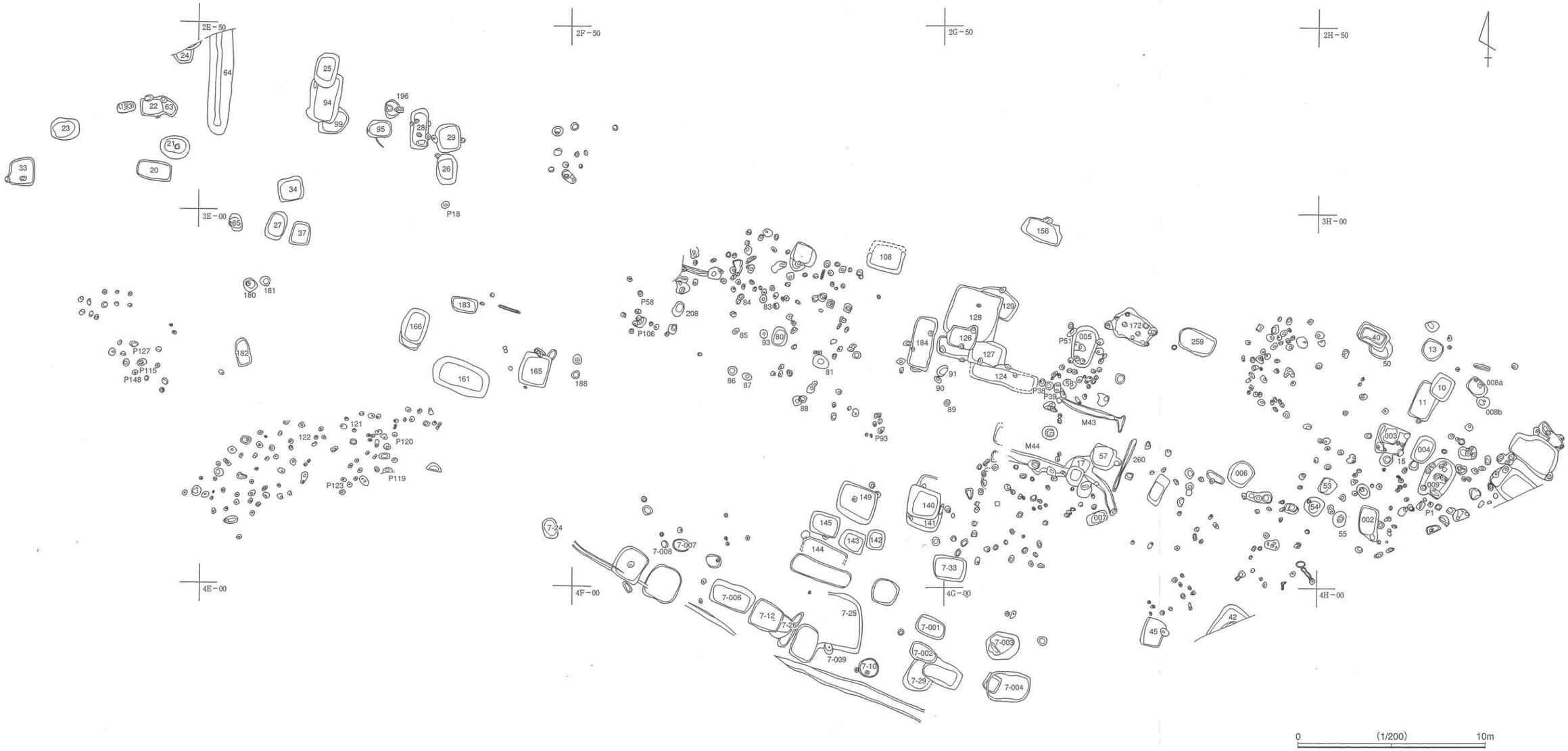
Ⅰ期　上位盛土整地層面

Ⅱ期　中位盛土整地層面

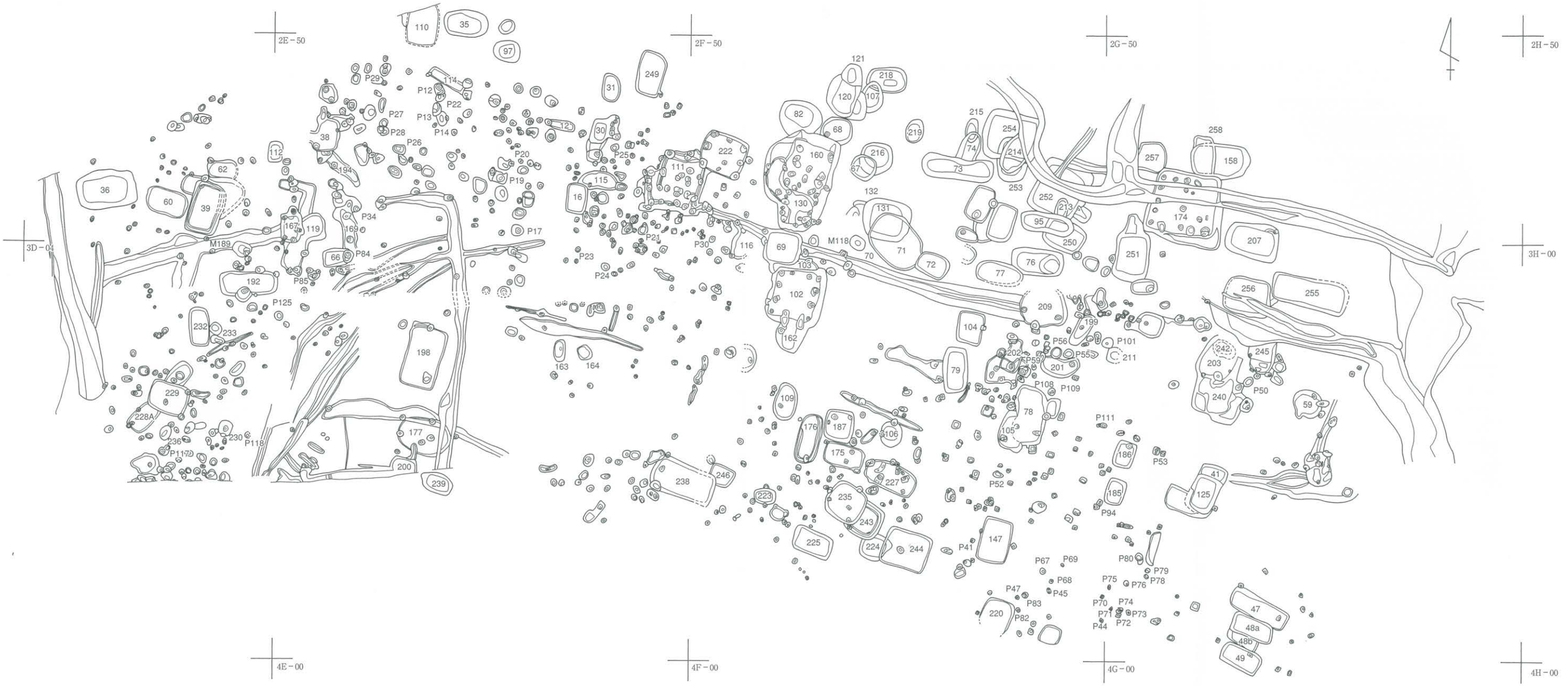
Ⅲ期　下位盛土整地層面

Ⅳ期　地山整地層面＋縁辺部盛土整地層面

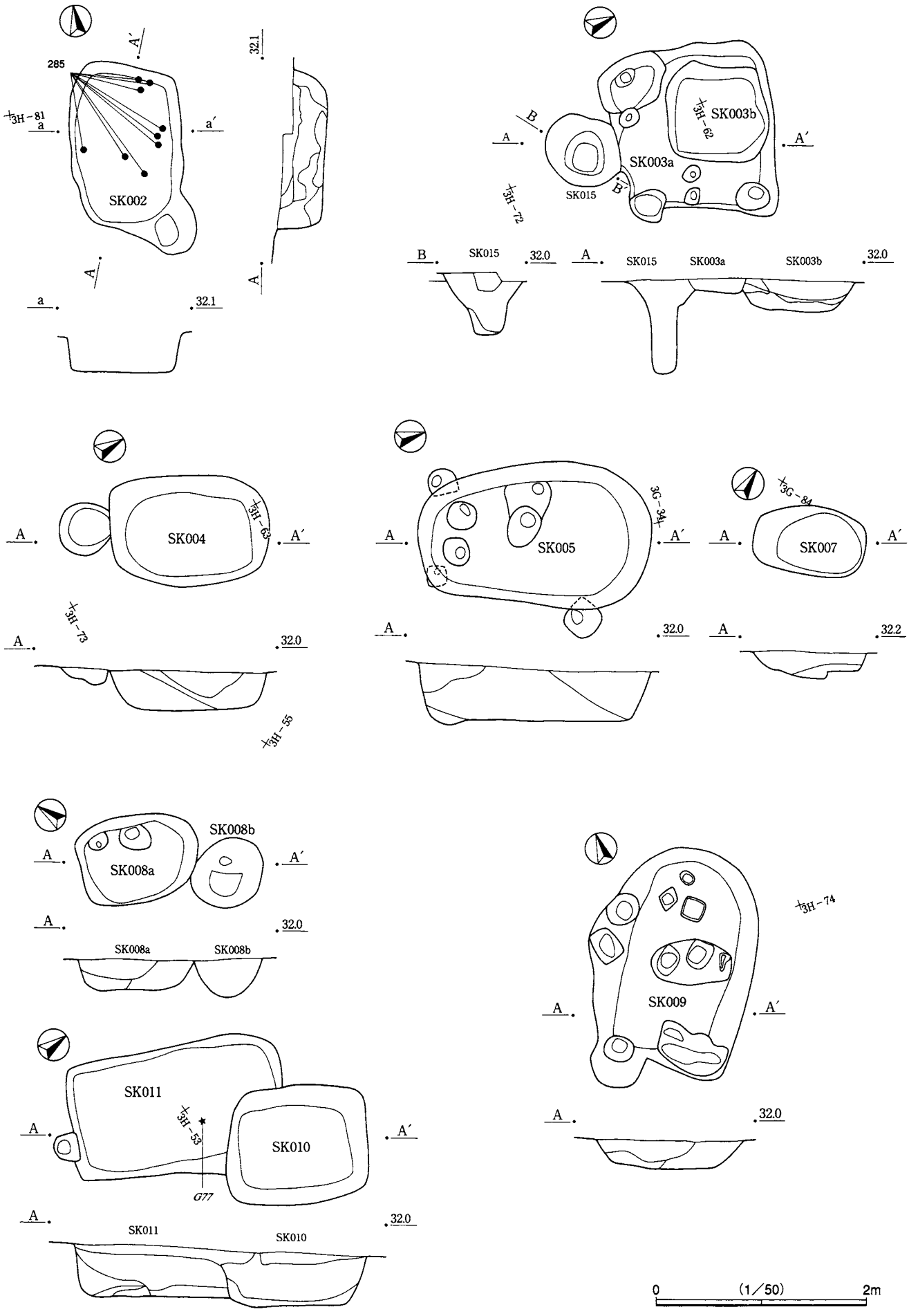
Ⅴ期　自然地形面



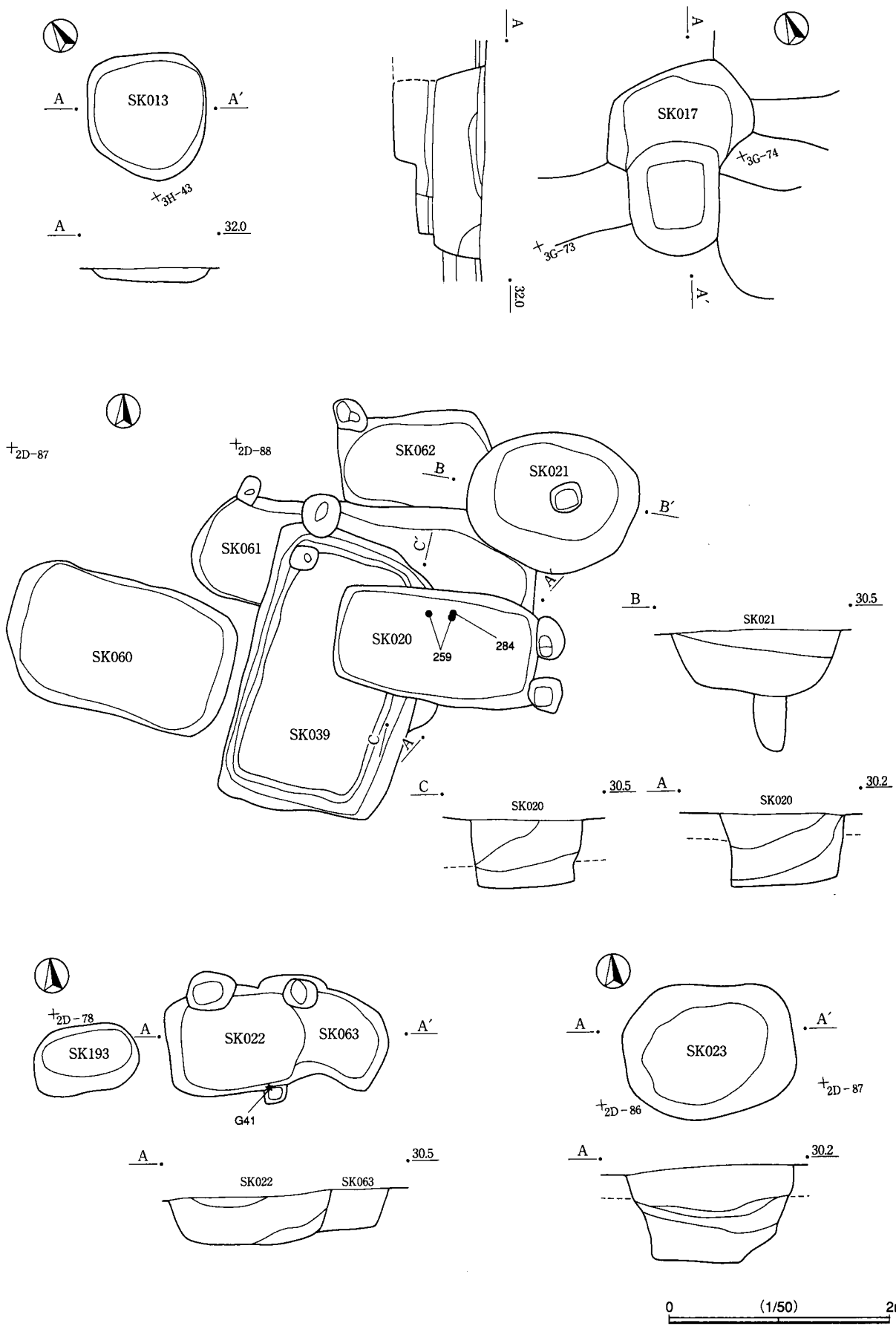
第14図　平場６・７　全測図（A面）



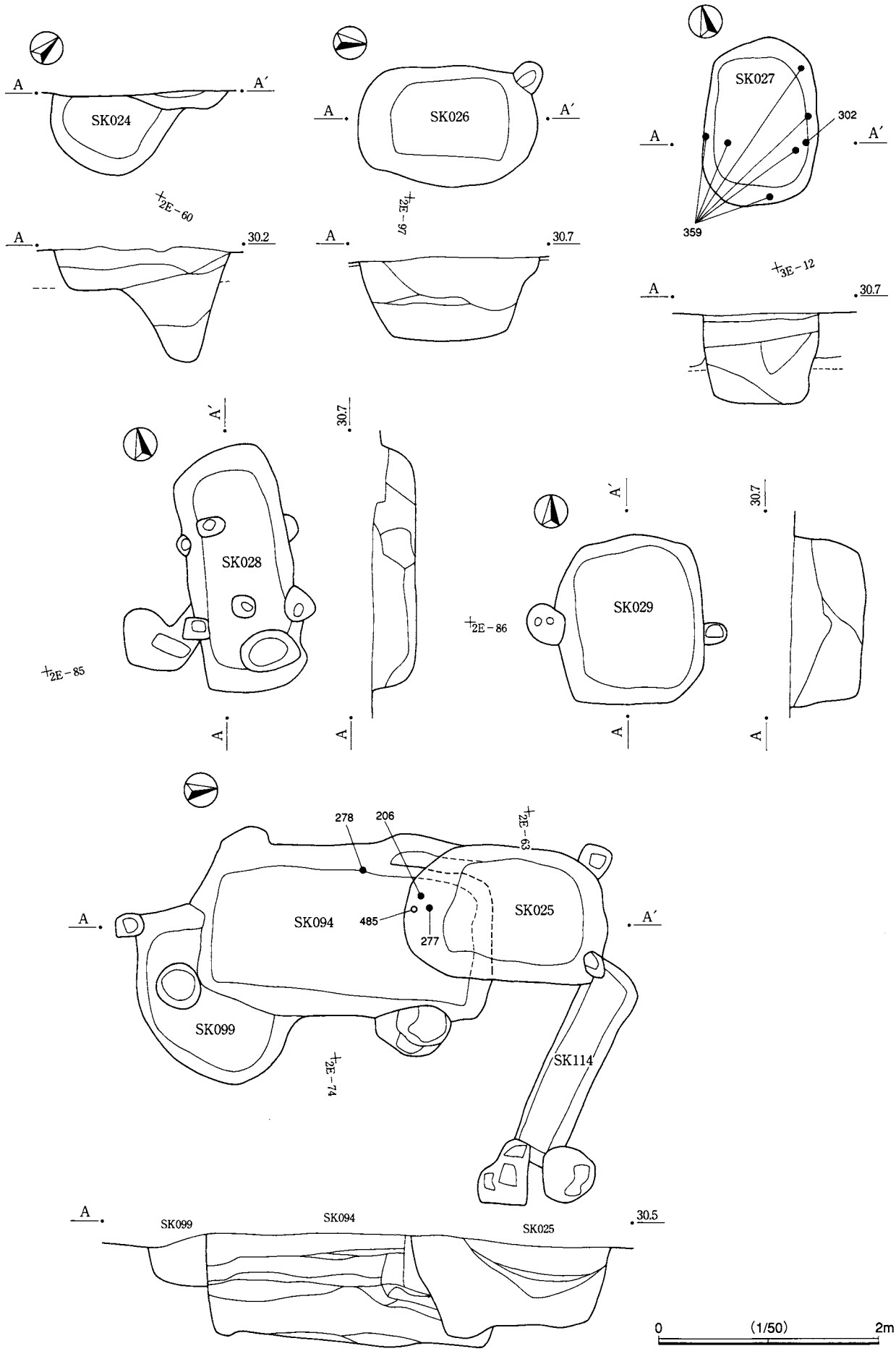
第15図　平場６・７　全測図（Ｂ・Ｃ面）



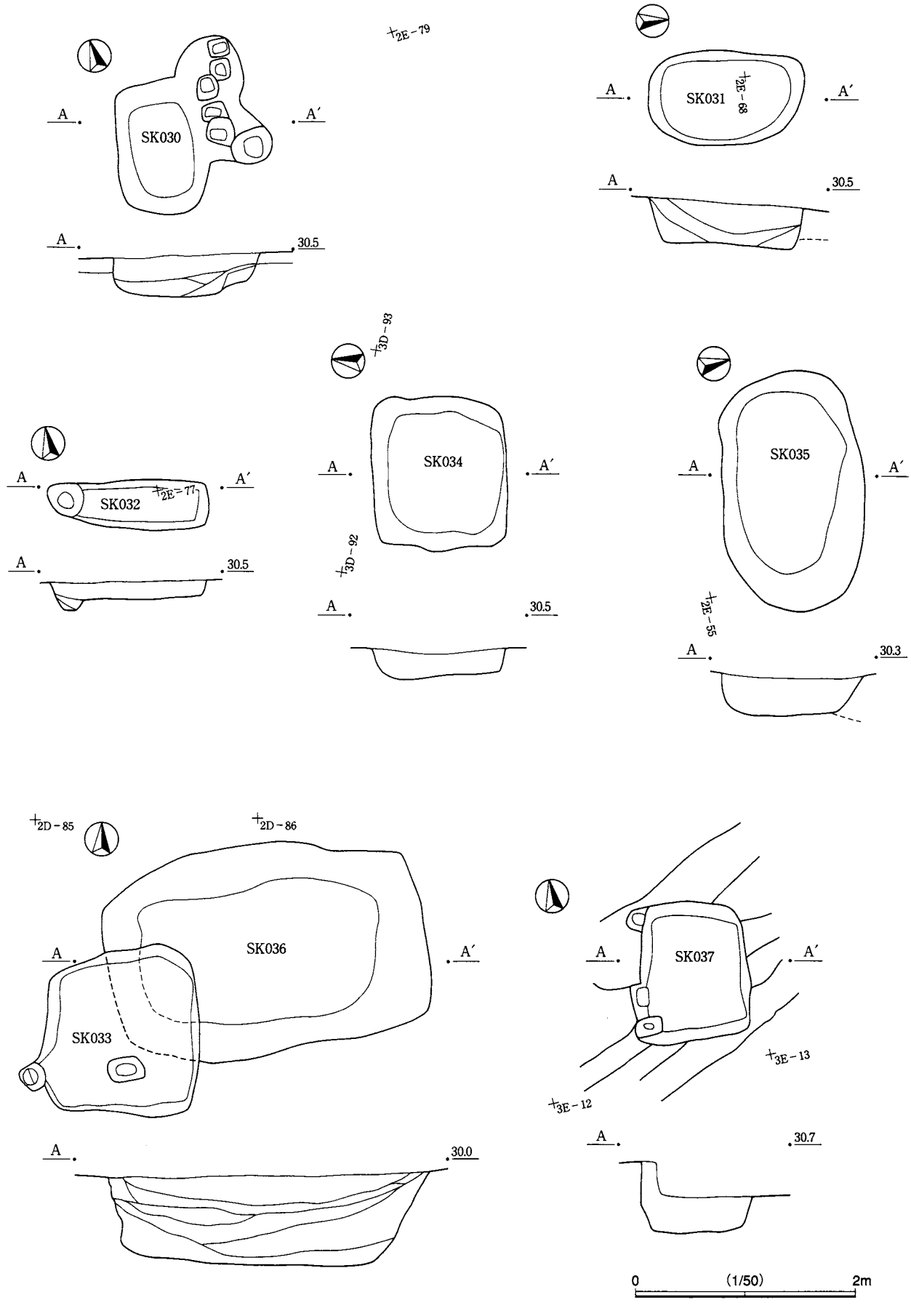
第16図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図（1）



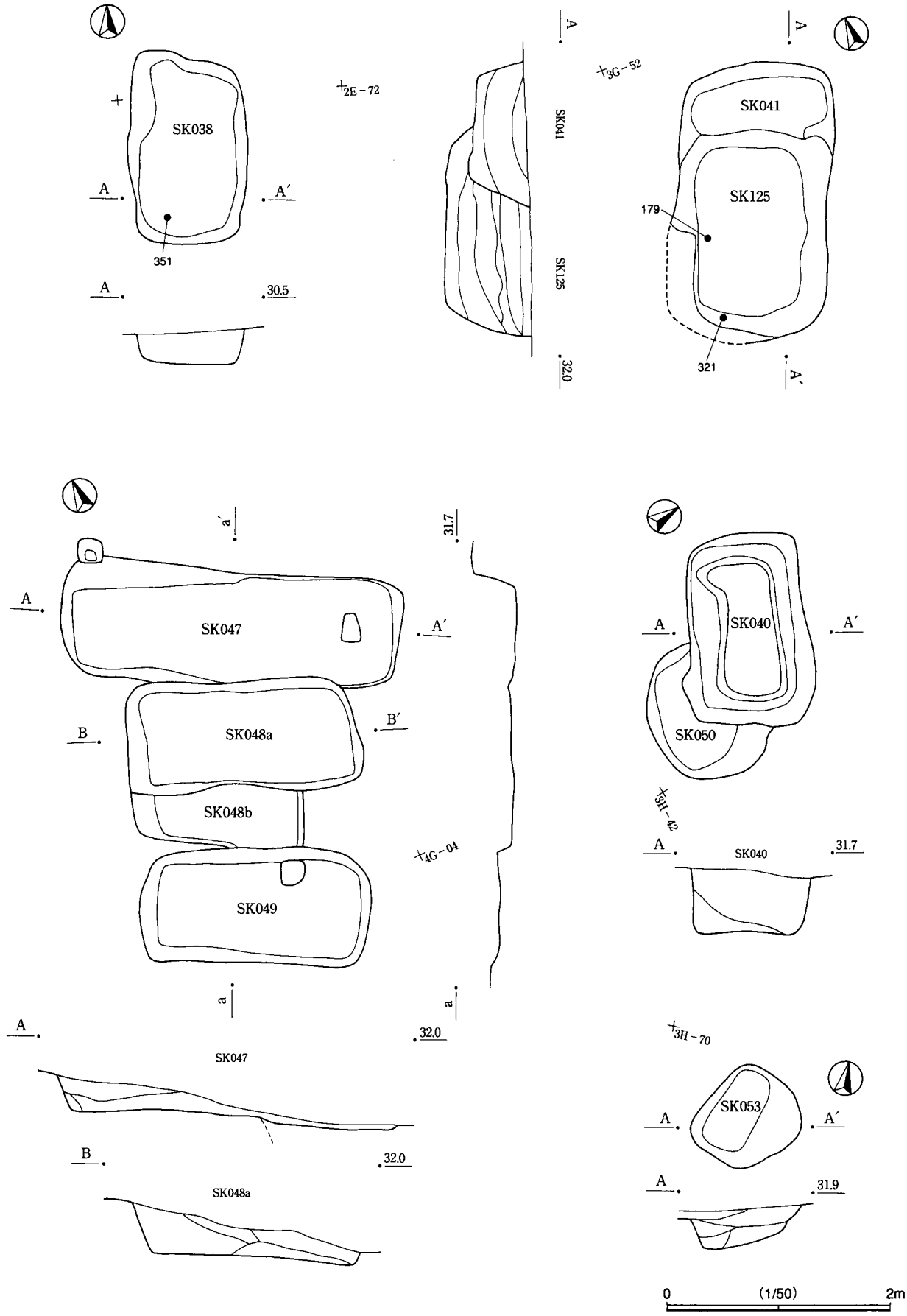
第17図　平場６　遺構実測図・遺物出土状況図（2）



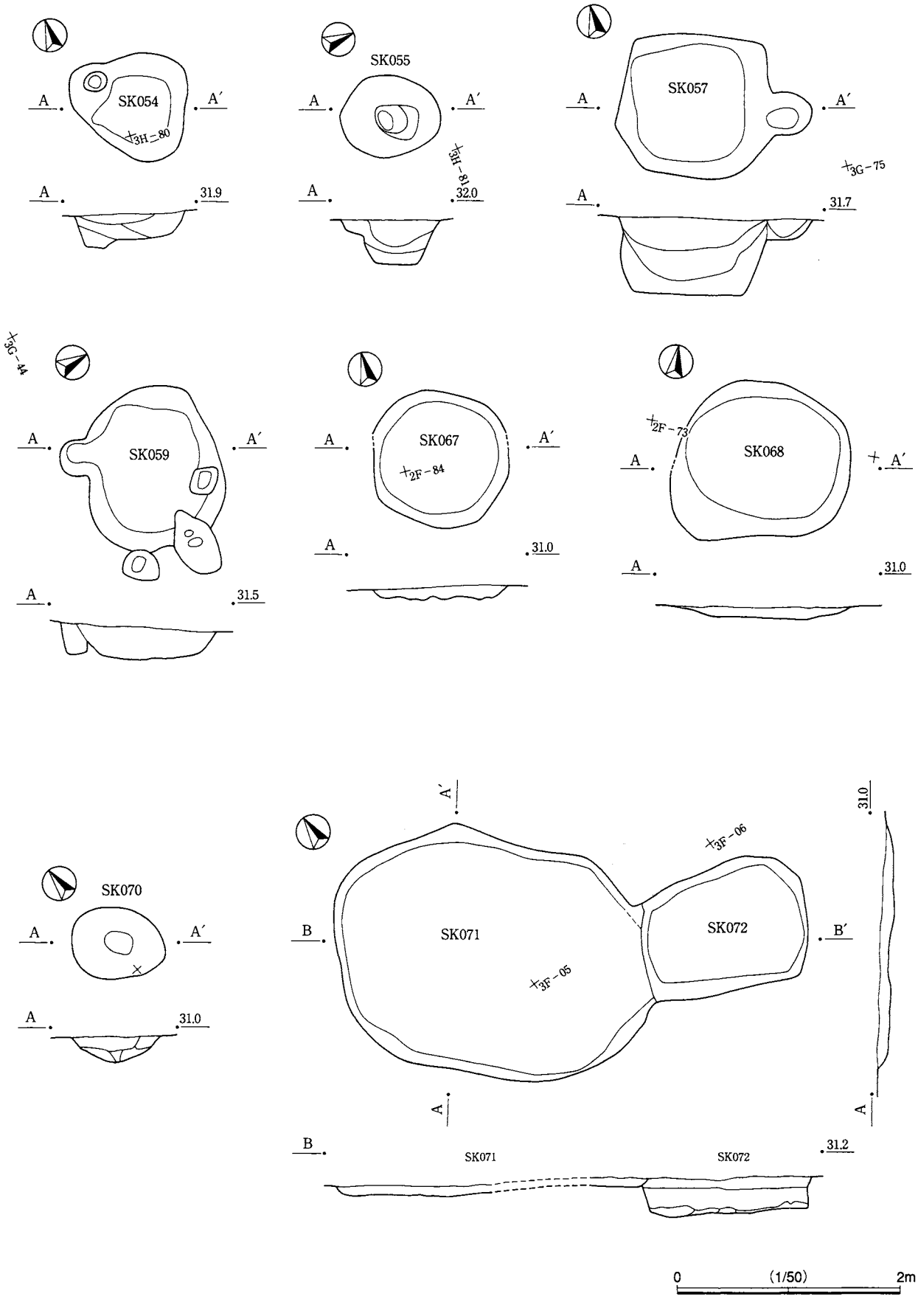
第18図　平場６　遺構実測図・遺物出土状況図（3）



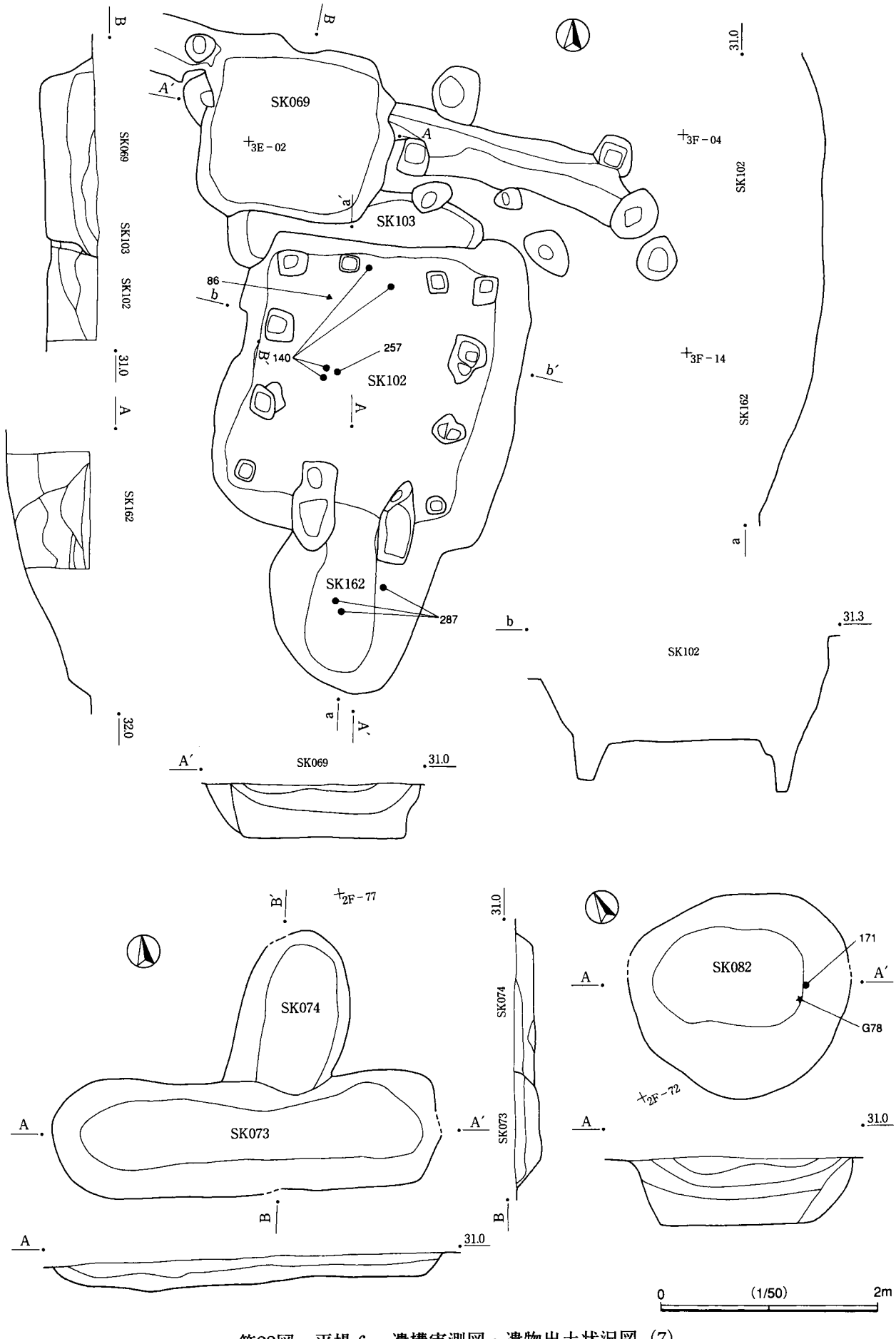
第19図　平場６　遺構実測図・遺物出土状況図（4）



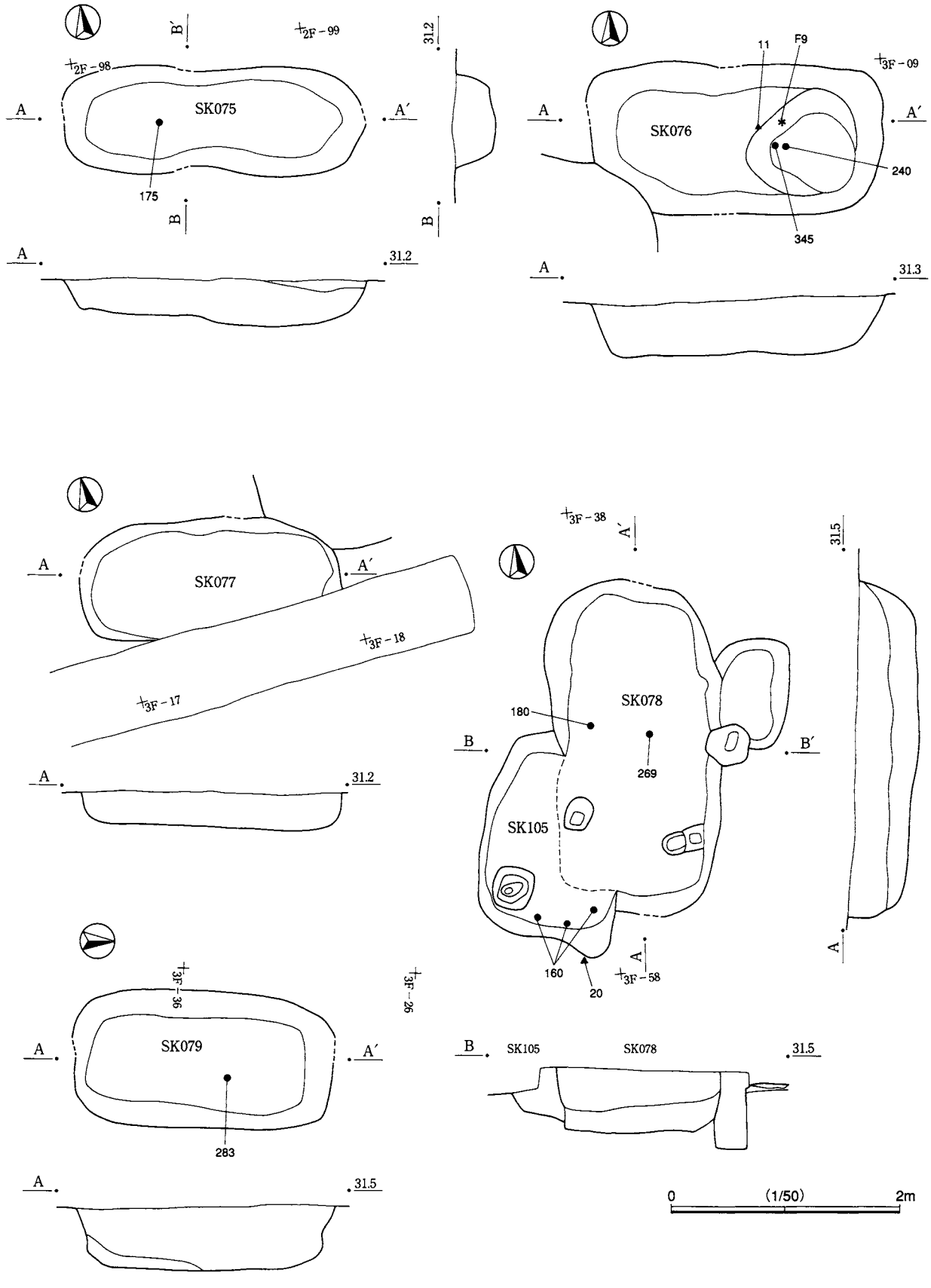
第20図　平場６　遺構実測図・遺物出土状況図（5）



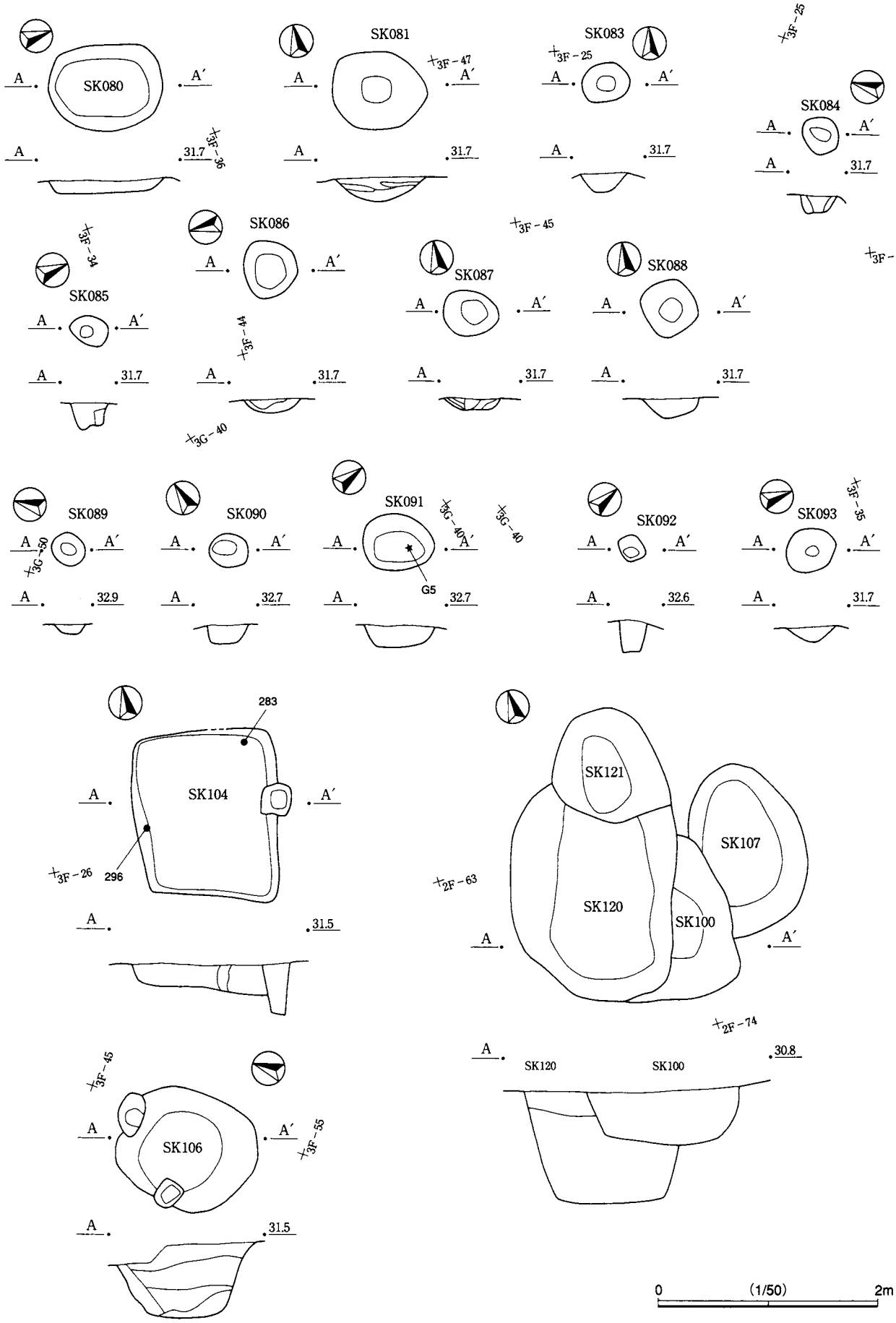
第21図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図（6）



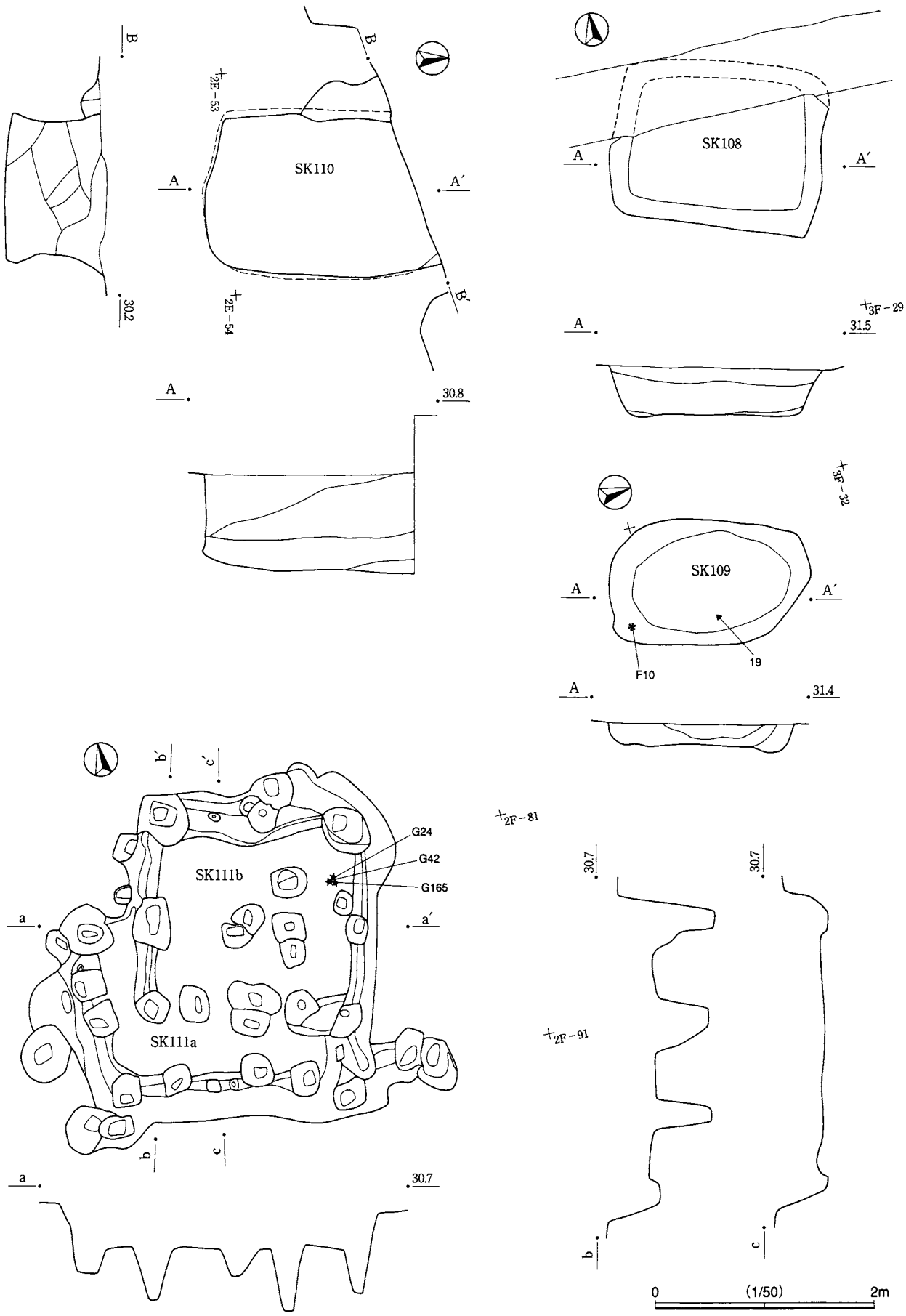
第22図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図（7）



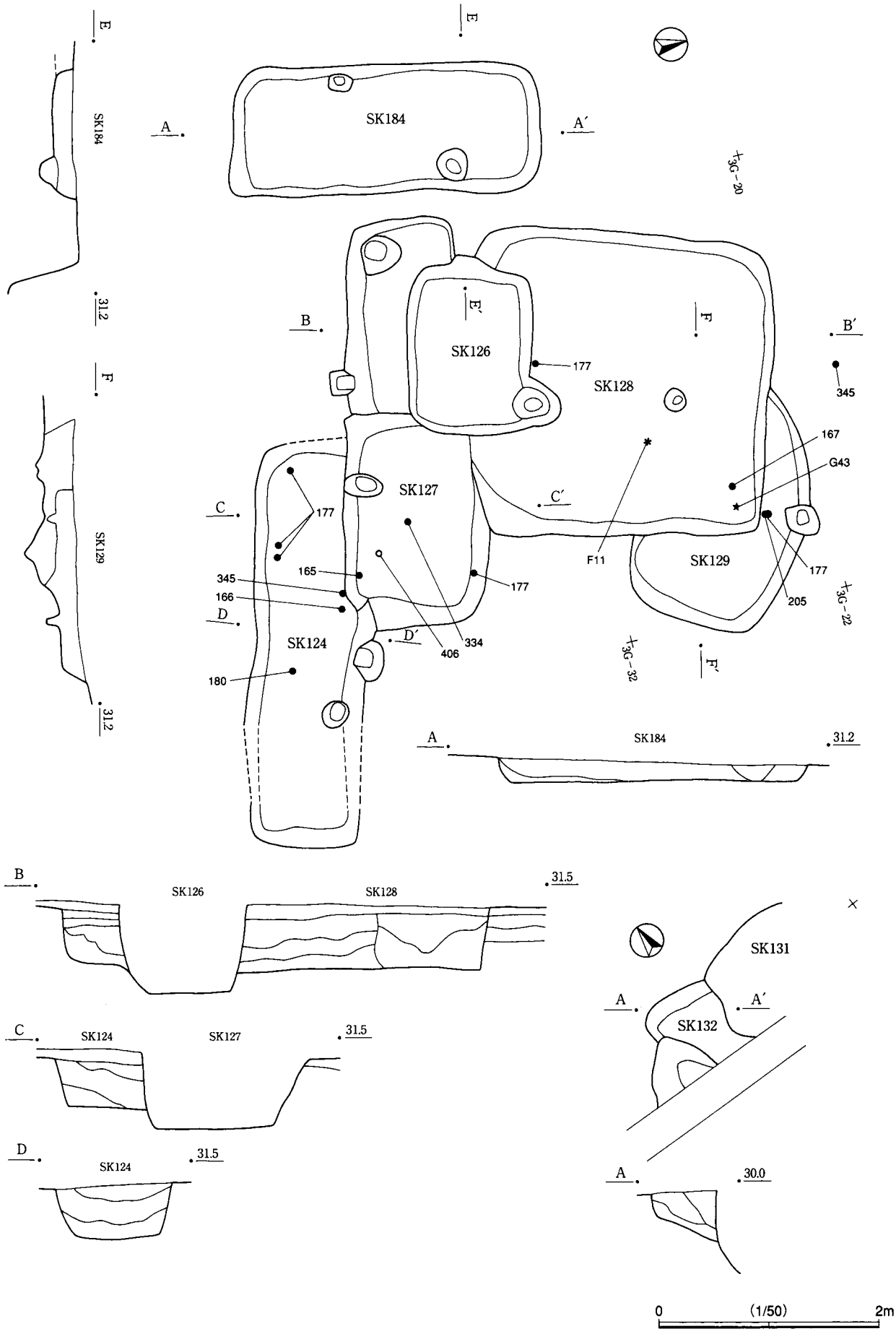
第23図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図（8）



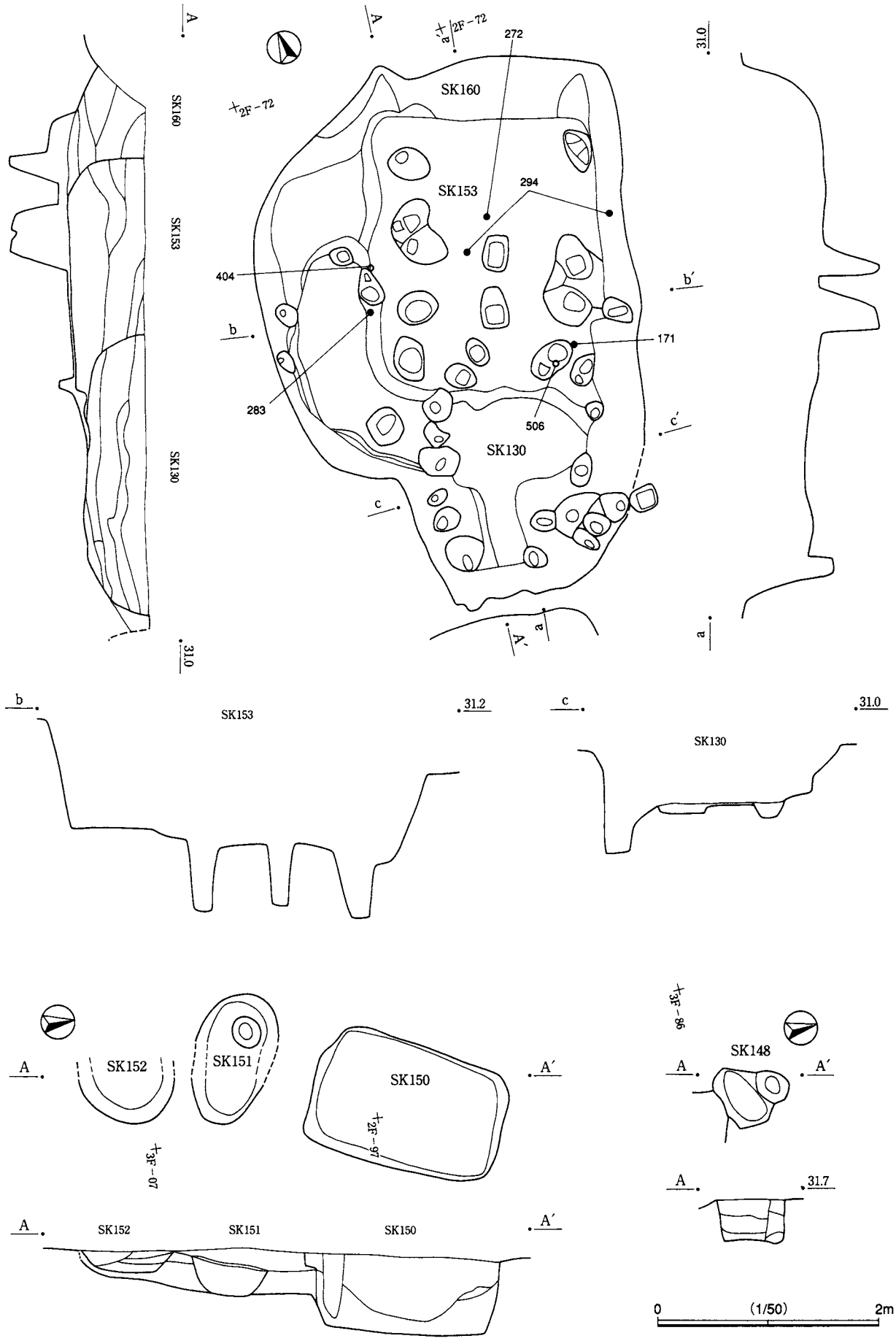
第24図　平場６　遺構実測図・遺物出土状況図（9）



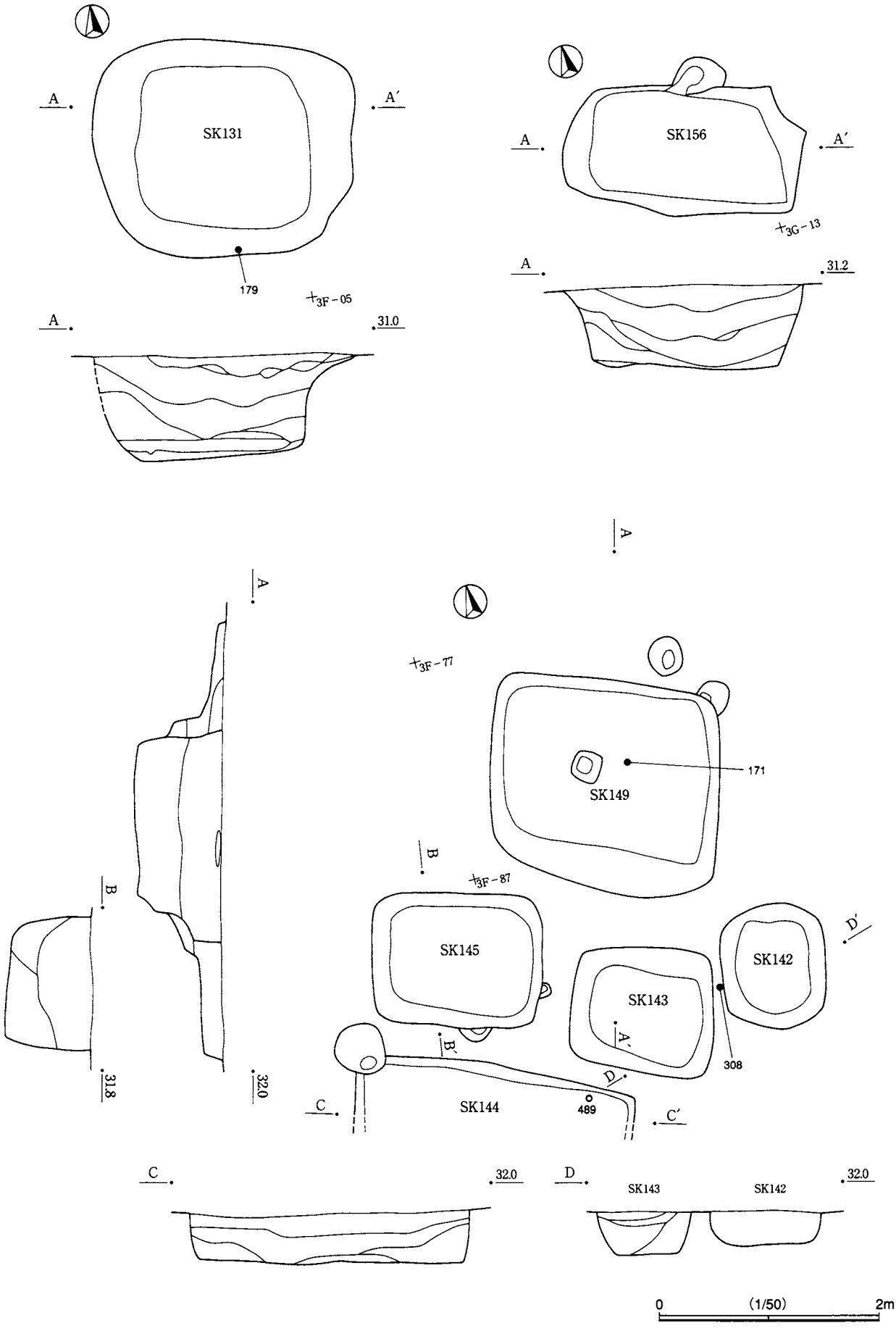
第25図　平場６　遺構実測図・遺物出土状況図（10）



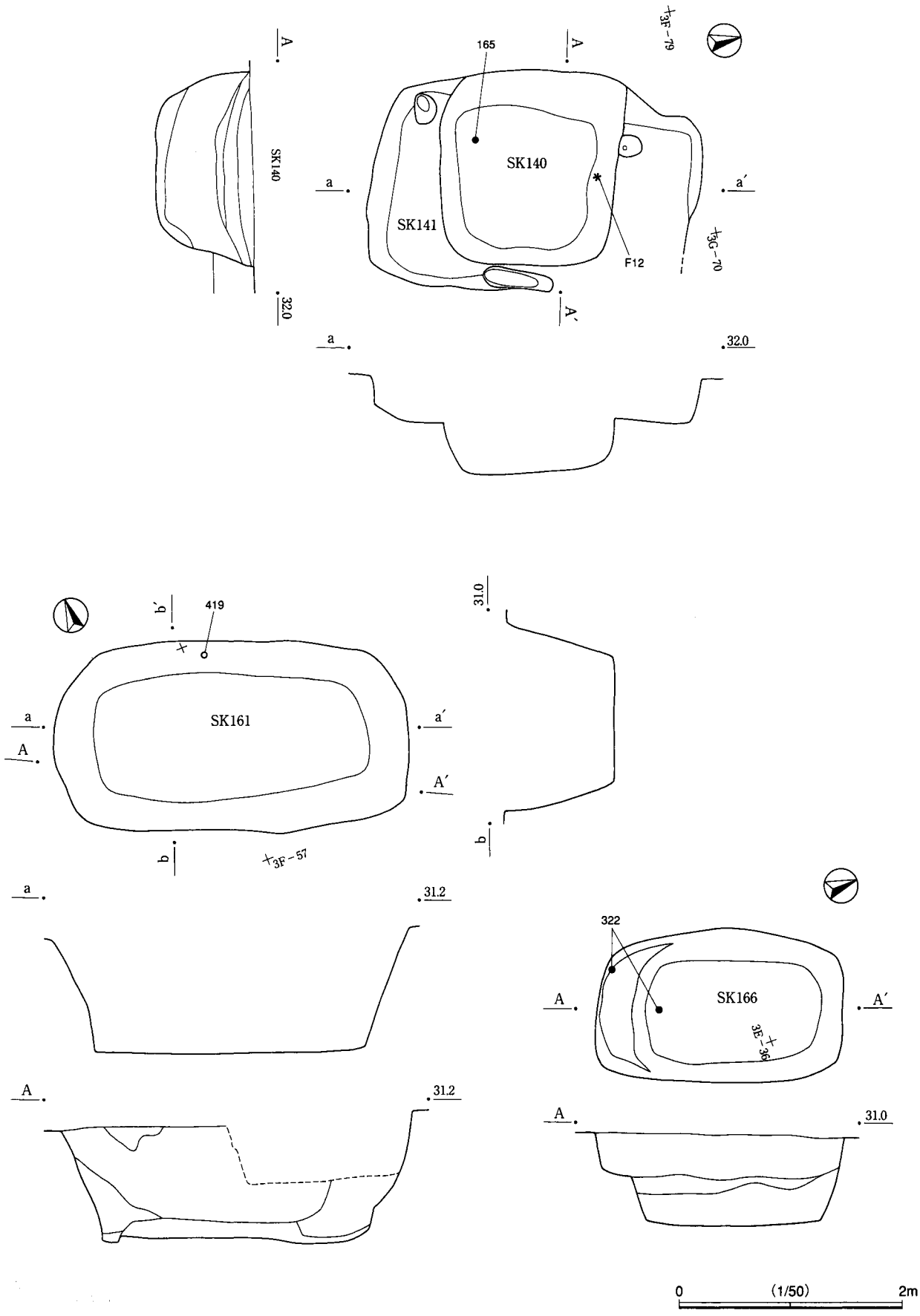
第26図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図（11）



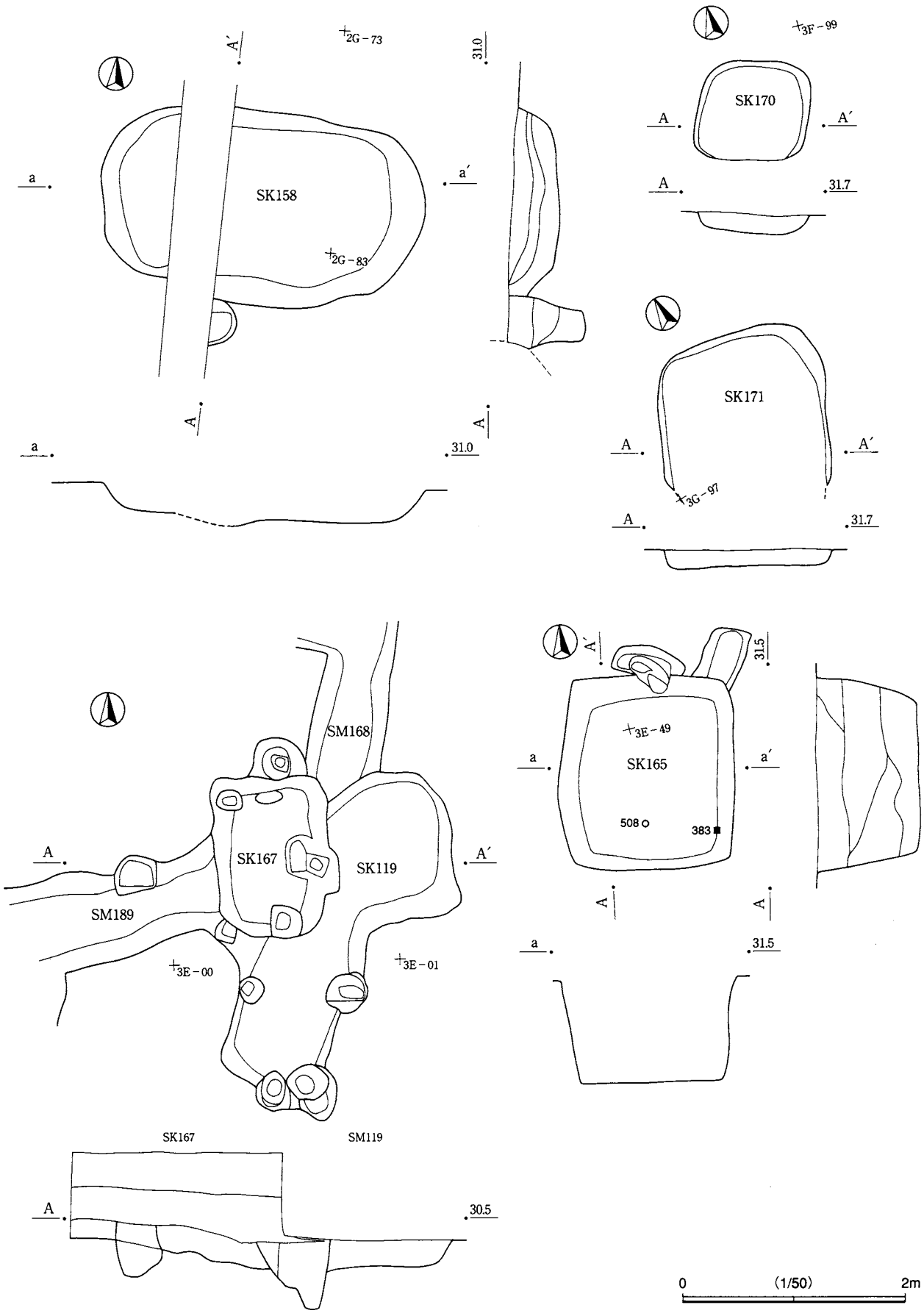
第27図　平場６　遺構実測図・遺物出土状況図（12）



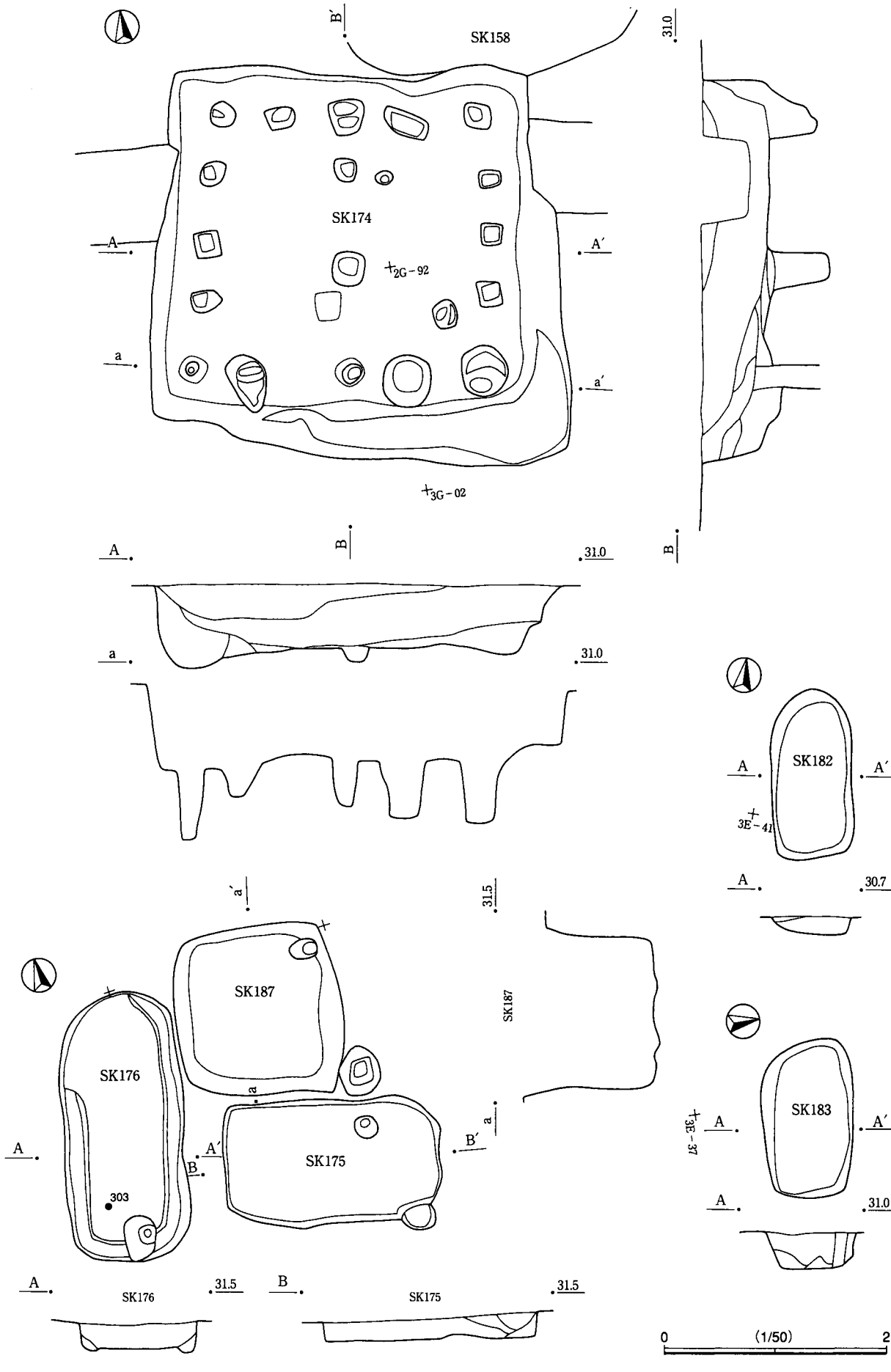
第28図　平場 6　遺構実測図・遺物出土状況図（13）



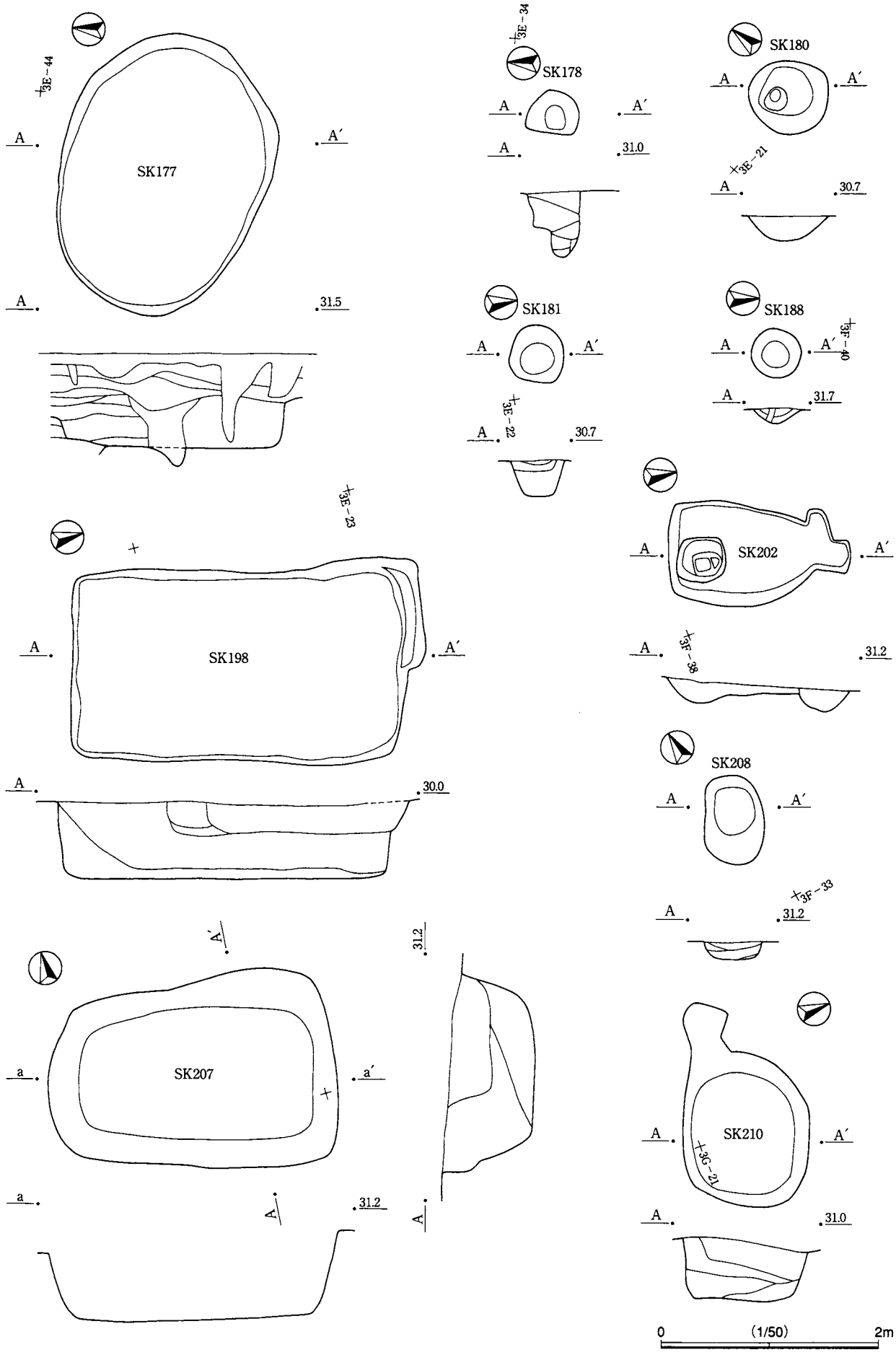
第29図　平場 6　遺構実測図・遺物出土状況図（14）



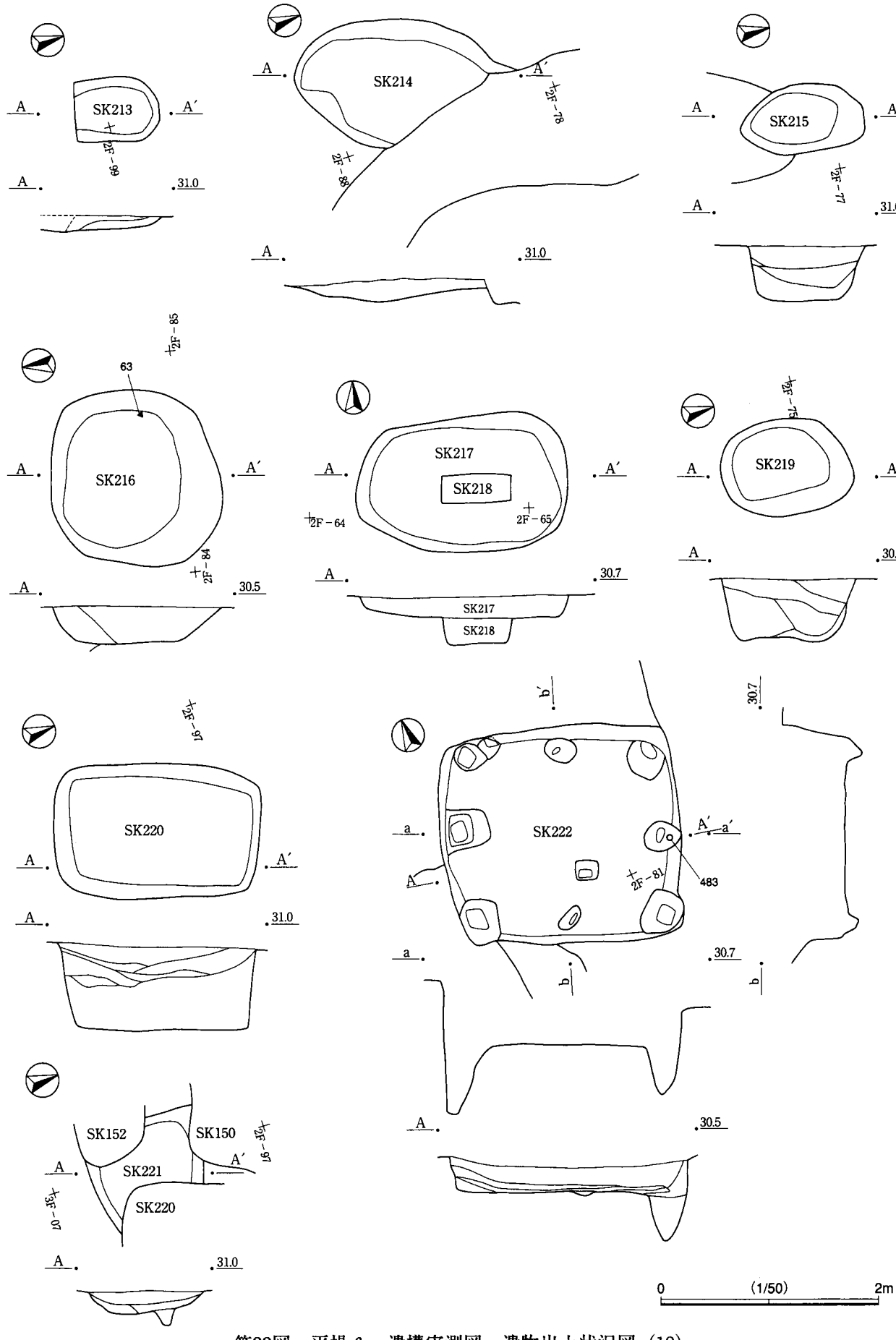
第30図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図（15）



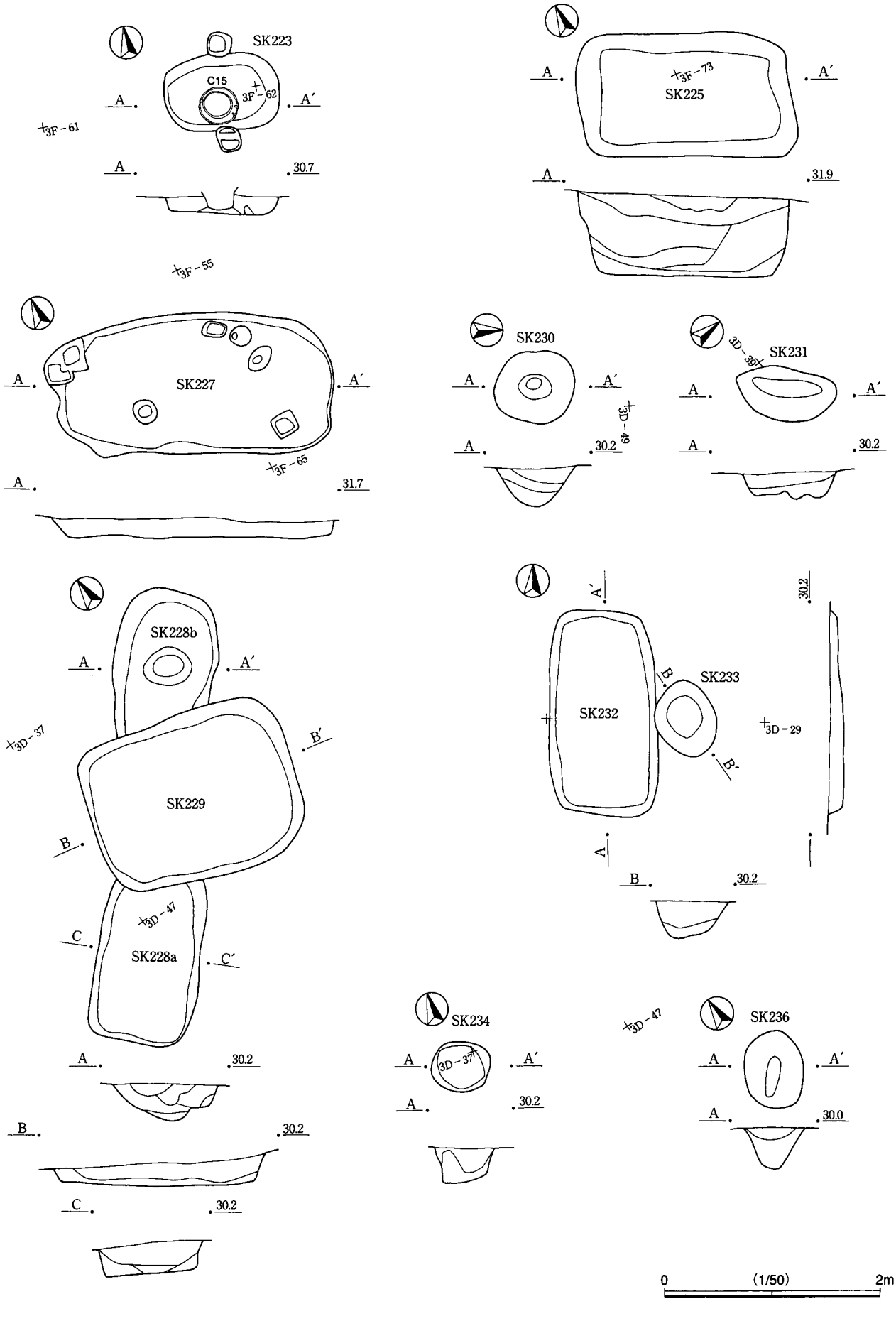
第31図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図（16）

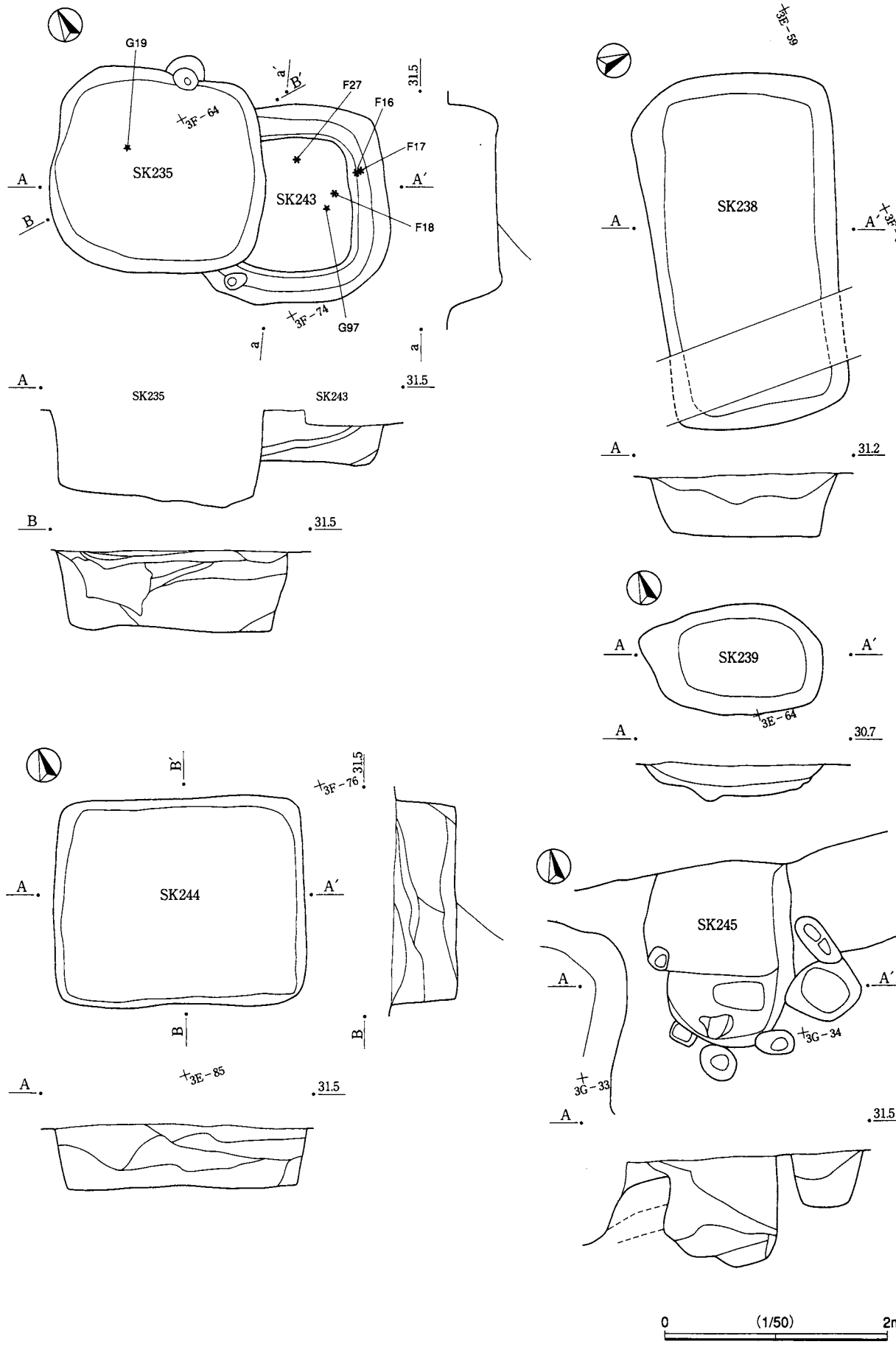


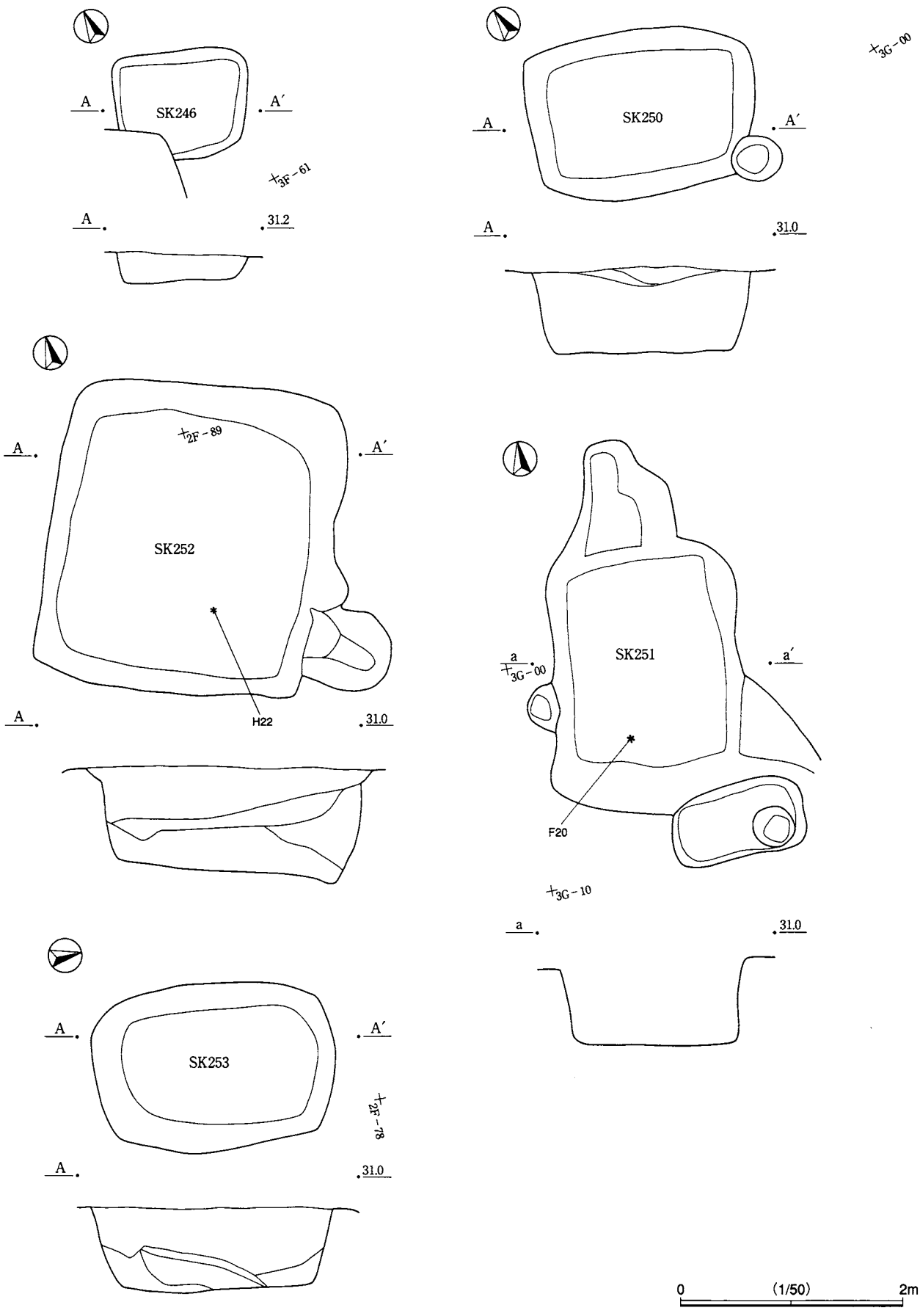
第32図　平場６　遺構実測図・遺物出土状況図（17）



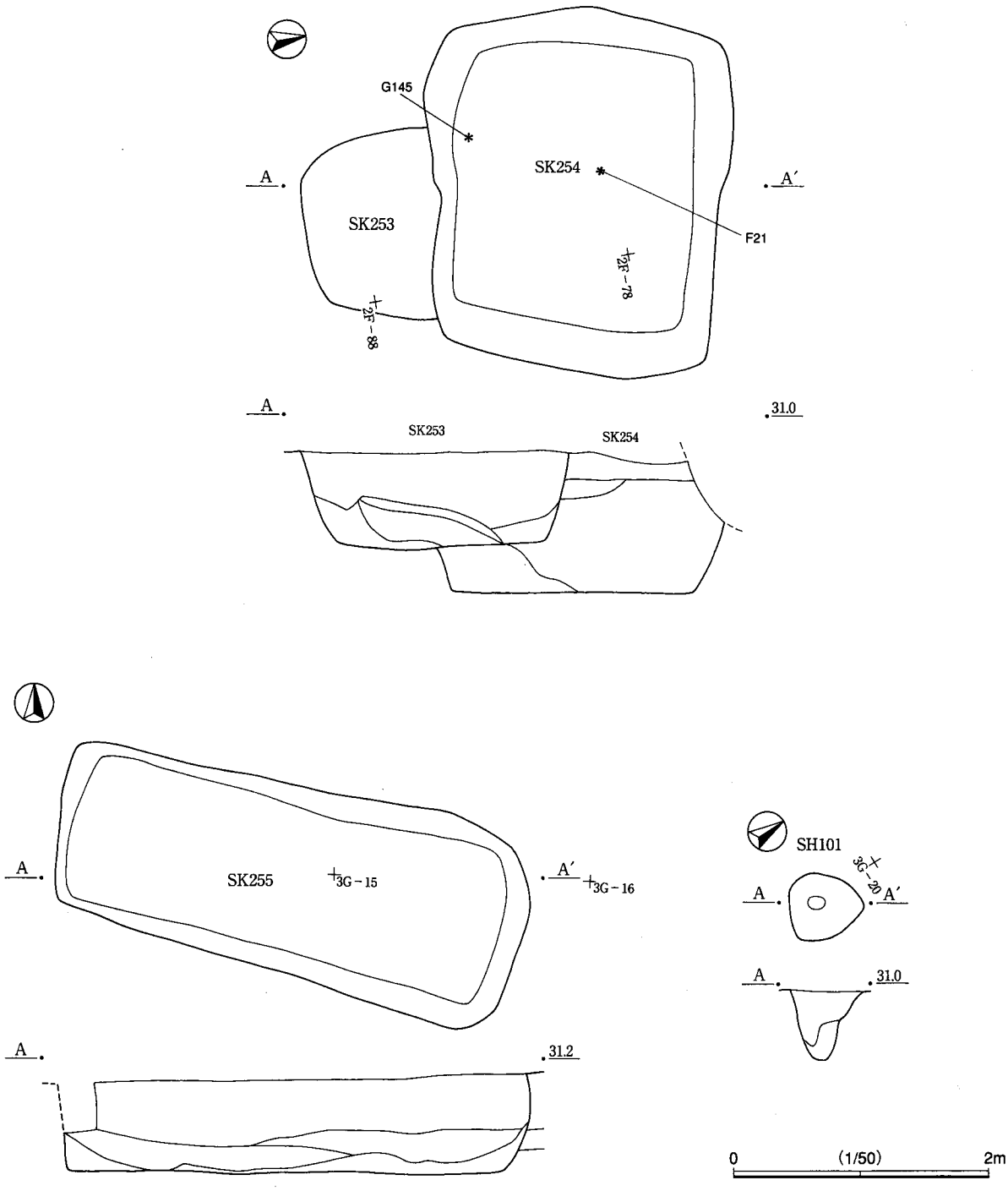
第33図　平場６　遺構実測図・遺物出土状況図（18）


SK223
C15
3F－62
3F－61
A
A′
30.7
3F－55
SK225
3F－73
31.9
SK227
3F－65
31.7
SK230
3D－49
30.2
SK231
3D－38
SK228b
3D－37
B
B′
SK229
3D－47
C
C′
SK228a
SK232
SK233
3D－29
SK234
3D－37
SK236
30.0
0
(1/50)
2m

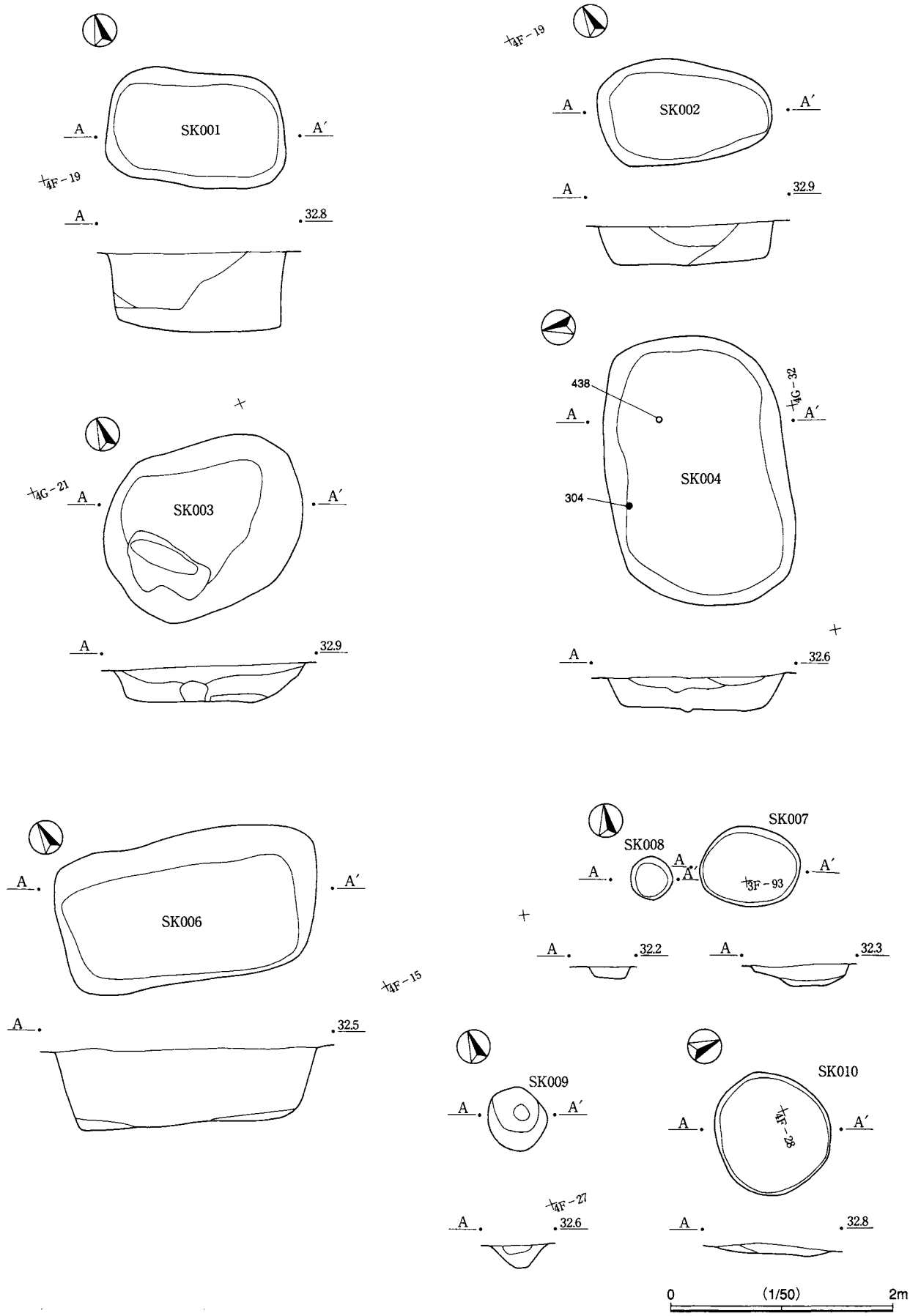

G19
SK235
SK243
F27
F16
F17
F18
G97
3F-64
3F-74
31.5
A
A′
B
B′
a
a′
SK235
SK243
SK238
3E-59
3E-60
31.2
SK239
3E-64
30.7
SK244
3F-76
3E-85
SK245
3G-34
3G-33
0
(1/50)
2m



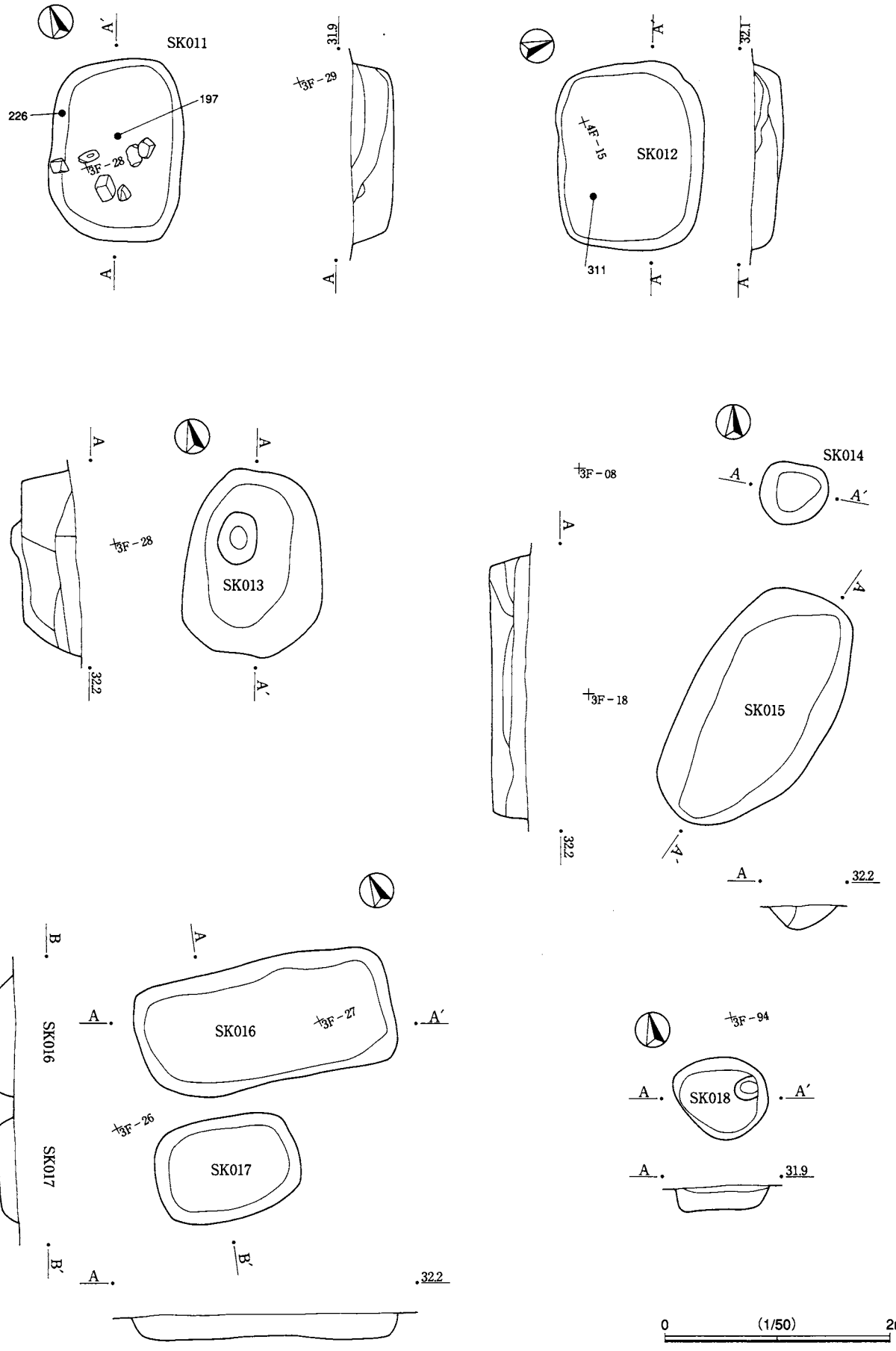
第36図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図（21）



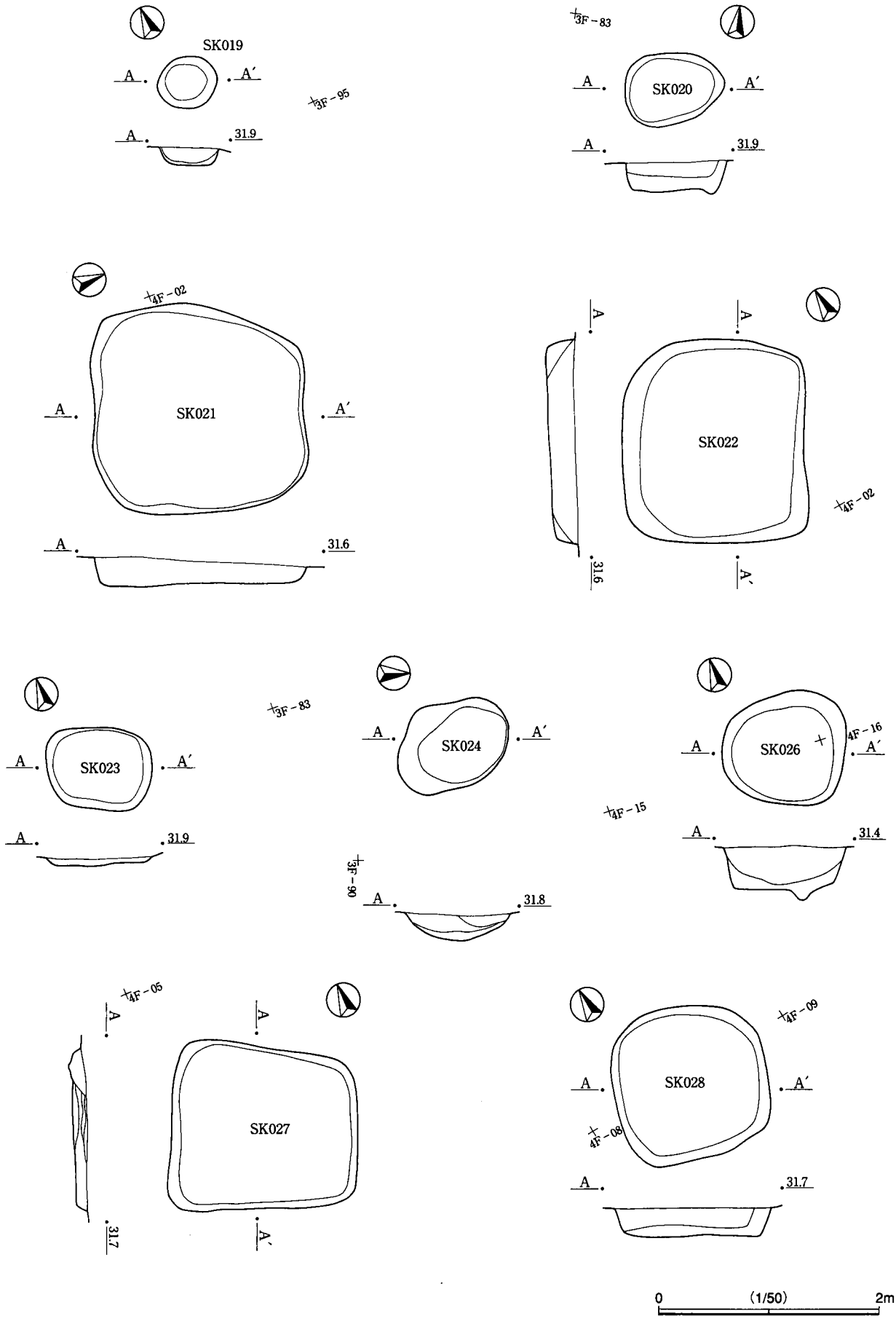
第37図　平場6　遺構実測図・遺物出土状況図（22）



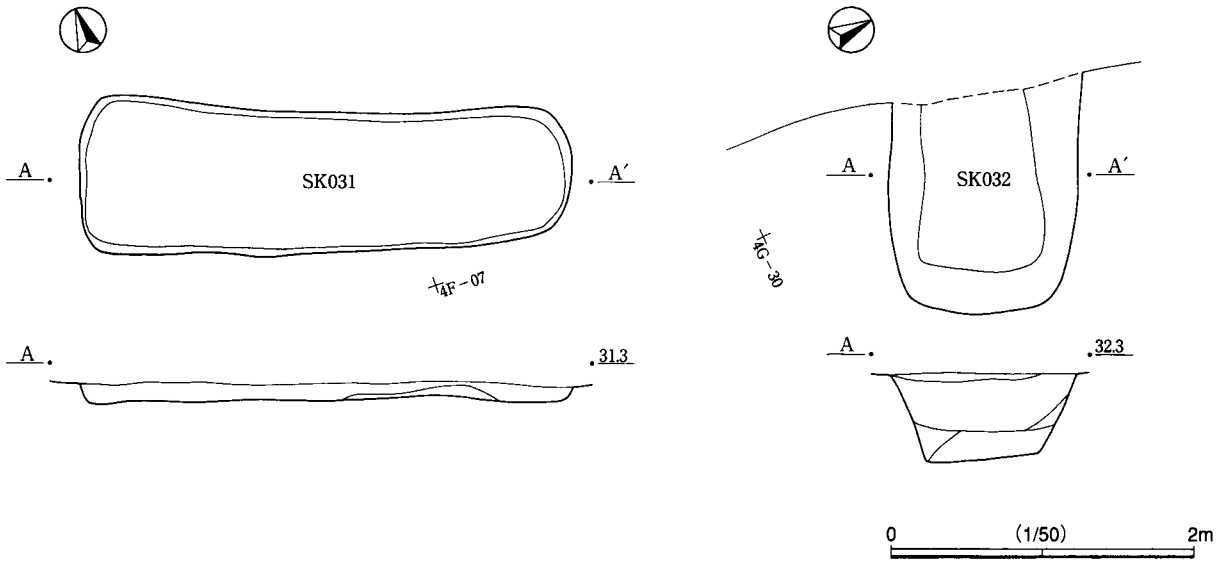
第38図　平場７　遺構実測図・遺物出土状況図（1）



第39図　平場７　遺構実測図・遺物出土状況図（2）



第40図　平場７　遺構実測図・遺物出土状況図（3）



第41図　平場７　遺構実測図・遺物出土状況図（4）

(5)平場８と周辺の造成(第42～50・70図)

平場８は笹子城跡の調査で数少ない面的な遺構把握ができた平場である。堀Ⅰ，堀Ｊ，堀Ｋ，堀Ｌの４条と土坑，ピットが検出された。

堀Ⅰは調査段階では「堀Ｃ」とされていた。平場６・７の堀Ｄと同時に存在していたと思われる。堀Ⅰは人為的に埋め戻された堀Ｊを切っている。堀Ｊは調査段階では「堀Ｂ」とされていた。平場６・７の堀Ｅと同時に存在していたと思われる。堀Ｋは調査段階では「堀Ａ」とされていた。平場６・７の堀Ｈと同時に存在していたと思われる。堀Ｌは平場８の最も西側に所在し，堀Ⅰ・Ｊ・Ｋとは別の意図を持って構築された堀である。調査段階では「堀Ｄ」とされていた。堀Ｈ・Ｋは同時に存在していたと思われる。平場８は調査の所見からⅠ期からⅥ期にわけている。

Ⅰ期は堀Ⅰが人為的に埋めもどされた時期で，遺構は検出されていない。平場６・７のⅠ期に相当する。

Ⅱ期は新期上位盛土整地層面に相当し堀Ⅰが機能していた段階で，堀Ⅰ以外の遺構は検出されていない。平場６・７のⅡ期に相当する。

Ⅲ期は古期上位盛土整地面で，堀Ｊが機能していた段階である。堀Ｅとは掘り込み面がほぼ同じで，当該期の遺構も確認されなかったので，Ⅱ期よりも若干古い時期と思われる。平場６・７のⅣ期(Ⅱ～Ⅲ期か？)に相当する。

Ⅳ期は中位盛土整地面で，堀は伴わないが，土坑およびピットが多数検出された。出土遺物も多く，居住空間として機能していたものと考えられる。平場６・７のⅣ期に相当する。

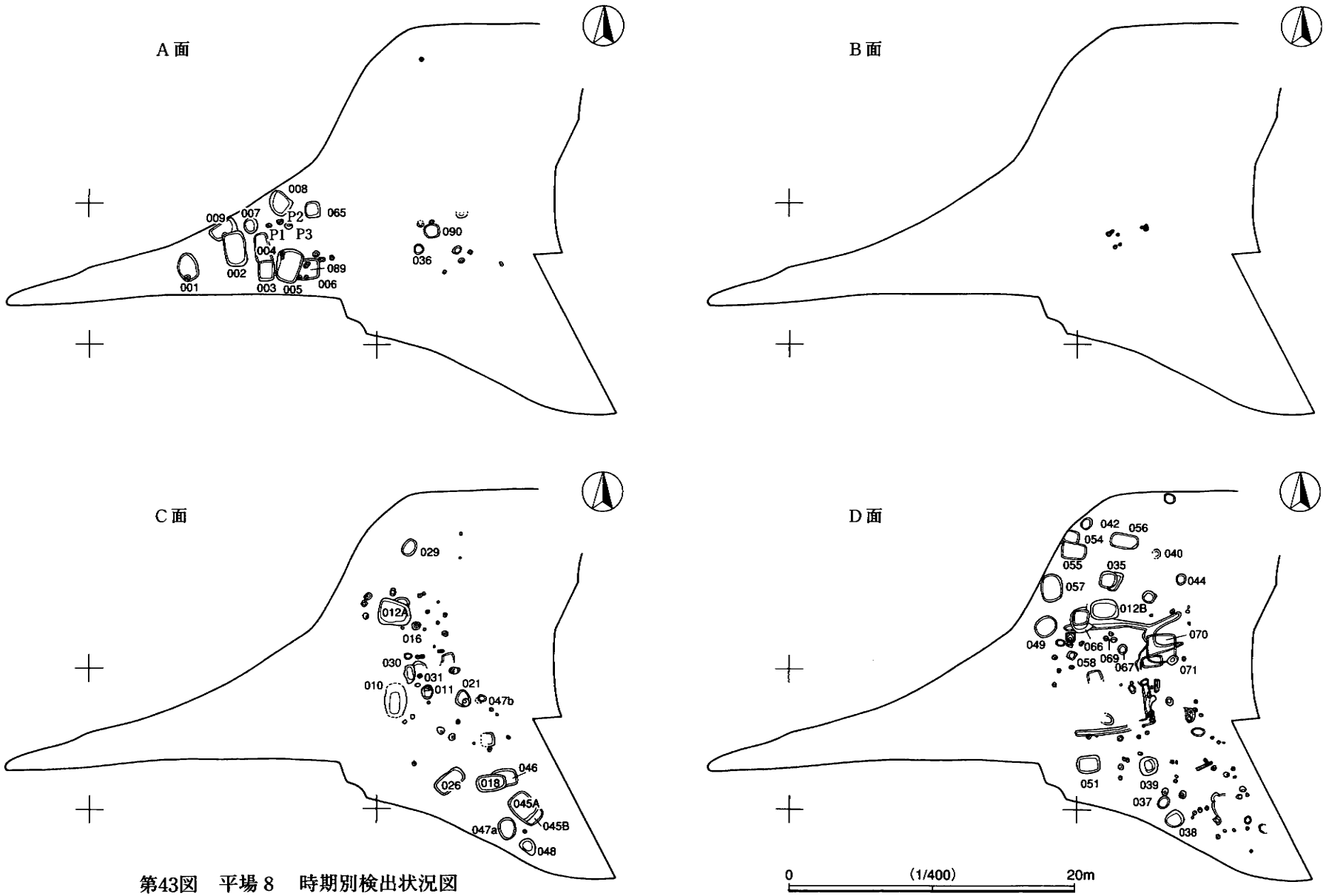
Ⅴ期は堀Ｋを版築状に埋め戻し平坦化した面(下位盛土整地層面)と地山整地層面からなる時期である。Ⅳ期と同様に堀を伴わないが，遺構・遺物とも多数検出されており，居住性の高い空間として機能していたと思われる。平場６・７のⅣ期に相当すると思われる。

Ⅵ期は堀Ｋが機能していた時期である。地山面から検出された遺構が伴うか否かは不明である。堀Ｌは長さが3.2mしか残存していないことから平場10側から台地が削平された可能性がある。このことから堀Ｌは堀Ｋよりも古い可能性がある。平場６・７のⅤ期に相当する。

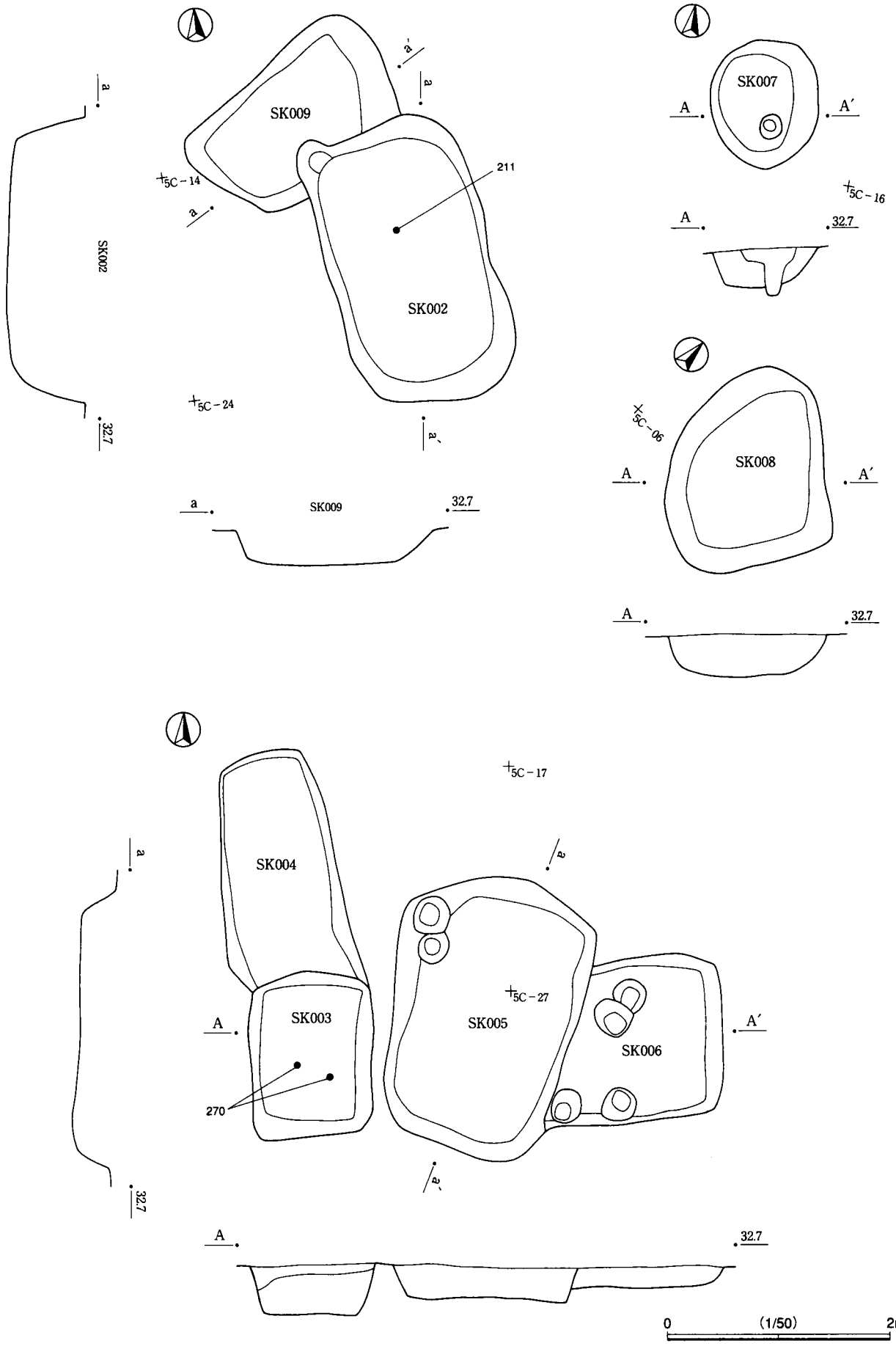
平場８では東海系羽釜の出土はみられない。

042
054
055
056
029
040
044
057
014
015
012B
012A
066
049
016
069
027
034
070
023
032
058
071
031
030
008
065
007
P1
P2
P3
009
022
011
021
047b
010
090
052
036
002
004
089
001
003
005
006
堀L
039
051
026
018
046
045A
045B
038
047a
048
5C－00
5C－50
5D－50
0
(1/200)
10m

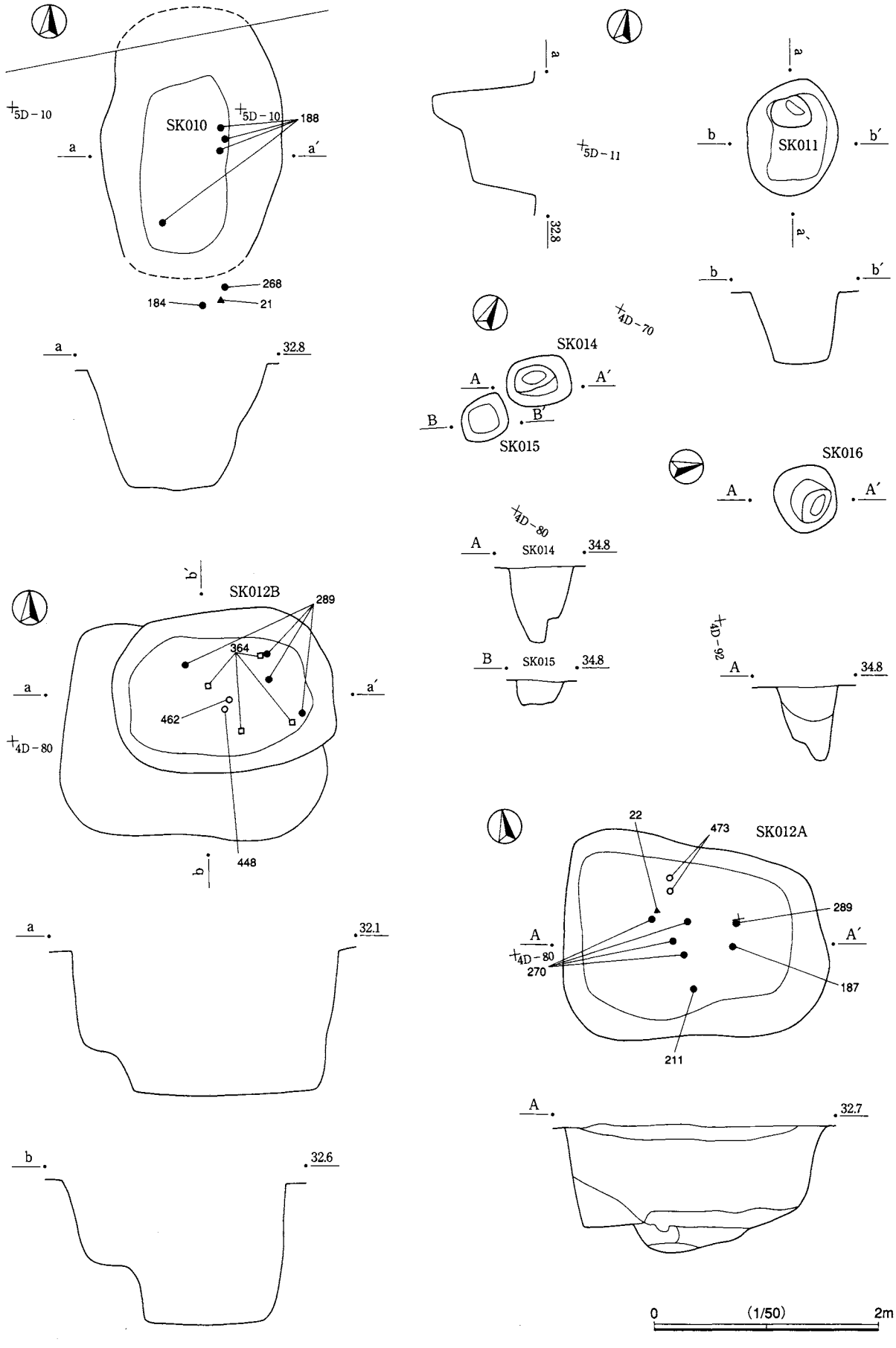
第42図　平場８　全測図



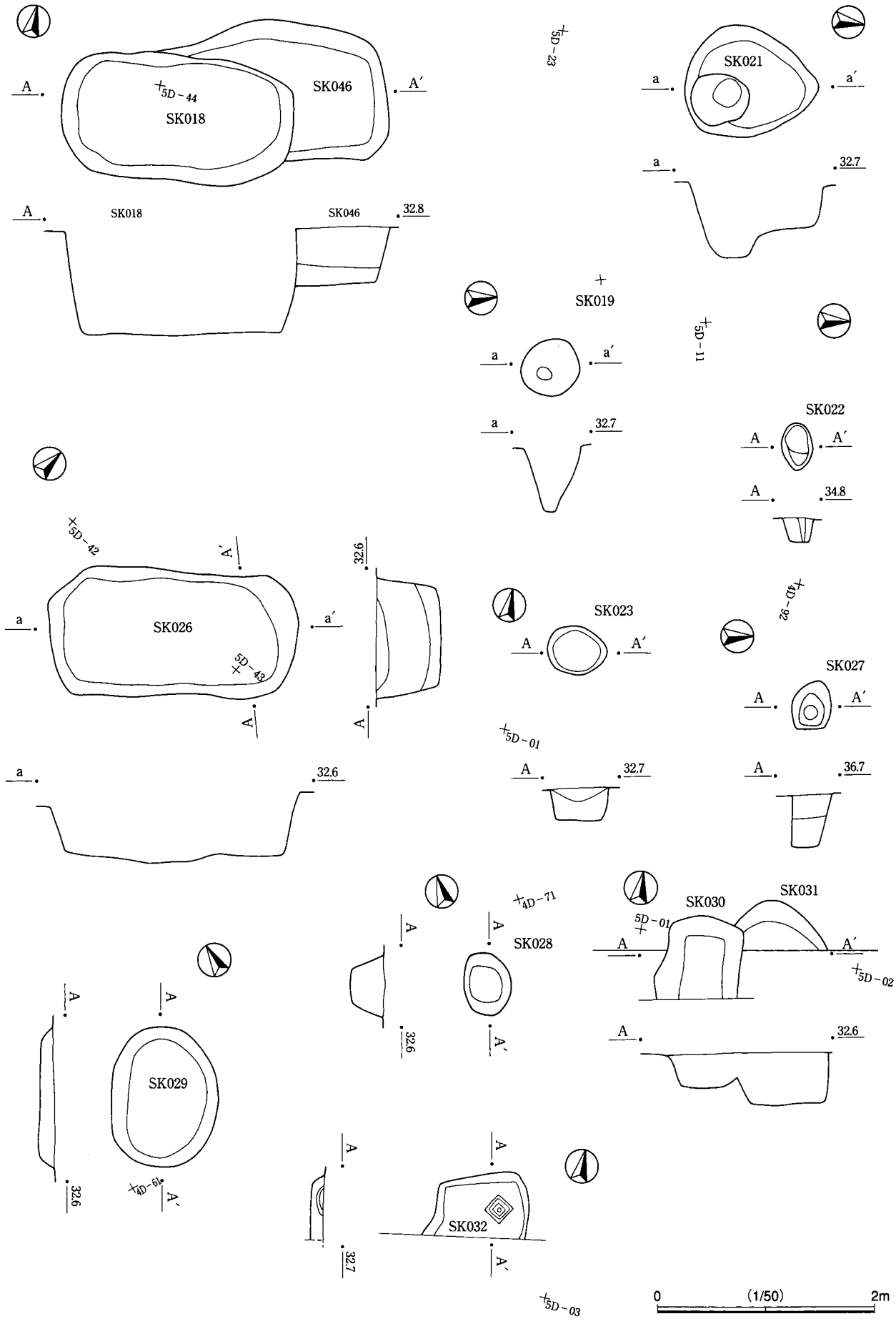
第43図　平場８　時期別検出状況図



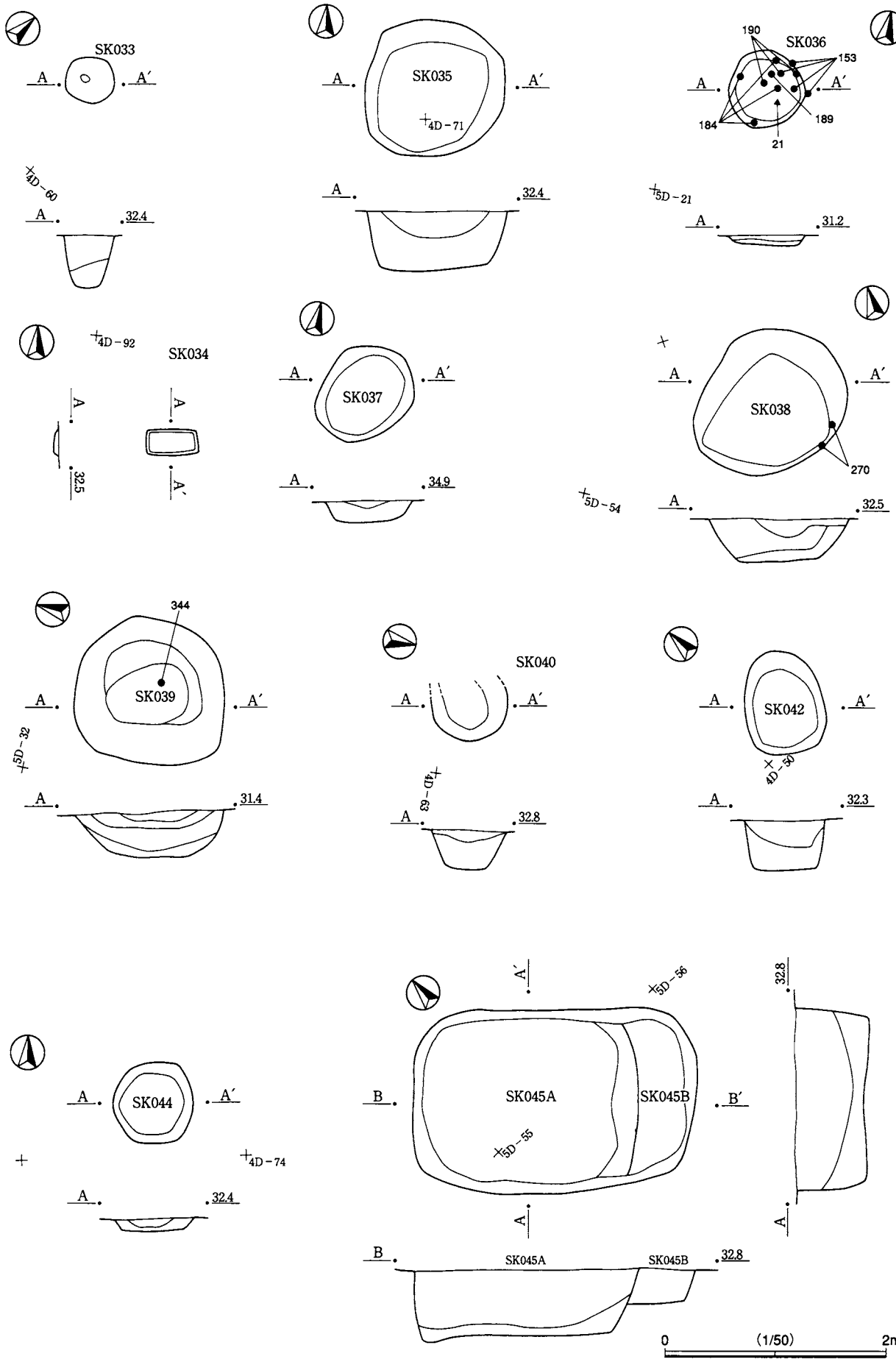
第44図　平場８　遺構実測図・遺物出土状況図（1）



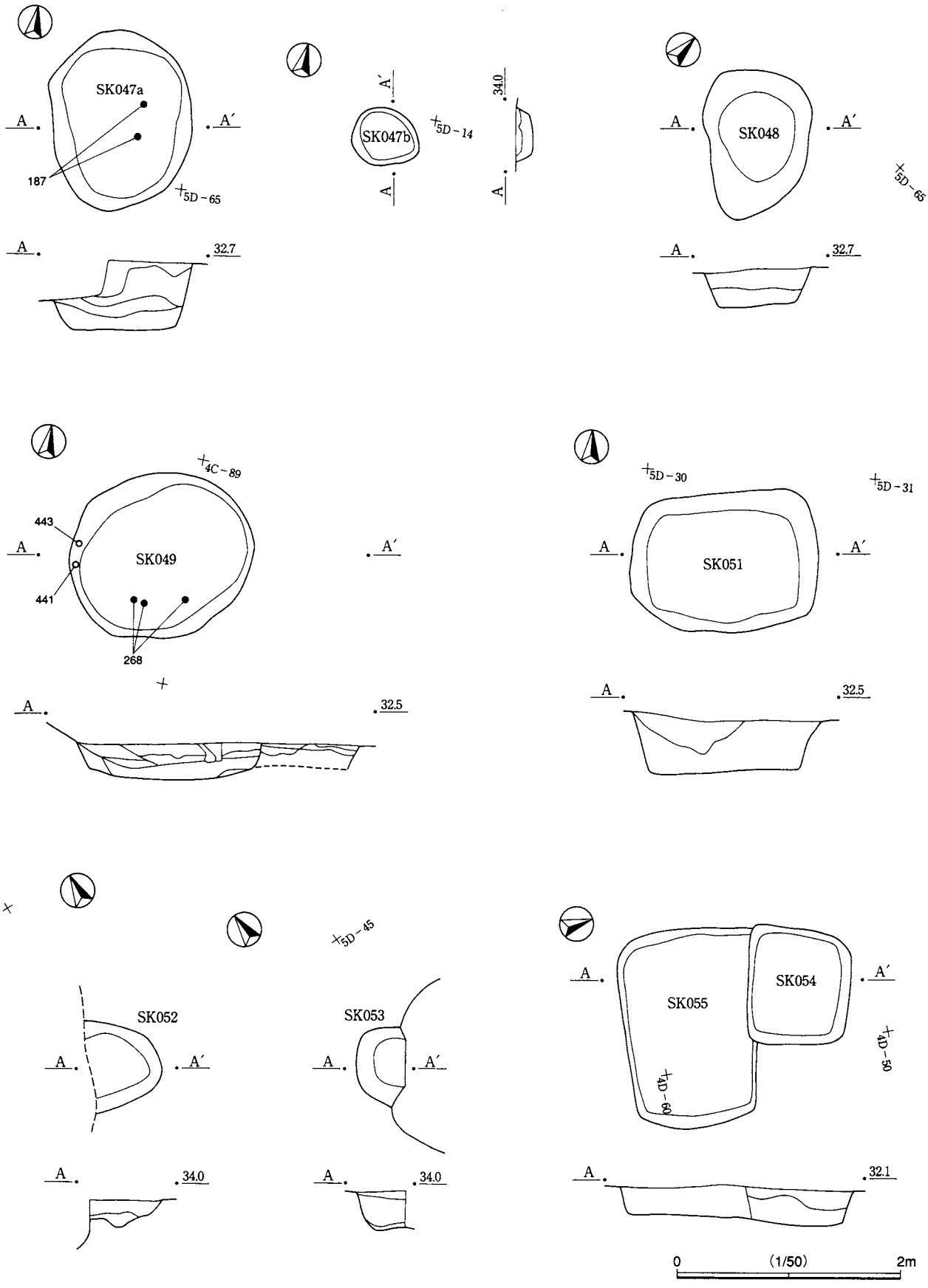
第45図　平場８　遺構実測図・遺物出土状況図（2）



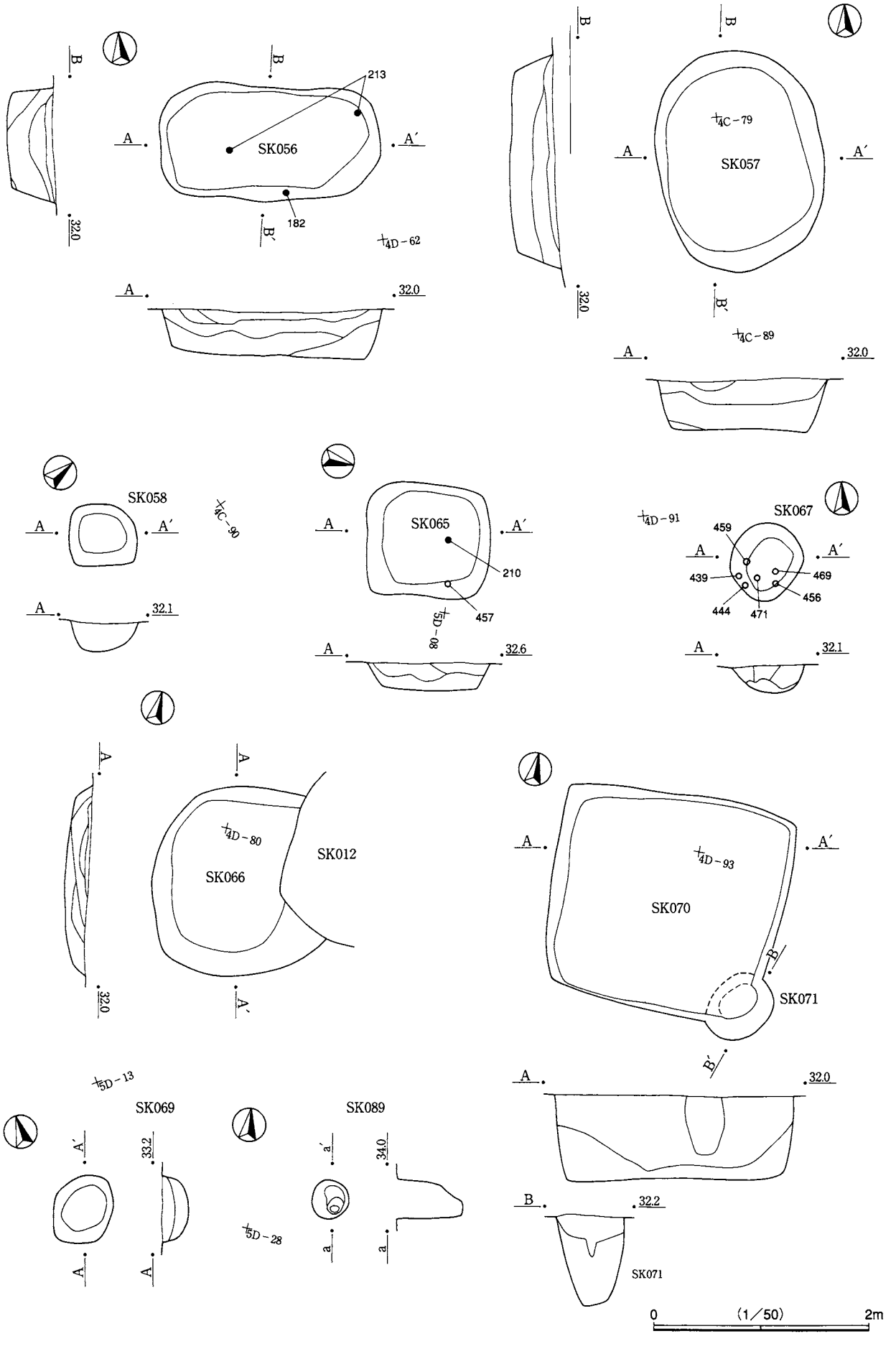
第46図　平場８　遺構実測図・遺物出土状況図（3）



第47図　平場８　遺構実測図・遺物出土状況図（4）



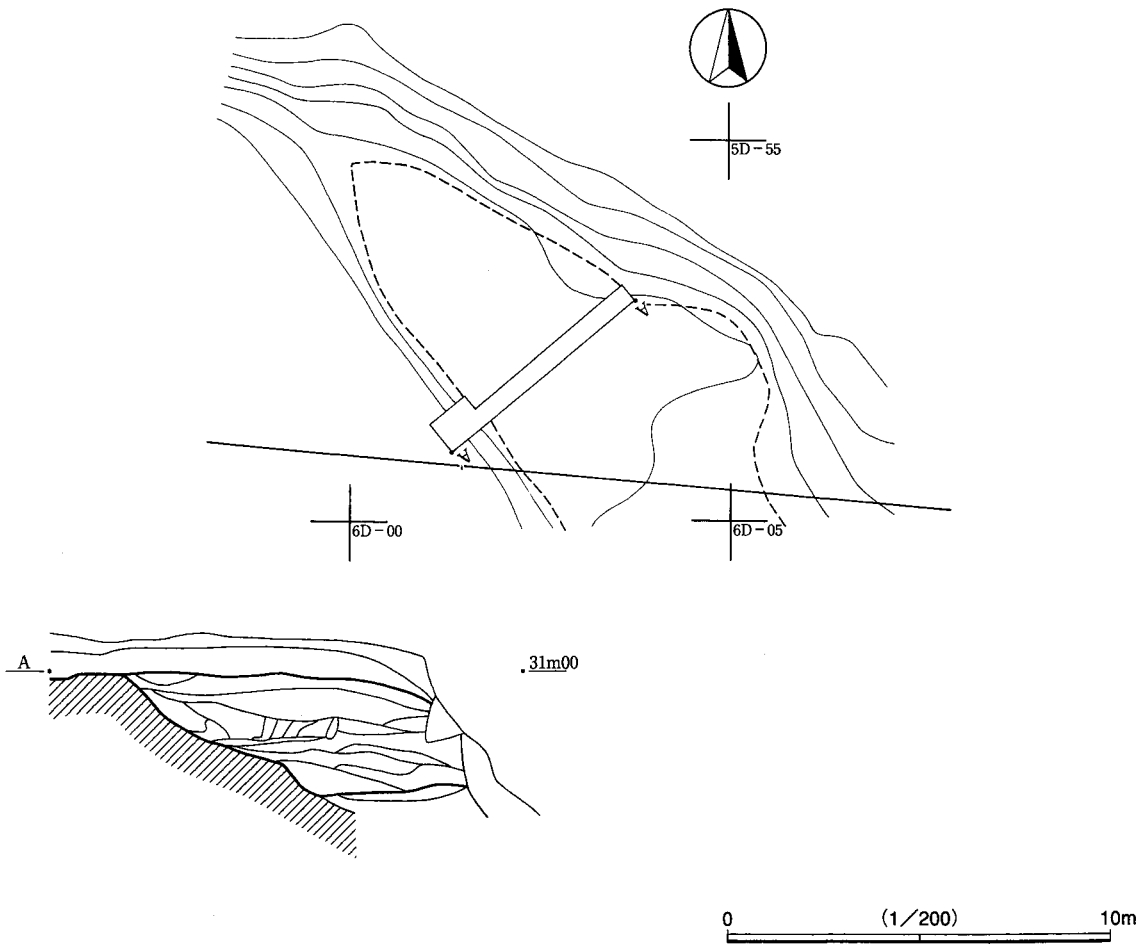
第48図　平場８　遺構実測図・遺物出土状況図（5）



第49図　平場８　遺構実測図・遺物出土状況図（6）

(6)平場９（第８図）

標高約31m。盛土整地層面と地山整地層面だけが検出された。



第50図　平場９　全測図・土層断面図

(7)平場10(第51～53図)

盛土整地層面と地山整地層面の２面が確認された。標高約29m。盛土整地層面から直径2.4m，深さ２mの素堀の井戸１基，土坑７基，溝３条が確認された。調査区域外につづく堀Mが所在する。堀Mは調査時は「堀Ａ」と名称が付されていた。深さは２m以上で人為的に埋め戻されていた。

(8)平場11(第54・55・62・66図)

全体に地山を削りだして作られている。標高26.5m。平場８側から堀Ｎと堀Ｏを検出した。堀以外の遺構は検出されなかった。堀Ｎは調査時点では「堀Ｂ」として，堀Ｏは「堀Ａ」として調査された。堀Ｎは上幅７m，深さ1.8mで，人為的に埋め戻されている。堀Ｏは堀Ｎに先行している。堀Ｎは人為的に埋め戻されていた。堀Ｏも埋め戻されていたが，埋め戻しが不十分で郭Ｉ内で唯一調査段階で窪み状の堀跡として確認出来た遺構である。

(9)平場12・13と周辺の造成(第56～62・66～67図)

標高は平場12が約14mをはかり，平場13は同じく約23mを計る。平場12と13は同じ一体の傾斜した平場であったが，堀によって別々の平場に画されている。堀Ｐ，堀Ｑ，堀Ｒ，堀Ｓの４条の堀が検出された。堀Ｐは調査時点では「堀Ａ」，同じく堀Ｑは「堀Ｂ」，堀Ｒは「掘Ｄ」，堀Ｓは「掘Ｃ」と呼ばれていた。堀Ｐは埋め戻しをされている。その他の遺構としては，土坑11基，溝２条，ピットが検出された。

出土遺物については，堀Ｐの下層出土の遺物が平場６のピット41内出土遺物と接合し，堀Ｐの下層出土の遺物が平場６のピット41(Ｂ・Ｃ面からの検出)出土の遺物と接合している。大窯１(前)の遺物が主体で，大窯１(後)も若干出土している。また，堀Ｐの下層出土遺物は大窯１(前)に属し，堀Ｐの埋め戻し前と後も大窯１(前)に属しており，ほぼ同時期に埋め戻しを行っていたことが分かる。

平場12・13の平場は，調査の結果から３時期にわけられた。

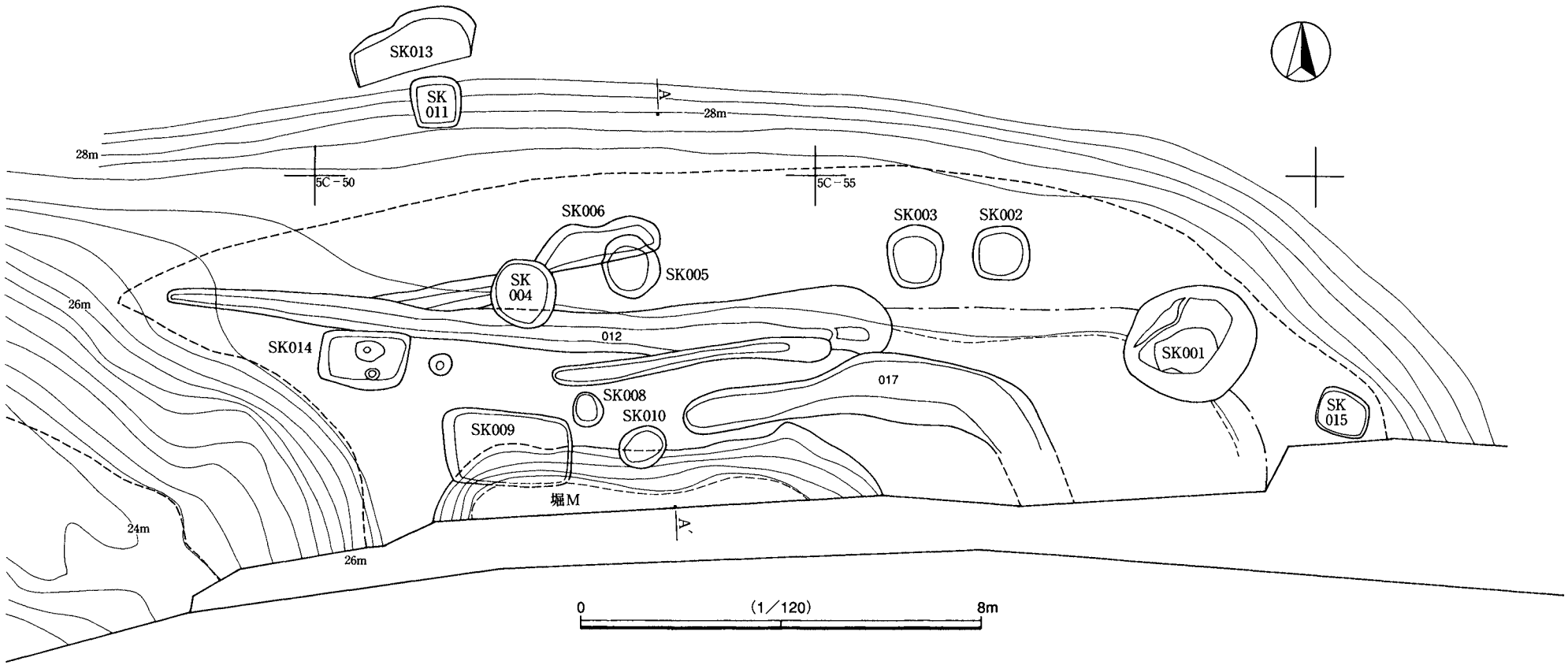
Ｉ期は堀Ｐと堀Ｑが人為的に埋め戻され，平場12と平場13がもともとは同じ台地であったものが２つの平場に分離された時である。城郭としては機能していない段階で，盛土整地層面から10基の土坑が堀込まれていた。

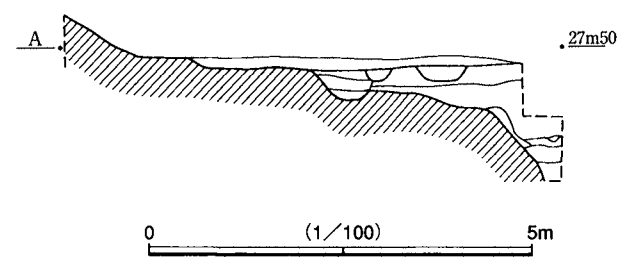
Ⅱ期は堀Ｐ，堀Ｑ，堀Ｒが機能していた時期である。堀Ｐと堀Ｑは切りあいがないため前後関係の把握はできないが，両者がほぼ平行して掘削されていることから同時に作られたものと考えている。堀Ｐは西側端が開口しているため堀自体が通路あるいは排水溝としての機能を持っていたとも考えられる。堀Ｑを築くときに堀Ｓを埋め戻している。

Ⅲ期は堀Ｓが機能していた時期で，旧表土層から堀込まれていた。

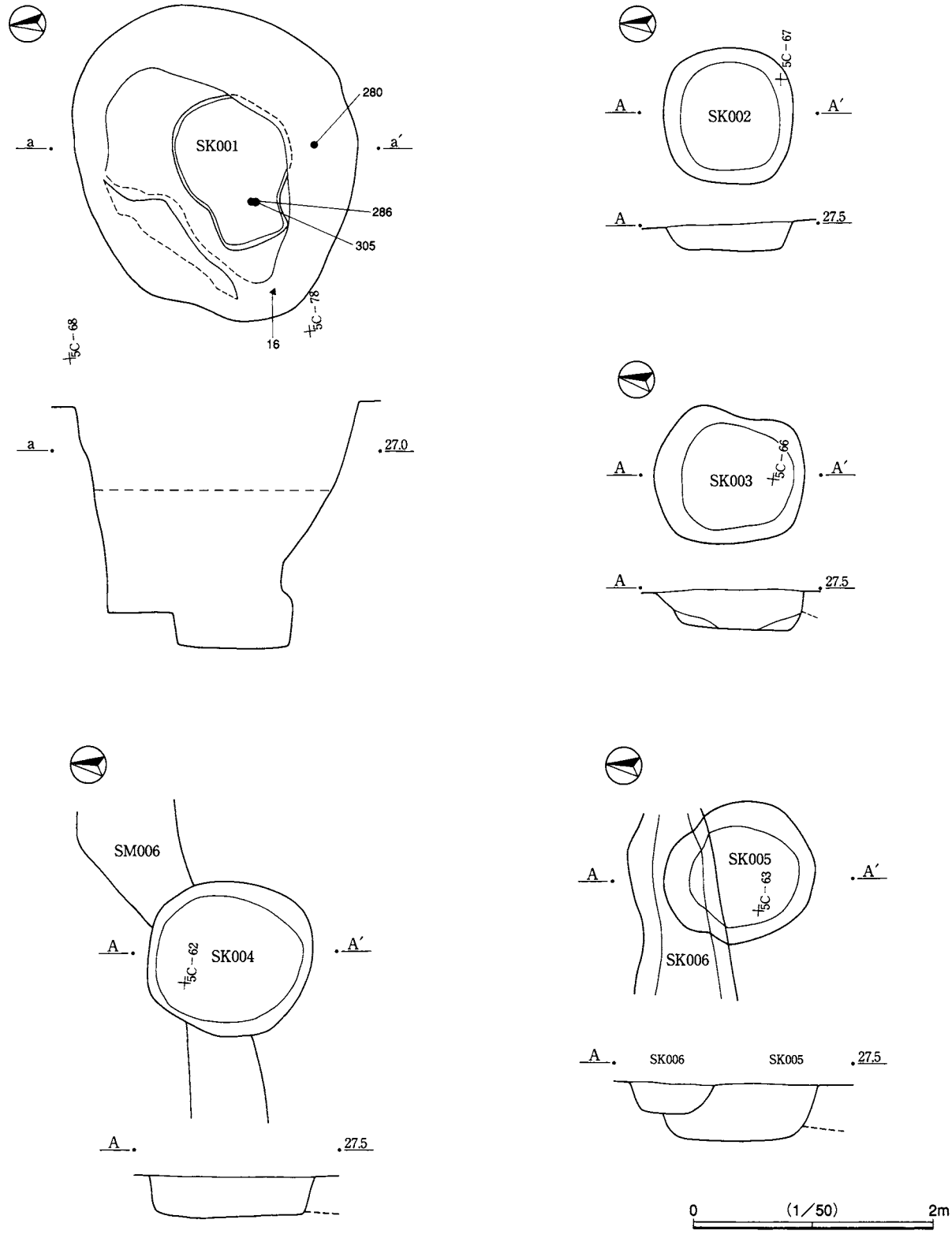
(10)平場14(第８・54・55図)

調査区の南西側に位置する。現地表下1.2mのところから1707年(宝永１)の富士山からの噴出物である「宝永の火山灰」層が確認された。そのため，平場14は近世の屋敷地造成のためにかなり改変されているものと思われる。火山灰の下は中世段階の生活面で，盛土整地層面と地山整地層面の二面が確認された。盛土整地面から遺構の検出はなく，盛土層下でそれぞれ切り合い関係をもつ堀Ｔ，堀Ｕ，堀Ｖの３条が検出された。これらの堀は，すべて堀の一部分の調査であったため，その方向や全体の規模は不明である。

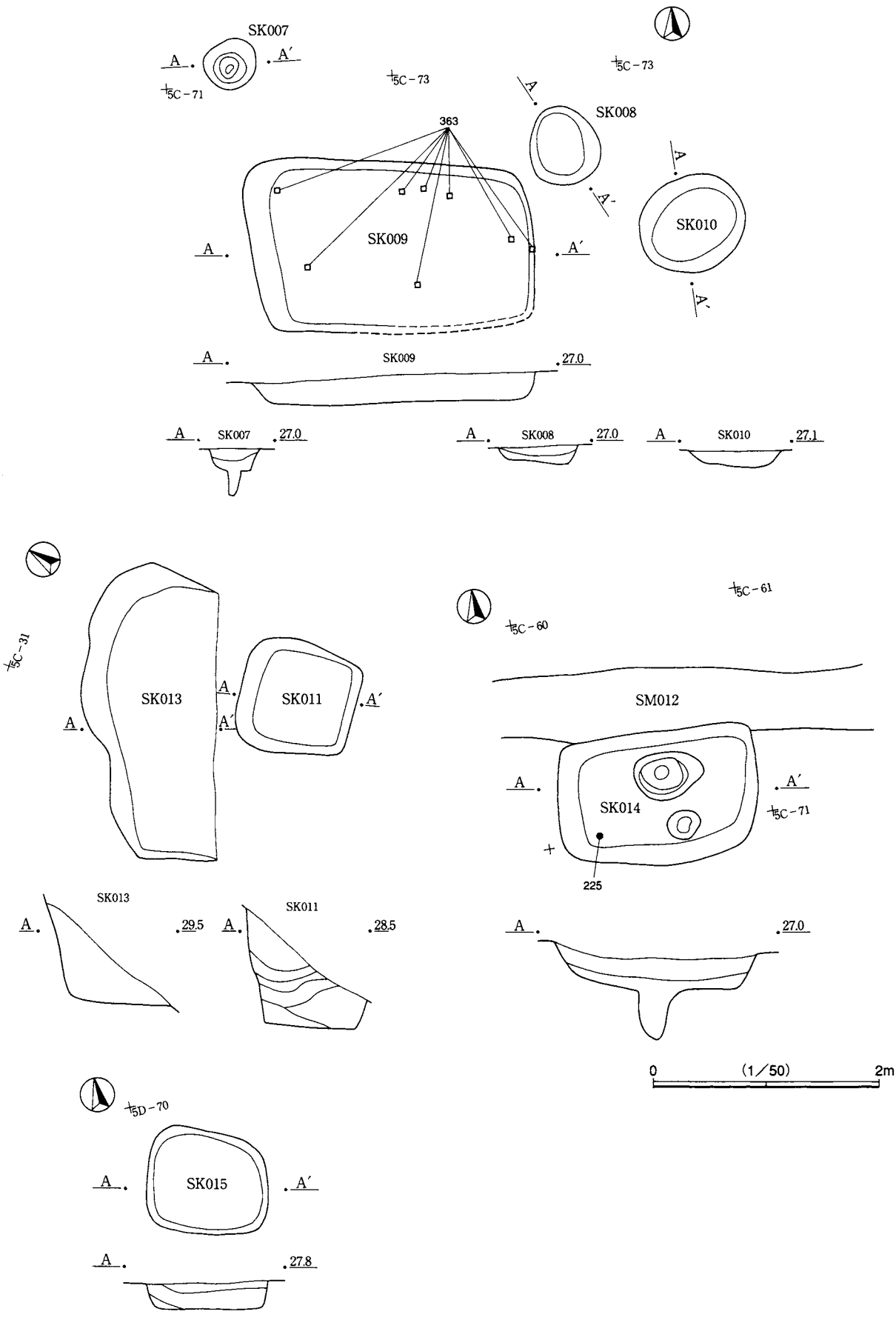




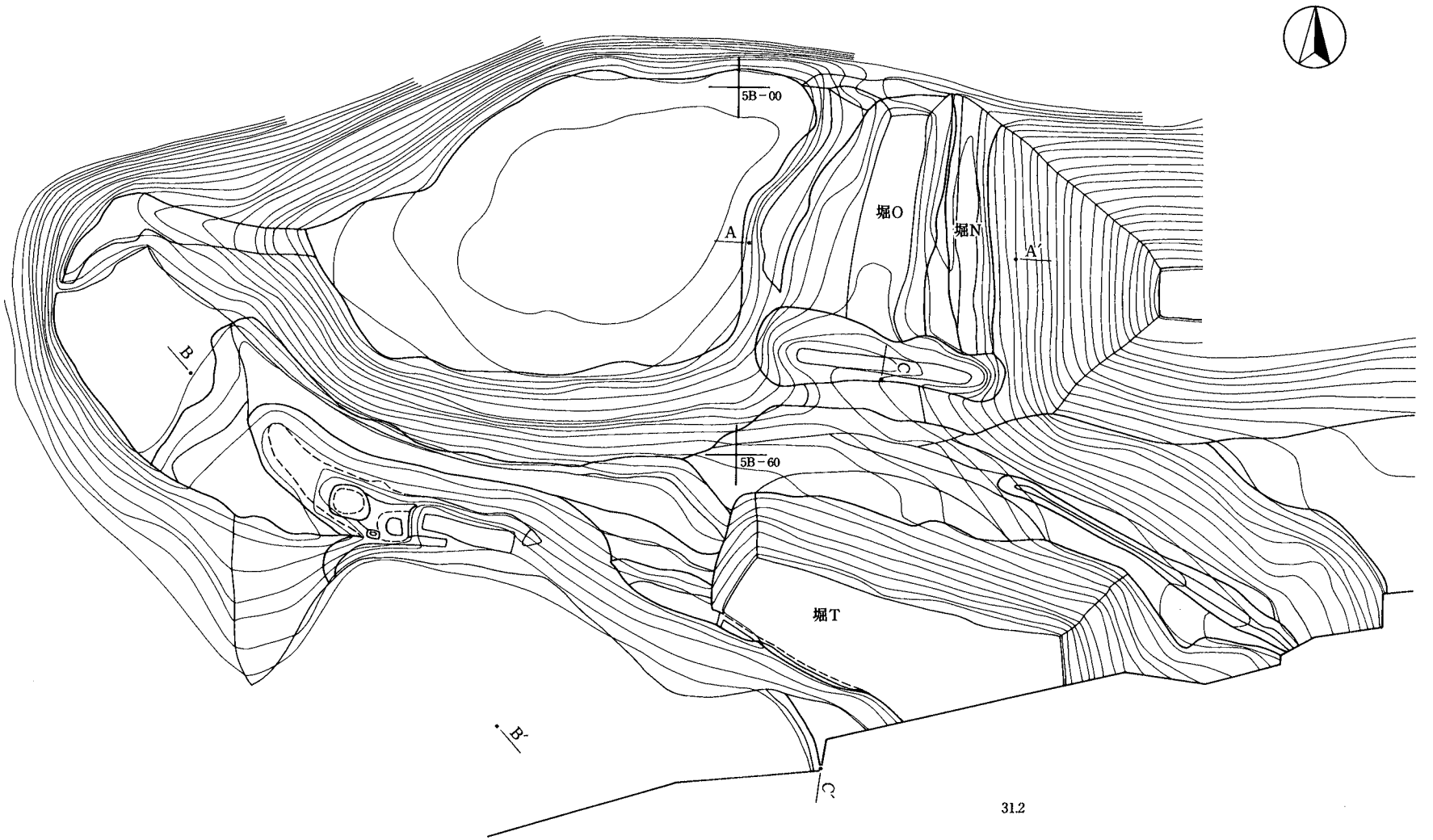
第51図　平場10　全測図・土層断面図



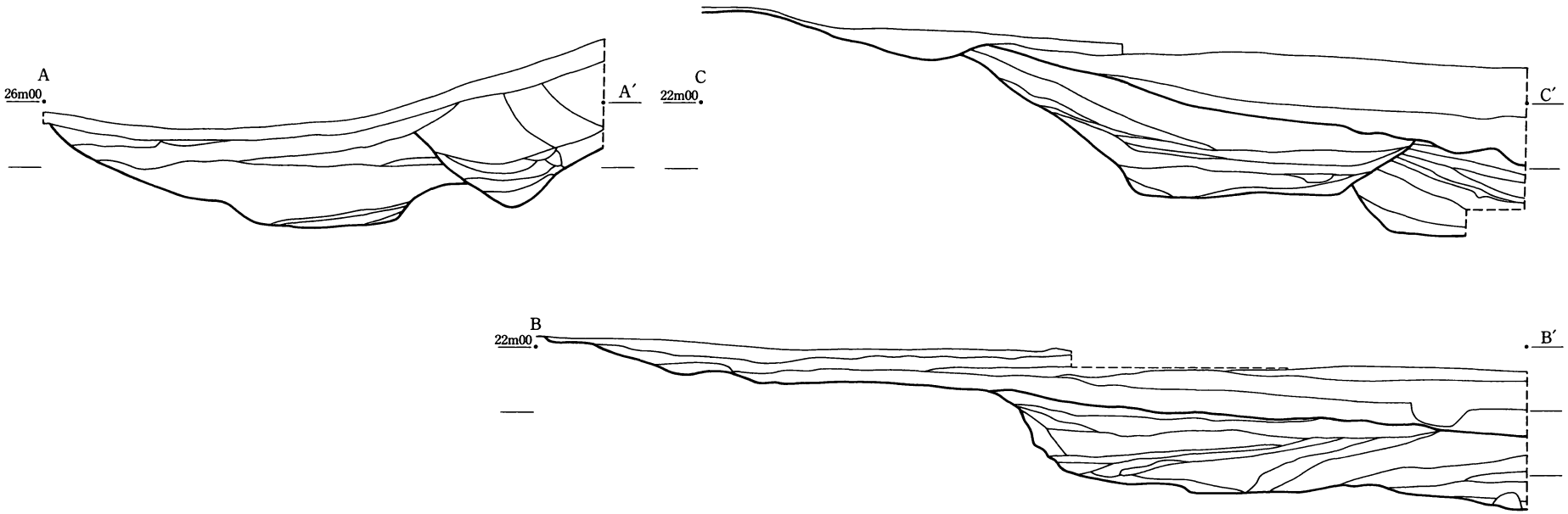
第52図　平場10　遺構実測図・遺物出土状況図（1）



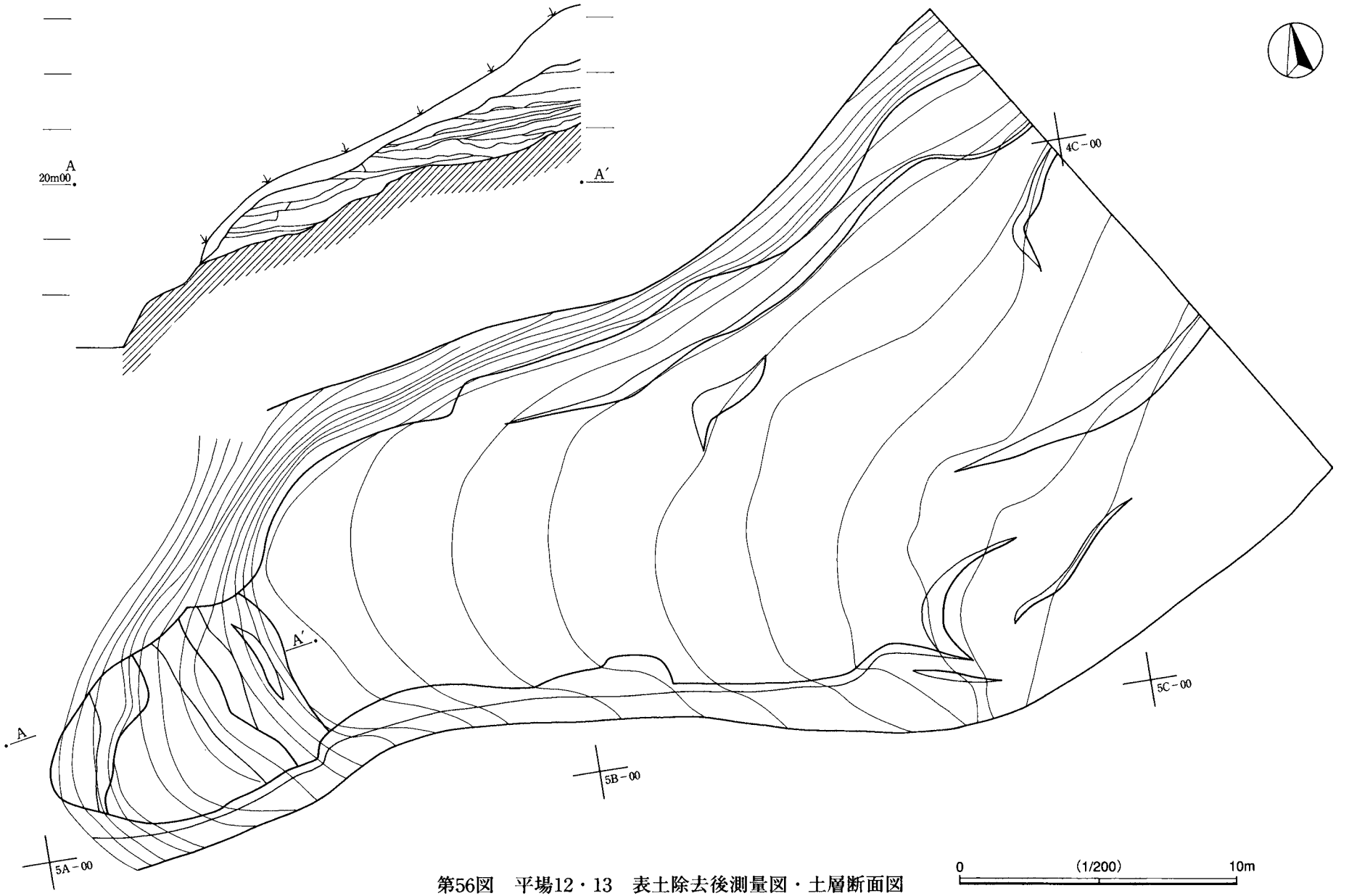
第53図　平場10　遺構実測図・遺物出土状況図（2）



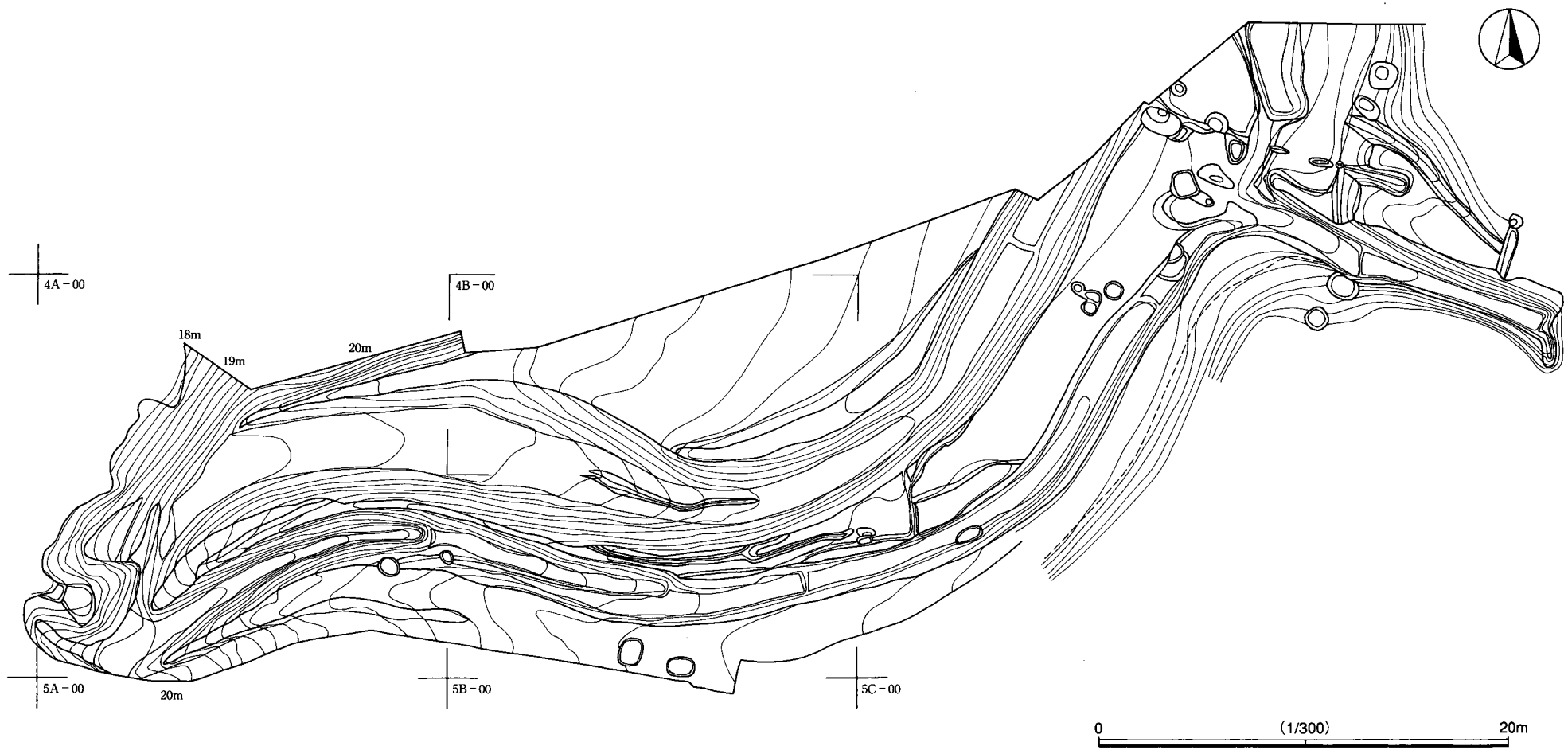
第54図　平場11・14　全測図　0　(1/200)　10m



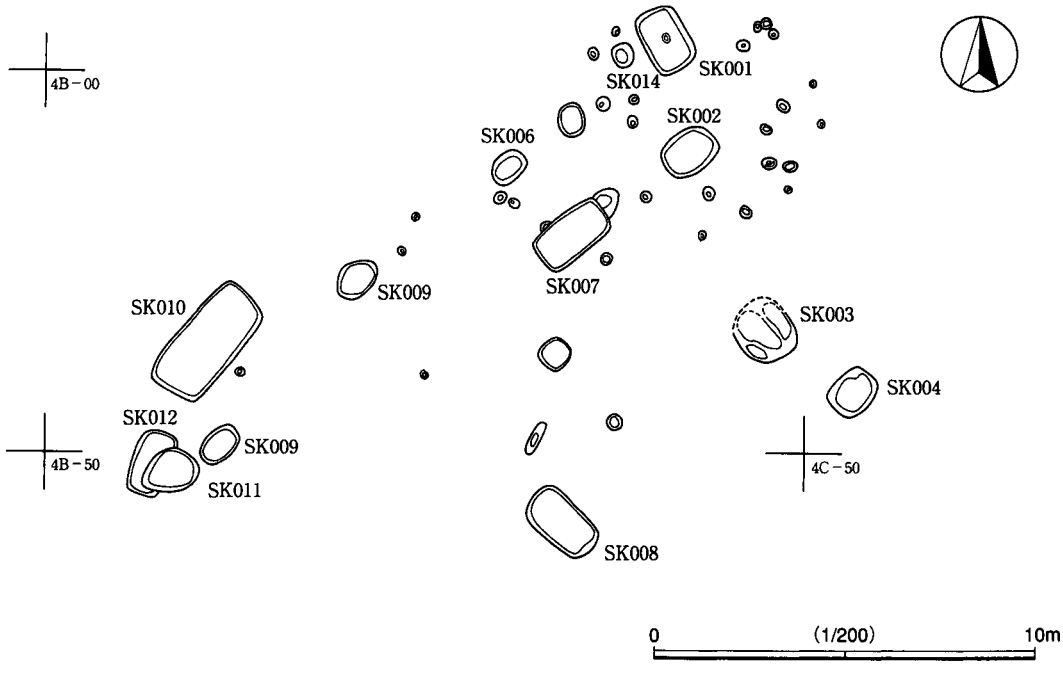
第55図　平場11・14　土層断面図



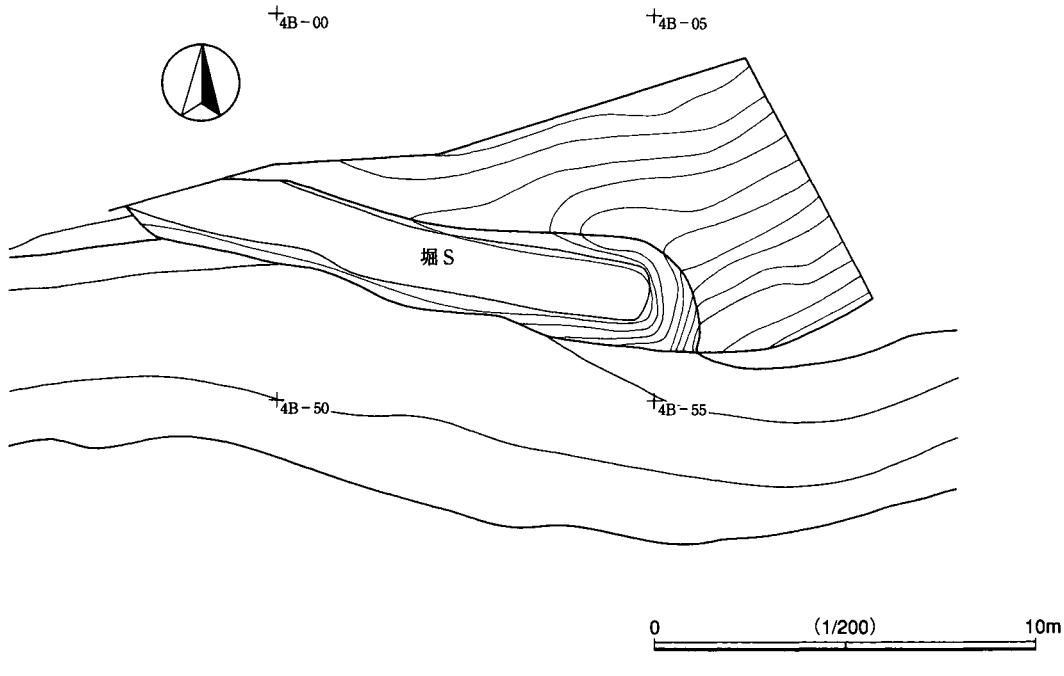
第56図　平場12・13　表土除去後測量図・土層断面図



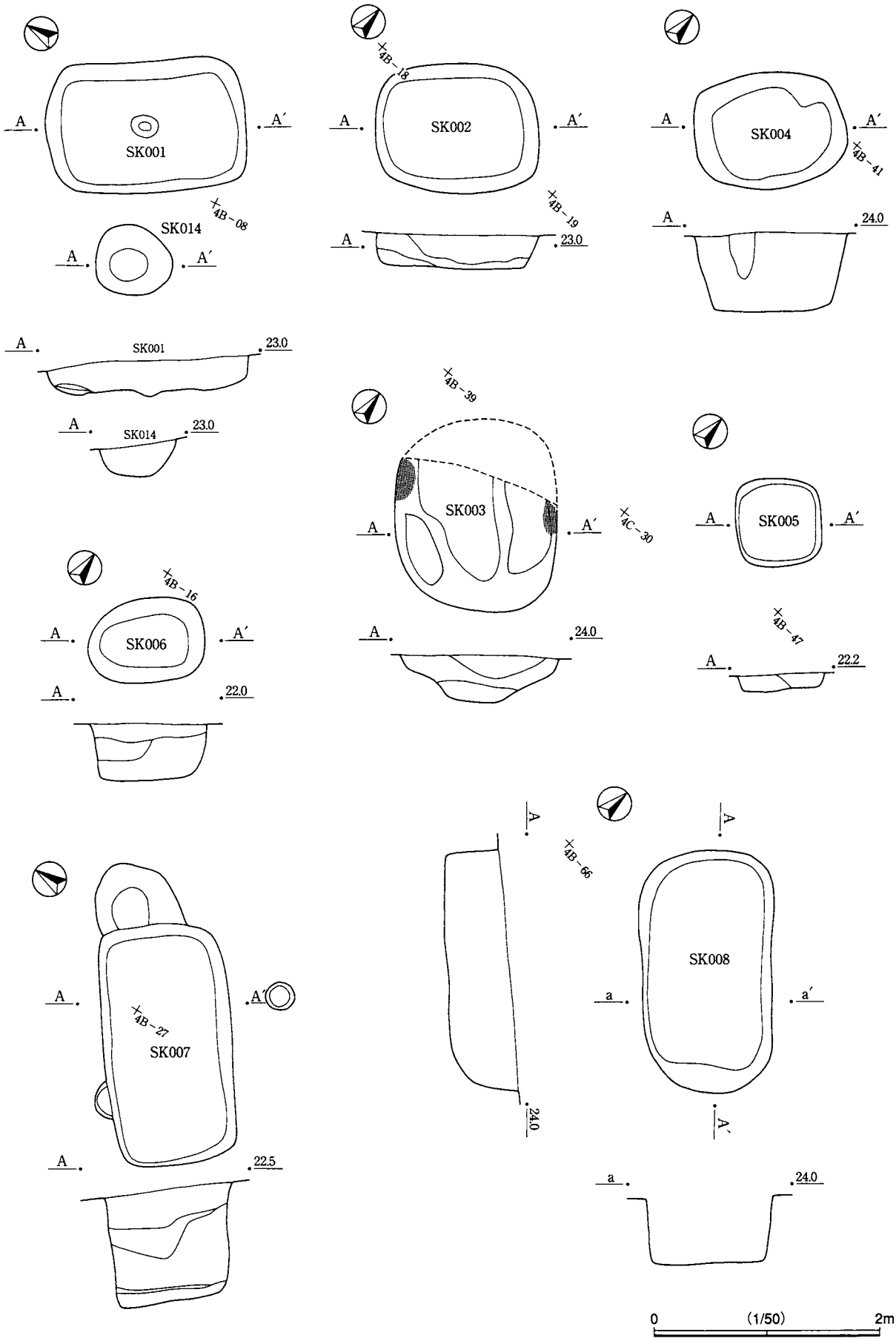
第57図　平場12・13　遺構検出後測量図



第58図　平場12・13　土坑検出状況図



第59図　平場12・13　堀S測量図



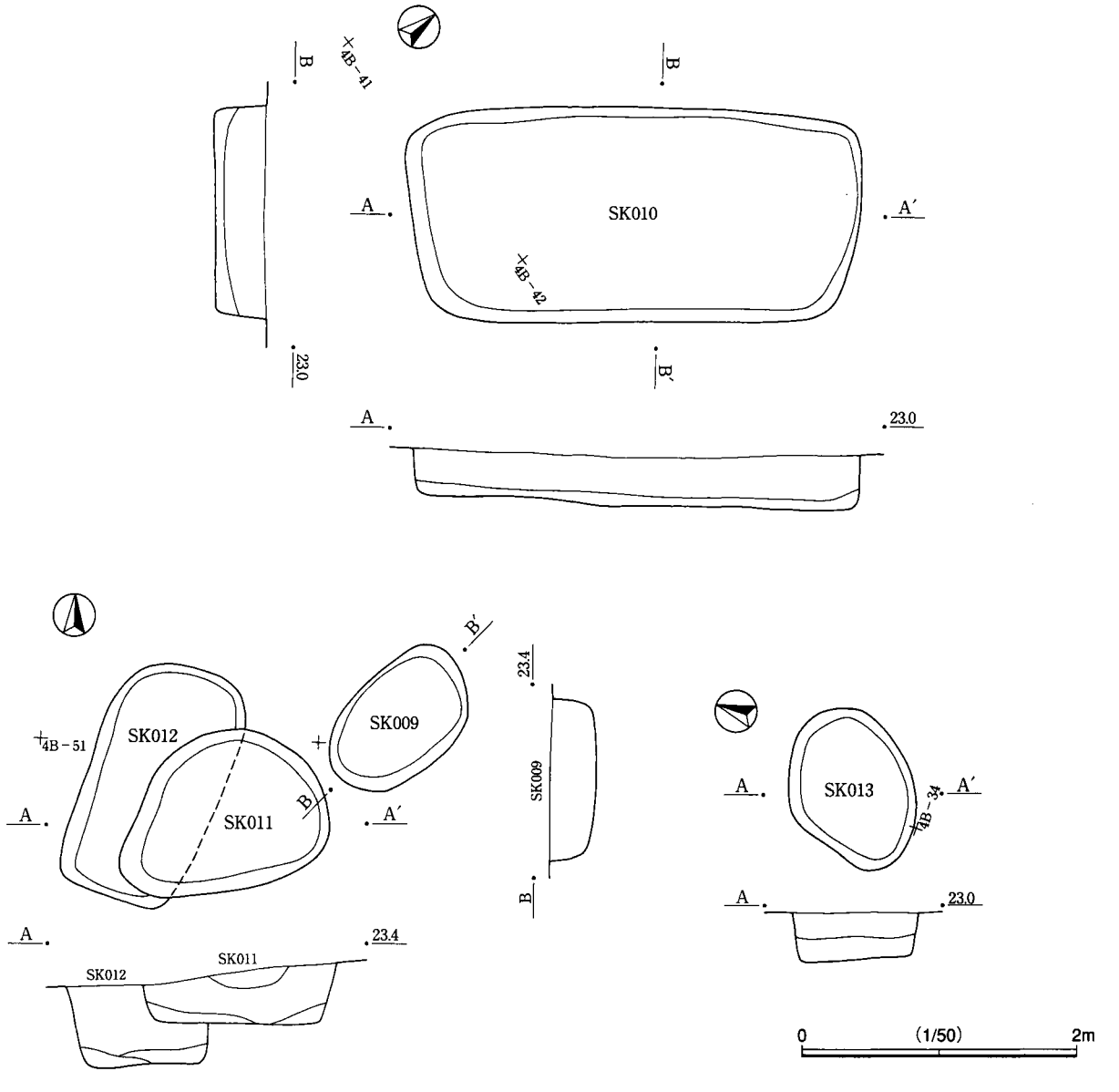
第60図　平場12　遺構実測図・遺物出土状況図（1）

堀Tと堀Vは，堀Uよりも新しい。堀Uと堀Vは前後関係をもち，堀Uが古く，堀Vが新しい。堀Uは平場15方向へ続くと推定されるが，削平されており不明である。堀Uは簡単に埋め戻されており，笹子城跡で埋め戻しのされている他の堀との関係で，Ⅰ期(古)の段階と推定される。また，堀Vも他の堀との関係からⅠ期(新)の段階と推定され，笹子城跡ではもっとも新しい段階の堀と推定される。

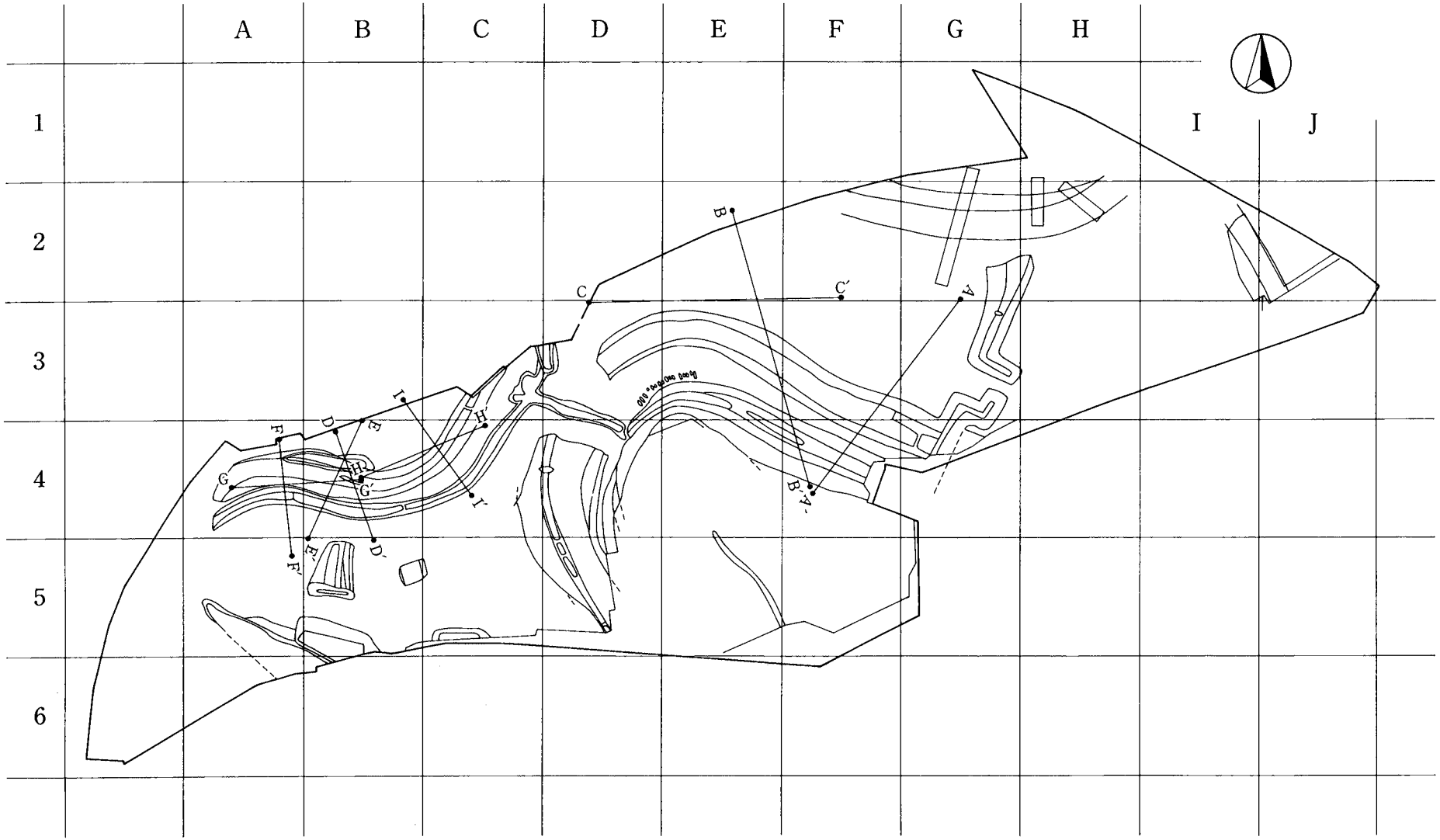
平場14からの出土遺物は殆どが大窯1期の前半に属するものであった。

⑾平場15(第8図)

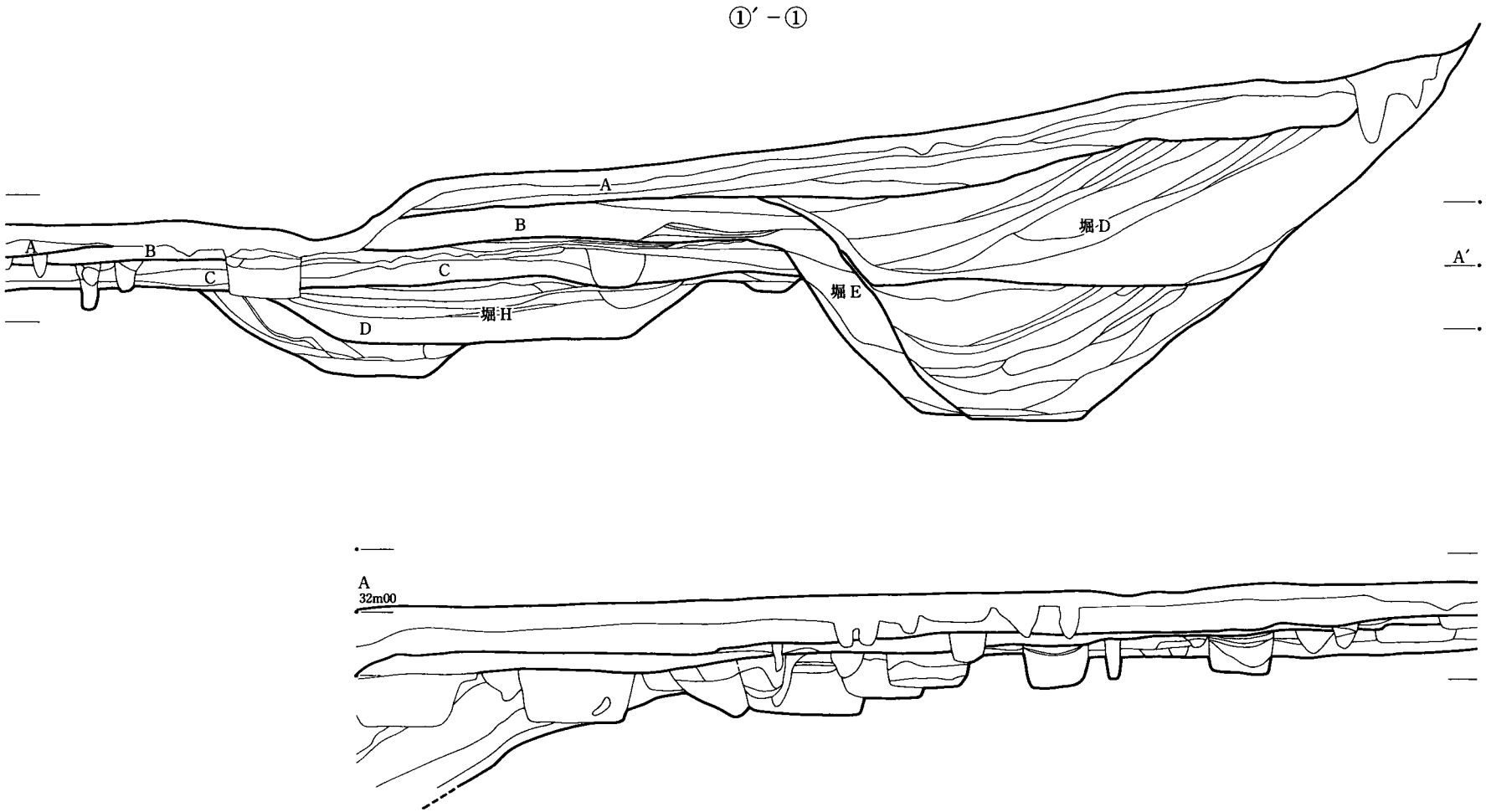
標高約17.5mで隣接する水田面との比高差は約2.5mを計る。今回の調査区内では平場2についで低位に所在する。現地表下約1mで，近世後期の土坑1基と近世陶磁器を検出したが，中世の遺構・遺物は検出されなかった。この近世後期の面からさらに2.5m下からは濃緑青色砂質粘質土層が堆積していた。そのため中世段階では標高約17mまでは深田のような状況であったと思われる。



第61図　平場12　遺構実測図・遺物出土状況図 (2)

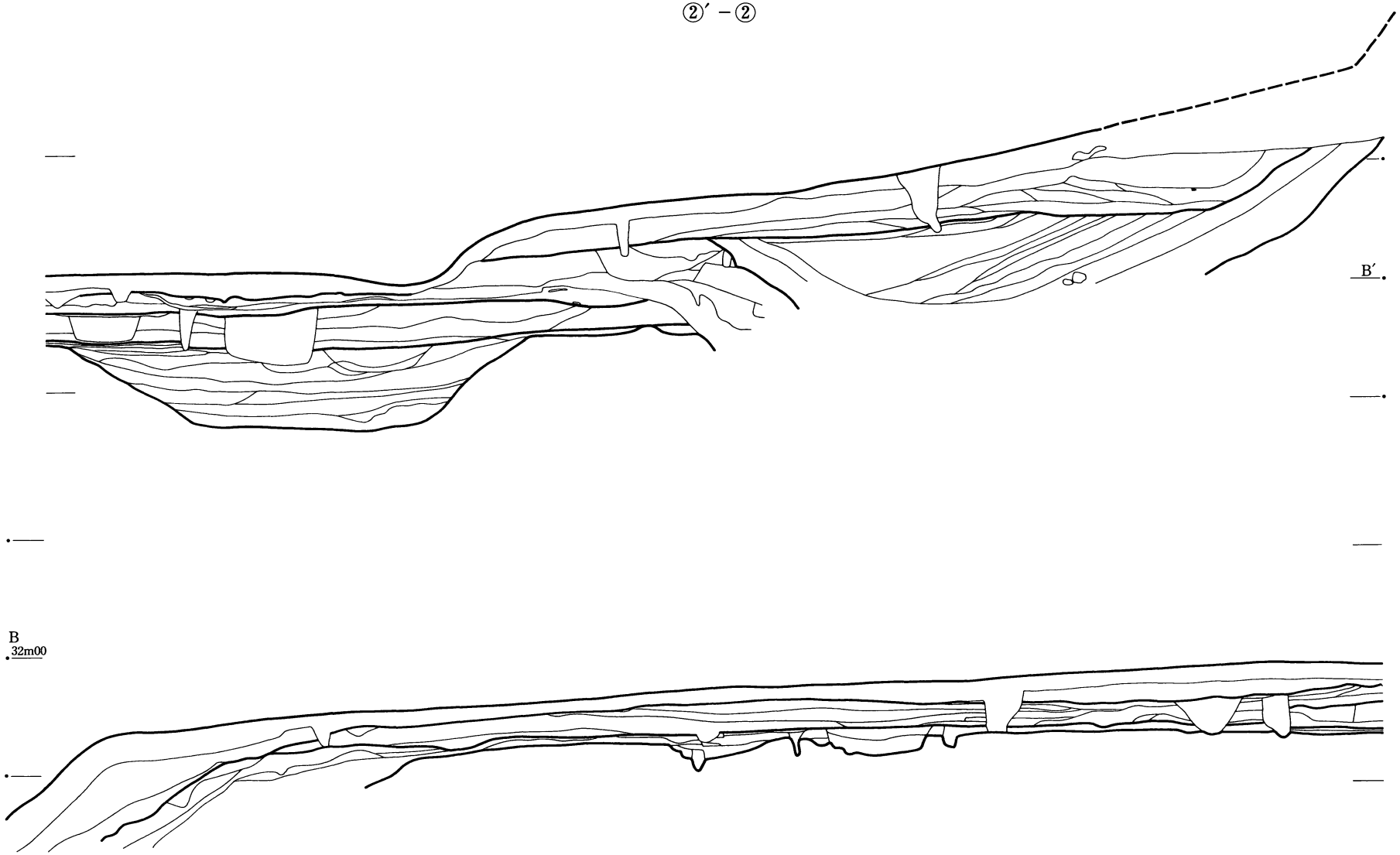


第62図　土層断面位置図



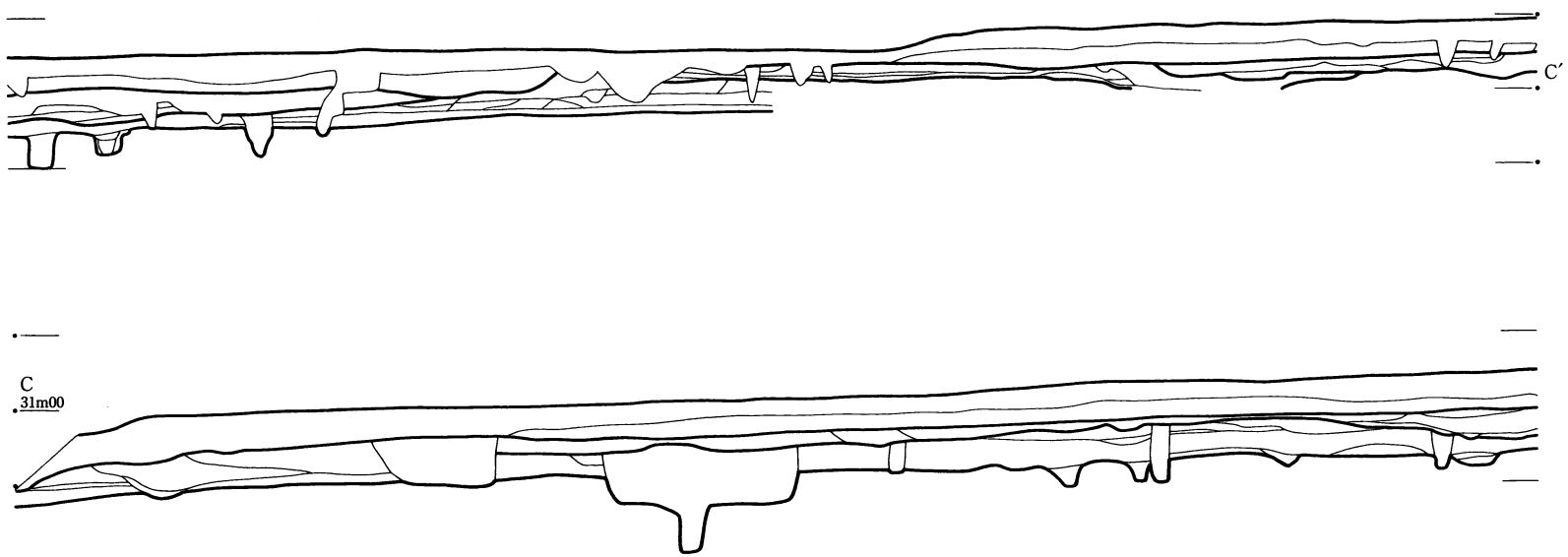
第63図　平場６・７　土層断面図（1）

0　(1/100)　5m



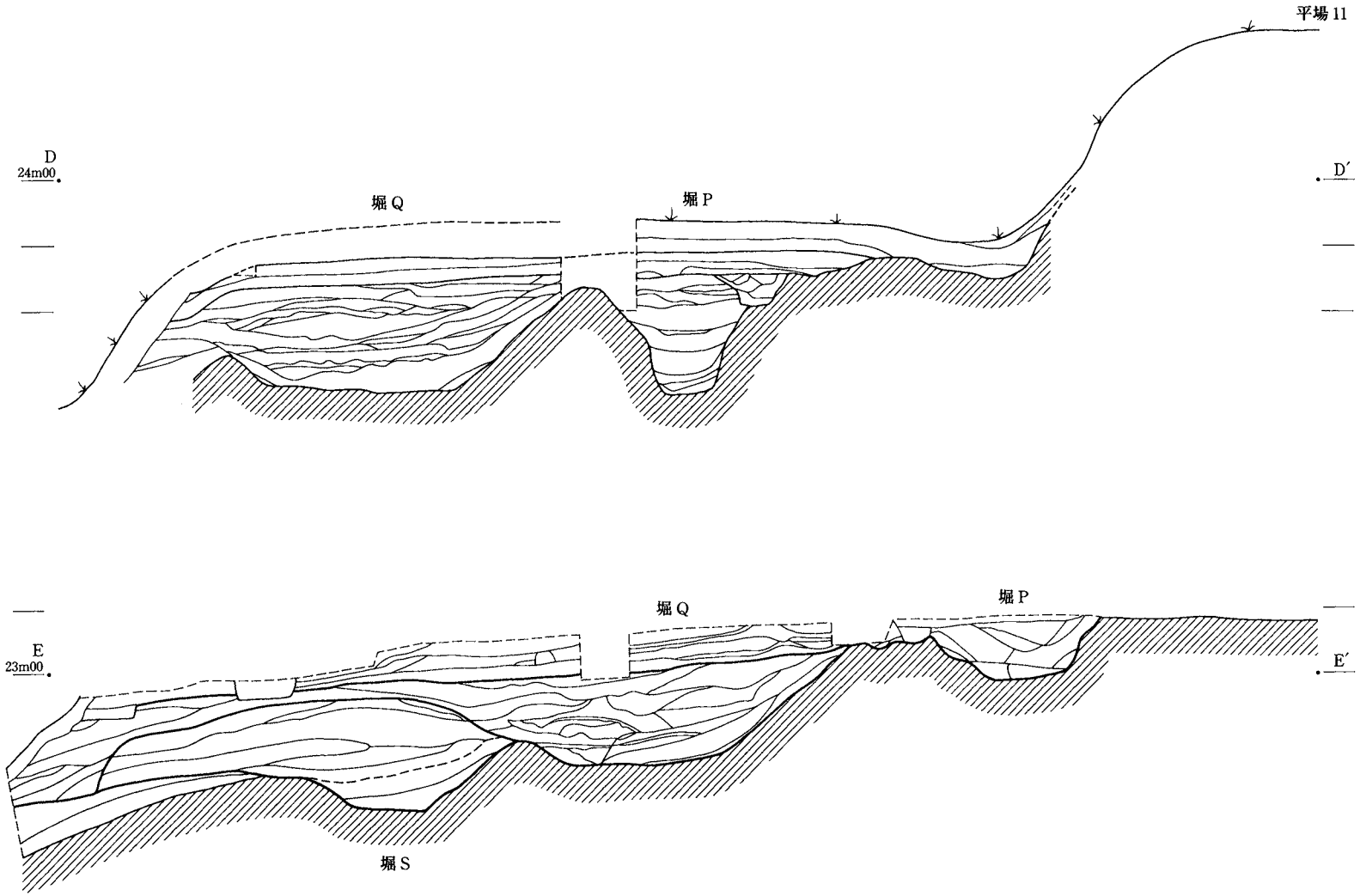
第64図　平場６・７　土層断面図（2）

0　(1/100)　5m



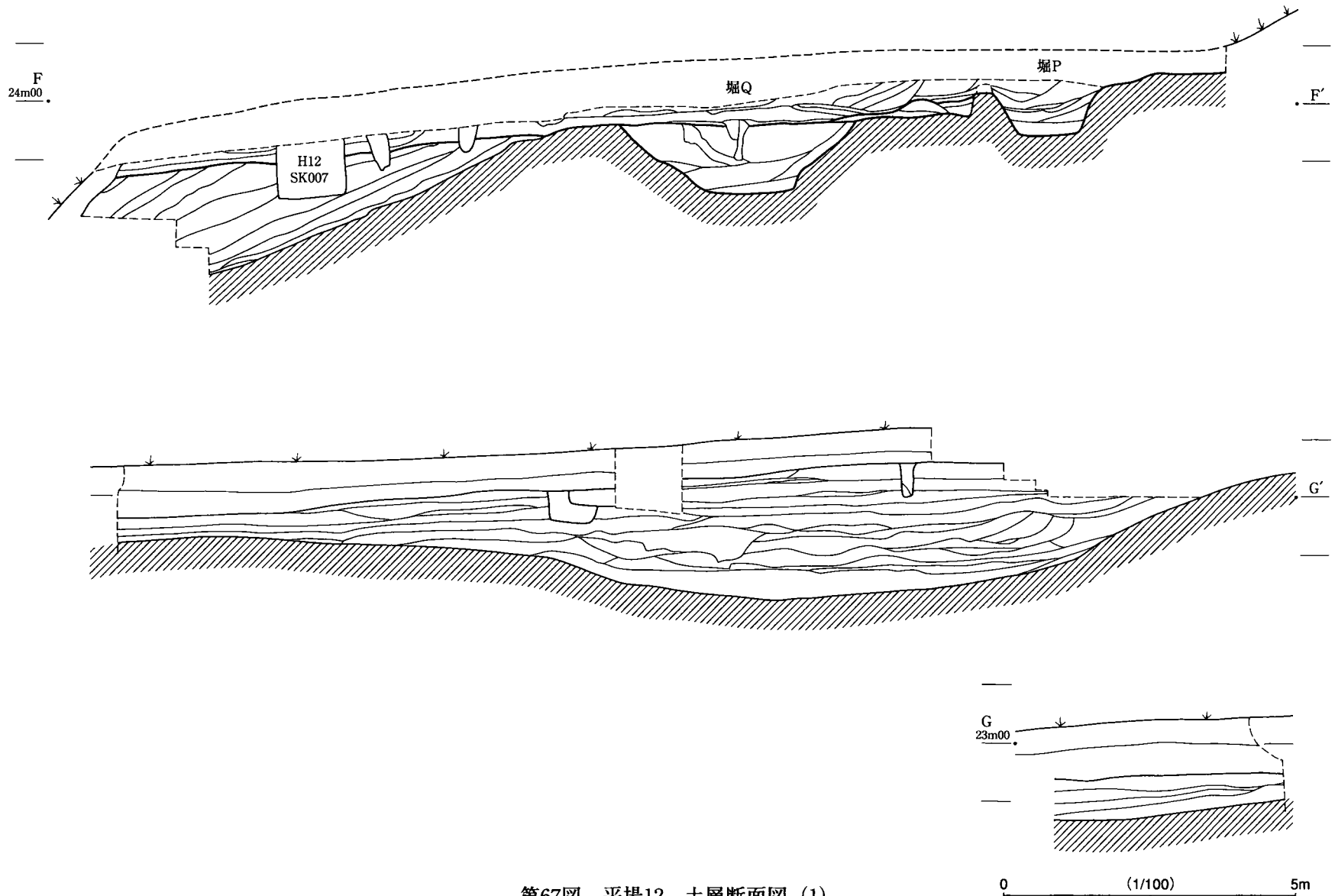
第65図　平場６・７　土層断面図（3）

0　(1/100)　5m

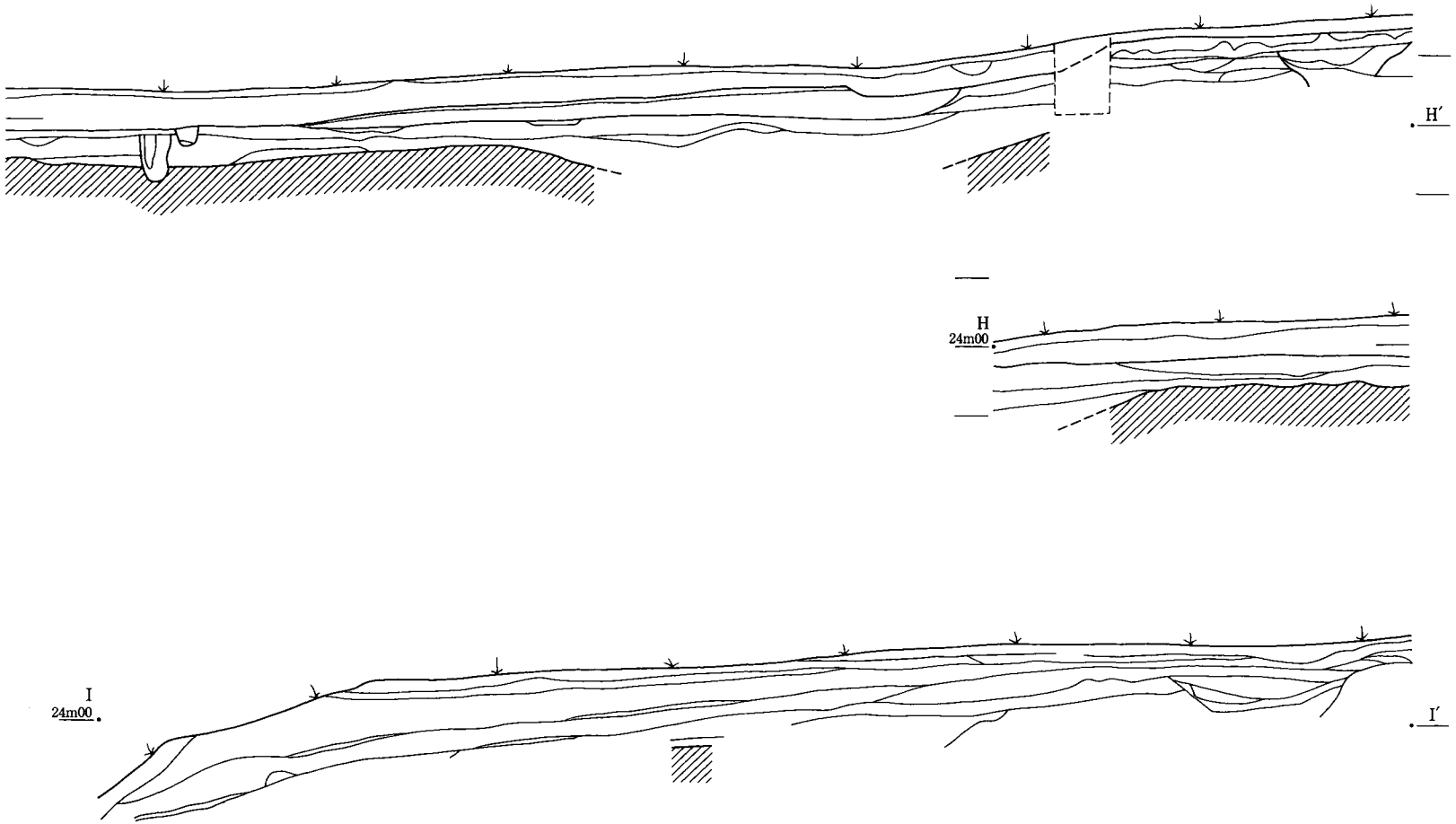


第66図　平場11・12　土層断面図

0　(1/100)　5m



第67図　平場12　土層断面図（1）



第68図　平場12　土層断面図（2）

0　(1/100)　5m

第6表　遺構一覧（1）

	平場	種別確定	調査時旧種別	遺構番号	所属時期	検出面から底面までの深さ　m	位置	備考
1	平場　1	土塁						
2	平場　2	堀A						
3	平場　5	堀B	堀（新）					
4	平場　5	堀C	堀（古）					
5	平場　6	ピット	ピット	1	A	0.53	3H－83	
6	平場　6	ピット	ピット	2欠番	－		欠番	
7	平場　6	ピット	ピット	3欠番	－		欠番	
8	平場　6	ピット	ピット	4欠番	－		欠番	
9	平場　6	ピット	ピット	5欠番	－		欠番	
10	平場　6	ピット	ピット	6欠番	－		欠番	
11	平場　6	ピット	ピット	7欠番	－		欠番	
12	平場　6	ピット	ピット	8欠番	－		欠番	
13	平場　6	ピット	ピット	9欠番	－		欠番	
14	平場　6	ピット	ピット	10欠番	－		欠番	刀子
15	平場　6	ピット	ピット	11			?	
16	平場　6	ピット	ピット	12	B・C	0.72	2E－63	
17	平場　6	ピット	ピット	13	B・C	0.52	2E－63	
18	平場　6	ピット	ピット	14	B・C	0.32	2E－64	
19	平場　6	ピット	ピット	15	B・C	0.69	2E－65	
20	平場　6	ピット	ピット	16	B・C	0.55	2E－74	
21	平場　6	ピット	ピット	17	A	0.58	2E－95	
22	平場　6	ピット	ピット	18	A	0.37	2E－96	
23	平場　6	ピット	ピット	19	A	0.70	2E－85	
24	平場　6	ピット	ピット	20	A	0.18	2E－75	
25	平場　6	ピット	ピット	21	B・C	0.59	2F－98	
26	平場　6	ピット	ピット	22	B・C	0.14	2E－64	
27	平場　6	ピット	ピット	23	B・C	0.34	3E－07	砥石
28	平場　6	ピット	ピット	24	B・C	1.07	3E－08	
29	平場　6	ピット	ピット	25	B・C	0.32	2E－78	
30	平場　6	ピット	ピット	26	B・C	0.74	2E－73	
31	平場　6	ピット	ピット	27	B・C	0.50	2E－62	
32	平場　6	ピット	ピット	28	B・C	0.77	2E－72	
33	平場　6	ピット	ピット	29	B・C	0.55	2E－52	
34	平場　6	ピット	ピット	30	B・C	0.43	3F－90	
35	平場　6	ピット	ピット	31欠番	－		欠番	
36	平場　6	ピット	ピット	32	B・C	0.27	2E－90	
37	平場　6	ピット	ピット	33	B・C	0.28	2E－81	
38	平場　6	ピット	ピット	34	B・C	0.93	2E－91	
39	平場　6	ピット	ピット	35	B・C		3F－98	
40	平場　6	ピット	ピット	36	B・C		3F－98	
41	平場　6	ピット	ピット	37	B・C		3F－86	
42	平場　6	ピット	ピット	38	A	0.31	3G－42	
43	平場　6	ピット	ピット	39	A	0.55	3G－42	
44	平場　6	ピット	ピット	40	B・C	0.65	3F－76	
45	平場　6	ピット	ピット	41	B・C	0.43	3F－76	
46	平場　6	ピット	ピット	42	B・C	0.72	3F－77	
47	平場　6	ピット	ピット	43	B・C	0.31	3F－88	
48	平場　6	ピット	ピット	44	B・C	0.41	3F－89	
49	平場　6	ピット	ピット	45	B・C	0.14	3F－88	
50	平場　6	ピット	ピット	46	B・C	0.13	3F－76	
51	平場　6	ピット	ピット	47	B・C	0.21	3F－87	

遺構一覧（2）

	平場	種別確定	調査時旧種別	遺構番号	所属時期	検出面から底面までの深さ m	位置	備考
52	平場 6	ピット	ピット	48	B・C	0.15	3F－97	
53	平場 6	ピット	ピット	49欠番	－			
54	平場 6	ピット	ピット	49欠番	－			
55	平場 6	ピット	ピット	50	A	0.21	3G－33	
56	平場 6	ピット	ピット	51	A	0.10	3G－33	
57	平場 6	ピット	ピット	52	B・C	0.40	3F－57	
58	平場 6	ピット	ピット	53	B・C	0.45	3G－41	
59	平場 6	ピット	ピット	54欠番	－		欠番	
60	平場 6	ピット	ピット	55	B・C	0.53	3F－29	
61	平場 6	ピット	ピット	56	B・C	0.27	3F－28	
62	平場 6	ピット	ピット	57	B・C	0.26	3F－28	
63	平場 6	ピット	ピット	58	A	0.36	3F－21	
64	平場 6	ピット	ピット	59	B・C	0.12	3F−53	
65	平場 6	ピット	ピット	60欠番	－		欠番	銭貨
66	平場 6	ピット	ピット	61	B・C	0.58	3G－31	
67	平場 6	ピット	ピット	62	B・C	0.62	3G－12	
68	平場 6	ピット	ピット	63欠番	－		欠番	
69	平場 6	ピット	ピット	64欠番	－		欠番	
70	平場 6	ピット	ピット	65欠番	－		欠番	
71	平場 6	ピット	ピット	66欠番	－		欠番	
72	平場 6	ピット	ピット	66欠番	－		欠番	
73	平場 6	ピット	ピット	67	B・C	0.55	3F－78	
74	平場 6	ピット	ピット	68	B・C	0.42	3F－88	
75	平場 6	ピット	ピット	69	B・C	0.08	3F－78	
76	平場 6	ピット	ピット	70	B・C	0.13	3F－89	
77	平場 6	ピット	ピット	71	B・C	0.07	3G－80	
78	平場 6	ピット	ピット	72	B・C	0.12	3G－80	
79	平場 6	ピット	ピット	73	B・C	0.08	3G−80	
80	平場 6	ピット	ピット	74	B・C	0.09	3G－80	
81	平場 6	ピット	ピット	75	B・C	0.16	3G－80	
82	平場 6	ピット	ピット	76	B・C	0.21	3G－80	
83	平場 6	ピット	ピット	77欠番	－		欠番	
84	平場 6	ピット	ピット	78	B・C	0.43	3G－70	
85	平場 6	ピット	ピット	79	B・C	0.42	3G－70	
86	平場 6	ピット	ピット	80	B・C	0.04	3G－70	
87	平場 6	ピット	ピット	81	B・C	0.13	3F－87	
88	平場 6	ピット	ピット	82	B・C	0.14	3F－87	
89	平場 6	ピット	ピット	83	B・C	0.51	3F－88	釘
90	平場 6	ピット	ピット	84	B・C	0.71	3E－01	
91	平場 6	ピット	ピット	85	B・C	0.40	3E－00	
92	平場 6	ピット	ピット	86	A	0.24	2E－92	
93	平場 6	ピット	ピット	87欠番	－		欠番	
94	平場 6	ピット	ピット	88欠番	－		欠番	
95	平場 6	ピット	ピット	89欠番	－		欠番	
96	平場 6	ピット	ピット	90欠番	－		欠番	
97	平場 6	ピット	ピット	91欠番	－		欠番	
98	平場 6	ピット	ピット	92欠番	－		欠番	
99	平場 6	ピット	ピット	93	A	0.03	3F－58	
100	平場 6	ピット	ピット	94	B・C	31.26	3E－69	
101	平場 6	ピット	ピット	95欠番	－		欠番	
102	平場 6	ピット	ピット	96欠番	－		欠番	
103	平場 6	ピット	ピット	97欠番	－		欠番	

遺構一覧（3）

	平場	種別確定	調査時旧種別	遺構番号	所属時期	検出面から底面までの深さ m	位置	備考
104	平場 6	ピット	ピット	98欠番	－		欠番	
105	平場 6	ピット	ピット	99欠番	－		欠番	
106	平場 6	ピット	ピット	100欠番	－		欠番	
107	平場 6	ピット	ピット	101	C	0.56	3G－20	
108	平場 6	ピット	ピット	102	B・C	0.37	3F－29	
109	平場 6	ピット	ピット	103	B・C	0.21	3F－29	
110	平場 6	ピット	ピット	104	B・C	0.41	3F－29	釘
111	平場 6	ピット	ピット	105	B・C	0.48	3F－29	
112	平場 6	ピット	ピット	106	A	0.24	3F－21	
113	平場 6	ピット	ピット	107	B・C	0.26	3G－12	
114	平場 6	ピット	ピット	108	B・C	0.13	3F－38	
115	平場 6	ピット	ピット	109	B・C	0.06	3F－28	
116	平場 6	ピット	ピット	110欠番	－		3F－28	
117	平場 6	ピット	ピット	111	B・C	0.34	3F－49	
118	平場 6	ピット	ピット	112	B・C	0.43	3F－18	
119	平場 6	ピット	ピット	113	B・C		3G－11	
120	平場 6	ピット	ピット	114	A	0.72	3D－38	
121	平場 6	ピット	ピット	115	A	0.56	3D－48	
122	平場 6	ピット	ピット	116	A	0.45	3D－48	
123	平場 6	ピット	ピット	117	B・C	0.51	3D－47	
124	平場 6	ピット	ピット	118	B・C	0.36	3D－49	
125	平場 6	ピット	ピット	119	B	0.61	3E－56	鋲金具
126	平場 6	ピット	ピット	120	B	0.08	2E－55	
127	平場 6	ピット	ピット	121	B	0.43	3E－45	
128	平場 6	ピット	ピット	122	B	0.47	3E－25	
129	平場 6	ピット	ピット	123	B	0.10	3E－37	
130	平場 6	ピット	ピット	124	B・C	0.36	3D－18	
131	平場 6	ピット	ピット	125	B・C	0.36	3D－19	
132	平場 6	ピット	ピット	126	B・C	0.18	3F－63	
133	平場 6	ピット	ピット	127	A	1.49	3D－38	
134	平場 6	ピット	ピット	128	A	0.39	3D－48	
135	平場 6	溝	土坑	1	A		3H－00	銭貨
136	平場 6	溝	溝	1 a		1.55	2G－95	
137	平場 6	溝	溝	1 b		0.84	2F－89	
138	平場 6	溝	溝	1 c		0.80	2G－80	
139	平場 6	溝	土坑	18	B・C	0.21	3G－47	銭貨
140	平場 6	溝	土坑	19	B・C		3G－00	
141	平場 6	溝	溝	19	A		3G－08	
142	平場 6	溝	土坑	42	A	0.29	4G－08	
143	平場 6	溝	溝	43	A	0.10	3G－54	
144	平場 6	溝	溝	44	A	0.24	3G－73	
145	平場 6	溝	溝	51	B・C	0.57	3G－24	釘
146	平場 6	溝	溝	56	B・C	0.17	3G－53	
147	平場 6	溝	土坑	64	A	0.78	2E－60	
148	平場 6	溝	溝	113	B・C	0.09	3E－05	
149	平場 6	溝	溝	118	B・C	0.21	2F－90	
150	平場 6	溝	土坑	168	B・C	0.13	2E－91	
151	平場 6	溝	溝	179	B・C	0.11	3E－42	
152	平場 6	溝	土坑	189	B・C	0.14	3D－90	
153	平場 6	溝	溝	190	B・C	0.15	3D－08	
154	平場 6	溝	溝	191	B・C	0.05	3D－05	
155	平場 6	溝	溝	195	B・C	0.26	3E－54	
156	平場 6	溝	溝	196	B・C	0.05	3E－03	
157	平場 6	溝	溝	197	B・C	0.11	3E－04	

遺構一覧（4）

	平場	種別確定	調査時旧種別	遺構番号	所属時期	検出面から底面までの深さ m	位置	備考
158	平場 6	溝	溝	205		0.20	3E－31	
159	平場 6	溝	溝	206	A	0.14	3E－40	
160	平場 6	溝	溝	247		0.14	3E－90	堀D(A)覆土上位面
161	平場 6	溝	土坑	248	B・C	0.32	3D－15	
162	平場 6	土坑	土坑	2	A	0.27	3H－81	墓，刀装具（銅製品出土）
163	平場 6	土坑	土坑	3	A	0.17	3H－62	
164	平場 6	土坑	土坑	4	A	0.37	3H－63	
165	平場 6	土坑	土坑	5	A	0.49	3G－34	
166	平場 6	土坑	土坑	6	A	0.32	3G－78	
167	平場 6	土坑	土坑	7	A	0.22	3G－84	
168	平場 6	土坑	土坑	8 a	A	0.25	3H－44	
169	平場 6	土坑	土坑	8 b	A	0.30	3H－54	
170	平場 6	土坑	土坑	9	A	0.14	3H－73	
171	平場 6	土坑	土坑	10	A	0.54	3H－43	
172	平場 6	土坑	土坑	11	A	0.47	3H－53	銭貨
173	平場 6	土坑	土坑	12				
174	平場 6	土坑	土坑	13	A	0.14	3H－33	
175	平場 6	土坑	土坑	15	A	0.93	3H－62	
176	平場 6	土坑	土坑	17	A	0.41	3G－74	
177	平場 6	土坑	土坑	20	A	0.64	2E－90	
178	平場 6	土坑	土坑	21	A	0.52	2E－80	
179	平場 6	土坑	土坑	22	A	0.25	2E－79	銭貨
180	平場 6	土坑	土坑	23	A	0.88	2D－76	
181	平場 6	土坑	土坑	24	A	0.29	2E－60	
182	平場 6	土坑	土坑	25	A	0.70	2E－63	
183	平場 6	土坑	土坑	26	A	0.72	2E－97	
184	平場 6	土坑	土坑	27	A	0.79	3E－02	
185	平場 6	土坑	土坑	28	A	0.40	2E－86	銭貨
186	平場 6	土坑	土坑	29	A	0.70	2E－87	
187	平場 6	土坑	土坑	30	A	0.35	2E－78	
188	平場 6	土坑	土坑	31	A	0.40	2E－68	
189	平場 6	土坑	土坑	32	B・C	0.14	2E－77	
190	平場 6	土坑	土坑	33	A	0.18	2E－96	
191	平場 6	土坑	土坑	34	A	0.24	2E－92	
192	平場 6	土坑	土坑	35	A	0.38	2E－55	
193	平場 6	土坑	土坑	36	A	0.84	2D－86	
194	平場 6	土坑	土坑	37	A	0.22	3E－03	
195	平場 6	土坑	土坑	38	A	0.29	2E－71	
196	平場 6	土坑	土坑	39	B・C	0.20	2E－98	切羽
197	平場 6	土坑	土坑	40	A	0.54	3H－31	
198	平場 6	土坑	土坑	41	A	0.23	3G－52	
199	平場 6	土坑	土坑	45	A	0.35	4G－15	
200	平場 6	土坑	土坑	46欠番	－		欠番	
201	平場 6	土坑	土坑	47	A	0.34	3G－83	砥石
202	平場 6	土坑	土坑	48 a	C	0.13	3G－93	
203	平場 6	土坑	土坑	48 b	C	0.09	3G－93	
204	平場 6	土坑	土坑	49	C	0.72	4G－93	
205	平場 6	土坑	土坑	50	A	0.21	3H－31	
206	平場 6	土坑	土坑	52欠番	－		欠番	
207	平場 6	土坑	土坑	53	A	0.23	3H－70	墓，130は入口か？
208	平場 6	土坑	土坑	54	A	0.19	3H－80	
209	平場 6	土坑	土坑	55	A	0.71	3H－80	
210	平場 6	土坑	土坑	57	A	1.64	3G－64	

遺構一覧（5）

	平場	種別確定	調査時旧種別	遺構番号	所属時期	検出面から底面までの深さ m	位置	備考
211	平場 6	土坑	土坑	58	A	0.47	3G－43	
212	平場 6	土坑	土坑	59	B・C	0.21	3G－44	
213	平場 6	土坑	土坑	60	A	0.05	2E－97	
214	平場 6	土坑	土坑	61	A	0.07	2D－88	
215	平場 6	土坑	土坑	62	A	0.18	2E－79	
216	平場 6	土坑	土坑	63	A	0.26	2E－70	
217	平場 6	土坑	土坑	65	A	0.26	3E－01	
218	平場 6	土坑	土坑	66	B・C	0.09	3E－01	
219	平場 6	土坑	土坑	67	B・C	0.07	2F－84	
220	平場 6	土坑	土坑	68	B・C	0.19	2F－73	
221	平場 6	土坑	土坑	69	B・C	0.48	3F－02	
222	平場 6	土坑	土坑	70	B・C	0.21	3F－04	
223	平場 6	土坑	土坑	71	B・C	0.13	3F－05	
224	平場 6	土坑	土坑	72	B・C	0.34	3F－06	
225	平場 6	土坑	土坑	73	B	0.16	2F－86	
226	平場 6	土坑	土坑	74	B	0.13	2F－77	
227	平場 6	土坑	土坑	75	B	0.31	2F－98	
228	平場 6	土坑	土坑	76	B	0.44	3F－09	釘
229	平場 6	土坑	土坑	77	B	0.35	3F－07	
230	平場 6	土坑	土坑	78	B	0.44	3F－38	
231	平場 6	土坑	土坑	79	B	0.53	3F－26	
232	平場 6	土坑	土坑	80	A	0.11	3F－35	
233	平場 6	土坑	土坑	81	A	0.24	3F－36	
234	平場 6	土坑	土坑	82	B・C	0.57	2F－62	銭貨
235	平場 6	土坑	土坑	83	A	0.20	3F－25	
236	平場 6	土坑	土坑	84	A	0.17	3F－24	
237	平場 6	土坑	土坑	85	A	0.23	3F－34	
238	平場 6	土坑	土坑	86	A	0.12	3F－44	
239	平場 6	土坑	土坑	87	A	0.12	3F－44	
240	平場 6	土坑	土坑	88	A	0.22	3F－56	
241	平場 6	土坑	土坑	89	A	0.10	3G－50	
242	平場 6	土坑	土坑	90	A	0.17	3G－40	
243	平場 6	土坑	土坑	91	A	0.23	3G－40	
244	平場 6	土坑	土坑	92	A	0.29	3G－30	
245	平場 6	土坑	土坑	93	A	0.14	3F－35	
246	平場 6	土坑	土坑	94	A	0.87	2E－73	砥石
247	平場 6	土坑	土坑	95	A	0.24	2E－85	
248	平場 6	土坑	土坑	96	A	0.17	2E－75	
249	平場 6	土坑	土坑	97	B・C	0.36	2E－55	
250	平場 6	土坑	土坑	98欠番	－		欠番	砥石
251	平場 6	土坑	土坑	99	A	0.30	2E－74	
252	平場 6	土坑	土坑	100	B・C	0.43	2F－64	
253	平場 6	土坑	土坑	101欠番	－		欠番	
254	平場 6	土坑	土坑	102	B	0.70	3F－13	墓，162は入口か？
255	平場 6	土坑	土坑	103	B	0.36	3F－03	
256	平場 6	土坑	土坑	104	B	0.17	3F－16	
257	平場 6	土坑	土坑	105	B	0.44	3F－47	
258	平場 6	土坑	土坑	106	B	0.63	3F－44	
259	平場 6	土坑	土坑	107	B・C	0.11	2F－64	
260	平場 6	土坑	土坑	108	A	0.48	3F－18	
261	平場 6	土坑	土坑	109	B	0.21	3F－32	釘
262	平場 6	土坑	土坑	110	A	0.76	2E－54	砥石
263	平場 6	土坑	土坑	111 a	B・C	0.48	2E－89	墓，銭貨
264	平場 6	土坑	土坑	111 b	B・C	0.37	2E－89	墓

遺構一覧（6）

	平場	種別確定	調査時旧種別	遺構番号	所属時期	検出面から底面までの深さ m	位置	備考
265	平場 6	土坑	土坑	112	B・C	0.25	2E－70	
266	平場 6	土坑	土坑	114	B・C	0.30	2E－54	
267	平場 6	土坑	土坑	115	B・C	0.46	2E－87	
268	平場 6	土坑	土坑	116	B・C	0.11	3F－01	
269	平場 6	土坑	土坑	117欠番	－		欠番	
270	平場 6	土坑	土坑	119	B・C	0.24	2E－91	
271	平場 6	土坑	土坑	120	B・C	1.07	2F－64	
272	平場 6	土坑	土坑	121	B・C	1.28	2F－64	
273	平場 6	土坑	土坑	122欠番	－		欠番	
274	平場 6	土坑	土坑	123欠番	－		欠番	
275	平場 6	土坑	土坑	124	A	0.50	3G－41	刀子
276	平場 6	土坑	土坑	125	B・C	0.68	3G－52	分銅
277	平場 6	土坑	土坑	126	A	0.81	3G－30	
278	平場 6	土坑	土坑	127	A	0.63	3G－31	切羽
279	平場 6	土坑	土坑	128	A	0.38	3G－31	銭貨，火打金
280	平場 6	土坑	土坑	129	A	0.21	3G－21	釘
281	平場 6	土坑	土坑	130	B・C	0.54	2F－92	墓，挽き臼
282	平場 6	土坑	土坑	131	B・C	0.91	2F－95	
283	平場 6	土坑	土坑	132	B・C	0.30	2F－94	刀子
284	平場 6	土坑	土坑	133欠番	－		欠番	
285	平場 6	土坑	土坑	134欠番	－		欠番	
286	平場 6	土坑	土坑	135欠番	－		欠番	
287	平場 6	土坑	土坑	136欠番	－		欠番	
288	平場 6	土坑	土坑	137欠番	－		欠番	
289	平場 6	土坑	土坑	138欠番	－		欠番	
290	平場 6	土坑	土坑	139欠番	－		欠番	
291	平場 6	土坑	土坑	140	A	0.84	3F－79	釘
292	平場 6	土坑	土坑	141	A	0.41	3F－89	
293	平場 6	土坑	土坑	142	A	0.32	3F－88	
294	平場 6	土坑	土坑	143	A	0.38	3F－87	
295	平場 6	土坑	土坑	144	A	0.46	3F－86	
296	平場 6	土坑	土坑	145	A	0.79	3F－87	
297	平場 6	土坑	土坑	146欠番	－		欠番	茶臼
298	平場 6	土坑	土坑	147	B・C	0.46	3F－77	小竪穴
299	平場 6	土坑	土坑	148	B・C	0.41	3F－76	
300	平場 6	土坑	土坑	149	A	0.81	3F－77	鉄鏃
301	平場 6	土坑	土坑	150	B・C	0.65	2F－88	
302	平場 6	土坑	土坑	151	B・C	0.34	3F－07	
303	平場 6	土坑	土坑	152	B・C	0.36	3F－07	
304	平場 6	土坑	土坑	153	B・C	0.67	2F－83	墓
305	平場 6	土坑	土坑	154欠番	－			
306	平場 6	土坑	土坑	155欠番	－		欠番	
307	平場 6	土坑	土坑	156	A	0.83	3G－02	
308	平場 6	土坑	土坑	157欠番	－		欠番	
309	平場 6	土坑	土坑	158	B・C	0.38	2G－72	
310	平場 6	土坑	土坑	159欠番	－		欠番	
311	平場 6	土坑	土坑	160	B・C	0.69	2F－72	
312	平場 6	土坑	土坑	161	A	1.14	3E－47	
313	平場 6	土坑	土坑	162	B・C	0.23	3F－22	
314	平場 6	土坑	土坑	163	B・C	0.25	3E－27	
315	平場 6	土坑	土坑	164	B・C	0.21		
316	平場 6	土坑	土坑	165	A	0.93	3E－49	
317	平場 6	土坑	土坑	166	A	0.78	3E－35	
318	平場 6	土坑	土坑	167	B・C	0.36	2E－90	

遺構一覧（7）

	平場	種別確定	調査時旧種別	遺構番号	所属時期	検出面から底面までの深さ m	位置	備考
319	平場 6	土坑	土坑	169	B・C	0.18	3E－02	
320	平場 6	土坑	土坑	170	B・C	0.14	3F－98	
321	平場 6	土坑	土坑	171	B・C	0.13	3F－97	
322	平場 6	土坑	土坑	172	A	0.30	3G－35	砥石，釘
323	平場 6	土坑	土坑	173欠番	－		欠番	
324	平場 6	土坑	土坑	174	C	0.70	2G－92	墓？
325	平場 6	土坑	土坑	175	B	0.21	3F－43	
326	平場 6	土坑	土坑	176	B	0.09	3F－42	墓壙
327	平場 6	土坑	土坑	177	B・C	0.16	3E－44	墓壙
328	平場 6	土坑	土坑	178	B・C	0.40	3E－33	
329	平場 6	土坑	土坑	180	A	0.29	3E－21	
330	平場 6	土坑	土坑	181	A	0.40	3E－11	
331	平場 6	土坑	土坑	182	A	0.13	3E－32	
332	平場 6	土坑	土坑	183	A	0.24	3E－27	ピットが伴う
333	平場 6	土坑	土坑	184	A	0.24	3F－39	
334	平場 6	土坑	土坑	185	B・C	0.10	3G－60	
335	平場 6	土坑	土坑	186	B・C	0.20	3G－50	
336	平場 6	土坑	土坑	187	B・C	1.07	3F－43	
337	平場 6	土坑	土坑	188	A	0.14	3F－40	
338	平場 6	土坑	土坑	192	B・C	0.42	3D－18	
339	平場 6	土坑	土坑	193	A	0.19	2E－78	
340	平場 6	土坑	土坑	194	B・C	0.04	2E－82	
341	平場 6	土坑	土坑	198	C	0.71	3E－33	墓
342	平場 6	土坑	土坑	199	B・C	0.12	3F－29	
343	平場 6	土坑	土坑	200	B・C	0.17	3E－53	
344	平場 6	土坑	土坑	201	B・C	0.28	3F－29	
345	平場 6	土坑	土坑	202	C	0.13	3F－28	
346	平場 6	平場	土坑	203	B・C	0.87	3G－22	
347	平場 6	土坑	土坑	204	－		3H－05	3H－05を中心とした遺物出土地
348	平場 6	土坑	土坑	207	B・C	0.76	2G－94	
349	平場 6	土坑	土坑	208	A	1.00	3F－23	
350	平場 6	土坑	土坑	209	B・C	0.18	3F－18	
351	平場 6	土坑	土坑	210	C	0.04	3G－21	
352	平場 6	土坑	土坑	211	B・C	0.25	3G－20	
353	平場 6	土坑	土坑	212	B			
354	平場 6	土坑	土坑	213	C	0.08	2F－99	
355	平場 6	土坑	土坑	214	C	0.15	2F－78	
356	平場 6	土坑	土坑	215	C	0.52	2F－76	
357	平場 6	土坑	土坑	216	C	0.40	2F－84	
358	平場 6	土坑	土坑	217	C	0.20	2F－65	
359	平場 6	土坑	土坑	218	C	0.01	2F－65	
360	平場 6	土坑	土坑	219	C	0.57	2F－75	
361	平場 6	土坑	土坑	220	B・C	0.70	2F－97	
362	平場 6	土坑	土坑	221	B・C	0.07	2F－97	
363	平場 6	土坑	土坑	222	C	0.53	2F－81	小竪穴，墓？
364	平場 6	土坑	土坑	223	B	0.13	3F－62	鉄鍋
365	平場 6	土坑	土坑	224	B	0.47	3F－74	釘
366	平場 6	土坑	土坑	225	A	0.69	3F－73	
367	平場 6	土坑	土坑	226	D	0.28	3G－62	
368	平場 6	土坑	土坑	227	B	0.13	3F－55	
369	平場 6	土坑	土坑	228 a	B・C	0.25	3D－47	
370	平場 6	土坑	土坑	228 b	B・C	0.23	3D－38	
371	平場 6	土坑	土坑	229	B・C	0.25	3D－37	

遺構一覧（8）

	平場	種別確定	調査時旧種別	遺構番号	所属時期	検出面から底面までの深さ m	位置	備考
372	平場 6	土坑	土坑	230	B・C	0.18	3D－49	
373	平場 6	土坑	土坑	231	B・C	0.37	3D－39	
374	平場 6	土坑	土坑	232	C	0.11	3D－28	
375	平場 6	土坑	土坑	233	C	0.10	3D－29	
376	平場 6	土坑	土坑	234	C	0.33	3D－37	
377	平場 6	土坑	土坑	235	C	0.70	3F－64	
378	平場 6	土坑	土坑	236	B・C	0.43	3D－47	
379	平場 6	土坑	土坑	237	B・C	0.34	3D－19	
380	平場 6	土坑	土坑	238	B	0.59	3F－50	
381	平場 6	土坑	土坑	239	B・C	0.16	3E－64	
382	平場 6	土坑	土坑	240	B・C	0.46	3G－32	
383	平場 6	土坑	土坑	241	－	0.34	3G－42	
384	平場 6	土坑	土坑	242	B・C		3G－22	銭貨
385	平場 6	土坑	土坑	243	C	0.48	3F－74	銭貨，環状製品，釘
386	平場 6	土坑	土坑	244	C	0.61	3F－75	
387	平場 6	土坑	土坑	245	B・C	0.25	3G－23	
388	平場 6	土坑	土坑	246	B・C	0.26	3F－51	
389	平場 6	土坑	土坑	249	B・C	0.13	2E－69	
390	平場 6	土坑	土坑	250	B・C	0.76	3F－09	
391	平場 6	土坑	土坑	251	B・C	0.83	3G－00	墓，釘
392	平場 6	土坑	土坑	252	C	1.16	2F－89	猿手金具
393	平場 6	土坑	土坑	253	B・C	0.78	2F－88	銭貨
394	平場 6	土坑	土坑	254	C	1.02	2F－78	釘
395	平場 6	土坑	土坑	255	B・C	0.74	3G－15	
396	平場 6	土坑	土坑	256	B・C	0.44	3G－13	
397	平場 6	土坑	土坑	257	B・C	0.45	2G－71	
398	平場 6	土坑	土坑	258	B・C	0.24	2G－72	
399	平場 6	土坑	土坑	259	A	0.13	3G－36	
400	平場 6	土坑	土坑	260	A	0.07	3G－65	
401	平場 6	土坑	土坑	261			3H－05	
402	平場 6	堀D	堀A			0.21		
403	平場 6	堀E	堀B					
404	平場 6	堀F	土坑	14	A	1.83	4G－17	
405	平場 6	堀G	溝	16	A	2.18	3G－68	A016，虎口状遺構，五輪塔
406	平場 6	堀H	堀C					
407	平場 7	溝	溝	30	C	0.15	4F－27	
408	平場 7	土坑	土坑	1a	A	0.69	4F－09	
409	平場 7	土坑	土坑	1b	B	0.17	4F－19	
410	平場 7	土坑	土坑	2	A	0.41	4F－19	
411	平場 7	土坑	土坑	3	A	0.31	4G－21	五輪塔
412	平場 7	土坑	土坑	4	A	0.32	4G－21	
413	平場 7	土坑	土坑	5欠番	－		欠番	
414	平場 7	土坑	土坑	6	A	0.60	4F－04	
415	平場 7	土坑	土坑	7	A	0.13	3F－83	
416	平場 7	土坑	土坑	8	A	0.12	3F－82	
417	平場 7	土坑	土坑	9	A	0.34	4F－17	
418	平場 7	土坑	土坑	10	A	0.07	4F－28	
419	平場 7	土坑	土坑	11	A	0.18	3F－28	墓，灰釉，五輪塔
420	平場 7	土坑	土坑	12	B	0.22	4F－05	
421	平場 7	土坑	土坑	13		0.52	3F－38	
422	平場 7	土坑	土坑	14		0.17	3F－08	
423	平場 7	土坑	土坑	15		0.38	3F－18	
424	平場 7	土坑	土坑	16	A	0.24	3F－06	

遺構一覧 (9)

	平場	種別確定	調査時旧種別	遺構番号	所属時期	検出面から底面までの深さ m	位置	備考
425	平場 7	土坑	土坑	17	A	0.17	3F－07	
426	平場 7	土坑	土坑	18	A	0.17	3F－93	
427	平場 7	土坑	土坑	19	A	0.16	3F－84	
428	平場 7	土坑	土坑	20	A	0.20	3F－83	
429	平場 7	土坑	土坑	21	A	0.19	3F－92	
430	平場 7	土坑	土坑	22	B	0.25	3F－91	
431	平場 7	土坑	土坑	23	B	0.14	3F－72	
432	平場 7	土坑	土坑	24	B	0.27	3E－89	
433	平場 7	土坑	土坑	25		0.41	4F－07	
434	平場 7	土坑	土坑	26	B・C	0.42	4F－05	
435	平場 7	土坑	土坑	27	B・C	0.20	4F－05	
436	平場 7	土坑	土坑	28	C	0.27	4F－08	
437	平場 7	土坑	土坑	29	C	0.21	4F－29	
438	平場 7	土坑	土坑	31		0.18	3F－96	
439	平場 7	土坑	土坑	32	B	0.60	4G－20	
440	平場 7	土坑	土坑	33	B	0.68	3G－90	
441	平場 8	ピット	ピット	1	C	0.39	5C－06	
442	平場 8	ピット	ピット	2	C	0.58	5C－06	
443	平場 8	ピット	ピット	3	C	0.48	5C－06	砥石
444	平場 8	ピット	ピット	4	C	0.41	5C－28	
445	平場 8	ピット	ピット	5	C	0.30	4D－80	
446	平場 8	ピット	ピット	6	C	0.22	4D－92	
447	平場 8	ピット	ピット	7	C	0.25	4D－81	
448	平場 8	ピット	ピット	8	C	0.30	4D－81	
449	平場 8	ピット	ピット	9	C	0.34	4D－72	
450	平場 8	ピット	ピット	10 a	C	0.29	4D－53	
451	平場 8	ピット	ピット	10 b	C	0.49	4D－71	
452	平場 8	ピット	ピット	11 a	C	0.11	4D－63	
453	平場 8	ピット	ピット	11 b	C	0.07	4D－81	
454	平場 8	ピット	ピット	12	C	0.51	4D－82	
455	平場 8	ピット	ピット	13	C	0.09	4D－82	
456	平場 8	ピット	ピット	14	C	0.37	5D－01	
457	平場 8	ピット	ピット	15	D	0.61	5D－13	
458	平場 8	ピット	ピット	16 a	D	0.33	5D－35	
459	平場 8	ピット	ピット	16 b	D	1.41	5D－01	
460	平場 8	ピット	ピット	17	C	0.29	5D－12	
461	平場 8	ピット	ピット	18	C	0.12	5D－55	
462	平場 8	ピット	ピット	19	C	0.29	5D－14	
463	平場 8	ピット	ピット	20 a	C	0.28	5D－14	
464	平場 8	ピット	ピット	20 b		0.42	5D－24	
465	平場 8	ピット	ピット	21	C	0.42	5D－24	
466	平場 8	ピット	ピット	22	C	0.26	5D－23	
467	平場 8	ピット	ピット	23	C	0.63	5D－24	
468	平場 8	ピット	ピット	24	C	0.26	5D－22	
469	平場 8	ピット	ピット	25	C	0.33	5D－13	
470	平場 8	ピット	ピット	26	D	0.15	5D－01	
471	平場 8	ピット	ピット	27	D	0.69	5D－01	
472	平場 8	ピット	ピット	28	D	0.06	5D－01	
473	平場 8	ピット	ピット	29	D	0.52	5D－02	
474	平場 8	ピット	ピット	30	D	0.33	5D－13	
475	平場 8	ピット	ピット	31	D	0.11	5D－14	
476	平場 8	ピット	ピット	32	D	0.19	5D－14	
477	平場 8	ピット	ピット	33	D	0.17	5D－24	
478	平場 8	ピット	ピット	34	D	0.60	5D－24	

遺構一覧（10）

	平場	種別確定	調査時旧種別	遺構番号	所属時期	検出面から底面までの深さ m	位置	備考
479	平場 8	ピット	ピット	35	D	0.37	5D－24	
480	平場 8	ピット	ピット	36	D	0.11	5D－25	
481	平場 8	ピット	ピット	37	D	0.20	5D－02	
482	平場 8	ピット	ピット	38	D	0.13	4C－99	覆土炭化物
483	平場 8	ピット	ピット	39	D	0.15	4C－99	
484	平場 8	ピット	ピット	40	D	0.13	4D－90	覆土炭化物
485	平場 8	ピット	ピット	41	D	0.39	4C－89	
486	平場 8	ピット	ピット	42 a	D	0.15	4D－91	
487	平場 8	ピット	ピット	42 b		0.12	5D－01	
488	平場 8	ピット	ピット	43	D	0.14	4D－91	
489	平場 8	ピット	ピット	44	D	0.15	4D－82	覆土炭化物
490	平場 8	ピット	ピット	45	D	0.44	4D－83	覆土炭化物
491	平場 8	ピット	ピット	46	D	0.29	5D－43	
492	平場 8	ピット	ピット	47 a	D	0.24	5D－43	
493	平場 8	ピット	ピット	47 b	C	0.10	5D－13	
494	平場 8	ピット	ピット	48	D	0.12	5D－43	
495	平場 8	ピット	ピット	49	D	0.06	5D－33	
496	平場 8	ピット	ピット	50	D	0.22	5D－33	
497	平場 8	ピット	ピット	51	D	0.09	5D－33	
498	平場 8	ピット	ピット	52	D	0.32	5D－34	
499	平場 8	ピット	ピット	53	D	0.29	5D－34	
500	平場 8	ピット	ピット	54	D	0.53	5D－35	
501	平場 8	ピット	ピット	55	D	0.36	5D－35	
502	平場 8	ピット	ピット	56	D	0.12	5D－35	
503	平場 8	ピット	ピット	57	D	0.37	5D－45	
504	平場 8	ピット	ピット	58	D	0.39	5D－45	
505	平場 8	ピット	ピット	59	D	0.14	5D－45	
506	平場 8	ピット	ピット	60	D	0.49	5D－54	
507	平場 8	ピット	ピット	61	D	0.41	5D－54	
508	平場 8	ピット	ピット	62	D	0.35	5D－54	
509	平場 8	ピット	ピット	63	D	0.41	5D－54	
510	平場 8	ピット	ピット	64	D	0.53	5D－56	
511	平場 8	ピット	ピット	65	D	0.07	5D－56	遺物多量
512	平場 8	ピット	ピット	66	D	0.12	5D－55	
513	平場 8	ピット	ピット	67	D	0.15	5D－55	
514	平場 8	ピット	ピット	68	D	0.36	5D－55	
515	平場 8	ピット	ピット	69 a	D	0.15	5D－66	
516	平場 8	ピット	ピット	69 b	D	0.59	4D－80	
517	平場 8	ピット	ピット	70	D	0.17	5D－20	
518	平場 8	ピット	ピット	71	D	0.12	5D－20	
519	平場 8	ピット	ピット	72	D	0.32	5D－21	
520	平場 8	ピット	ピット	73	D	0.28	5D－22	
521	平場 8	ピット	ピット	74	D	0.18	5D－22	
522	平場 8	ピット	ピット	75	D	0.25	5D－22	
523	平場 8	ピット	ピット	76	D	0.18	5D－32	
524	平場 8	ピット	ピット	77	D	0.35	5D－31	
525	平場 8	ピット	ピット	78	D	0.34	5D－31	
526	平場 8	ピット	ピット	79	D	0.42	5D－31	
527	平場 8	ピット	ピット	80	D	0.40	5D－31	
528	平場 8	ピット	ピット	81	D	0.29	4C－99	覆土炭化物
529	平場 8	ピット	ピット	82	D	0.70	5C－09	
530	平場 8	ピット	ピット	83	D	0.17	5C－09	
531	平場 8	ピット	ピット	84	C	0.06	4D－73	
532	平場 8	ピット	ピット	85	C	0.19	4D－73	

遺構一覧（11）

	平場	種別確定	調査時旧種別	遺構番号	所属時期	検出面から底面までの深さ m	位置	備考
533	平場 8	ピット	ピット	86	C	0.19	4D－83	
534	平場 8	ピット	ピット	87	C	0.44	4D－93	
535	平場 8	ピット	ピット	88	D	0.32	5D－00	
536	平場 8	ピット	ピット	89	D	0.31	5D－56	
537	平場 8	ピット	ピット	89欠番	－		4D－62	
538	平場 8	ピット	ピット	90	D	0.45	5D－34	
539	平場 8	ピット	ピット	91	D	0.30	5D－17	
540	平場 8	ピット	ピット	92	D	0.22	4C－89	
541	平場 8	ピット	ピット	93	C	0.52	5D－24	
542	平場 8	ピット	ピット	94	D	0.24	5D－01	
543	平場 8	ピット	ピット	95	D	0.39	5D－11	
544	平場 8	ピット	ピット	96	D	0.12	5D－11	
545	平場 8	ピット	ピット	97	D	0.10	5D－02	
546	平場 8	ピット	ピット	98	D	0.14	5D－02	
547	平場 8	ピット	ピット	99	D	0.28	5D－11	
548	平場 8	ピット	ピット	100	D	0.36	5D－11	
549	平場 8	ピット	ピット	101	D	0.36	5D－22	
550	平場 8	ピット	ピット	102	D	0.57	5D－24	
551	平場 8	ピット	ピット	103	D	0.09	5D－24	
552	平場 8	ピット	ピット	104	D	0.21	5D－12	
553	平場 8	ピット	ピット	105欠番	－		欠番	
554	平場 8	ピット	ピット	106	D		4D－73	石
555	平場 8	ピット	ピット	107	D	0.31	4D－90	
556	平場 8	ピット	ピット	108	D	0.31	5D－12	
557	平場 8	ピット	ピット	109	D	0.31	5D－22	
558	平場 8	ピット	ピット	110	D	0.31	5D－22	
559	平場 8	ピット	ピット	111	D	0.31	5D－11	
560	平場 8	ピット	ピット	112	D	0.31	5D－11	
561	平場 8	ピット	ピット	113	D	0.31	5D－03	
562	平場 8	溝	溝	61		0.03	4D－92	
563	平場 8	溝	溝	62	D	0.07	4D－80	砥石，環状製品
564	平場 8	土坑	土坑	1	C	0.25	5C－23	
565	平場 8	土坑	土坑	2	C	0.73	5C－15	
566	平場 8	土坑	土坑	3	C	0.44	5C－26	
567	平場 8	土坑	土坑	4	C	0.14	5C－16	
568	平場 8	土坑	土坑	5	C	0.30	5C－27	
569	平場 8	土坑	土坑	6	C	0.14	5C－27	
570	平場 8	土坑	土坑	7	C	0.33	5C－05	
571	平場 8	土坑	土坑	8	C	0.40	4C－96	
572	平場 8	土坑	土坑	9	C	0.21	5C－04	
573	平場 8	土坑	土坑	10	C	1.05	5D－10	土錘
574	平場 8	土坑	土坑	11	C	0.62	5D－01	刀子
575	平場 8	土坑	土坑	12 a	C	0.73	4D－81	砥石，土錘
576	平場 8	土坑	土坑	12 b	D	1.25	4D－81	
577	平場 8	土坑	土坑	13	C	0.35	4D－91	
578	平場 8	土坑	土坑	14	C	0.67	4C－79	
579	平場 8	土坑	土坑	15	C	0.26	4C－79	
580	平場 8	土坑	土坑	16	C	0.59	4D－81	
581	平場 8	土坑	土坑	17	C	0.44	4D－71	
582	平場 8	土坑	土坑	18	C	0.91	5D－44	046と重複
583	平場 8	土坑	土坑	19	C	0.61	5D－22	
584	平場 8	土坑	土坑	20 a	C	0.60	4D－82	
585	平場 8	土坑	土坑	21	C	0.39	5D－13	土錘
586	平場 8	土坑	土坑	22	C	0.41	5D－01	土錘

遺構一覧（12）

	平場	種別確定	調査時旧種別	遺構番号	所属時期	検出面から底面までの深さ m	位置	備考
587	平場 8	土坑	土坑	23	C	0.36	4D－91	
588	平場 8	土坑	土坑	24	C	0.19	4D－81	
589	平場 8	土坑	土坑	25欠番	－		欠番	砥石，土錘
590	平場 8	土坑	土坑	26	C	0.57	5D－32	砥石，土錘
591	平場 8	土坑	土坑	27	C	0.30	4D－82	
592	平場 8	土坑	土坑	28	C	0.28	4D－70	
593	平場 8	土坑	土坑	29	C	0.18	4D－51	
594	平場 8	土坑	土坑	30	C	0.39	5D－01	
595	平場 8	土坑	土坑	31	C	0.46	4D－91	
596	平場 8	土坑	土坑	32	C	0.12	4D－92	宝篋印塔
597	平場 8	土坑	土坑	33	D	0.57	4D－50	
598	平場 8	土坑	土坑	34	D	0.06	4D－92	
599	平場 8	土坑	土坑	35	D	0.48	4D－71	
600	平場 8	土坑	土坑	36	D	0.01	5D－11	
601	平場 8	土坑	土坑	37	D	0.22	5D－43	
602	平場 8	土坑	土坑	38	D	0.40	5D－53	
603	平場 8	土坑	土坑	39	D	0.40	5D－32	銭貨，土錘
604	平場 8	土坑	土坑	40	D	0.37	4D－62	
605	平場 8	土坑	土坑	41	D	0.34	5D－02	土錘
606	平場 8	土坑	土坑	42	D	0.44	4D－50	
607	平場 8	土坑	土坑	43欠番	－		欠番	
608	平場 8	土坑	土坑	44	D	0.13	4D－62	
609	平場 8	土坑	土坑	45A	C	0.34	5D－55	Aと重複
610	平場 8	土坑	土坑	45B	C	0.34	5D－55	Bと重複
611	平場 8	土坑	土坑	46	C	0.54	5D－34	018と重複
612	平場 8	土坑	土坑	47	C	0.60	5D－54	
613	平場 8	土坑	土坑	48	C	0.39	5D－65	
614	平場 8	土坑	土坑	49	D	0.26	4C－89	
615	平場 8	土坑	土坑	50	D	0.18	5D－00	
616	平場 8	土坑	土坑	51	D	0.59	5D－30	
617	平場 8	土坑	土坑	52	D	0.17	5D－11	
618	平場 8	土坑	土坑	53	D	0.39	5D－44	
619	平場 8	土坑	土坑	54	D	0.33	4C－59	
620	平場 8	土坑	土坑	55	D	0.33	4D－60	
621	平場 8	土坑	土坑	56	D	0.45	4D－51	砥石
622	平場 8	土坑	土坑	57	D	0.39	4C－79	
623	平場 8	土坑	土坑	58	D	0.32	4C－99	
624	平場 8	土坑	土坑	59欠番	D		欠番	
625	平場 8	土坑	土坑	60	D		5C－07	土錘
626	平場 8	土坑	土坑	61欠番	D		欠番	
627	平場 8	土坑	土坑	63	D	0.12	4D－71	
628	平場 8	土坑	土坑	64	D	0.59	4D－92	土錘
629	平場 8	土坑	土坑	65	C	0.21	5D－07	土錘
630	平場 8	土坑	土坑	66	D	0.22	4D－80	砥石
631	平場 8	土坑	土坑	67	D	0.36	4D－91	カワラケ
632	平場 8	土坑	土坑	68	D	0.80	4D－93	茶臼
633	平場 8	土坑	土坑	69a	D	0.23	5D－12	砥石
634	平場 8	土坑	土坑	70	D	0.78	4D－92	
635	平場 8	土坑	土坑	71	D	0.84	4D－92	
636	平場 8	土坑	土坑	72	D	0.69	4D－80	土坑66の完掘後検出
637	平場 8	土坑	土坑	73欠番	－		欠番	
638	平場 8	土坑	土坑	74欠番	－		欠番	
639	平場 8	土坑	土坑	75欠番	－		欠番	
640	平場 8	土坑	土坑	76欠番	－		欠番	

遺構一覧（13）

	平場	種別確定	調査時旧種別	遺構番号	所属時期	検出面から底面までの深さ m	位置	備考
641	平場 8	土坑	土坑	77欠番	−		欠番	
642	平場 8	土坑	土坑	78欠番	−		欠番	
643	平場 8	土坑	土坑	79欠番	−		欠番	
644	平場 8	土坑	土坑	80欠番	−		欠番	
645	平場 8	土坑	土坑	81欠番	−		欠番	
646	平場 8	土坑	土坑	82欠番	−		欠番	
647	平場 8	土坑	土坑	83欠番	−		欠番	
648	平場 8	土坑	土坑	84欠番	−		欠番	覆土炭化物
649	平場 8	土坑	土坑	85欠番	−		欠番	ピットか？
650	平場 8	土坑	土坑	86欠番	−		欠番	ピットか？
651	平場 8	土坑	土坑	87欠番	−		欠番	ピットか？
652	平場 8	土坑		89新規	D	0.19	5D－18	
653	平場 8	土坑		90新規	D	0.14	5D－01	
654	平場 8	堀Ⅰ	堀C					
655	平場 8	堀J	堀B					
656	平場 8	堀K	堀A					
657	平場 8	堀L	堀D					
658	平場 10	井戸	土坑	1	A	1.73	5C－68	茶臼，五輪塔
659	平場 10	溝	土坑	6	B	0.23	5C－63	
660	平場 10	溝	土坑	12	B	0.24	5C－67	
661	平場 10	溝	土坑	16	A			
662	平場 10	溝	土坑	17	A			
663	平場 10	柱穴	土坑	7	A	0.42	5C－61	盛り土層から掘り込み
664	平場 10	土坑	土坑	2	A	0.24	5C－67	
665	平場 10	土坑	土坑	3	B	0.38	5C－66	
666	平場 10	土坑	土坑	4	B	0.26	5C－62	
667	平場 10	土坑	土坑	5	B	0.42	5C－63	
668	平場 10	土坑	土坑	8	A	0.14	5C－53	盛り土層から掘り込み
669	平場 10	土坑	土坑	9	A	0.24	5C－42	方形土坑,堀より新,盛り土層から掘り込み
670	平場 10	土坑	土坑	10	A	0.09	5C－43	堀より新，盛り土層から掘り込み
671	平場 10	土坑	土坑	11	A	0.97	5C－41	斜面部掘り込み
672	平場 10	土坑	土坑	13	A	0.81	5C－41	斜面部掘り込み
673	平場 10	土坑	土坑	14	B	0.32	5C－60	方形土坑
674	平場 10	土坑	土坑	15	B	0.28	5D－70	
675	平場 10	堀M	堀A			1.13		
676	平場 11	堀N	堀B					
677	平場 11	堀O	堀A					
678	平場 12	溝	土坑	6		0.54	4B－16	
679	平場 12	溝	土坑	12			4B－51	
680	平場 12	土坑	土坑	1		0.33	4B－07	
681	平場 12	土坑	土坑	2		0.32	4B－09	砥石
682	平場 12	土坑	土坑	3		0.28	4B－39	
683	平場 12	土坑	土坑	4		0.64	4C－40	
684	平場 12	土坑	土坑	5		0.15	4B－36	
685	平場 12	土坑	土坑	7		0.67	4B－27	
686	平場 12	土坑	土坑	8		0.61	4B－67	
687	平場 12	土坑	土坑	9		0.30	4B－42	
688	平場 12	土坑	土坑	10		0.34	4B－42	
689	平場 12	土坑	土坑	11		0.33	4B－51	
690	平場 12	土坑	土坑	13		0.37	4B－24	
691	平場 12	土坑	土坑	14		0.69	4B－08	
692	平場 12	堀P	堀A					
693	平場 12	堀Q	堀B					
694	平場 12	堀R						

遺構一覧（14）

	平場	種別確定	調査時旧種別	遺構番号	所属時期	検出面から底面までの深さ m	位置	備考
695	平場 12	堀S	堀C					
696	平場 14	堀T						
697	平場 14	堀U	堀B					
698	平場 14	堀V	堀A					

第2節　検出された遺構

⑴堀（第9・70・図）　堀は全部で22条が調査された。それらのうち，堀Fと堀Gは内枡形虎口によって二分されているだけで本来は同一の堀である。また，堀Dと堀Iは，平場7と平場8でそれぞれ調査され別々の堀として認識されているが，本来は1条の堀と推定される。このように整理すると，第165図から第170図に図化したように，笹子城跡から検出された堀は6期区分される事が分かる。

笹子城跡の堀に関して特記すべき事に，障子堀（第70図）の検出がある。堀Kで調査されているほか，堀Hの断面図（第63図のA－A'）の最下層にも障子堀らしきものがみとめられるが，明確ではない。

⑵溝跡　各平場から多くの溝状遺構が検出調査された。しかし，それらの多くが，笹子城の存続時に使用されていたとの積極的な根拠はない。むしろ，近世に入ってから，耕作に伴う根切り溝や畑地の区画のための溝として掘られていた可能性が高い。笹子城跡の堀跡が，耕作に伴う根切り溝などに再利用されていたことは，平場1の土塁脇から検出された溝の覆土の観察から推定されている。それは，覆土中位から宝永の火山灰が検出されたが，覆土下層からは中世遺物だけが出土しており，溝が掘られたのは土塁が造られた時とほぼ同時であったことが推定されている。

⑶掘立柱建物跡

調査中に掘立柱建物跡の確認作業も行っていたが，柱穴覆土の記録に柱穴特有の記載があるだけで，確認はほとんどされなかった。整理作業段階でも掘立柱建物跡の復元に努めたが，明確な根拠の無いままに個々の柱穴を関連づけることには一抹の不安があり，あえて図化しなかった。

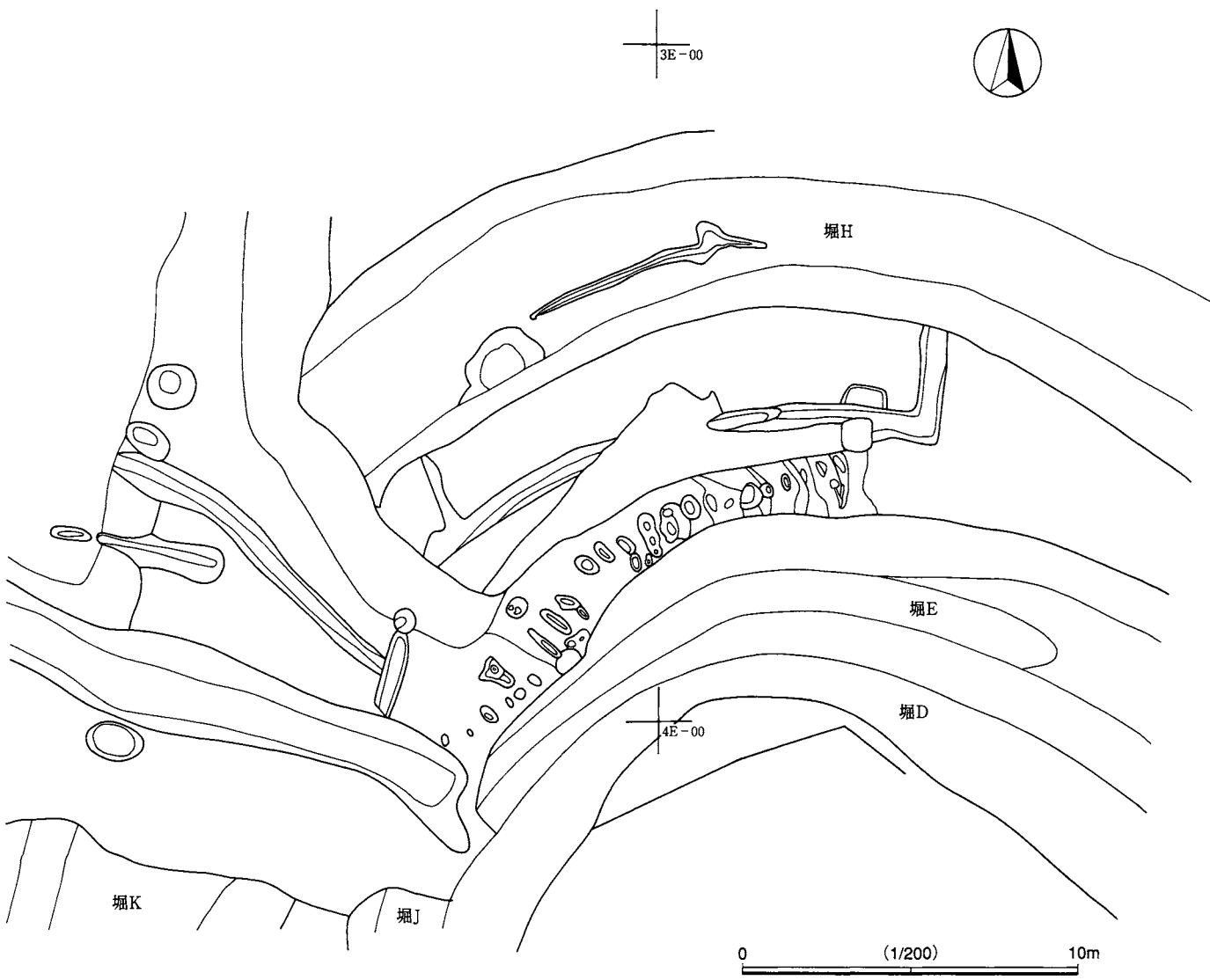
⑷門跡　堀Fと堀Gによって形作られている内枡型虎口をおおうように門跡が確認でき，これが唯一の門跡である。（図版13）

⑸竪穴状遺構　平場6・平場7，特に平場6の北側に竪穴状遺構が見られ，平場6の検出面B・C面に属すると思われる。特徴は一辺5m～6mのほぼ方形を呈し，検出面からの深さは0.6m～0.8mで，壁にそって小柱穴が囲周する。入口状の施設を伴っているものが多い。平場6の土坑102，土坑111，土坑130，土坑160，土坑174，土坑222号が該当し，6基ほどが確認調査されている。（図版14－2・3）

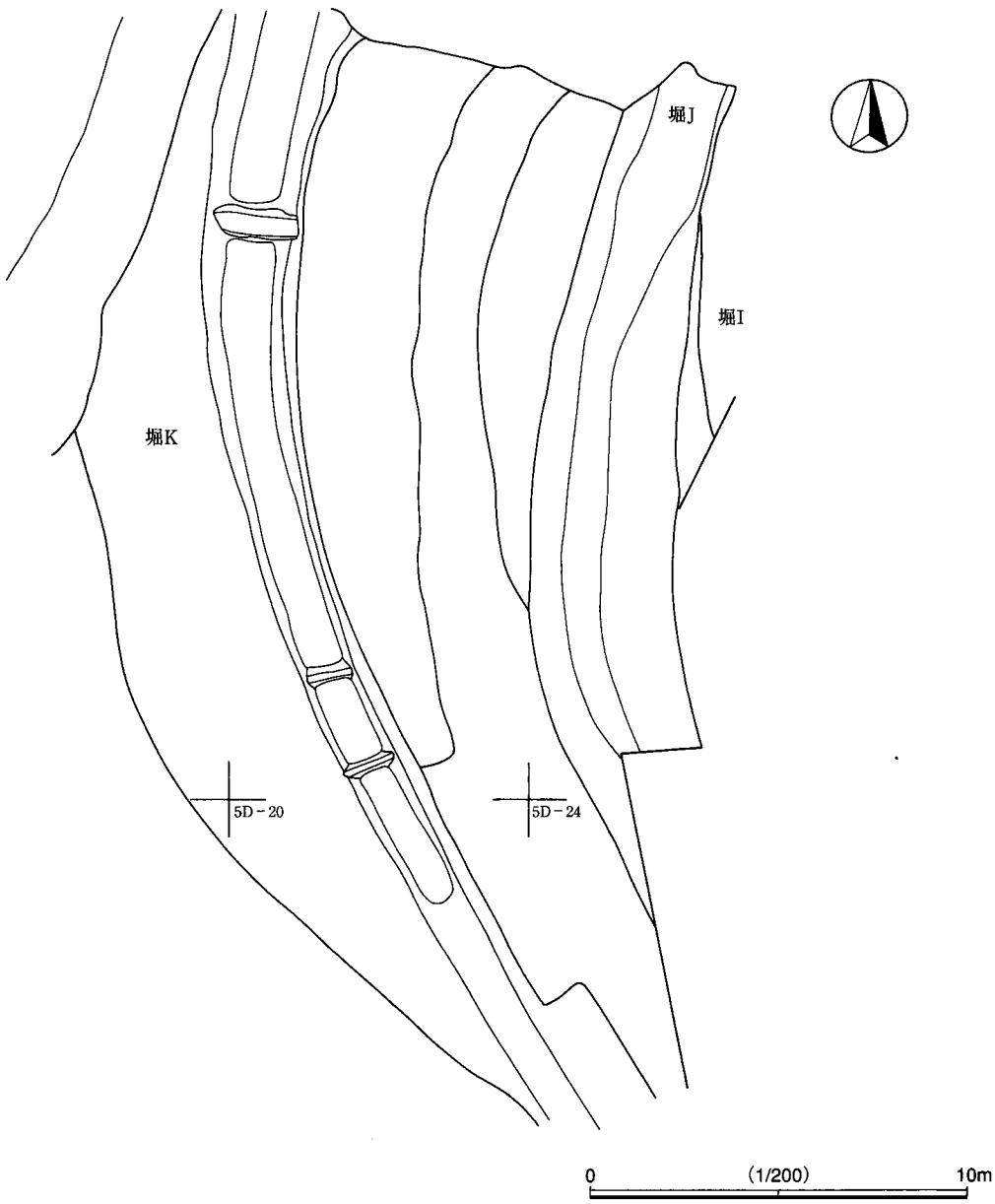
⑹土坑　多数の土坑が検出されている。平場6・7・8・10からは特に多数の土坑，ピットが検出されている。これらの遺構の性格は不明であるが，一部は掘立柱建物跡の柱穴になるものと思われる。伴出遺物としては人骨および五輪塔などが出土している土坑や，鉄鍋が出土した土坑223などがあり，墓壙と推定されるものがある。

(7)盛土整地面

笹子城跡で確認された平場には，堀，土坑，ピットなど，堀込まれた遺構以外にも多くの遺構があるが，それ以外に整地造成がされており，大規模な地形改変がなされていることがわかる。特に，平場６・７においては「盛土整地層３面，地山整地層１面の計４面の生活面」が調査されており，「Ⅰ期＝上位盛土整地層面，Ⅱ期＝中位盛土整地層面，Ⅲ期＝下位盛土整地層面，Ⅳ期＝地山整地層面＋縁辺部盛土整地層面，Ⅴ期＝自然地形面」の５時期にわたる変遷がとらえられている。平場６・７以外の平場においても，数面の整地層面があり，遺物の出土状況や遺構の帰属時期がとらえられている。平場８からは，これら整地面の調査によって，Ａ面からＤ面までの変遷が確認されている(第42・43図)。



第69図　階段虎口実測図



第70図　障子堀実測図

第３章　笹子城跡出土の遺物

笹子城跡から出土した遺物については，可能な限り図化し，調査時のデータを一覧表という形で提示した。陶磁器類の施釉の種類・色調については多種みられるので，遺物観察表で省略した部分もある。

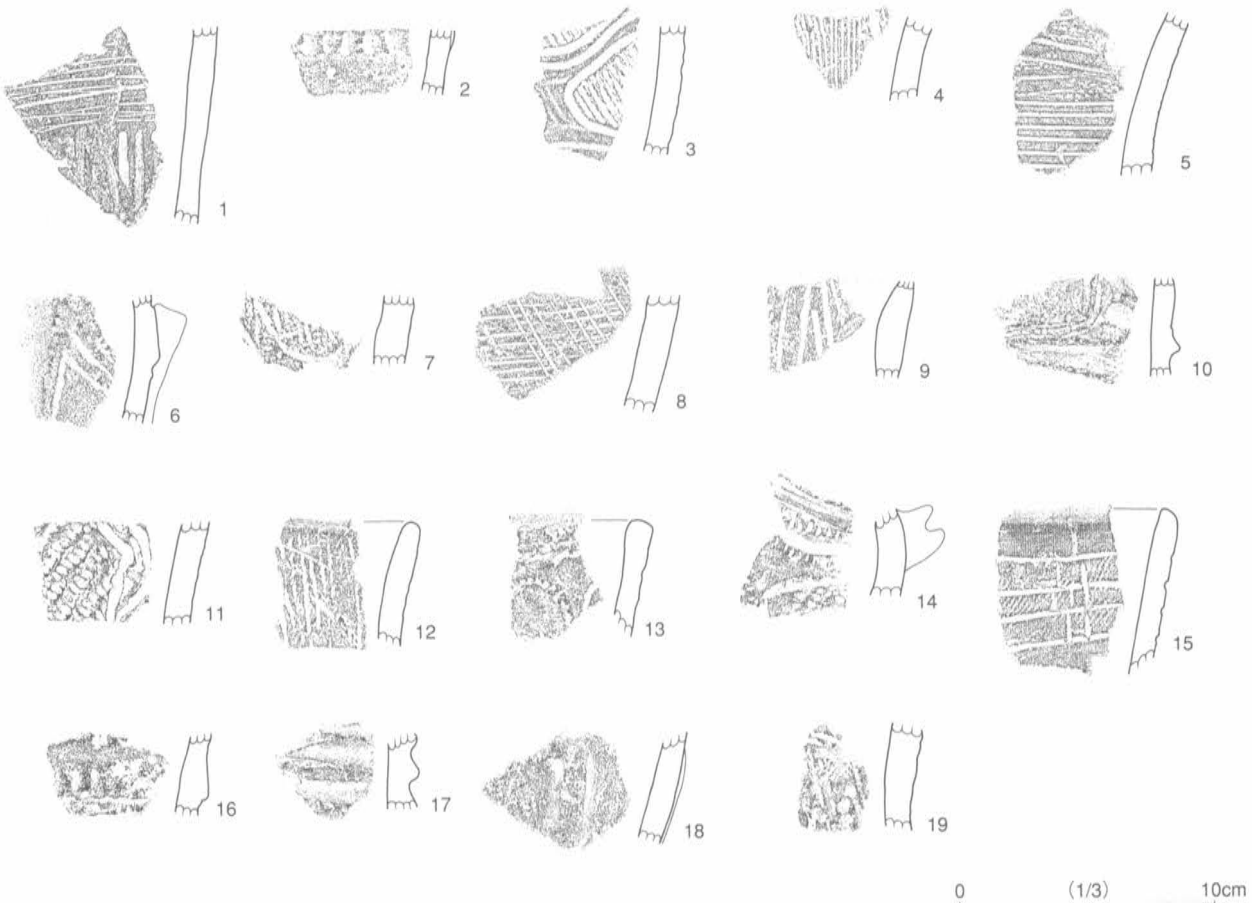
第１節　笹子城跡築造以前の遺物(第71・133図)

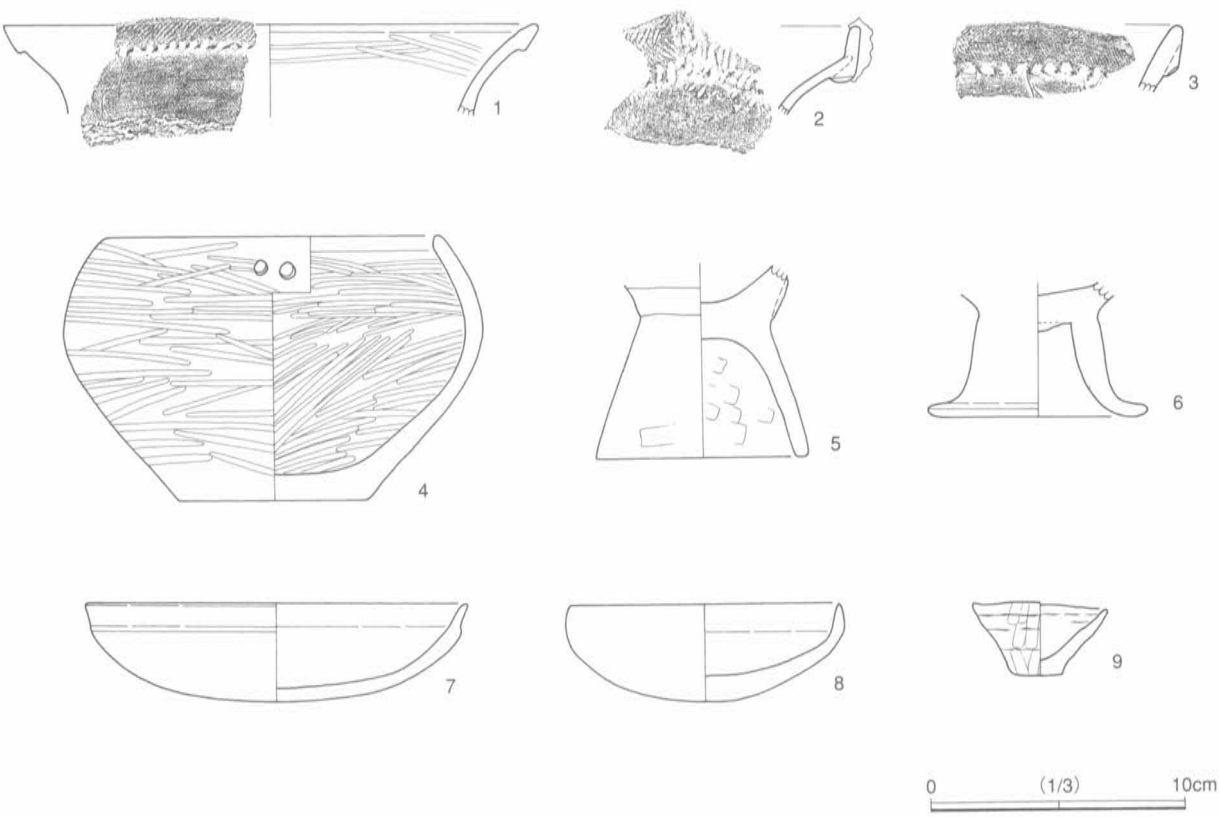
縄文土器，弥生土器と土師器と石製品が出土しているが，遺構は確認できなかった。

第71図１から19は縄文土器片でである。１・５は縄文時代早期の田戸下層式土器である。１は深鉢の胴部の破片である。横方向に細い沈線が施され，その細沈線帯の下にややはばのある縦方向の沈線が引かれる。内面には縦方向の丁寧なミガキが施される。５は斜行する沈線文と，横方向の沈線文が，器面の乾燥がやや進んだ段階に施文されている。内面は縦方向のミガキが施される。２・６・10・13・16・18は縄文時代中期の阿玉台式土器である。２は阿玉台式土器の前半に属する。胴部の破片で，胎土に雲母を含む。６は隆帯に沿って２列の有節沈線文が施されている。胎土に雲母を含み，阿玉台Ⅱ式近辺に比定できる。10は隆帯に沿って２列の有節沈線文が施されている。胎土に雲母を含み，阿玉台Ⅱ式に比定できる。13は阿玉台式土器の古手に属する。１列の有節沈線文が連弧状に施される。胎土にわずかに雲母を含む。16は輪積痕を残す土器片で詳細は不明である。18は阿玉台式土器と推定される。断面カマボコ形の隆帯が施される。胎土に長石粒・石英粒を多く含む。３・４・11・17は縄文時代中期の加曽利Ｅ式土器である。３は加曽利Ｅ式段階の連弧文系土器とみられる。地文に撚糸文が用いられる。内面調整はミガキ調整である。４は胴部全体に縦方向の条線を施した深鉢の一部とみられる。加曽利Ｅ式に伴うと考えられる。11は胴部破片であるが詳細は不明である。17は摩滅しており詳細は不明であるが，加曽利Ｅ式段階の土器片と思われる。７は連弧文系土器片で，地文に撚糸文を施す。８は三戸式段階の土器片で，細沈線によって格子目状の文様が描かれる。内面はやや粗いミガキを施す。９は沈線文系土器の胴部破片とみられるが断定はできない。12は撚糸文系土器片で，口縁部の肥厚は発達せず，口唇部直下から撚糸文が施文されている。稲荷台式に近い段階の土器と思われる。14は勝坂式土器か中峠式土器片で，隆帯の上に刻みが施されている。胎土に長石粒を僅かに含む。15は加曽利Ｂ式土器片で，精製の深鉢の口縁部である。口縁と並行する４本の沈線が施され，沈線間に斜行縄文が施される。19は不明土器片である。

第７表　縄文，弥生，古墳時代の土器観察表

図版番号	掲載番号	器種	出土平場	遺構番号	遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値 口径	底径	器高・残存高	整形・調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考	時代・時期
71	1	甕口縁部	6	160	38	口縁部	－	－	－	ヘラナデ，口縁端部に竹管刺突	ヨコミガキ	密	良好	明褐色	明赤褐色	残存部下端にＳ字結節文	弥生後期
71	2	壺口縁部	6	160	36	口縁部	－	－	－	口縁棒状工具による押圧，キザミ	ミガキ	砂粒を含むが密	良好	赤橙色	赤橙色	口縁部は受口状	弥生後期
71	3	壺口縁部	6		113	口縁部	－	－	－	口縁羽状縄文	ヘラミガキ	砂粒を含むが密	良好	赤橙色	赤橙色	羽状縄文以外赤彩，口縁部は粘土貼り付け	弥生後期
71	4	鉢形土器	6		3267	ほぼ完形	13.5	7.4	9.2	ミガキ	ミガキ	砂粒を含む	良好	黄橙色	黄橙色	対角位置に２孔，全面赤彩	弥生後期
71	5	高坏脚部	7		122	脚部のみ残	－	8.4	－	ヘラナデ	ナデ	密	普通	内外面橙色		屈曲部外面に粘土帯貼り付け	弥生～古墳
71	6	高坏脚部	6		2921	脚部のみ残	－	8.6	5.1	ヘラナデ	ナデ	密	普通	内外面赤彩			古墳後期
71	7	坏形土器	7		469	20%残	(15.0)	－	3.8	ヘラナデ	ナデ	密	良好	浅黄橙色	黄橙色	内外面に黒斑あり	古墳後期
71	8	坏形土器	8		1154	ほぼ完形	10.6	－	3.8	ナデ，口縁部横ナデ	ナデ	密	良好	淡黄色			古墳後期
71	9	ミニチュア土器	6		2966	完形	5.4	1.8	2.8	ヘラナデ	ナデ	砂粒を含む	良好	橙色	明赤褐色	輪積成形	弥生～古墳





第71図　縄文土器拓影図・弥生土器・土師器実測図

石製品では，紡錘車と片刃石斧が出土している(第133図)。121は扁平片刃石斧である。122は紡錘車で滑石製である。

第2節　平場出土の遺物の概観

次に各平場の遺物の出土状況を概観する。出土遺物数は実測図を掲載したものと，接合はしたが図化できなかった破片を集計し掲載している。たとえば白磁皿3(5)は，図化ができて本書に掲載したのは3点であるが，接合はしたが図化しなかった破片を含めると5点の破片が出土していることを意味している。()のないものは，完形品かあるいはそのままで図化できたものである。図化できなく，接合もできない小破片は数えていない。

(1)平場1の出土遺物の概観

遺物の出土層位は，表土層(Ⅰ層)および盛り土層(Ⅱ層)からである。内訳は中国製磁器13点で白磁皿3(5)点，青磁皿2(2)点，染付皿5(7)点である。国産陶磁器は瀬戸美濃窯灰釉丸碗1(1)点，同灰釉卸皿1(1)点，同鉄釉小皿1(1)点，同鉄釉小壺？1(1)点，同錆釉擂鉢2(2)点，カワラケ1(1)点である。第85図234の鉄釉小壺の底部片は初山窯産と思われ，293の擂鉢とともに大窯3(後)で，笹子城跡としては最も新しい段階の遺物である。

(2)平場2・3の出土遺物の概観

瀬戸美濃窯産の灰釉挟み皿・端反皿が1(1)点，常滑壺・甕片が2点出土しているが，小破片で図化はできなかった。出土層は表土層である。平場2・3の調査は，土層断面観察用のトレンチ部分は手掘りで行ったが，ほかは重機によって掘削を行ったため，平場全体の出土遺物の組成，数量は不明である。瀬戸美濃窯産灰釉皿(156)は堀Aから出土し，大窯1期(前)に属している。平場2・3出土の遺物はすべてA面(A・表土層)からの出土である。

(3)平場4・5の出土遺物の概観

手掘りで掘り下げを行った部分は3本のトレンチ(T1～T3)のみで，あとはすべて重機による掘削のため，平場4・5から出土した遺物のすべてがトレンチ内からの出土である。このため本書に収録した出土遺物の組成および数量が平場4の様相を示しているとは言えない。出土遺物は白磁盃1(1)点，染付皿1(1)点で，漳州窯産と思われる。瀬戸美濃窯産の灰釉挟み小皿1(1)点，同錆釉擂鉢1(1)点，カワラケ2(2)点が出土している。常滑窯産大甕片が3点出土したが図化はできなかった。錆釉擂鉢は大窯Ⅲ期(前)が出土している。130の染付は漳州窯製と思われる。

(4)平場6・7からの出土遺物の概観

平場6からは多くの遺物が出土している。まず特記すべきは，中国製褐釉茶入が3(4)点出土している事である(第72・151図)。その他に，白磁皿6(11)点，割り高台小皿3(5)点，端反皿4(4)点，袋物1(1)点，盃3(3)点である。青磁は，稜花皿20(55)点，端反皿2(8)点，内湾系2(2)点，折縁盤2(3)点，盤1(3)点，碗1(1)点，染付皿18(20)点，端反皿6(11)点，高台付皿1(1)点，分類名なし2(3)点，碗1(1)点，端反碗1(1)である。瀬戸美濃窯産は灰釉丸碗2(7)点，灰釉皿1(1)点，卸皿1(1)点，片口碗1(1)点，挟み皿3(22)点，腰折皿22(91)点，端反皿1(10)点，灰釉灯明皿3(3)点，灰釉小皿8(23)点，鉄釉縁釉小皿3(12)点，天目碗9(18)点，錆釉擂鉢47(313)点，香炉2(6)点，双耳小壺1(6)点，鉄釉小壺3(6)点，盤類1(1)点，大皿1(1)点，卸目付大皿1(1)点，瓶子2(3)点，常滑産

甕・壺４（５）である。瓦質土器の擂鉢３（４）点，筒型香炉１（３）点，袴腰形香炉２（２）点，カワラケ65(108)点，耳カワラケ１（１）点，東海系羽釜５(10)点，茶釜１（２）点，内耳鍋２（２）点，常滑産捏ね鉢０（２）点である。133の染付皿は漳州窯産と推定される。347の双耳小壺は笹子城跡出土の唯一のものである。501のカワラケは柱状高台である。その他に図化は出来なかったが捏鉢の破片が２点出土している。

平場７からも多くの遺物が出土している。白磁皿２（２）点，端反皿２（２）点である。青磁は，稜花皿１（２）点，碗２（４）点，染付皿４（９）である。瀬戸美濃窯産は灰釉丸碗１（１）点，片口碗１（１）点，腰折皿１（１）点，端反皿１（２）点，端反皿or丸碗１（１）点，天目碗３（３）点，錆釉擂鉢４(12)点，鉄釉三足盤１（２）点，常滑産甕・壺１（１）点である。瓦質土器の擂鉢１（１）点，カワラケ４（６）点である。染付には草花文のあるもの(第78図108)，唐草文のあるもの(第78図109)，渦巻文のあるもの(第78図110)がある。132は漳州窯産と推定される。

（５）平場８からの出土遺物の概観

平場８からも多くの遺物が出土した。白磁皿２（２）点，割り高台小皿６(22)点，端反皿１（５）点，高台付盃１（５）点である。青磁は，皿１（４）点，稜花皿５（７）点，染付皿４(10)点，碗１（１）点，レンツ・碗１（１）点である。瀬戸美濃窯産は灰釉皿２（２）点，灰釉縁釉小皿６(26)点，腰折皿11(89)点，鉄釉縁釉小皿２（５）点，天目碗６（８）点，錆釉擂鉢12(41)点，大皿１（１）点，卸目付大皿１（１）点，盤類１（１）点，鉄釉壺１（１）点，常滑産甕２(52)点である。カワラケ37(117)点である。第90図270は志戸呂窯産と推定される。

（６）平場10からの出土遺物の概観

平場10からも多くの遺物が出土している。白磁皿３（４）点，瀬戸美濃窯産は灰釉平碗１（１）点，腰折皿４（７）点，灰釉縁釉小皿１（１）点，端反皿１（１）点，錆釉擂鉢４(29)点，卸目付大皿１（１）点，常滑産壺１(31)である。瓦質土器の擂鉢１（５）点，カワラケ３（４）点である。白磁はＢ類に，瀬戸美濃灰釉皿は後期Ⅳ新に属する。擂鉢は大窯１期(後)が多い。

（７）平場11からの出土遺物の概観

平場11からも遺物が出土している。青磁碗１（１）点，染付皿１（１）点，瀬戸美濃窯産灰釉平碗１（１）点，錆釉擂鉢１(13)点，常滑甕４（４）点，近世陶器内耳鍋１（１）点が出土している。第79図123の染付皿には渦巻文と十字文が見られる。

（８）平場12からの出土遺物の概観

平場12からは，中国製天目碗１（１）点が出土している。他に白磁の割高台小皿が１（１）点，青磁稜花皿（８）点，染付皿１（１），瀬戸美濃産灰釉碗１（２）点，灰釉腰折皿１（１）点，灰釉縁釉小皿６（９）点，灰釉端反皿or丸碗１（１）点，鉄釉縁釉小皿１（１）点，錆釉擂鉢６(43)点，大皿１（１）点，常滑甕３（３）点，瓦質土器擂鉢１（１）点，カワラケ４（６）点，東海系羽釜１（２）点，内耳鍋３（３）点で他に近世陶器等が出土している。第105図375の常滑甕は五輪塔と伴出している。また，瀬戸美濃窯産の擂鉢はⅡ類に属するもので，第114図523は織部向付である。

（９）平場13からの出土遺物の概観

平場13からは常滑甕１（１）点，内耳鍋１（１）点，近世陶器鉄釉小壺１（１）点が出土している。

(10)平場14からの出土遺物の概観

平場14からは，白磁割高台付小皿１（１）点，青磁端反皿１（１）点，稜花皿１（１）点，染付皿１（１）点，

瀬戸美濃窯産灰釉稜花皿２(５)点，天目碗３(３)点，錆釉擂鉢11(25)点，東海系羽釜１(１)点，内耳鍋１(１)点が出土している。

(11)平場15からの出土遺物の概観

平場15からは，近世陶器の内耳鍋２(２)点が出土しているだけで，中世に遡る遺物は出土しなく，図化出来る遺物の出土はなかった。

以上が各平場出土の遺物の概観である。

第３節　貿易陶磁器

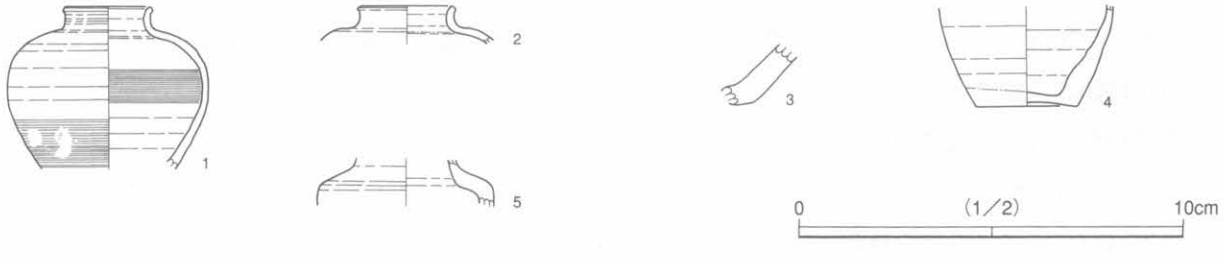
笹子城跡は，城館跡としての重要度とともに，出土した貿易陶磁器の数量が大変重要であった。そこで，可能な限り出土遺物の図化と，出土位置および出土面の状況把握，それに出土遺物の伴出関係が理解出来ように配慮した。

(１)中国製褐釉陶器(第72図１～４)　掲載した遺物は次のとおりである。褐釉茶入が３点出土している。１・２・４で，胎土は緻密で，１の断面は褐色をしている。３は天目碗で１点のみ出土している。出土Ｂ面に帰属している。

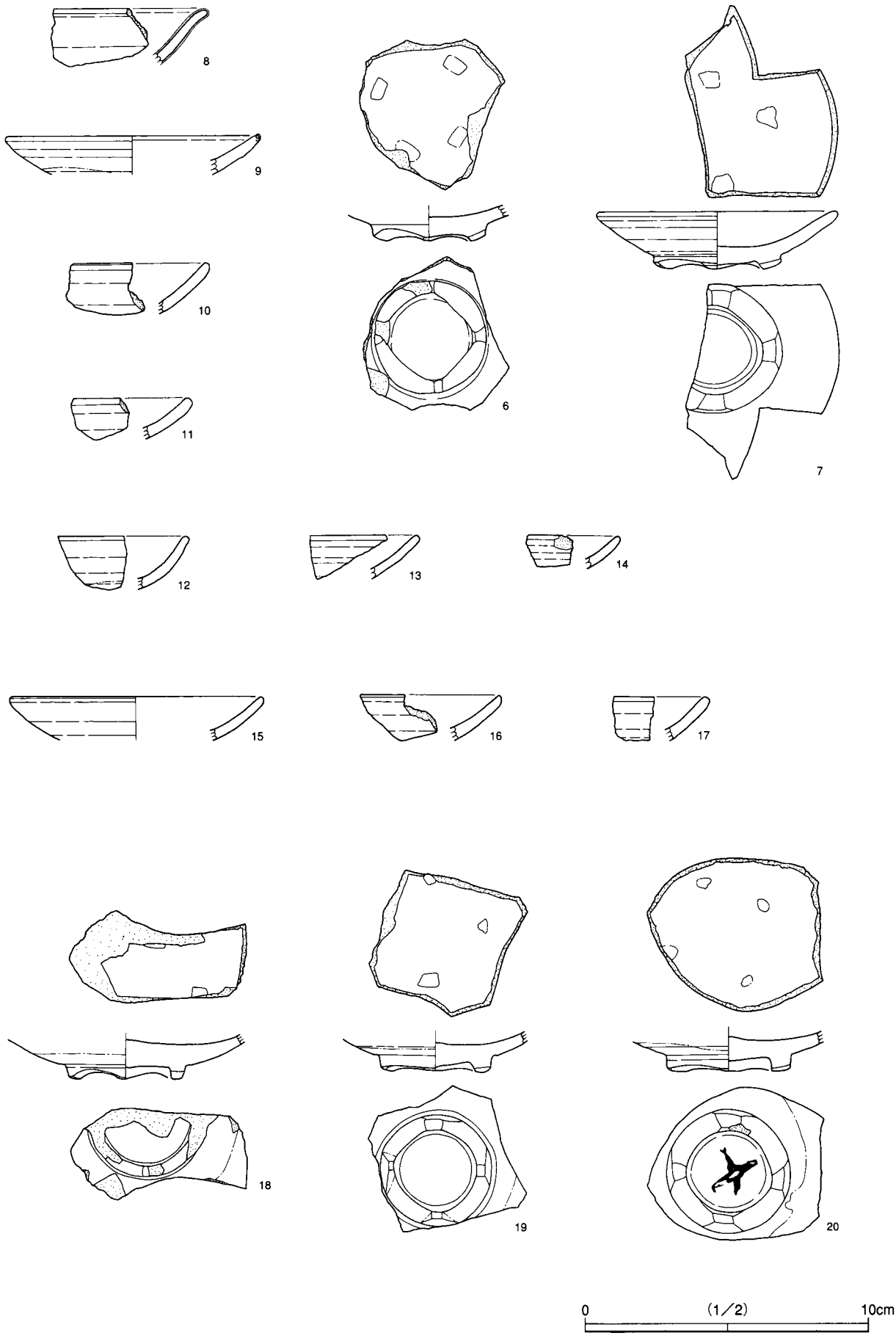
(２)白磁(第73～75図)　掲載した遺物の器種と点数は次のとおりである。皿１点，割高台付小皿11点，端反皿９点，袋物１点(31)，盃４点，高台付盃１点が出土している。殆どがＢ群に属するもので，Ｃ１群も若干見られる(28・30・39・42)。29は口縁部に鉄釉がかかっているもので，15世紀中頃と思われる。31の袋物は青白磁である。32は底部外面に朱書きがある。34・35の端反皿は古いタイプに属するものである。44の盃は八角形に面取りされているもので貫入りである。

(３)青磁(第76～77図)　掲載した遺物の器種と点数は次のとおりである。皿１点，端折皿５点(うち１点は稜花皿)点，内湾系皿２点，稜花皿31点，盤１点，折縁盤２点，碗４点が出土している。91の碗は口縁部に雷文がみられ，Ｃ２類である。90はＢ３類である。

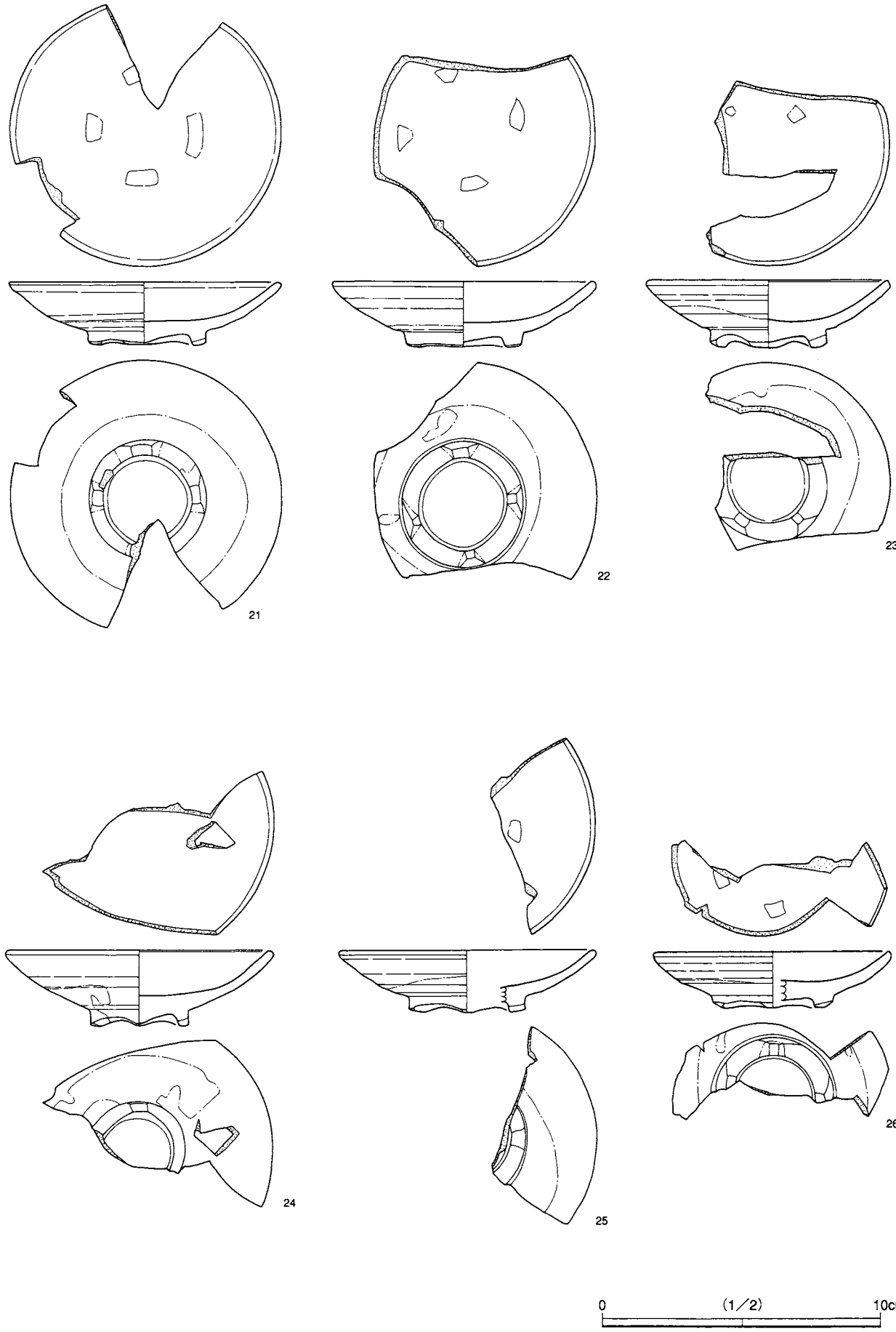
(４)染付(第78～80図)　掲載した遺物の器種と点数は次のとおりである。レンツ・碗３点，皿33点，高台付皿１点，端反皿６点，分類名なし皿２点，碗２点，端反碗１点が出土している。全部で48点が図化できた。染付の文様は実測図としては図化しないで，写真を挿図に入れて出来るだけ掲載することとした。132，133は中国福建省漳州窯産の製品である。Ｂ１・Ｃ３類が多い。135の碗は高台が高く，古い体部に属するもので，貫入りである。



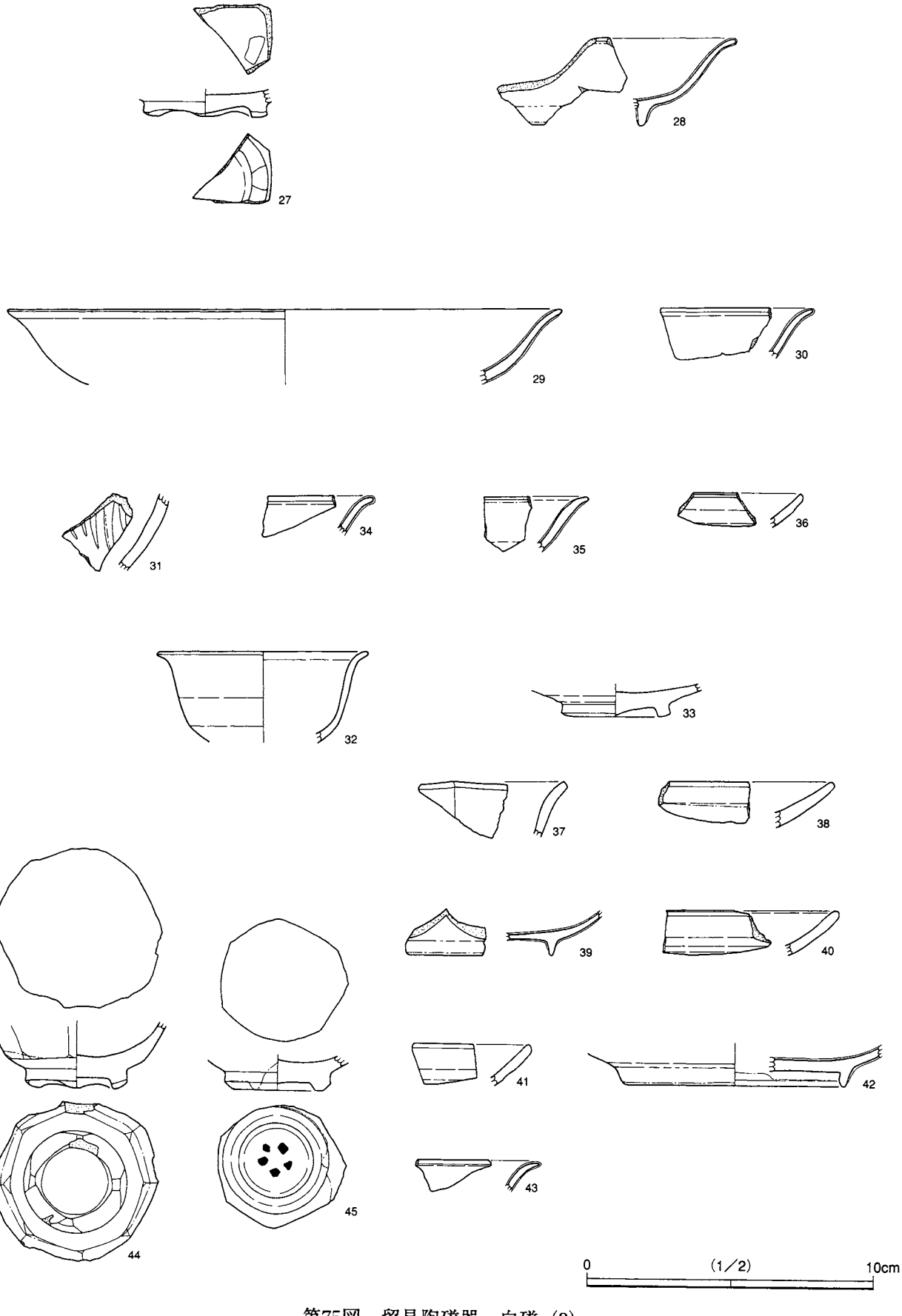
第72図　中国褐釉茶入・天目茶碗



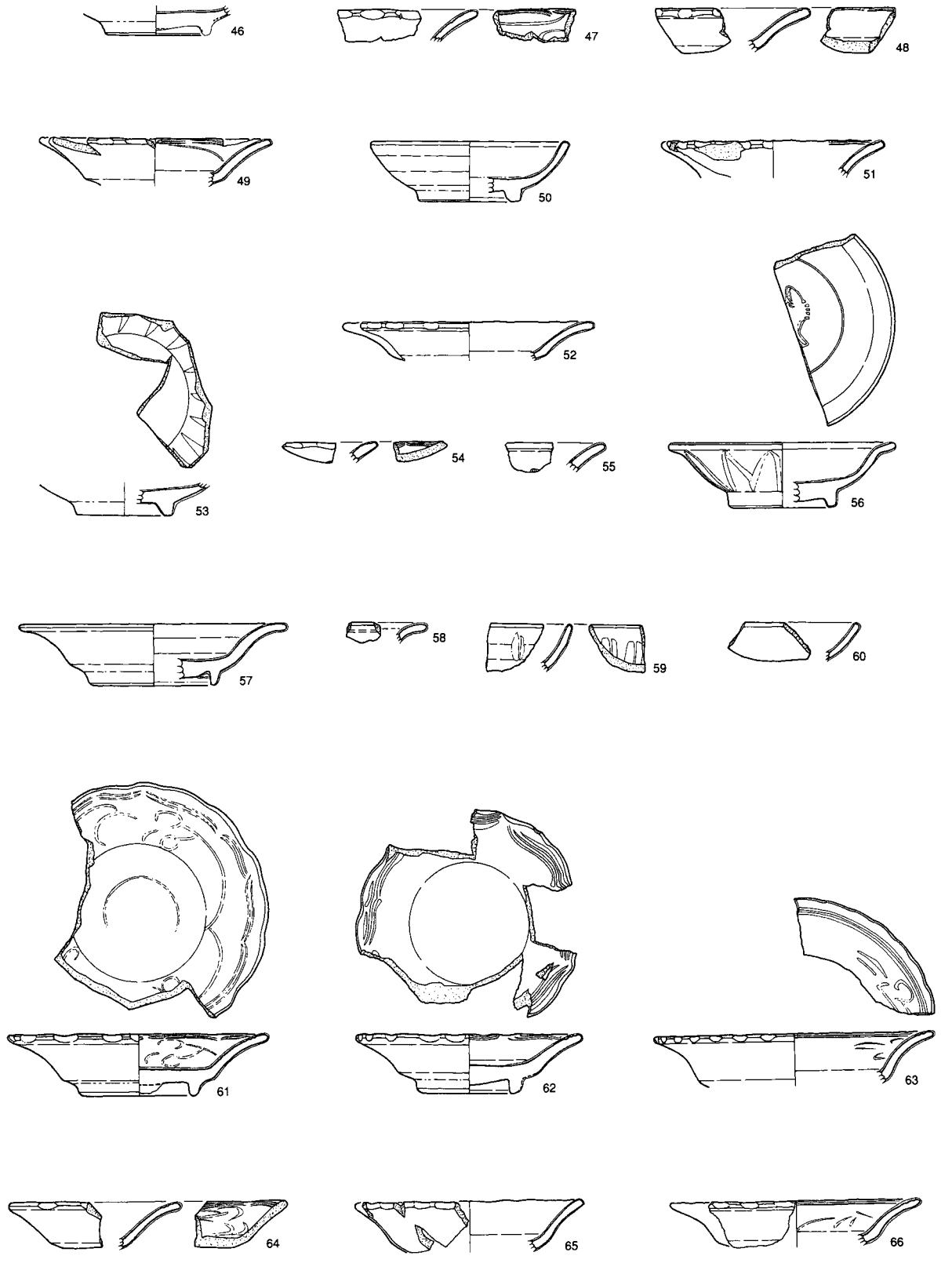
第73図　貿易陶磁器　白磁（1）



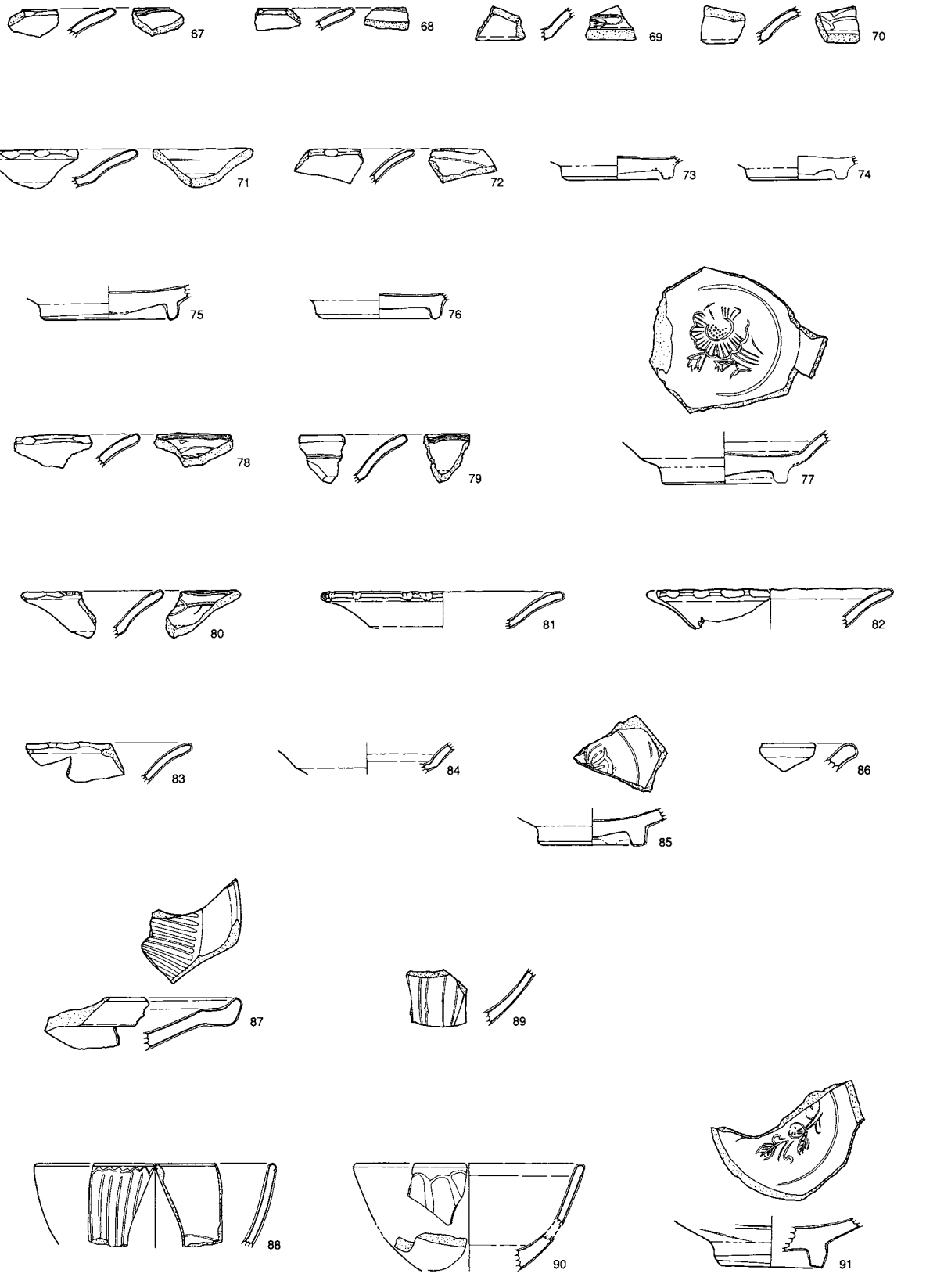
第74図　貿易陶磁器　白磁（2）



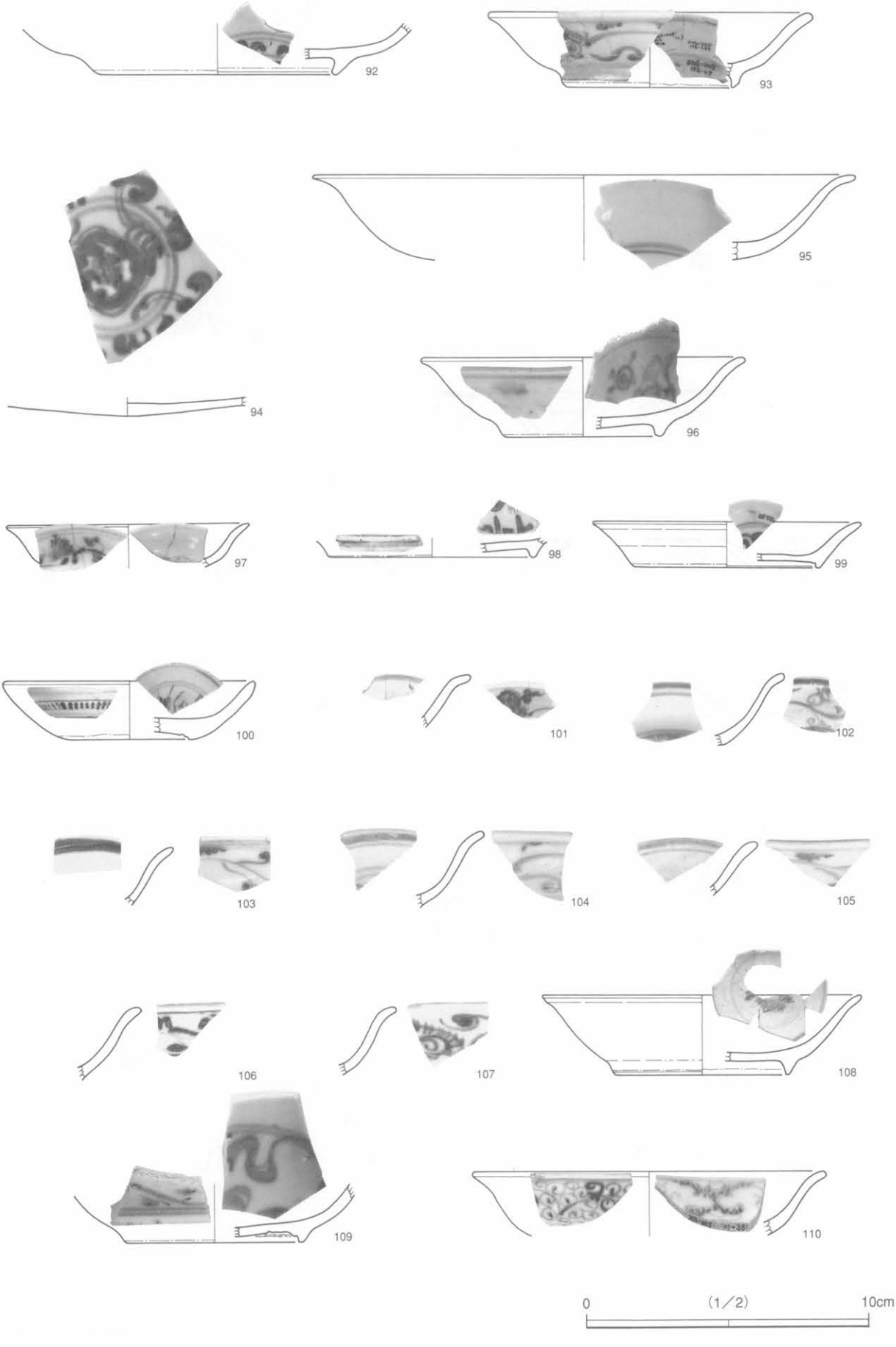
第75図　貿易陶磁器　白磁（3）



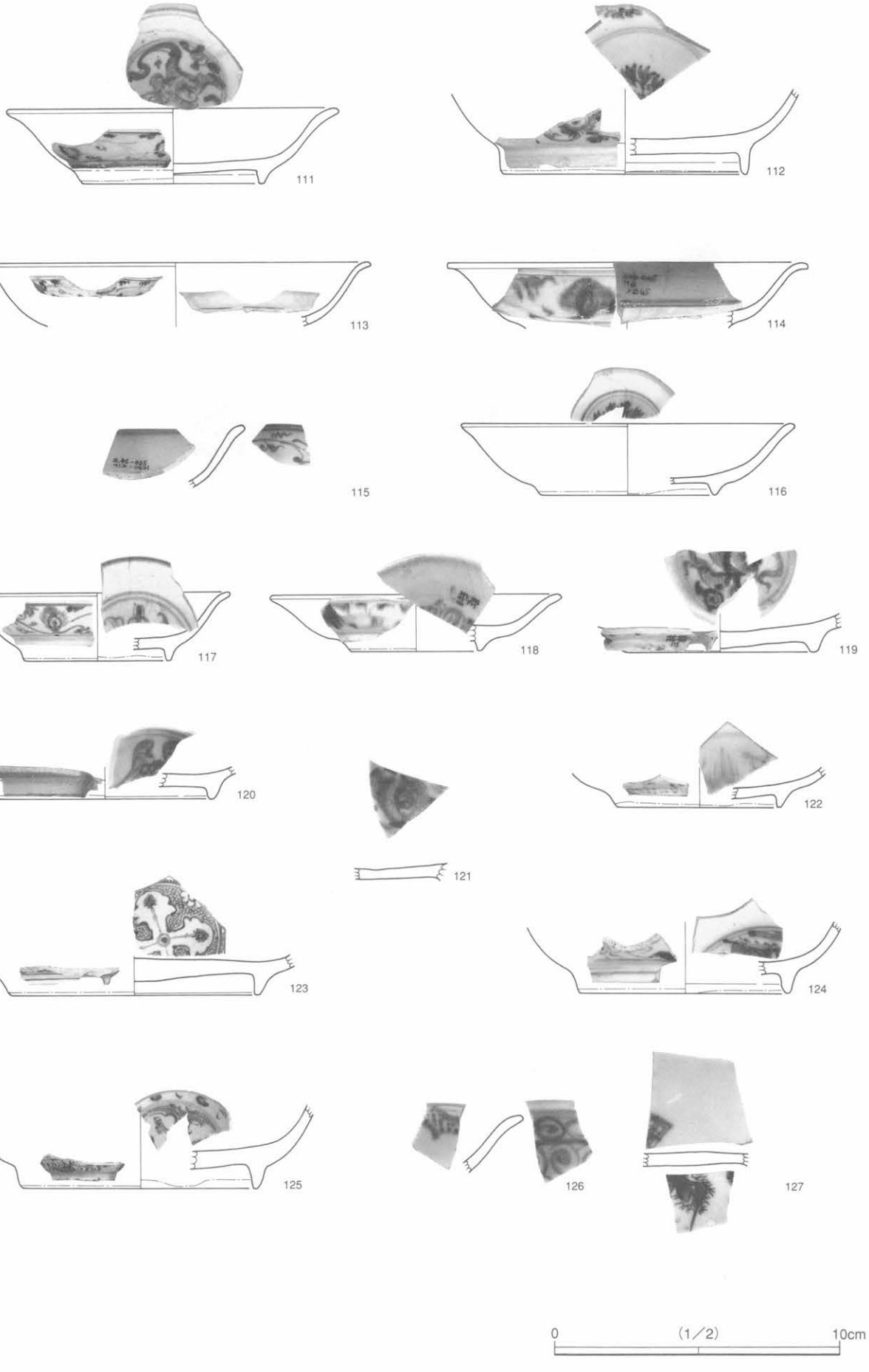
第76図　貿易陶磁器　青磁（1）



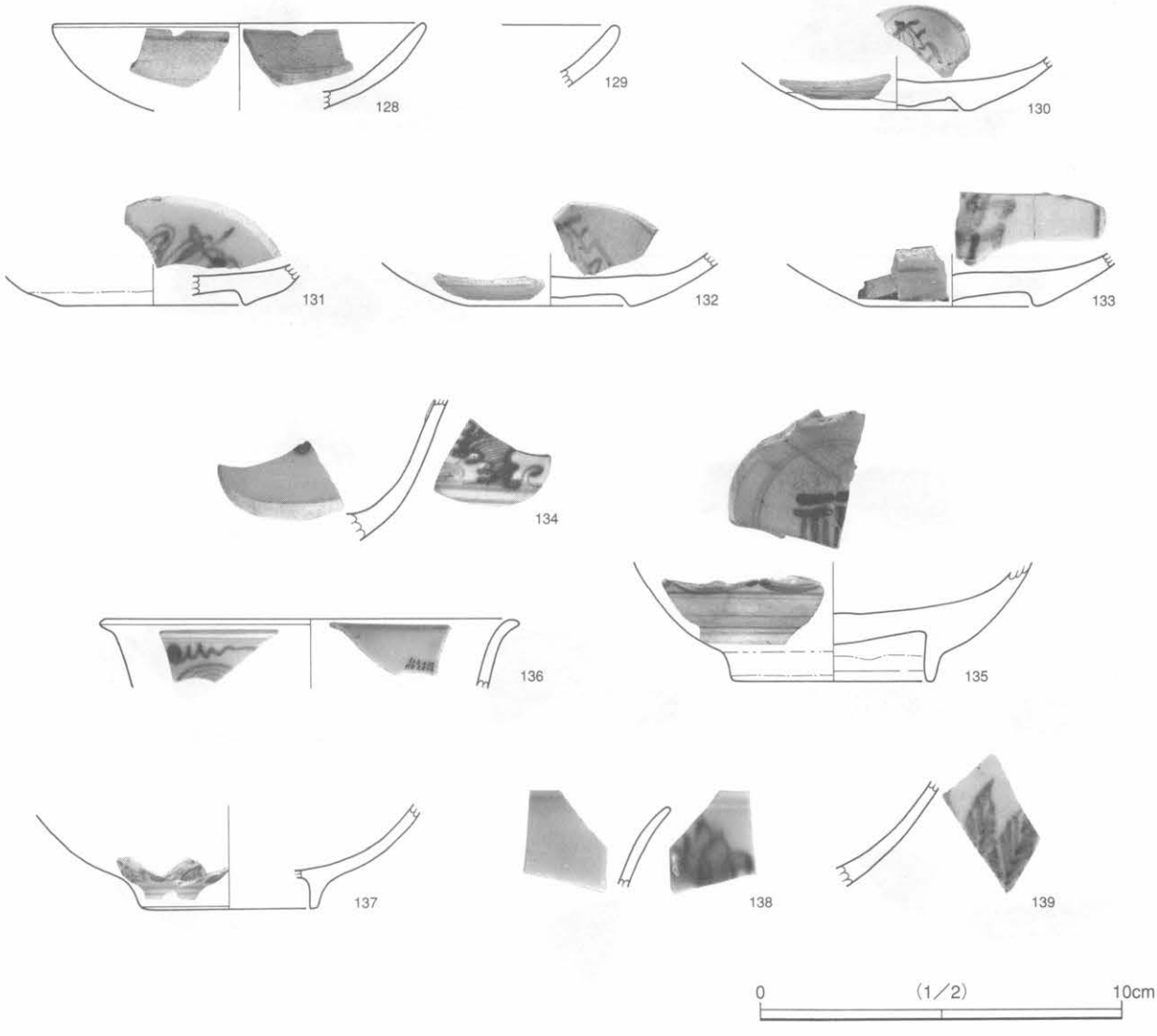
第77図　貿易陶磁器　青磁（2）



第78図　貿易陶磁器　染付（1）



第79図　貿易陶磁器　染付（2）



第80図　貿易陶磁器　染付（3）

第４節　国産陶磁器

（１）瀬戸美濃窯（第82～103図）

掲載した遺物の器種と点数は以下のとおりである。片口碗２点，丸碗３点，平碗２点，碗２点，卸皿２点，挟み皿４点，挟み皿・端反皿１点，腰折皿38点，皿３点，双耳小壺１点，端反皿５点，灯明皿３点，稜花皿２点，縁釉小皿21点，鉄釉小皿７点，天目碗21点，錆釉擂鉢88点，鉄釉三足盤１点，鉄釉小壺５点，鉄釉壺１点，盤類２点，大皿３点，卸目付大皿３点，瓶子２点，香炉２点が出土している。

a　灰釉碗（第81図141～144）

141・142は碗，143・144は丸碗，145・146は片口碗と思われる。147・148は平碗で，瀬戸美濃後期Ⅳ（新）段階のものである。

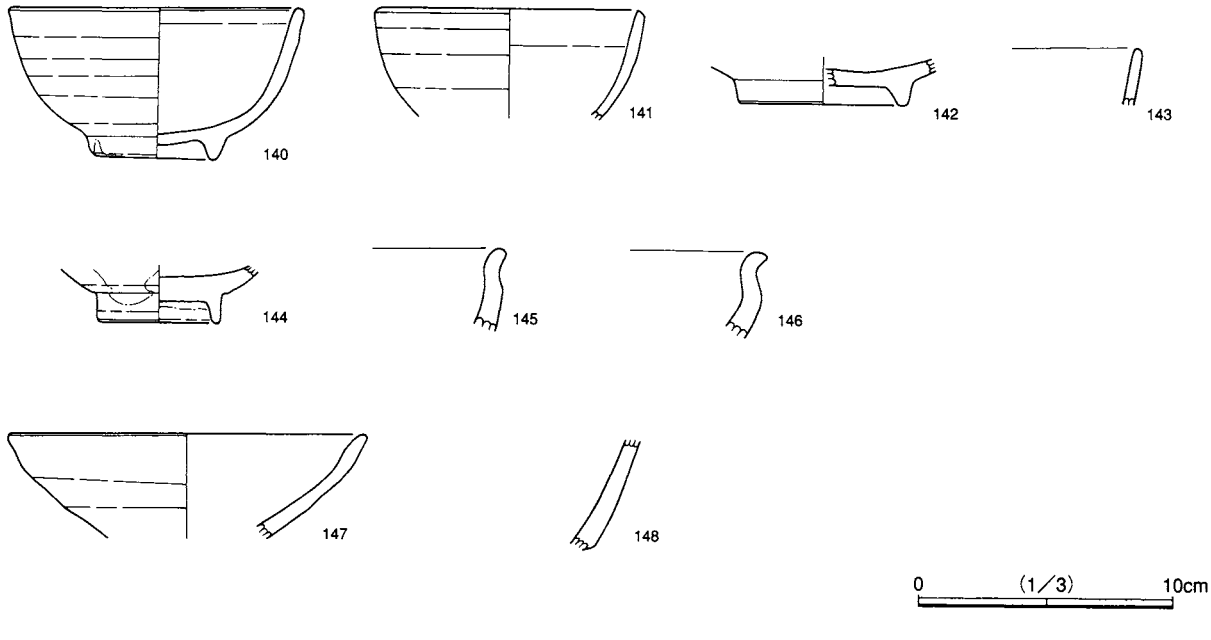
b　灰釉皿（第82～84図149～227）

156～159・224は挟み皿で，卸皿（152・155），腰折皿（153・154・160～195），端反皿（196・197），稜花皿（201～202）などが見られる。198～200は灯明皿，203～234は縁釉小皿で，口縁に釉が施され，小さい皿である。235は鉄釉小壺で，底部の破片であるが初山窯製品と推定される。。

c　天目茶碗（第86図236～256）　後期Ⅳ期（新）～大窯１期の段階のものである。

d　摺鉢・鉄釉擂鉢　（第87～102図257～344）

第90図270は志戸呂窯製品と思われる擂鉢が出土している。平場８と平場10から破片が出土し，接合している。Ａ面，Ｂ面，Ｃ面の各面からの出土であり，Ｃ面の使用時期を推定するのに重要な遺物である。340・341は平場12・14から出土したもので，擂鉢Ⅱ類に属するものである。



第81図　瀬戸・美濃　灰釉碗

e　その他(第103図345～362)

345は袴腰形香炉で，346は筒形香炉である。348～350は大窯期の鉄釉小壺である。351は盤類で底部外面を硯に転用している。355～357は卸目付大皿で，後期Ⅳ(新)段階のものである。

(2)常滑

掲載した遺物の器種と点数はつぎのとおりである。壺1，甕15，捏ね鉢片2が出土している。

a　捏鉢(こねばち)　図化は出来なかったが，捏鉢と思われる土器片が2片出土している。

b　壺・甕(第104～106図363～378)　367は9型式で15世紀前半に，365・366・・368・372は10型式で15世紀後半に，363は平場10から出土し，平場12の堀Pの覆土から五輪塔と一緒に出土した375とともに11型式で16世紀前半の遺物と推定される。

(3)瓦質土器

掲載した遺物の器種と点数は次のとおりである。擂り鉢5，袴腰形香炉2，筒型香炉1が出土している。

a　香炉形土器　袴腰形香炉2点(385・386)，筒形香炉1(384)が出土している。385は外面上位にスタンプ状の文様があり，下位には蓮弁文が押圧施文されている。

b　摺鉢(第107図379～382)　オリーブ灰色あるいはオリーブ黒色を呈している。胎土は長石，石英粒を多量に含む。

(4)カワラケ(第108～111・171図)

最も多量に出土した遺物である。皿116点，耳カワラケ1点が出土している。全遺物破片数のうち43.8%，2.207点を数えることができた。大部分は細片で，盛土整地層中から出土しているが，盛土整地層中から出土したものもあり，6枚・8枚重ねの状態で出土したものもあった。

耳カワラケは図化出来た物1点と，図化できなかったものが2点出土している。千葉市生実城跡の調査によってカワラケの編年がなされたが，その成果を援用すると，笹子城跡出土のカワラケは第171図のような変遷がみられる。

近年，県内各地で中世城館跡の調査が行われ，多くの所見と新資料が提出されており，笹子城跡の調査実施時とは隔世の感がある。とくに，千葉市生実城跡の調査，最近では光町城山遺跡の調査がその代表的な例である。それら調査の中で特にカワラケの編年的研究が行われきている。ここでは，千葉市生実城跡の成果を元に笹子城跡出土のカワラケを概観したい。以下は千葉市立加曽利貝塚博物館簗瀬氏の教示に若干手を加えたものである。

笹子城跡のカワラケは，いずれもロクロ整形によるもので，静止糸切りによるⅣ類以外はいずれも右回転の糸切りによって底部が切り離されている。カワラケは，大小幾種かのサイズのセットによって使用されることが多いが，同時期のものでも大きさによりその形態にも若干違いがみられるものが存在する。本来であれば，遺構の共伴遺物で一つのセット関係を検討することが必要である。ここでの分類は，大きさを含めた形態と製作技法および胎土などによって分類した。

(分類)

Ⅰ類：体部に丸みをもち，やや大ぶりで体部と底部の境目がなく，内湾型のもの。柱状高台や内黒の資料が各1点ずつ検出されている。

Ⅱ類：体部が直線的に外反するもので，いずれも内面見込みには，横ナデが加えられており，Ⅲ類よりも強いナデのものが多い。

Ⅱ－１類は，黄白色の粉っぽい胎土で器壁が薄手につくられ，体部中部に屈曲を有するものもある。ロクロ目がやや粗いものが多い。大型と中型の２種がある。

Ⅱ－２類は，体部下半に屈曲があるもの。胎土が赤みを帯びたものが多い。大型と中型の２種がある。

Ⅱ－３類は，Ⅱ－１類と同じ胎土で，小型のもの。

Ⅱ－４類は，Ⅱ－２類の小型のもの。

Ⅱ－１類と３類，Ⅱ－２類と４類はそれぞれセット関係にあるものと思われる。

Ⅱ－２類は，胎土や形態がⅡ－１類と次のⅢ類との中間型ともいえるものである。

Ⅲ類：全体に器高があまり高くなく，口唇部が肉厚になるものが多い。大きさは大中小の３タイプあるが，大型は少なく，中小の２タイプセットが主である。内面見込みにナデ調整が加えられるが，軽く加えられるものが多く，不明瞭なものも多い。

Ⅲ－１類は，口唇部が若干外反するもので，やや深いタイプと浅めでⅢに近いタイプの二種がある。大型と中型の２種がある。

Ⅲ－２類は，外反せずまっすぐに立ち上がるものである。大型と中型の２種がある。

Ⅲ－３類は小型のもので，体部はやや丸みを持ち底径が大きい。

Ⅲ－４類は小型のもので，体部はやや丸みを持ち底径が小さい。

Ⅳ類：赤褐色のレンガ色を呈し，胎土のキメがやや粗いものである。外底は静止糸切りによって切り離され，内面見込みには横ナデは加えられない。製作技法や胎土が他のものと大きく異なる特徴的な一群である。おそらく他のタイプとは製作地が異なると思われる。

Ⅳ－１類は，体部が直線的に外反するもの。

Ⅳ－２類は，１類の小型のもの。

１・２類は，いずれも口唇部が角張っており，これは口唇部を糸切りによって整形した痕跡とみられる。

Ⅳ－３類は，体部上半部が少し丸みをもって内側に屈曲するもの。

Ⅳ－４類は，小型のもの。

Ⅳ－５類は，体部が大きくラッパ状に外反するもの，１点のみ出土している。

Ⅳ－６類は，小型のⅢ状のもので，体部が丸みをもって底部に連続し，体部と底部の境がないか，ほとんどないものである。

Ⅳ－７類は１点のみであるが，底部が少し突出し，口唇部がやや外反する。

Ⅳ類は，真里谷城跡で確認されているものに類似資料がある。

耳カワラケは図示した１点(平場６出土・第111図503)以外に，平場６・７で１点確認できた。その他，図示はしていないが，底部がやや厚手で突出するものが平場６・７に２点確認できた。これは，大多喜城跡など東上総方面に分布が見られるものに近い。

(時期)

Ⅰ類は15世紀中葉以前のもので，古代末～中世初期。

Ⅱ類は古瀬戸後期Ⅳ期新段階に伴う場合が多く，15世紀後半

Ⅲ－１・３類は千葉市生実城跡で，瀬戸大窯１段階に伴っているものと同タイプで，15世紀末から16世紀第１四半期。

Ⅲ－２・４類はその後の16世紀第２四半期

Ⅳ類は，時期を特定しきれていないが，少なくとも16世紀以降，笹子城跡では最も新しい時期。

笹子城のカワラケは，全体的には15世紀の後半から16世紀の中頃までのものが大部分をしめ，共伴している瀬戸製品などの陶磁器の年代観とも一致する。

(分布)

Ⅱ類は，千葉市の猪鼻城跡や生実城跡で検出例があるように，千葉市内には分布のまとまりがあり，市原市白船城跡や袖ヶ浦市荒久遺跡でも確認されており，東京湾東岸北部に分布域があり，笹子城跡はその南限に近い。

Ⅲ類は，千葉市生実城跡にまとまった資料が検出されており，木更津市真里谷城跡や金谷城跡まで，Ⅱ類と同じく東京湾沿いに分布が確認できる。

Ⅳ類は，下総にはないタイプで上総南部に分布域があり，真里谷城跡に類似資料が認められる。

(5)東海系羽釜(第112図504～511)

掲載した遺物の器種と点数は次のとおりで，羽釜7，茶釜肩？1が出土している。

口縁部が直立に立つものと若干内湾するものがみられる。507・508は茶釜と推定される。

(6)内耳鍋(第113図512～518)　7点が出土しており，すべて小片である。

(7)近世陶磁器(第114図523・524)

掲載した遺物点数は次のとおりで，大皿片，内耳鍋4，鉄釉小壺1，織部向付け1などが出土している。

a　内耳鍋(第113図520～522)

b　鉄釉小壺(第114図523)　瀬戸美濃産の鉄釉小壺であ。

c　織部向付(第114図524)　織部向付の破片で，唯一1点が出土している。

第5節　その他の遺物

(1)土製品

a　土錘(第115～118図)　平場6，平場8，平場12から出土している。特に平場8から多量の土錘が出土した。平場8の土坑65，土坑39からは多量の土錘が出土した。形態的な特徴として，平場6と平場12から出土した土錘はややずんぐりした形状をしており，一方，平場8の多くのものは細く，小型であることが特徴と言える。

b　土器片を転用した砥石(第119図)　多量の破片のなかで整理作業中に確認出来たもの。他にも転用砥石がある。周囲は摩滅しており，砥石として多用されたことが伺われる。

(2)金属製品

a　刀子　(第120図)　18点が図化できた。1は束部分が残存している。15は刃部に竹状のものが巻かれた痕跡が確認できる。

b　鉄製品(第121図)　21点が図化できた。1・2は小札である。3は鞍金具か鎧の締め金具と思われる。6～8は鉄鏃で，6は茎部の断面が六角形をしている。7・8も大変遺存度がよく，良品である。9～16は火打ち金で残存状態は良好である。

c　環状製品(第122図)　1～14は環状の鉄製品である。1は断面が平らで，5～12は断面が長方形を呈する。他の製品は断面が丸形である。

d　鉄鍋(第122図15　図版19)

平場6の土坑223内から出土した。平場6のⅢ期にあたる面からの出土である。初期保存処理が不充分で，本書に掲載した実測図は遺物出土状況図から図化した。そのため，側面・断面図は図化できなく，類例として鹿島前遺跡出土の鉄鍋を参考として一部改変して掲載した。口径36cm，高さ19cmを計る。

e　鉄釘　(第123図)　鉄釘は35本が図化出来た。平場6の土坑から出土したものが多く，ピットからも出土している。

f　銭貨　(第124～130図)

多くは中国銭で，永楽通宝を含くんでいる。各銭貨の枚数は以下のとおりである。永楽通宝が最も多く27枚，元豊通宝が26枚，元祐通宝と洪武通宝18枚，開元通宝15枚，寛永通宝14枚，皇宋通宝と熙寧元宝12枚，天聖元宝7枚，聖宋元宝と紹聖元宝5枚，嘉祐通宝4枚，治平元宝・大観通宝・政和通宝・宣和通宝3枚，和同開珎・咸平元宝・祥符元宝・明道元宝2枚，元福元宝・宋通元宝・太平通宝・淳化元宝・至道元宝・景徳元宝・天禧通宝・景祐元宝・元符通宝・正隆元宝・大定通宝・至元通宝・至大通宝・朝鮮通宝が各1枚で他に不明銭貨が17枚出土している。

特記すべき事に和同開珎が2枚出土している。和同開珎は平場11の上層から出土している。遺物番号は25－1～3で銭貨は3枚が出土している。そのなかで25－1と25－3の2枚が和同開珎，25－2が聖栄元宝である。研究連絡誌では「5枚が付着した銭貨のなか」から確認された旨の記載があるが，遺物番号からは5枚のうち和同開珎2枚を含む3枚が確認でき，他の2枚の銭貨については不明である。211～213は洪武通宝で，背文字銭で「一銭」の文字が確認できる。

g　銅製品・独鈷杵(第131～132図)

1は分銅で平場6から出土した。重さは58gで1gを0.26匁とすると約15匁の重さである。2は独鈷杵で平場6から出土した。長さは15.2cmである。遺物番号は1145で，調査者は「鉄鍋(第12図15)と独鈷杵は近接して同一面(注：平場6のⅢ期，B又はC面)から出土し，さらに瓦質香炉(第107図384)が脚部のみ欠損して逆位の状態で近接して出土している。これら3種の遺物はセットであり，儀礼行為にともなうものと考え」ているが，鉄鍋は明らかに土坑223から出土しており，独鈷杵および瓦質香炉との伴出関係は不明である。

(3)石製品(第133図1～7・122)

a　硯・磨製石斧・紡錘車

1～7は硯である。121は磨製石斧で，122は滑石製の紡錘車である。

b　水晶製五輪塔(第133図123)

水晶製の五輪塔で，高さ3.2cmを計る。地輪部は六角形を呈し幅1.8cm，水輪部の径は1.6cmを計る。火輪と水輪部分の内側はくり抜かれており，舎利容器として使われたものと推定される。火・水・地輪部分のみ残存しており，蓋にあたる空・風輪部分はなかった。水晶製五輪塔の類例はない。平場8からの出土でⅣ期またはⅤ期の盛土整地層からの出土である。

c　茶臼(第134・135図)

8から31は茶臼で，8～10，23は上臼で，11～22，24～31は下臼である。34は平場7から出土した遺物番号169と平場12の堀P東側覆土から出土した破片が接合したものである。第134図8は花弁の文様が彫られており，丁寧なつくりである。

d　挽き臼(第136図)

32～37挽き臼である。32～35・37は上臼，36は下臼である。

e　砥石（第137～143図）

砥石は全体に小型で，よく使いこなされている。46と89の上部に孔が穿がかれており，下げ砥石として使用されていたものと考えられる。残存の形状からすると元は断面が5㎝×5㎝ほどのものと推定される。

f　宝篋印塔・五輪塔（第144～147図）

石塔類は多量に出土している。遺構からの出土は平場6の堀G，平場7の土坑3から五輪塔が，平場7の土坑11，平場8の土坑32から宝篋印塔が，平場10から五輪塔が，堀Dと堀Pの東端部からの出土に限定される。平場6の堀Gの覆土中位からの出土と，平場10の堀P東側覆土中位からの出土は，両者の同時性と，笹子城跡の廃棄および堀の改変を示す貴重な資料になると思われる。

（4）木製品（第148～150図）

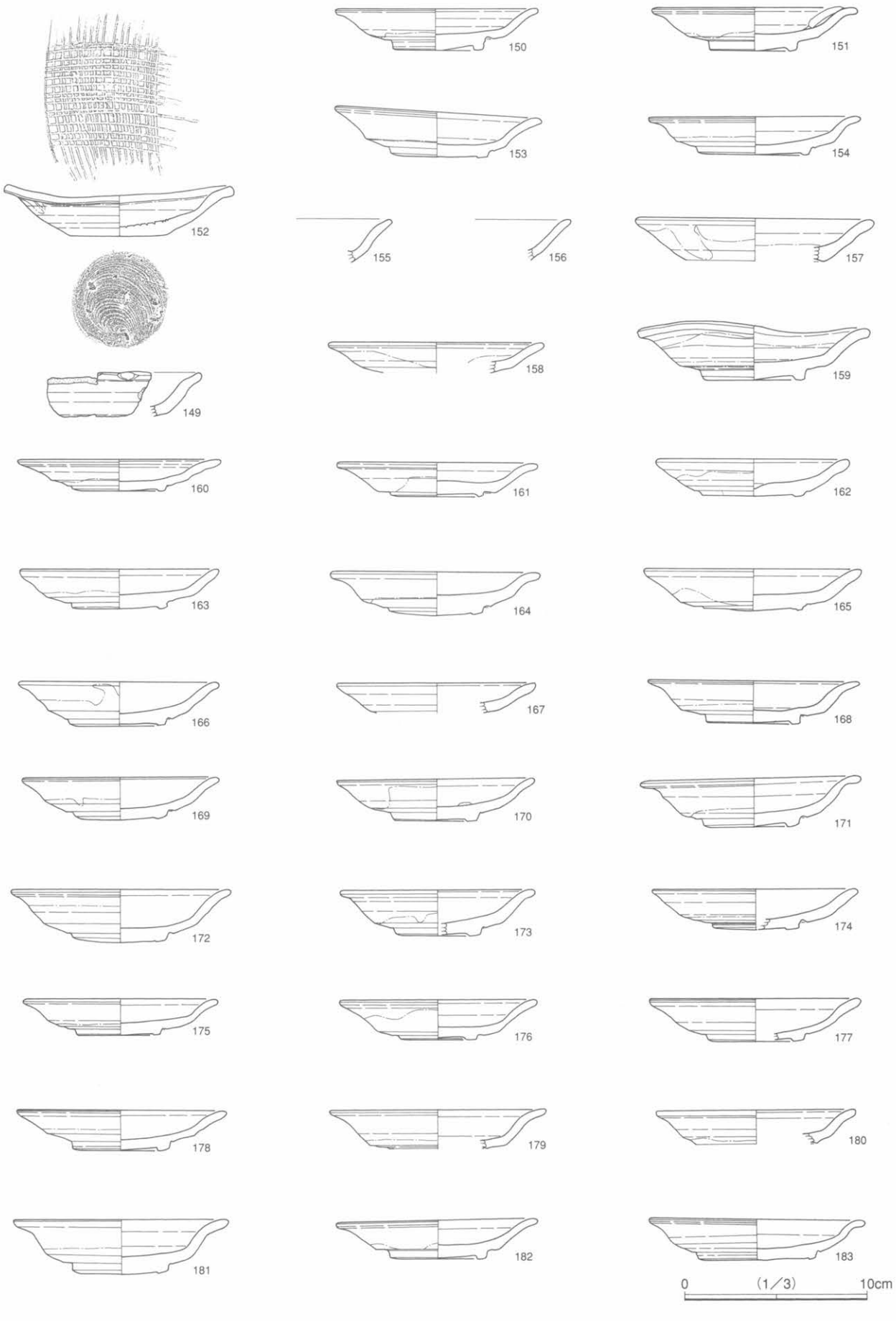
木製品は，平場10の井戸10および平場12の堀Pの覆土から出土している。

a　漆器椀等　漆器が出土しているが，調査段階で既に取り上げられる状況になく図化できなかった。1は，板状の製品である。長方形の薄板で，径2.5㎝の孔が2個ある。全体に黒漆の塗布が認められる。2も全体に黒漆の塗布が認められる。3は目盛り状の刻線があり，定規の可能性がある。4は中央に柄穴状の孔がある。

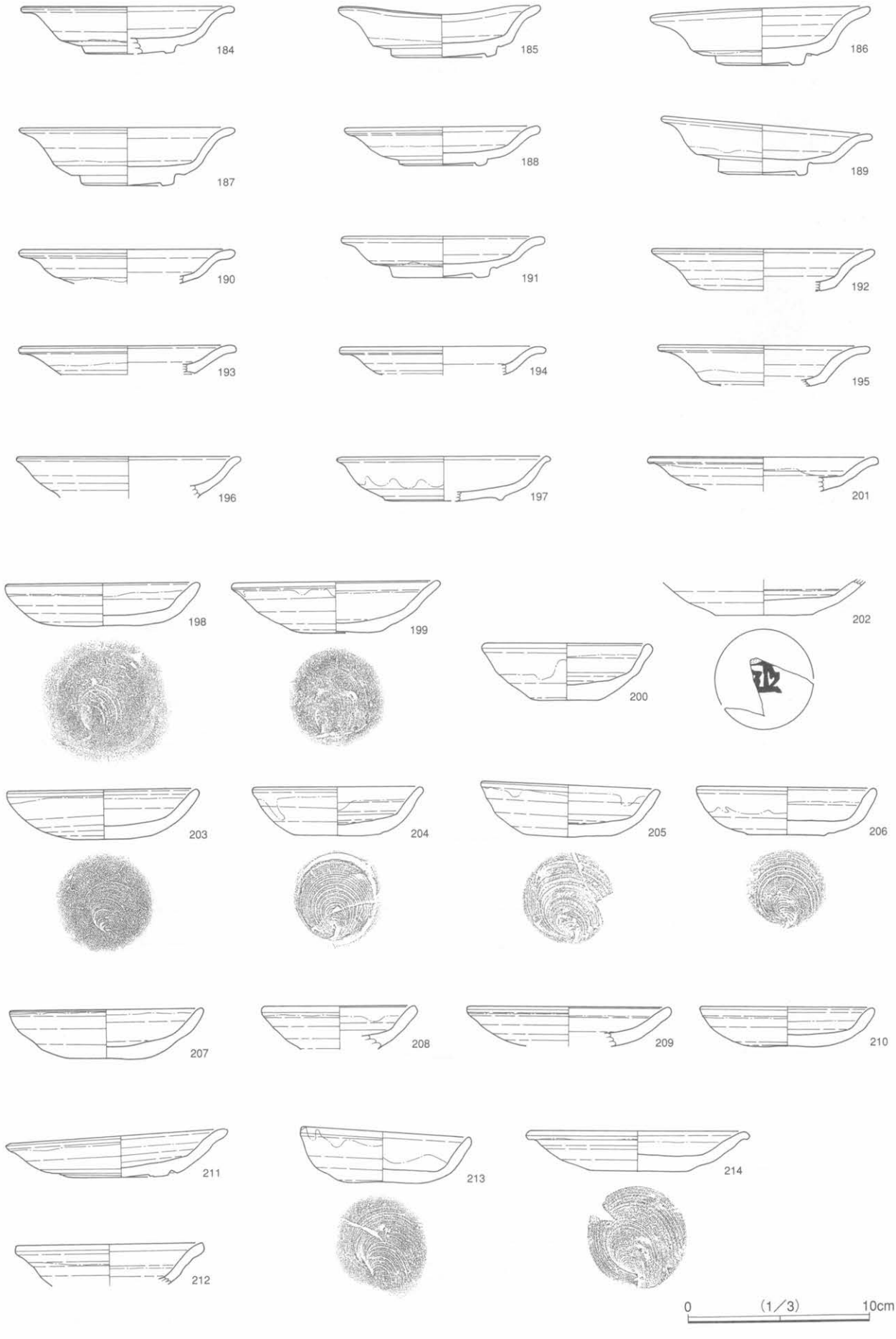
b　木簡状木製品　10・14はくびれ部が加工され，木簡状の形状をしている。

c　加工材　6は一端が斜めに加工され，中央からやや端寄りに径4㎜ほどの孔が穿孔されている。8・9は用途が不明であるが面取りされている。11は一部は欠損しているが丁寧なつくりである。12・13は板状を呈し木釘の穴がある。

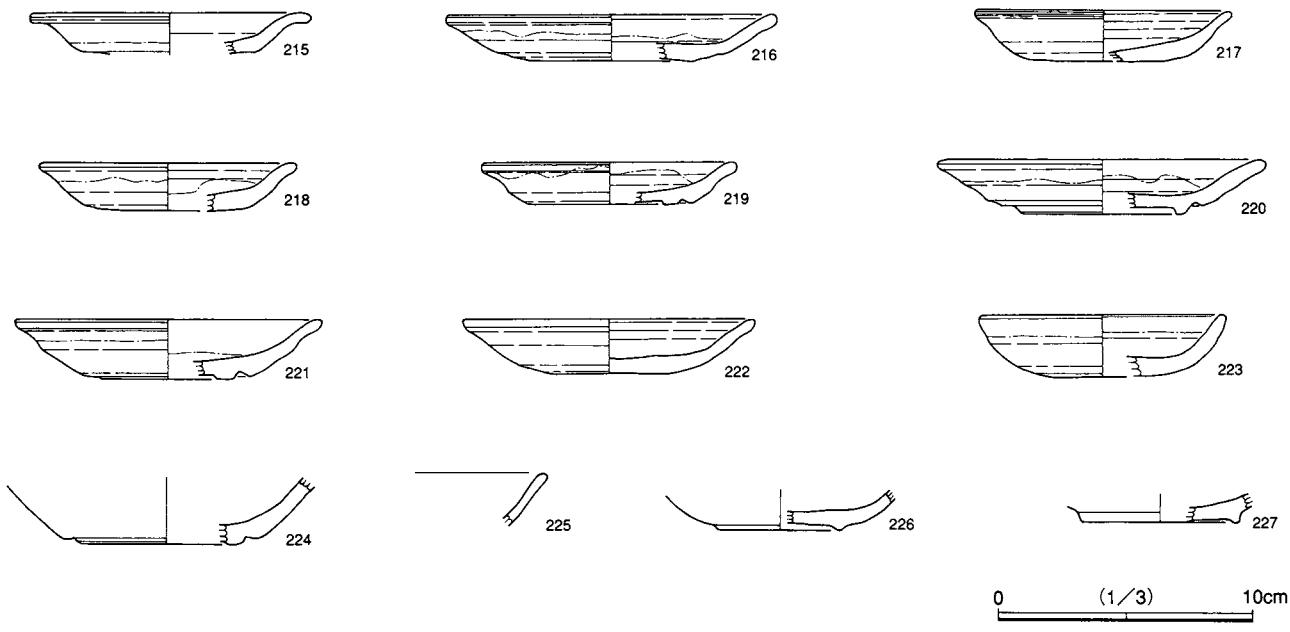
d　杭　5は杭状で両端を加工しており，一部に樹皮が認められる。7は建築材と思われ，端は斜めに切断されている。15は断面長方形で一端が焦げており，他の一端には細かな加工が施されている。杭として使用したものか。16は一端に孔があり他の一端は加工され杭先に使用されたものと思われる。



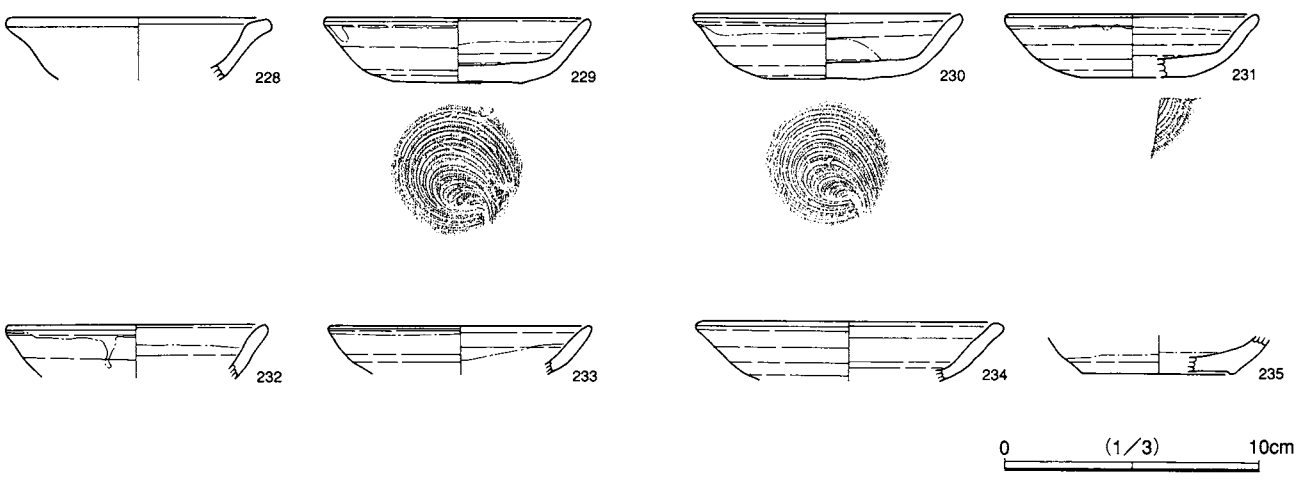
第82図　瀬戸・美濃　灰釉皿（1）



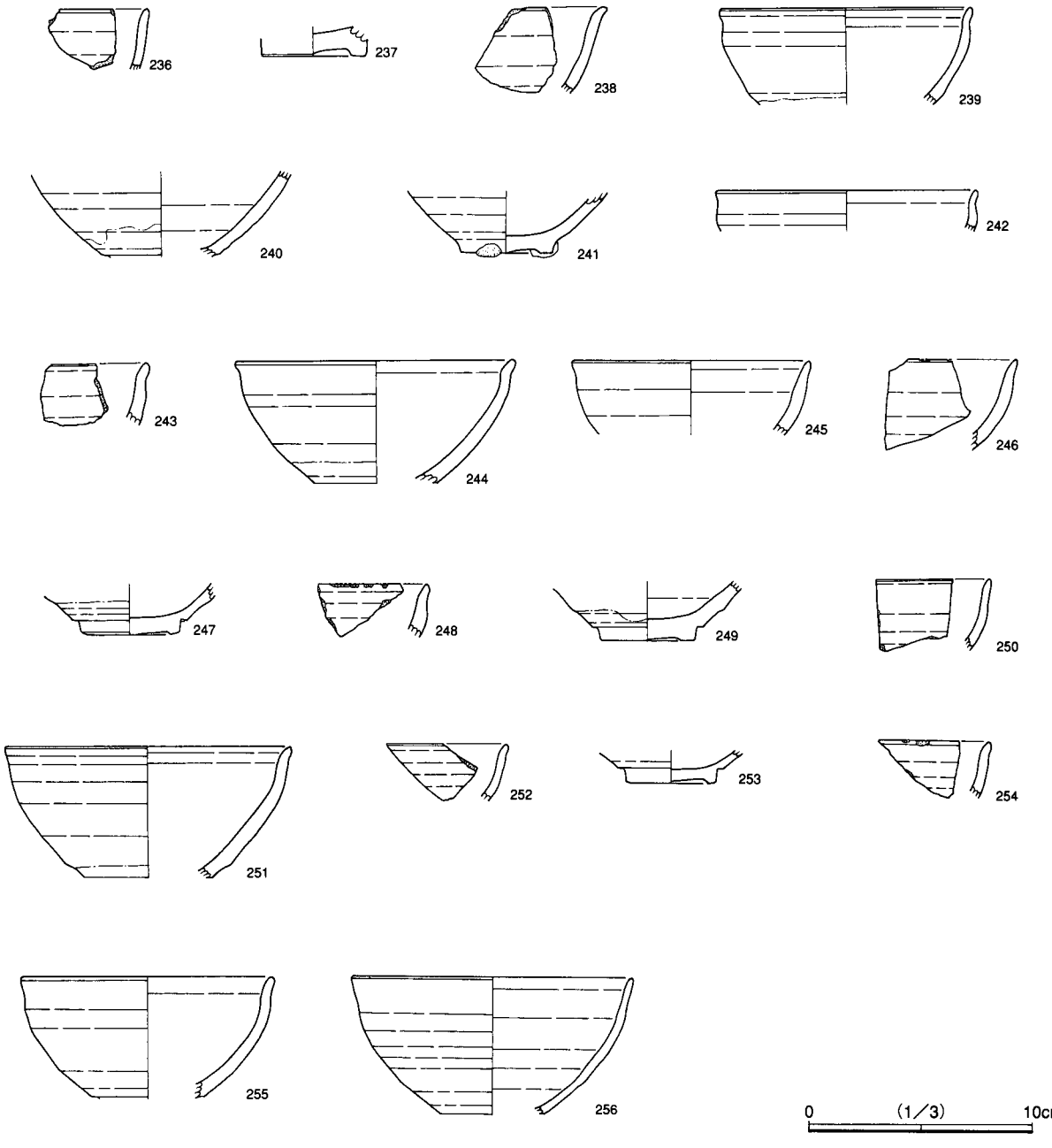
第83図　瀬戸・美濃　灰釉皿（2）



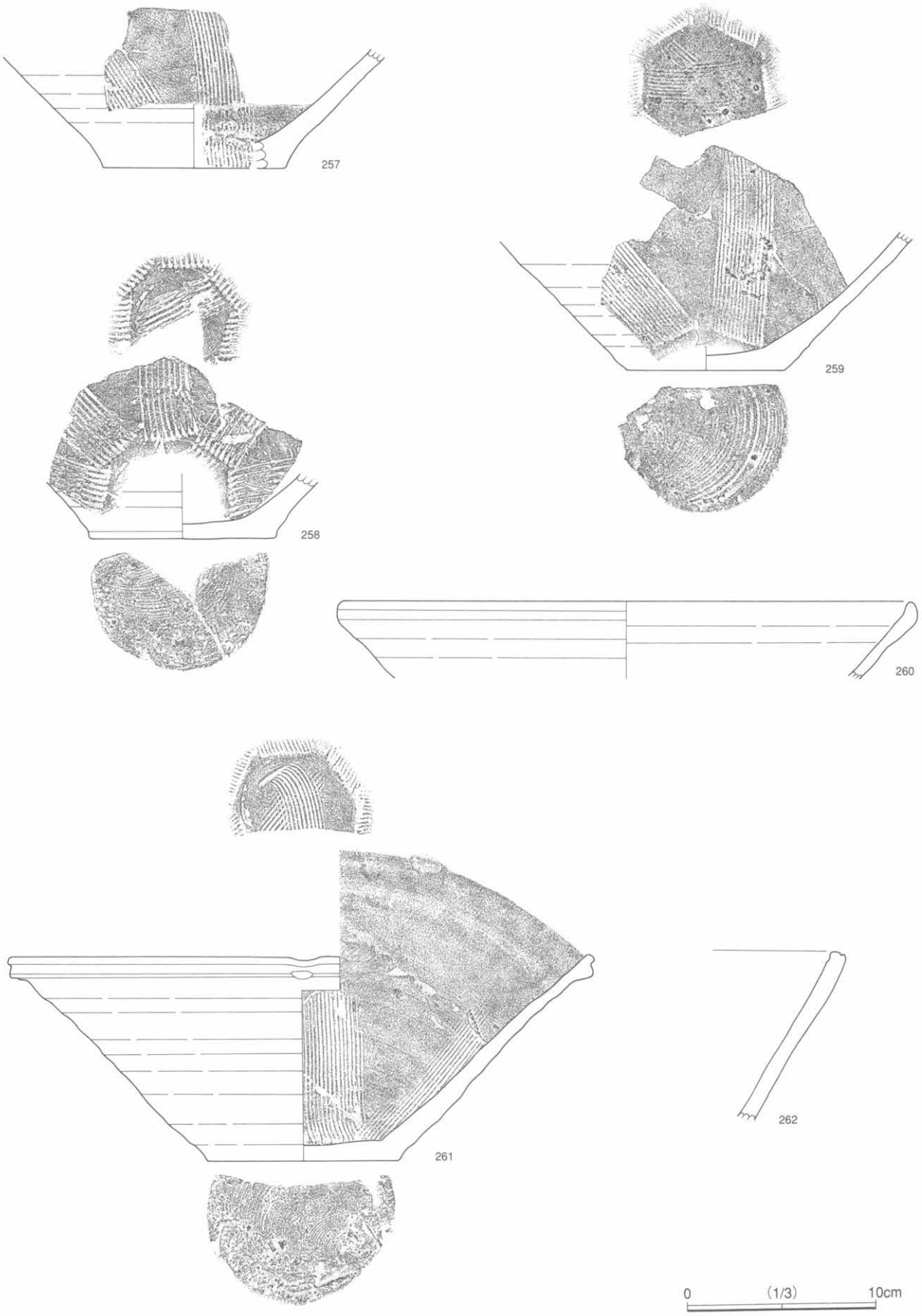
第84図　瀬戸・美濃　灰釉皿（3）



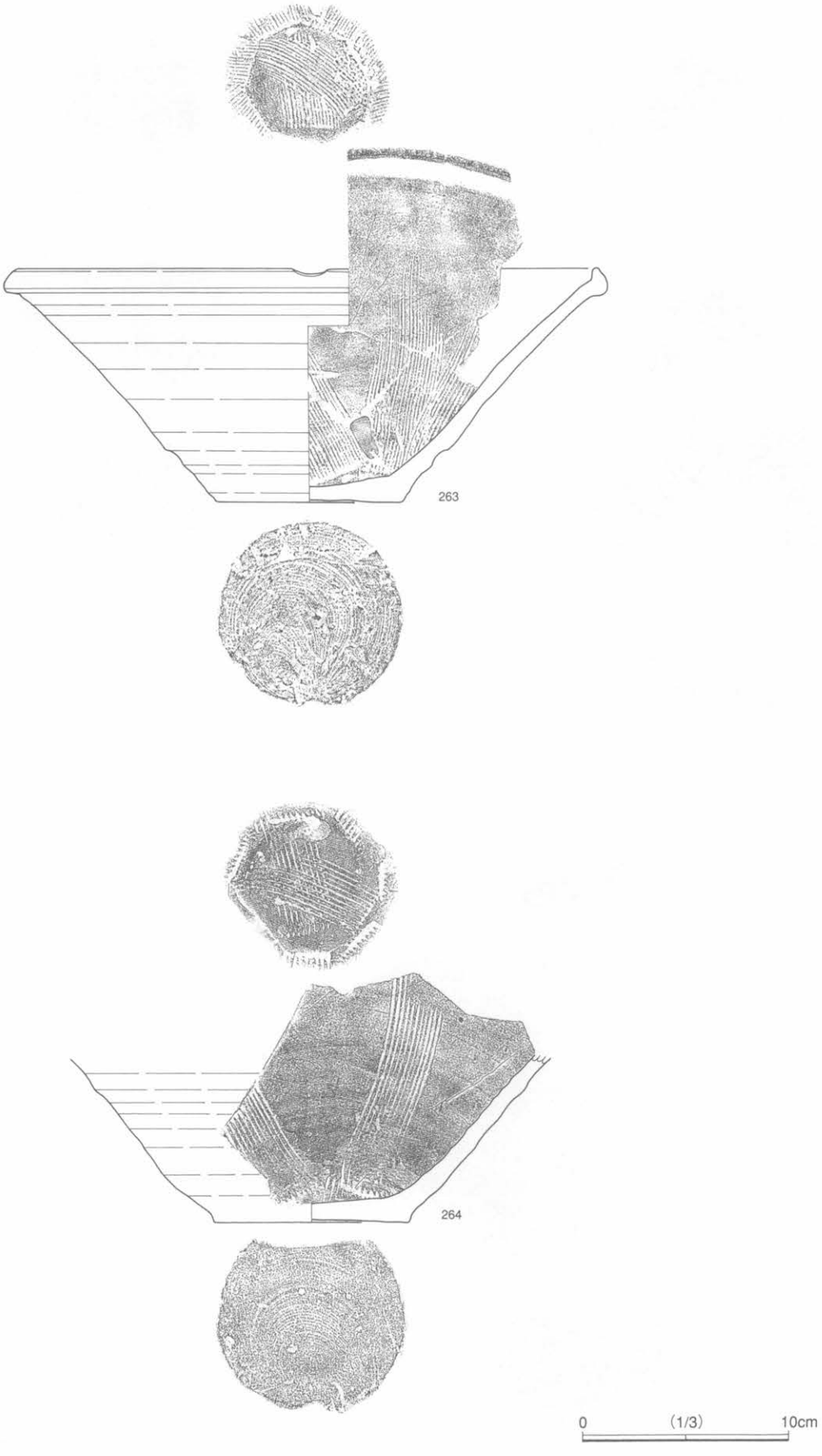
第85図　瀬戸・美濃　鉄釉皿



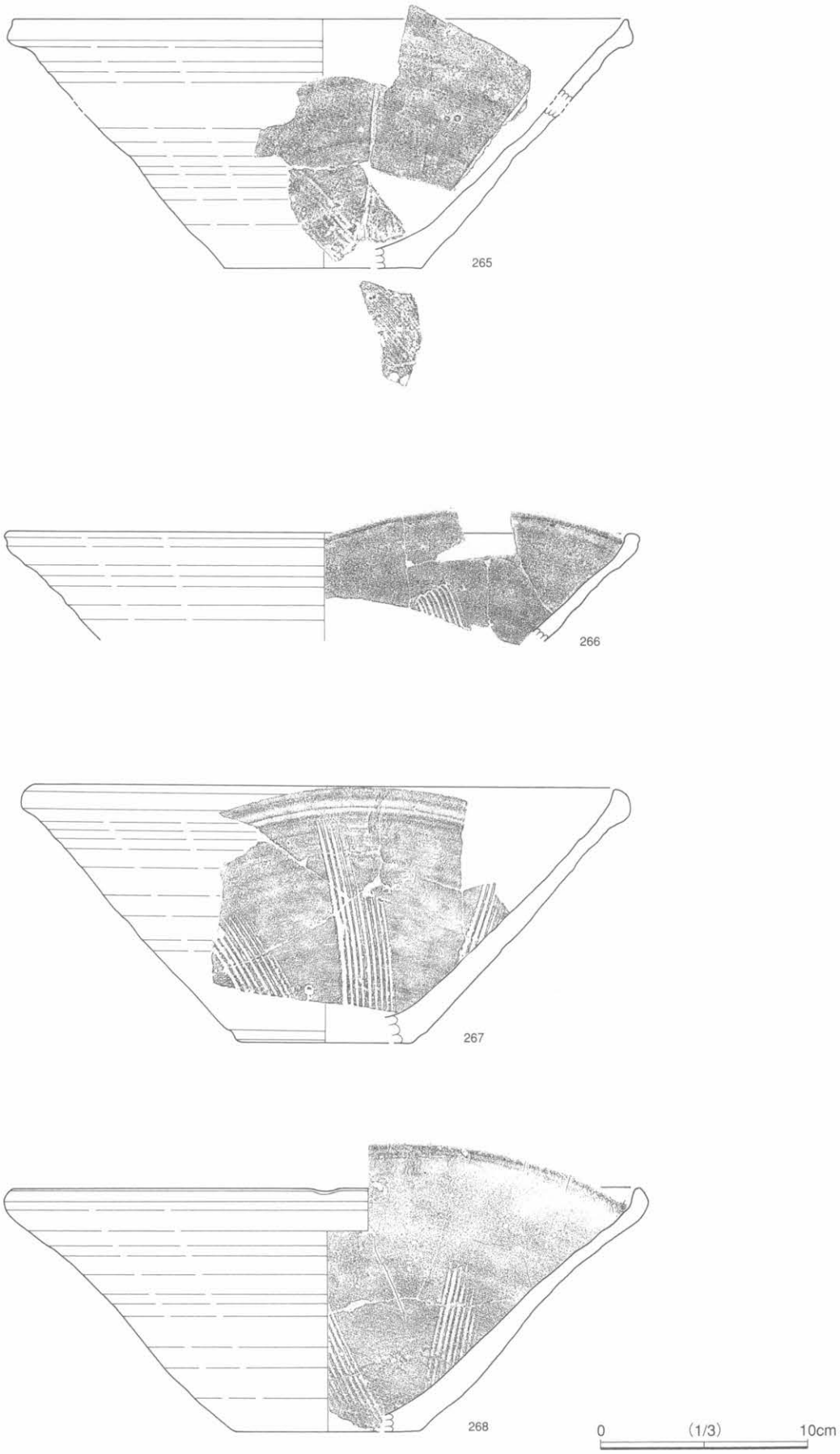
第86図　瀬戸・美濃　天目茶碗



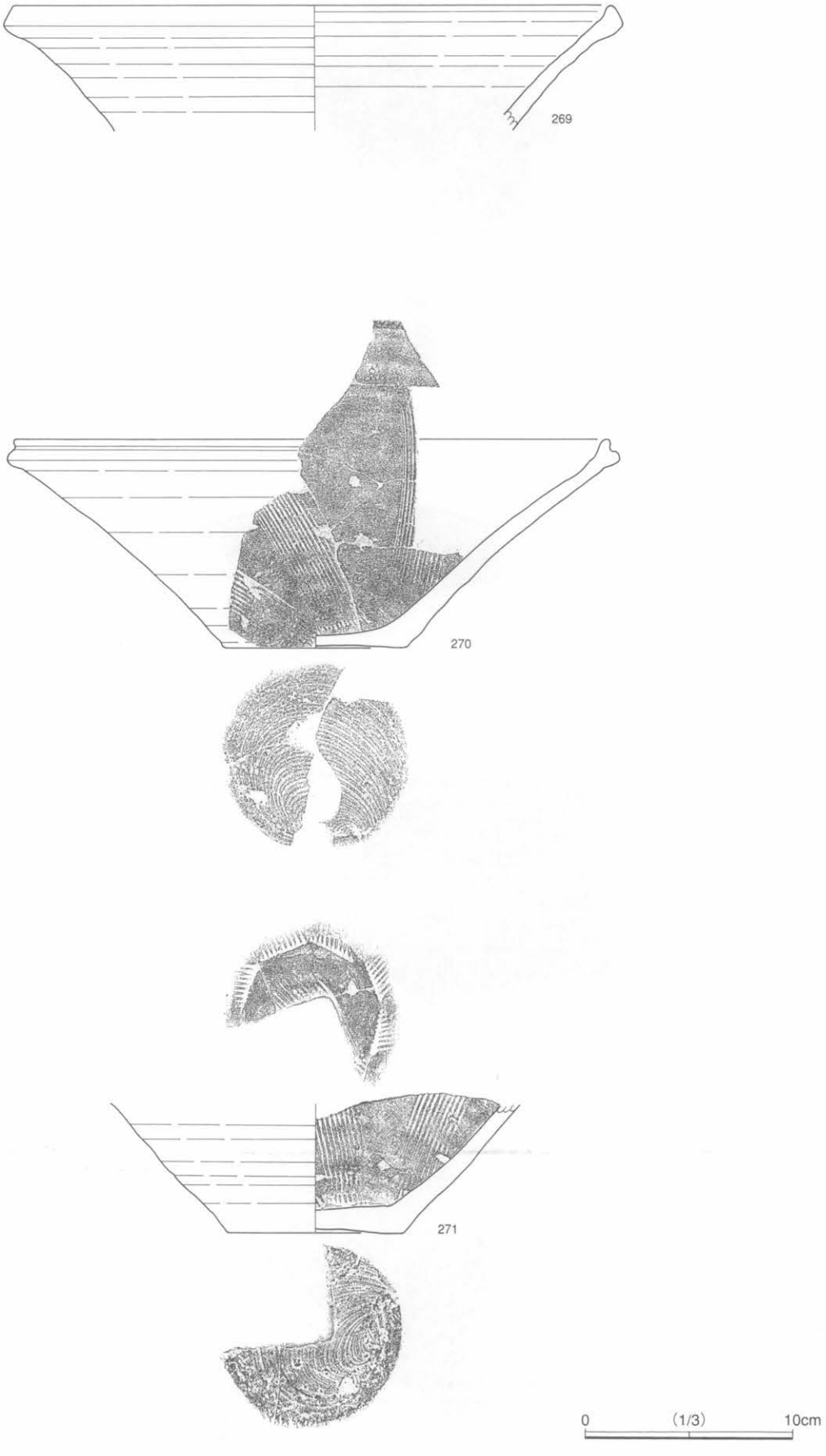
第87図　瀬戸・美濃　摺鉢（1）



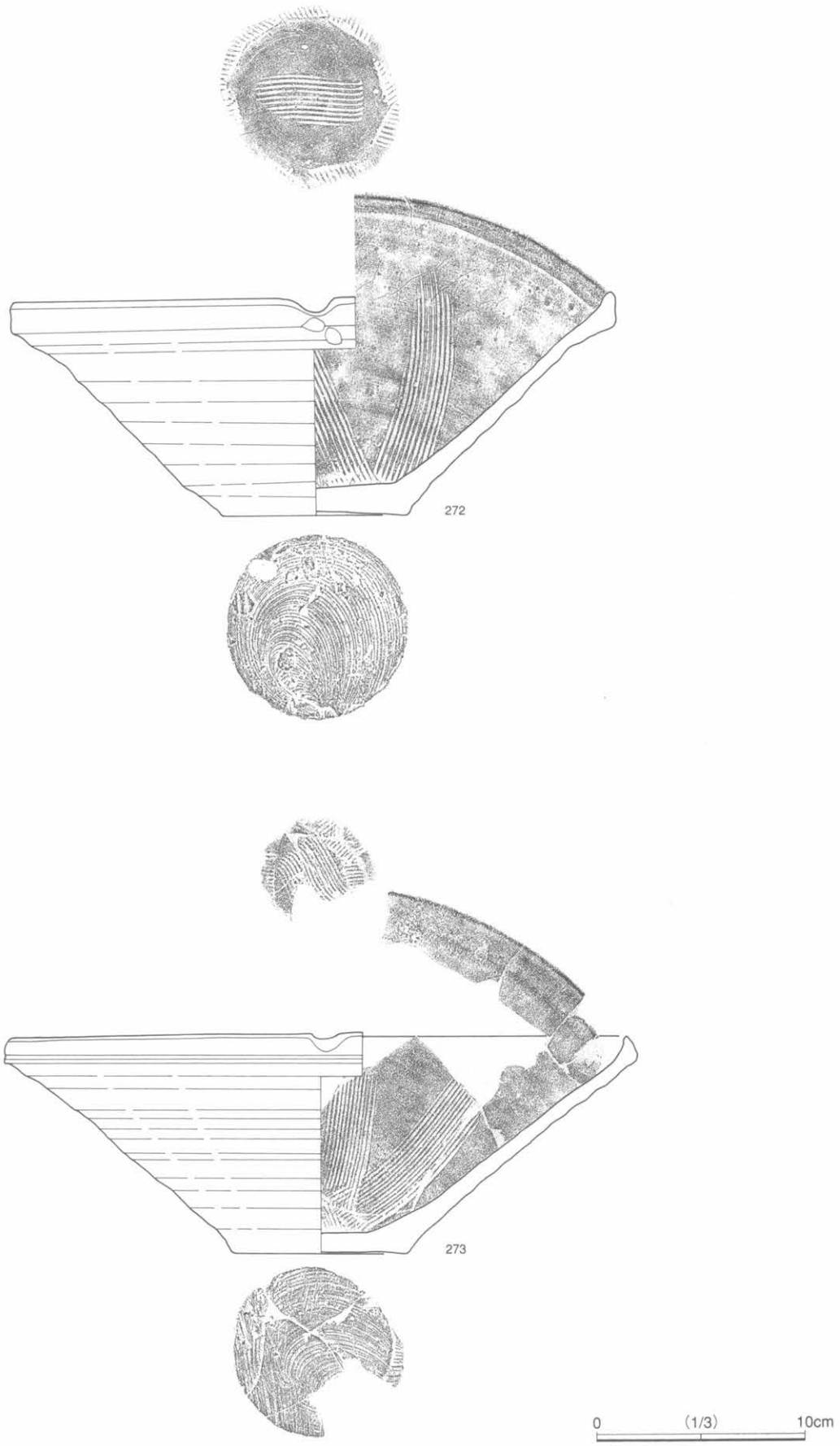
第88図　瀬戸・美濃　摺鉢（2）



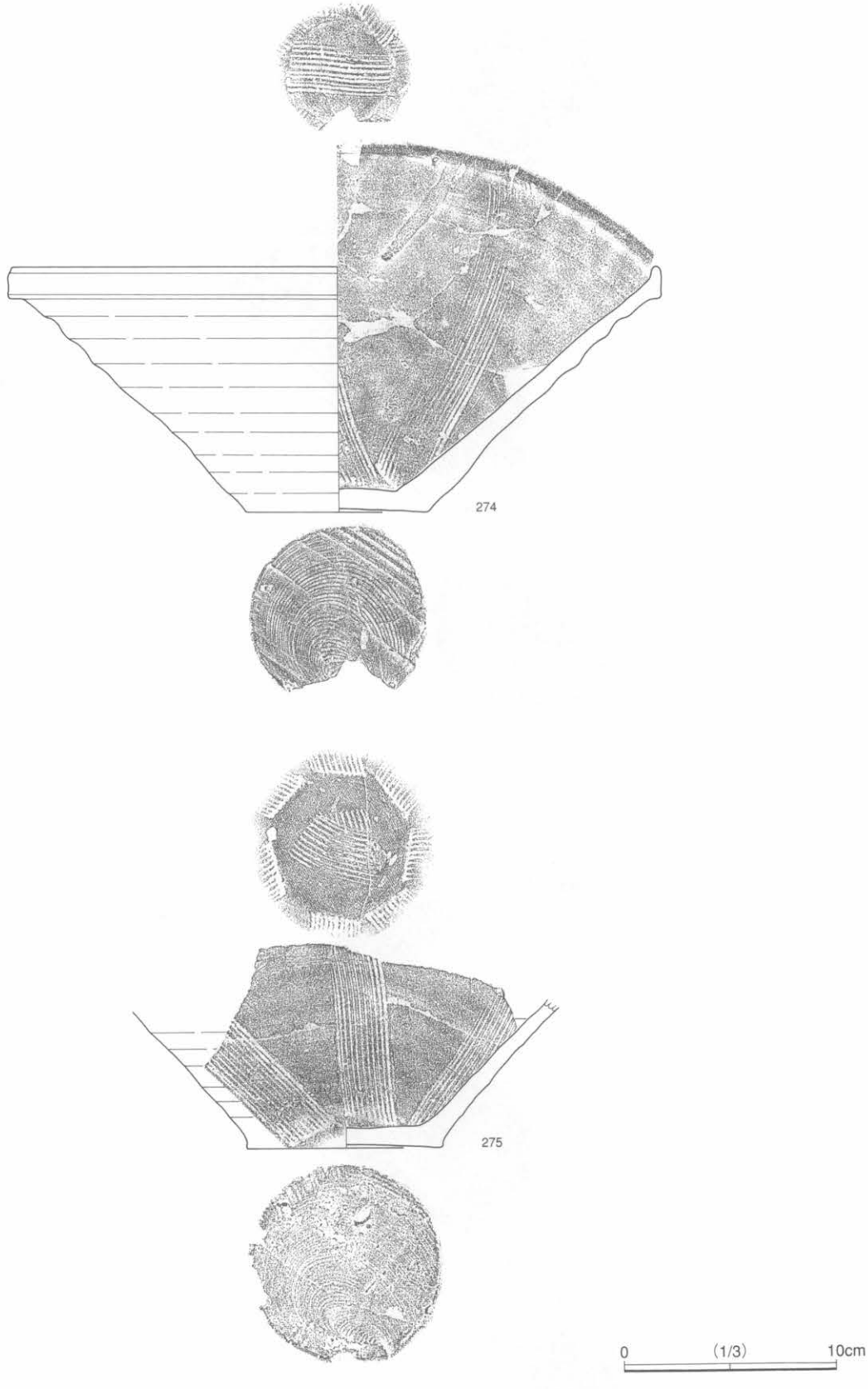
第89図　瀬戸・美濃　摺鉢（3）



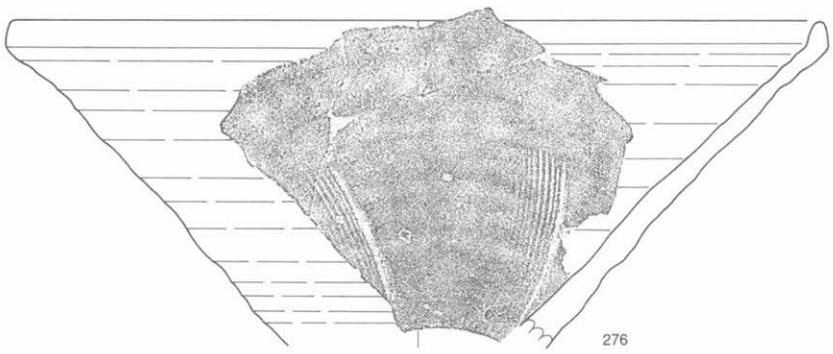
第90図　瀬戸・美濃　摺鉢（4）

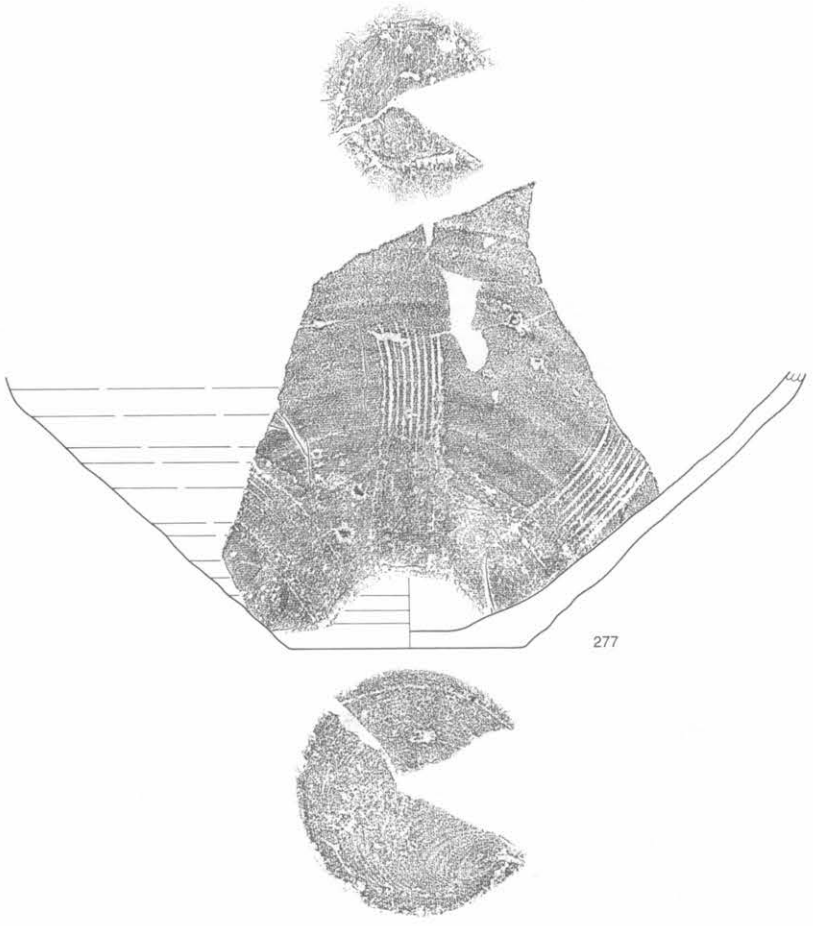


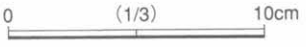
第91図　瀬戸・美濃　摺鉢（5）



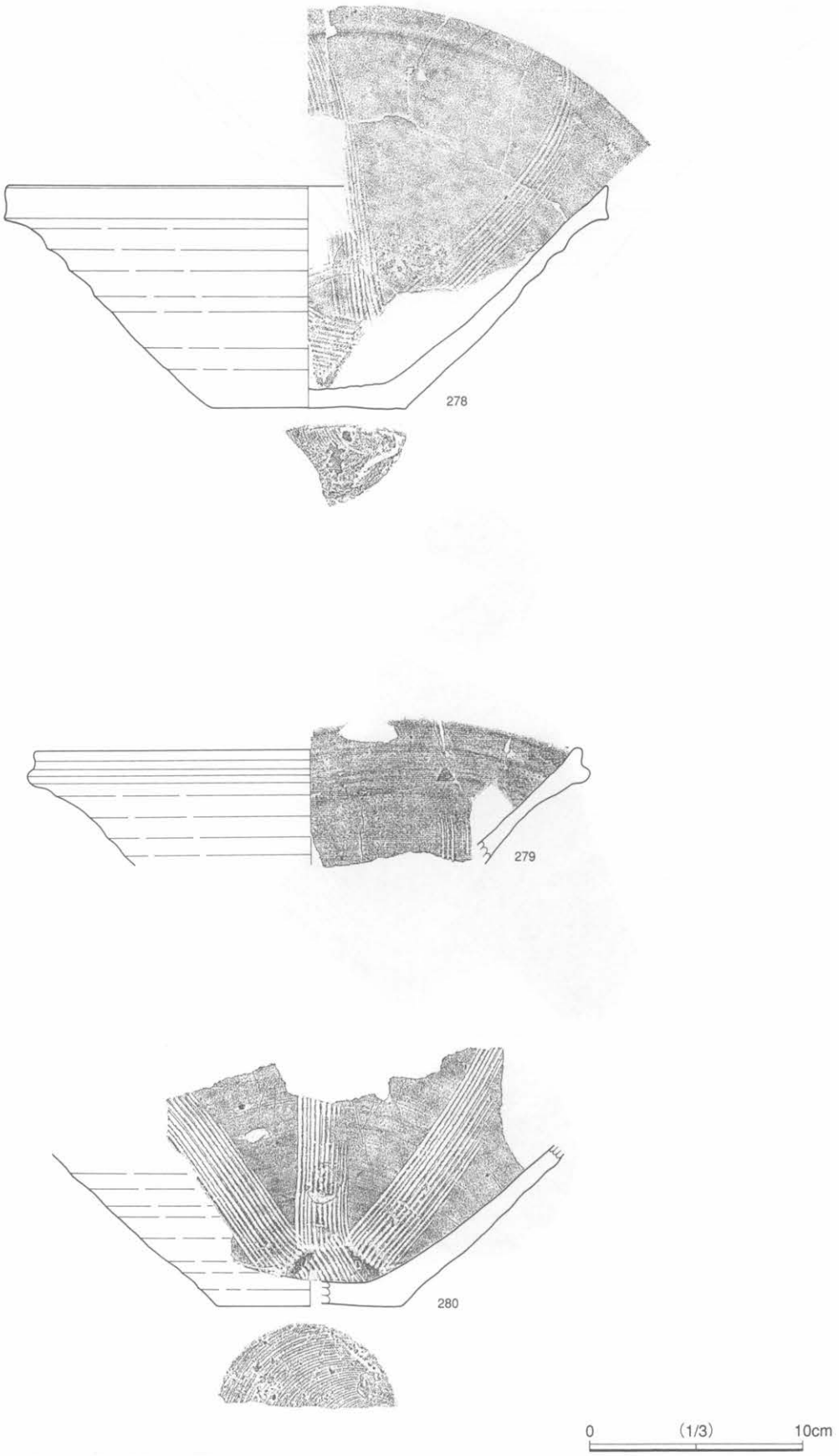
第92図　瀬戸・美濃　摺鉢（6）



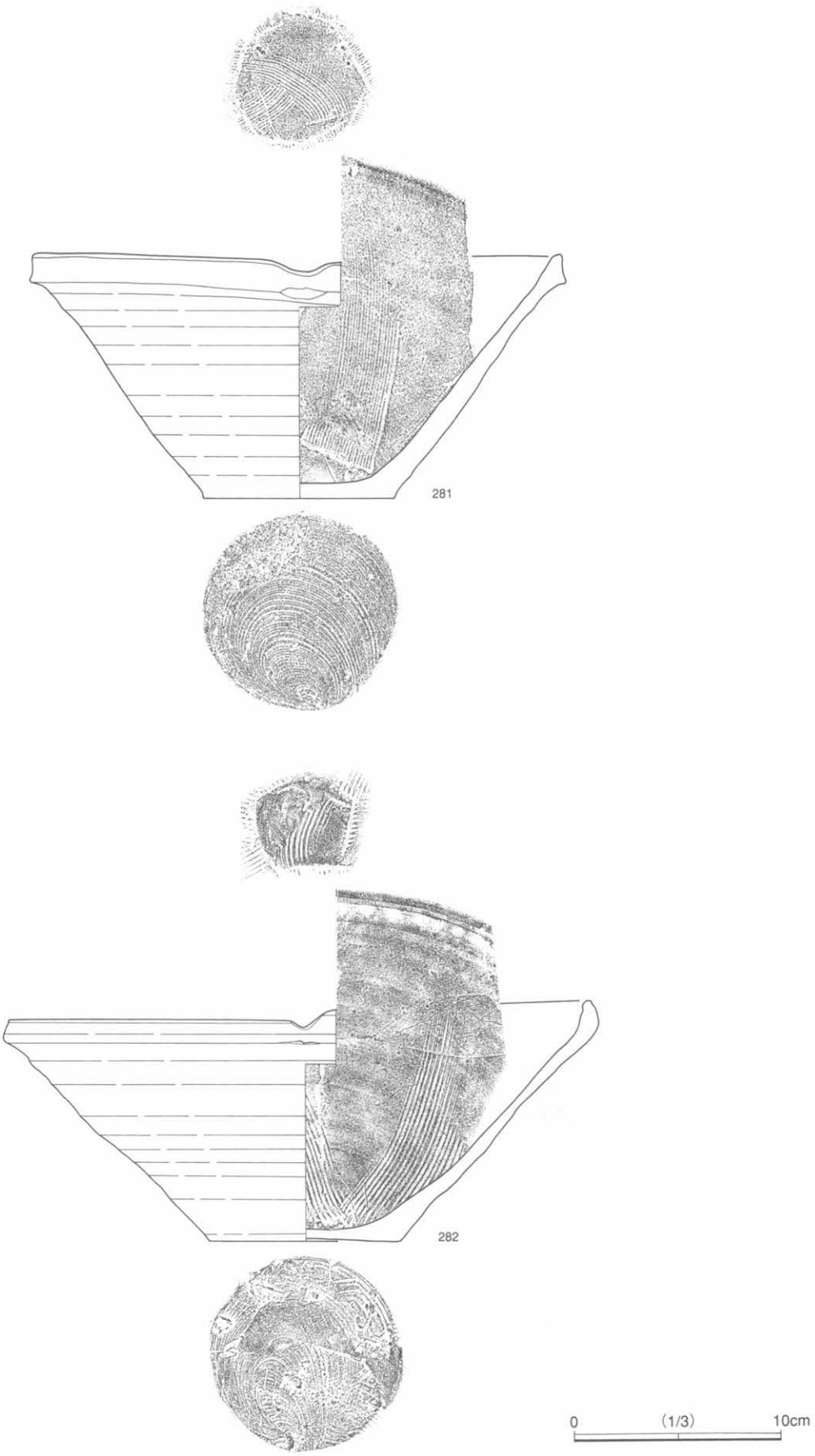




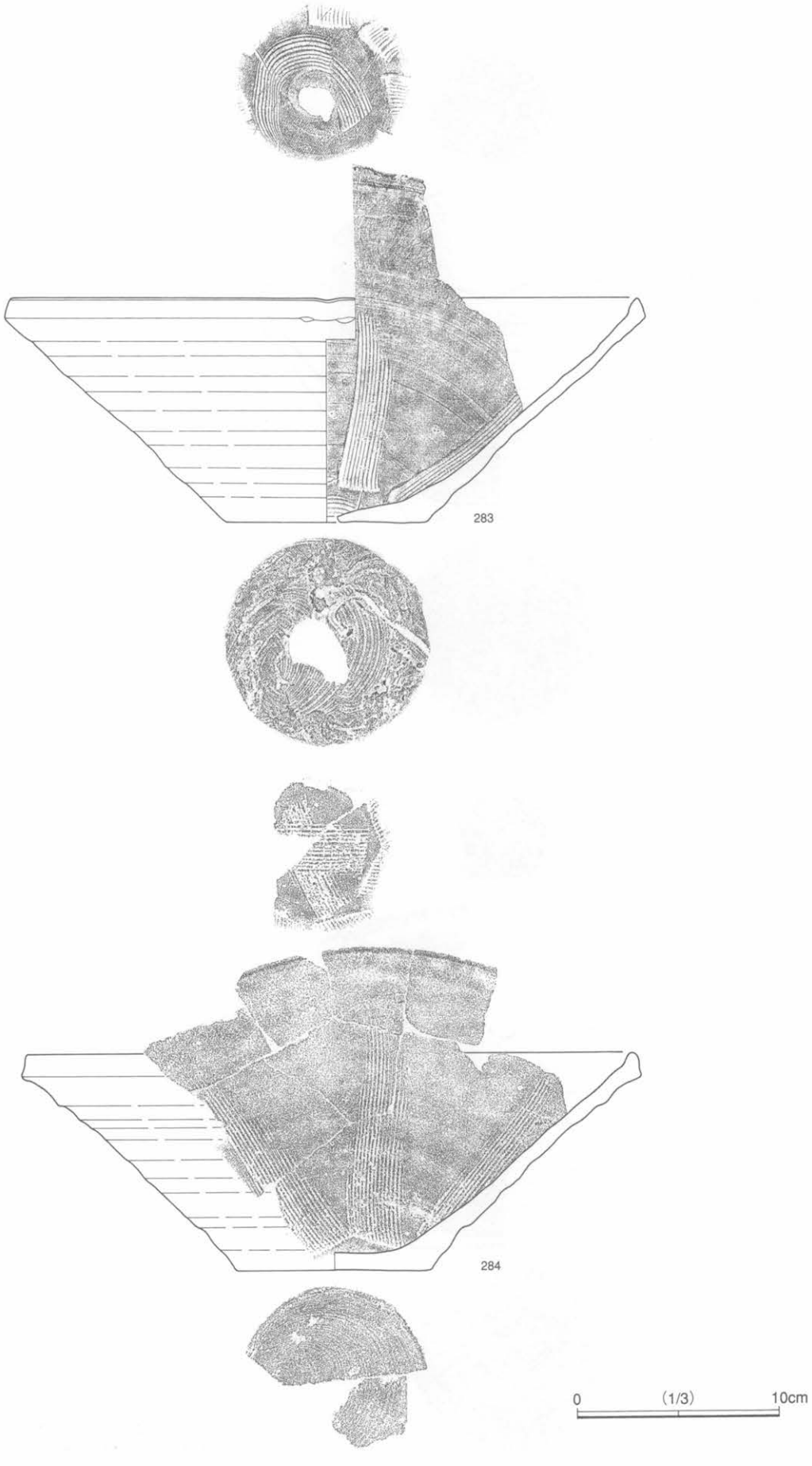
第93図　瀬戸・美濃　摺鉢（7）



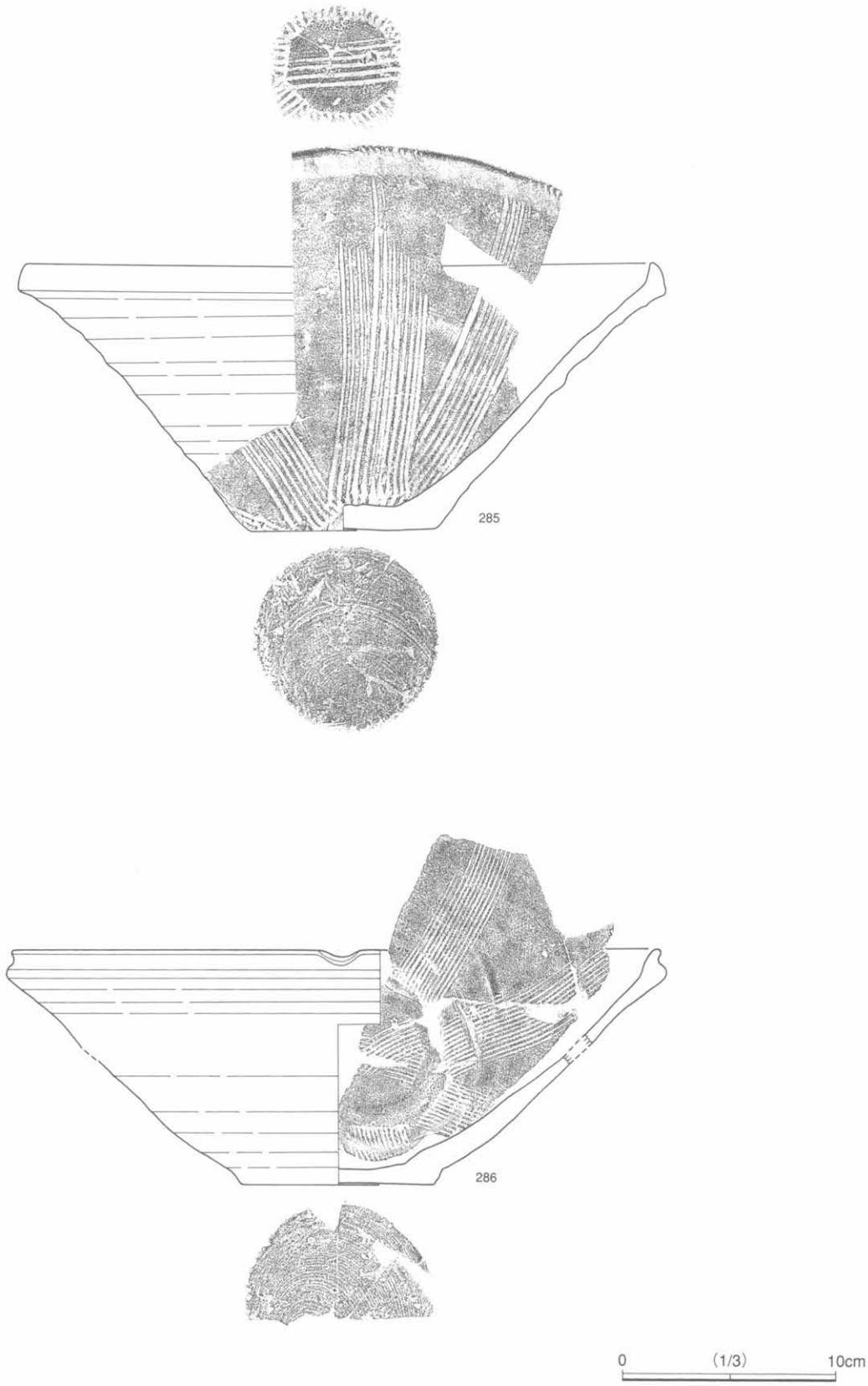
第94図　瀬戸・美濃　摺鉢（8）



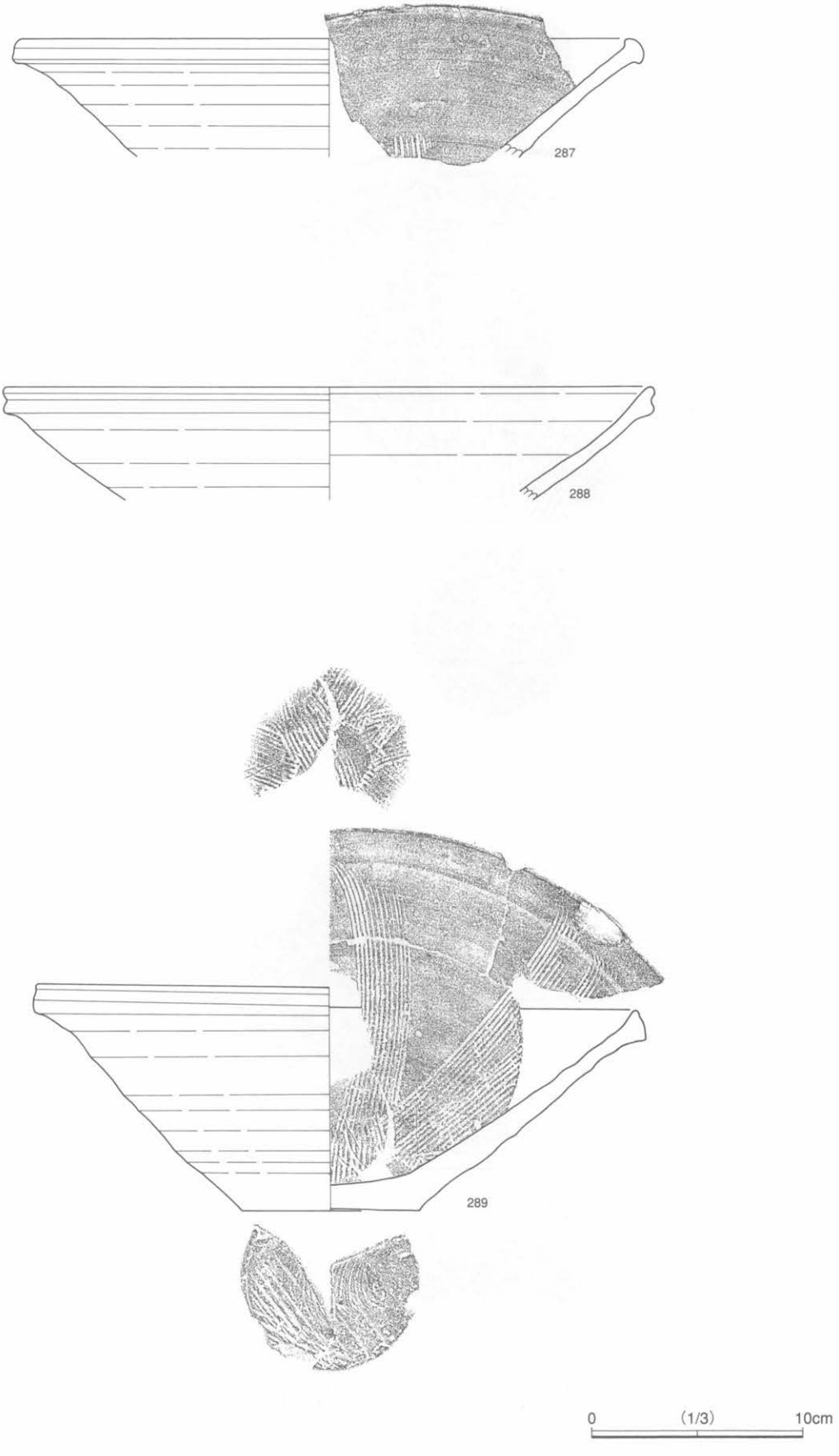
第95図　瀬戸・美濃　摺鉢（9）



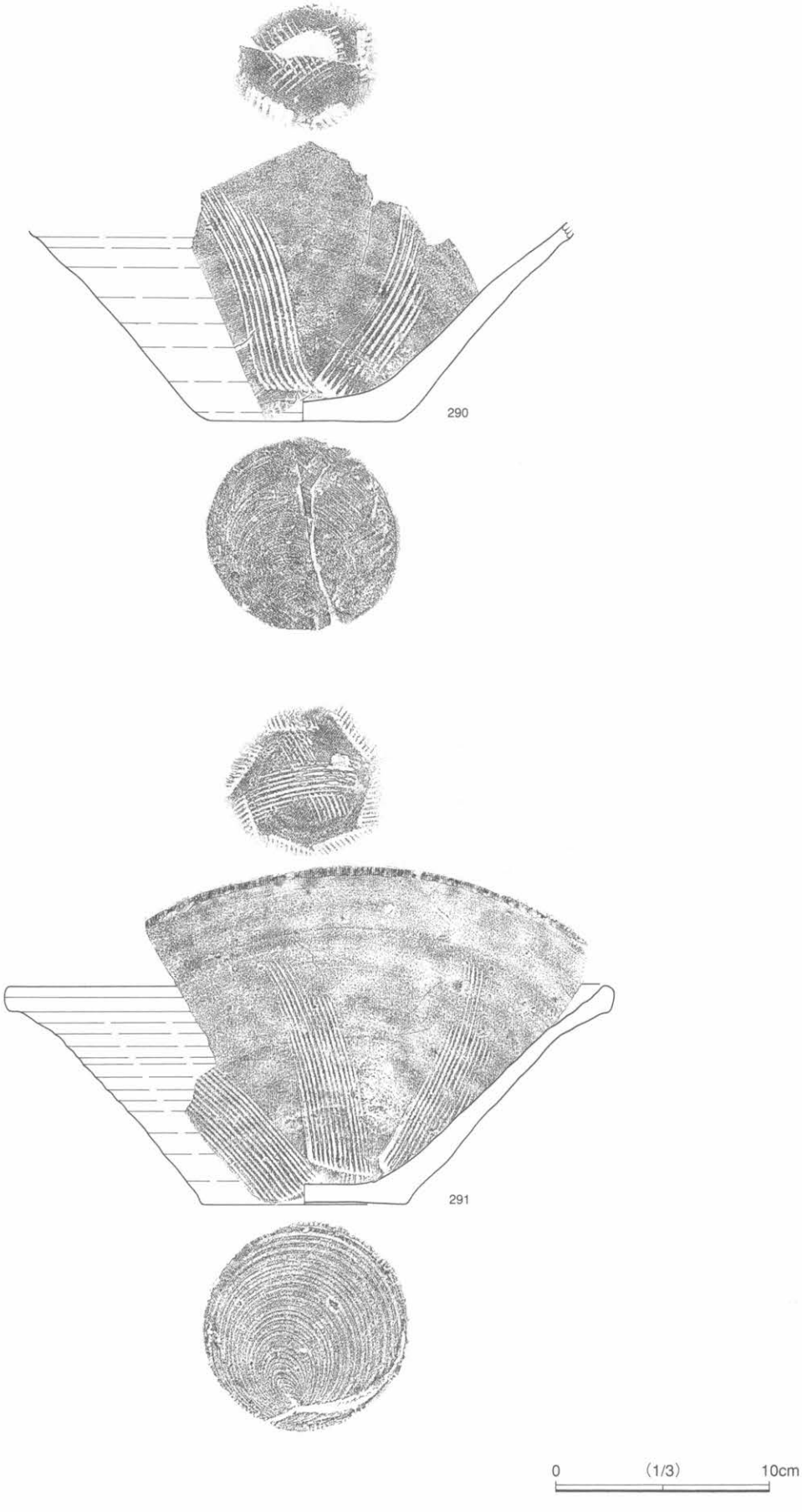
第96図　瀬戸・美濃　摺鉢（10）



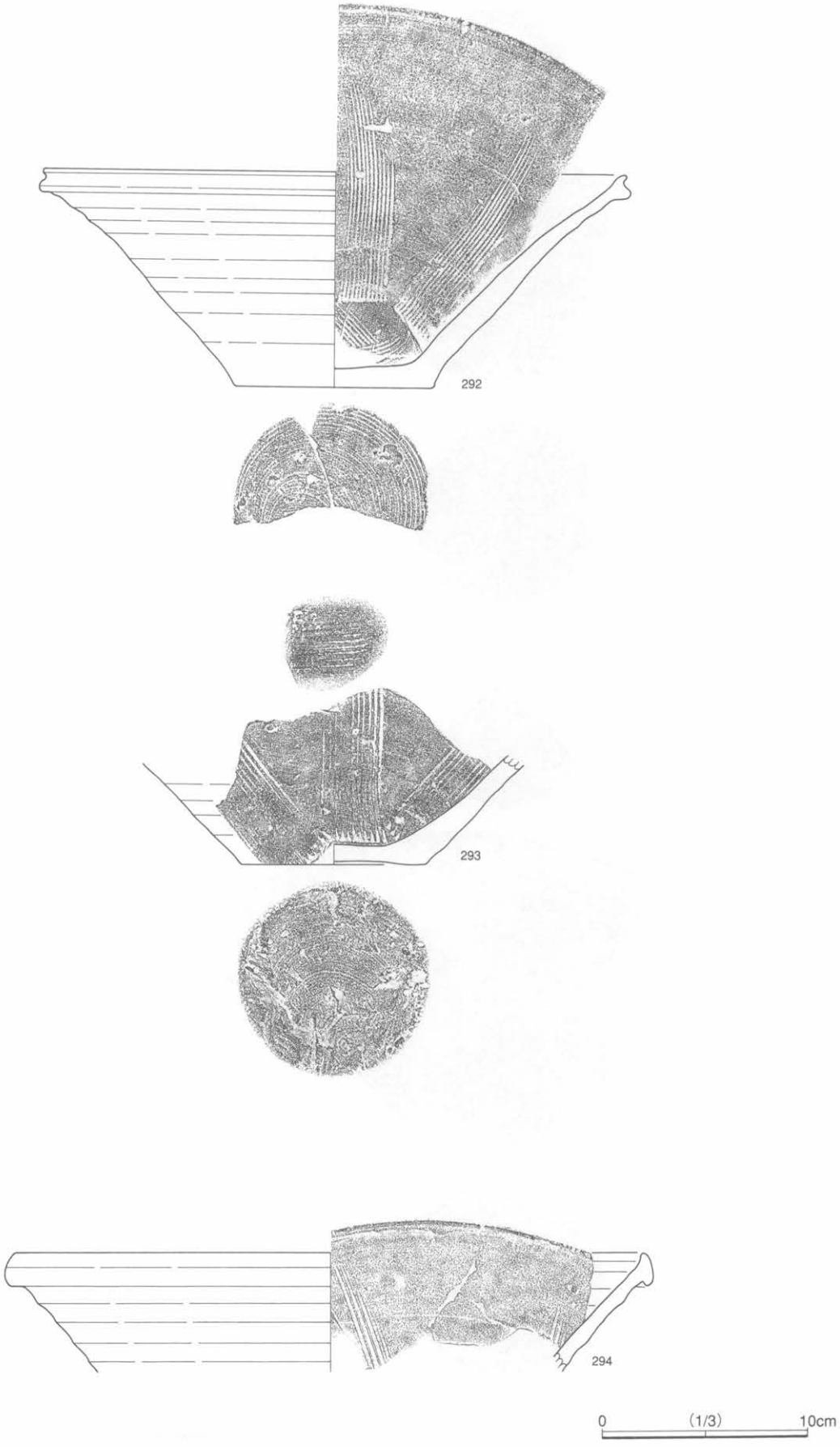
第97図　瀬戸・美濃　摺鉢（11）



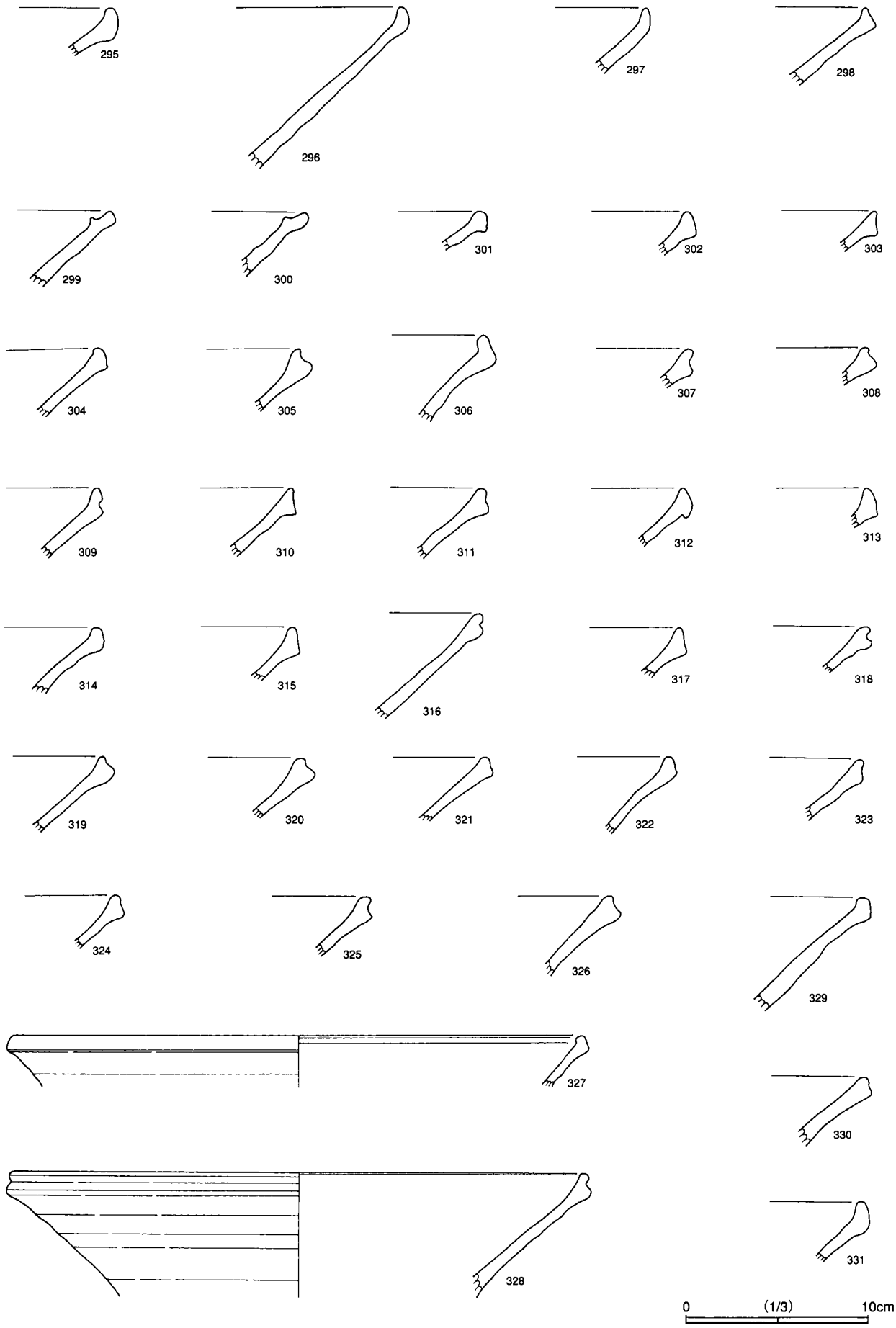
第98図　瀬戸・美濃　摺鉢（12）



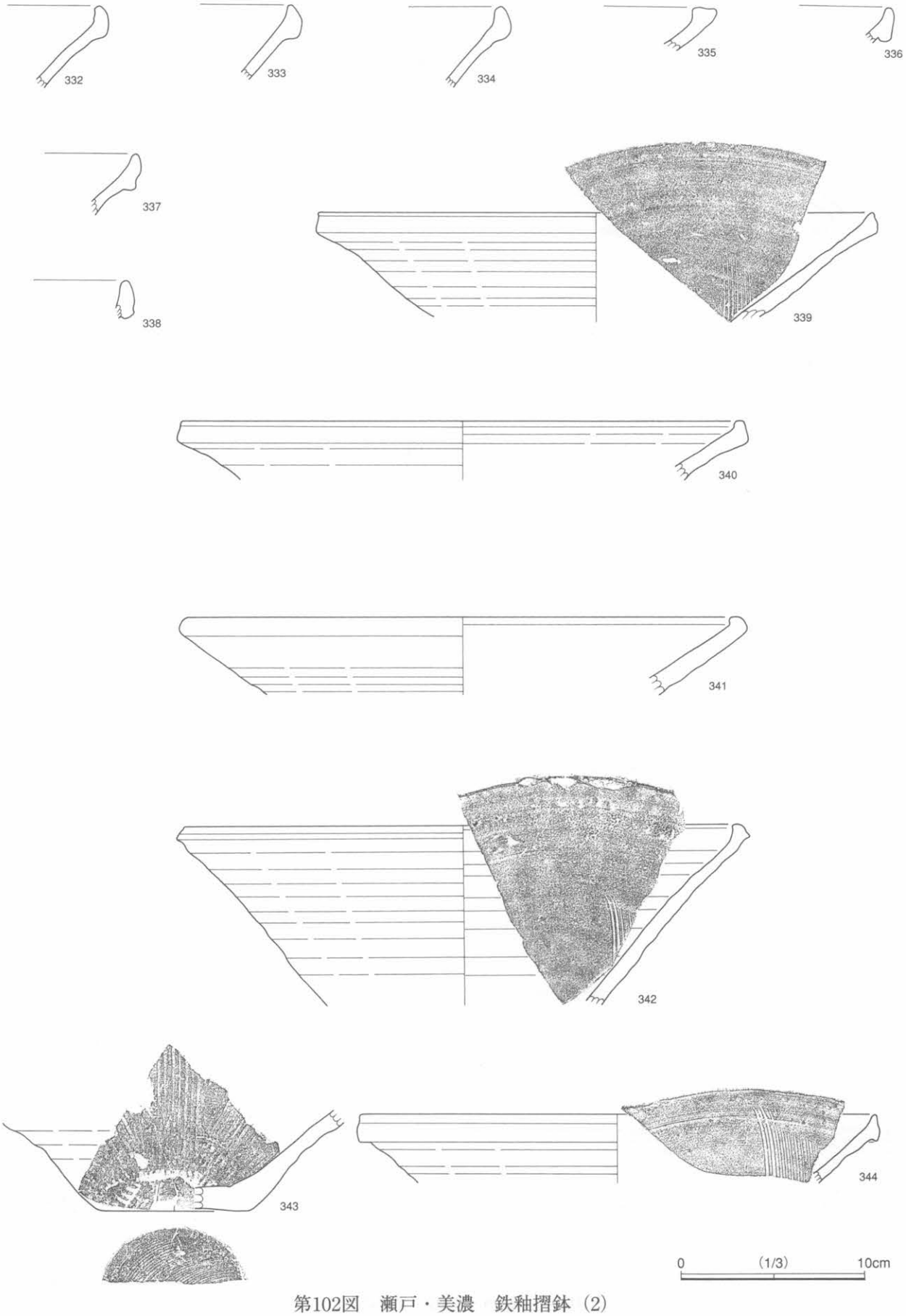
第99図　瀬戸・美濃　摺鉢（13）



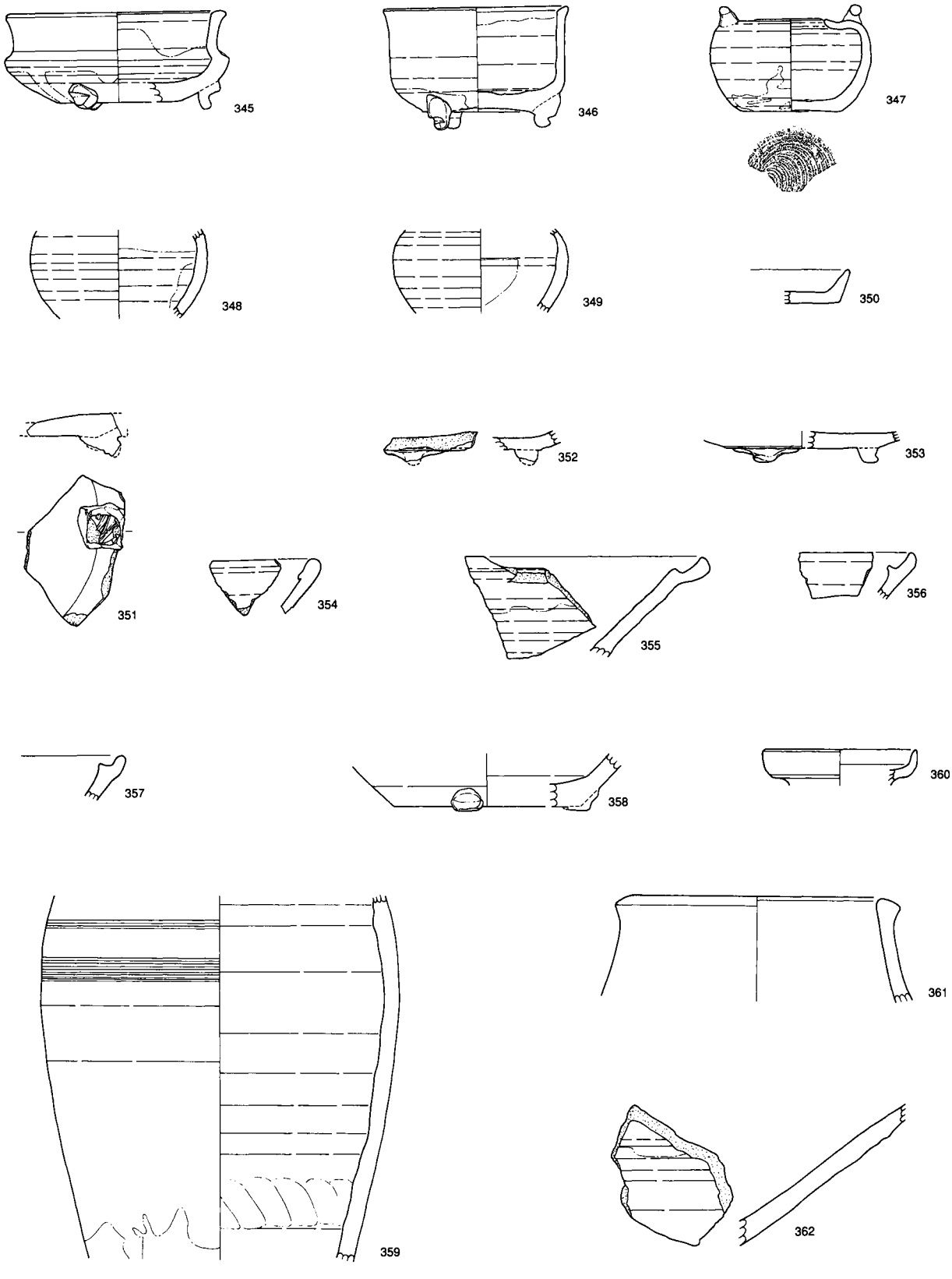
第100図　瀬戸・美濃　摺鉢（14）



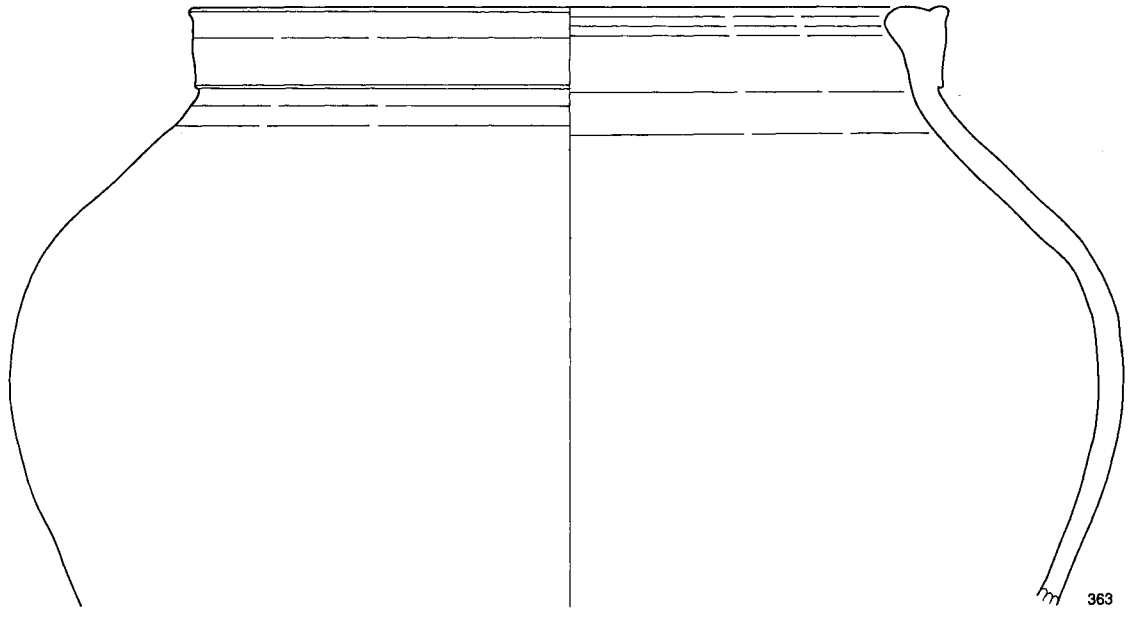
第101図　瀬戸・美濃　鉄釉摺鉢（1）

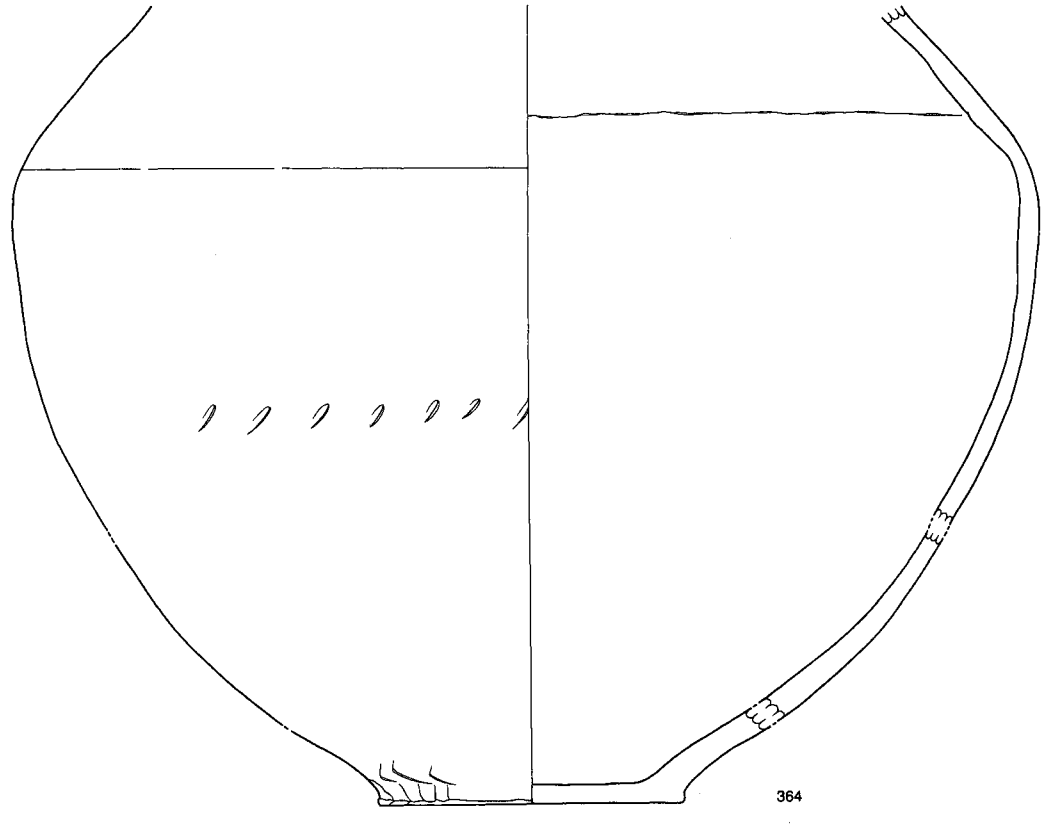


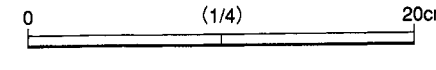
第102図　瀬戸・美濃　鉄釉摺鉢（2）



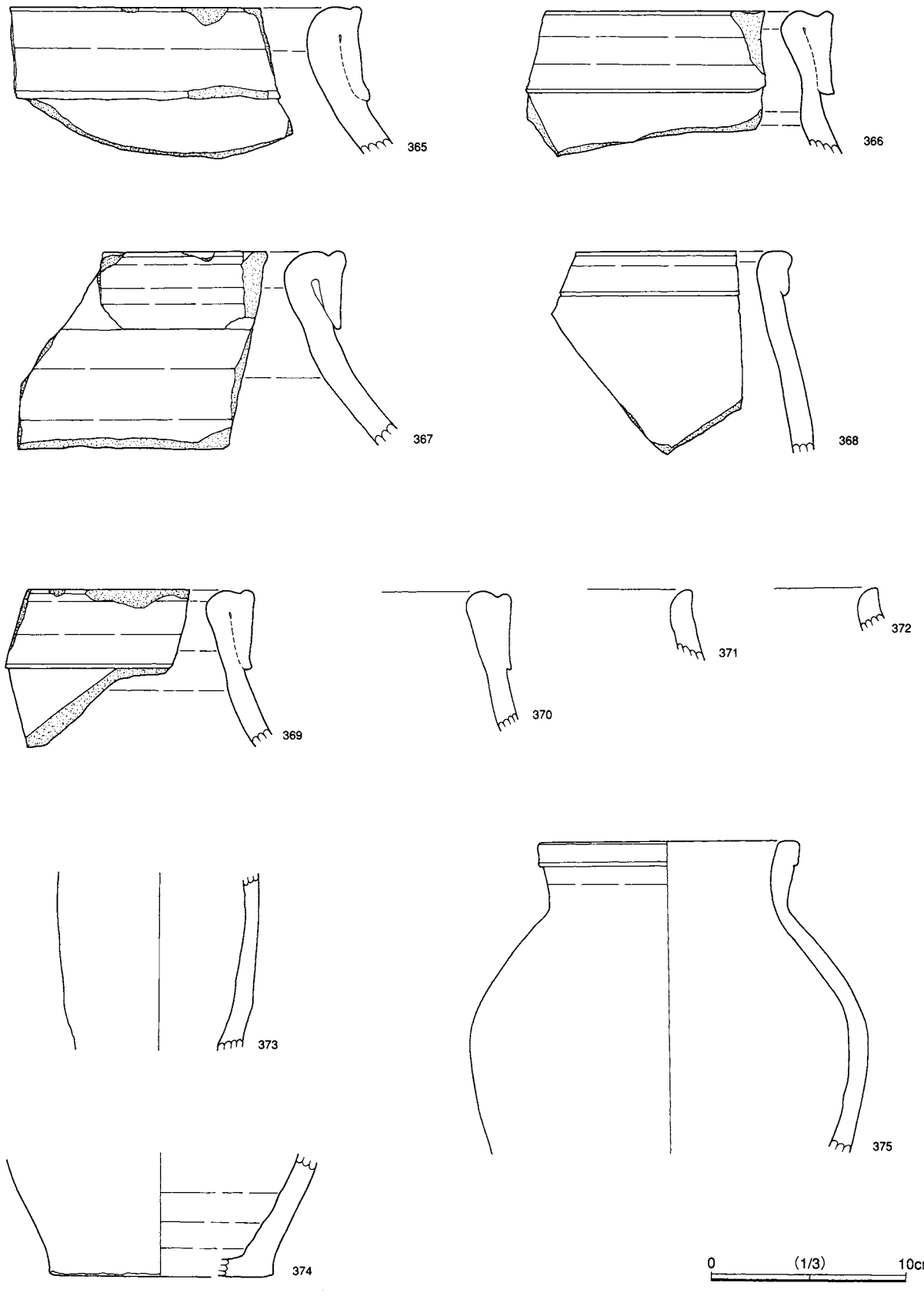
第103図　瀬戸・美濃　その他



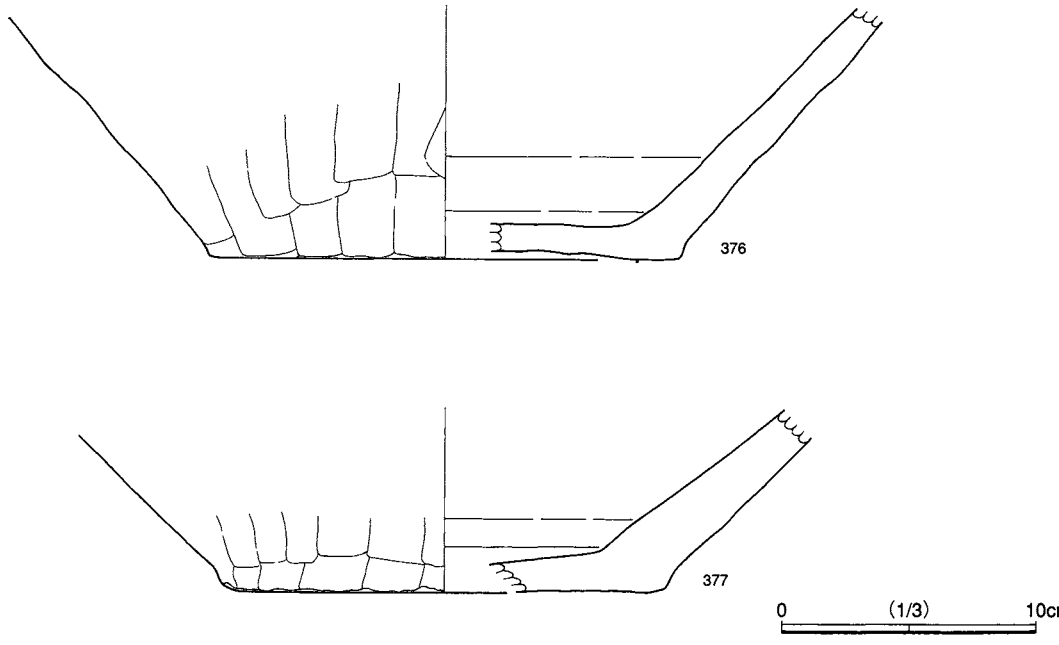


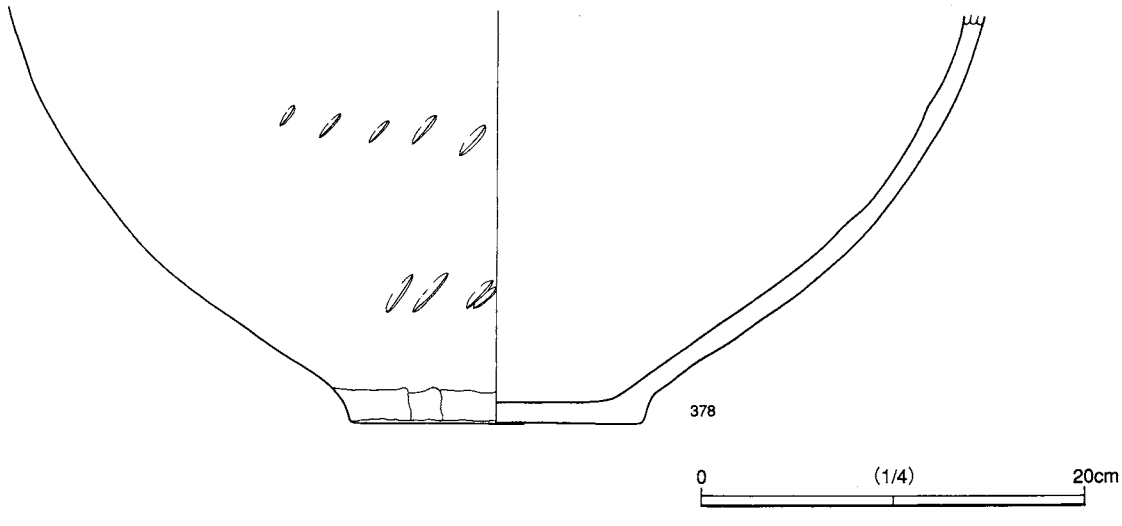


第104図　常滑　壺・甕（1）

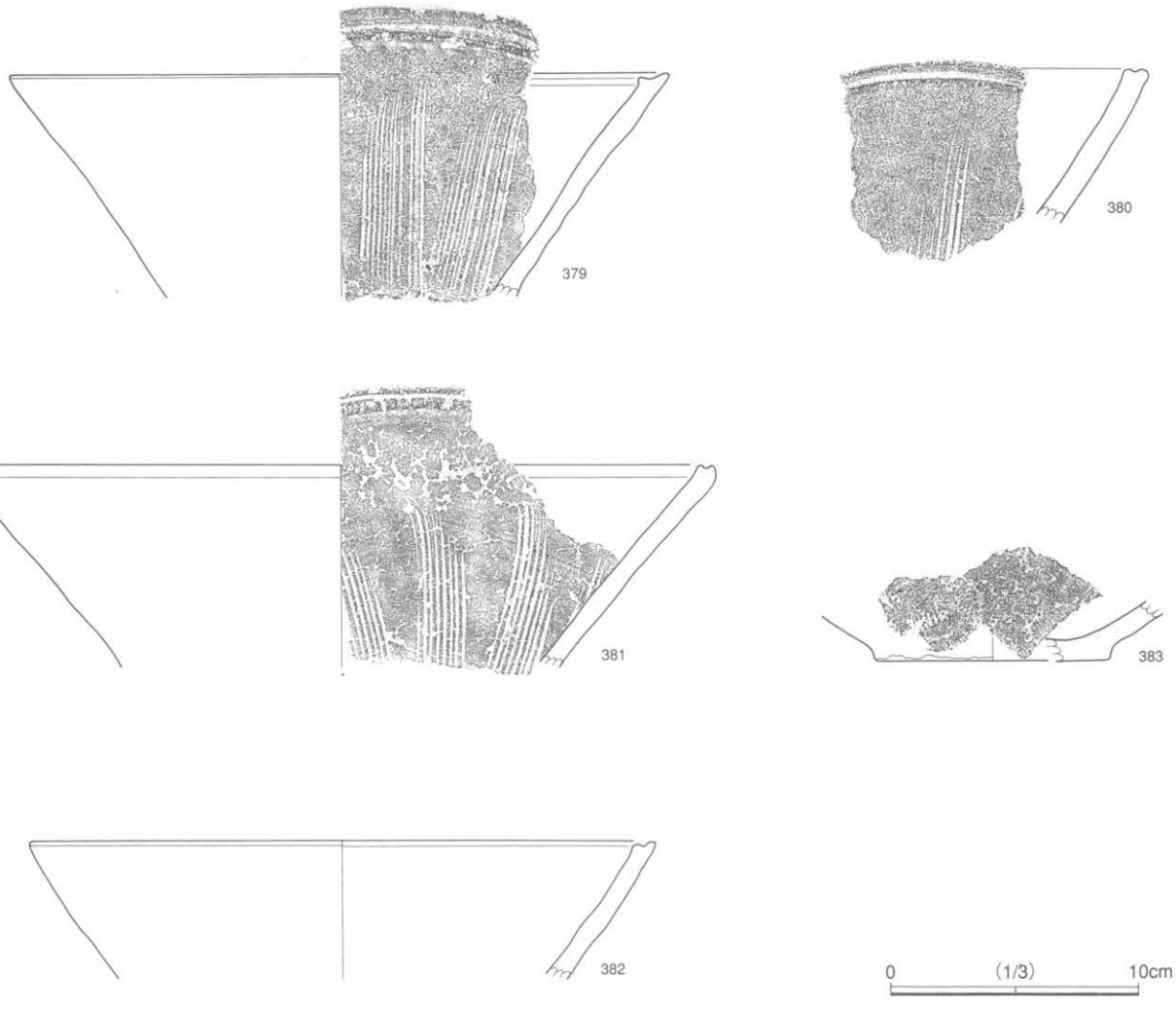


第105図　常滑　壺・甕（2）

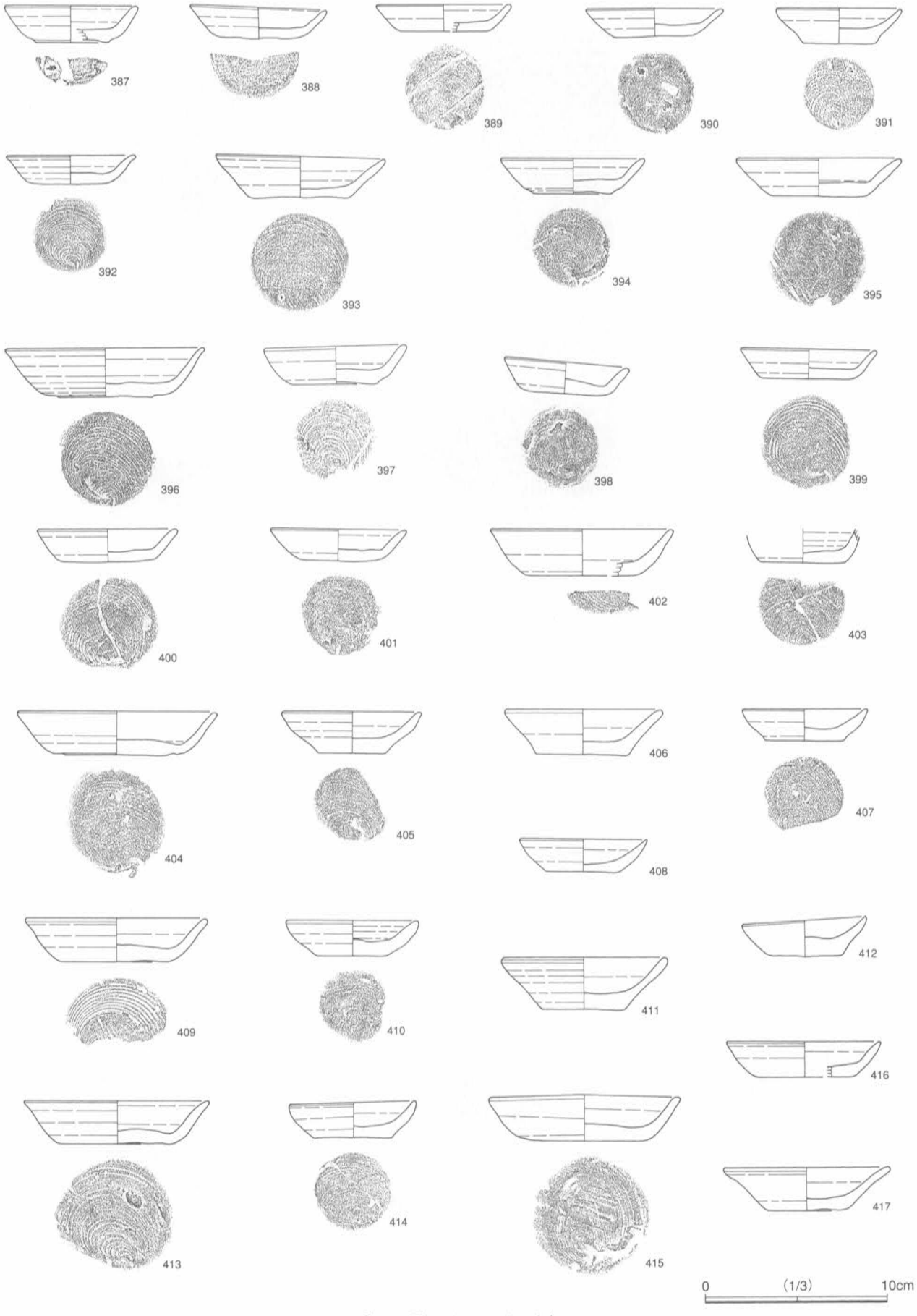




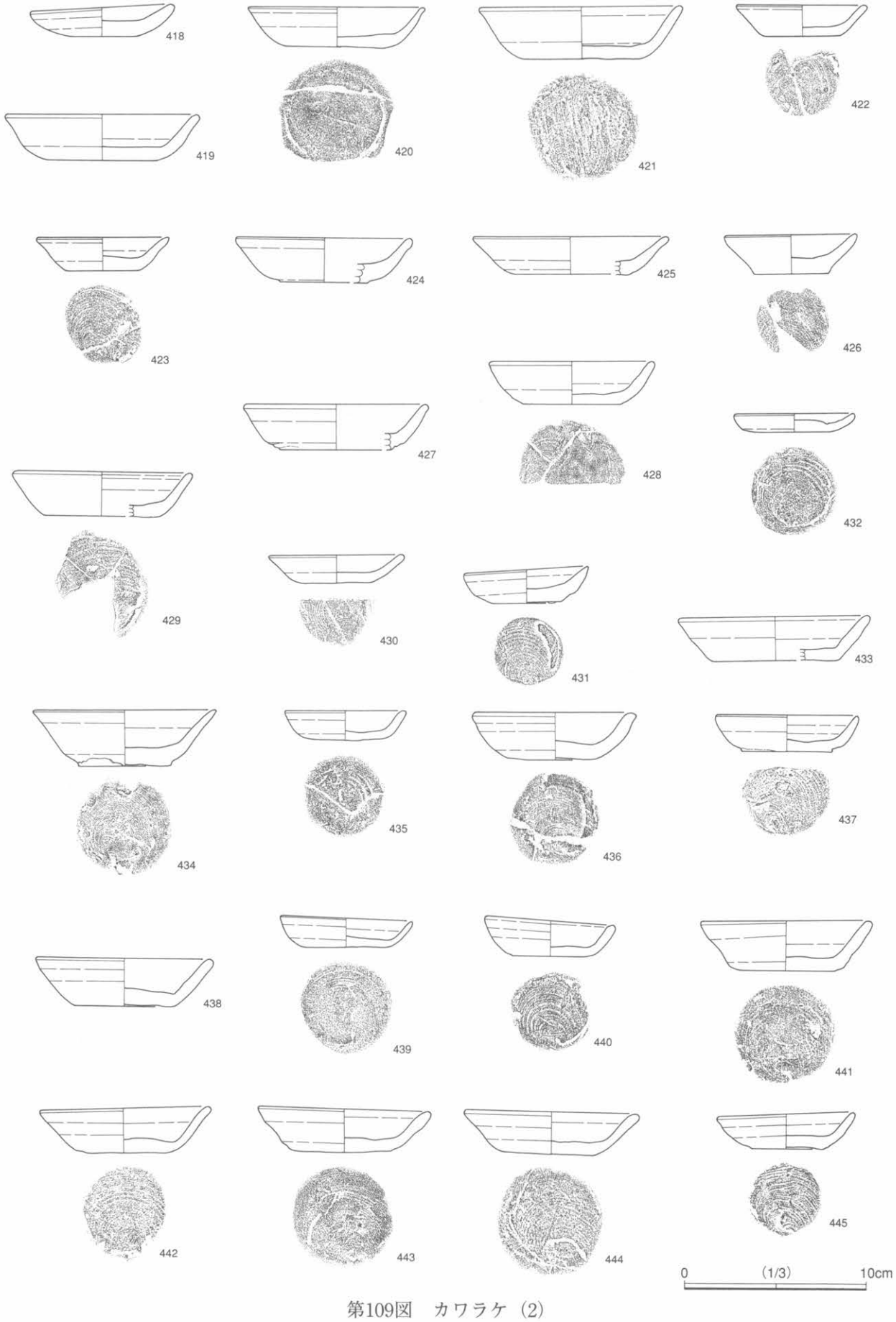
第106図　常滑　壺・甕（3）



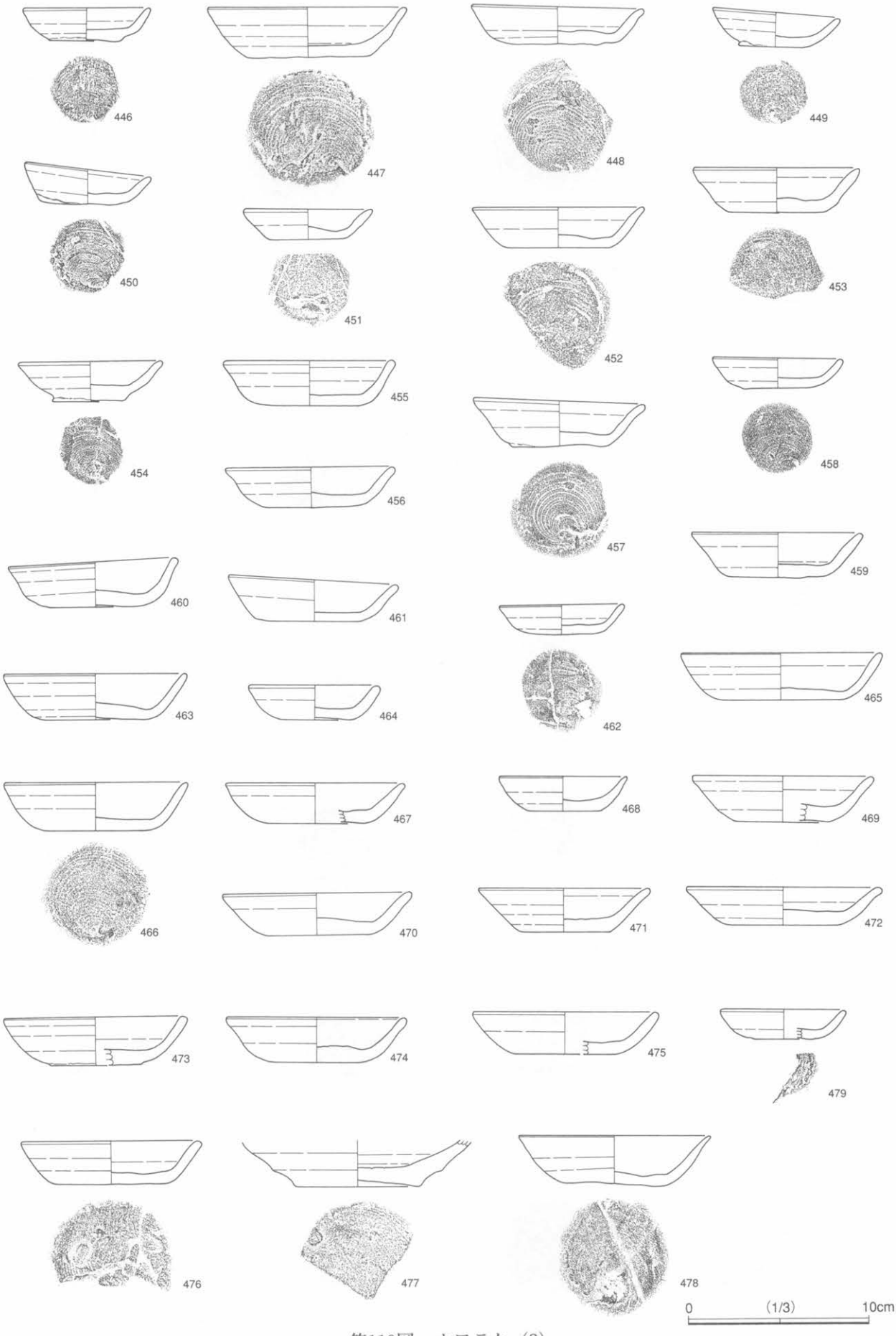
第107図　瓦質土器　摺鉢・その他


387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
0
(1/3)
10cm

第108図　カワラケ（1）

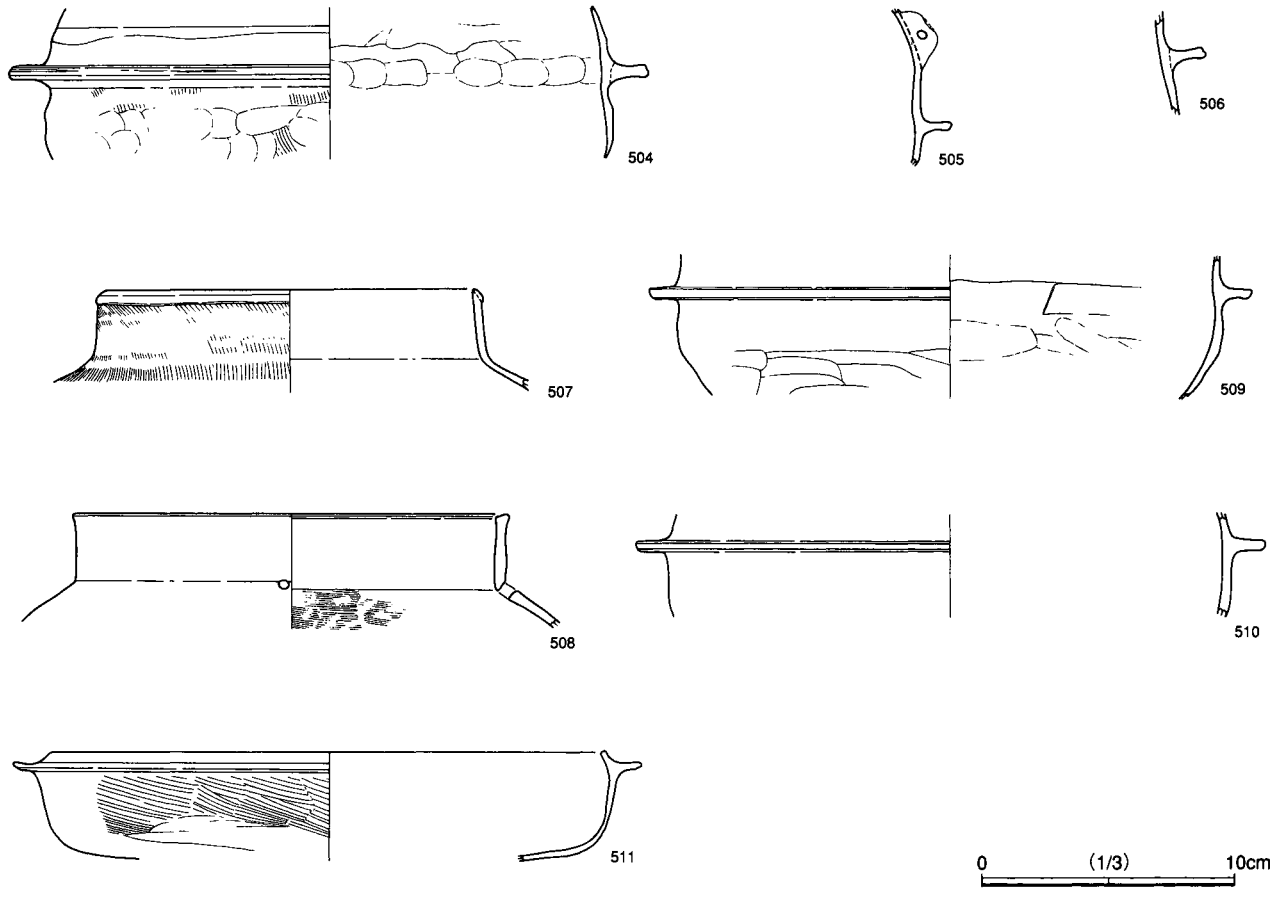

418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
0
(1/3)
10cm

第109図　カワラケ（2）

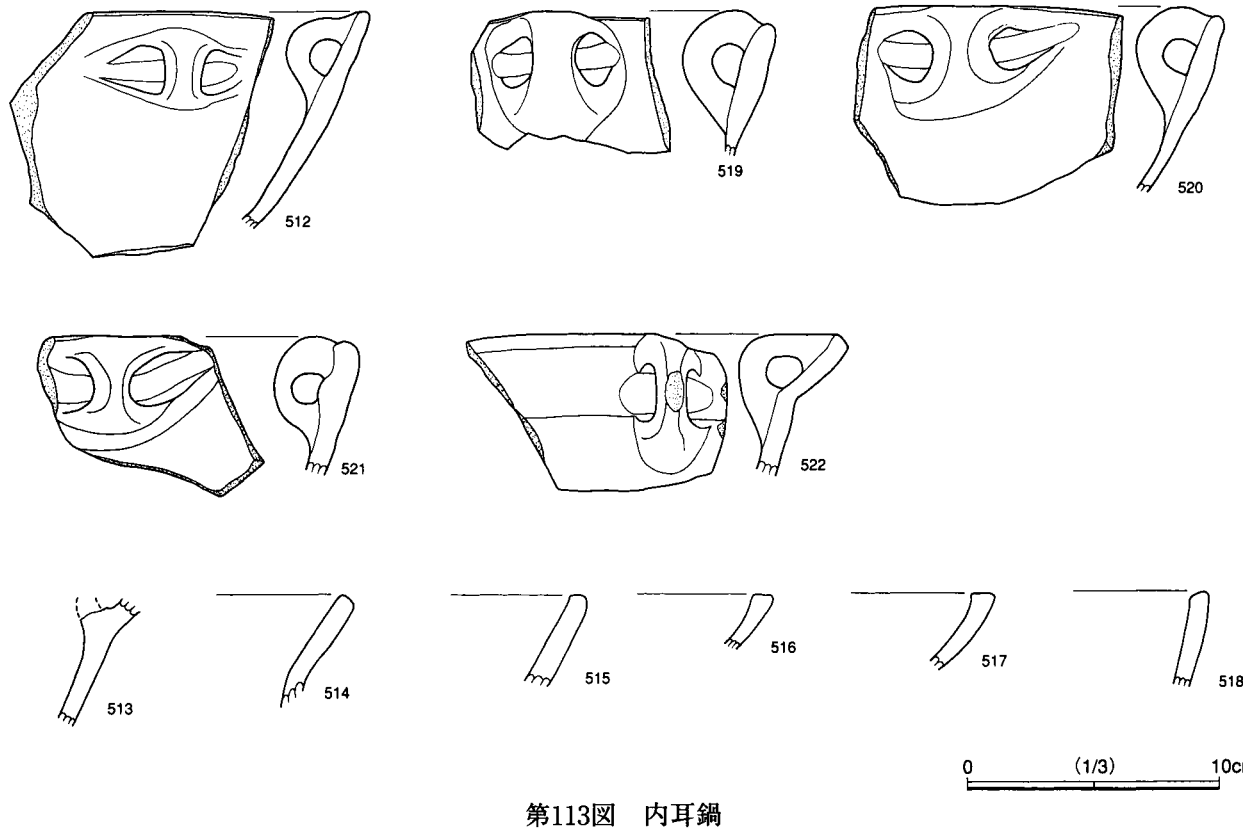

446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
479
476
477
478
0
(1/3)
10cm

第110図　カワラケ（3）

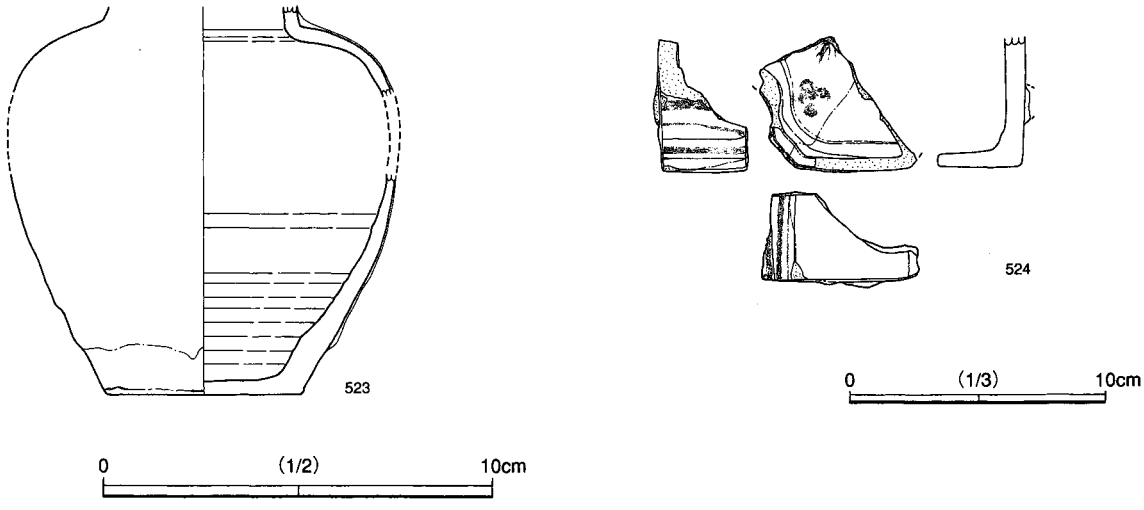
第111図　カワラケ・耳カワラケ（4）



第112図　東海系羽釜



第113図　内耳鍋



第114図　近世陶磁器　鉄釉小壺・織部向付

第8表　土器観察表（1）　掲載遺物（1）

※　帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期編年 カワラケは藤澤氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
72	1	中国褐釉茶入	褐釉茶入	茶入	6	6			1504	1			B	B		
	1				6	6	堀　G	16	1517	1						
	2	中国褐釉茶入	褐（鉄？）釉茶入	茶入	6	6			1566	2			B	B		
	3	中国天目茶碗	天目	碗	12	12			3	115			B	Ⅱ①直上一括		
	4	中国褐釉茶入	褐（鉄？）釉茶入	茶入	6	6			1585	3			B	B		
	5	瀬戸・美濃	その他	鉄釉小壺	8	8			1	4			A	Ⅰ上	古瀬戸後期	
73	6	白磁	皿		1	1				3					B群	
	7	白磁	皿	割り高台小皿	6	6	溝　18		24	1	2		A	中	B群	
	7				6	6	溝　18		9	1	2		A	中		
	7				6	6	溝　18		10	1	2		A	中		
	8	白磁	皿	端反皿	6	6	土坑　116		3	8			BC	Ⅰ	BC群　15C中頃	端反皿の古いタイプ
	9	白磁	皿		6	6			2132	2	3		B	B	B群	
	9				6	6			2529	2	3		A	A		
	9				6	6			2548	2	3		A	A		
	9				6	6			2779	2	3		A	A		
	10	白磁	皿		6	6			953	5			B	A下	B群	
	11	白磁	皿		6	6			1880	6	4		B	B	B群	
	11				6	6	土坑　76		3	6	4		B	Ⅰ		
	11				6	6			1381	6	4		B	B		
	12	白磁	皿		6	6			1683	7			C	C	B群	
	13	白磁	皿		8	8			573	7					B群	
73	14	白磁	皿		8	8			1291	8			D	D	B群	
73	15	白磁	皿		10	10			109	1	12		B	B	B群	
	15				10	10			58	1	12		B	B		
73	16	白磁	皿		10	10	土坑　1	1	14	2				B	B群	
73	17	白磁	皿		10	10			12	3				B	B群	
73	18	白磁	皿	割り高台小皿	12	12			80	1	14		B	Ⅱ（盛土）上層	B群	内面に2か所重ね焼きの跡が見られる
	18				12	6			899	1	14		B	A下		
73	19	白磁	皿	割り高台小皿	6	6	土坑　109		2	3			B	Ⅰ	B群	
73	20	白磁	皿	割り高台小皿	6	6	土坑　105		6	4			B	Ⅰ	B群	底部外面に墨記号あり
74	21	白磁	皿	割り高台小皿	8	8			1249	1	5		D	D	B群	
	21				8	8			146	1	5		B	Ⅱ		
	21				8	8	土坑　10		638	1	5		C			
	21				8	8	土坑　36		1006	1	5		D			
	21				8	8			1210	1	5		D	D		
74	22	白磁	皿	割り高台小皿	8	8			1511	2	9		D	D	B群	
	22				8	8	土坑　12b	10	617	2	9		C			
	22				8	8	土坑　12b	12	684	2	9		D			
74	23	白磁	皿	割り高台小皿	8	8			899	3	8		D	Ⅱ	B群	
	23				8	8			370	3	8		C	C直上		
	23				8	8			666	3	8		C	C直上		
	23				8	8			870	3	8		C	C直上		
	23				8	8			872	3	8		C	C直上		
74	24	白磁	皿	割り高台小皿	8	8			301	4	7		B	Ⅱ	B群	
	24				8	8	土坑　39		1011	4	7		D			
	24				8	8			1136	4	7		A			
	24				8	8			1137	4	7		D			
74	25	白磁	皿	割り高台小皿	8	8			1700	5			D	D下	B群	
74	26	白磁	皿	割り高台小皿	8	8			1329	6	10		D	上	B群	
	26				8	8			964	6	10		D	C下		
	26				8	8			987	6	10		D	C下		
	26				8	8			1542	6	10		D	D		
75	27	白磁	皿	割り高台小皿	14	14			195	1			A	A	B群	
75	28	白磁	皿	端反皿	1	1			1	1	1		A	Ⅰ	C1群	
	28				1	1			2	1	1		A	Ⅰ		
75	29	白磁	皿	端反皿	8	8			859	10	13		D	C下	C群・15世紀頃	口縁に鉄釉，15世紀中頃
	29				8	14			1	1	13		A	表土下部一括		
	29				8	14			27	1	13		B	B		
	29				8	14			212	1	13		A	A		
	29				8	14			225	1	13		A	A		
75	30	白磁	皿	端反皿	1	1			2	2	11		B	Ⅱ	C1群	端反皿の典型
	30				1	1			3	2	11		A	Ⅰ～Ⅱ		
75	31	白磁	袋物	袋物	6	6	溝　1		3	12			A	Ⅰ		青白磁，袋物だが不明
75	32	白磁	盃	高台付坏	8	8			1518	9	6		D	D	CB群　15～16C前	底部外面に朱書きあり
	32				8	8			24	9	6		B	Ⅱ中		
	32				8	8			971	9	6		D	C下		
	32				8	8			1164	9	6		D	D直上		
	32				8	8			1165	9	6		D	D直上		
75	33	白磁	盃		4	4			69	1			A	A	B群	
75	34	白磁	皿	端反皿	6	6			2864	9			B	B	BC群　15C中頃	端反皿の古いタイプ
75	35	白磁	皿	端反皿	6	6			6	10			A	Ⅰ	BC群　15C中頃	端反皿の古いタイプ

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	(本/cm)	外面	内面			外面	内面	断面
1	60	胴下部から底部を欠損	2.3	-	4.2				とても緻密	普通	褐色	褐色	褐色
1	15\17												
2	25	口辺部のみ残存	(2.6)	-	1.0				とても緻密	普通	内外面釉部は黒褐色	無釉部は暗灰色	暗灰色
3	-	破片	–	–	–		回転へら削り		差粒を含む	良好	暗灰褐色	釉	暗灰褐色
4	30	胴以下残存	-	(2.6)	2.6		底部回転糸切り		とても緻密	普通	釉部は黒褐色	内外面とも無釉部は褐色（小豆色）	褐色（小豆色）
5	20	肩部残存	-	-	1.2				砂粒を少量含む	普通		内外面とも暗褐色～褐色	淡褐色
6		底部片							密	普通	内外面白色		淡褐色
7	50		(8.6)	4.6	2.0				密	良	内外面白色		白色
7													
7													
8	-	口縁部片	–	–	–				密	普通	内外面青白色		白色
9	25		(9.0)	-	1.4				密	普通	内外面釉部は乳白色，露胎部は淡褐色		淡褐色
9													
9													
9													
10	-	口縁部片	–	–	–				密	普通	内外面乳白色		淡褐色
11	-	口縁部片	–	–	–				密	普通	内外面白褐色		淡褐色
11													
11													
12	-	口縁部片	–	–	–				密	普通	内外面釉部は白色，露胎部は淡褐色		白褐色～淡褐色
13	-	口縁部片	–	–	–				密	普通	釉部白色，露胎部は白褐色		白色
14	-	口縁部片	–	–	–				淡褐色，密	普通	内外面とも乳白色		淡褐色
15	20	口縁部片	(9.0)	-	1.5				密	普通	内外面とも乳白色		白褐色
15													
16	-	口縁部片	–	–	–				密	普通	内外面とも白色		白色
17	-	口縁部片	–	–	–				密	普通	内外面とも白色		白色
18	40		-	4.0	1.6			底部は回転ヘラけずり	密	普通	内外面釉部は黄白色，露胎部は淡褐色		淡褐色
18													
19	-	底部片	-	4.0	1.4				密	普通	内外面釉部は乳白色～薄肌色，露胎部は淡褐色～薄肌色		白褐色～淡褐色
20	-	底部片	-	4.4	1.6		回転へら削り		密	普通	内外面釉部は灰白色～乳白色，露胎部は黒褐色		淡褐色
21	80		11.7	4.2	2.2		回転へら削り		白色で密	普通	内外面釉部は乳白色，露胎部は白褐色		白色
21													
21													
21													
21													
22	50		(11.6)	4.2	2.3		回転へラ削り		白色で密	普通	内外面とも白色，露胎部は白褐色		白色
22													
22													
23	40		(8.8)	(4.2)	2.4		回転へラ削り		白色で密	普通	内外面とも底部は淡桃色～赤褐色		白色～赤褐色
23													
23													
23													
23													
24	40		(9.6)	3.5	2.7		回転へラ削り		白色で密	普通	内外面とも釉部・露胎部は白色		白色
24													
24													
24													
25	25		(9.4)	(4.2)	2.2		回転へラ削り		白色で密	普通	内外面釉部は乳白色，露胎部は黒色		白色
26	25		(8.6)	(4.4)	2.0		回転へラ削り		白色で密	普通	内外面とも釉部は白色，露胎部は黒褐色～淡褐色		白褐色
26													
26													
26													
27	20		-	(4.4)	1.0				密	普通	内外面とも釉部は白色，		白色～淡褐色～黒褐色
28	-		-	4.1	1.3				密	普通	内外面白色		白色
28													
29	30	底部欠損	(19.6)	–	2.6				密	普通	口唇部のみ褐色，あとは内外面とも白色		白褐色
29													
29													
29													
29													
30	-	破片	–	–	–				密	普通	内外面白色		白色
30													
31	-	体部片	–	–	–				密	普通	青白色	薄水色	白色
32	45	底部欠損	(7.4)	-	3.1				白～白褐色で密	普通	内外面ともやや青みがかった白色		白～白褐色
32													
32													
32													
32													
33	60	底部片	-	3.8	1.1		外面回転ヘラ削り？		密	普通	淡褐色～黒褐色	黄白色	淡褐色
34	-	口縁部片	–	–	–				密	普通	内外面青白色		白色
35	-	口縁部片	–	–	–				密	普通	口唇部のみ黒褐色，内外面青白色		白色

土器観察表（1）　掲載遺物（2）

※　帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	※接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期編年 カワラケは藤瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
75	36	白磁	皿	端反皿	6	6	ピット 17		1	13			BC	I	B群	
75	37	白磁	盃		6	6			6	18						
75	38	白磁	皿		6	6			3294	19					B群	
75	39	白磁	皿		6	6			1099	20					C1群	
75	40	白磁	皿		7	7			507	1			B	B	B群	
75	41	白磁	皿		7	7	堀 D	堀A	266	2				上	B群	
75	42	白磁	皿	端反皿	7	7			502	3			B	B	C1群	
75	43	白磁	皿	端反皿	7	7			144	4					C群	
75	44	白磁	盃		6	6			65	16					B群	八角形に面取りした盃，貫入が入っている
75	45	白磁	盃		6	6			878	17						畳胎部に赤の印あり
76	46	青磁	皿	稜花皿	6	6			2965	13	4		C	C		
	46				6	6			820	13	4		B	A下		
	46				6	6			2855	13	4		B	B		
76	47	青磁	皿	稜花皿	6	6			922	14	3		B	A下		
	47				6	6			253	14	3		A	A直上		
	47				6	6			871	14	3		B	A下		
76	48	青磁	皿	稜花皿	6	6			2230	19	18		B	B		
	48				6	6			276	19	18		A	A直上		
76	49	青磁	皿	稜花皿	6	6			1461	20	1		B	B		
	49				6	6	堀 F	14	108	20	1		A	A直上		
	49				6	6	堀 F	14	166	20	1		A	A直上		
	49				6	6	堀 F	14	181	20	1		A	A直上		
	49				6	6	堀 F	14	364	20	1		A	A直上		
	49				6	6			1003	20	1		A	A		
	49				6	6			1083	20	1		B	B		
	49				6	6			1403	20	1		B	B		
76	50	青磁	皿		8	8			825	1	10		D	C下		
	50				8	8			366	1	10		C	C直上		
	50				8	8			367	1	10		C	C直上		
	50				8	8			649	1	10		D			
76	51	青磁	皿	稜花皿	8	8			949	3	13		D	D直上		
	51				8	8			899	3	13		D	II		
	51				8	8			921	3	13		D	C下		
76	52	青磁	皿	稜花皿	8	8	堀 L	D	2	2						
76	53	青磁	盤		6	6			12	24	8		A	I	15世紀頃	盤の小さい物
	53				6	6			432	24	8		A	A直上		
	53				6	6			647	24	8		A	A直上		
76	54	青磁	皿	端折（稜花）皿	1	1			3	2			A	I		
76	55	青磁	皿	端反皿	1	1			1	1			A	I		
76	56	青磁	皿	端反皿	6	6			1278	1			B	A下		碗C2類に伴う折縁III
76	57	青磁	皿	端反皿	6	6			1762	2	5		C	C		
	57				6	6	堀 F	14	39	2	5		A	A直上		
	57				6	6			1759	2	5		C	C		
	57				6	6	ピット 30		1	2	6		BC	I		
	57				6	6			1739	2	6		B	B		
	57				6	6			1773	2	6		BC	B		
	57				6	6			2384	2	6		BC	B		
76	58	青磁	皿	端反皿	14	14			6	1			A	A		
76	59	青磁	皿	内湾系	6	6	堀 F	14	172	26			A	A直上		
76	60	青磁	皿	内湾系	6	6			731	30			A	A直上		
76	61	青磁	皿	稜花皿	6	6	堀 F	14	136	3			A	A直上		
76	62	青磁	皿	稜花皿	6	6			2850	4	7		B	B		
	62				6	6			334	4	7		A	A直上		
	62				6	6			901	4	7		B	A下		
	62				6	6			1276	4	7		B	A下		
	62				6	6	土坑 112		1846	4	7		BC	覆土		
	62				6	6			2800	4	7		B	B		
76	63	青磁	皿	稜花皿	6	6	土坑 216		1	5	2		C	I		2次焼成？
	63				6	6	堀 F	14	149	5	2		A	A直上		
76	64	青磁	皿	稜花皿	6	6			379	6			A	A直上		
76	65	青磁	皿	稜花皿	6	6			1864	7	21		C	C		
	65				6	12			36	7	21			盛土上層		
76	66	青磁	皿	稜花皿	6	6	堀 G	16	98	8	22		B	A下		

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
36	-	口縁部片	-	-	-				密	普通	内外面やや灰色っぽい白色		白色
37	-	口縁部片	-	-	-				密	普通	内外面とも乳白色		乳白色
38	-	口縁部片	-	-	-				密	普通	内外面釉部は乳白色，外面露胎部は淡褐色		淡褐色～白褐色
39	-	底部片	-	-	-				密	普通	内外面釉部は白色		露胎部は灰白色～白褐色
40	-	口縁部片	-	-	-				密	普通	内外面とも乳白色		淡褐色
41	-	口縁部片	-	-	-				密	普通	内外面とも乳白色		淡褐色
42	25	底部片	-	(7.8)	1.5				白色で密	普通	内外面とも釉部は白色，露胎部は灰褐色		白色
43	-	口縁部片	-	-	-				密	普通	内外面白色		白色
44	-	底部残存	-	3.6	2.4				密	普通	内外面釉部は白色～白褐色（内面やや赤味かかる），露胎部は淡褐色		淡褐色～淡赤褐色
45	-	底部残存	-	3.7	1.3				密	普通	内外面釉部は白色から白褐色，露胎部は淡褐色		淡褐色
46	30	底部	-	5.2	1.5				密	普通	内外釉部は灰緑色，露胎部は褐色～灰色		灰色～灰褐色
46													
46													
47	-	破片	-	-	-				乳白色の微細粒を含む	普通	内外面とも灰緑色		灰色
47													
47													
48	破片								砂粒を少量含む	普通	内外面勇武は褐色		明褐色
48													
49	20		(11.6)	-	2.4				乳白色の微細粒を含む	普通	内外面とも灰緑色（透明感のある釉）		灰色
49													
49													
49													
49													
49													
49													
49													
50	30		(10.0)	(5.2)	3.0				密	普通	内外面とも暗灰緑色，露胎部暗灰色		灰色
50													
50													
50	-			4.8	1.6								
51	15		(11.2)	-	1.8				乳白色の微細粒を少量含む	普通	内外面とも灰緑色		灰色
51													
51													
52	-		12.6	-	1.9				乳灰色の微細粒を含む	普通	内外面とも暗灰緑色		暗灰色
53	50			(4.8)	1.6				密，乳白色の微細粒を含む	普通	内外面とも釉部はくすんだ黄緑色		灰色～灰褐色
53													
53													
54	-	破片	-	-	-				乳白色の微細粒を含む	普通	灰緑青色	灰緑青色	灰白褐色
55	-	破片	-	-	-				乳白色の微細粒を少量含む	普通	灰緑色	灰緑色	灰色
56	30		(11.4)	(5.4)	3.2		施釉前に沈線で連弁文を描く，高台部には施釉なし	双魚文（スタンプ？）あり	密	良	青緑～灰緑色	高台内部は灰褐色～褐色	灰色
57	30		(13.4)	(6.4)	3.0				密	普通	灰緑色	灰緑色，高台部露胎部は灰色	灰色～黒褐色
57													
57													
57													
57													
57													
57													
58	-	破片	-	-	-				砂粒を少量含む	普通	内外面とも暗黄緑色		淡褐色
59	-	破片	-	-	-				密，乳白色の微細粒を含む	普通	内外面とも釉部は青緑色		灰色
60	-	破片	-	-	-				密	普通	灰緑青色		灰褐色
61	-	70	(13.0)	6.0	3.0		高台部は欠損しており，釉の厚さは確認出来ない	高台内部まで施釉	白色微細粒を含む，砂を少量含む	普通	暗灰緑色	暗灰緑色，高台部は部分的に暗褐色	暗灰色
62	60		(13.4)	5.3	2.9		砂粒		砂粒を僅かに含む	普通	内外面釉部はやや暗い水色，黄ばんだ部分あり	露胎部は暗褐色	灰色
62													
62													
62													
62													
62													
63	20		(14.0)	-	2.5				乳白色の微細粒を含む	普通	内外面は暗灰緑色		灰色～暗灰色
63													
64	-	破片	-	-	-				乳白色の微細粒を含む	普通	内外面とも灰緑色		灰色
65	-		(11.6)	-	(2.5)				乳白色の微細粒を含む	普通	内外面とも灰緑色		灰色
65													
66	-		(12.6)	-	(2.3)				乳白色の微細粒を含む	普通	内外面とも灰青色		灰色

土器観察表（1）　掲載遺物（3）

※ 帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期編年 カワラケは篠瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
77	67	青磁	皿	稜花皿	6	6			866	9	22		B	A下		
77	68	青磁	皿	稜花皿	6	6			2109	10	22		B	B		
77	69	青磁	皿	稜花皿	6	6	溝 113		2	11	22		BC	I		
77	70	青磁	皿	稜花皿	6	6			8	12	22		A	I		
77	71	青磁	皿	稜花皿	6	6			1378	16	20		B	B		
	71				6	6	堀 G	16	20	16	20		A	I		
77	72	青磁	皿	稜花皿	6	6			2903	18	14		A	A		
77	73	青磁	皿	稜花皿	6	6	堀 G	16	227	15	20		A	A直上		
77	74	青磁	皿	稜花皿	6	6			1889	17	14		B	B		
77	75	青磁	皿	稜花皿	6	6	堀 G	16	218	22			A	A直上		
77	76	青磁	皿	稜花皿	6	6	土坑 130		28	23			BC	A直上		
77	77	青磁	皿	稜花皿	7	7			349	1	9		B	B		
	77				7	7	堀 D	堀A	472	1	9		A	A上		
77	78	青磁	皿	稜花皿	8	8			2	4			A	I下		
77	79	青磁	皿	稜花皿	8	8			1	5			A	I上		
77	80	青磁	皿	稜花皿	8	8			586	6			B	II③		
77	81	青磁	皿	稜花皿	12	12			4	1	17		B	II最上面一括		内外面とも器面ケロイド状，釉が未溶か？，2次焼成か？
	81				12	12			37	1	17			盛土上層		
	81				12	12			39	1	17			盛土上層		
77	82	青磁	皿	稜花皿	12	12			60	2	11		B	II（盛土）上層		
	82				12	12				2	11		A	I①一括		
77	83	青磁	皿	稜花皿	12	12			33	3	12			盛土上層		
	83				12	12			31	3	12			盛土上層		
77	84	青磁	皿	稜花皿	12	12			63	4			B	II（盛土）上層		
77	85	青磁	皿	稜花皿	14	14			158	2			A	A		内面に文様あり，酸化の強い焔で焼成か？
77	86	青磁	盤	折縁盤	6	6	土坑 102		2	29			B	I		盤折縁
77	87	青磁	盤	折縁盤	6	6			2233	28	19		B	B	15世紀	
	87				6	6			2207	28	19		B	B		
77	88	青磁	碗		7	7			303	25	8				B 4	
77	88				7	7			304	25						
77	89	青磁	碗		11	11	堀 O	堀A	117	1				上	B 4	
77	90	青磁	碗		7	7			54	2	24		A	A直上	B 3	
	90				7	7	堀 D	堀A	216	2	24			下		
77	91	青磁	碗		6	6	土坑 242		1	21			BC	A直上	C 2	口縁に雷文あり
78	92	染付	皿	端反皿	6	6			864	12	4		B	A下	B 1	
	92				6	6			6	12	4		A	I		
78	93	染付	皿	端反皿	6	6			412	14	8		A	A直上	B 1	
	93				6	6			47	14	8		A	A直上		
	93				6	6			49	14	8		A	A直上		
78	94	染付	皿	端反皿	6	6	堀 F	14	199	15			A	A直上	B 1	
78	95	染付	皿	端反皿	6	6	堀 F	14	163	16			A	A直上	B 1	
78	96	染付	皿	端反皿	6	6			2980	17	15		B	B	B 1	高台の外面にゴマ粒状の付着物が見られる
	96				6	6			1021	17	15		A	A		
78	97	染付	皿	端反皿	6	6			2981	18	7		C	C	B 1	
	97				6	6			2050	18	7		B	B		
78	98	染付	皿	高台付	6	6			927	29			B	A下	E群	
78	99	染付	皿	分類名なし	6	6			1199	4			B	B	C群	
78	100	染付	皿	分類名なし	6	6			2517	6	14		C	C	C群	
	100				6	6			341	6	14		A	A直上		
78	101	染付	皿		6	6	土坑 42		1	22	5		A	I	B 1	唐草文？
	101				6	6			2143	22	5		B	B		
78	102	染付	皿		6	6			1621	23			B	B	B 1	唐草文
78	103	染付	皿		6	6			71	24	13		A	A直上	B 1	唐草文
	103				6	6	堀 G	16	1514	24	13		A			
78	104	染付	皿		6	6	堀 F	14	152	25			A	A直上	B 1	唐草文

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
67	-	破片	-	-	-				乳白色の微細粒を含む	普通	内外面とも灰青色		灰色
68	-	破片	-	-	-				乳白色の微細粒を含む	普通	内外面とも灰青色		灰褐色
69	-	破片	-	-	-				乳白色の微細粒を含む	普通	内外面とも灰青色		灰色
70	-	破片	-	-	-				乳白色の微細粒を含む	普通	内外面とも灰青色		灰褐色
71	-	破片	-	-	-				砂粒を少量含む	普通	灰緑色		灰色～黒褐色
71													
72	-	破片	-	-	-				乳白色の微細粒を含む	普通	明るめの灰緑色		灰色
73	-	破片	-	-	-				砂粒？を少量含む	普通	内外釉部は灰緑色，露胎部は明褐色		灰色～灰褐色
74	30		-	5.0	1.2		薄，		砂粒を少量含む	普通	内外面勇武はくすんだ灰緑色，露胎部は黒褐色（鉄釉色）		黒褐色～暗灰色～灰色
75	底部の80	底部片	-	(6.9)	1.7				乳白色の微細粒を少量含む	普通	内外面釉部は灰緑色，無釉部は暗灰褐色		暗灰色
76	底部の60	破片	-	(6.2)	1.3				乳白色の微細粒を含む	普通	内外面釉部は灰緑色	無釉部は暗青灰色	灰色
77	-	底部片	-	-	-		高台部にも部分的に釉が見られる		乳灰色の微細粒を少量含む	普通	内外面とも釉部は灰緑色，外面の無釉部は灰褐色		灰色
77													
78	-	破片	-	-	-				砂粒を少量含む	普通	内外面ともくすんだ灰緑色		灰色
79	-	破片	-	-	-				砂粒を少量含む	普通	内外面とも灰青色		灰色
80	-	破片	-	-	-				砂粒を少量含む	普通	内外面とも灰緑色		淡褐色～黒褐色
81	20		(12.2)	-	1.8				乳白色微細粒を含む	普通？二次焼成？	内外面とも釉部は灰緑褐色		暗灰色～黒褐色
81													
81													
82	25		(12.2)	-	1.9				乳白色微細粒を含む	普通	内外面とも釉部は暗灰緑色		灰色
82													
83	-	破片	-	-	-				乳灰色の微細粒を少量含む	普通	内外面とも青緑色		灰色
83													
84	-	破片	-	-	-				砂粒を少量含む	普通	内外面ともやや透明感ある灰緑色		灰色
85	20		-	(5.2)	1.8				砂粒を少量含む	普通	内外面とも釉部は褐色		明るい肌色
86	-	破片	-	-	-				密	普通	青灰色		白褐色
87	-	破片	-	-	-				乳白色の微細粒を含む	普通	内外面とも青緑色		灰色
87													
88	-		(12.0)	-	4.2				密	普通	内外面とも釉部はくすんだ黄緑色		
88													
89	-	体部片	-	-	-				乳灰色の微細粒を少量含む	普通	内外面とも暗灰褐色		暗灰色
90	-	破片	-	-	-				乳白色の微細粒を含む	普通	内外面とも灰緑褐色		淡褐色
90													
91	30		-	5.1	2.5				乳白色の微細粒を含む	普通	灰緑色，高台内部の無施釉部は灰褐色		灰色
92	10		-	(8.4)	1.8				密	普通	釉部は青味がかった半透明，呉巣は藍色		白色
92													
93	15		(11.6)	(5.8)	2.7				密	普通	釉部は灰色がかった半透明，呉巣は淡藍色		淡褐色
93													
93													
94	-	底部片	-	-	-				黒色微細粒を少量含む	普通	釉部は青味がかった半透明，呉須は濃藍色		白色
95	10		(19.4)	-	3.0				黒色微細粒を含む	普通	釉部は青灰色がかった半透明，呉須は淡藍色		白色
96	25		(11.6)	(5.4)	2.8				密	普通	釉部は青灰色がかった半透明，呉須は淡藍色		白褐色
96													
97	10		(8.6)	-	1.5				密	普通	釉部は青味がかった半透明，呉須は藍色		白色
97													
98	20		-	(7.6)	0.7				密	普通	釉部は青色がかった半透明，呉須は鮮藍色～くすんだ藍色		白褐色
99	15		(9.6)	(6.6)	1.6				密	普通	釉部は青味かかった半透明，呉須は濃いめの藍色		灰白色
100	25		(9.0)	(4.4)	2.1				黒色微細粒を少量含む	普通	胎部は灰色がかった半透明，呉須は淡藍色，露胎部は淡褐褐色		灰白色
100													
101	-	破片	-	-	-				密	普通	釉部は灰色がかった半透明，呉須は藍色		白褐色
101													
102	-	破片	-	-	-				陶器の様な素地，黒色微細粒を僅かに含む	普通	釉部は灰色がかった半透明，呉須は外面口唇部の界線のみ黒っぽい藍色，あとは淡藍色		淡褐色
103	-	破片	-	-	-				密	普通	胎部は青灰色がかった半透明，呉須は淡藍色～藍色		灰白色
103													
104	-	破片	-	-	-				密，黒色微細粒をわずかに含む	普通	釉部は灰色かかった半透明，呉須は淡藍色		灰白色

土器観察表（1）　掲載遺物（4）

※　帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期編年 カワラケは藤澤氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
78	105	染付	Ⅲ		6	6			1425	26			B	B	B 1	唐草文
78	106	染付	Ⅲ		6	6			502	27			A	A直上	B 1	唐草文
78	107	染付	Ⅲ		6	6			2754	28			B	B	B 1	唐草文？
78	108	染付	Ⅲ		7	7			417	1	9		C	C	B 1	草花文
	108				7	6			1117	1	6					
	108				7	6			2106	1	6					
	108				7	6			2110	1	6					
	108				7	7			415	1	9		C	C		
	108				7	12			4	1	6					
78	109	染付	Ⅲ		7	7			431	2			B	B	B 1	唐草文？獅子文
78	110	染付	Ⅲ		7	7			38	4			A	A直上	B 1	渦巻文？
79	111	染付	Ⅲ		8	8			1508	1	10		D		B 1	唐草文，獅子文
79	112	染付	Ⅲ		8	8			855	2					B 1	唐草文？草花文
79	113	染付	Ⅲ		8	8			1143	4	12		D	D直上	B 1	器面はつや消し（2次焼成？）
	113				8	8			331	4	12		A	B直上		
	113				8	8			507	4	12		B	Ⅱ⑨		
	113				8	8			575	4	12		C			
	113				8	8			584	4	12		C	D直上一括		
79	114	染付	Ⅲ		8	8			543	5	11			Ⅱ－⑦下	B 1	2次焼成？
	114				8	8			538	5	11			Ⅱ－⑦下		
	114				8	8	土坑　64		1805	5	11			064号覆土		
79	115	染付	Ⅲ		12	12			1	1			A	Ⅰ①一括	B 1	唐草文
79	116	染付	Ⅲ		6	6			1017	1	1		A	A	B 1 Ⅵ	草花文
	116				6	6			1019	1	1		A	A		
79	117	染付	Ⅲ		6	6			1028	2			B	B	B 1 Ⅵ	
79	118	染付	Ⅲ		6	6	ピット　19		1	7			BC	Ⅰ	B 1 Ⅵ	
79	119	染付	Ⅲ		6	6			1098	3	2		B	A下	B 1 Ⅶ	かつま文十字菊文
	119				6	6	畑　G	16	115	3	2		A	A直下		
79	120	染付	Ⅲ		6	6			1308	21			B	A下	B 1 Ⅶ	獅子文，火を受けている
79	121	染付	Ⅲ		14	14			200	1			A	A	B 1 Ⅶ	獅子文，断面に漆の付着在り，接着剤として使用か？，
79	122	染付	Ⅲ		6	6			68	8			A	A直上	B1Ⅶ	・B 1 Ⅷ？
79	123	染付	Ⅲ		11	11	堀　O	堀A	9	1				上	B 1 Ⅷ	渦巻文，十字文
79	124	染付	Ⅲ		6	6	土坑　204		64	9			B	A直上	B 1 Ⅷ	欠番？
79	125	染付	Ⅲ		6	6			2337	10	3		B	B	B 1 Ⅷ	2次焼成？
	125				6	6			2196	10	3		B	B		
79	126	染付	Ⅲ		6	6			945	11			B	A下	B 1 Ⅷ	
79	127	染付	Ⅲ		1	1			？	7			A	Ⅰ	B 2 群？	
80	128	染付	Ⅲ		1	1			2	3			A	Ⅰ	C 3	
80	129	染付	Ⅲ		1	1				4			A	Ⅰ	C 3	欠番？
80	130	染付	Ⅲ		4	4			53	1			A	A	C 3	瀬戸窯？

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
105	-	破片	–	–	–				密，黒色微細粒を僅かに含む，呉須は淡藍色	普通	釉部は青灰色がかった半透明，呉須は淡藍色		白褐色
106	-	破片	–	–	–				密	普通	釉部は青味がかった透明に近い釉，呉須は淡藍色～一部に淡い深緑色		白褐色
107	-	破片	–	–	–				密	普通	釉部は青味がかった半透明，五井は淡藍色～藍色		白色
108	40		(11.4)	6.2	2.8		高台部釉はなし，器面はざらざらしている		密	普通	釉部は青味がかった半透明，呉須は淡藍色		白褐色～淡褐色
108													
108													
108													
108													
108													
109	15		-	6.4	2.0				密，乳白色微細粒を含む	普通	釉部は青味がかった半透明，呉須は淡藍色，外面露胎部は灰褐色		白褐色
110	15		(12.6)	-	2.3				密	普通	釉部は灰色がかった半透明，呉須はにぶい淡藍色		白褐色
111	40		(11.8)	6.4	2.7				密，黒色微細粒を少量含む	普通	釉部はくすんで灰色をおびた半透明，呉須はくすんだ藍色，外面露胎部は灰白色		灰白色
112	25		-	(8.6)	3.1				密	普通	釉部は青味を帯びた半透明，呉須は藍色，部分的に黒みがかる		白色
113	15		(13.8)	-	2.2				密	普通	釉部は青味がかった半透明，呉須は藍色		灰白色
113													
113													
113													
113													
114	10		(12.8)	-	2.3				密	普通	釉部は青灰色がかった半透明，呉須は淡藍色・黒色		白色
114													
114													
115	-	破片	–	–	–				密	普通	釉部は青味がかった半透明，呉須は明るい紺色		白褐色
116	30		(11.8)	(6.2)	2.5				乳白色微細粒を含む	普通	釉部は青味かかった半透明，呉須は藍色		白色
116													
117	20		(9.4)	(5.4)	2.4				乳白色微細粒を含む	普通	釉部はやや灰色がかった半透明		白褐色
118	15		(10.4)	(4.6)	2.0				密	普通	釉部は青味がかって透明感がある，呉須は淡藍色一部澄藍緑色		白色
119	20		-	6.6	1.3				とても密	普通	釉部は青色かかった半透明		白色
119													
120	10		-	(7.6)	1.2				密	普通	釉部はくすんで青味がかった半透明，呉須はくすんだ藍色		白色
121	-	破片	–	–	–				密	普通	釉部は灰色がかった半透明，呉須はにぶい淡藍色～一部黒っぽい藍色		白褐色～灰白色
122	10		-	(5.8)	1.4				密	普通	釉部は青味がかった半透明，呉須はとても淡い藍色		白色
123	-		–	(8.8)	1.4				黒色微細粒を少量含む	普通	釉部はやや青味がかった半透明，呉須は藍色		白褐色
124	15		-	(7.4)	2.5				密	普通	釉部はやや青灰色がかった半透明，呉須は藍色		白色
125	20		-	(8.2)	2.9				密	普通	釉部は青味がかった半透明，呉巣は藍色		白色
125													
126	-	破片	–	–	–				密	普通	釉部は青味がかった半透明，呉須は藍色		白色
127	-	底部片	–	–	–				密	普通	釉部は青味かかった半透明，呉須は明藍色		白褐色
128	10		(10.4)	-	2.4				陶器のような素地，黒色微細粒を含む，砂粒を少量含む	普通	釉は灰色がかった半透明，呉須はにぶい淡藍色		灰褐色
129	-	破片	–	–	–				陶器のような素地で均質，黒色微細粒をわずかに含む	普通	釉は青灰色がかった半透明，呉須は淡褐色		淡褐色
130	-	底部片	-	(4.2)	1.5				陶器のような黒色微細流を含む	普通	釉部は灰色かかった半透明，外面露胎部は淡褐色～褐色		淡褐色～灰褐色

土器観察表（1）　掲載遺物（5）

※帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期編年 カワラケは藤瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
80	131	染付	皿		6	6	堀　F	14	101	5			B	A下	C群	こけ底
80	132	染付	皿		7	7			456	3	16		B	A覆土上層	C群	漳州窯系
80	133	染付	皿		6	6			2904	13			A	A	C群	漳州窯系
	133				6	6			6	13			A	I		
80	134	染付	碗		6	6	堀　F	14	168	20			A	A直上	B	2次焼成？
80	135	染付	碗		8	8			1468	3					B	高台が高く古いタイプ,かん入り(ひびわれ)が入っているのが特徴
80	136	染付	碗	端反碗	6	6			2246	19			A	A	B	
80	137	染付	レンツ・碗		1	1			2	1	17		A	Ⅱ一括	C 5	蓮弁の変化
	137				1	1			1	1	17		A	I		
	137				1	7			44	1	17		A	A直上		
80	138	染付	レンツ・碗		8	8			550	6	1				C 5	
80	139	染付	レンツ・碗		1	1			2	6			A	I	C群	
81	140	瀬戸・美濃	灰釉	丸碗	6	6	土坑　102		3	1	1		B	下	大窯Ⅰ	
	140				6	6	土坑　102		4	1	1		B	下		
	140				6	6	土坑　102		9	1	1		B	中		
	140				6	6	土坑　102		12	1	1		B	下		
	140				6	6			1600	1	1		B	B		
81	141	瀬戸・美濃	灰釉	碗	7	7	堀　D		184	1			C			
81	142	瀬戸・美濃	灰釉	碗	12	12			15	1	108		B	Ⅱ下		
	142				12	12			1	1	108		A	Ⅰ①一括		
81	143	瀬戸・美濃	灰釉	丸碗	1	1			3	114			A	I		
81	144	瀬戸・美濃	灰釉	丸碗	6	6			1555	2	75		B	B	大窯Ⅰ	
	144				6	6			1006	2	75					
81	145	瀬戸・美濃		碗　片口？	6	6	堀　G	16	248	506			A	A直上		
81	146	瀬戸・美濃		碗　片口？	7	7	堀　D	堀A	318	507				中		
81	147	瀬戸・美濃	灰釉	平碗	10	10			91	105					後Ⅳ新	
81	148	瀬戸・美濃	灰釉	平碗	11	11			79	106				上～中	後Ⅳ新	
82	149	瀬戸・美濃	灰釉	皿	6	6			1121	36	37		B	B		稜花皿を真似ている？
	149				6	6			270	36	37		A	A直上		
82	150	瀬戸・美濃	灰釉	皿	8	8			1504	1			D	D		
82	151	瀬戸・美濃	灰釉	皿	8	8			1503	2			D	D		
82	152	瀬戸・美濃	灰釉	卸皿	6	6			1400	1			B	B		
82	153	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	8	8			1270	4	58		D	D		
	153				8	8	土坑　12		798	4	58		D			
	153				8	8	土坑　36		1000	4	58		D			
	153				8	8	土坑　36		1002	4	58		D			
	153				8	8	土坑　36		1004	4	58		D			
	153				8	8	土坑　36		1005	4	58		D			
	153				8	8			1244	4	58		D	D		
	153				8	8			1245	4	58		D	D		
	153				8	8			1258	4	58		D	D直上		
	153				8	8			1269	4	58		D	D		
82	154	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	8	8			1641	5	57		D	D下		
	154				8	8			1469	5	57		D	Ⅲ直上		
	154				8	8			1557	5	57		D	D		
82	155	瀬戸・美濃	灰釉	卸皿	1	1				107			A	I	後Ⅳ新	
82	156	瀬戸・美濃	灰釉	挟み皿，端反皿	2	2			1	109			D	表土層	大窯Ⅰ前	
82	157	瀬戸・美濃	灰釉	挟み皿	4	4			27	1			A	A	大窯Ⅰ前半	
82	158	瀬戸・美濃	灰釉	挟み皿	6	6			1773	31	35		B	B	大窯Ⅰ	
	158				6	6			1171	31	35		B	B		
	158				6	6			1898	31	35		A	A		
	158				6	6			1902	31	35		A	A		
82	159	瀬戸・美濃	灰釉	挟み皿	6	6			2922	20	16		B	B	大窯Ⅰ	
	159				6	6			268	20	16		B	A直上		
	159				6	6			268	20	16					
	159				6	6			860	20	16					
	159				6	6			860	20	16		B	A下		
	159				6	6			1153	20	16					
	159				6	6			1153	20	16		B	B		

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	(本/cm)	外面	内面			外面	内面	断面
131	10		-	(5.2)	1.1				密で，黒色微細粒を含む	普通	釉部は青味がかった半透明，呉須は藍色で部分的に黒っぽい		白色
132	-	底部片	-	4.4	1.5				黒色微細粒を少量含む	普通	釉部は灰色がかった半透明，呉須は淡藍色		白褐色
133	10		-	(4.8)	1.4				密	普通	釉部は青灰色がかった半透明，呉須は淡藍色		白褐色
133	10		-	(4.8)	1.4				密	普通			
134	-	破片	-	-	-				黒色微細粒を含む	普通	釉部は灰色がかった半透明，呉須は藍色～淡青灰色		白色～灰白色
135	20		-	(5.6)	3.3				密	普通	釉部はやや灰色味を帯びた半透明，呉須は藍色		白色
136	10		11.6	-	1.9				黒色微細粒を少量含む	普通	釉部は青味がかった半透明，呉須は明るい藍色		白褐色
137	15		-	(5.0)	2.8				密，黒色微細粒を少量含む	普通	釉部は青色がかった半透明，呉須は明るめの藍色		白色～白褐色
137													
137													
138	-	破片	-	-	-				密，黒色微細粒を少量含む	普通	釉部は青色がかった半透明，呉須は明るい藍色		白褐色
139	-	破片	-	-	-				密	普通	釉部は青灰色かかった半透明，呉須は淡藍色		白褐色
140	60		(11.5)	4.9	5.9				黄褐色の粒子を含む，密	やや，柔らかい感じ	内外面とも釉部は暗緑色，部分的に白色・黒色がある		白褐色
140													
140													
140													
140	60		(11.5)	4.9	5.9								
141	20	口縁部	(10.6)	-	4.2				密	普通	内外面の釉部は灰緑色		灰褐色～淡褐色
142	50	底部片		(4.6)	1.8				密	普通	淡暗褐色～淡褐色	暗緑色の灰釉	淡暗褐色～淡褐色
142													
143	-	口縁部片	-	-	-		全面磨滅		密	普通	部分的に釉が残存，透明感のある暗緑色		淡褐色
144	25	高台部のみ	-	4.8	2.2				密	普通	内外面とも釉部は透明感のある暗緑色，外面のその他は褐色～暗褐色		褐色～黒褐色
144													
145	-	破片	-	-	-			全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は灰緑色，その他は白褐色		淡褐色
146	-	破片	-	-	-			全面灰釉	密	普通	暗白褐色	灰緑色	淡褐色
147	-	口縁部片	(13.8)	-	4.1			全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は光沢のない灰緑色，その他は白褐色	灰緑色	暗灰白色
148	-	破片	-	-	-			全面灰釉	密	普通	釉の付着ない	暗灰緑色	暗灰白色
149	-	破片	-	-	2.4		内外面灰釉		密	良	内外面灰釉で，灰緑色		淡褐色（やや橙色）
149													
150	100	ほぼ完形	11.1	4.9	2.2		底部回転ヘラケズリ，削り出し高台	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，外面その他は淡褐色～褐色（一部黒色）		白褐色
151	100	完形	11.2	4.7	2.3		底部回転ヘラケズリ，削り出し高台	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は灰緑色，外面その他は白褐色		白褐色
152	70		(12.5)	5.2	2.7				密	普通	内外面とも暗緑色（灰釉），それ以外は白褐色		白褐色
153	90		11.3	5.2	2.6		底部回転ヘラケズリ，削り出し高台	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部やや厚めで，暗緑色，外面その他は灰褐色		白褐色～淡褐色
153													
153													
153													
153													
153													
153													
153													
153													
153													
154	100	ほぼ完形	11.5	6.0	2.2		底部回転ヘラケズリ，削り出し高台	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，外面その他は淡褐色		灰褐色
154													
154													
155	-	口縁部片	-	-	-				密	普通	内外面とも暗緑色（灰釉），それ以外は白褐色		淡褐色
156	-	口縁部片	-	-	-				砂粒を含む	普通	内外面とも釉，釉部はうすい暗緑色		
157	15	底部欠損	(13.0)	(7.4)	2.1				1～3mmの半透明の粒子を含む	普通	内外面釉部はうすい暗緑色，その他は淡暗褐色		暗黄褐色から淡褐色
158	15	底部を欠損	(11.8)	-	1.6		底部は回転ヘラケズリ	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，それ以外は淡褐色		淡褐色
158													
158													
158													
159	30		(12.6)	5.5	3.1		底部は回転ヘラケズリ，高台は削りだし		砂粒を少量含む	普通	内外面とも灰釉部はうすい暗緑色，その他は淡褐色～白褐色		淡褐色～白褐色
159													
159													
159													
159													
159													

土器観察表（1）　掲載遺物（6）

※　帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期細年 カワラケは藤澤氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
	159				6	6			1675	20	16					
	159				6	6			1675	20	16		B	B		
	159				6	6			1684	20	16		B	B		
	159				6	6			1684	20	16					
	159				6	6			1773	20	16		B	B		
	159				6	6			1773	20	16					
	159				6	6			2094	20	16					
	159				6	6			2094	20	16		B	B		
82	160	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			1657	6			B	B	後Ⅳ新	
82	161	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			1371	32	3		E	地山面	後Ⅳ新	
	161				6	6	土坑　78		19	32	3		B			
	161				6	6				32	16					
	161				6	6	土坑　105		4	32	3		B	I		
	161				6	6			1230	32	3					
82	162	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			79	7	24		B	A	後Ⅳ新	高台の近くに「　」の窯印あり
	162				6	6	堀　F	14	1531	7	24					
82	163	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			1237	8	26		B	B	後Ⅳ新	
	163	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			434	8	26		A	A直上		
82	164	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			1557	9	2		B	B	後Ⅳ新	
	164				6	6			1215	9	2		B	B		
82	165	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			2500	10	30		C	C	後Ⅳ新	
	165				6	6	土坑　127		1	10	30		A	B		
	165				6	6	土坑　140		4	10	30		A			
	165				6	6			74	10	30		A	A直上		
	165				6	6			253	10	30		A	A直上		
	165				6	6			1046	10	30		B	B		
	165				6	6			1089	10	30		B	A下		
	165				6	6			1090	10	30		B	A下		
	165				6	6			1401	10	30		B	B		
82	166	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			1053	11	31		B	B	後Ⅳ新	
	166				6	6	土坑　124		4	11	31		A			
	166				6	6	土坑　203		14	11	31		BC			
82	167	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			1040	18	6		B	B	後Ⅳ新	
	167				6	6	ピット　53		1	18	6		BC	C		
	167				6	6	土坑　128		19	18	6		A	I		
82	168	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			2629	19	12		C	C	後Ⅳ新	
	168				6	6			635	19	12		A	A直上		
	168				6	6			2628	19	12		C	C		
82	169	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			2743	21	1		B	B	後Ⅳ新	
	169				6	6			24	21	1		A	A直上		
	169				6	6			25	21	1		A	A直上		
82	170	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6	土坑　108		23	22	11		B		後Ⅳ新	底部高台きわに「Ⅱ」の窯印あり
	170				6	6			85	22	11		A	下		
	170				6	6	堀　G	16	131	22	11		A	上		
	170				6	6	堀　G	16	167	22	11		A	上		
82	171	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			1765	23	22		C	C	後Ⅳ新	底部中央に「－」の窯印，底部外面に朱書？
	171				6	6	土坑　149		1	23	22		A	上		
	171				6	6	土坑　82		5	23	22		BC			
	171				6	6	土坑　160		30	23	22		BC			
	171				6	6			348	23	22		A	A直上		
	171				6	6			1127	23	22		B	B		
82	172	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			1729	24	17		C	B下	後Ⅳ新	
	172				6	6			638	24	17		A	A直上		
	172				6	6			920	24	17		B	A下		
	172				6	6			1968	24	17		B	B		
	172				6	6			1972	24	17		B	B		
	172				6	6			2373	24	17		B	B		
	172				6	6			2380	24	17		B	B		
82	173	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			1802	25	73		C	C	後Ⅳ新	
	173				6	6			6	25	73		A	I		
82	174	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			1556	26	13		B	B	後Ⅳ新	
	174				6	6			413	26	13		A	A直上		
	174				6	6			945	26	13		B	A下		
	174				6	6			1549	26	13		B	B		
	174				6	6			2259	26	13		A	A直上		
	174				6	6			2442	26	13		A	A		
82	175	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			1732	27	34		B	B	後Ⅳ新	底部中央に「冂」の窯印あり
	175				6	6	土坑　169		1	27	34		BC	中		
	175				6	6	土坑　75		2	27	34		B			
	175				6	6	堀　F	14	368	27	34		A	下		
	175				6	6			893	27	34		B	A下		
	175				6	6			1300	27	34		B	A下		
	175				6	6			1365	27	34		E	地山面		
82	176	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			1773	28	15		B	B	後Ⅳ新	
	176				6	6			1161	28	15		B	B		
	176				6	6			1651	28	15		B	B		
	176				6	6			1654	28	15		B	B		
	176				6	6			2076	28	15		B	B		
82	177	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			1020	29	8		A	A	後Ⅳ新	高台部に「Ⅱ」の窯印と思われるヘラ記号あり
	177				6	6	土坑　124		6	29	8		A	I		
	177				6	6	土坑　124		7	29	8		A	I		
	177				6	6	土坑　124		8	29	8		A	I		

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
159													
159													
159													
159													
159													
159													
159													
159													
160	95		10.9	5.0	1.9		底部回転へらケズリ	全面灰釉	砂粒を少量含む	普通	内外面とも釉部は暗緑色，外面のその他は淡褐色		淡褐色
161	20		(11.0)	5.1	1.7		底部回転へら削り，高台は削りだし	全面灰釉	半透明の小石を少量含む	普通	内外面釉部は暗緑色，斑点状に白色，外面のその他は淡褐色		淡褐色～白褐色
161													
161													
161													
161													
162	100	完形	10.5	5.5	2.0		底部は回転へら削り，高台は削りだし		密	普通	灰釉部は白褐色	灰釉で，暗緑色	白褐色
162													
163	95	ほぼ完形	10.8	5.2	2.1		底部は回転へら削り，高台は削りだし		砂粒を少量含む	普通	白褐色，縁辺の一部に煤が付着	内外面釉部は暗緑色	白褐色
163													
164	80		11.5	5.1	2.3				砂粒を少量含む	普通	なすがいめん釉部は暗緑色，その他は淡褐色	淡褐色	淡褐色
164													
165	70		11.8	5.4	2.3		底部は回転へラケズリ	全面灰釉	砂粒を少量含む	普通	内外面とも灰釉部は暗緑色，外面のその他は白褐色		白褐色
165													
165													
165													
165													
165													
165													
165													
165													
166	60		10.9	5.2	2.4		底部は回転へラケズリ	全面灰釉	密	普通	内外面とも灰釉部は白色，外面のその他は淡褐色～白褐色，一部灰白色		灰褐色
166													
166													
167	40	底部を欠損	10.9	-	1.6		底部は回転へラケズリ	全面灰釉	密	普通	内外面とも灰釉部は暗緑色，外面のその他はやや暗い淡褐色		やや暗い淡褐色
167													
167													
168	30		(11.4)	5.1	2.3		底部は回転ベケズリ	全面灰釉	密	普通	内外面とも灰釉部は暗緑色，外面のその他は淡褐色		白褐色
168													
168													
169	30		(10.7)	5.0	2.3		底部は回転へラケズリ，高台は削りだし	全面灰釉	砂粒を少量含む	普通	内外面とも灰釉部は暗緑色から白色，外面その他は淡褐色		白褐色
169													
169													
170	40	底部は完存	(10.8)	4.5	2.3		底部は回転へラケズリ	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，外面は暗白褐色，底部は黒褐色		白褐色
170													
170													
170													
171	40		(12.0)	5.1	2.6		底部は回転へラケズリ，高台は削りだし	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は暗緑色～白色，外面その他は淡褐色		白褐色～淡褐色
171													
171													
171													
171													
171													
172	25		(12.0)	5.1	2.9		底部は回転へラケズリ，高台は削りだし	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，外面その他は淡褐色		白色から白褐色
172													
172													
172													
172													
172													
172													
173	25		(10.6)	(4.6)	2.5		底部は回転へラケズリ，高台は削りだし	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，外面その他は淡褐色		白褐色から淡褐色
173													
174	35		(11.2)	(4.7)	2.2		底部は回転へラケズリ，高台は削りだし	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，外面その他は淡褐色（やや赤みがかる部分あり）		白褐色～淡褐色
174													
174													
174													
174													
174													
175	30		(10.6)	4.4	1.9		底部は回転へラケズリ，高台は削りだし	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は白色～暗緑色，外面その他は淡褐色		淡褐色～白褐色
175													
175													
175													
175													
175													
175													
176	30		(10.8)	4.2	2.1		底部は回転へラケズリ，高台は削りだし	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，外面その他は淡褐色		淡褐色～白褐色
176													
176													
176													
176													
177	25		(11.4)	(5.2)	2.3		底部は回転へラケズリ，高台は削りだし	全面灰釉	密	普通	内外面とも灰釉部は暗緑色～白色，外面その他は淡褐色		淡褐色～白褐色
177													
177													
177													

土器観察表（1）　掲載遺物（7）

※帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期編年 カワラケは藤澤氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
	177				6	6	土坑 126		12	29	8		A			
	177				6	6	土坑 127		15	29	8		A	I		
	177				6	6	土坑 128		20	29	8		A	I		
82	178	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6	畑 F	14	91	33	90		B	上	後Ⅳ新	
	178				6	6	畑 F	14	46	33	90		A	A直上		
	178				6	6			362	33	90		A	上		
	178				6	6			378	33	90		A	A直上		
82	179	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6	土坑 131		7	34	7		BC	I	後Ⅳ新	
	179				6	6	土坑 226		2	34	7		D			
	179				6	6	土坑 125		3	34	7		BC	I		
	179				6	6	土坑 226		4	34	7		D			
82	180	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	6	6			1364	35	32		C	地山面	後Ⅳ新	
	180				6	6	土坑 124		3	35	32		A			
	180				6	6	土坑 78		8	35	32		B			
	180				6	6	畑 G	16	127	35	32		A			
	180				6	6	畑 G	16	161	35	32		A			
	180				6	6			1052	35	32		B	B		
82	181	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	7	7			319	1			A	A	後Ⅳ新	
82	182	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	8	8	土坑 56		1659	3	60		D		後Ⅳ新	
	182				8	8			562	3	60		C	C直上		
	182				8	8			563	3	60		C	C直上		
	182				8	8			564	3	60		C	C直上		
	182				8	8			565	3	60		C	C直上		
	182				8	8			567	3	60		C	C直上		
	182				8	8			568	3	60		C	C直上		
	182				8	8			569	3	60		C	C直上		
	182				8	8	土坑 41		1176	3	60					
	182				8	8			1346	3	60		D	C下		
82	183	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	8	8			1638	6	62		D	D	後Ⅳ新	
	183				8	8			317	6	62		B	Ⅱ②		
	183				8	8			333	6	62		B	Ⅱ②		
	183				8	8			499	6	62		D	Ⅱ⑨		
	183				8	8			520	6	62		D	Ⅱ⑦層下層		
	183				8	8			1141	6	62		D	D直上		
	183				8	8			1452	6	62		D	D		
	183				8	8			1453	6	62		D	D		
	183				8	8			1454	6	62		D	D		
	183				8	8			1455	6	62		D	D		
	183				8	8			1457	6	62		D	D		
	183				8	8			1500	6	62		D	D		
	183				8	8			1506	6	62		D	D		
83	184	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	8	8			1246	7	61		D	D	後Ⅳ新	
	184				8	8			519	7	61		D	Ⅱ⑨		
	184				8	8			520	7	61		D	Ⅱ⑦層下層		
	184				8	8	土坑 10		639	7	61		C			
	184				8	8	土坑 12b	12	781	7	61		D			
	184				8	8			790	7	61		D	C		
	184				8	8			953	7	61		D	D直上		
	184				8	8	土坑 36		992	7	61		D			
	184				8	8	土坑 36		994	7	61		D			
	184				8	8	土坑 36		1001	7	61		D			
	184				8	8	土坑 36		1007	7	61		D			
83	185	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	8	8			1497	8	59		D	D	後Ⅳ新	
	185				8	8			531	8	59		D	Ⅱ⑦層下層		
83	186	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	8	8			1106	9	54		D	D直上	後Ⅳ新	高台部に「L」の窯印あり
	186				8	8			500	9	54		D			
	186				8	8			582	9	54		D	D直上		
	186				8	8			583	9	54		D	D直上		
	186				8	8			1103	9	54		D	D直上		
	186				8	8	土坑 41		1186	9	54		D			
	186				8	8			1540	9	54		D	D		
83	187	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	8	8	土坑 12b	12	683	10	51		D		後Ⅳ新	
	187				8	8	土坑 12b	10	612	10	51		C			
	187				8	8	土坑 47		1415	10	51		C			
	187				8	8	土坑 47		1416	10	51		C			
83	188	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	8	8			1815	11	50		D	D下	後Ⅳ新	高台部内面に「‖」様の窯印あり
	188				8	8	土坑 10		601	11	50		C			
	188				8	8	土坑 10		602	11	50		C			
	188				8	8	土坑 10		603	11	50		C			
	188				8	8	土坑 10		608	11	50		C			
	188				8	8	土坑 12		640	11	50		D			
83	189	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	8	8	土坑 36		996	13	52		D		後Ⅳ新	
	189				8	8			876	13	52		D	C下		
	189				8	8			998	13	52		D			
	189				8	8			999	13	52		D			
	189				8	8			1247	13	52		D	D下		
	189				8	8			1250	13	52		D	D		
	189				8	8			1251	13	52		D	D		
	189				8	8			1252	13	52		D	D下		
	189				8	8			1268	13	52		D	D		
	189				8	8			1286	13	52		D	D		
83	190	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	8	8			1285	14	42		D	D	後Ⅳ新	
	190				8	8			1	14	42		D			
	190				8	8			1	14	42		D			
	190				8	8			952	14	42		D	D		

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
177							底部は回転ヘラケズリ，高台は削りだし	全面灰釉	密	普通	内外面とも灰釉部は暗緑色～白色，外面その他は淡褐色		淡褐色～白褐色
177													
177													
178	20		(11.4)	5.2	2.2		底部回転ヘラケズリ，高台は削りだし	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は暗深緑色，外面その他は灰色～灰褐色		灰色～灰褐色
178													
178													
178													
179	15	底部欠損	(11.8)	-	2.1		底部回転ヘラケズリ，高台は削りだし	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は深緑色，外面その他は灰色～暗灰色		灰褐色
179													
179													
179													
180	15	底部欠損	(10.8)	-	1.8		底部回転ヘラケズリ，高台は削りだし	全面灰釉	密	普通	内外面釉部は白色でスジ状に暗緑色が入りとろろ昆布のような状況，外面その他は淡褐色		淡褐色～白褐色
180													
180													
180													
180													
180													
181	70		11.7	5.2	2.9		底部は回転ヘラケズリ，高台は削りだし	全面灰釉	1～2㎜大の半透明の粒子を少量含む	普通	内外面とも釉部は淡褐色，外面その他は淡褐色		淡褐色
182	90	ほぼ完形	11.0	5.2	2.2		底部回転ヘラケズリ，削り出し高台	全面灰釉	砂粒を少量含む	普通	内外面とも釉部はやや透明感のある灰緑色，外面その他は灰褐色		淡褐色
182													
182													
182													
182													
182													
182													
182													
182													
182													
183	80		11.7	6.3	2.2		底部回転ヘラケズリ，削り出し高台	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，外面その他は淡褐色		白褐色～淡褐色
183													
183													
183													
183													
183													
183													
183													
183													
183													
183													
183													
184	70	底部一部欠損	11.6	4.8	2.6		底部回転ヘラケズリ，削り出し高台	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，外面その他は淡褐色		白褐色～淡褐色
184													
184													
184													
184													
184													
184													
184													
184													
184													
184													
184													
185	100		11.2	5.8	2.8		底部回転ヘラケズリ，削り出し高台	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，外面その他は淡褐色		白褐色～淡褐色
185													
186	80		12.0	4.8	3.2		底部回転ヘラケズリ，削り出し高台	全面灰釉，表面はなめらかでない	密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，外面その他は灰褐色～淡褐色		灰色～淡褐色
186													
186													
186													
186													
186													
186													
187	50	底部全体遺存	(11.8)	5.0	3.2		底部回転ヘラケズリ，削り出し高台	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，外面その他は淡褐色		淡褐色
187													
187													
187													
188	50		(10.8)	4.8	2.1		底部回転ヘラケズリ，削り出し高台	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，外面その他は灰褐色		灰褐色～淡褐色
188													
188													
188													
188													
188													
189	50		(11.6)	4.8	2.8		底部回転ヘラケズリ，削り出し高台	全面灰釉	白色の1～2㎜大の粒子を少量含む	やや甘い	内外面とも釉部は白色（細かい斑点状に暗緑色），外面その他は灰褐色		淡褐色
189													
189													
189													
189													
189													
189													
189													
189													
189													
190	30	底部欠損	(11.8)	-	1.8								
190													
190													
190													

土器観察表（1）　掲載遺物（8）

※帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期編年 カワラケは藤瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
	190				8	8	土坑 36		997	14	42		D			
	190				8	8	土坑 36		1000	14	42		D			
	190				8	8	土坑 36		1003	14	42		D			
	190				8	8			1245	14	42		D	D		
	190				8	8			1247	14	42		D			
	190				8	8			1247	14	42		D	D		
	190				8	8			1248	14	42		D			
	190				8	8			1252	14	42		D	D		
	190				8	8			1256	14	42		D	D		
83	191	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	10	10			15	1			A	A	後Ⅳ新	
83	192	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	10	10			92	2	64		C	C	後Ⅳ新	
	192				10	10			2	2	64		A			
	192				10	10			83	2	64		C	C		
	192				10	10			88	2	64		C	C		
83	193	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	10	10			25	3			A	A	後Ⅳ新	
83	194	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	10	10			14	4			A	A	後Ⅳ新	
83	195	瀬戸・美濃	灰釉	腰折皿	12	12	堀 P	堀A	124	6			B	下	後Ⅳ新	腰折（小）皿？
83	196	瀬戸・美濃	灰釉	端反皿	6	6			2973	30	21		C	C	大窯Ⅰ	良質な製品，16世紀に入るか？
	196				6	6	堀 F	14	84	30	21		A	A直上		
	196				6	6			355	30	21		A	A直上		
	196				6	6			627	30	21		A	A直上		
	196				6	6			872	30	21		B	A下		
	196				6	6			1349	30	21		B	地山面		
	196				6	6			1385	30	21		B	B		
	196				6	6			2760	30	21		B	A		
	196				6	6			2761	30	21		B	A		
	196				6	6			2969	30	21		C	C		
83	197	瀬戸・美濃	灰釉	端反皿	7	7	堀 D	堀A	200	2	41		B	上	大窯Ⅰ	
	197				7	7	土坑 11		2	2	41			中		
83	198	瀬戸・美濃	灰釉	灯明皿	6	6	ピット 22		1	4			BC	I	後Ⅳ新	口唇部にタール状の付着物あり
83	199	瀬戸・美濃	灰釉	灯明皿	6	6			1319	5			D	地山面	後Ⅳ新	
83	200	瀬戸・美濃	灰釉	灯明皿	6	6			934	16			B	A下	後Ⅳ新	
83	201	瀬戸・美濃	灰釉	稜花皿	14	14			174	1	74		A	A	大窯Ⅰ前	
	201				14	14			227	1	74		A	A		
83	202	瀬戸・美濃	灰釉	稜花皿	14	14			201	2	72		A	A	大窯Ⅰ前	墨書あり「金」「全」か？
	202				14	14			115	2	72		A	A		
	202				14	14			143	2	72		A	A		
83	203	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	6	6			1320	2			D	地山面	後Ⅳ新	
83	204	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	6	6			1855	12	29		C	C	後Ⅳ新	
	204				6	6			7	12	29		A	I		
	204				6	6			328	12	29		A	A直上		
	204				6	6			333	12	29		A	A直上		
	204				6	6			345	12	29		A	A直上		
	204				6	6			931	12	29		B	A下		
83	205	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	6	6			933	13	28		B	A下	後Ⅳ新	
	205				6	6	土坑 128		20	13	28		A			
83	206	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	6	6			1358	14	27		D	地山面	後Ⅳ新	
	206				6	6			2	14	27		A	I		
	206				6	6	土坑 25		3	14	27		A			
	206				6	6			46	14	27		A	A直上		
83	207	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	6	6	堀 F	14	184	3			A	中	後Ⅳ新	
83	208	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	6	6			2514	15	36		C	C	後Ⅳ新	
	208				6	6	堀 F	14	101	15	20		B	上		
	208				6	6	堀 G	16	238	15	20		A	上		
	208				6	6			1147	15	36		B	B		
83	209	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	6	6	ピット 12		1	17	19		BC	中	後Ⅳ新	
	209				6	6			2365	17	19		B	B		
	209				6	6			2408	17	19		B	B		
	209				6	6			2449	17	19		B		B	
83	210	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	8	8			1728	16	46		D	D下	後Ⅳ新	
	210				8	8	土坑 65		1741	16	46		C			
83	211	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	8	8			1148	12	55		D	D直上	後Ⅳ新	
	211				8	8	土坑 2		98	12	55			中		
	211				8	8			342	12	55		C	C直上		
	211				8	8			343	12	55		C	C直上		
	211				8	8			467	12	55		D	Ⅱ⑨		

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
190													
190													
190													
190													
190													
190													
190													
190													
190													
191	60		(11.2)	5.3	2.1		底部回転ヘラケズリ，削りだし高台	全面灰釉	砂粒を少量含む	普通	内外面釉部は暗緑色，それ以外は灰褐色		淡褐色～白褐色
192	20	底部中央欠損	(12.2)	-	2.2		底部回転ヘラケズリ	全面灰釉	1～4㎜大の白色粒を少量含む	普通	内外面釉部は暗緑色～白色，それ以外は灰褐色		淡褐色
192													
192													
192													
193	20	底部中央欠損	(11.8)	-	1.5		底部回転ヘラケズリ	全面灰釉	密	普通	内外面釉部は暗緑色，それ以外は淡赤褐色		淡褐色
194	25	底部中央欠損	(11.4)	-	1.5			全面灰釉	密	普通	内外面釉部は暗緑色，それ以外は灰褐色		淡暗褐色～淡褐色
195	20	底部中央欠損	(11.6)	-	2.2		底部回転ヘラケズリ	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部はうすい暗緑色，外面その他は淡褐色		淡褐色
196	20	底部欠損	(12.2)	-	2.2				とても緻密		内外面とも透明感のある青緑色		淡褐色
196													
196													
196													
196													
196													
196													
196													
196													
197	30	底部欠損	(11.8)	(6.4)	2.4		底部回転ヘラケズリ，高台は削りだし？	全面灰釉	半透明の粒子を少量含む	普通	内外面釉部は透明感のある暗緑色，外面その他は淡褐色		淡褐色
197													
198	100		10.6	5.3	2.3		底部は回転糸切り		密	普通	淡褐色～黒褐色，釉部は白色から灰色，部分的に油煤が付着	淡褐色～黒褐色，釉部は白色，部分的にすすけて黒色	
199	100	ほぼ完形	11.5	4.2	2.8				砂粒を含む	普通	内外面とも釉部は暗緑色，その他は半面が淡褐色，半面がすすけて黒色		
200	30		(9.4)	(3.5)	3.1		底部は回転ヘラケズリ		密	普通	内外面とも釉部は白色，それ以外は淡褐色から灰褐色		灰褐色
201	15	底部欠損	(12.6)	-	1.8				密	普通	内外面とも釉部はうすい暗緑色，その他は淡褐色		淡褐色
201													
202	15	底部のみ残存	-	(5.4)	1.9		底部回転糸切り	全面灰釉	密	普通	内外面とも釉部は淡褐色，その他は淡褐色		淡褐色
202													
202													
203	100	完形	10.5	3.6	2.6				砂粒を含む	普通	釉部は暗緑色～白色，それ以外は淡褐色		淡褐色
204	100		9.3	4.9	2.6		底部は回転ヘラケズリ		密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，それ以外は淡褐色		
204													
204													
204													
204													
204													
205	80		9.8	4.9	2.8		底部は回転ヘラケズリ		密	普通	内外面とも暗緑色から白色，それ以外の外面は灰褐色～黒褐色		淡褐色～白褐色
205													
206	60		9.9	4.3	2.6		底部は回転ヘラケズリ		密	普通	内外面とも釉部は暗緑色から灰色，外面は淡灰褐色		淡褐色～灰褐色
206													
206													
206													
207	95	ほぼ完形	10.6	4.1	2.6				砂粒を含む	普通	釉部は暗緑色から白色，それ褐色～淡暗褐色	淡赤褐色	淡褐色～白褐色
208	30	底部を欠損	(8.6)	-	2.3				密	普通	内外面とも釉部は暗緑色，それ以外は淡褐色～灰褐色		淡褐色～灰褐色
208													
208													
208													
209	20	底部を欠損	(11.2)	-	2.2				砂粒を少量含む	普通	釉部は白色，それ以外は淡褐色～黒褐色	釉部は暗緑色から白色，それ以外は淡褐色～黒褐色	淡褐色～黒褐色
209													
209													
209													
210	50		(9.6)	(3.6)	2.1		底部回転糸切り	全面緑釉（灰釉）	1㎜大の半透明の粒子を含む	普通	内外面とも釉部は白色～灰黄白色，外面は淡褐色，底部は黒色	淡褐色	淡褐色，底部付近は黒色
210													
211	60	底部は全遺存	12.1	5.8	2.5		底部回転ヘラケズリ，削り出し高台	全面灰釉内外面緑釉（灰釉）	半透明の1～2㎜大の小石を少量含む	やや甘い	内外面釉部は白色～淡褐色，それ以外は淡褐色		淡褐色～白褐色
211													
211													
211													
211													

土器観察表（1）　掲載遺物（9）

※帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期編年 カワラケは鋸瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
	211				8	8			468	12	55		D	Ⅱ⑨		
	211				8	8	土坑 12b	10	626	12	55		C			
83	212	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	8	8			329	18	45		B	Ⅱ②	後Ⅳ新	
	212				8	8			53	18	45		B	Ⅱ上		
83	213	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	8	8			1537	15	56		D	D	後Ⅳ新	
	213				8	8	土坑 56		1658	15	56		D			
	213				8	8	土坑 56		1662	15	56		D			
83	214	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	8	8			360	17	49		C	C直上	後Ⅳ新	
	214				8	8			253	17	49					
	214				8	8			253	17	49		B	Ⅱ②		
	214				8	8			355	17	49					
	214				8	8			355	17	49		C	C直上		
	214				8	8			593	17	49		C	Ⅱ③		
	214				8	8			593	17	49					
84	215	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	8	8			877	19	48		D	C下	後Ⅳ新	
	215				8	8			516	19	48		D	Ⅱ⑨		
	215				8	8			829	19	48		D	C下		
	215				8	8	溝 62		1682	19	48					
	215				8	8	溝 62		1683	19	48					
84	216	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	10	10			94	5			C	C	後Ⅳ新	
84	217	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	12	12			5	1	67		C	Ⅱ中	後Ⅳ新	
	217				12	12	堀 P	堀A	101	1	67		B	下		
84	218	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	12	12	堀 P	堀A	87	2	106		B	上	後Ⅳ新	
84	219	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	12	12			3	3	106		B	Ⅱ①直上一括	後Ⅳ新	
84	220	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	12	12			20	4	65			盛土上層	後Ⅳ新	
	220				12	12			4	4	65		B	Ⅱ最上面一括		
84	221	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	12	12	堀 P	堀A	171	5	66		B	上	後Ⅳ新	
	221				12	12			3	5	66		B	Ⅱ①直上一括		
84	222	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	12	12			38	7	105		B	B	後Ⅳ新	
84	223	瀬戸・美濃	灰釉	緑釉小皿	6	6			21	37	80		A	E	後Ⅳ新	灯明皿？
84	224	瀬戸・美濃	灰釉	挟み皿	6	6			765	110	4		A	A直上	大窯Ⅰ	
	224				6	6			560	110	4		A	A直上		
	224				6	6			576	110	4		A	A直上		
84	225	瀬戸・美濃	灰釉	端反皿	10	10	土坑 14		1	111					大窯Ⅰ前	
84	226	瀬戸・美濃	灰釉	端反皿or丸碗	7	7	土坑 11		1	108					大窯Ⅰ～Ⅱ	
84	227	瀬戸・美濃	灰釉	端反皿or丸碗	12	12			25	113	110			盛土上層	大窯Ⅰ～Ⅱ	
85	228	瀬戸・美濃	鉄釉	緑釉小皿	8	8			864	101			C	C	後Ⅳ新	
85	229	瀬戸・美濃	鉄釉	緑釉小皿	6	6			2181	1	3		B	B	後Ⅳ新	
	229				6	6			1057	1	3		B	B		
	229				6	6			1061	1	3		B	B		
	229				6	7			506	1	3		B	B		
85	230	瀬戸・美濃	鉄釉	緑釉小皿	6	6			2982	3	2		C	C	後Ⅳ新	
	230				6	6			14	3	2		A	I		
	230				6	6			70	3	2		A	A直上		
	230				6	6			83	3	2		A	A直上		
	230				6	6			114	3	2		B	A下		
85	231	瀬戸・美濃	鉄釉	緑釉小皿	12	12	堀 P	堀A	133	1			B	中	後Ⅳ新	
85	232	瀬戸・美濃	鉄釉	緑釉小皿	6	6			1472	2	1		B	B	後Ⅳ新	
	232				6	6			81	2	1		A			
	232				6	6			115	2	1		A	A直下		
85	233	瀬戸・美濃	鉄釉	緑釉小皿	8	8			887	1	4		D	C下	後Ⅳ新	
	233				8	8			305	1	4		B	Ⅱ②		
	233				8	8			896	1	4		D	C下		
	233				8	8			912	1	4		D	C下		
85	234	瀬戸・美濃	鉄釉	緑釉小皿	1	1			2	1			A	I	大窯Ⅱ～Ⅲ	
85	235	瀬戸・美濃	その他	鉄釉小壺？	1	1			3	2			A	I	大窯Ⅲ（後）	初山窯製品，底部片
86	236	瀬戸・美濃	天目	碗	6	6			2929	8			C	C		
86	237	瀬戸・美濃	天目	碗	14	14			1	2			A	表土下部一括		
86	238	瀬戸・美濃	天目	碗	8	8			284	5			A	B直上	B	
86	239	瀬戸・美濃	天目	碗	6	6			1303	3	5		B	A下	後Ⅳ新	
	239				6	6			66	3	5		A	A直上		
86	240	瀬戸・美濃	天目	碗	6	6			2791	4	1		B	B	後Ⅳ新	
	240				6	6	土坑 76		5	4	1		B			

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
211							底部回転ヘラケズリ，削り出し高台	全面灰釉内外面緑釉（灰釉）	半透明の1～2㎜大の小石を少量含む	やや甘い	内外面釉部は白色～淡褐色，それ以外は淡褐色		淡褐色～白褐色
211													
212	20	底部欠損	(10.4)	-	2.2			内外面緑釉（灰釉）	密	普通	内外面釉部は暗緑色，それ以外は淡褐色		淡褐色
212													
213	100		9.4	4.2	2.9		底部回転糸切り	全面緑釉（灰釉）	1～4㎜大の小石を少量含む	普通	内外面の釉部は白色～暗緑色，その他外面は淡褐色～灰褐色（やや赤みがかる）	淡い赤褐色	淡褐色
213													
213													
214	50		(12.2)	5.4	2.2		底部は回転糸切り	内外面緑釉（灰釉）	1㎜大の半透明の粒子を少量含む	普通	内外面の釉部は淡褐色，それ以外は淡褐色～黒褐色		淡褐色
214													
214													
214													
214													
214													
214													
215	30	底部中央欠損	(11.0)	-	2.1		底部回転ヘラケズリ	全面灰釉	砂粒を少量含む	普通	内外面釉部は暗緑色，その他は灰褐色		淡褐色～灰褐色
215													
215													
215													
215													
216	20	底部欠損	(13.0)	-	1.8		底部回転糸切り	全面緑釉（灰釉）	密	普通	内外面釉部は赤褐色～白色，それ以外は淡褐色		淡褐色
217	75	底部一部欠損	10.0	5.4	2.0		底部回転糸切り	全面緑釉（灰釉）	密	普通	内外面釉部は暗緑色から白色，外面は黒色		灰褐色
217													
218	20	底部一部欠損	(10.0)	(5.4)	1.8		底部回転糸切り	全面緑釉（灰釉）	砂粒を少量含む，一部木質様の物質を含む	普通	内外面とも釉部はにぶい黄褐色～白色		灰色～灰褐色
219	20	底部中央を欠損	(10.0)	(6.4)	2.1		回転ヘラケズリ，削りだし高台	内外面緑釉（灰釉）	砂粒を少量含む	普通	内外面とも釉部は暗黄褐色～白色，外面その他は暗褐色		淡暗褐色～黒色
220	30	底部中央を欠損	(12.8)	(6.4)	2.1		回転ヘラケズリ，削りだし高台	内外面緑釉（灰釉）	密	普通	内外面とも釉部は暗黄褐色～白色，外面その他は淡褐色（やや赤みがかる）		淡褐色
220													
221	20	底部中央を欠損	(12.0)	(5.2)	2.3		回転ヘラケズリ，削りだし高台	内外面緑釉（灰釉）	密	普通	内外面とも釉部はうすい緑色，外面その他は淡褐色		淡褐色
221													
222	25		(11.4)	(4.6)	2.1		底部回転糸切り	内外面とも遺存部に釉はない	密	普通	淡褐色，口縁部は淡赤褐色	淡赤褐色，口縁部は淡褐色	白褐色
223	20	底部欠損	(9.6)	(5.4)	2.4		回転糸切り痕あり	全面灰釉	半透明の1～2㎜大の粒子を少量含む	普通	内外面とも釉部は暗緑色，それ以外は淡褐色～黒色		淡褐色
224	-		-	(6.6)	2.6		高台は削りだし		砂粒を含む	普通	内外面とも釉部は淡緑色，他は暗白褐色	暗白褐色	暗白褐色
224													
224													
225	-	破片	–	–	–				緻密	普通	内外面とも釉部は暗黄褐色～暗白色		暗白褐色
226	-	底部片	-	-	-		高台は削りだし		緻密	良好	内外面とも釉部は淡緑色		淡褐色
227	-		-	(6.2)	1.2		全面磨滅，高台は削りだし		砂粒を含む	普通	内外面とも釉部は暗白色		暗白褐色
228	-	口縁部片	(10.2)	-	2.4				白色～半透明の粒子を含む	普通	内外面とも釉部はこげ茶色		淡褐色
229	60		10.4	5.0	2.5		底部回転糸切り		白色～半透明の粒子を含む	普通	口縁の釉部はこげ茶色（鉄釉），他は淡褐色	淡褐色	淡褐色で白っぽい
229													
229													
229													
230	60		10.5	4.8	2.5		底部回転糸切り		密	普通	口縁の釉部はこげ茶（鉄釉），他は淡褐色～黒褐色	淡褐色～赤褐色	淡褐色だが芯部はやや頃っぽい
230													
230													
230													
230													
231	15		(10.2)	-	1.9		底部回転糸切り		密	普通	口縁釉部はこげ茶（鉄釉），他は淡褐色		淡褐色
232	30		10.2	-	2.1				白色～半透明の粒子を含む	普通	口縁の釉部はこげ茶（鉄釉），他は淡褐色～明褐色	明褐色	淡褐色
232													
232													
233	20		(10.2)	-	1.9				密	普通	釉部は黒っぽい鉄釉色，他は灰褐色		淡褐色～灰褐色
233													
233													
233													
234	15		(12.0)	-	2.3				密	普通	内外面とも釉でさび色，部分的に黒色		淡褐色
235	-		-	(6.0)	1.5		底部～底部周囲回転ヘラ削り		砂粒を含む	普通	内外面釉部は黒っぽいさび色，その他は暗赤褐色		暗褐色
236	-	破片	–	–	–		全面釉	全面釉	1～5㎜の白色粒子を少量含む	普通	内外面とも口縁部は褐色，胎部は黒褐色		灰褐色
237	-	底部残存	-	4.6	1.3			全面釉	1～3㎜の半透明粒子を含む	普通	淡褐色	褐色	淡褐色
238	-	破片	–	–	–		全面釉	全面釉	密	普通	内外面褐色に斑点状に黒色が入る		淡褐色
239	20		(11.2)	-	4.3			全面釉	密	普通	内外面釉部は暗褐色，露胎部は淡褐色～暗褐色		淡褐色
239													
240	-	破片	–	–	–								
240													

土器観察表（1）　掲載遺物（10）

※　帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	分類 中分類	分類 小分類	遺物 帰属平場	遺物 出土平場	遺物 遺構番号	遺物 調査時No.	遺物番号	実測 番号	接合 番号	接合 のみ	遺物 所属面	遺物台帳 記載面	時期編年 カワラケは鋸瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
	240				6	6			1470	4	1		B	B		
	240				6	6			2074	4	1		B	B 2		
86	241	瀬戸・美濃	天目	碗	6	6			2573	5			A	A	後Ⅳ新	
86	242	瀬戸・美濃	天目	碗	6	6			722	7			A	A直上	後Ⅳ新	
86	243	瀬戸・美濃	天目	碗	7	7	堀　D	堀A	241	3			C	上	後Ⅳ新	
86	244	瀬戸・美濃	天目	碗	8	8			1322	2			B	C上	後Ⅳ新	
86	245	瀬戸・美濃	天目	碗	8	8			1027	3			D	D直上	後Ⅳ新	
86	246	瀬戸・美濃	天目	碗	8	8			693	4			D	C下	後Ⅳ新	
86	247	瀬戸・美濃	天目	碗	6	6			2905	6			B	B	大窯Ⅰ	
86	248	瀬戸・美濃	天目	碗	6	6			16	9	6		A	Ⅰ	大窯Ⅰ	
	248				6	6			6	9	6		A	Ⅰ		
	248				6	6			12	9	6		A	Ⅰ		
86	249	瀬戸・美濃	天目	碗	7	7			354	1	2		B	B	後Ⅳ新	
86	250	瀬戸・美濃	天目	碗	7	7			70	2			A	A直上	大窯Ⅰ	
86	251	瀬戸・美濃	天目	碗	8	8			1	1	3		A	Ⅰ上	大窯Ⅰ	
	251				8	10			25	1	3		A	A		
86	252	瀬戸・美濃	天目	碗	8	8			1543	6	4		D	D	大窯Ⅰ	
	252				8	8			315	6	4		A	B直上		
86	253	瀬戸・美濃	天目	碗	14	14			116	1			A	A	大窯Ⅰ	
86	254	瀬戸・美濃	天目	碗	14	14			127	3			A	A	大窯Ⅰ	
86	255	瀬戸・美濃	天目	碗	6	6			1655	2			B	B	大窯Ⅰ後半	
86	256	瀬戸・美濃	天目	碗	6	6	土坑　224		1	1	2		B		大窯Ⅰ	
	256				6	6			446	1	2		A	A直上		
	256				6	6			1184	1	2		B	B		
	256				6	7	堀　D	堀A	187	1	2		C	底面直上		
87	257	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			2977	17	25		C	C		
	257				6	6	土坑　102		8	17	25		B	中		
	257				6	6			1773	17	25		B	B		
	257				6	7			348	17	25		B	B		
	257				6	7			376	17	25		B	B		
87	258	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			1623	19	24		B	B		
	258				6	6			47	19	24		A	A直上		
	258				6	6			161	19	24		A	A直上		
	258				6	6			444	19	24		A	A直上		
	258				6	7			83	19	24		A	A直上		
87	259	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			1402	23	32		B	B		
	259				6	6	土坑　20		2	23	32		A	中		
	259				6	6	土坑　20		3	23	32		A	中		
	259				6	6			137	23	32		A	A直上		
	259				6	6			370	23	32		A	A直上		
	259				6	6			1004	23	32		A	A		
	259				6	6			1080	23	32		B	B		
	259				6	6			1081	23	32		B	B		
	259				6	6			1082	23	32		B	B		
87	260	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	8	8			1208	6	48		D		古瀬戸後期Ⅳ（新）	
	260				8	8			1210	6	48		D	D		
87	261	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	12	12	堀　P	堀A	129	3	67			下	大窯Ⅰ期（前）	・大Ⅰb
	261				12	8			4	3	67		B	Ⅱ中		
	261				12	6	ピット　41		2	3	67		BC	B～C		
	261				12	6	ピット　41		2	3	67					
	261				12	6			220	3	67					
	261				12	6			835	3	67					
	261				12	6			861	3	67					
	261				12	6			1287	3	67		B	A下		
	261				12	6			2394	3	67		B	B		
	261				12	8			1	3	67		A	Ⅰ上		
	261				12	8			1	3	67					
	261				12	8			4	3	67					
	261				12	10			72	3	67					
	261				12	11			29	3	67					

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
240													
240													
241	30		-	(4.1)	2.7		底部に重ね焼きの痕跡3か所，高台は削りだしか	全面釉	密	普通	なす外面釉部は黒色から暗緑褐色，露胎部は光沢のある鉄釉		灰色
242	10		(11.6)	-	1.8			全面釉	密	普通	内外面とも口縁部は褐色，胎部は黒色		灰色～灰褐色
243	-	破片	–	–	–		全面釉	全面釉	密	普通	内外面とも暗赤褐色～明褐色		淡褐色
244	20		(12.4)	-	5.4		器面はザラザラし光沢はない	全面釉	1～1.5㎜の半透明粒子を少量含む	普通	内外面釉部は暗灰色，露胎部は灰色		灰色～明淡褐色
245	25		(10.6)	-	3.3		全面釉	全面釉	密	普通	内外面口縁部は暗黄褐色，体部は黒色		灰色
246	-	破片	–	–	–		全面釉	全面釉	密	普通	内外面とも口縁部は暗褐色，体部は黒色		灰色
247	-		-	(4.3)	2.3			全面釉	密	普通	胎部釉部は黒色，露胎部は褐色，高台部は光沢のある鉄釉色		淡赤褐色
248	-	破片	–	–	–		全面釉	全面釉	密	普通	口縁部と体部の一部褐色，他の体部は黒色	黒褐色	
248													
248													
249	-	底部残存	-	4.2	2.6		高台に回転糸切り痕あり	全面釉	砂粒を含む	普通	内外面釉部は黒色，部分的に褐色～白色，露胎部は光沢のある鉄釉色		灰色～淡褐色
250	-	破片	–	–	–		全面釉	全面釉	密	普通	内外面とも口縁部は褐色，体部は暗褐色～黒色		淡暗褐色
251	30	底部欠損	(12.6)	-	5.7			全面釉	密	普通	内外面釉部は黒色から褐色，露胎部は暗赤褐色		暗灰褐色
251													
252	-	破片	–	–	–		全面釉	全面釉	密	普通	内外面口縁部は褐色，体部は暗褐色～黒色		灰褐色
252													
253	-	底部残存	-	4.0	1.4		黒く焼けひび割れあり，2次焼成を受けている？	全面釉	密	普通	黒色	褐色，部分的に白色	灰色～灰褐色
254	-	破片	–	–	–		全面釉	全面釉	密	普通	内外面とも暗褐色～黒色		灰色～灰褐色
255	20	底部欠損	(11.2)	-	5.3			全面釉	密	普通	釉部はやや黒目の褐色，露胎部は褐色		淡褐色
256	30	底部欠損	(12.6)	-	6.0			全面釉	密	普通	内外面とも釉部は褐色で，口唇部は黒っぽい，露胎部は褐色～暗赤褐色		淡褐色
256													
256													
256													
257	20		-	(9.6)	6.4	13／3	ロクロ			普通	鉄釉，ややてかりあり		灰白色～淡黄色
257													
257													
257													
257													
258	20	底部残存	-	9.6	3.5	9／2.5	ロクロ			普通	鉄釉		灰白色
258													
258													
258													
258													
259	30	底部残存	-	8.2	7.2	14／3	ロクロ			普通	鉄釉		灰白色
259													
259													
259													
259													
259													
259													
259													
259													
260	10		(30.0)	-	4.1		ロクロ			普通	鉄釉，てかりあり		淡黄色
260													
261	30		(31.2)	10.0	10.8	15／3	ロクロ			普通	鉄釉，部分的にてかりあり		灰白色～淡黄色
261													
261													
261													
261													
261													
261													
261													
261													
261													
261													
261													

土器観察表（1）　掲載遺物（11）

※　帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期細年 カワラケは藤瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
	261				12	12			8	3	67			上		
	261				12	12	堀　P	堀A	85	3	67			上		
	261				12	12	堀　P	堀A	94	3	67			中		
	261				12	12	堀　P	堀A	102	3	67			下		
	261				12	12	堀　P	堀A	111	3	67			下		
	261				12	12	堀　P	堀A	112	3	67			下		
	261				12	12	堀　P	堀A	127	3	67			下		
87	262	瀬戸・美濃	擂鉢		8	8			120	505						生焼け
88	263	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			2971	2	50		C	C	古瀬戸後期Ⅳ（新）	・大Ⅰa
	263				6	8			1	2	50		A	Ⅰ上		・大Ⅰa
	263				6	8			2	2	50		A	Ⅰ下		・大Ⅰa
	263				6	8	土坑　3		79	2	50			上		・大Ⅰa
	263				6	8	土坑　3		80	2	50			上		・大Ⅰa
	263				6	8			322	2	50		A	B直上		・大Ⅰa
	263				6	8	土坑　12b	10	611	2	50		C			・大Ⅰa
	263				6	8	土坑　12b	10	614	2	50		C			・大Ⅰa
	263				6	8	土坑　12b	10	623	2	50		C			・大Ⅰa
	263				6	8			633	2	50		D			・大Ⅰa
	263				6	8	土坑　12a	12	643	2	50		D			・大Ⅰa
	263				6	8	土坑　12a	12	645	2	50		D			・大Ⅰa
	263				6	8	土坑　12a	12	651	2	50		D			・大Ⅰa
	263				6	8	土坑　12a	12	656	2	50		D			・大Ⅰa
	263				6	8			785	2	50		D	C下		・大Ⅰa
	263				6	8			833	2	50		D	C下		・大Ⅰa
	263				6	8			860	2	50		D	C下		・大Ⅰa
	263				6	8			891	2	50		D	C下		・大Ⅰa
	263				6	8			898	2	50		D	C下		・大Ⅰa
	263				6	8			930	2	50		D	D直上		・大Ⅰa
	263				6	8			934	2	50		D	D直上		・大Ⅰa
	263				6	8			955	2	50		D	C下		・大Ⅰa
	263				6	8	土坑　38		1018	2	50		D			・大Ⅰa
	263				6	8	土坑　38		1019	2	50		D			・大Ⅰa
	263				6	8			1059	2	50		D	D直上		・大Ⅰa
	263				6	8			1142	2	50		D	D直上		・大Ⅰa
	263				6	8			1147	2	50		D	D直上		・大Ⅰa
	263				6	8			1398	2	50		C	C		・大Ⅰa
	263				6	12	土坑　13		1	2	50		A	下		・大Ⅰa
	263				6	12			4	2	50		B	Ⅱ最上面一括		・大Ⅰa
88	264	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			2342	6	3		C	C	古瀬戸後期Ⅳ（新）	
	264				6	6	堀　G	16	158	6	3		A	上		
	264				6	6	堀　G	16	213	6	3		A	中		
	264				6	6	堀　G	16	215	6	3		A	中		
	264				6	6	堀　G	16	224	6	3		A	中		
	264				6	6	堀　G	16	230	6	3		A	中		
	264				6	6	堀　G	16	232	6	3		A	中		
	264				6	6	堀　G	16	234	6	3		A	中		
	264				6	6	堀　G	16	239	6	3		A	上		
	264				6	6			255	6	3		A	中		
	264				6	6			1397	6	3		B	B		
89	265	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			195	12	28		A	A直上	古瀬戸後期Ⅳ（新）	
	265				6	6			43	12	28		A	A直上		
	265				6	6	堀　F	14	354	12	28		A	A直上		
	265				6	8			1277	12	28		D	D		
	265				6	8			1330	12	28		D	D		
89	266	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			3098	15	4		D	D		
	266				6	6	堀　G	16	103	15	4		B	下		
	266				6	6	堀　G	16	196	15	4		A	中		
	266				6	6	堀　G	16	205	15	4		A	中		
	266				6	6			1487	15	4		B	B		
	266				6	6			1495	15	4		C	B		
	266				6	6			1501	15	4		C	上		
89	267	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			2518	16	8		C	C	古瀬戸後期Ⅳ（新）	
	267				6	6			45	16	8		B	B		
	267				6	6			1163	16	8		B	B		
	267				6	6			1179	16	8		B	B		
	267				6	6			1180	16	8		B	B		
	267				6	6			1201	16	8		B	B		
	267				6	6			1676	16	8		B	B		
	267				6	6			1679	16	8		B	B		
	267				6	6			1680	16	8		B	B		
	267				6	6			1688	16	8		B	B		
	267				6	6			1689	16	8		B	B		
	267				6	6			1700	16	8		B	B		
	267				6	6			2092	16	8		B	B		
89	268	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	8	8			1163	1	55		D	D直上	古瀬戸後期Ⅳ（新）	
	268				8	7			197	1	55		B	下		
	268				8	8	土坑　49		1580	1	55		D	D		
	268				8	8	土坑　49		1593	1	55		D	D		
	268				8	8	土坑　49		1594	1	55		D	D		
90	269	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			2742	21	5		B	B		
	269				6	6	土坑　78		6	21	5		B			
	269				6	6	堀　F	14	197	21	5		A	中		
	269				6	6	堀　F	14	282	21	5		A			
	269				6	6			1380	21	5		B	B		
	269				6	6			1670	21	5		B	B		
90	270	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	8	8			588	2	56		C	C直上	大窯Ⅰ期（前）	志戸呂窯製品
	270				8	8			2	2	56		A	Ⅰ下		・大Ⅰa
	270				8	8			238	2	56		B	Ⅱ③④⑥		
	270				8	8			286	2	56		B	Ⅱ②		

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
261													
261													
261													
261													
261													
261													
261													
262	-	破片	–	–	–	8／1.9	ロクロ			不良	暗褐色		暗褐色
263	50		28.2	9.0	11.2	18／3	ロクロ			普通	鉄釉，部分的に橙色		灰白色
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
263													
264	40		-	9.4	7.9	11／2.5	ロクロ			普通	鉄釉，テカりあり		にぶい橙色
264													
264													
264													
264													
264													
264													
264													
264													
264													
264													
265	20		(29.6)	(9.6)	12.7	擂り目不明	ロクロ			普通	鉄釉		浅黄色～褐灰色
265													
265													
265													
265													
266	15		(30.4)	-	5.2	9／2	ロクロ			普通	鉄釉		灰白色
266													
266													
266													
266													
266													
266													
267	20		(28.0)	(8.6)	12.2	9／2.5	ロクロ			普通	鉄釉		灰白色
267													
267													
267													
267													
267													
267													
267													
267													
267													
267													
267													
268	60		30.2	(9.0)	11.7	10／2.5	ロクロ			普通	鉄釉		灰白色
268													
268													
268													
268													
269	15		(29.0)	-	6.1		ロクロ			普通	鉄釉		灰白色
269													
269													
269													
269													
269													
270	50	志戸呂か？	(28.6)	9.0	10.0	12／2，5，志戸呂？	ロクロ			普通	鉄釉		浅黄橙色
270													
270													
270													

土器観察表（1）　掲載遺物（12）

※　帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	分類 中分類	分類 小分類	遺物 帰属平場	遺物 出土平場	遺物 遺構番号	遺物 調査時No.	遺物 遺物番号	実測 番号	接合 番号	接合 のみ	遺物 所属面	遺物台帳 記載面	時期編年 カワラケは築瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
	270				8	8			287	2	56		B	Ⅱ②		
	270				8	8			448	2	56		C	Ⅱ⑧		
	270				8	8			462	2	56		C	Ⅱ⑨		
	270				8	8			1308	2	56		B	Ⅱ中		
	270				8	10			17	2	56		A	A		
	270				8	10			56	2	56		B	B		
90	271	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			2105	7	13		B	B	後Ⅳ新	
	271				6	6			6	7	13		A	I		
	271				6	6			158	7	13		A	A直上		
	271				6	6			843	7	13		B	A下		
	271				6	6			900	7	13		B	A下		
	271				6	10			29	7	13		A	A		
91	272	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	土坑 153		6	9	39		BC		後Ⅳ新	大1後？
	272				6	6			139	9	39		A	A直上		
91	273	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	10	10			5	1	60		A	A	後Ⅳ新	
	273				10	6			247	1	60		A	A直上		
	273				10	8	堀 L	D	2							
	273				10	10	土坑 9		2	1	60		A	A		
	273				10	10	土坑 9		6	1	60		A	A		
	273				10	10	土坑 9		7	1	60		A	A		
	273				10	10	土坑 9		9	1	60		A	A		
	273				10	10			10	1	60		A	A		
	273				10	10	土坑 9		11	1	60		A	A		
	273				10	10			12	1	60		A	A		
	273				10	10			17	1	60		A	A		
	273				10	10			22	1	60		A	A		
	273				10	10			37	1	60		A	A		
	273				10	10			39	1	60		B	B		
	273				10	10			48	1	60		B	B		
	273				10	10			76	1	60		C	C		
	273				10	10			81	1	60		C	C		
	273				10	10			85	1	60		C	C		
	273				10	10			101	1	60		C	C		
	273				10	10			115	1	60		B	B		
	273				10	10			116	1	60		B	B		
	273				10	10			122	1	60		B	B		
	273				10	10			123	1	60		B	B		
	273				10	10			124	1	60		B	B		
	273				10	14			1	1	60		A	表土下部一括		
	273				10	14			222	1	60		A	A		
92	274	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	12	12			4	1	70		B	Ⅱ最上面一括	後Ⅳ新	
	274				12	12			15	1	70			盛土上層		
	274				12	12			56	1	70			盛土中層		
	274				12	12	堀 P	堀A	91	1	70			上		
	274				12	12	堀 P	堀A	97	1	70			下		
	274				12	12	堀 P	堀A	98	1	70			下		
	274				12	12	堀 P	堀A	99	1	70			下		
	274				12	12	堀 P	堀A	102	1	70			下		
	274				12	12	堀 P	堀A	104	1	70			下		
	274				12	12	堀 P	堀A	105	1	70			下		
	274				12	12	堀 P	堀A	122	1	70			中		
	274				12	12	堀 P	堀A	125	1	70			下		
	274				12	12	堀 P	堀A	126	1	70			下		
	274				12	12	堀 P	堀A	130	1	70			下		
	274				12	12	堀 P	堀A	139	1	70			上		
92	275	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			1510	22			B	B	後Ⅳ新～大窯Ⅰ	
93	276	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			2880	18	33		B	B	後Ⅳ新～大窯Ⅱ	
	276				6	6	土坑 116		1	18	33		BC	中		
	276				6	6			6	18	33		A	I		
	276				6	6			41	18	33		A	A直上		
	276				6	6			42	18	33		A	A直上		
	276				6	6	堀 G	16	197	18	33		A	中		
	276				6	6			475	18	33		A	A直上		
	276				6	6			2253	18	33		A	A		
	276				6	6			2268	18	33		A	A		
	276				6	12			3	18	33		B	Ⅱ①直上一括		
93	277	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			1328	5	26		B	地山面	大窯Ⅰ	
	277				6	6			6	5	26		A	I		
	277				6	6	土坑 25		7	5	26		A	下		
	277				6	6	堀 G	16	71	5	26		A	下		
	277				6	6	堀 G	16	82	5	26		A	下		
	277				6	6	堀 G	16	93	5	26		B	下		
94	278	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			2818	4	27		B	B	大窯Ⅰ期（後）	・大Ⅰb
	278				6	6	溝 206		2	4	27		A	下		
	278				6	6	土坑 94		5	4	27		A	中		
	278				6	6			6	4	27		A	I		
	278				6	6	堀 H	堀C	9	4	27		A			
	278				6	6			130	4	27		A	A直上		
	278				6	6			283	4	27		A	A直上		
	278				6	6			1125	4	27		B	B		
	278				6	6			1773	4	27		B	B		
	278				6	6			2169	4	27		B	B		
	278				6	6			2730	4	27		B	B		
	278				6	6			2731	4	27		B	B		
94	279	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			3001	20	2		C	C	大窯Ⅰ期（後）	
	279				6	6	堀 G	16	135	20	2		A	中		
	279				6	6			333	20	2					
	279				6	6			386	20	2		A	A直上		

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
270													
270													
270													
270													
270													
270													
271	30		-	8.6	6.3	9／2.5				普通	鉄釉，ややてかりあり		灰白色
271													
271													
271													
271													
271													
272	70		28.7	8.9	10.5	10／2.5	ロクロ			良好	鉄釉，部分的に橙色，てかりあり		灰白色
272													
273	80		29.7	8.2	10.8	12／2.5	ロクロ			普通	鉄釉		浅黄橙色
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
273													
274	60		(30.5)	8.6	11.5	12／2.5	ロクロ			普通	鉄釉		灰白色
274													
274													
274													
274													
274													
274													
274													
274													
274													
274													
274													
274													
274													
275	30	底部残存	-	9.2	6.9	12／2.5	ロクロ			普通	鉄釉		浅黄橙色
276	30		(31.6)	-	12.8	10／2	ロクロ			普通	鉄釉		灰白色
276													
276													
276													
276													
276													
276													
276													
276													
276													
277	70		-	9.3	10.6	9／2.8	ロクロ			普通	鉄釉		灰白色
277													
277													
277													
277													
277													
278	50		28.2	9.0	10.3	10／1.8	ロクロ				鉄釉，一部灰白色	鉄釉，部分的に明黄褐色	灰白色
278													
278													
278													
278													
278													
278													
278													
278													
278													
278													
279	15		(25.6)	-	5.3	11／2.4	ロクロ			普通	鉄釉		差配白色～浅黄橙色
279													
279													
279													

土器観察表（1）　掲載遺物（13）

※　帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	分類 中分類	分類 小分類	遺物 帰属平場	遺物 出土平場	遺物 遺構番号	遺物 調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期編年 カワラケは藤瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
	279				6	6			986	20	2		B	B		
	279				6	6			2172	20	2		B	B		
	279				6	6			2431	20	2		C	C		
	279				6	6			2997	20	2		B	B		
	279				6	7			255	20	2					
	279				6	7			265	20	2					
	279				6	7			332	20	2					
	279				6	7			396	20	2					
94	280	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	10	10	土坑 1		11	2				中	大窯Ⅰ期（後）	
95	281	瀬戸・美濃	擂鉢		7	7	堀 D	堀A	240	1	44		B	上	大窯Ⅰ期（前）	大Ⅰb
	281				7	7	堀 D	堀A	12	1	44					
	281				7	7	堀 D	堀A	13	1	44					
	281				7	7			27	1	44		B	中		
	281				7	7			109	1	44		A	A直上		
	281				7	7	堀 D	堀A	232	1	44		B	上		
	281				7	8			1392	1	38		C	C		
	281				7	8			1240	1	44		D	D		
95	282	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			3099	1	38		D	D	大窯Ⅰ期（前）	
	282				6	6	土坑 45		1	1	38		A			
	282				6	6	堀 G	16	142	1	38		A	上		
	282				6	6	堀 F	14	144	1	38		A	下		
	282				6	6	堀 G	16	184	1	38		A	上		
	282				6	6	堀 G	16	189	1	38		A	上		
	282				6	6	堀 G	16	316	1	38		A	中		
	282				6	6			351	1	38		A	A直上		
	282				6	6			989	1	38		B	B		
	282				6	6			1189	1	38		B	B		
	282				6	6			1489	1	38		C	B下		
	282				6	6			1490	1	38		C	B下		
	282				6	6			1491	1	38		C	B		
	282				6	6			1492	1	38		C	B		
	282				6	6			1493	1	38		C	B		
	282				6	6			1494	1	38		C	B		
	282				6	6			1496	1	38		C	B下		
	282				6	6			1499	1	38		C	上		
	282				6	6			1515	1	38		B			
	282				6	6			1518	1	38		A	A		
	282				6	6			1997	1	38		B	B 2		
	282				6	7	堀 D	堀A	258	1	38		B	上		
	282				6	7	堀 D	堀A	259	1	38		B	A直上		
	282				6	7	堀 D	堀A	275	1	38		B	上		
	282				6	7			455	1	38		B	A上		
	282				6	8			260	1	38		B	B直上		
	282				6	8	土坑 10		637	1	38		C			
	282				6	8			1259	1	38		D	D直上		
	282				6	8			1356	1	38		D	C下		
	282				6	14			19	1	38		A	A		
	282				6	14			19	1	38					
96	283	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			1814	3	29		C	B下	後Ⅳ新	
	283				6	6	土坑 79		3	3	29		B	I		
	283				6	6	土坑 104		5	3	29		B	I		
	283				6	6	土坑 160		15	3	29		BC	I		
	283				6	6	堀 F	14	193	3	29		A	A直上		
	283				6	6			446	3	29		A	A直上		
	283				6	6			724	3	29		A	A直上		
	283				6	6			1202	3	29		B	B		
	283				6	6			1203	3	29		B	B		
	283				6	6			1214	3	29		B	B		
	283				6	6			1227	3	29		B	B		
	283				6	6			1232	3	29		B	B		
	283				6	6			1558	3	29		B	B		
	283				6	6			1720	3	29		B	B		
	283				6	6			1736	3	29		B	B		
	283				6	6			1744	3	29		B	B		
	283				6	6			1881	3	29		B	B		
	283				6	6			2382	3	29		B	B		
	283				6	6			2391	3	29		B	B		
	283				6	6			2401	3	29		B	B		
	283				6	6			2402	3	29		B	B		
	283				6	6			2404	3	29		B	B		
	283				6	6			2422	3	29		B	B		
	283				6	6			2446	3	29		B	B		
96	284	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			1498	11	1		C	上	大窯Ⅰ期（前）	・大Ⅰa
	284				6	6			1	11	1		A	I		
	284				6	6	土坑 20		2	11	1		A	中		
	284				6	6			6	11	1		A	A下		
	284				6	6			110	11	1		A	A直下		
	284				6	6			173	11	1		A	A直上		
	284				6	6			180	11	1		A	A直上		
	284				6	6			183	11	1		A	A直上		
	284				6	6			190	11	1		A	A直上		
	284				6	6	堀 F	14	215	11	1		A	上		
	284				6	6			289	11	1		A	A直上		
	284				6	6			726	11	1		A	A直上		
	284				6	6			894	11	1		B	A下		
	284				6	6			990	11	1		A	A		
	284				6	6			1174	11	1		B	B		
	284				6	6			1418	11	1		B	B		

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
279													
279													
279													
279													
279													
279													
279													
279													
280	40	底部片	－	8.6	7.8	12／2.5	ロクロ			普通	鉄釉		灰白色
281	50		(25.6)	9.2	11.7	24／3.5	ロクロ			普通	鉄釉，底部釉なく浅黄橙色		浅黄橙色
281													
281													
281													
281													
281													
281													
281													
282	70		28.2	9.2	11.5	13～14／3	ロクロ			良好	鉄釉を含みテカりある		浅黄橙色
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
282													
283	40		(30.1)	10.0	11.0	10／1.7	ロクロ，底部に焼成後の穿孔あり				鉄釉，部分的に橙色，部分的にテカりある		浅黄橙色
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
283													
284	40		(30.0)	(9.6)	10.6	15～16／3	ロクロ			普通	鉄釉，部分的に橙色		淡黄色
284													
284													
284													
284													
284													
284													
284													
284													
284													
284													
284													
284													
284													
284													
284													

土器観察表（1）　掲載遺物（14）

※　帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類			遺物					実測	接合	接合	遺物	遺物台帳	時期編年	器形等の特徴
		大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	のみ	所属面	記載面	カワラケは藤瀬氏による	・印は藤澤氏による
	284				6	6			1435	11	1		B	B		
	284				6	6			1574	11	1		B	B		
	284				6	6			2900	11	1		B	B		
	284				6	7	堀　D	堀A	483	11	1		B	上		
97	285	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	土坑　2		22	8	34		B	下	大窯Ⅰ期（前）	
	285				6	4			3	8	34		A	I		
	285				6	6	土坑　2		12	8	34		A	上		
	285				6	6	土坑　2		13	8	34		A	下		
	285				6	6	土坑　2		14	8	34		A	上		
	285				6	6	土坑　2		16	8	34		A	上		
	285				6	6	土坑　2		18	8	34		A	下		
	285				6	6	土坑　2		19	8	34		A	上		
	285				6	6	土坑　2		20	8	34		A	下		
	285				6	6	土坑　2		21	8	34		A	下		
	285				6	6	堀　G	16	107	8	34		B	下		
	285				6	6			471	8	34		A	A直上		
	285				6	6			600	8	34		A	A直上		
97	286	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			1663	14	36		B	B	大窯Ⅰ期（前）	
	286				6	6	ピット　18		1	14	36		A			
	286				6	6			6	14	36		A	I		
	286				6	6	堀　F	14	159	14	36		A	下		
	286				6	6			849	14	36		B	A下		
	286				6	6			918	14	36		B	A下		
	286				6	6			1336	14	36		B	地山面		
	286				6	8			1	14	36		A	I上		
	286				6	8			1387	14	36		C	C		
	286				6	10	土坑　1		2	14	36			中		
98	287	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	土坑　162		5	24	6		BC	中	大窯Ⅰ期（前）	
	287				6	6	土坑　162		1	24	6		BC	上		
	287				6	6	土坑　162		3	24	6		BC	上		
98	288	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	11	11	堀　N	堀B	85	1	66			中	大窯Ⅰ期（前）	・大窯Ⅰ期（後）
	288				11	11	堀　N	堀B	31	1	66			上～中		
	288				11	11	堀　N	堀B	34	1	66			上～中		
	288				11	11	堀　N	堀B	36	1	66			上～中		
	288				11	11	堀　N	堀B	41	1	66			上～中		
	288				11	11	堀　N	堀B	59	1	66			上～中		
	288				11	11	堀　N	堀B	74	1	66			上～中		
	288				11	11	堀　N	堀B	76	1	66			上～中		
	288				11	14			36	1	66		B	A下		
	288				11	14	堀　U	堀B	125	1	66		A	下		
	288				11	14			126	1	66		A	A		
	288				11	14			150	1	66		A	A		
	288				11	14			197	1	66		A	A		
98	289	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	8	8	土坑　12b	12	670	3	49		D		大窯Ⅰ期（後）	・後Ⅳ新
	289				8	8	土坑　12a	12	655	3	49		D			
	289				8	8	土坑　12b	12	674	3	49		D			
	289				8	8	土坑　12b	12	682	3	49		D			
	289				8	8			700	3	49					
	289				8	8	土坑　12b	12	701	3	49		D			
	289				8	8			1459	3	49					
	289				8	12			3	3	49		B	Ⅱ①直上一括		
99	290	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	12	12			3	2	68		B	Ⅱ①直上一括	大窯Ⅰ期（前）	
	290				12	12			?	2	68					
	290				12	14			1	2	68		A	表土下部一括		
	290				12	14			214	2	68		A	A		
99	291	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	12	堀　R	堀D	190	10	35			底面直上	大窯Ⅰ期（前）	・大Ⅰa
	291				6	6			2881	10	35		B	B		
	291				6	6			6	10	35		A	I		
	291				6	6			8	10	35		A	I		
	291				6	6			132	10	35		A	A直上		
	291				6	6			256	10	35		A	A直上		
	291				6	6			286	10	35		A	A直上		
	291				6	6			294	10	35		A	A直上		
100	292	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	14	14			23	1	73		B	B	大窯Ⅰ期（前）	
	292				14	12			19	1	73					
	292				14	14			114	1	73		A	A		
	292				14	14			121	1	73		A	A		
	292				14	14			128	1	73		A	A		
	292				14	14			181	1	73		A	A		
	292				14	14			182	1	73		A	A		
	292				14	14			183	1	73		A	A		
	292				14	14			184	1	73		A	A		
	292				14	14			185	1	73		A	A		
	292				14	14			186	1	73		A	A		
	292				14	14			192	1	73		A	A		
100	293	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	14	14			210	2			A	A	後Ⅳ新	
100	294	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			1766	13	37		C		大窯Ⅱ期（後）	・大窯Ⅱ前？
	294				6	6	土坑　153		3	13	37		BC	I		
	294				6	6	土坑　153		9	13	37		BC	I		
	294				6	6			278	13	37		A	A直上		
	294				6	6			342	13	37		A	A直上		
	294				6	6			814	13	37		B	A下		
	294				6	6			832	13	37		B	A下		
	294				6	6			1157	13	37		B	B		
	294				6	6			1259	13	37		B	B		
	294				6	6			1269	13	37		B	A下		
	294				6	6			1331	13	37		B	地山面		

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
284													
284													
284													
284													
285	60		29.4	8.6	12.5	8／2.7	ロクロ			普通	鉄釉，部分的に橙色		灰白色
285													
285													
285													
285													
285													
285													
285													
285													
285													
285													
285													
286	20		(30.0)	9.0	10.9	12／2.5	ロクロ				鉄釉		灰白色～淡黄色
286													
286													
286													
286													
286													
286													
286													
286													
286													
287	10		(29.0)	-	5.6	7／1.8	ロクロ			普通	鉄釉		淡黄色
287													
287													
288	20		(30.6)	-	5.3		鉄釉			普通	鉄釉		灰白色
288													
288													
288													
288													
288													
288													
288													
288													
288													
288													
288													
289	70		28.5	8.4	10.8	12／2.5							
289													
289													
289													
289													
289													
289													
289													
290	50		-	8.8	9.1	8／2.5	ロクロ			普通	鉄釉		灰白色
290													
290													
290													
291	60		28.2	9.4	10.2	13／3	ロクロ			普通	鉄釉		灰白色
291	60		28.2	9.4	10.2								
291													
291													
291													
291													
291													
291													
292	50		28.4	9.6	10.4	12／2.5	ロクロ			普通	鉄釉		浅黄橙色
292													
292													
292													
292													
292													
292													
292													
292													
292													
292													
293	25	底部残存	-	9.0	4.8	11／3	ロクロ			普通	鉄釉		浅黄橙色
294	20		30.5	-	5.7	5／1	ロクロ			普通	鉄釉，部分的に橙色		淡黄色
294													
294													
294													
294													
294													
294													
294													
294													
294													
294													

土器観察表（1）　掲載遺物（15）

※帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期編年 カワラケは鋸瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
	294				6	6			1333	13	37		B	地山面		
	294				6	6			1836	13	37		BC	上		
	294				6	6			1845	13	37					
	294				6	6			1848	13	37		BC	上		
	294				6	6			1850	13	37		BC	上		
	294				6	6			1853	13	37		BC	上		
	294				6	6			2117	13	37		B	A		
	294				6	6			2748	13	37		B	B		
	294				6	6			2794	13	37		B	B		
	294				6	6			2819	13	37		B	B		
	294				6	6			2829	13	37		B	B		
	294				6	6			2836	13	37		B	B		
	294				6	6			2845	13	37		B	B		
	294				6	6			2846	13	37		B	B		
	294				6	6			2847	13	37		B	B		
	294				6	6			3066	13	37		E	E		
101	295	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	1	1			1	214			A	I	大窯Ⅲ期（後）	
101	296	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			2413	240			B	B	古瀬戸後期Ⅳ（新）	
	296				6	6	土坑 79		2	240			A	I		
	296				6	6	土坑 104		2	240			B	I		
	296				6	6			721	240			A	A直上		
	296				6	6			1225	240			B	B		
	296				6	6			1538	240			B	B		
	296				6	6	堀 F	14		240			A			
101	297	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	堀 F	14	30	241			A	A直上	古瀬戸後期Ⅳ（新）	
	297				6	6	堀 F	14	29	241			A	A直上		
101	298	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	14	14			141	342			A	A	古瀬戸後期Ⅳ（新）	
101	299	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	14	14			154	343			A	A	古瀬戸後期Ⅳ（新）	
101	300	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	14	14			99	344			A	A	古瀬戸後期Ⅳ（新）	
101	301	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			1606	201	11		B	B	大窯Ⅰ期	
	301				6	6			88	201	11					
101	302	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	土坑 27		9	202			A	I	大窯Ⅰ期	
101	303	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	土坑 176		6	203			B	I	大窯Ⅰ期	
101	304	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	7	7	土坑 4		1	204			A		大窯Ⅰ期	
101	305	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	8	8			1387	205			C	C	大窯Ⅰ期	
	305				8	10	土坑 1		2	205						
101	306	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	堀 G	16	52	228			A	A直上	大窯Ⅰ期（後）	
101	307	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			2121	229			B	B	大窯Ⅰ期（後）	
101	308	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	土坑 143		1	230			A	I	大窯Ⅰ期（後）	
101	309	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	土坑 204		88	231			B	A下	大窯Ⅰ期（後）	欠番？
101	310	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	7	7			374	232			B	B	大窯Ⅰ期（後）	
101	311	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	7	7	土坑 12		2	233					大窯Ⅰ期（後）	
	311				7	7			346	233			B	B		
101	312	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	8	8			1134	234			D	D直上	大窯Ⅰ期（後）	
	312				8	12			33	234						
101	313	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	10	10			18	335					大窯Ⅰ期（後）	
101	314	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	10	10			3	336					大窯Ⅰ期（後）	
101	315	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	12	12			191	237				盛土上層	大窯Ⅰ期（後）	
101	316	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	14	14			197	238			A	A	大窯Ⅰ期（後）	
101	317	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	14	14			208	239			A	A	大窯Ⅰ期（後）	
101	318	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	1	1				215			A	I	大窯Ⅰ期（前）	
101	319	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	7			7	216	16		A	I上	大窯Ⅰ期（前）	
	319				6	6			326	216						
101	320	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			1383	217			B	B	大窯Ⅰ期（前）	
101	321	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	土坑 125		8	218			BC	I	大窯Ⅰ期（前）	
101	322	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	土坑 166		2	219			A	I	大窯Ⅰ期（前）	
	322				6	6	土坑 166		1	219			A	I		
101	323	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	堀 F	14	32	220			A	A直上	大窯Ⅰ期（前）	
101	324	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	堀 G	16	164	221			A	A直上	大窯Ⅰ期（前）	
101	325	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			850	227	17		B	A下	大窯Ⅰ期（前）	
	325				6	6			1939	227	17		A	A		
101	326	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	8	8			62	222			B	Ⅱ下	大窯Ⅰ期（前）	
101	327	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	8	8			1039	223			D	D直上	大窯Ⅰ期（前）	
	327				8	8			832	223			D	C下		
	327				8	8			1118	223						
101	328	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	8	8			4	224			B	Ⅱ中	大窯Ⅰ期（前）	
	328				8	8			1	224			A	I上		
	328				8	11	堀 N	堀B	29	224				上～中		
	328				8	12	堀 P	堀A	129	224				下		
	328				8	14			169	224			A	A		
101	329	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	14	14			180	225			A	A	大窯Ⅰ期（前）	
101	330	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	14	14			101	226			A	A	大窯Ⅰ期（前）	
101	331	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	土坑 240		10	206			BC	I	大窯Ⅱ期（前）	
102	332	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			1088	207			B	B	大窯Ⅱ期（前）	
102	333	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			1854	208			BC	覆土	大窯Ⅱ期（前）	
	333				6	6			1853	208						
102	334	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			2983	209			C	C	大窯Ⅱ期（前）	
	334				6	6	土坑 127		2	209						
102	335	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	14	14			1	210			A	表土下部一括	大窯Ⅱ期（前）	
102	336	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	4	4			2	213			A	A	大窯Ⅲ期（前）	
102	337	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			473	211			A	A直上	大窯Ⅲ期（前）	
102	338	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	堀 F	14	78	212			B	A下	大窯Ⅱ期（前）	
102	339	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	8	8			1564	5			D	D	古瀬戸後期Ⅳ（新）	

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
294													
294													
294													
294													
294													
294													
294													
294													
294													
294													
294													
294													
294													
294													
295	-	口縁部片	-	-	-		磨滅しており不明			普通	全面鉄釉		淡黄色
296	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		白色粒を含む	普通	全面鉄釉		淡黄褐色
296													
296													
296													
296													
296													
296													
297	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		白色粒を含む	普通	全面鉄釉	磨滅	淡黄褐色
297													
298	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		白色粒を含む	普通	全面鉄釉，部分的に橙色		淡黄褐色
299	-	口縁部片	-	-	-	5 ／1.2	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉，部分的に橙色		淡灰白色
300	-	口縁部破片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉，部分的に橙色		淡灰白色
301	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		淡褐色
301													
302	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
303	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
304	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
305	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		淡褐色
305													
306	-	破片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
307	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
308	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		暗白褐色
309	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
310	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉，部分的に橙色		黄褐色
311	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉，部分的に橙色		黄褐色
311													
312	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		暗灰白色
312													
313	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		暗灰白色
314	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
315	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
316	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		暗灰白色
317	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
318	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
319	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
319													
320	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
321	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
322	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
322													
323	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
324	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		暗白褐色
325	-	破片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉，部分的に橙色		黄褐色
325													
326	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
327	-	口縁部片	(31.0)	-	2.8	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
327													
327													
328	20	口縁部片	(31.0)	-	6.7	10／1.9	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
328													
328													
328													
328													
329	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
330	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉，てかりなし		黄褐色
331	-	口縁部片	-	-	-	6 ／1.5	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		灰白色
332	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		灰白色
333	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
333													
334	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		灰白色
334													
335	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		黄褐色
336	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		暗白色
337	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		暗灰白色
338	-	口縁部片	-	-	-	不明	ロクロ		緻密	普通	全面鉄釉		灰白色
339	20		(30.2)		5.9	7 ／1.4	ロクロ			普通	鉄釉		浅黄色

土器観察表（1）　掲載遺物（16）

※　帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期編年 カワラケは藤澤氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
102	340	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	12	12	堀　Q	堀B	154	4				下	古瀬戸後期Ⅳ（新）	擂鉢Ⅱ類
102	341	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	12	12	堀　Q	堀B	151	5				底面直上	古瀬戸後期Ⅳ（新）	擂鉢Ⅱ類
102	342	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	14	14			232	3	47		A	A	後Ⅳ新	
	342				14	8			292	3	47		B	Ⅱ②		
	342				14	8			1701	3	47		D	D下		
	342				14	12			15	3						
102	343	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	堀　F	14	173	25	23		A	中	後Ⅳ新～大窯Ⅱ	
	343				6	6	堀　F	14	143	25	23		A	中		
102	344	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	8	8	土坑　39		1273	4			D		大窯Ⅰ期（後）	
103	345	瀬戸・美濃	その他	香炉	6	6	土坑　76		4	2	1		B			
	345				6	6	土坑　127		11	2	1		A	B		
	345				6	6	土坑　128		28	2	1		A			
	345				6	6			67	2	1		A	A直上		袴腰形香炉
	345				6	6			1056	2	1		B	B		
103	346	瀬戸・美濃	その他	香炉	6	6	溝　1		3	1			A	下		筒形香炉
103	347	瀬戸・美濃	灰釉	双耳小壺	6	6	堀　G	16	150	3	2		A	上	後Ⅲ～Ⅳ古	
	347				6	6			1440	3	2		B	B		
	347				6	6			1481	3	2		B	B		
	347				6	6			1482	3	2		B	B		
	347				6	6			1485	3	2		B	B		
	347				6	6			2460	3	2		B	B		
103	348	瀬戸・美濃	その他	鉄釉小壺	6	6			2970	5	3		C	C		所在不明
	348				6	6			6	5	3		A	Ⅰ下		
	348				6	6			530	5	3		A	A直上		
103	349	瀬戸・美濃	その他	鉄釉小壺	6	7	堀　D	堀A	474	4	4				大窯	
	349				6	6			2950	4	4		B	B		
103	350	瀬戸・美濃	その他	鉄釉小壺	6	6	溝　18		2	103			A	Ⅰ	大窯	
103	351	瀬戸・美濃	その他	盤類	6	6	土坑　38		1	7			BC	中	後Ⅱ～Ⅲ	
103	352	瀬戸・美濃	その他	大皿	6	6			838	9			B	A下		
103	353	瀬戸・美濃	その他	大皿	8	8			25	1			B	Ⅱ中		
103	354	瀬戸・美濃	その他	大皿	12	12	堀　P	堀A	102	1				下		
103	355	瀬戸・美濃	その他	卸目付大皿	8	8			1319	3			B	C上		
	355				8	8			275	3						
103	356	瀬戸・美濃	その他	卸目付大皿	6	6			846	8			B	A下	後Ⅳ新	
103	357	瀬戸・美濃	その他	卸目付大皿	10	10			32	112					後Ⅳ新	
103	358	瀬戸・美濃	その他	盤類	8	8			587	2			C	C直上	後Ⅳ新	
103	359	瀬戸・美濃	その他	瓶子	6	6			2722	6	5		B	B	後Ⅰ～Ⅱ	
	359				6	6	土坑　27		2	6	5		A	中		
	359				6	6	土坑　27		4	6	5		A	中		
	359				6	6			6	6	5		A	Ⅰ		
	359				6	6	土坑　27		7	6	5		A	中		
	359				6	6	土坑　27		11	6	5		A	下		
	359				6	6	土坑　27		12	6	5		A	下		
	359				6	6			96	6	5		A	Ⅰ下		
	359				6	6			170	6	5		A	A直上		
	359				6	6			285	6	5		A	A直上		
	359				6	6			868	6	5		B	A下		
	359				6	6			2220	6	5		B	B		
103	360	瀬戸・美濃	その他	瓶子	6	6			686	102			A	A直上	後Ⅳ	
103	361	瀬戸・美濃	その他	鉄釉壺	8	8			981	104			D	C下	古瀬戸後期	
103	362	瀬戸・美濃	鉄釉	三足盤	7	7	土坑　33		1	1	4				後Ⅳ新	
	362				7	7	土坑　33		2	1	4					
104	363	常滑	壺		10	10			1	1	23		A			
	363				10	10			2	1	23		A			
	363				10	10	土坑　9		3	1	23					
	363				10	10	土坑　9		3	1	23					
	363				10	10			4	1	23		A			
	363				10	10			5	1	23		A			
	363				10	10	土坑　9		8	1	23					
	363				10	10			8	1	23		A			
	363				10	10	土坑　9		8	1	23					
	363				10	10			9	1	23		A			
	363				10	10			11	1	23		A			
	363				10	10			13	1	23		A			
	363				10	10			15	1	23		A			
	363				10	10			16	1	23		A			
	363				10	10			18	1	23		A			
	363				10	10			19	1	23		A			
	363				10	10			20	1	23		A			

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	(本/cm)	外面	内面			外面	内面	断面
340	20	口縁部残存	(30.4)	-	3.2		ロクロ			普通	鉄釉		淡黄色
341	10	口縁部残存	(30.0)	-	4.2		ロクロ			普通	鉄釉		灰白色
342	20		(30.0)	-	9.7	6 ／ 1	ロクロ			普通	鉄釉		淡黄色
343	20	底部残存	-	(8.0)	5.4	8 ／ 2.5	ロクロ			普通	鉄釉		灰白色
344	10		(28.0)	-	3.7	9 ／ 2.8	ロクロ				鉄釉		灰白色
345	60		11.0	-	5.0		底部は回転糸切り		密	良	内外面とも釉部は暗緑色（灰釉），それ以外は灰色		やや灰褐色
346	100	ほぼ完形	9.4	5.5	6.2		底部は回転糸切り，3足（獣脚を意識しているか）	外面全体鉄釉，内面にも釉が見られる	密	良	内外面とも釉部は黒褐色（鉄釉），それ以外は灰褐色		灰褐色
347	40		(3.6)	(5.0)	5.4		底部回転糸切り，内外面灰釉	灰釉	密	普通	白色～暗緑色（灰釉），無釉部は灰色	暗緑色（灰釉）	灰色～灰褐色
348	胴部のみ残存				4.4				密	普通	内外面鉄釉部はこげ茶色，無釉部は褐色		褐色～淡褐色
349	30	胴部のみ残存	-	-	4.2		内外面鉄釉		密	普通	全面鉄釉で，こげ茶色	全面鉄釉，釉のない部分は褐色	淡褐色
350	-	破片	–	–	–		内外面鉄釉		密	普通	全面鉄釉で，こげ茶色		淡褐色
351	-		-	-	-		底部回転ヘラケズリ，脚部が認められる		密	普通	褐褐色～赤褐色	灰釉で白色～暗褐色～褐色	淡褐色でやや黒色がかり，外面は黒色がかる
352	-	底部片	-	-	-		底部回転ヘラケズリ		密	やや粉っぽい感じ	暗灰白色	白褐色（うっすらと灰釉か？）	白褐色
353	40	底部の一部残存	-	(7.6)	1.5		脚は貼り付けで，3個のうち2古残存		密	普通	淡褐色	一部黄色褐色，他は淡暗褐色	淡褐色～淡暗褐色
354	-	口縁部片	-	-	-		内外面釉		密	普通	内外面釉部は暗緑色		淡褐色
355		口縁部片					内外面とも緑釉（灰釉		砂粒を含む	普通	内外面とも釉部は暗緑色，その他は灰褐色		淡褐色
356	-	口縁部片	-	-	2.3		全面灰釉		密	普通	内外面とも灰釉で暗褐色		白褐色
357	-	破片	–	–	–		全面灰釉		密	普通	内外面釉部は暗緑色		淡褐色
358	10	底部片	-	9.4	2.8		脚は貼り付け		1㎜大の半透明の粒子，砂粒を含む	普通	淡褐色	黒褐色	淡褐色
359	35	胴部のみ残存			18.2		灰釉	釉なし，下端に指頭によるナデ	密	普通	外面釉部は暗緑色（抹茶色），それ以外は灰褐色内面は灰色～灰褐色～灰黒色	灰色～灰褐色～灰黒色	暗灰褐色
360	-	口縁部片	(7.5)	-	1.8				緻密	良好	内外面黒茶色で，斑状に黒色		黒灰色
361	-	口縁部片	(12.6)	-	5.1		全面鉄釉		緻密	良好	鉄釉		白褐色
362		胴部片	–	–	–				砂粒を少量含む	普通	釉部はさび色，露胎部は淡褐色		
363	50		40	-	31.5				明赤褐色粒を含む	良好	明赤褐色	褐色	

土器観察表（1）　掲載遺物（17）

※　帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期編年 カワラケは簗瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
	363				10	10			24	1	23		A			
	363				10	10			25	1	23		A			
	363				10	10			26	1	23		A			
	363				10	10			45	1	23		A			
	363				10	10			66	1	23		C			
	363				10	10			67	1	23		C			
	363				10	10			68	1	23		C			
	363				10	10			69	1	23		C			
	363				10	10			70	1	23		C			
	363				10	10			71	1	23		C			
	363				10	10			74	1	23		C			
	363				10	10			79	1	23		C			
	363				10	10			87	1	23		C			
	363				10	10			100	1	23		C			
104	364	常滑	甕		8	8			1813	1	19		D	D下		
	364				8	3			637	1	19					
	364				8	7	堀　D	堀A	197	1	19		B			
	364				8	7	堀　D	堀A	210	1	19		B	堀A（新）下層		
	364				8	8			126	1	19		B	Ⅱ②		
	364				8	8			174	1	19		B	Ⅱ③④⑥B直上		
	364				8	8			521	1	19		D	Ⅱ⑦層下層		
	364				8	8			522	1	19		D	Ⅱ⑦層下層		
	364				8	8			524	1	19		D	Ⅱ⑦層下層		
	364				8	8			525	1	19		D	Ⅱ⑦層下層		
	364				8	8			526	1	19		D	Ⅱ⑦層下層		
	364				8	8			527	1	19		D	Ⅱ⑦層下層		
	364				8	8			528	1	19		D	Ⅱ⑦層下層		
	364				8	8			529	1	19		D	Ⅱ⑦層下層		
	364				8	8			530	1	19		D	Ⅱ⑦層下層		
	364				8	8			542	1	19		D	Ⅱ⑦層下層		
	364				8	8	土坑　12b	12	671	1	19		D			
	364				8	8	土坑　12b	12	677	1	19		D			
	364				8	8	土坑　12a	12	681	1	19		C			
	364				8	8	土坑　12b	12	705	1	19		D			
	364				8	8	土坑　12a	12	786	1	19		C	C下		
	364				8	8			1212	1	19		D	D		
	364				8	8			1266	1	19		D	D		
	364				8	8			1279	1	19		D	D		
	364				8	8			1333	1	19		D	C下		
	364				8	8			1485	1	19		D	D		
	364				8	8			1489	1	19		D	D		
	364				8	8			1492	1	19		D	D		
	364				8	8			1493	1	19		D	D		
	364				8	8			1494	1	19		D	D		
	364				8	8			1495	1	19		D	D		
	364				8	8			1496	1	19		D	D		
	364				8	8			1498	1	19		D	D		
	364				8	8			1556	1	19		D	D		
	364				8	12			14	1	19			盛土上層		
	364				8	12			39	1	19			盛土上層		
	364				8	12	堀　P	堀A	106	1	19			下		
	364				8	12	堀　P	堀A	178	1	19			上		
	364				8	13			3	1	19		B	Ⅱ①直上一括		
	364				8	14			177	1	19		A	A		
105	365	常滑	甕		6	6			1181	1			B	B		
105	366	常滑	甕		11	11	堀　N	堀B	130	2			B	下		
105	367	常滑	甕		12	12			173	3				盛土上層		
105	368	常滑	甕		6	6			694	2			A	A直上		
105	369	常滑	甕		13	13			3	1	25		B	Ⅱ①直上一括		
105	370	常滑	甕		12	12	堀　P	堀A	140	401				中		
105	371	常滑	甕		7	7	堀　D	堀A	206	402				下		
105	372	常滑	甕		6	6			14	403			A	I		
105	373	常滑	甕		6	6			84	404	16		A	A直上		
	373				6	6	堀　G	16	29	404	16		A	A直上		
105	374	常滑	甕		11	11	堀　N	堀B	78	4				上～中		
105	375	常滑	甕		12	12	堀　P	堀A	189	1				底面一括		五輪塔と伴出
106	376	常滑	甕		11	11	堀　N	堀B	50	1			B	上～中		
106	377	常滑	甕		11	11	堀　N	堀B	49	3			B	上～中		
106	378	常滑	甕		8	12			77	2	20		B	Ⅱ（盛土）上層		
	378				8	8	土坑　12b	12	675	2	20		D	D		
	378				8	8			985	2	20		D	C下		
	378				8	8			1297	2	20		B	Ⅱ直上		
	378				8	8	堀　I	堀C	1826	2	20		C	上		
	378				8	12			3	2	20		A	I下		

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm,（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調 （ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	(本/cm)	外面	内面			外面	内面	断面
363													
363													
363													
363													
363													
363													
363													
363													
363													
363													
363													
363													
363													
363													
364	30		-	(16.0)	41.7				暗緑灰色粒子を含む	普通	黒褐色	オリーブ黒色～暗褐色	
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364													
364	-		-	-	7.9								
364													
365	-		-	-	7.6				褐灰色粒子を含む	普通	灰赤褐色～暗赤灰色		
366	-				7.3				明赤褐色粒を含む	普通	明赤褐色	明赤褐色～黒褐色	
367	-		-	-	9.8				赤橙色粒・赤灰色粒を含む		にぶい赤褐色～暗赤灰色	にぶい赤褐色	
368	-		-	-	10.2				緑灰色粒子を含む	普通	褐色	にぶい赤褐色～にぶい橙色	
369									暗緑灰色粒を含む	普通	暗赤灰色～赤黒色	灰赤色～暗赤褐色	
370	-	口縁部片	-	-	7.0				緑灰色粒子を含む	普通	オリーブ灰色	にぶい赤褐色～にぶい橙色	暗灰黒色
371	-	口縁部片			3.6				オリーブ黒色粒を含む	普通	赤褐色	灰赤色～暗赤褐色	暗灰黒色
372	-	口縁部片			2.0				オリーブ黒色粒，長石粒を含む	普通	赤褐色	灰赤色～暗赤褐色	暗灰黒色
373	-	胴下位片	-	-	7.8				長石粒，黒色粒を含む	普通	にぶい赤褐色	灰黒色，白色粒が目立つ	灰黒色
373													
374	20		-	(11.4)	6.3				オリーブ黒色粒を含む	普通	赤褐色	灰色	
375	50		(13.2)	-	15.8				灰色粒・明赤褐色粒を含む	良好	暗赤灰色～暗赤褐色		
376	30		-	(18.2)	10.0				赤褐色粒を含む	普通	赤褐色	灰赤色	
377	30		-	(17.4)	7.2				オリーブ灰色粒子を含む	普通	にぶい赤褐色	オリーブ灰色	
378									暗オリーブ色粒子を含む	普通	暗赤褐色～にぶい赤褐色～灰色	褐灰色～灰オリーブ色	
378	40		-	(15.4)	21.5								
378													
378													
378													
378													

土器観察表（1）　掲載遺物（18）

※ 帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期編年 カワラケは鋸瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
	378				8	12			4	2	20		B	Ⅱ最上面一括		
	378				8	12			15	2	20			上		
	378				8	12	堀　P	堀A	92	2	20			上		
	378				8	12				2	20					
	378				8	12			?	2	20					
	378				8	14			212	2	20		A	排土中		
107	379	瓦質土器	擂鉢		6	6	土坑　165		2125	3	4		A	中		
	379	瓦質土器	擂鉢		6	6	土坑　165		2556	3	4					
107	380	瓦質土器	擂鉢		12	12			7	1				盛土上層		
107	381	瓦質土器	擂鉢		7	7	堀　D	堀A	205	1				下		
107	382	瓦質土器	擂鉢		10	10			103	1	6		C	C		
	382				10	10			6	1	6		A	A		
	382				10	10			57	1	6		B	B		
	382				10	10			97	1	6		C	C		
	382				10	10			112	1	6		D	B		
107	383	瓦質土器	擂鉢		6	6			2423	4	1		B	A		
	383				6	6	土坑　165		2	4	1					
107	384	瓦質土器	香炉	筒形香炉	6	6			2910	2			B	B		
	384				6	6			12	2			A	下		
	384				6	6			649	2			A	A直上		
107	385	瓦質土器	香炉	袴腰形香炉	6	6				1			A	A		外面上位はスタンプ状の文様、下位は蓮弁文が押圧施文されている
107	386	瓦質土器	香炉	袴腰形香炉	6	6	堀　F	14	198	511			A	A直上		
108	387	カワラケ	Ⅲ		1	1				1			A	I		
108	388	カワラケ	Ⅲ		4	4			106	1			A	A		
108	389	カワラケ	Ⅲ		4	4			101	2			A	A		
108	390	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀　F	14	229	1			A	中		
108	391	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀　F	14	207	2			A	中		
108	392	カワラケ	Ⅲ		6	6			1416	3			B	B		
108	393	カワラケ	Ⅲ		6	6			2078	4			B	B 2		
108	394	カワラケ	Ⅲ		6	6			403	5			A	A直上		
108	395	カワラケ	Ⅲ		6	6			282	6			A	A直上		
108	396	カワラケ	Ⅲ		6	6			2071	7			C	C		
108	397	カワラケ	Ⅲ		6	6			403	8			A	A直上		
108	398	カワラケ	Ⅲ		6	6			1862	9			C	C		
108	399	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀　F	14	28	10			A	上		
108	400	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀　F	14	23	11			B	上		
108	401	カワラケ	Ⅲ		6	6			1863	12			C	C		
108	402	カワラケ	Ⅲ		6	6			1420	13			B	B		
108	403	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀　F	14	369	14			A	中		
108	404	カワラケ	Ⅲ		6	6	土坑　160		8	15			BC	I		

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
378													
378													
378													
378													
378													
378													
379	口縁20		(26.4)	-	9.0	13／2.4			1～2㎜の黒色粒子を多量に含む	普通	オリーブ灰色		
379													
380	-		-	-	5.7	6／1.6			長石，石英粒を含む	普通	にぶい黄褐色～黒褐色		
381	口縁20		(30.2)	-	8.0	8／2			長石，石英粒を多量に含む		オリーブ灰色		
382	口縁30		(25.0)	-	5.5	摩滅している			長石，石英粒をやや多く含む	普通	オリーブ黒色～黒褐色		
382													
382													
382													
382													
383	20	底部片	-	(9.4)	2.3	7／1.5			長石，石英，雲母粒を多量に含む		オリーブ黒色	淡黄色	
383													
384	40		(14.8)	-	6.3		外面上位は箆文，下位は箆弁文がある，脚は3単位		砂粒を少量含む	普通	赤褐色，一部黒色		黒褐色
384													
384													
385		口縁の一部と脚の1本を欠損	(10.6)	-	7.9		ヘラ状工具で刻みを付けて脚を貼り付ける，脚は3単位		砂粒を含む	二次焼成を受けておりやや不良	明褐色，底部は煤けて黒い	暗褐色～黒褐色	
386	-	底部と脚2本残存	-	-	3.5		磨滅		砂粒を含む	普通	暗黄褐色		暗黄褐色
387	30		(7.1)	(4.0)	2		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の黒色粒子，1㎜～3㎜位の赤色粒子を少量含む	普通	にぶい橙色		
388	70		7.3	4.6	2		ロクロ成形，底部回転糸切り		白色砂粒，1㎜以下の黒色粒子を含む	普通	にぶい橙色		
389	30		87.49	5	1.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの茶色の粒子むを少量含む	普通			
390	100		7.4	4.4	1.6		ロクロ成形，底部回転糸切り		全体に黒色粒子が見られる	良好	にぶい黄橙色		
391	100		6.8	3.9	2.0		ロクロ成形，底部回転糸切り		中央に黒色粒子が見られる	良好	にぶい赤褐色		
392	100		7.0	3.8	1.6		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の黒色粒子が見られる	良好	橙色		
393	100		9.2	5.4	2.3		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の白色粒子が見られる	良好	明赤褐色		
394	70		7.8	4.2	2.0		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の砂粒を含む	良好	橙色		
395	60		9.0	5.0	2.1		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の砂粒を含む	良好	にぶい黄橙色		
396	70		10.8	5.0	2.6		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の砂粒が少量見られる	良好	橙色		
397	60		7.8	4.6	2.1		ロクロ成形，底部回転糸切り		1ミリ以下の黒色・白色の砂粒を含む	良好	橙色		
398	100		6.8	4.0	1.8		ロクロ成形，底部回転糸切り		1ミリ以下の黒色砂粒を少量含む	良好	にぶい黄橙色		
399	70		7.4	5.0	1.6		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の砂粒と，茶色の砂粒を含む	良好	黄橙色		
400	80		7.6	5.0	1.8		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の砂粒を少量含む	良好	にぶい黄色橙色		
401	50		(7.4)	4.2	1.7		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜前後の黒色砂粒と雲母を少量含む	良好	にぶい黄橙色		
402	30		(10.0)	(5.6)	2.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の黒色砂粒と雲母粒を含む	良好	にぶい橙色		
403	50		-	4.6	1.8		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の黒色粒と雲母粒を含む	良好	橙色		
404	60		(10.8)	5.4	2.3		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～2㎜の茶色の粒子と，1㎜以下の雲母粒を含む	良好	橙色		

土器観察表（1）　掲載遺物（19）

※ 帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期編年 カワラケは鋸瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
108	405	カワラケ	Ⅲ		6	6			1161	16			B	B		
108	406	カワラケ	Ⅲ		6	6	土坑 127		10	17			A	I		
108	407	カワラケ	Ⅲ		6	6			1741	18			B	B		
108	408	カワラケ	Ⅲ		6	6			1726	19			B	B		
108	409	カワラケ	Ⅲ		6	6			60	20			A	A直上		
108	410	カワラケ	Ⅲ		6	6			1447	21			B	B		
108	411	カワラケ	Ⅲ		6	6			2274	22			A	A		
108	412	カワラケ	Ⅲ		6	6			718	23			A	A直上		
108	413	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 F	14	150	24			A	下		
108	414	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 F	14	201	46	16		A	中		
108	414				6	6	堀 F	14	208	46	16		A	中		
108	414				6	6	堀 F	14	214	46	16		A	上		
108	415	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 F	14	23	47	18		B	上		
108	415				6	6	堀 F	14	24	47	18		A	上		
108	416	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 F	14	11	45	13		A	上		
108	416				6	6	堀 F	14	7	45	13		A	上		
108	417	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 F	14	326	48	20		A	中		
108	417				6	6	堀 F	14	282	48	20		A			
108	417				6	6	堀 F	14	305	48	20		A	中		
108	417				6	6	堀 F	14	318	48	20		A	中		
109	418	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 F	14	226	49	21		A	中		
109	418				6	6	堀 F	14	225	49	21		A	中		
109	419	カワラケ	Ⅲ		6	6			2115	51	23		B	B		
109	419				6	6	土坑 161		1	51	23		A	上		
109	419				6	6			2129	51	23		B	B		
109	420	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 F	14	314	50	22		A	中		
109	420				6	6	堀 F	14	313	50	22		A	中		
109	421	カワラケ	Ⅲ		6	6			2907	52	25		B			
109	421				6	6			2899	52	25		A			
109	421				6	6			2914	52	25		B			
109	422	カワラケ	Ⅲ		6	6			1861	53	27		C	C		
109	422				6	6			1865	53	27		C	C		
109	423	カワラケ	Ⅲ		6	6			2807	54	28		B	B		
109	423				6	6			3074	54	28		E	E		
109	424	カワラケ	Ⅲ		6	6			2440	55	29		C	C		
109	424				6	6			2112	55	29		B	B		
109	425	カワラケ	Ⅲ		6	6			1354	56	30		D	地山面		
109	425				6	6			932	56	30		B	A下		
109	426	カワラケ	Ⅲ		6	6			1698	57	31		B	B		
109	426				6	6			431	57	31		A	A直上		
109	427	カワラケ	Ⅲ		6	6			633	59	33		A	A直上		
109	427				6	6			1527	59	33		A	A		カワラケが数枚重なって出土
109	428	カワラケ	Ⅲ		6	6			788	60	35		A	A直上		
109	428				6	6			558	60	35		A	A直上		
109	428				6	6			769	60	35		A	A直上		
109	428				6	6			789	60	35		A	A直上		
109	429	カワラケ	Ⅲ		6	6			2205	58	32		B	B		
109	429				6	6			2204	58	32		B	B		
109	430	カワラケ	Ⅲ		6	6			1533	63	103		B	B		
109	430				6	6			1532	63	103		B	B		
109	431	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 F	14	208	64	104		A	中		
109	431				6	6	堀 F	14	206	64	104		A	中		
109	432	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 F	14	359	61	37		A	A直上		
109	432				6	6	堀 F	14	360	61	37		A	A直上		
109	433	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 F	14	216	65	105		A	上		
109	433				6	6	堀 F	14	213	65	105		A	上		
109	434	カワラケ	Ⅲ		6	6			2930	62	39		C	C		
109	434				6	6			2928	62	39		C	C		
109	434				6	6			2931	62	39		C	C		
109	435	カワラケ	Ⅲ		7	7	堀 D	堀A	283	1			C	上		
109	436	カワラケ	Ⅲ		7	7			103	2			A	A直上		

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
405	60		7.6	3.6	2.2		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～3㎜の空洞と，1ミリ以下の白色・茶色の粒子を含む	良好	明赤褐色		
406	40		(8.6)	5.0	2.4		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の白色粒を少量含む	普通	明赤褐色		
407	50		(6.8)	4.2	1.7		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の白色粒を少量含む	普通	明赤褐色		
408	70		7.0	4.0	1.8		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～2㎜の茶色粒子を少量含む	良好	明赤褐色		
409	40		(9.8)	6.0	2.3		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～2㎜の空洞が見られる	普通	にぶい黄橙色		
410	60		(7.2)	3.8	1.9		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～3㎜の茶色粒子と雲母粒を含む	普通	明赤褐色		
411	40		(9.0)	(4.4)	2.8		ロクロ成形，底部回転糸切り		1ミリ以下の白色粒，1ミリ以下の空洞が見られる	普通	橙色	暗灰黄色	
412	60		6.8	4	2.1		ロクロ成形，底部回転糸切り		空洞が見られる	普通	黒・橙色	褐灰色	
413	50		(10.0)	6.2	2.3		ロクロ成形，底部回転糸切り		1ミリ以下の雲母粒を含む	普通	明黄褐色		
414	90		7.0	4.2	3.0		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの黒色・雲母粒を含む	良好	明赤褐色		
414													
414													
415	70		10.4	6.6	2.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の雲母粒を含む	良好	黄橙色		
415													
416	20		(8.4)	(5.0)	2.9		ロクロ成形，底部回転糸切り		雲母粒を含む	良好	明黄褐色	黄橙色	
416													
417	50		(9.0)	4.2	2.3		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の空洞が見られる	普通	明赤褐色		
417													
417													
417													
418	70		7.8	3.8	1.9		摩滅しているがロクロ成形，底部回転糸切り		1～2㎜の茶色・乳白色粒を含む	良好	明赤褐色		
418													
419	30		(10.6)	(6.0)	2.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～2㎜の茶色・乳白色粒を含む	普通	橙色，口縁部は灰褐色		
419													
419													
420	50		(9.6)	5.6	2.2		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～2㎜の灰色粒を含む	普通	橙色		
420													
421	60		(11.0)	6.4	2.9		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の雲母粒と1～2㎜の乳白色粒を含む	良好	黄橙色		
421													
421													
422	60		7.2	4.2	1.8		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～3㎜ほどの茶色粒を含む	良好	黄橙色		
422													
423	50		(7.2)	4.2	1.8		ロクロ成形，底部回転糸切り		2~3㎜の茶色粒と1㎜以下の雲母粒を含む	良好	黄橙色		
423													
424	30		(9.6)	(4.6)	2.4		ロクロ成形，底部は摩滅して不明		1㎜以下の雲母粒を少量含む	良好	橙色		
424													
425	30		(10.6)	(6.2)	2.0		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜前後の雲母粒を少量含む	良好	黄橙色		
425													
426	60		(7.2)	4.0	2.1		ロクロ成形，底部回転糸切り		雲母粒を少量含む	良好	明赤褐色		
426													
427	40		10.0	(6.0)	2.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの白色粒を含む	良好			
427													
428	40		(9.0)	5.2	2.3		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の白色粒を少量含む	良好	灰褐色	明赤褐色	
428													
428													
428													
429	50		(9.8)	6.2	2.4		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜前後の茶色粒と雲母粒を含む	良好	明褐色～明黄褐色	黄褐色～明赤褐色	
429													
430	60		7.4	4.0	1.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの茶色粒と白色粒を含む	普通	橙色		
430													
431	80		6.8	(3.8)	2.0		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～2㎜の茶色粒と白色粒を含む	良好	明赤褐色		
431													
432	60		6.6	4.0	1.0		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の雲母粒と1~3㎜の茶色粒子を含む	良好	橙色		
432													
433	60		10.4	6.8					1～2㎜の白色粒を含む	良好	橙色～黒褐色	橙色	
433													
434	60		(10.0)	5.0	3.0		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜前後の茶色粒・雲母粒を含む	普通	明黄褐色		
434													
434													
435	80		6.5	4.4	1.6		ロクロ成形，底部回転糸切り		茶色粒を含む	良好	橙色		
436	80		8.7	4.9	2.5		ロクロ成形，底部回転糸切り			良好	橙色		

土器観察表（1）　掲載遺物（20）

※　帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期細年 カワラケは鎌瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
109	437	カワラケ	Ⅲ		7	7			440	3			C	C		
109	438	カワラケ	Ⅲ		7	7	土坑 4		2	4	50		A	上		
109	438				7	7			101	4	50		A	A直上		
109	438				7	7			111	4	50		A	A直上		
109	439	カワラケ	Ⅲ		8	8	土坑 67		1798	1			D			
109	440	カワラケ	Ⅲ		8	8			764	2			C	C		
109	441	カワラケ	Ⅲ		8	8	土坑 49		1595	3			D	D		
109	442	カワラケ	Ⅲ		8	8			?	4						
109	443	カワラケ	Ⅲ		8	8	土坑 49		1596	5			D	D		
109	444	カワラケ	Ⅲ		8	8	土坑 67		1803	6			D			
109	445	カワラケ	Ⅲ		8	8			246	7			A	B直上		
110	446	カワラケ	Ⅲ		8	8			765	8			C	C		
110	447	カワラケ	Ⅲ		8	8			961	9			D	C下		
110	448	カワラケ	Ⅲ		8	8	土坑 12b	12	578	10			D			
110	449	カワラケ	Ⅲ		8	8			766	11			C	C		
110	450	カワラケ	Ⅲ		8	8			735	12			C	C		
110	451	カワラケ	Ⅲ		8	8			1632	13			A	B直上		
110	452	カワラケ	Ⅲ		8	8			46	14			C	Ⅲ直上		
110	453	カワラケ	Ⅲ		8	8			986	15			D	C下		
110	454	カワラケ	Ⅲ		8	8			439	16			C	C直上		
110	455	カワラケ	Ⅲ		8	8			812	17	74		D	C下		
110	455				8	8			740	17	74		C	C		
110	455				8	8			741	17	74		C	C		
110	455				8	8			742	17	74		C	C		
110	455				8	8			744	17	74		C	C		
110	455				8	8			746	17	74		C	C		
110	455				8	8			747	17	74		C	C		
110	455				8	8			748	17	74		C	C		
110	455				8	8			756	17	74		C	C		
110	455				8	8			759	17	74		C	C		
110	455				8	8			761	17	74		C	C		
110	456	カワラケ	Ⅲ		8	8	土坑 67		1792	19	63		D	D下		
110	456				8	8			1342	19	63		D	C下		
110	456				8	8			1443	19	63		D	D		
110	456				8	8			1458	19	63		D	D		
110	456				8	8			1609	19	63		D	D下		
110	456				8	8			1636	19	63		D	D下		
110	456				8	8			1649	19	63		D	D下		
110	456				8	8			1713	19	63		D	D下		
110	457	カワラケ	Ⅲ		8	8	溝 62		1689	18	56		D	D下		
110	457				8	8	溝 62		1680	18	56		D	D下		
110	457				8	8	溝 62		1681	18	56		D	D下		
110	457				8	8	土坑 65		1737	18	56		C	D下		
110	458	カワラケ	Ⅲ		8	8			762	20	65		C	C		
110	458				8	8			246	20	65		A	B直上		
110	458				8	8			404	20	65		C	C直上		
110	459	カワラケ	Ⅲ		8	8	土坑 67		1799	24	66		D	D下		
110	459				8	8			1625	24	66		D	D下		
110	459				8	8			1634	24	66		D	D下		
110	460	カワラケ	Ⅲ		8	8			828	21	71		D	C下		
110	460				8	8			222	21	71		A	B直上		
110	460				8	8			255	21	71		A	B直上		
110	460				8	8			728	21	71		C	C		
110	460				8	8			729	21	71		C	C		
110	460				8	8			736	21	71		C	C		
110	460				8	8			743	21	71					
110	461	カワラケ	Ⅲ		8	8			760	22	78		C	C		
110	461				8	8			218	22	78		A	B直上		

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
437	30		(8.6)	5.0	2.0		ロクロ成形，底部回転糸切り		白色粒を含む	良好	にぶい橙色		
438	50		(9.6)	5.5	2.6		ロクロ成形，底部回転糸切り		白色・茶色粒を含む	良好			
438													
438													
439	100		7.2	4.8	1.7		ロクロ成形，底部回転糸切り		白色粒を含む	普通	明赤褐色～にぶい黄橙色	明赤褐色	
440	100		7.0	4.1	2.1		ロクロ成形，底部回転糸切り		茶色粒を含む	普通	明黄橙色		
441	80		9.3	5.4	2.8		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～2㎜ほどの茶色粒を含む	普通	橙色		
442	90		9.3	4.5	2.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの茶色粒を含む	普通	橙色		
443	100		9.3	5.5	2.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		茶色粒・白色粒を含む	普通	橙色		
444	80		9.4	5.0	2.4		ロクロ成形，底部回転糸切り		白色粒を含む	普通	橙色		
445	95		7.3	4.0	2.0		ロクロ成形，底部回転糸切り		茶色粒・黒色粒を含む	良好			
446	70		6.9	3.9	1.9		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～3㎜の茶色粒を含む	良好			
447	80		10.8	6.7	2.9		ロクロ成形，底部回転糸切り		茶色粒を含む	良好			
448	70		9.4	5.1	2.2		ロクロ成形，底部回転糸切り		白色粒を含む	良好			
449	90		7.0	3.6	2.2		ロクロ成形，底部回転糸切り		茶色粒を含む	良好	橙色		
450	70		6.9	4.2	2.4		ロクロ成形，底部回転糸切り		2～3㎜の茶色粒と1㎜ほどの黒色粒を含む	良好	橙色		
451	60		7.0	4.3	1.9		ロクロ成形，底部回転糸切り		茶色粒・白色粒を含む	良好	橙色		
452	30		(9.4)	5.7	2.2		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの茶色粒を含む	普通	にぶい黄橙色		
453	30		(9.0)	(5.2)	2.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の白色粒を含む	普通	橙色		
454	25		(7.7)	3.8	2.2		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの黒色粒を多く含む	普通	橙色	明黄橙色	
455	95		9.2	5.4	2.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの茶色粒を含む	普通	橙色		
455													
455													
455													
455													
455													
455													
455													
455													
455													
455													
456	95		9.2	5.2	2.2		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～2㎜ほどの茶色粒を含む	普通	橙色		
456													
456													
456													
456													
456													
456													
456													
457	90		9.4	5.3	2.7		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の白色粒と茶色粒を含む	普通	橙色		
457													
457													
457													
458	100		7.1	3.9	2.2		ロクロ成形，底部回転糸切り		少量の茶色粒と1㎜ほどの黒色粒を含む	普通	橙色		
458													
458													
459	70		9.3	5.4	2.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～2㎜ほどの茶色粒子を含む	普通	橙色		
459													
459													
460	70		9.2	5.0	2.6		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの赤色粒子と1～2㎜ほどの茶色粒を含む	普通	橙色		
460													
460													
460													
460													
460													
460													
461	80		9.3	5.0	2.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの茶色粒子を含む	普通	にぶい橙色		
461													

土器観察表（1）　掲載遺物（21）

※帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期細年 カワラケは藥瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
110	461				8	8			438	22	78		C	C直上		
110	461				8	8			738	22	78		C	C		
110	461				8	8			750	22	78		C	C		
110	461				8	8			757	22	78		C	C		
110	462	カワラケ	Ⅲ		8	8	土坑	12b 12	679	23	75		D	C直上		
110	462				8	8			1315	23	75		C	C上		
110	462				8	8			1316	23	75		C	C上		
110	463	カワラケ	Ⅲ		8	8			989	25	69		D	C下		
110	463				8	8			980	25	69		D	C下		
110	464	カワラケ	Ⅲ		8	8			753	26	57		C	C		
110	464				8	8			372	26	57		C	C直上		
110	464				8	8			374	26	57		C	C直上		
110	465	カワラケ	Ⅲ		8	8			1622	27	55		D	D下		
110	465				8	8			1462	27	55		D	D		
110	465				8	8			1463	27	55		D	D		
110	466	カワラケ	Ⅲ		8	8			1099	29	58		D	D下		
110	466				8	8			1796	29	58		D	D下		
110	467	カワラケ	Ⅲ		8	8			401	28	59		C	C直上		
110	467				8	8			403	28	59		C	C直上		
110	468	カワラケ	Ⅲ		8	8			1553	31	68		D	D		
110	468				8	8			1473	31	68		D	D		
110	468				8	8			1475	31	68		D	D		
110	468				8	8			1476	31	68		D	D		
110	468				8	8			1519	31	68		D	D		
110	469	カワラケ	Ⅲ		8	8	土坑	67	1790	32	77		D	D下		
110	469				8	8			958	32	77		D	C下		
110	469				8	8			1438	32	77		D	D		
110	469				8	8			1440	32	77		D	D		
110	469				8	8			1491	32	77		D	D		
110	469				8	8			1629	32	77		D	D下		
110	469				8	8	溝	62	1687	32	77		D	D下		
110	469				8	8	溝	62	1688	32	77		D	D下		
110	470	カワラケ	Ⅲ		8	8			824	30	54		D	B直上		
110	470				8	8			281	30	54		A	B直上		
110	471	カワラケ	Ⅲ		8	8	土坑	67	1793	33	73		D	D下		
110	471				8	8			1627	33	73		D	D下		
110	471				8	8			1628	33	73		D	D下		
110	471				8	8			1630	33	73		D	D下		
110	472	カワラケ	Ⅲ		8	8			1309	34	76		C	C上		
110	472				8	8			370	34	76		C	C直上		
110	473	カワラケ	Ⅲ		8	8	土坑	12a 12	631	35	81		D	C直上		
110	473				8	8			389	35	81		C	C直上		
110	473				8	8			613	35	81		C	C直上		
110	473				8	8			616	35	81		C	C直上		
110	473				8	8	土坑	12a 12	630	35	81		D	C直上		
110	474	カワラケ	Ⅲ		8	8			822	36	53		D	C下		
110	474				8	8			182	36	53		A	B直上		
110	474				8	8			285	36	53		A	B直上		
110	475	カワラケ	Ⅲ		8	8			752	37	79		C	C		
110	475				8	8			227	37	79		A	B直上		
110	475				8	8			230	37	79		A	B直上		
110	475				8	8			380	37	79		C	C直上		
110	475				8	8			458	37	79		C	C直上		
110	475				8	8			710	37	79		C	C		
110	475				8	8			712	37	79		C	C		
110	475				8	8			716	37	79		C	C		
110	475				8	8			718	37	79		C	C		
110	475				8	8			719	37	79		C	C		
110	475				8	8			721	37	79		C	C		
110	475				8	8			722	37	79		C	C		
110	475				8	8			726	37	79		C	C		
110	475				8	8			727	37	79		C	C		
110	475				8	8			750	37	79		C	C		
110	476	カワラケ	Ⅲ		10	10			63	1						
110	477	カワラケ	Ⅲ		10	10			23	2						
110	478	カワラケ	Ⅲ		10	10			95	3	100		C	C		
110	478				10	10			96	3	100		C	C		
110	479	カワラケ	Ⅲ		12	12	堀	P 堀A	123	2			B	中		
111	480	カワラケ	Ⅲ		12	12	堀	P 堀A	179	1			B	上		
111	481	カワラケ	Ⅲ		12	12	堀	P 堀A	156	3			B	下		
111	482	カワラケ	Ⅲ		12	12			10	4	101		D	盛土上層		
111	482				12	12			4	4	101		B	Ⅱ最上面一括		
111	482				12	12			9	4	101		D	上		
111	483	カワラケ	Ⅲ		6	6	土坑	222	8	34			C	I	I	

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
461													
461													
461													
461													
462	80		6.8	3.5	1.7		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～3㎜ほどの赤色粒子，1㎜ほどの茶色粒子を含む	普通	橙色		
462													
462													
463	40		(9.8)	5.4	2.5		磨滅しているがロクロ成形，底部回転糸切り		白色粒と1～2㎜ほどの茶色粒子を含む	普通	橙色		
463													
464	50		7.2	3.8	1.9		ロクロ成形		1～3㎜ほどの赤色粒子，1ミリ以下の茶色粒子を含む	普通	にぶい橙色		
464													
464													
465	60		(10.9)	5.4	2.6		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～3㎜ほどの茶色粒子を含む	普通	橙色		
465													
465													
466	50		(10.0)	5.6	2.6		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～3㎜程の茶色粒子を含む	普通	橙色		
466													
467	30		(9.8)	(5.2)	2.2		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の茶色粒子を含む	普通	にぶい橙色		
467													
468	60		(7.0)	4.0	1.9		ロクロ成形，底部回転糸切り		白色粒子を含む	普通	明赤褐色～にぶい黄橙色～黒褐色	にぶい橙色から黒褐色	
468													
468													
468													
468													
469	40		9.8	(5.0)	2.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の茶色粒子を含む	普通	橙色		
469													
469													
469													
469													
469													
469													
469													
470	40		(10.2)	5.6	2.3		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の茶色粒子を含む	普通	橙色		
470													
471	50		(9.4)	5.0	2.4		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の茶色粒子を含む	普通	橙色		
471													
471													
471													
472	30		(10.6)	6.2	2.1		ロクロ成形，底部回転糸切り		1ミリ以下の茶色粒子を含む	普通	にぶい橙色		
472													
473	30		(9.9)	5.0	2.6		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～2㎜ほどの茶色粒子を含む	普通	にぶい橙色		
473													
473													
473													
473													
474	30		(9.7)	5.0	2.4		ロクロ成形，底部回転糸切り		1ミリ以下の茶色粒子，2㎜ほどの赤褐色粒を含む	普通	橙色		
474													
474													
475	70		10.0	(5.6)	2.3		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの茶色粒子を含む	普通	橙色		
475													
475													
475													
475													
475													
475													
475													
475													
475													
475													
475													
475													
475													
476	50		9.8	6.2	2.3		ロクロ成形，底部回転糸切り		多量の1ミリ以下の茶色粒子と赤褐色粒を含む	普通	にぶい橙色		
477	30		-	(6.8)	2.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		白色粒，1～2㎜ほどの茶色粒子を含む	普通	橙色から黒色	黒色	
478	80		10.4	5.8	2.7		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～2㎜ほどの茶色粒子を含む		橙色		
478													
479	20		(6.8)	(3.3)	1.6		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの茶色粒子を含む	普通	橙色		
480	25		(14.3)	(8.4)	3.3		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～2㎜ほどの黒色粒を多く含む	普通	にぶい黄橙色～にぶい黄褐色		
481	25		(7.6)	3.8	1.7		ロクロ成形，底部回転糸切り		白色粒を含む	普通	にぶい橙色	釉がかかっている？	
482	30		(11.7)	(7.0)	2.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの黒色粒を多く含む	普通	にぶい橙色～黒褐色		
482													
482													
483	40		(14.0)	(7.6)	3.6		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～3㎜の茶色粒を含む	良好	橙色		

土器観察表（1）　掲載遺物（22）

※　帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類 大分類	中分類	小分類	遺物 帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	実測番号	接合番号	接合のみ	遺物所属面	遺物台帳記載面	時期細年 カワラケは簗瀬氏による	器形等の特徴 ・印は藤澤氏による
111	484	カワラケ	Ⅲ		6	6	ピット 40		3	41	5		BC	I	Ⅱ－1	
111	484				6	6	ピット 40		1	41	5		BC	I		
111	485	カワラケ	Ⅲ		6	6	土坑 25		6	30			A	中	Ⅲ－1	
111	486	カワラケ	Ⅲ		6	6			1817	31			C	C	Ⅲ－1	
111	487	カワラケ	Ⅲ		6	6			1661	37	1		B	B	Ⅲ－1	
111	487				6	6			1695	37	1		B	B		
111	487				6	6			1696	37	1		B	B		
111	488	カワラケ	Ⅲ		6	6			357	39	3		A	A直上	Ⅲ－1	
111	488				6	6	堀 F	14	210	39	3		A	A直上		
111	488				6	6	堀 F	14	211	39	3		A	A直上		
111	489	カワラケ	Ⅲ		6	6			1181	40	4		B	B	Ⅲ－1	
111	489				6	6	土坑 144		1	40	4		A	中		
111	489				6	6			1034	40	4		A	A		
111	489				6	6			1035	40	4		A	A		
111	490	カワラケ	Ⅲ		6	6			2093	29			B	B	Ⅲ－2	
111	491	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 F	14	15	32			A	中	Ⅲ－2	
111	492	カワラケ	Ⅲ		6	6			1548	33			B	B	Ⅲ－2	
111	493	カワラケ	Ⅲ		6	6			699	38	2		A	A直上	Ⅲ－2	
111	493				6	6			12	38	2		A	下		
111	493				6	6			428	38	2		A	A直上		
111	494	カワラケ	Ⅲ		6	6			1550	28			B	B	Ⅲ－3	
111	495	カワラケ	Ⅲ		6	6			2192	44	8		B	B	Ⅳ－1	
111	495				6	6			2176	44	8		B	B		
111	496	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 F	14	34	36			A	中	Ⅳ－2	
111	497	カワラケ	Ⅲ		6	6			1505	43	7		C	B下	特殊	
111	497				6	6			1419	43	7		B	B		
111	497				6	6			1509	43	7					
111	498	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 F	14	363	27			A	中	Ⅳ－3	
111	499	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 F	14	205	26			A	中	Ⅳ－4	
111	500	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 F	14	208	42	6		A	中	Ⅳ－4	
111	500				6	6	堀 F	14	209	42	6		A	中		
111	501	カワラケ	Ⅲ		6	6	土坑 41		1	35			A	上	古代末～中世初頭	柱状高台
111	502	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀 G	16	226	25			A	中	特殊	
111	503	カワラケ	Ⅲ 耳カワラケ		6	6			1602	66			B	B		
112	504	東海系羽釜	羽釜		6	6	堀 F	14	377	1	6		A	A直上		
	504				6	7			351	1	6					
112	505	東海系羽釜	羽釜		6	6			1652	2	5		B	B		
112	505				6	6			1597	2	5		B	B		
112	506	東海系羽釜	羽釜		6	6	土坑 160		29	4	11		BC	A直上		
112	507	東海系羽釜	茶釜	茶釜肩？	6	6	堀 G	16	228	3	4		A	A直上		
112	507				6	6	堀 G	16	4	3	4		A	I		
112	508	東海系羽釜	羽釜		6	6			1591	6	3		B	B		
112	508				6	6	土坑 165		1	6	3		A	I		
112	508				6	6			968	6	3		B	A下		
112	509	東海系羽釜	羽釜		6	6			1958	5	10		B	B1		
112	509				6	6			1595	5	10		B	B		
112	510	東海系羽釜	羽釜		12	12	堀 P	堀A	137	504	12			上		
112	510				12	12	堀 P	堀A	86	504	12			上		
112	511	東海系羽釜	羽釜		14	14			159	1						
113	512	内耳鍋	鍋		13	13			1	1			A	I①一括	中世	
113	513	内耳鍋	鍋		6	6	土坑 29		2	509			A	I		
113	514	内耳鍋	鍋		6	6	溝 1		2	510			A	I		
113	515	内耳鍋	鍋		12	12	堀 P	堀A	117	501				上		
113	516	内耳鍋	鍋		12	12			65	502			B	Ⅱ（盛土）上層		

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				揺り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	（本/cm）	外面	内面			外面	内面	断面
484	30		(11.0)	(6.0)	3.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の雲母粒・茶色粒子を含む	良好	黄橙色		
484													
485	30		(11.4)	(6.0)	2.7		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の雲母粒と白色粒を含む	良好	橙色		
486	50		(12.4)	7.6	2.9		ロクロ成形，底部回転糸切り		1ミリ以下の雲母粒を含む	普通	橙色		
487	100		9.2	5.4	2.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1ミリ以下の黒色・灰色粒を含む	普通	橙色		
487													
487													
488	70		9.8	5.8	2.6		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～2㎜の茶色粒を含む	普通	橙色	橙色から褐灰色	
488													
488													
489	70		10.2	5.4	2.6		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの灰色粒を含む	良好	明黄褐色		
489													
489													
489													
490	35		(7.0)	(4.0)	1.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の雲母粒を含む	良好	橙色		
491	45		(8.0)	6.0	1.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の白色粒と雲母粒を含む	良好	にぶい黄橙色		
492	45		(7.6)	(4.0)	1.5		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の火雲母粒を含む	良好	にぶい橙色		
493	70		10.4	6.6	2.7		ロクロ成形，底部回転糸切り		2～3㎜の乳白色粒，1㎜前後の灰色粒を含む	普通	橙色		
493													
493													
494	80		7.6	4.0	1.9		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の茶色・灰色粒・雲母粒を含む	良好	橙色		
495	60		(9.4)	5.0	3.0		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の雲母粒を含む	良好	暗褐色	明赤褐色	
495													
496	40		(10.6)	(6.0)	2.7		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの灰色粒を含む	良好	明赤褐色		
497	70		8.8	4.0	1.8		摩滅しているがロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの茶色粒子を含む	普通	橙色		
497													
497													
498	100		8.4	4.4	2.6		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の黒色粒を含む	良好	明赤褐色		
499	100		6.8	4.3	2.1		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜前後の灰色粒と茶色粒子を含む	良好	明赤褐色		
500	100		7.2	4.0	1.9		ロクロ成形，底部回転糸切り		1～2㎜の茶色粒子を含む	良好	明赤褐色		
500													
501	-		-	5.0	3.1		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜以下の雲母粒を含む	良好	橙色	灰黄褐色	
502	60		(6.8)	4.2	2.0		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜ほどの砂粒を含む	普通	橙色		
503	50		-	4.5	-		ロクロ成形，底部回転糸切り		1㎜前後の白色粒を含む	良好	黄橙色	橙色	
504	25	破片	-	-	6.1		胴部はヨコナデ，下位ハケ後ヨコナデ，下半は指頭圧痕	指頭押圧	雲母微細粒，砂粒を少量含む	普通	淡褐色だが全体にすすけて黒い	淡褐色	淡褐色
504													
505	-	破片	-	-	-			指頭押圧	砂粒を少量含む	普通	淡暗褐色，上部はすすけて黒褐色	暗褐色～黒褐色	淡暗褐色～暗褐色，鍔部の芯部は黒色
505													
506	鍔部片	破片	-	-	-		鍔上ヨコナデ，下ナデ	上位ヘラケズリ，下位指頭ナデ	雲母微細流，砂粒を少量含む	普通	淡褐色，上部はすすけて黒褐色	暗褐色～黒褐色	淡暗褐色～暗褐色，鍔部の芯部施は黒色
507	20	口縁部片	(14.4)	-	4.0		口縁部ヨコナデ，胴部ハケ後胴部ヨコナデ，胴部ハケ調整	ナデ	砂粒を少量含む	普通	淡褐色～暗褐色，一部すすけて黒褐色	淡褐色～淡暗褐色	淡褐色，口縁部の芯部は黒色
507													
508	口縁部片		(17.0)	-	4.4		口縁部ヨコナデ，火タブはナデ	頸部以下ハケ後ナデ	砂粒を少量含む	普通	淡褐色，口縁部は若干すすけている	淡褐色	芯部は黒色，外側は淡褐色
508													
508													
509	15	鍔部一部残存	-	-	-		鍔の上下はヨコナデ，下位はヘラケズリ	上位はナデ，中位はヘラナデ	砂粒を少量含む	普通	鍔部以下はすすけて暗褐色～黒褐色，上部は淡褐色	淡褐色	芯部は黒色，外側は淡褐色
509													
510	-	鍔部一部残存	-	-	4.0		鍔の上下はヨコナデ，下位はヘラケズリ	上位はナデ	砂粒を少量含む	普通	鍔部以下はすすけて暗褐色～黒褐色，上部は淡褐色	淡褐色	淡褐色
510													
511	20	底部他を欠損	(21.6)	(22.7)	6.0		鍔の上下はヨコナデ，下位はヘラケズリ	上位はナデ	砂粒を少量含む	普通	全体にすすけて暗褐色～黒褐色	淡褐色	淡褐色，中央部は黒色
512	-	破片	–	–	–				長石，石英粒を多量に含む	普通	黄褐色	淡黄色	
513	-	破片	–	–	–				石英粒，砂粒を含む	普通	黒茶色	暗灰白色	暗褐色
514	-	口縁部片	–	–	–				石英粒，砂粒を含む	普通	黒茶色	暗茶色	暗褐色
515	-	口縁部片	–	–	–				石英粒，砂粒を含む	普通	黒茶色，すす付着	暗茶色	暗赤褐色
516	-	口縁部片	–	–	–				石英粒，砂粒を含む	普通	黒茶色	暗黒茶色	暗赤褐色

土器観察表（1）　掲載遺物（23）

※　帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

図版番号	掲載遺物番号	分類			遺物					実測	接合	接合のみ	遺物	遺物台帳	時期編年	器形等の特徴
		大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号		所属面	記載面	カワラケは藁瀬氏による	・印は藤澤氏による
113	517	内耳鍋	鍋		12	12			41	503				盛土上層		
113	518	内耳鍋	鍋		14	14			107	508			A	A		
113	519	近世陶器	内耳鍋		11	11	堀　N	堀B	2	1			A	I上	近世	
113	520	近世陶器	内耳鍋		16	16			1	1					近世	
113	521	近世陶器	内耳鍋		16	16			2	2					近世	
113	522	近世陶器	内耳鍋？		12	12				1	3		A	I①一括		
114	523	近世陶器	瀬戸・美濃	鉄釉小壺	13	13			1	5			A	I①一括		
114	524	近世陶器	織部向付		12	12	堀　P	堀A	115	1			A	上	近世	織部向付
－		常滑	捏鉢	実測図なし	6	6	堀　G	16	132		15		A	A直上		捏鉢
－		常滑	捏鉢	実測図なし	6	6			2120		15		B	B		捏鉢

掲載遺物番号	遺存度	単位：cm，（ ）は復元値，現存値				擂り目	整形・調整		胎土	焼成	色調　（ ）は施釉部分		
	%	破片	口径	底径	器高・残存高	(本/cm)	外面	内面			外面	内面	断面
517	-	口縁部片	–	–	–				石英粒，砂粒を含む	普通	黒茶色	暗茶色	暗赤褐色
518	-	口縁部片	–	–	–				石英粒，砂粒を含む	普通	黒茶色	暗灰黒色	暗灰白色
519		破片	–	–	–				石英粒，砂粒を含む	普通	暗灰黄色	浅黄色	
520		破片	–	–	–				石英粒，砂粒を多量に含む	普通	オリーブ黒色	にぶい黄褐色	
521		破片	–	–	–				石英粒，針状の物質？を含む				
522		口縁部片	–	–	–				長石，石英粒を多量に含む	普通	暗灰黄色	灰オリーブ色	
523	60	口辺以上を欠損	-	5.0	10.2		底部はヘラ削りの後ナデ		半透明の1㎜大の粒子を多量に含む	普通	外面の釉は赤茶色，内面黒色から黒褐色		肌色
524	-	一部残存	-		3.6				砂粒を少量含む	普通	文様は褐色，「緑釉」部分は濃緑色の釉	白褐色	白褐色

第9表　土器観察表（2）　接合遺物（1）

帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

接合	分類			遺物					実測	接合	遺物	遺物台帳	時期編年
のみ	大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	所属面	記載面	カワラケは簗瀬氏による
1	白磁	皿		6	6			6	6		A	I	B群
2	青磁	皿	端反皿	6	6			1738		23	C	B下	
3	青磁	皿	稜花皿	6	7	堀　D	堀A	211	19	18	3	下	
4	青磁	皿		6	6			8		14	A	I	
				6	6			201		14	A	A直上	
				6	6			1907		14	A	A	
				6	6			2101		14	B	B	
5	青磁	皿		8	8			1403		16	C	C	
				8	8			1405		16	C	C	
6	青磁	皿		6	6			44		23	A	A直上	
				6	6			1335		23	E	地山面	
				6	6			1716		23	B	B	
7	染付	皿		7	6			1117	1	6	B	B	B1
				7	6			2106	1	6	B	B	B1
				7	6			2110	1	6	B	B	B1
8	染付	皿		7	12			4	1	9	B	Ⅱ最上面一括	B1
9	染付	皿		8	8			970	1	10	D	B1	
10	染付	レンツ・碗		8	8			12	6	69	A	I下	
11	瀬戸・美濃	灰釉	皿	6	6			560		4	A	A直上	
				6	6			576		4	A	A直上	
				6	6			765		4	A	A直上	
12	瀬戸・美濃	灰釉	皿	6	6			2735		5	B	B	
				6	6			2740		5	B	B	
13	瀬戸・美濃	灰釉	皿	6	6			274		10	A	A直上	
				6	6			973		10	B	A下	
				6	6			2563		10	B	B	
				6	6			2562		10	B	B	
14	瀬戸・美濃	灰釉	皿	6	6			244		14	B	A下	
				6	6			2755		14	B	A	
				6	6			2762		14	B	A	
				6	7	堀　D	堀A	481		14	14	上	
15	瀬戸・美濃	灰釉	皿	6	6			372		18	A	A直上	
				6	6	堀　F	14	164		18	A	上	
				6	6	堀　F	14	175		18	A	中	
				6	6	堀　G	16	105		18	B	下	
16	瀬戸・美濃	灰釉	皿	6	6			882		23	B	A下	
				6	6			886		23	B	B	
				6	6			1294		23	B	A	
17	瀬戸・美濃	灰釉	皿	6	6			1049		25	B	A	
				6	6			2089		25	B	B	
18	瀬戸・美濃	灰釉	皿	6	6			1587		38	B	B	
				6	6			1899		38	A	A	
				6	6			1959		38	B	B	
				6	6	ピット　52		1		38	B	B	
19	瀬戸・美濃	灰釉	皿	6	6	土坑　125		1		40			
				6	6	土坑　125		6		40	b c		
20	瀬戸・美濃	灰釉	皿	8	8			4		44	B	Ⅱ中	
				8	8	土坑　2		85		44	20	上	
21	瀬戸・美濃	灰釉	皿	8	8			1502		47	D	D	
				8	8			1714		47	D	D下	
				8	8			1810		47	D	D下	

土器観察表（2）　接合遺物（2）

帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

接合	分類			遺物					実測	接合	遺物	遺物台帳	時期編年
のみ	大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	所属面	記載面	カワラケは簗瀬氏による
22	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	8	8			847		63	C	C	
				8	8			1021		63	D	D	
				8	8			1281		63	D	D	
				8	8			1283		63	D	A	
				8	8	土坑　12		791		63	D		
				8	8	土坑　25		797		63	C	C下	
				8	8	土坑　39		1014		63	D		
				8	8	土坑　51		1666		63	D		
23	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			1776		69	C	C	
				6	6			3072		69	E	E	
24	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6	土坑　78		19		70	24		
				6	6	土坑　105		5		70		24	
25	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	14	14			194		71	A	A	
				14	14			227		71	A	A	
26	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			1424		76	B	B	
				6	6	ピット　117		1		76	b c		
				6	6	土坑　36		2		76	bc		
27	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			16		77	A	下	
				6	6			1581		77	B	B	
				6	6			1879		77	B	B	
				6	6	土坑　75		1		77	A		
				6	6	堀　F	14	31		77	A	上	
				6	6	堀　F	14	174		77	A	中	
28	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			314		78	A	A直上	
				6	6			880		78	B	A下	
				6	6			1305		78	B	A下	
				6	6			1364		78	E	地山面	
29	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			2654		79	C	B	
				6	6	ピット　24		1		79	b c		
				6	6	土坑　176		4		79	b	小	
30	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			949		81	B	A下	
				6	6			960		81	B	A下	
				6	6	土坑　225		2		81	b		
				6	6	土坑　225		3		81	b		
31	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			198		82	A	A直上	
				6	6			223		82	A	A直上	
				6	6	堀　F	14	115		82	A	A直下	
32	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			791		83	A	A直上	
				6	6	土坑　125		1		83	b c		
33	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			1302		84	B	A下	
				6	6	土坑　27		5		84	A	中	
34	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			1758		85	C	C	
				6	6	堀　F	14	110		85	A	中	
				6	6	堀　G	16	112		85	A	下	
35	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			732		86	A	A直上	
				6	6			757		86	A	A直上	
36	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			2984		87	C	C	
				6	6	土坑　125		9		87	b c		
37	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			618		88	A	A直上	
				6	6	堀　G	16	179		88	A	中	
38	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			12		89	A	Ⅰ下	
				6	6	堀　F	14	5		89	A	上	

土器観察表（2）　接合遺物（3）

帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

接合	分類			遺物					実測	接合	遺物	遺物台帳	時期編年
のみ	大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	所属面	記載面	カワラケは簗瀬氏による
39	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			1105		91	B	B	
				6	6	堀　F	14	198		91	A	中	
40	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			1122		92	B	B	
				6	6			1774		92	C	C	
41	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			271		93	A	A直上	
				6	6			828		93	B	A下	
42	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6	堀　F	14	64		94	A	中	
				6	6	堀　F	14	129		94	A	下	
43	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	6	6			229		95	A	A直上	
				6	6			2217		95	B	B	
44	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	8	8			1		96	A	Ⅰ上	
				8	8			453		96	C	C直上	
45	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	8	8			890		97	D	C下	
				8	8			930		97	D	D直上	
				8	8	土坑　12		788		97	D	C	
46	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	8	8			878		98	D	C下	
				8	8			1648		98	D	D下	
47	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	8	8			111		99	B	Ⅱ②	
				8	8	土坑　12		659		99	D		
48	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	7	7			361		100	B	B	
				7	7			371		100	B	B	
				7	7			377		100	B	B	
				7	7	堀　D	堀A	317		100	48	中	
49	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	10	10			73		101	C	C	
				10	10			88		101	C	C	
50	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	10	10			49		102	B	B	
				10	10	土坑　14		1		102	50		
				10	10	土坑　14		2		102	50		
51	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	10	10			43		103	A	A	
				10	10			23		103	A	A	
52	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	10	10			24		104	A	A	
53	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	12	12			4		107	B	Ⅱ最上面一括	
				12	12					107	A	表採	
54	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	12	12			1		109	A	Ⅰ①一括	
				12	12			15		109	54	盛土上層	
55	瀬戸・美濃	灰釉	Ⅲ	12	12	堀　P	堀A	121		110	55	中	
				12	12	堀　P	堀A	171		110	55	上	
56	瀬戸・美濃	その他	鉄目付大Ⅲ	8	8			275	3		A	中	後Ⅳ新
57	瀬戸・美濃	灰釉	腰折Ⅲ	6	6			95	23	23	B		
58	瀬戸・美濃	灰釉	灯明Ⅲ？	6	6			1900		80	A		A下
59	瀬戸・美濃	灰釉	縁釉小Ⅲ	12	12			1		108	59		
				12	12			6		108	59		
60	瀬戸・美濃	灰釉	丸碗	6	6	堀　F	堀A	184	3		C	底面直上	
61	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6	土坑　127		2	209		A	Ⅰ	大窯Ⅱ期(前)
62	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	10	10	土坑　1		2	205		62		大窯Ⅰ期
63	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	12	12			33	334		63	盛土上層	大窯Ⅰ期(後)
64	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	7			332	20	2	B	B	大窯Ⅰ期(後)
				6	7			396	20	2	B	B	大窯Ⅰ期(後)
				6	7	堀　D	堀A	255	20	2	B	上	大窯Ⅰ期(後)
				6	7	堀　D	堀A	265	20	2	B	上	大窯Ⅰ期(後)
65	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	6	6			326	216	16	A	A直上	大窯Ⅰ期(前)
66	瀬戸・美濃	擂鉢	錆釉	8	8			1208	6	48	D	D	古瀬戸後期Ⅳ(新)

土器観察表（2）　接合遺物（4）

帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

接合	分類			遺物					実測	接合	遺物	遺物台帳	時期編年
のみ	大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	所属面	記載面	カワラケは簗瀬氏による
67	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6	土坑　70		1		7	b c	I	大窯I期(後)
				6	6	土坑　130		4		7	bc	I	大窯I期(後)
68	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			1286		9	B	A下	古瀬戸後期IV(新)
				6	6			3076		9	E	E	古瀬戸後期IV(新)
69	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6	堀　F	14	180		10	A	上	
				6	6	堀　G	16	165		10	A	中	
70	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			472		14	A	A直上	
				6	6			496		14	A	A直上	
71	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			95		15	A	A直上	古瀬戸後期IV(新)
				6	6			764		15	A	A直上	古瀬戸後期IV(新)
				6	6			2047		15	B	B	古瀬戸後期IV(新)
72	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			850		17	B	A下	大窯I期(前)
73	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			1283		18	B	A下	古瀬戸後期IV(新)
				6	6			1577		18	B	B	古瀬戸後期IV(新)
				6	6			1590		18	B	B	古瀬戸後期IV(新)
				6	6			1711		18	B	B	古瀬戸後期IV(新)
				6	6			2410		18	B	B	古瀬戸後期IV(新)
74	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6	堀　F	14	73		19	B	中	
				6	6	堀　F	14	120		19	A	下	
75	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			384		20	A		
				6	6			2890		20	A	A	
				6	6			3294		20	E	E	
76	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			1339		21	E	地山面	
				6	6			2272		21	A	A	
77	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			2098		22	B	B	
				6	6			2252		22	A	A	
78	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			9		30	A	I	大窯I期(後)
				6	6			625		30	A	A直上	大窯I期(後)
				6	6			671		30	A	A直上	大窯I期(後)
				6	6			678		30	A	A直上	大窯I期(後)
				6	6			983		30	B	B	大窯I期(後)
				6	6	土坑　18		2		30	A	I	大窯I期(後)
				6	6	土坑　20		2		30	A	I	大窯I期(後)
				6	6	堀　G	16	182		30	A	中	大窯I期(後)
79	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			721		31	A	A直上	古瀬戸後期IV(新)
				6	6			1203		31	B	B	古瀬戸後期IV(新)
				6	6			1704		31	B	B	古瀬戸後期IV(新)
				6	6			1740		31	B	B	古瀬戸後期IV(新)
				6	6			1744		31	B	B	古瀬戸後期IV(新)
				6	6	土坑　79		2		31	b		古瀬戸後期IV(新)
				6	6	土坑　104		3		31	b		古瀬戸後期IV(新)
				6	6	堀　F	14	190		31	A	中	古瀬戸後期IV(新)
80	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			27		40	A	A直上	
				6	6			2156		40	B	B	
				6	6			2741		40	B	B	
81	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			197		41	A	A直上	
				6	6			216		41	A	A直上	
82	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			6		42	A	I	
				6	6			136		42	A	A直上	
83	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			6		43	A	I	
				6	6			192		43	A	A直上	
84	瀬戸・美濃	擂鉢		7	7			346		45	B	B	大窯I期(前)

土器観察表（2）　接合遺物（5）

帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

接合	分類			遺物					実測	接合	遺物	遺物台帳	時期編年
のみ	大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	所属面	記載面	カワラケは簗瀬氏による
				7	7	土坑　12		2		45	84	上	大窯Ⅰ期(前)
85	瀬戸・美濃	擂鉢		8	7	土坑　3		14		46	A		大窯Ⅱ期(前)
				8	8			61		46	B	Ⅱ下	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			67		46	85	中	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			303		46	B	Ⅱ②	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			325		46	A	B直上	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			857		46	D	C下	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			885		46	D	C下	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			892		46	D	C下	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			901		46	D	C下	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			923		46	D	C下	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			941		46	D	D直上	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			945		46	D	D直上	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			947		46	D	C下	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			1022		46	D	C下	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			1023		46	D	C下	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			1051		46	D	C下	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			1199		46	D	D	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			1282		46	D	D	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			1376		46	D	B	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			1379		46	D	D直上	大窯Ⅱ期(前)
				8	8			1612		46	D	D下	大窯Ⅱ期(前)
				8	8	土坑　5		73		46	85	上	大窯Ⅱ期(前)
				8	8	土坑　12		795		46	D		大窯Ⅱ期(前)
				8	8	土坑　12		807		46	D		大窯Ⅱ期(前)
				8	10	土坑　1		10		46	85		大窯Ⅱ期(前)
				8	11	堀　N	堀B	131		46	B	下	大窯Ⅱ期(前)
				8	12			3		46	B	Ⅱ①直上一括	大窯Ⅱ期(前)
86	瀬戸・美濃	擂鉢		8	12			15	3	47	86	上	後Ⅳ新
				8	12			292	3	47	Ⅱ②		
				8	12			1701	3	47	D		
				8	14			232	3	47	A		
87	瀬戸・美濃	擂鉢		8	8			2		51	A	Ⅰ下	
				8	8			121		51	B	Ⅱ②	
88	瀬戸・美濃	擂鉢		8	8	土坑　49		1583		52	D	D	
				8	10			34		52	A	A	
89	瀬戸・美濃	擂鉢		8	8			852		53	D	C下	
				8	8			1566		53	D	D	
90	瀬戸・美濃	擂鉢		8	8			293		54	B	Ⅱ②	
91	瀬戸・美濃	擂鉢		8	8			2		57	A	Ⅰ下	
				8	8			668		57	C	C直上	
				8	8			869		57	C	C直上	
				8	8			919		57	D	C下	
				8	8			1637		57	D	D下	
				8	8			665		57	C	C直上	
				8	8	土坑　51		1671		57	D		
92	瀬戸・美濃	擂鉢		8	8			1035		58	D	D直上	古瀬戸後期Ⅳ(新)
				8	8			1326		58	C	C	古瀬戸後期Ⅳ(新)
				8	8			1633		54	D	D下	
93	瀬戸・美濃	擂鉢		8	8			1265		59	D	D	
				8	8			1394		59	C	C	
				8	10			10		59	A	A	

土器観察表（2）　接合遺物（6）

帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

接合	分類			遺物					実測	接合	遺物	遺物台帳	時期編年
のみ	大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	所属面	記載面	カワラケは簗瀬氏による
				8	10			52		59	B	B	
				8	10			127		59	B	B	
				8	10			128		59	B	B	
94	瀬戸・美濃	擂鉢		10	8	堀　L	堀D	2	1	60	D	上	
95	瀬戸・美濃	擂鉢		10	10			53		61	B	B	
				10	10			114		61	B	B	
				10	10			9		61	A	A	
96	瀬戸・美濃	擂鉢		10	10			7		63	A	A	
				10	10			57		63	B	B	
97	瀬戸・美濃	擂鉢		10	10			22		64	A	A	
				10	10			125		64	B	B	
98	瀬戸・美濃	擂鉢		11	11	堀　N	堀B	63		65	98	上～中	
				11	11	堀　N	堀B	68		65	98	下	
				11	11	堀　N	堀B	133		65	98	下	
99	瀬戸・美濃	擂鉢		8	6			220	3	67	A	A直上	大窯I期（前）
				8	6			835	3	67	B	A下	大窯I期（前）
				8	6			861	3	67	B	A下	大窯I期（前）
				8	10			72	3	67	C	C	大窯I期（前）
				8	11	堀　O	堀A	29	3	67	99	上～中	大窯I期（前）
				8	14			16	3	67	A	A	大窯I期（前）
				8	14			169	3	67	A	A	大窯I期（前）
100	瀬戸・美濃	擂鉢		12	12			3		71	100		
				12	12			?		71	B	Ⅱ①直上一括	
				12	12	堀　P	堀A	89		71	100	中	
				12	12	堀　P	堀A	119		71	100	上	
101	瀬戸・美濃	擂鉢		12	12			3		72	B	Ⅱ①直上一括	
				12	12			4		72	B	Ⅱ最上面一括	
102	瀬戸・美濃	擂鉢		14	12			19		73	102	盛土上層	大窯I期（前）
103	瀬戸・美濃	擂鉢		14	14			1		75	A	表土下部一括	大窯I期（前）
				14	14			73		75	A	A	大窯I期（前）
				14	14			180		75	A	A	大窯I期（前）
104	瀬戸・美濃	擂鉢		14	14			1		76	A	表土下部一括	古瀬戸後期Ⅳ(新)
				14	14			75		76	A	A	古瀬戸後期Ⅳ(新)
105	瀬戸・美濃	擂鉢		14	14			193		77	A	A	
				14	14			205		77	A	A	
106	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			696		78	A	A直上	
				6	6			1110		78	B	B	
107	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			16		79	A	下	大窯I期（前）
				6	6			2892		79	A	A	大窯I期（前）
108	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			16		80	A	I	古瀬戸後期Ⅳ(新)
109	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			2983		81	C	C	
				6	6	土坑　127		2		81	A		
				6	6	堀　F	14	105		81	B	下	
110	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			6		82	A	下	
				6	6			3119		82	C	C	
111	瀬戸・美濃	擂鉢		6	6			344		83	A	A直上	大窯I期（後）
				6	6			844		83	B	A下	大窯I期（後）
				6	6			1279		83	B	A下	大窯I期（後）
				6	6			2116		83	B	B	大窯I期（後）
112	瀬戸・美濃	擂鉢		8	6			3294		84	E	E	
				8	6	土坑　5		2		84	A	中	
				8	8			42		84	B	Ⅱ下	

土器観察表 (2)　接合遺物 (7)

帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

接合	分類			遺物					実測	接合	遺物	遺物台帳	時期編年
のみ	大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	所属面	記載面	カワラケは築瀬氏による
				8	8			1722		84	C	C～D	
113	常滑	壺・？		6	6			1036		17	A	A	
				6	6			1422		17	B	B	
				6	6	堀　G	16	84		16	A	下	
114	常滑	甕		6	4			10		2	B	A下	
				6	4			28		2	A	A	
				6	6			127		2	A	B	
				6	6			282		2	A	上	
				6	6			493		2	A	A直上	
				6	6			569		2	A	A直上	
				6	6			745		2	A	A直上	
				6	6			796		2	A	A直上	
				6	6			1102		2	B	B	
				6	6			1218		2	B	B	
				6	6			1306		2	B	A下	
				6	6			1563		2	B	A直上	
				6	6			1743		2	B	B	
				6	6			1780		2	C	C	
				6	6			1977		2	B	B	
				6	6			2386		2	B	B	
				6	6			2387		2	B	B	
				6	6	溝　113		4		2	bc	中	
				6	6	堀　F	14	100		2	B	下	
				6	6	堀　F	14	106		2	B	下	
				6	6	堀　G	16	46		2	A	中	
				6	6	堀　G	16	47		2	A	中	
				6	6	堀　G	16	49		2	A	中	
				6	6	堀　G	16	51		2	A	中	
				6	6	堀　G	16	57		2	A	中	
				6	6	堀　G	16	75		2	B	中	
				6	6	堀　G	16	81		2	A	中	
				6	6	堀　G	16	100		2	B	下	
				6	6	堀　G	16	110		2	A	中	
				6	6	堀　G	16	162		2	A	中	
				6	6	堀　G	16	169		2	A	中	
				6	6	堀　G	16	174		2	A	中	
				6	6	堀　G	16	176		2	A	中	
				6	6	堀　G	16	186		2	A	中	
				6	6	堀　G	16	208		2	A	中	
				6	6	堀　G	16	217		2	A	中	
				6	6	堀　G	16	245		2	B	中	
				6	6	堀　G	16	247		2	A	中	
				6	7	堀　D	堀A	259		2	114	上	
				6	7	堀　E	堀B	125		2	A	自然堆積層最上位	
				6	8			132		2	B	Ⅱ③④⑥	
				6	8			161		2	B	Ⅱ③④⑥	
				6	8			181		2	A	B	
				6	8			234		2	A	B直上	
				6	8			236		2	A	B直上	
				6	8			237		2	A	B直上	
				6	8			358		2	C	C直上	
				6	8			688		2	D	C下	

土器観察表（2）　接合遺物（8）

帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

接合	分類			遺物					実測	接合	遺物	遺物台帳	時期編年
のみ	大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	所属面	記載面	カワラケは築瀬氏による
				6	8			820		2	D	C下	
				6	8			863		2	C	C	
				6	8			1312		2	B	C上	
				6	8			1313		2	B	C上	
				6	8			1339		2	D	C下	
115	常滑	甕		8	8			2		3	A	I下	
				8	8			23		3	B	II中	
				8	8			430		3	C	C直上	
				8	12			3		3	B	II①直上一括	
				8	12			4		3	B	II最上面一括	
				8	12	堀　P	堀A	102		3	115	下	
				8	12	堀　P	堀A	146		3	115	上	
116	常滑	甕		6	6			15		4	A	I	
				6	6			117		4	A	A直上	
				6	6			202		4	A	A直上	
				6	6			926		4	B	A下	
				6	6			1636		4	E	地山面	
				6	6			3294		4	E	E	
				6	6	土坑　100		1		4	bc		
117	常滑	甕		6	6			12		5	A	I	
				6	6			521		5	A	A直上	
				6	6			712		5	A	A直上	
				6	6			847		5	B	A下	
				6	6			1423		5	B	B	
				6	6			1612		5	B	B	
				6	6	堀　G	16	122		5	A	中	
118	常滑	甕		6	6	堀　G	16	100		6	B	下	
				6	6	堀　G	16	237		6	A	中	
				6	6	堀　G	16	254		6	A	中	
				6	6	堀　G	16	264		6	A	中	
119	常滑	甕		6	6			950		7	B	A下	
				6	6			2361		7	B	B	
				6	6	土坑　23		1		7	A	上	
				6	6	土坑　63		1		7	A	中	
				6	6	土坑　63		2		7	A	中	
				6	6	土坑　63		3		7	A	中	
				6	6	土坑　174		22		7	c	中	
120	常滑	甕		6	6			6		8	A	I下	
				6	6			63		8	A	A直上	
				6	6			411		8	A	A直上	
				6	6			778		8	A	A直上	
				6	6			1693		8	B	B	
				6	6			2134		8	B	B	
				6	6			2869		8	B	B	
				6	6	土坑　174		30		8	c	上	
				6	6	堀　F	14	94		8	B	上	
				6	6	堀　F	14	140		8	A	中	
				6	6	堀　F	14	145		8	A	下	
				6	6	堀　F	14	154		8	A	下	
				8	8			594		8	B	II③	
				8	8	土坑　25		799		8	120		
121	常滑	甕		6	6			2072		9	C	C	

土器観察表（2）　接合遺物（9）

帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

接合	分類			遺物					実測	接合	遺物	遺物台帳	時期編年
のみ	大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	所属面	記載面	カワラケは築瀬氏による
				6	6			2238		9	A	A	
				6	6			2714		9	C	C	
				6	6			2747		9	B	B	
122	常滑	甕		6	6			14		10	A	上	
				6	6			95		10	A	I下	
				6	6			101		10	A	A直上	
				6	6			104		10	A	A直上	
				6	6			848		10	B	A下	
				6	6			1129		10	B	B	
				6	6			1285		10	B	A下	
				6	6			1678		10	B	B	
				6	6			1874		10	C	C	
				6	6			2821		10	B	B	
				6	6			2958		10	B	B	
				6	6	土坑　130		2		10	bc		
				6	6	堀　G	16	118		10	A	上	
123	常滑	甕		4	4			52		11	A	A	
				6	6			6		11	A	I下	
				6	6			14		11	A	I下	
				6	6			16		11	A	I下	
				6	6			20		11	A	I上	
				6	6			255		11	A	A直上	
				6	6			418		11	A	A直上	
				6	6			873		11	B	A下	
				6	6			1296		11	B	A下	
				6	6			1324		11	E	地山面	
				6	6			1658		11	B	B	
				6	6			1745		11	B	B	
				6	6			1888		11	B	B	
				6	6			3294		11	E	E	
				6	6	堀　F	14	332		11	A	下	
				6	6	堀　G	16	24		11	A	上	
				6	6	堀　G	16	63		11	A	下	
				6	6	堀　G	16	73		11	B		
				6	6	堀　G	16	207		11	A	中	
				6	6	堀　G	16	231		11	A	中	
				7	7			200		11	A	A直上	
				7	7			370		11	B	B	
				7	7	堀　D	堀A	197		11	A	A直上	
				7	7	堀　D	堀A	239		11	A	A直上	
				7	7	堀　D	堀A	247		11	123	上	
				8	8			52		11	B	II中	
				8	8			125		11	B	II②	
				?	?					11	123		
124	常滑	甕		6	6	堀　F	14	114		12	B	中	
				6	6	堀　G	16	137		12	A	中	
125	常滑	甕		6	6			470		13	A	A直上	
				6	6			575		13	A	A直上	
				6	6			762		13	A	A直上	
126	常滑	甕		6	6			2344		14	C	C	
				6	6			2438		14	C	C	
127	常滑	甕		8	6			80		18	A	A直上	

土器観察表（2）　接合遺物（10）

帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

接合	分類			遺物					実測	接合	遺物	遺物台帳	時期編年
のみ	大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	所属面	記載面	カワラケは簗瀬氏による
				8	6			1116		18	B	B	
				8	6			1484		18	B	B	
				8	6			1314		18	B	A下	
				8	6	土坑　156		3		18	A	上	
				8	7			131		18	A	A	
				8	7			148		18	B	B	
				8	7			171		18	B	B	
				8	7			146		18	B	B	
				8	7			197		18	127		
				8	7	堀　D	堀A	22		18	127	上	
				8	7	堀　D	堀A	116		18	A	上	
				8	7	堀　D	堀A	119		18	B	上	
				8	7	堀　D	堀A	121		18	B	上	
				8	7	堀　D	堀A	215		18	127	堀A(新)下層	
				8	7	堀　D	堀A	293		18	127	中	
				8	7	堀　D	堀A	465		18	127	上	
				8	7	堀　D	堀A	467		18	127	上	
				8	7	堀　E	堀B	458		18	127	自然堆積層最上位	
				8	8			395		18	C	C直上	
				8	12	堀　P	堀A	120		18	127	上	
128	常滑	壺・甕		6	2			2		1	128	盛土層	
129	常滑	壺・甕		6	6			488		1	A	A直上	
130	常滑	壺・甕		6	6			637	1	19	A	A直上	
131	常滑	壺・甕		8	8			1		21	A	Ⅰ上	
				8	8			2		21	A	Ⅰ下	
				8	8			4		21	B	Ⅱ中	
				8	8			29		21	B	Ⅱ中	
				8	8			53		21	B	Ⅱ上	
				8	8			154		21	A	B直上	
				8	8			201		21	A	B直上	
				8	8			268		21	A	B直上	
				8	8			321		21	A	B直上	
				8	8			406		21	C	C直上	
				8	8			425		21	C	C直上	
				8	8			469		21	B	Ⅱ⑨	
				8	8			493		21	A	Ⅰ⑨	
				8	8			862		21	C	C下	
				8	8			865		21	C	C下	
				8	8			1601		21	D	D下	
				8	8	土坑　12		642		21	D		
				8	8	土坑　12		650		21	D		
				8	8	土坑　12		731		21	D	C	
				8	8	土坑　12		732		21	D	C	
				8	8	土坑　12		733		21	D	C	
				8	8	土坑　12		734		21	D	C	
				8	8	堀　K	堀A	551		21	131		
				10	10	土坑　1		9		21	131		
132	常滑	壺・甕		8	8			22		22	B	Ⅱ中	
				8	8			26		22	B	Ⅱ中	
				8	8			68		22	B	Ⅱ中	
				8	8			478		22	B	Ⅱ⑦	
				8	8			599		22	B	Ⅱ③	

土器観察表（2）　接合遺物（11）

帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

接合	分類			遺物					実測	接合	遺物	遺物台帳	時期編年
のみ	大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	所属面	記載面	カワラケは簗瀬氏による
				8	8			858		22	D	C下	
				8	8			956		22	D	C下	
				8	8			1261		22	D	D直上	
				8	8			1262		22	D	D直上	
				8	8	土坑　12		796		22	D	C下	
133	常滑	壺・甕		11	11	堀　N	堀B	38		24	133	上～中	
				11	11	堀　N	堀B	49		24	133	上～中	
				11	11	堀　N	堀B	80		24	133	上～中	
				11	11	堀　O	堀A	92		24	A	I	
134	常滑	壺・甕		8	8			1620		25	D	D下	
				8	10			1		25	A	A	
				8	10			11		25	A	A	
				8	10			13		25	A	A	
				8	12			1		25	A	I①一括	
				8	12			1		25	A	I①一括	
				8	12			3		25	B	Ⅱ①直上一括	
				8	12			4		25	B	Ⅱ最上面一括	
				8	12			4		25	B	Ⅱ最上面一括	
				8	12			15		25	134	盛土上層	
				8	12			75		25	B	Ⅱ(盛土)上層	
				8	12			?		25	134		
				8	12	堀　P	堀A	102		25	134	下	
				8	12	堀　P	堀A	136		25	134	上	
				8	12	堀　P	堀A	140		25	134	中	
				8	14			132		25	A	A	
				8	14			209		25	A	A	
				8	14			40		25	B	A下	
135	瓦質土器	擂鉢		6	6			2582		2	C	C	
				6	6			2591		2	C	C	
136	瓦質土器	擂鉢		6	6			1638		3	B	B	
				6	6			2571		3	B	B	
137	瓦質土器	擂鉢		6	6			2125	3	4	B	B	
				6	6			2556	3	4	A	A	
138	瓦質土器	擂鉢		6	6			10		5	A	下	
				8	8	土坑　18		660		5	138		
139	瓦質土器	香炉	筒形香炉		6						139		
140	カワラケ	皿		6	6	土坑　25		2		9	A	上	
				6	6	土坑　25		4		9	A	中	
141	カワラケ	皿		6	6	堀　F	14	252		10	A	中	
				6	6	堀　F	14	273		10	A	中	
142	カワラケ	皿		6	6	堀　F	14	203		11	A	中	
				6	6	堀　F	14	219		11	A	中	
143	カワラケ	皿		6	6	堀　F	14	281		12	A	上	
				6	6	堀　F	14	387		12	A	A直上	
144	カワラケ	皿		6	6			889		14	B	A下	
				6	6			2329		14	B	B	
145	カワラケ	皿		6	6	ピット　14		1		15	bc	中	
				6	6	ピット　14		2		15	bc		
146	カワラケ	皿		6	6	堀　F	14	200		17	A	中	
				6	6	堀　F	14	250		17	A	中	
147	カワラケ	皿		6	6	堀　F	14	146		19	A	下	
				6	6	堀　F	14	147		19	A	下	

土器観察表（2）　接合遺物（12）

帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

接合	分類			遺物					実測	接合	遺物	遺物台帳	時期編年
のみ	大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	所属面	記載面	カワラケは簗瀬氏による
148	カワラケ	Ⅲ		6	6			2933		24	C	C	
				6	6			2934		24	C	C	
149	カワラケ	Ⅲ		6	6			1628		26	B	B	
				6	6			1631		26	B	B	
150	カワラケ	Ⅲ		6	6			1554		34	B	B	
				6	6			1632		34	B	B	
151	カワラケ	Ⅲ		6	6			75		36	B	A下	
				6	6			1386		36	B	B	
152	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀　F	14	201		38	A	A直上	
				6	6	堀　F	14	208		38	A	A直上	
153	カワラケ	Ⅲ		6	6			487		40	A	A直上	
				6	6			1275		40	B	A下	
154	カワラケ	Ⅲ		6	6			622		41	A	A直上	
				6	6			1527		41	A	A	
				6	6			3294		41	E	E	
155	カワラケ	Ⅲ		6	6	堀　F	14	2		42	A	中	
				6	6	堀　F	14	3		42	A	中	
156	カワラケ	Ⅲ		6	6			108		43	A	A直上	
				6	6			109		43	A	A直上	
157	カワラケ	Ⅲ		6	6			109		44	A	A直上	
				6	6			423		44	A	A直上	
158	カワラケ	Ⅲ		6	6			2266		45	A	A	
				6	6			2269		45	A	A	
159	カワラケ	Ⅲ		6	6			1725		46	C	B下	
				6	6			2456		46	B	B	
160	カワラケ	Ⅲ		6	6			2436		47	C	C	
				6	6			2520		47	C	C	
161	カワラケ	Ⅲ		6	6			69		48	A	A直上	
				6	6			93		48	B	A下	
162	カワラケ	Ⅲ		7	7			439		49	C	C	
				7	7			443		49	C	C	
163	カワラケ	Ⅲ		7	7			18		51	163		
				7	7			97		51	A	A直上	
				7	7			152		51	A	A	
164	カワラケ	Ⅲ		8	8			240		52	A	B直上	
				8	8			245		52	A	B直上	
				8	8			256		52	A	B直上	
165	カワラケ	Ⅲ		8	8			1		60	A	I上	
				8	8			413		60	C	C直上	
166	カワラケ	Ⅲ		8	8			221		61	A	B直上	
				8	8			850		61	D	C下	
167	カワラケ	Ⅲ		8	8			229		64	A	D直上	
				8	8			380		64	167		
				8	8			709		64	C	C下	
				8	8			720		64	C	C	
				8	8	土坑　5		74		64	167	中	
168	カワラケ	Ⅲ		8	8			443		67	C	C直上	
				8	8			445		67	C	C直上	
				8	8	土坑　14		628		67	C		
169	カワラケ	Ⅲ		8	8			968		70	D	C下	
				8	8			1159		70	D	D直上	
170	カワラケ	Ⅲ		8	8			1294		72	D	D	

土器観察表（2）　接合遺物（13）

帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

接合	分類			遺物					実測	接合	遺物	遺物台帳	時期編年
のみ	大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	所属面	記載面	カワラケは簗瀬氏による
				8	8			1644		72	D	D下	
				8	8			1645		72	D	D下	
				8	8	土坑　67		1801		72	D	D下	
171	カワラケ	Ⅲ		8	8			1402		82	C	C	
				8	8			1404		82	C	C	
				8	8	土坑　47		1424		82	C	C	
172	カワラケ	Ⅲ		8	8			1105		83	D	C下	
				8	8			1349		83	D	D直上	
				8	8	土坑　62		1689		83	D	D下	
173	カワラケ	Ⅲ		8	8			40		84	B	Ⅱ下	
				8	8			70		84	B	Ⅱ中	
174	カワラケ	Ⅲ		8	8			279		85	A	B直上	
				8	8			423		85	C	C直上	
				8	8	土坑　5		76		85	174	中	
				8	8	土坑　5		102		85	174	中	
175	カワラケ	Ⅲ		8	8			685		86	D	C下	
				8	8			1392		86	C	C	
176	カワラケ	Ⅲ		8	8	土坑　51		1651		87	D	C下	
				8	8	土坑　56		1657		87	D	C下	
				8	8	土坑　56		1663		87	D	C下	
177	カワラケ	Ⅲ		8	8			1		88	A	Ⅰ上	
				8	8	土坑　2		91		88	177	上	
178	カワラケ	Ⅲ		8	8			128		89	A	Ⅱ③④⑥層	
				8	8			450		89	C	C直上	
179	カワラケ	Ⅲ		8	8			778		90	D	C下	
				8	8			844		90	D	C下	
180	カワラケ	Ⅲ		8	8			983		91	D	C下	
				8	8			1470		91	D	D	
181	カワラケ	Ⅲ		8	8	土坑　67		1794		92	D	D下	
				8	8	土坑　67		1800		92	D	D下	
182	カワラケ	Ⅲ		8	8			1351		93	D	D直上	
				8	8	土坑　40		1325		93	d	C上	
183	カワラケ	Ⅲ		8	8			160		94	A	B直上	
				8	8			227		94	A	B直上	
				8	8	土坑　2		84		94	183	上	
184	カワラケ	Ⅲ		8	8			537		95	D	Ⅱ⑦層下層	
				8	8	土坑　56		1661		95	D	D下	
185	カワラケ	Ⅲ		8	8			1456		96	D	D	
				8	8			1500		96	D	D	
186	カワラケ	Ⅲ		8	8			173		97	A	B直上	
				8	8			378		97	C	C直上	
187	カワラケ	Ⅲ		8	8			177		98	A	B直上	
				8	8			179		98	A	B直上	
188	カワラケ	Ⅲ		8	8			1340		99	D	C下	
				8	8	土坑　12		1299		99	D	D	
189	カワラケ	Ⅲ		14	14			170		102	A	A	
				14	14			171		102	A	A	
190	東海系羽釜	羽釜		6	6	ピット　61		1		1	bc	I	
				6	6	堀　F	14	254		1	A	A直上	
191	東海系羽釜	羽釜		6	6			1586		2	B	B	
				6	6			1878		2	B	B	
192	東海系羽釜	羽釜		6	6			4	3	4	192		

土器観察表（2）　接合遺物（14）

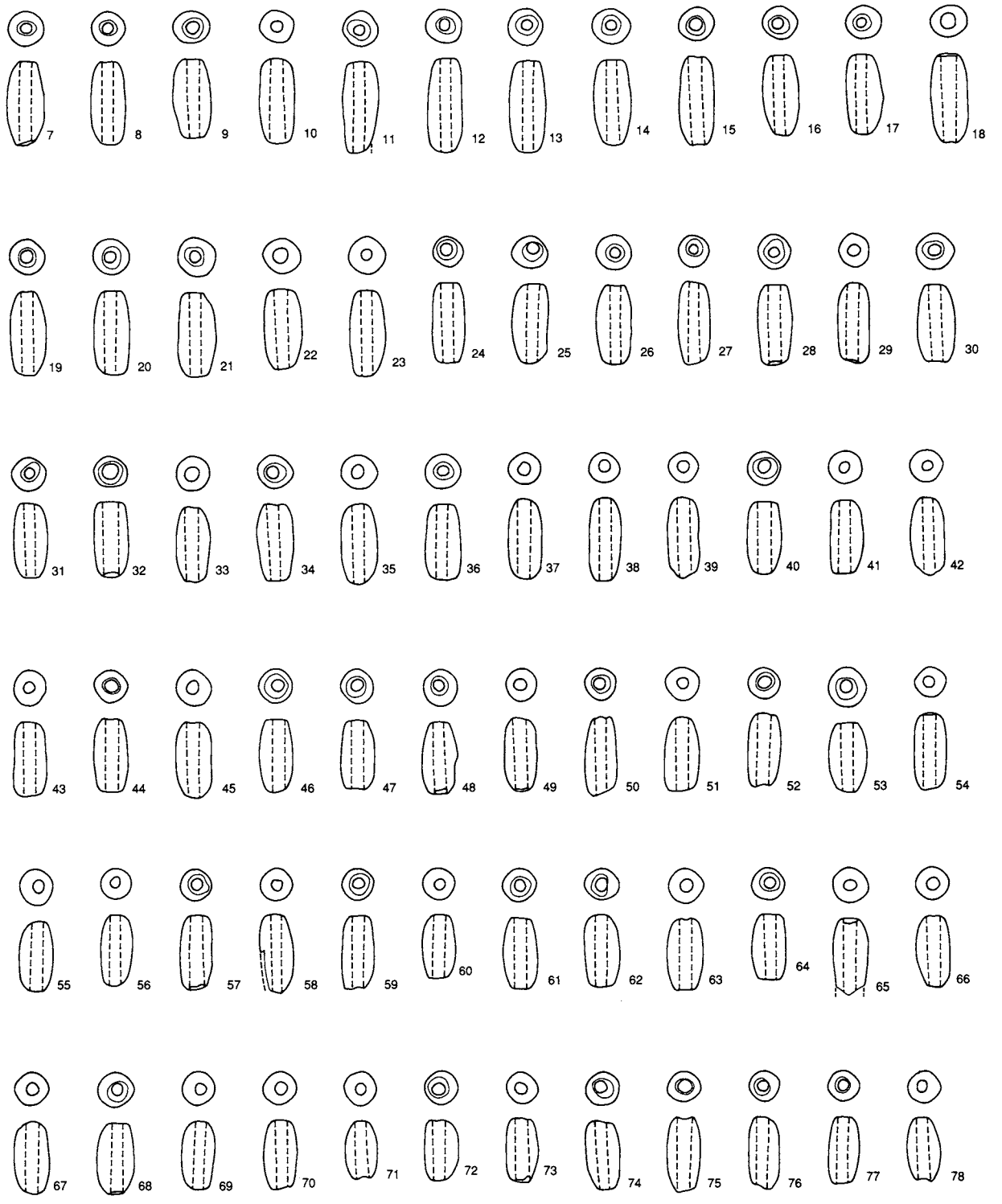
帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

接合	分類			遺物					実測	接合	遺物	遺物台帳	時期編年
のみ	大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	所属面	記載面	カワラケは築瀬氏による
				6	6	堀　G	16	228	3	4	192		
193	東海系羽釜	羽釜		6	7			351		6	B	B	
194	東海系羽釜	羽釜		10	10			119		7	B		
				10	10			111		7	B		
195	東海系羽釜	羽釜		12	12	堀　P	堀A	110		8	195	下	
				12	12	堀　P	堀A	138		8	195	上	
196	東海系羽釜	羽釜		6	6			1958		9	B	B 1	
				6	6	土坑　102		6		9	b	I	
197	内耳鍋	鍋		12	12				1		197		中世？
198	近世陶器		大皿	7	7			1		4	A	I上	
				7	7			2		4	A	I下	
199	近世陶器		壺	12	12					3	199		
				12	12	堀　P	堀A	102		3	199	下	
200	近世陶器			6	6			509		1	A	A直上	
				6	6			535		1	A	A直上	
201	近世陶器			6	6			6		2	A	I	
				6	6			877		2	B	A下	
202	近世陶器			14	14			48		5	B	A下	
				14	14			51		5	B	A下	
				14	14			52		5	B	A下	
				14	14			102		5	A	A	
203	近世陶器			14	14			1		6	A	表土下部一括	
				14	14			46		6	B	A下	
				14	14			47		6	B	A下	
				14	14			48		6	B	A下	
				14	14			50		6	B	A下	
				14	14			51		6	B	A下	
				14	14			62		6	B	A下	
				14	14			100		6	A	A	
204	近世陶器			14	14			10		7	A	A	
				14	14			29		7	B	B	
205	近世陶器			14	14			82		8	A	A	
				14	14			117		8	A	A	
206	近世陶器			14	14			12		9	A	A	
				14	14			31		9	B	B	
				14	14			122		9	A	A	
				14	14			122		9	A	A	
207	近世陶器			11	11	堀　N	堀B	2		10	A	I上	
				11	11	堀　N	堀B	7		10	A	I中	
208	近世陶器			11	11	堀　N	堀B	64		11	208	上～中	
				11	11	堀　N	堀B	65		11	208	上～中	
209	近世陶器			11	11	堀　O	堀A	98		12	A	I	
				11	11	堀　O	堀A	113		12	209	中	
210	近世陶器			11	11			1		13	A	I一括	
				11	11	堀　N	堀B	2		13	A	I上	
211	近世陶器			11	11	堀　N	堀B	2		14	A	I上	
				11	11	堀　N	堀B	6		14	211	中	
212	近世陶器			11	11	堀　N	堀B	20		15	A	I下	
				11	11	堀　N	堀B	21		15	A	I下	
213	近世陶器			11	11			1		16	A	I一括	
				11	11			?		16	213		
				11	11	堀　N	堀B	12		16	A	I下	

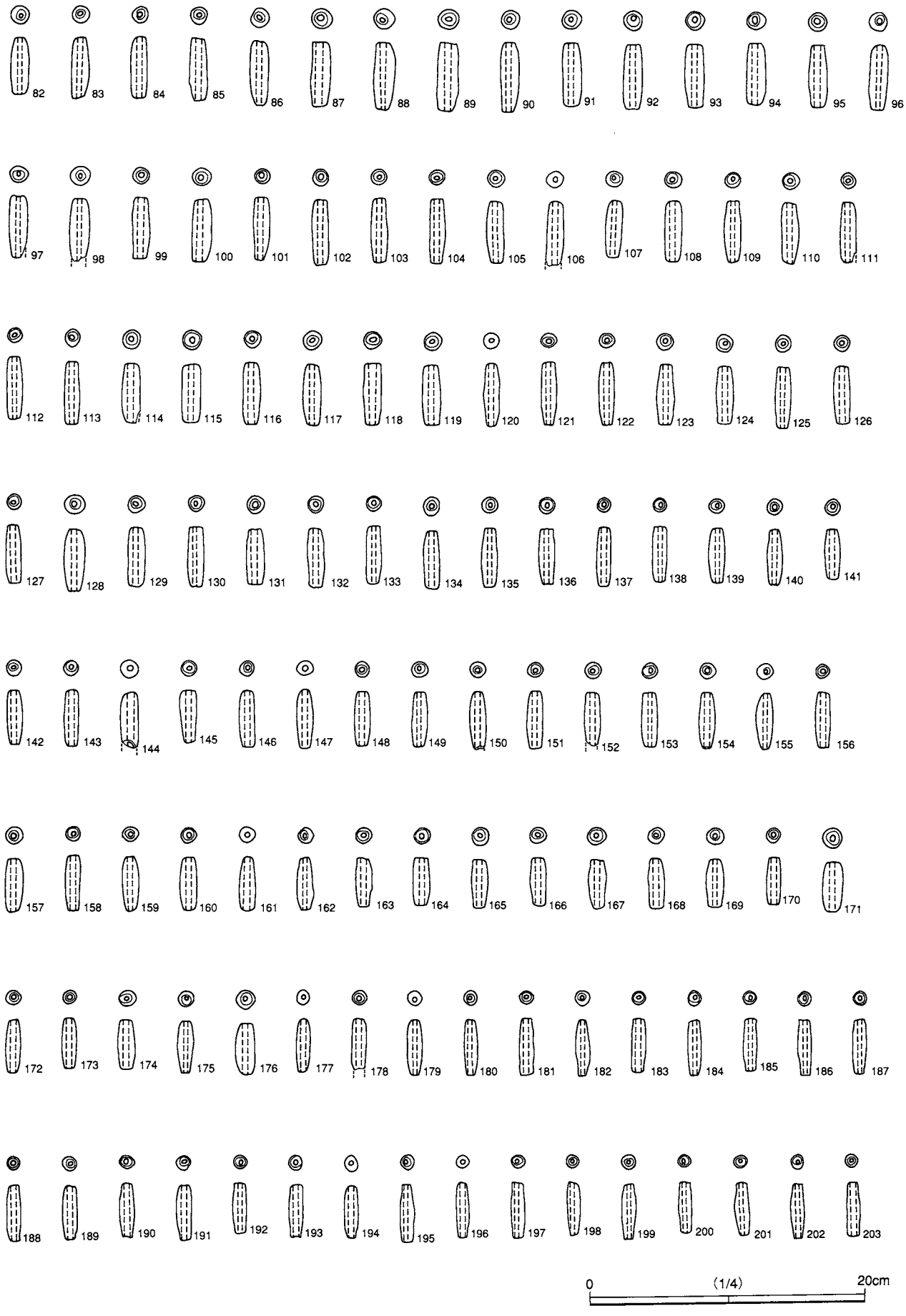
土器観察表（2）　接合遺物（15）

帰属：複数片が別平場から出土した場合の原位置の平場番号

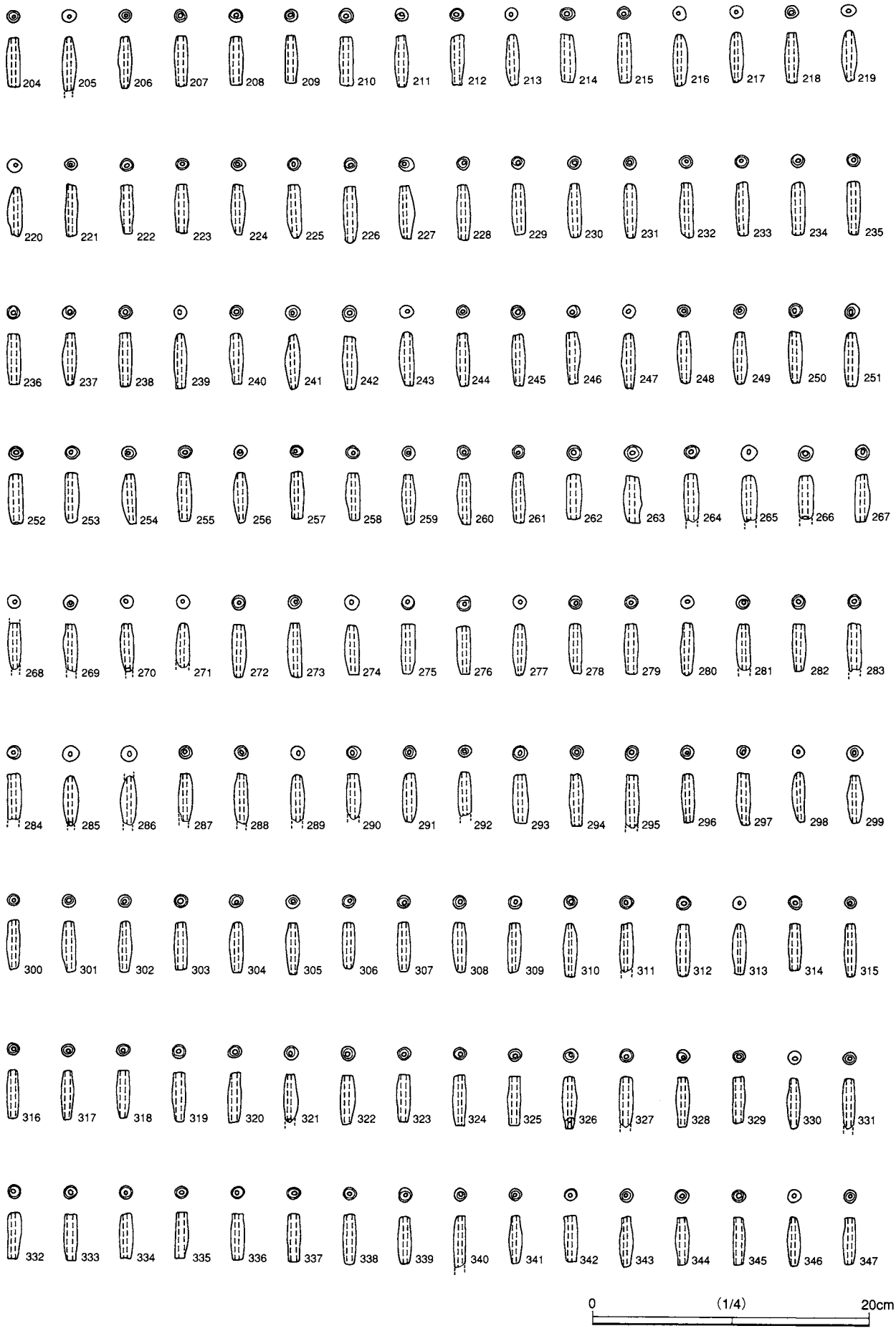
接合	分類			遺物					実測	接合	遺物	遺物台帳	時期編年
のみ	大分類	中分類	小分類	帰属平場	出土平場	遺構番号	調査時No.	遺物番号	番号	番号	所属面	記載面	カワラケは簗瀬氏による
				11	11	堀　N	堀B	27		16	213	上～中	
				11	11	堀　N	堀B	87		16	213	中	
214	近世陶器			16	16			1		17	214		
				16	16			2		17	214		
215	近世陶器			16	14			56		18	B	A下	
				16	16			2		18	215		
216	近世陶器			16	16			1		19	216		
				16	16			2		19	216		
217	近世陶器			16	8			1		20	A	I上	
				16	13			?		20	217		
				16	16			2		20	217		
218	近世磁器	茶碗		13	12			22		5	218		
				13	13			1		5	A	I①一括	
				13	13			8		5	218		
219	近世磁器			6	6			13		1	A	I	
				6	6			91		1	A	A直上	
220	近世磁器			6	6			6		2	A	I	
				6	6			815		2	B	A下	
221	近世磁器			6	6			14		3	A	I	
				6	6			804		3	A	A直上	
222	近世磁器			6	6			1141		4	B	B	
				6	6	溝　1		3		4	A	I	
223	近世磁器			11	11	堀　N	堀B	42		6	223	上～中	
224	近世磁器			11	11	堀　N	堀B	46		6	224	上～中	
				11	11	堀　N	堀B	50		6	224	上～中	
				11	11	堀　N	堀B	55		6	224	上～中	
225	近世磁器			11	11	堀　N	堀B	18		7	A	I下	
				11	11	堀　N	堀B	30		7	225	上～中	
				11	11	堀　N	堀B	39		7	225	上～中	
226	近世磁器	染付		1	1				5		A	I	



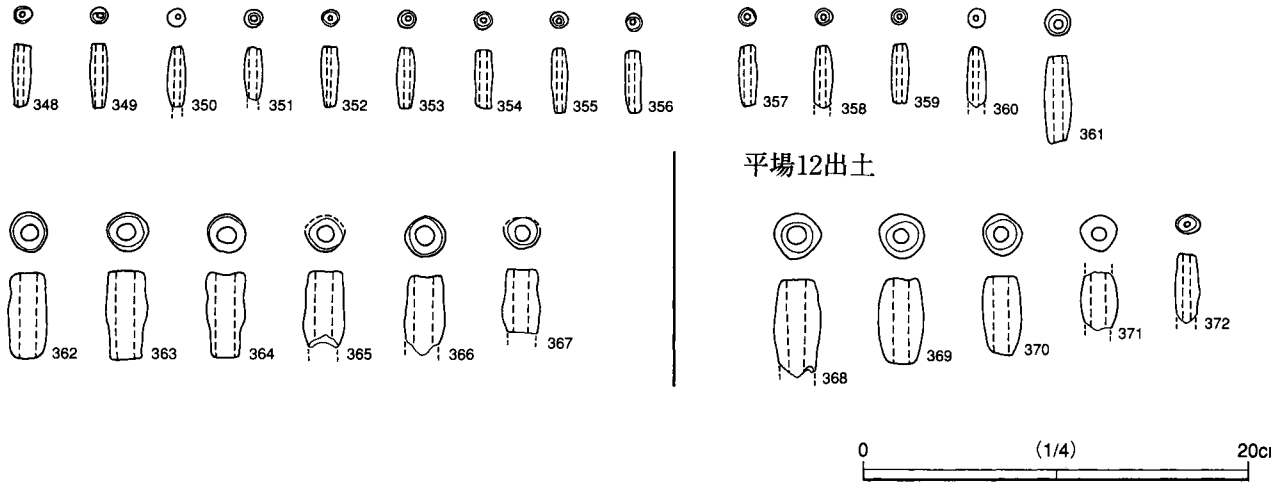
第115図　土製品　土錘（1）



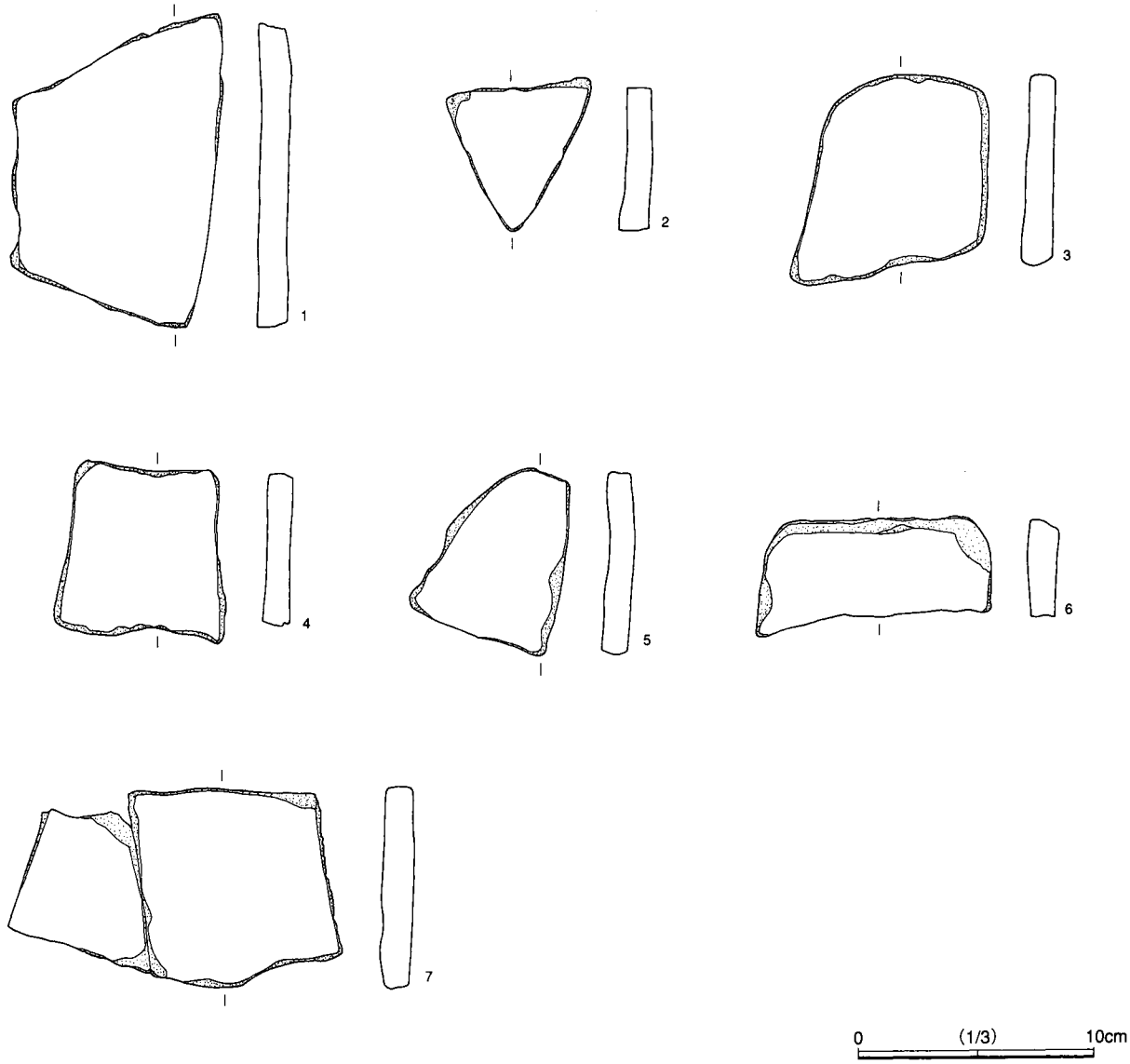
第116図　土製品　土錘（2）



第117図　土製品　土錘（3）



第118図　土製品　土錘（4）



第119図　砥石に転用された土器片

第10表　土錘計測表（1）

［　］現存値・（　）復元値，単位mm

挿図番号	掲載番号	実測番号	平場	遺構番号	元遺構	出土層位面	遺物番号	全長	長径	短径	重量（g）	備考
115	1	1	平場　6			Ⅰ	8	68	37	36	61.5	
115	2	2	平場　6			D	3101	58	26	24	30.2	
115	3	3	平場　6			C	1811	49	25	23	23	
115	4	4	平場　6			B	2906	45	24	23	20.4	
115	5	5	平場　6			A	2772	45	15	15	7.6	
115	6	6	平場　6			C	2473	36	10	10	2.5	
115	7	1	平場　8	土坑　65			1766	55	23	23	21.2	
115	8	2	平場　8	土坑　65			1760	55	23	22	21.6	
115	9	3	平場　8	土坑　65			1755	52	24	22	22.3	
115	10	4	平場　8	土坑　65			1785	56	22	22	22	
115	11	5	平場　8			Ⅱ	64	60	24	23	24.9	
115	12	6	平場　8	土坑　65			1752	62	24	23	25.2	
115	13	7	平場　8	土坑　60		?	1	60	25	23	26.4	
115	14	8	平場　8	土坑　65			1782	56	25	24	24.9	
115	15	9	平場　8			Ⅲ	38	58	23	23	20.7	
115	16	10	平場　8	土坑　65			1781	53	23	22	20.9	
115	17	11	平場　8			B	295	52	24	23	20.5	
115	18	12	平場　8			D	1729	59	24	22	20.6	
115	19	13	平場　8			C	784	54	23	23	21.7	
115	20	14	平場　8	土坑　65			1754	55	23	23	21.3	
115	21	15	平場　8			D	1731	55	25	25	24.3	
115	22	16	平場　8			D	1733	52	25	23	21.9	
115	23	17	平場　8	土坑　65			1780	56	24	23	24.8	
115	24	18	平場　8			D	1725	52	20	20	15.6	
115	25	19	平場　8	土坑　65			1743	52	24	21	21.3	
115	26	20	平場　8	土坑　65			1739	51	23	23	20.3	
115	27	21	平場　8	土坑　65			1762	55	21	20	17	
115	28	22	平場　8	土坑　65			1778	52	23	22	20.8	
115	29	23	平場　8			Ⅱ	41	52	22	20	16.6	
115	30	24	平場　8	土坑　65			1769	50	25	24	23.6	
115	31	25	平場　8	土坑　65			1738	49	22	22	19.5	
115	32	26	平場　8			Ⅰ	1	49	22	20	16.4	
115	33	27	平場　8	土坑　65			1770	50	23	22	17.5	
115	34	28	平場　8	土坑　65			1756	50	23	22	19.2	
115	35	29	平場　8	土坑　65			1761	52	24	23	19.8	
115	36	30	平場　8	土坑　65			1747	49	23	23	20.8	
115	37	31	平場　8	土坑　65			1740	52	22	21	17.3	
115	38	32	平場　8			D	1732	54	21	20	16.5	
115	39	33	平場　8	土坑　65			1744	52	20	20	14.9	
115	40	34	平場　8			Ⅲ	94	47	22	22	17.3	
115	41	35	平場　8			Ⅱ	3	48	22	22	17.4	
115	42	36	平場　8			C	782	50	22	21	17.1	
115	43	37	平場　8			D	1735	49	24	21	17.5	
115	44	38	平場　8			Ⅱ	31	48	22	22	16.1	
115	45	39	平場　8			Ⅰ	1	50	24	23	19.7	
115	46	40	平場　8			D	1727	48	23	21	17.6	
115	47	41	平場　8			Ⅲ	97	45	23	22	17.2	
115	48	42	平場　8	土坑　65			1746	47	24	23	18.7	
115	49	43	平場　8			Ⅱ	4	48	22	20	16.6	
115	50	44	平場　8	土坑　65			1764	51	22	21	16.3	
115	51	45	平場　8	土坑　65			1737	48	23	22	17.6	
115	52	46	平場　8	土坑　65			1767	48	21	22	15.4	
115	53	47	平場　8			Ⅰ	1	45	26	24	20.2	
115	54	48	平場　8			Ⅰ	2	50	20	20	16.2	
115	55	49	平場　8			C	783	46	24	22	16.6	
115	56	50	平場　8			Ⅲ	37	47	20	20	14.3	
115	57	51	平場　8			Ⅲ	38	50	21	21	15.6	
115	58	52	平場　8			Ⅲ	74	52	21	21	15.4	
115	59	53	平場　8			Ⅲ	95	48	21	21	14.9	
115	60	54	平場　8			C	96	42	22	21	13.9	
115	61	55	平場　8			D	1364	47	24	23	15.2	
115	62	56	平場　8			D	1724	47	23	21	16.4	
115	63	57	平場　8			D	1726	47	23	23	18	
115	64	58	平場　8			D	1734	43	22	21	14.9	
115	65	59	平場　8			D	1736	[50]	23	23	16.2	
115	66	60	平場　8	土坑　65			1742	47	22	21	12.9	
115	67	61	平場　8	土坑　65			1745	48	22	21	15.1	
115	68	62	平場　8	土坑　65			1757	47	23	23	19.6	
115	69	63	平場　8	土坑　65			1759	45	22	21	15	
115	70	64	平場　8	土坑　65			1763	45	22	21	13.7	

土錘計測表（2）

［　］現存値・（　）復元値，単位mm

挿図番号	掲載番号	実測番号	平場	遺構番号	元遺構	出土層位面	遺物番号	全長	長径	短径	重量（g）	備考
115	71	65	平場 8	土坑 65			1765	38	22	21	12.7	
115	72	66	平場 8	土坑 65			1768	40	22	22	14.4	
115	73	67	平場 8	土坑 65			1771	43	21	20	13	
115	74	68	平場 8	土坑 65			1776	45	22	22	15.5	
115	75	69	平場 8	土坑 65			1777	49	22	20	14.1	
115	76	70	平場 8	土坑 65			1779	47	20	20	14.1	
115	77	71	平場 8	土坑 65			1784	43	21	20	12.3	
115	78	72	平場 8	土坑 65			1783	47	22	21	11.7	
115	79	73	平場 8			Ⅲ	32	45	21	20	13.4	
115	80	74	平場 8			Ⅲ	35	39	22	21	11.4	
115	81	75	平場 8			Ⅱ	4	39	20	19	9.8	
116	82	76	平場 8			B	263	43	14	14	6.3	
116	83	77	平場 8			B	264	47	13	13	6.3	
116	84	78	平場 8			B	265	47	12	12	5.5	
116	85	79	平場 8			C	811	48	13	13	6.1	
116	86	80	平場 8			C	839	49	15	14	6.5	
116	87	81	平場 8			D	1233	49	15	15	7.9	
116	88	82	平場 8	土坑 39			1139	50	16	15	9.6	
116	89	83	平場 8			中	1821	52	16	15	6.3	
116	90	84	平場 8	土坑 39			1224	52	14	14	8.2	
116	91	85	平場 8			D	926	48	14	14	8.4	
116	92	86	平場 8			C	835	49	15	14	7.3	
116	93	87	平場 8			D	937	48	14	14	6.8	
116	94	88	平場 8			D	1157	47	14	13	6.4	
116	95	89	平場 8	土坑 39			1228	47	14	14	7.2	
116	96	90	平場 8	土坑 39			1226	49	14	14	5.8	
116	97	91	平場 8			D	1203	46	14	13	5.9	
116	98	92	平場 8			D	1292	[46]	15	15	7.4	
116	99	93	平場 8			D	927	45	13	12	6.1	
116	100	94	平場 8			D	940	46	14	14	7.2	
116	101	95	平場 8			D	931	47	12	12	5.4	
116	102	96	平場 8	土坑 26			909	48	13	12	6.1	
116	103	97	平場 8			D	928	48	12	12	5.5	
116	104	98	平場 8			D	950	48	12	12	5	
116	105	99	平場 8			D	940	46	13	13	5.8	
116	106	100	平場 8			C	883	[48]	13	13	6.3	
116	107	101	平場 8	土坑 12			703	42	13	12	4.8	
116	108	102	平場 8			D	937	45	13	12	5.3	
116	109	103	平場 8			D	927	45	12	12	4.9	
116	110	104	平場 8			C	687	45	13	13	5.7	
116	111	105	平場 8			C	842	45	12	11	4.4	
116	112	106	平場 8	土坑 22			692	45	11	11	4.4	
116	113	107	平場 8			C	422	46	13	11	5	
116	114	108	平場 8			C	843	43	14	13	6.3	
116	115	109	平場 8			C	854	42	15	14	6.9	
116	116	110	平場 8	土坑 26			907	45	13	13	5.3	
116	117	111	平場 8				937	45	14	14	6.1	
116	118	112	平場 8			D	936	55	13	12	5.5	
116	119	113	平場 8			D	1217	44	14	13	6.1	
116	120	114	平場 8	土坑 39			1221	46	12	11	4.9	
116	121	115	平場 8	土坑 39			1223	46	12	11	4.6	
116	122	116	平場 8	土坑 39			1227	46	12	11	4.5	
116	123	117	平場 8	土坑 39			1012	44	12	12	5	
116	124	118	平場 8			D	1202	42	13	12	5.2	
116	125	119	平場 8	土坑 39			1231	45	13	12	4.8	
116	126	120	平場 8			D	936	42	12	12	4.9	
116	127	121	平場 8			D	935	42	11	10	4.2	
116	128	122	平場 8			C	818	45	14	13	6.5	
116	129	123	平場 8			D	1607	43	13	13	5.4	
116	130	124	平場 8			C	893	43	12	12	5.1	
116	131	125	平場 8			C	836	40	13	13	5.4	
116	132	126	平場 8			C	348	43	13	12	5.1	
116	133	127	平場 8			B	308	42	11	11	4.2	
116	134	128	平場 8	土坑 21			689	42	14	12	5.1	
116	135	129	平場 8			C	840	43	12	12	4.1	
116	136	130	平場 8	土坑 39			1214	41	12	12	4.4	
116	137	131	平場 8			C	886	43	11	10	3.8	

土錘計測表（3）

［　］現存値・（　）復元値，単位mm

挿図番号	掲載番号	実測番号	平場	遺構番号	元遺構	出土層位面	遺物番号	全長	長径	短径	重量（g）	備考
116	138	132	平場 8			C	817	41	10	10	3.4	
116	139	133	平場 8			C	881	40	12	11	4	
116	140	134	平場 8			D	544	41	12	12	2.8	
116	141	135	平場 8			C	736	37	12	12	3.5	
116	142	136	平場 8	土坑 39			1215	39	12	11	4.1	
116	143	137	平場 8	土坑 39			1213	41	11	11	4.1	
116	144	138	平場 8			C	809	[41]	13	13	5.2	
116	145	139	平場 8			C	800	38	12	12	4.5	
116	146	140	平場 8			D	931	41	11	11	4.5	
116	147	141	平場 8			D	1133	43	12	11	4	
116	148	142	平場 8			D	1150	40	12	11	4	
116	149	143	平場 8			D	1151	40	12	12	4.1	
116	150	144	平場 8	土坑 39			1216	42	12	12	5.4	
116	151	145	平場 8	土坑 39			1222	42	12	11	4.1	
116	152	146	平場 8	土坑 39			1229	[39]	12	12	4.1	
116	153	147	平場 8			D	1528	40	12	12	4.3	
116	154	148	平場 8			D	1045	41	12	12	3.7	
116	155	149	平場 8			D	1128	41	12	12	2.5	
116	156	150	平場 8	土坑 39			1015	41	11	11	4	
116	157	151	平場 8	土坑 39			1010	40	13	13	4.8	
116	158	152	平場 8			D	925	41	11	11	3.8	
116	159	153	平場 8			D	927	41	12	11	3.8	
116	160	154	平場 8			D	931	39	12	12	4.9	
116	161	155	平場 8	土坑 39			1138	40	12	12	3.9	
116	162	156	平場 8	土坑 41			1185	39	12	12	2.3	
116	163	157	平場 8			Ⅱ中	1301	36	12	12	3.7	
116	164	158	平場 8			中	1821	35	13	12	4.4	
116	165	159	平場 8			D	1576	36	13	13	4	
116	166	160	平場 8			D	1430	36	12	12	4	
116	167	161	平場 8			B	266	37	14	13	4.1	
116	168	162	平場 8			D	1287	37	12	12	3.4	
116	169	163	平場 8	土坑 39			1220	36	13	12	4.4	
116	170	164	平場 8			D	1204	35	11	11	3.3	
116	171	165	平場 8			C	894	37	15	14	6.3	
116	172	166	平場 8			C	838	39	12	11	3	
116	173	167	平場 8			C	888	37	11	10	2.8	
116	174	168	平場 8			D	1058	36	13	12	3.9	
116	175	169	平場 8			D	1086	38	12	12	2.5	
116	176	170	平場 8			D	933	38	14	14	5.6	
116	177	171	平場 8			C	915	40	11	10	2.8	
116	178	172	平場 8			D	935	[38]	11	11	3.2	
116	179	173	平場 8			D	1044	41	11	11	2.4	
116	180	174	平場 8			C	805	41	11	10	2.5	
116	181	175	平場 8			Ⅱ⑨	511	42	11	10	2.8	
116	182	176	平場 8			D	1073	41	11	11	2.7	
116	183	177	平場 8			D	1035	40	10	10	2.6	
116	184	178	平場 8			D	1085	41	11	10	2.7	
116	185	179	平場 8			D	541	39	10	10	2.6	
116	186	180	平場 8			D	1116	41	11	10	2.8	
116	187	181	平場 8			D	1062	41	10	10	2.9	
116	188	182	平場 8			D	1053	41	10	10	2.5	
116	189	183	平場 8			Ⅱ⑦	471	39	11	11	2.8	
116	190	184	平場 8			D	1040	39	12	10	2.6	
116	191	185	平場 8			D	1693	40	11	11	2.8	
116	192	186	平場 8	土坑 41			1187	37	10	10	2.6	
116	193	187	平場 8			D	1108	38	11	10	2.3	
116	194	188	平場 8			D	535	38	12	10	2.3	
116	195	189	平場 8			D	1074	42	11	11	2.9	
116	196	190	平場 8			D	1115	41	10	10	2.3	
116	197	191	平場 8			D	1190	41	10	10	2.4	
116	198	192	平場 8			D	534	39	10	10	2.5	
116	199	193	平場 8			D	1069	41	11	11	2.7	
116	200	194	平場 8	土坑 41			1183	38	10	10	2.3	
116	201	195	平場 8	土坑 10			604	39	11	10	2.6	
116	202	196	平場 8			Ⅱ⑨	492	40	11	10	2.6	
116	203	197	平場 8			Ⅱ⑨	517	40	10	10	2.3	
117	204	198	平場 8			D	1101	37	10	10	2.1	

土錘計測表（4）

［　］現存値・（　）復元値，単位mm

挿図番号	掲載番号	実測番号	平場	遺構番号	元遺構	出土層位面	遺物番号	全長	長径	短径	重量（g）	備考
117	205	199	平場　8			Ⅱ⑨	494	[41]	12	10	2.6	
117	206	200	平場　8			D	1702	39	10	10	2.3	
117	207	201	平場　8			D	1191	38	10	10	2.4	
117	208	202	平場　8			Ⅱ⑨	495	37	10	10	2.4	
117	209	203	平場　8			D	1081	36	10	10	2	
117	210	204	平場　8			Ⅱ⑦	484	37	11	11	2.6	
117	211	205	平場　8			D	1033	39	10	10	2.4	
117	212	206	平場　8			D	1078	38	10	10	2.4	
117	213	207	平場　8			C	802	39	10	10	2.2	
117	214	208	平場　8			D	1029	37	11	10	3.1	
117	215	209	平場　8			D	1088	38	10	10	2.2	
117	216	210	平場　8	土坑　41			1181	39	11	10	2.6	
117	217	211	平場　8			D	532	38	10	10	2.2	
117	218	212	平場　8			D	1087	38	10	10	2.2	
117	219	213	平場　8			D	1107	38	12	9	2.5	
117	220	214	平場　8			D	1290	36	11	11	2.1	
117	221	215	平場　8			D	533	38	10	9	2.2	
117	222	216	平場　8			D	1032	36	10	10	2.1	
117	223	217	平場　8			D	1095	36	10	9	2.2	
117	224	218	平場　8			D	1079	37	11	10	2.3	
117	225	219	平場　8			D	1435	39	10	10	2.3	
117	226	220	平場　8			D	545	37	11	10	2.9	
117	227	221	平場　8			D	539	39	12	11	2.9	
117	228	222	平場　8			D	546	41	10	10	2.8	
117	229	223	平場　8			D	1694	38	10	10	2.5	
117	230	224	平場　8			Ⅱ⑨	496	40	10	10	2.7	
117	231	225	平場　8			D	1077	39	10	10	2.4	
117	232	226	平場　8			D	1194	40	10	10	2.6	
117	233	227	平場　8			Ⅱ⑦	485	39	10	10	2.6	
117	234	228	平場　8			D	536	39	10	10	2.6	
117	235	229	平場　8			C	691	39	10	10	2.5	
117	236	230	平場　8			D	1054	37	10	10	2.5	
117	237	231	平場　8			D	1047	37	10	10	2.3	
117	238	232	平場　8			D	1057	39	10	10	2.6	
117	239	233	平場　8			B	299	40	10	10	2.5	
117	240	234	平場　8			Ⅱ⑨	518	37	10	10	2.1	
117	241	235	平場　8			D	1090	40	11	11	2.6	
117	242	236	平場　8			D	1037	39	12	11	2.7	
117	243	237	平場　8			D	1075	39	11	10	2.3	
117	244	238	平場　8			D	1063	39	10	10	2.2	
117	245	239	平場　8			D	1109	38	11	10	2.2	
117	246	240	平場　8			D	1109	38	10	9	1.9	
117	247	241	平場　8			Ⅱ⑨	505	40	10	10	2.4	
117	248	242	平場　8			D	1080	38	10	9	2.2	
117	249	243	平場　8			D	1027	38	10	10	2.3	
117	250	244	平場　8			D	1131	37	10	10	2.4	
117	251	245	平場　8			D	929	39	11	11	3.3	
117	252	246	平場　8			C	895	37	11	10	3.1	
117	253	247	平場　8			D	1694	37	11	10	2.4	
117	254	248	平場　8			D	1122	37	11	10	2.4	
117	255	249	平場　8			D	523	36	10	11	2.1	
117	256	250	平場　8			D	1197	37	10	10	2.3	
117	257	251	平場　8			B	290	35	10	9	2.3	
117	258	252	平場　8			Ⅱ⑨	503	35	10	10	2.5	
117	259	253	平場　8			D	1031	37	11	10	2.4	
117	260	254	平場　8			B	199	38	10	10	2.3	
117	261	255	平場　8			B	304	37	10	9	2.2	
117	262	256	平場　8			B	170	33	11	11	3.5	
117	263	257	平場　8			C	1389	35	13	12	4	
117	264	258	平場　8			D	1083	36	11	10	2.6	
117	265	259	平場　8			B	245	[35]	12	12	3.5	
117	266	260	平場　8			C	886	[32]	11	11	3.6	
117	267	261	平場　8			C	966	35	11	11	2.4	
117	268	262	平場　8			C	1388	[35]	10	10	3	
117	269	263	平場　8			Ⅱ⑨	490	[35]	11	10	2.3	
117	270	264	平場　8			C	787	[36]	10	10	1.9	

土錘計測表（5）

［　］現存値・（　）復元値，単位㎜

挿図番号	掲載番号	実測番号	平場	遺構番号	元遺構	出土層位面	遺物番号	全長	長径	短径	重量（g）	備考
117	271	265	平場　8			Ⅱ⑦	474	[33]	10	10	1.9	
117	272	266	平場　8			D	1140	39	11	10	2.7	
117	273	267	平場　8			Ⅱ⑦	476	40	10	10	2.6	
117	274	268	平場　8			D	1043	37	11	11	2.2	
117	275	269	平場　8			C	576	37	10	10	2.7	
117	276	270	平場　8			D	1060	36	11	10	2	
117	277	271	平場　8			D	1066	38	10	10	2.4	
117	278	272	平場　8			D	1242	38	10	10	2.2	
117	279	273	平場　8			D	1126	37	10	10	2.2	
117	280	274	平場　8			D	1196	39	10	10	1.9	
117	281	275	平場　8			D	1189	[34]	10	10	2	
117	282	276	平場　8			D	1111	35	10	10	2.2	
117	283	277	平場　8			Ⅱ⑨	513	[36]	10	10	2.6	
117	284	278	平場　8			Ⅱ⑨	515	[34]	10	10	2.5	
117	285	279	平場　8			D	1097	[37]	12	11	2.3	
117	286	280	平場　8			C	1412	[36]	12	12	3.3	
117	287	281	平場　8			D	1193	[35]	10	10	2.1	
117	288	282	平場　8			Ⅱ⑦	472	[37]	10	10	1.9	
117	289	283	平場　8			C	916	[35]	10	10	2.3	
117	290	284	平場　8	土坑　41			1182	[34]	11	10	2.4	
117	291	285	平場　8			D	1094	36	10	10	1.9	
117	292	286	平場　8	土坑　41			1180	[32]	10	9	1.8	
117	293	287	平場　8			Ⅱ⑨	577	36	11	11	2.3	
117	294	288	平場　8			Ⅱ⑦	481	38	10	10	2.3	
117	295	289	平場　8	ピット			578	[39]	11	10	2.6	
117	296	290	平場　8	土坑　41			1188	36	10	10	2	
117	297	291	平場　8			D	1110	38	10	9	2.1	
117	298	292	平場　8			D	1125	36	10	9	1.7	
117	299	293	平場　8	土坑　41			1175	35	12	11	2	
117	300	294	平場　8			D	1127	37	10	9	2	
117	301	295	平場　8			Ⅲ	37	37	10	10	2.3	
117	302	296	平場　8	土坑　41			1178	37	10	10	2.2	
117	303	297	平場　8			D	1434	35	10	10	2.1	
117	304	298	平場　8			D	1123	37	10	10	2.3	
117	305	299	平場　8			D	1093	38	10	10	2.4	
117	306	300	平場　8			D	1070	34	10	10	2.2	
117	307	301	平場　8			Ⅱ⑨	504	36	10	10	2.2	
117	308	302	平場　8			D	1158	36	10	10	2.3	
117	309	303	平場　8			D	1097	36	10	10	2.2	
117	310	304	平場　8			D	1130	39	10	10	2.4	
117	311	305	平場　8			C	819	[36]	10	10	2.1	
117	312	306	平場　8			Ⅱ⑨	508	38	10	10	2.3	
117	313	307	平場　8			D	1124	37	10	10	2.2	
117	314	308	平場　8			Ⅱ⑦	483	34	10	10	2.1	
117	315	309	平場　8			D	1033	39	9	9	1.7	
117	316	310	平場　8			D	1241	36	9	9	2	
117	317	311	平場　8			D	1099	36	10	10	1.9	
117	318	312	平場　8			D	1050	35	10	9	2	
117	319	313	平場　8			D	1036	37	10	10	2.3	
117	320	314	平場　8			Ⅱ⑦	480	37	10	10	1.8	
117	321	315	平場　8			D	1048	[36]	11	11	2.3	
117	322	316	平場　8			C	878	36	11	11	2	
117	323	317	平場　8			D	950	35	10	10	2.1	
117	324	318	平場　8			D	1114	37	10	9	2.3	
117	325	319	平場　8			D	1141	36	10	10	1.8	
117	326	320	平場　8			Ⅱ⑦	482	38	11	10	2.3	
117	327	321	平場　8			D	1129	[37]	10	10	2.2	
117	328	322	平場　8			D	1241	36	10	10	2.1	
117	329	323	平場　8			Ⅱ⑦	477	34	10	10	1.9	
117	330	324	平場　8			D	1025	37	10	10	1.9	
117	331	325	平場　8			D	1076	[37]	10	9	1.7	
117	332	326	平場　8			D	1041	34	10	10	1.9	
117	333	327	平場　8			D	944	34	10	10	2	
117	334	328	平場　8			Ⅱ⑦	479	33	10	10	2	
117	335	329	平場　8			D	1071	34	10	9	1.7	
117	336	330	平場　8			D	1113	34	10	9	2.1	
117	337	331	平場　8			D	1104	35	10	9	1.8	

土錘計測表（6）

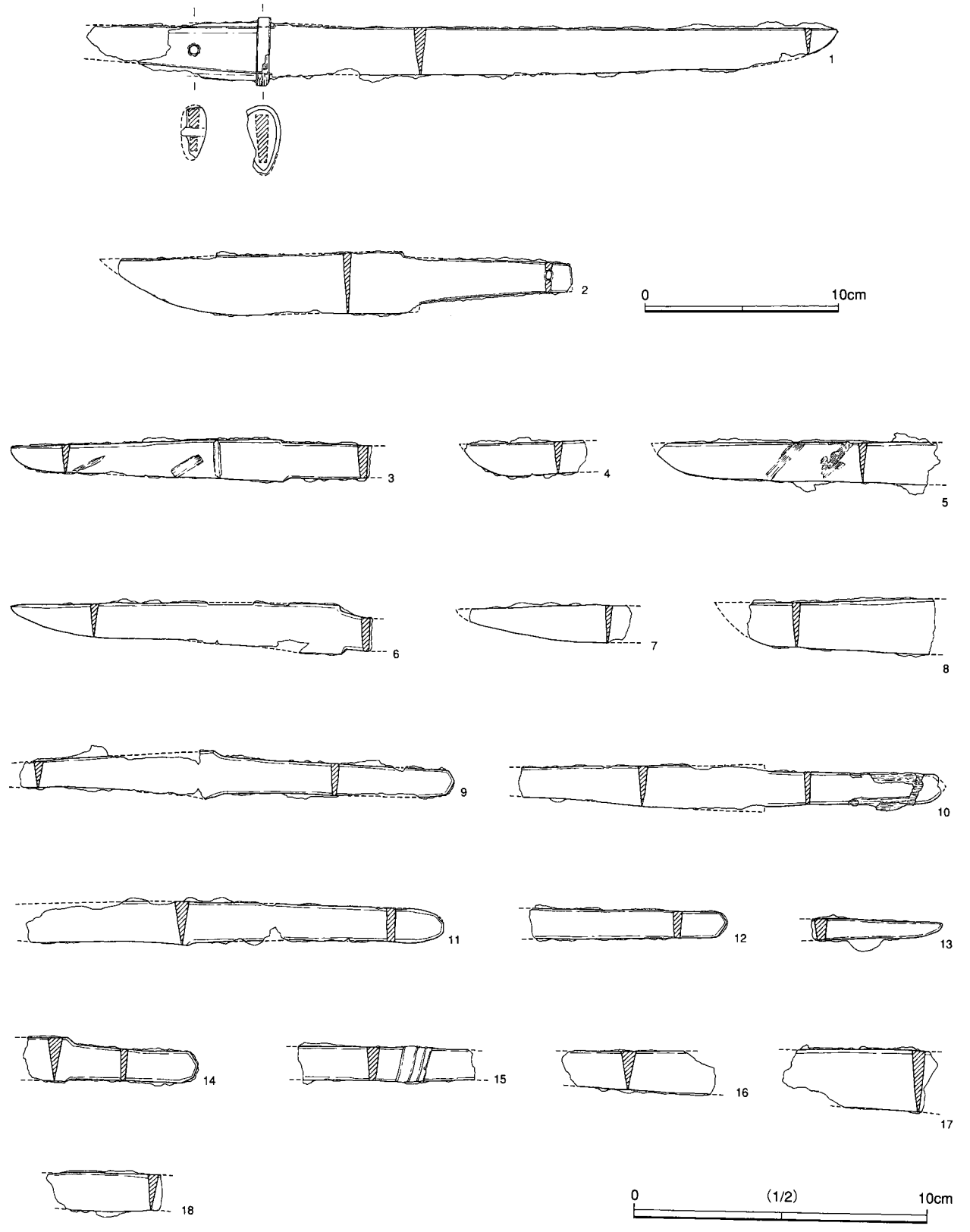
［　］現存値・（　）復元値，単位mm

挿図番号	掲載番号	実測番号	平場	遺構番号	元遺構	出土層位面	遺物番号	全長	長径	短径	重量（g）	備考
117	338	332	平場　8			D	1072	37	10	9	2.1	
117	339	333	平場　8			D	1065	34	11	10	2.4	
117	340	334	平場　8			D	1096	[38]	10	10	2	
117	341	335	平場　8	土坑　41			1177	35	10	9	2	
117	342	336	平場　8			Ⅱ⑨	514	34	10	9	2.2	
117	343	337	平場　8			Ⅱ⑨	499	37	10	10	2.1	
117	344	338	平場　8			D	1030	35	10	10	1.9	
117	345	339	平場　8			Ⅱ⑦	487	35	10	9	1.8	
117	346	340	平場　8			D	1068	36	10	10	2	
117	347	341	平場　8			D	1117	39	10	10	2.1	
118	348	342	平場　8			C	1401	34	10	9	2.1	
118	349	343	平場　8			D	1042	35	9	9	1.7	
118	350	344	平場　8			D	1235	[33]	10	10	1.8	
118	351	345	平場　8			D	1195	[29]	10	10	1.7	
118	352	346	平場　8			D	1098	33	10	9	1.8	
118	353	347	平場　8			D	1144	33	10	10	1.9	
118	354	348	平場　8			Ⅱ⑨	497	32	10	10	1.7	
118	355	349	平場　8			Ⅱ⑦	486	35	10	9	1.8	
118	356	350	平場　8			D	1169	34	10	9	1.7	
118	357	351	平場　8			D	1236	33	10	10	2	
118	358	352	平場　8			C	918	[34]	10	9	1.9	
118	359	353	平場　8			C	345	32	9	9	1.6	
118	360	354	平場　8	土坑　64			1706	[33]	11	10	2.3	
118	361	355	平場　8			?	不明	48	15	14	6.1	
118	362	356	平場　8	土坑　65			1751	45	22	20	14.2	
118	363	357	平場　8			Ⅲ	43	47	22	21	13.9	
118	364	358	平場　8			Ⅰ	2	45	21	20	12.5	
118	365	359	平場　8			C	394	[40]	21	[20]	10.5	
118	366	360	平場　8			Ⅱ	72	[42]	22	22	11.7	
118	367	361	平場　8			Ⅱ	4	[34]	20	[18]	7.5	
118	368	1	平場　12			Ⅱ	3	[51]	25	25	17.9	
118	369	2	平場　12			Ⅱ	4	45	24	24	18.9	中世盛土層
118	370	3	平場　12			上層	13	41	22	20	13.6	盛土層
118	371	4	平場　12			上層	26	[31]	20	20	8.2	盛土層
118	372	5	平場　12			上層	40	[36]	13	11	3.6	盛土層

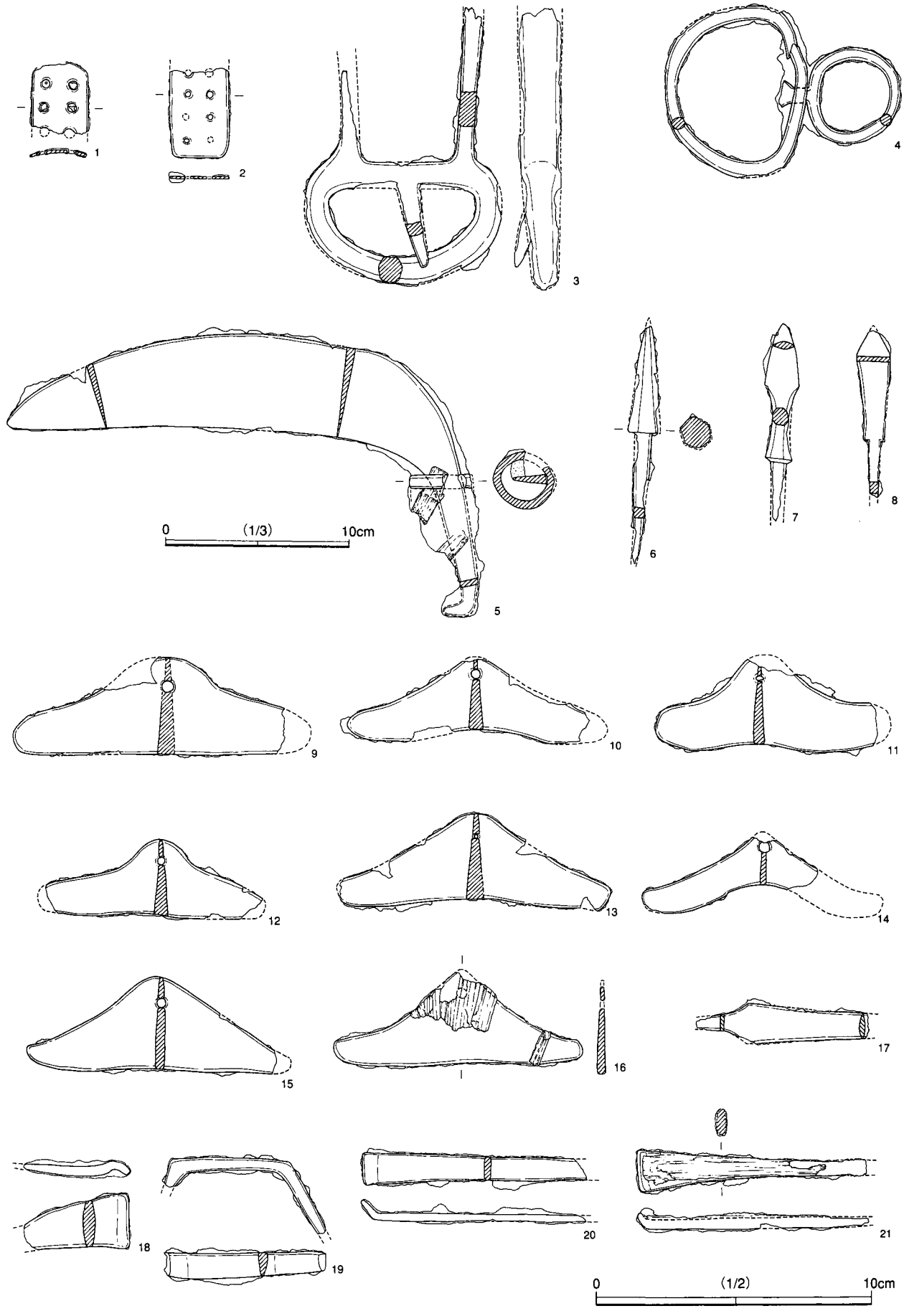
第11表　金属製品計測表　刀子

［　］現存値・（　）復元値，単位cm

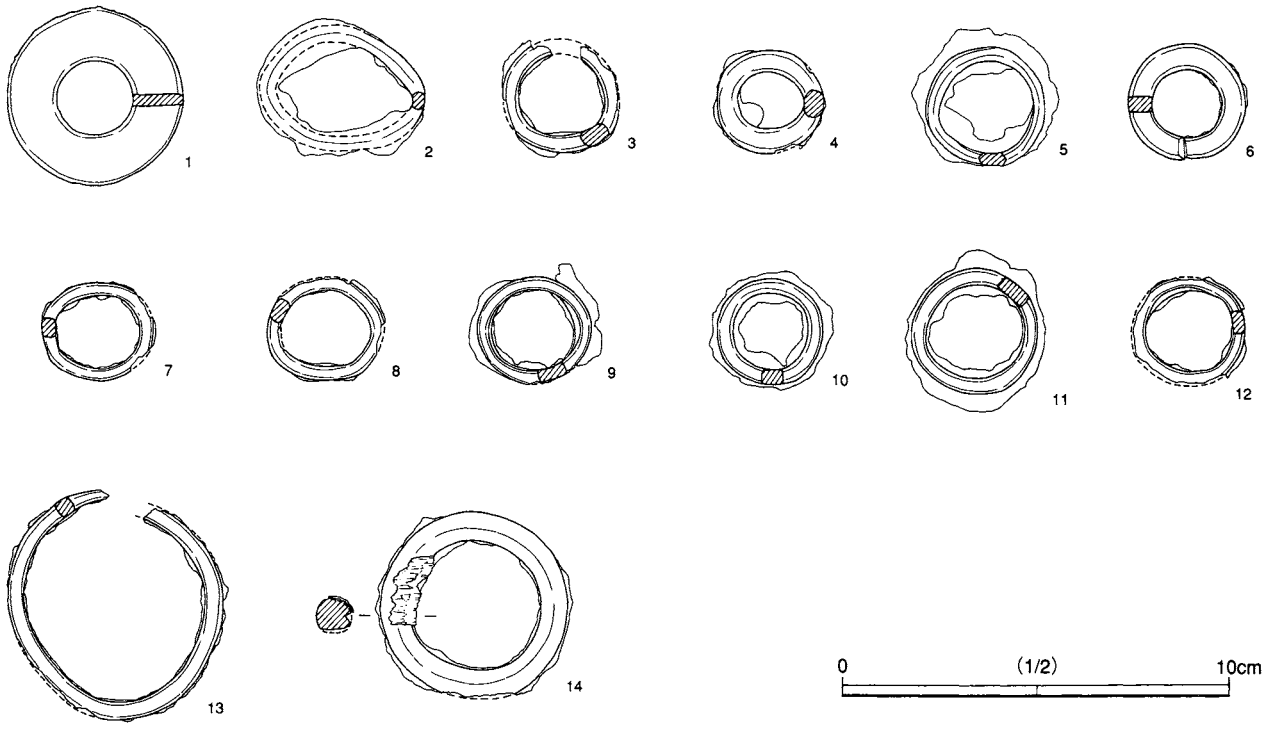
挿図番号	掲載番号	実測番号	平場	遺構番号	出土層位面	遺物番号	全長	刀身長	茎長	刀身幅/背厚	茎幅/厚	現存重量（g）
120	1	14	平場　8		D	1812	[38.5]	29.1	[9.4]	2.5/0.65	1.5/0.65	190
120	2	22	平場　6		B	2822	23.4	14.65	8.7	3.1/0.4	1.6/0.3	69.2
120	3	2	平場　6	土坑　124		9	[12.5]	9.3	[3.15]	1.0/0.27	1.15/0.35	16.6
120	4	6	平場　6		B	2738		[4.25]		1.1/0.28		4.4
120	5	5	平場　6	土坑　132		1		[9.7]		1.4/0.28		11.8
120	6	1	平場　6		B	2327	[12.4]	11.3	[1.05]	1.1/0.3	1.15/0.27	15.7
120	7	8	平場　6	堀　F　中		218		[5.6]		1.25/0.25		2.9
120	8	9	平場　6	ピット　13　中		2		[6.4]		1.65/0.36		12.7
120	9	4	平場　6	堀　F　下		121	[14.95]	[6.6]	6.35	1.0/0.28	1.1/0.27	14.1
120	10	1	平場　7		B	399	[14.5]	[8.5]	[6.1]	1.4/0.3	1.1/0.25	18.3
120	11	6	平場　8		上	1832	[14.35]	[5.55]	8.85	1.5/0.45	1.15/0.3	23.4
120	12	3	平場　6		B	2339			[6.8]		0.95/0.28	6.2
120	13	1	平場　8		C	383			[4.5]		0.75/0.45	3.1
120	14	2	平場　8		B	262		[5.3]		1.3/0.51		8.4
120	15	7	平場　6	堀　G　上		19			[6.1]		1.15/0.21	8.9
120	16	3	平場　8	土坑　11		607	[6.1]	[1.6]	4.5	1.5/0.51	1.05/0.28	8
120	17	9	平場　8		D	1293		[5.3]		2.1/0.4		10.1
120	18	4	平場　8		C	1314		[4.0]		1.25/0.35		6.1

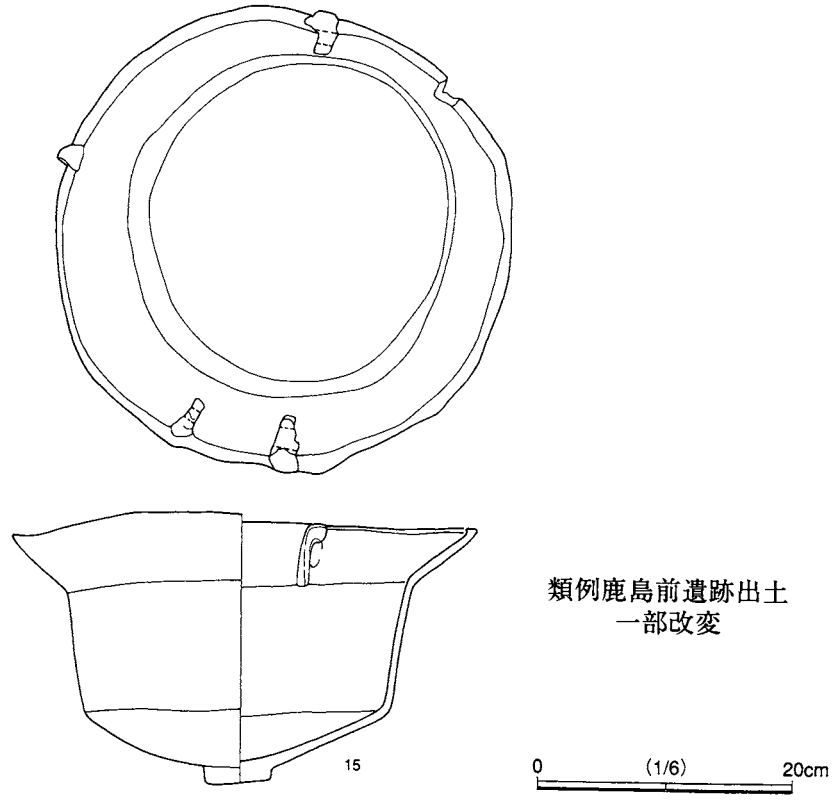


第120図　刀子

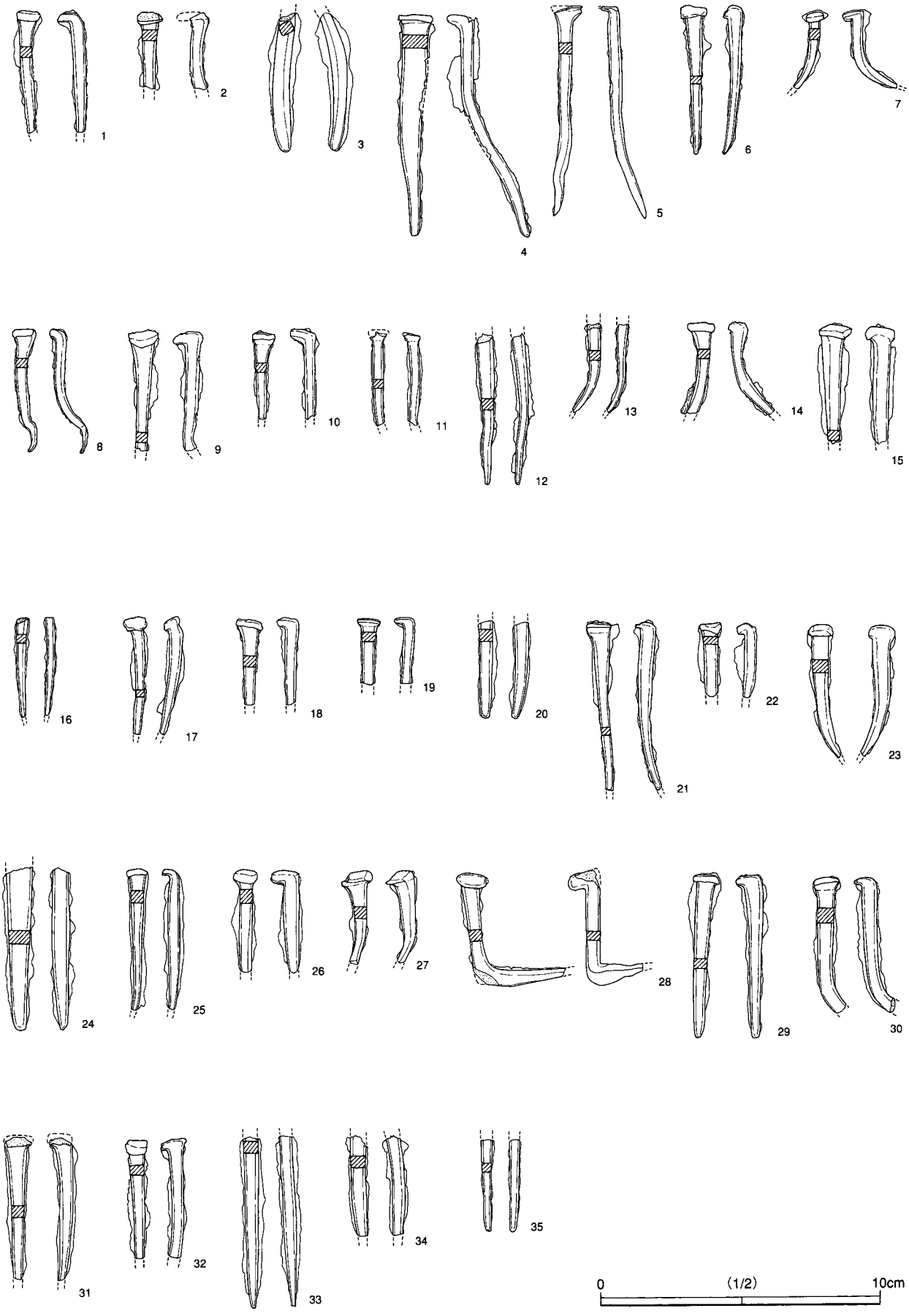


第121図　鉄製品

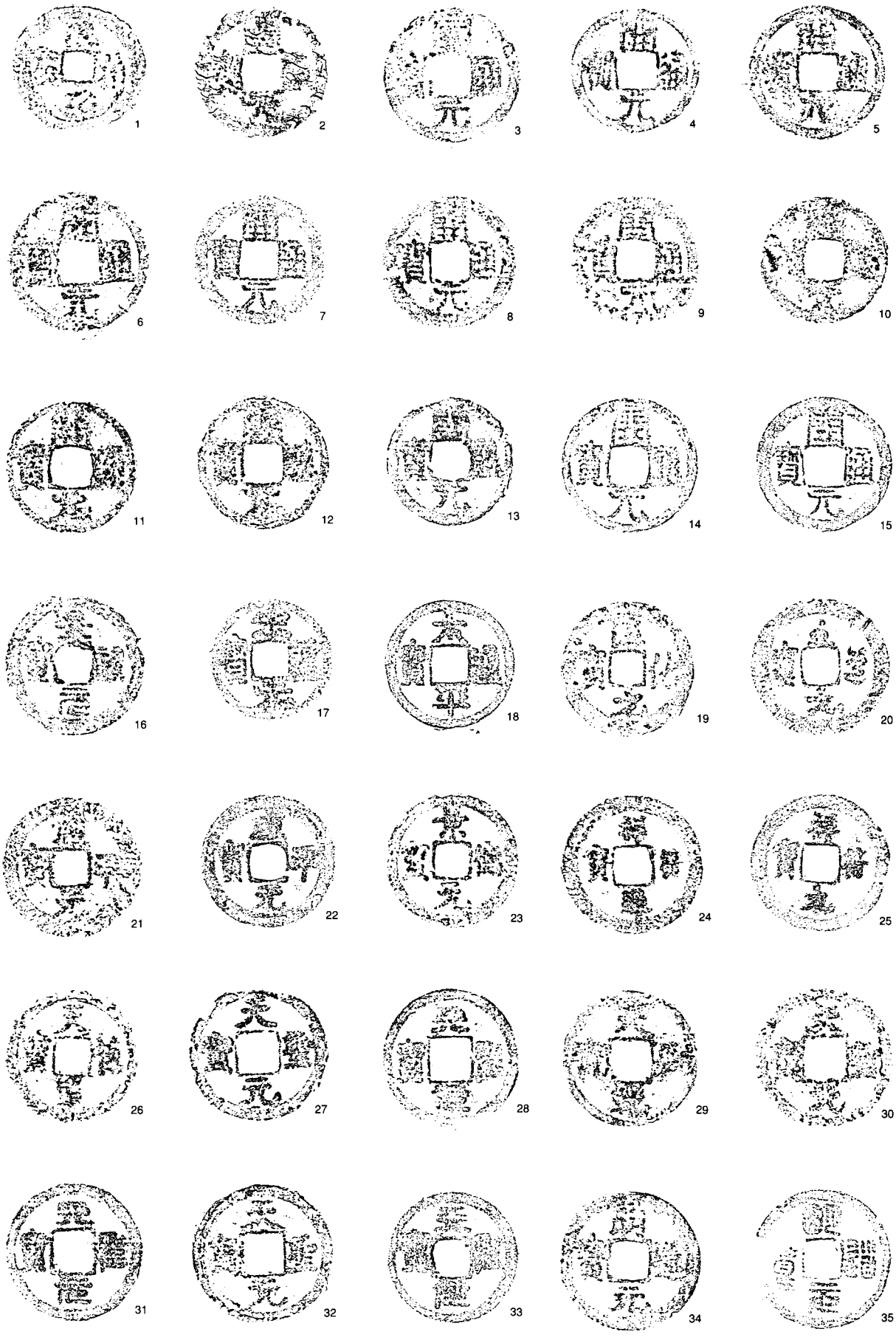




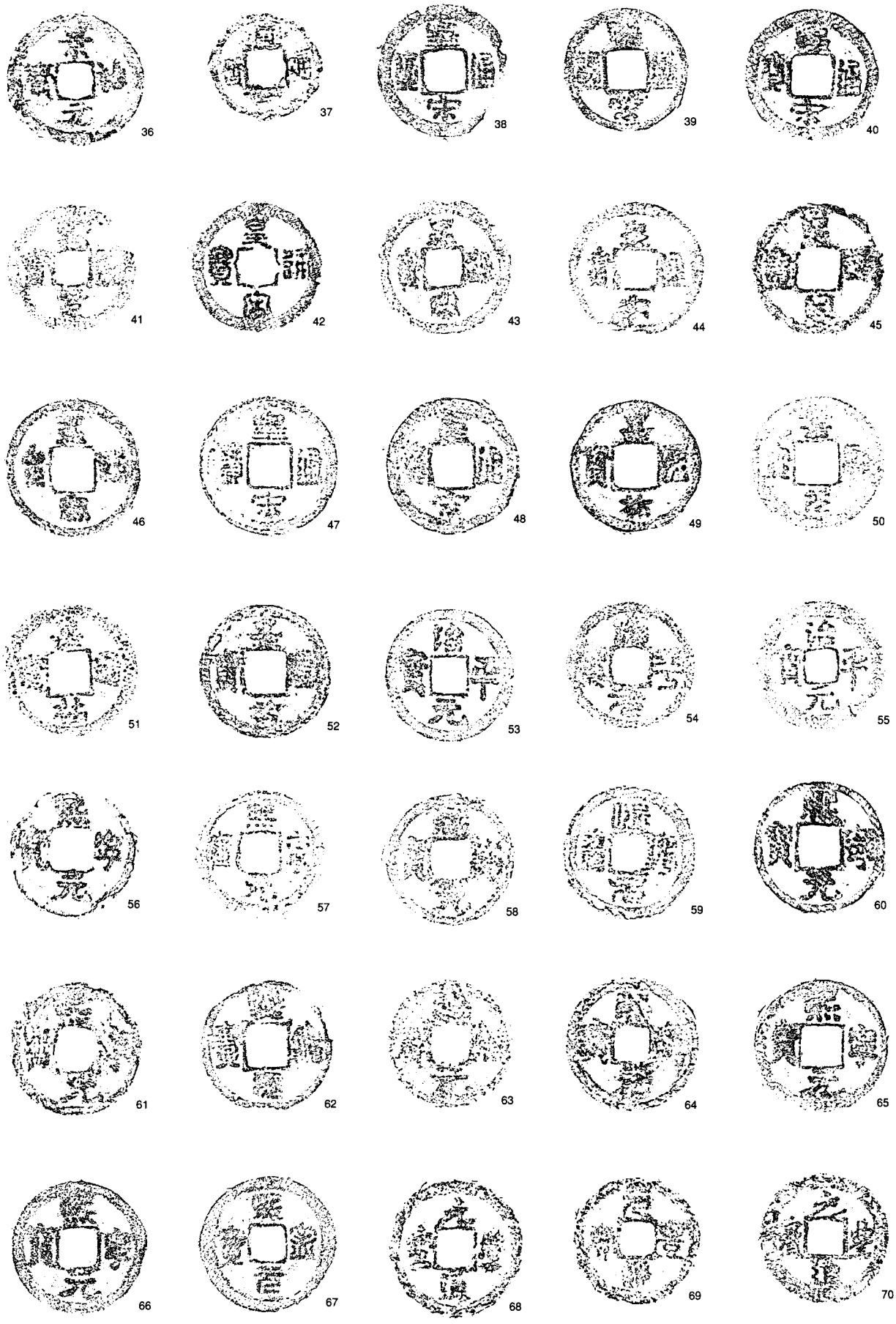
第122図　環状鉄製品・鉄鍋


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
0
(1/2)
10cm

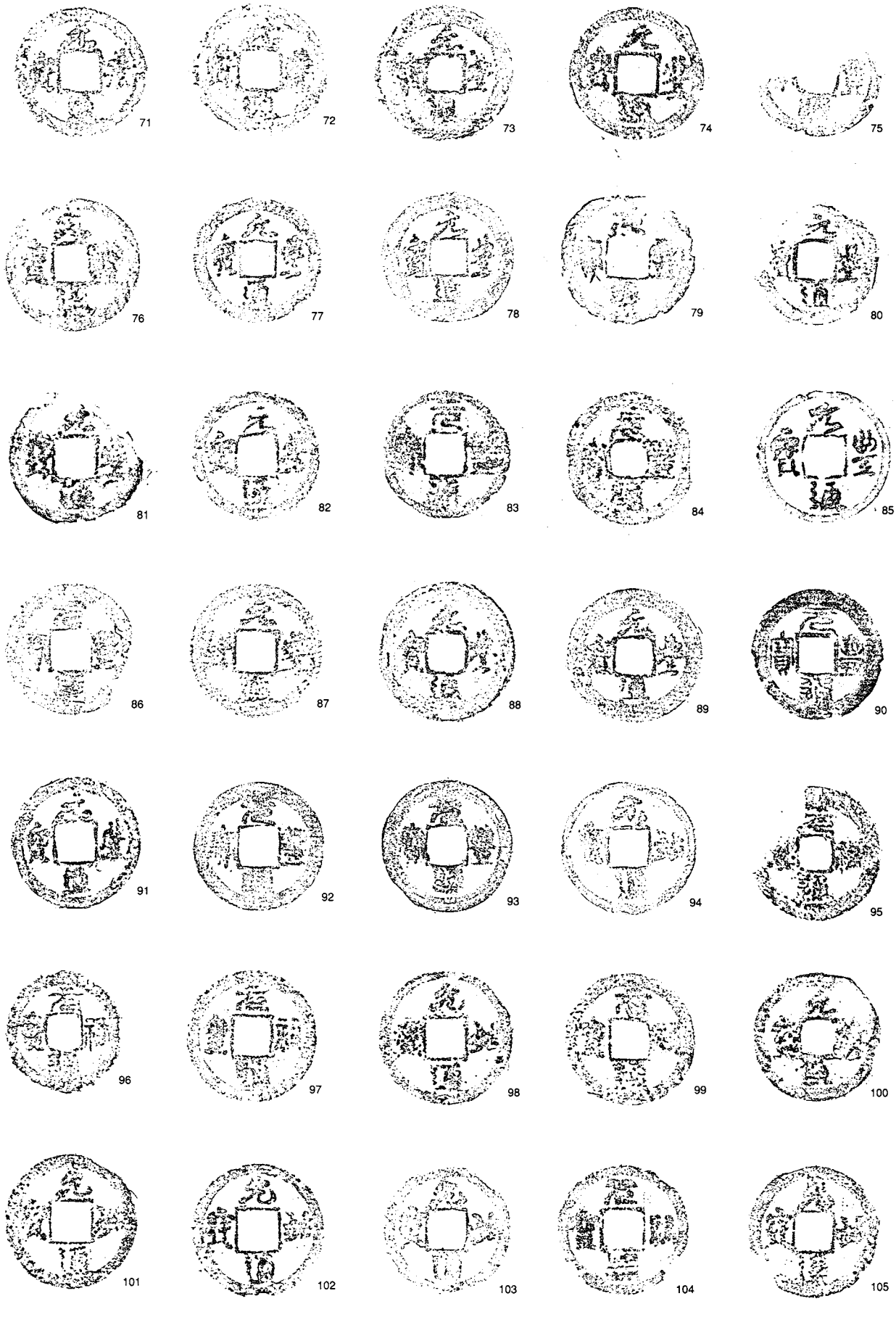
第123図　鉄釘


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
0
5cm

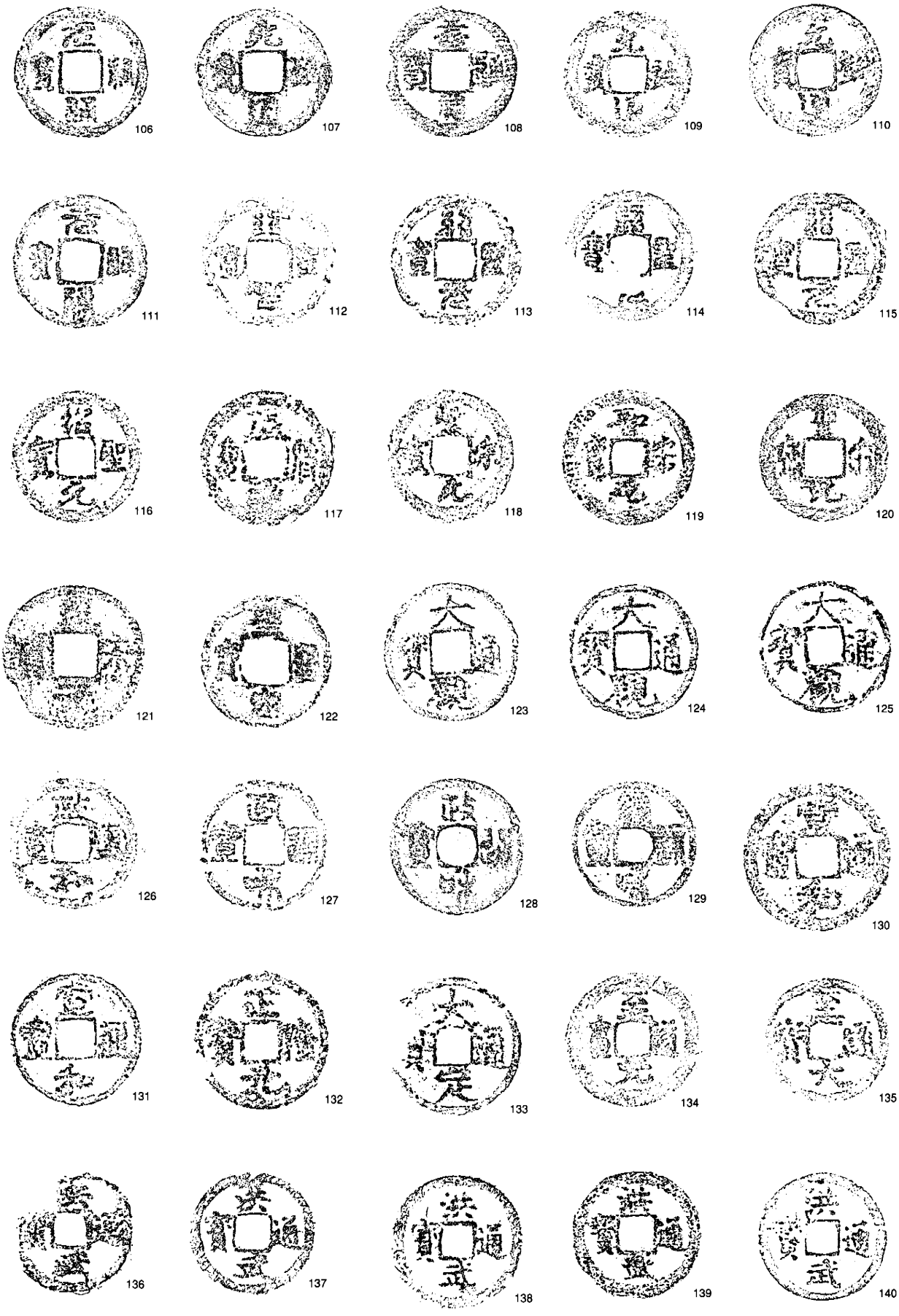
第124図　銭貨（1）


36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
0
5cm

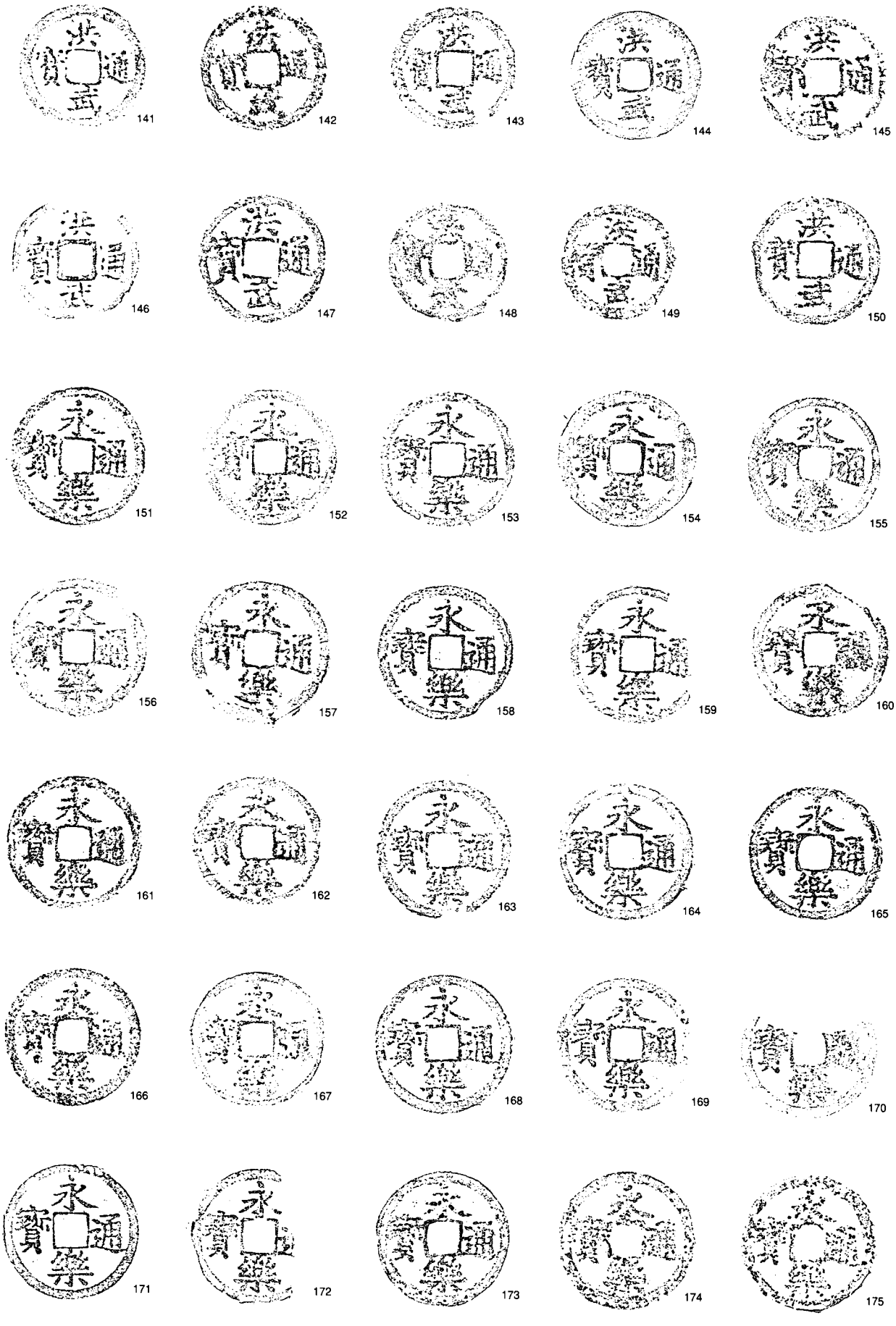
第125図　銭貨（2）


71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
0
5cm

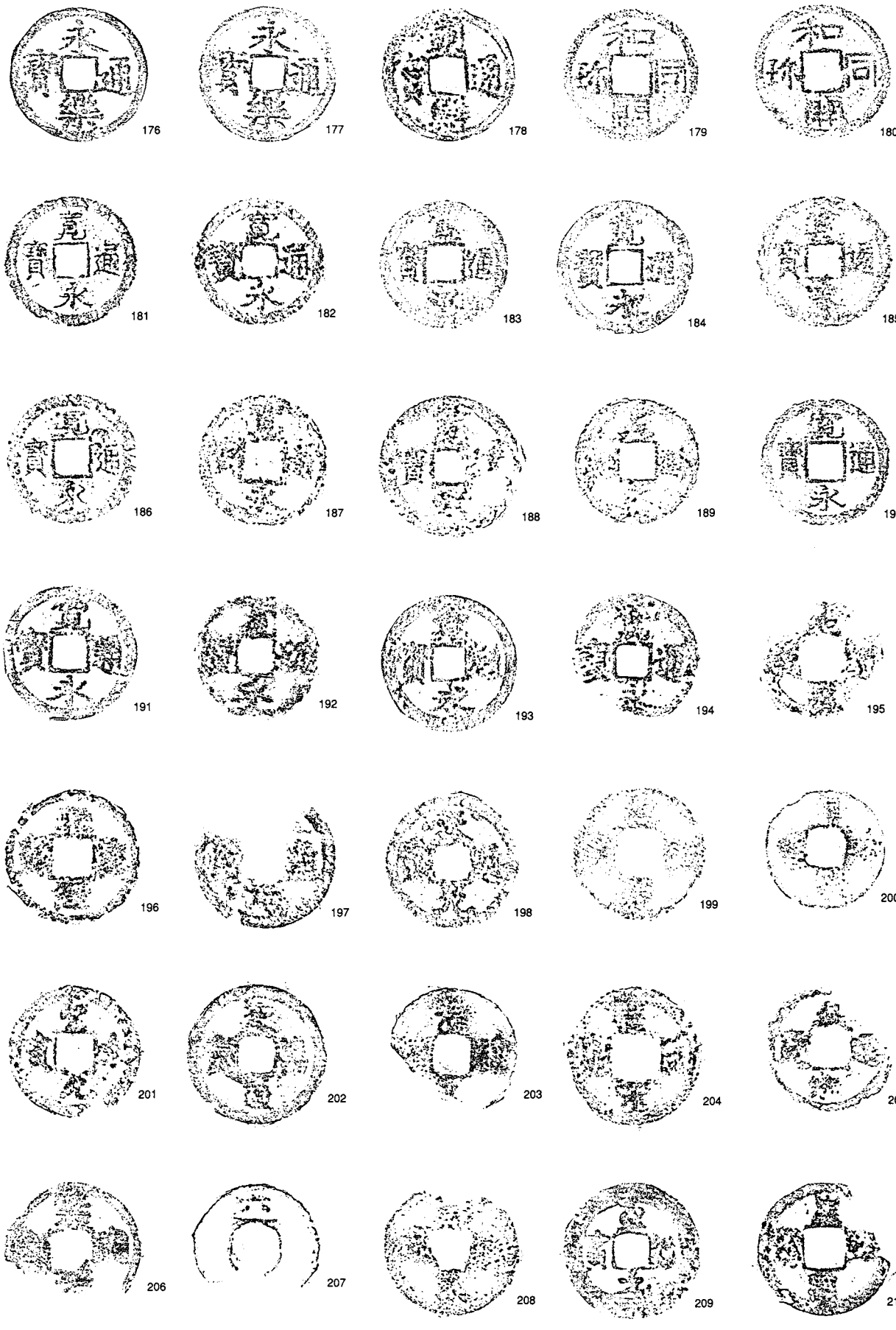
第126図　銭貨（3）


106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
0
5cm

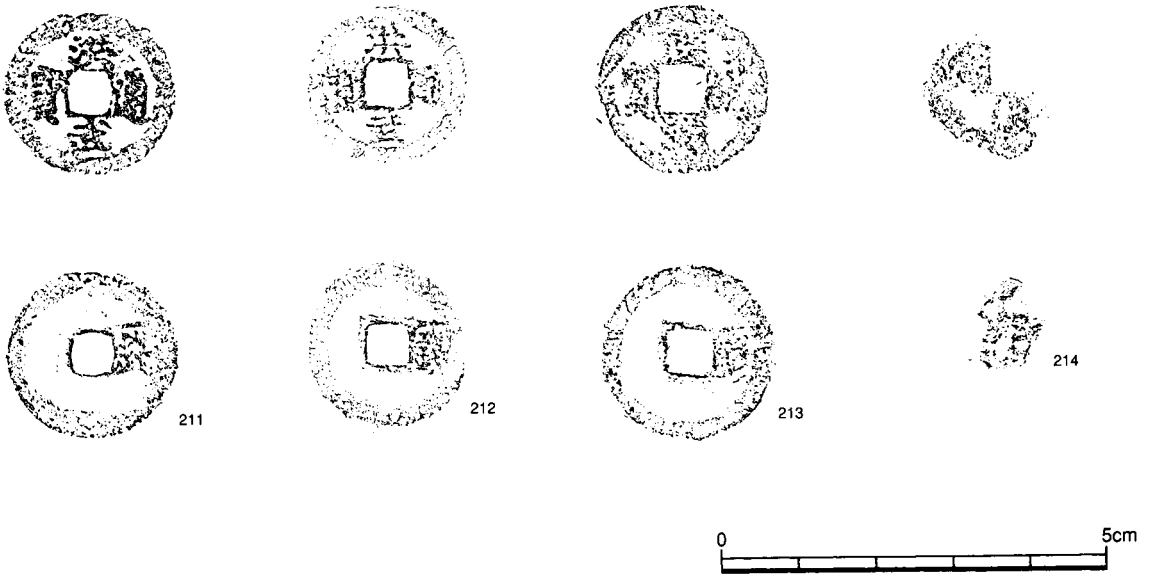
第127図　銭貨（4）


141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
0
5cm

第128図　銭貨（5）


176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
0
5cm

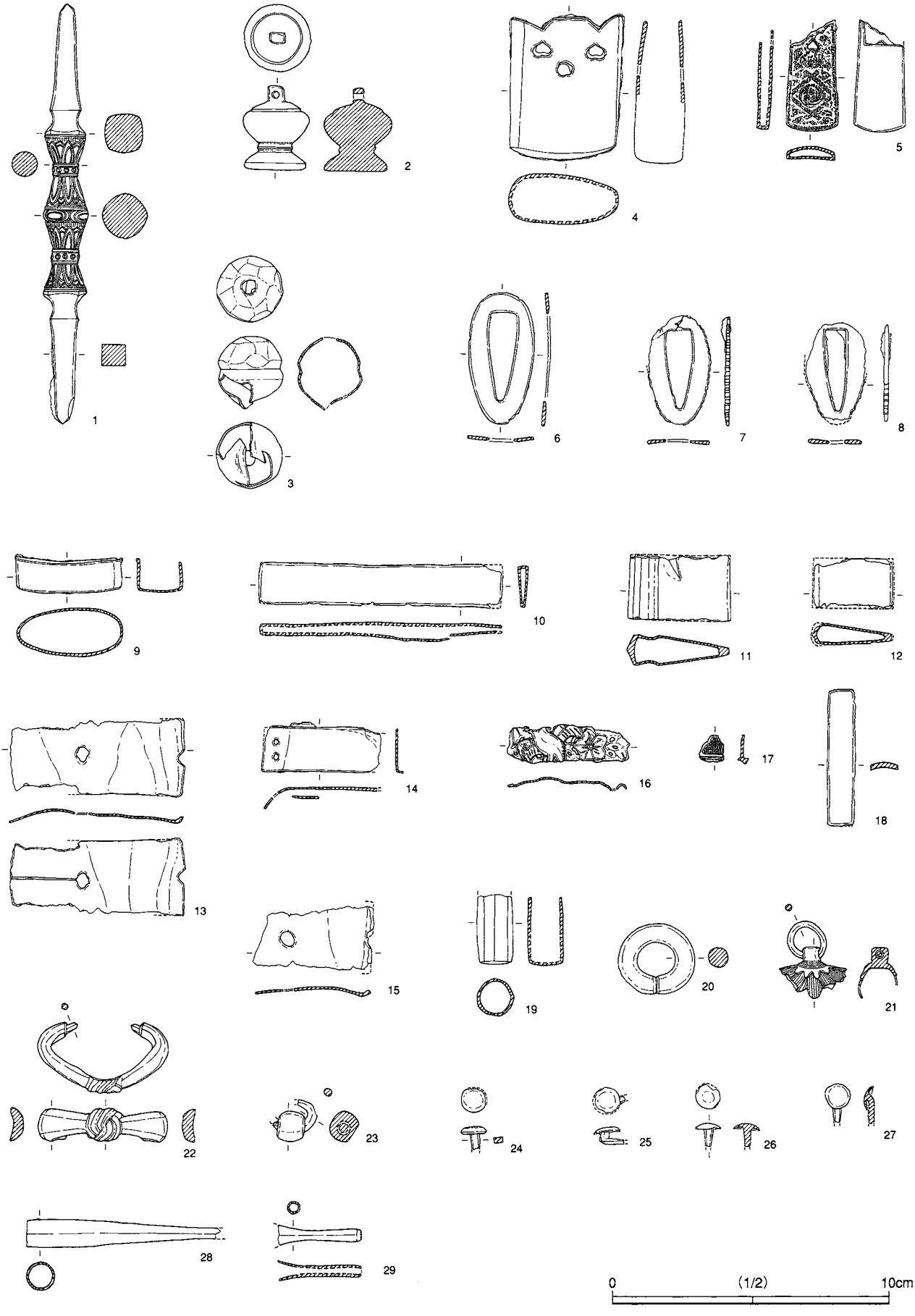
第129図　銭貨（6）



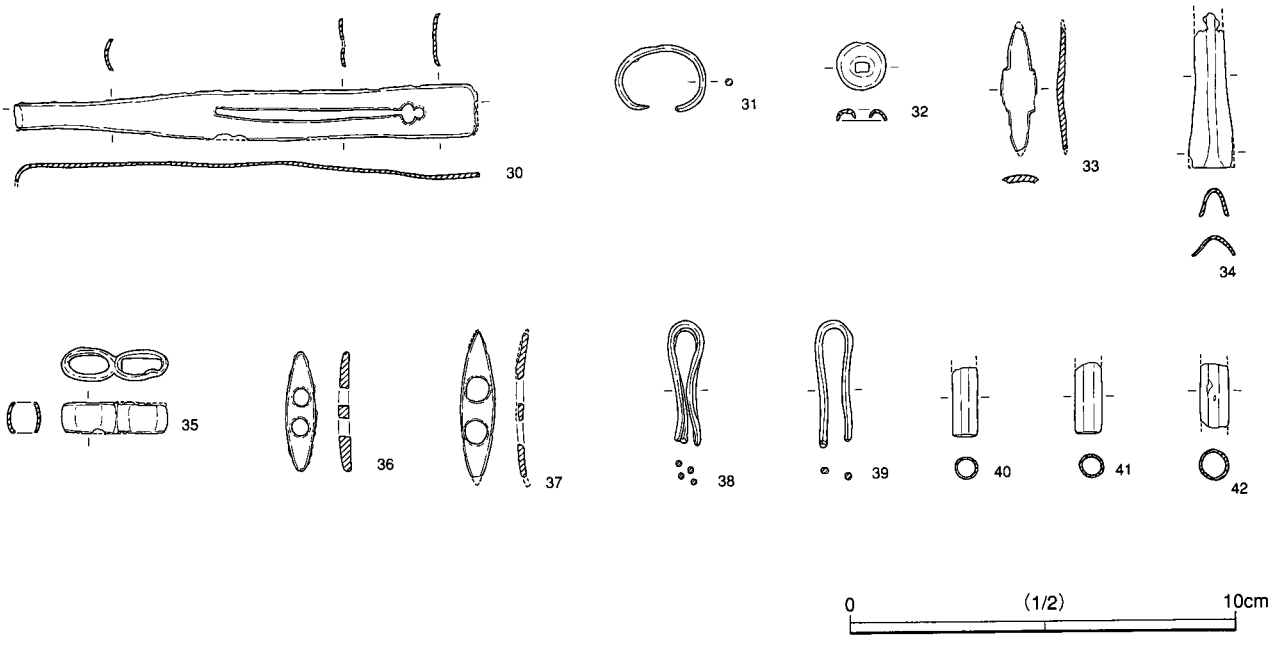
第130図　銭貨（7）

第12表　金属製品計測表　鉄製品　　［　］現存値，単位cm

挿図番号	掲載番号	実測番号	平場	遺構番号	元遺構	出土層位面	遺物番号	製品名	長さ	幅	厚さ	重量（g）	備考
120	1	25	平場　6			C	1870	小札	[2.6]	2.05	0.15	2.6	
120	2	1	不明			?		小札	[3.3]	2.15	0.1	3.4	
120	3	23	平場　6			A	225	馬具	[10.35]	[7.25]	[1.65]	94	鞍金具の一部か？，鐙の鉸具か？
120	4	24	平場　6			B	1564	馬具	5.2	[6.4]	0.45	33.4	大小２連の環から成る。轡か？
120	5	15	平場　6			中	1525	鎌	26.1	4.9	0.45	250	径3.5cmの鋲金具残存
120	6	26	平場　6			B	2909	鉄鏃					
120	7	27	平場　6	土坑 149		上	2	鉄鏃					
120	8	5	平場　8			B	1653	鉄鏃					
120	9	12	平場　6			A	1005	火打金	[9.85]	3.45	0.6	34.1	
120	10	11	平場　6			B	1604	火打金	[8.9]	[2.5]	0.53	21.1	
120	11	13	平場　6			B	2174	火打金	[8.05]	[2.8]	0.41	27.9	
120	12	15	平場　6			C	2964	火打金	[7.9]	2.65	0.55	15.4	
120	13	14	平場　6	土坑 128			18	火打金	[9.95]	3.1	0.69	26.7	
120	14	2	平場　7			B	334	火打金	[6.4]	[1.55]	0.25	9.3	
120	15	7	平場　8			C	974	火打金	[9.1]	3.4	0.33	28.8	
120	16	8	平場　8			D	1615	火打金	[9.2]	[3.2]	0.32	19.6	
120	17	1	平場　1			Ⅰ～Ⅱ	2	不明	6.35	1.5	0.25	4.6	
120	18	16	平場　6			地山面	1355	不明	[3.9]	2	0.45	7	
120	19	32	平場　6			地山面	1374	不明	[5.9]	0.8	0.35	8.7	
120	20	31	平場　6			B	2736	不明	[8.2]	0.85	0.25	7.3	
120	21	10	平場　6	堀　G	16	中	206	不明	[8.4]	5.5	0.28	7.7	


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
0
(1/2)
10cm

第131図　銅製品（1）



第132図　銅製品（2）

第13表　金属製品計測表　環状製品・鉄鍋

挿図番号	掲載番号	実測番号	平場	遺構番号	元遺構	出土層位面	遺物番号	外径	内径	断面径	重量（g）	備考
122	1	30	平場　6			A	2781	4.6	1.95	0.33	30.1	
122	2	21	平場　6			A	1282	[4.3]	[3.55]	0.4	11.3	
122	3	29	平場　6			B	1480	[3.05]	2.3	0.75	6.8	
122	4	20	平場　6				2684	2.3	1.75	0.8	11	
122	5	17	平場　6			B	2739	5.1	2.5	0.7	13	
122	6	28	平場　6			A	2780	3.05	1.8	0.45	14	
122	7	19	平場　6	堀　G	16		32	2.9	2.2	0.5	5.5	
122	8	3	平場　7			上	264	3.05	2.3	0.55	5.4	
122	9	10	平場　8			B	318	3	2.45	0.75	8.8	
122	10	13	平場　8			D	1464	2.85	2	0.55	8.1	
122	11	12	平場　8			D	1490	3.3	2.55	0.85	16.9	
122	12	11	平場　8	土坑　62			1676	[2.95]	2.25	0.58	5.6	
122	13	4	平場　7			B	363	5.5	4.7	0.45	11.8	
122	14	18	平場　6	土坑　243			7	4.85	[3.4]	[0.9]	33.6	
122	15		平場　6			A	223					鉄鍋

第14表　金属製品計測表　鉄釘

単位mm

挿図番号	掲載番号	実測番号	枝	平場	遺構番号	元遺構	出土層位面	遺物番号	現存長	重量（g）	備考
123	1	15		平場　6	堀　F	14	上	99	5.1	3.1	
123	2	7		平場　6	堀　F	14	下	138	2.8	1.8	
123	3	21		平場　6	堀　F	14	下	171	5	6.6	
123	4	5		平場　6	堀　F	14	中	204	8.1	9.9	
123	5	22		平場　6	堀　G	16	上	30	7.7	7.1	
123	6	6		平場　6	堀　G	16	下	35	5.4	2.7	
123	7	1		平場　6	堀　G	16	中	288	2.9	2	
123	8	3		平場　6	溝　51	51		140	4.4	1.7	
123	9	11		平場　6	土坑　76	76		7	4.3	3.8	
123	10	27		平場　6	土坑　109	109		4	3.1	1.5	
123	11	25		平場　6	土坑　129	129	上	14	3.4	1.5	
123	12	23		平場　6	土坑　140	140	上	5	5.3	3.3	
123	13	14		平場　6	土坑　172	172	B	2	3.2	1.1	
123	14	9		平場　6	土坑　172	172	B	4	3.3	1.9	
123	15	24		平場　6	土坑　224	224		2	4.2	5.7	
123	16	10	−2	平場　6	土坑　243	243		2	3.5	1	
123	17	10	−1	平場　6	土坑　243	243		2	4.2	1.9	
123	18	18		平場　6	土坑　243	243		3	3	1.9	
123	19	28		平場　6			C	1778	3.4	2.7	
123	20	16		平場　6	土坑　251	251	下	15	3.5	2.2	
123	21	12		平場　6	土坑　254	254	上	5	6	3.3	
123	22	8		平場　6	ピット　83	83		1	2.6	2.2	
123	23	4		平場　6	ピット　104	104	C	1	4.7	4.1	
123	24	31		平場　6			A	1318	5.8	8.1	
123	25	2		平場　6			B	1450	5	3.9	
123	26	33		平場　6			B	1542	3.6	3.7	
123	27	17		平場　6	土坑　243	243		6	2.4	1.3	
123	28	34		平場　6			上	1847	4	6.1	L字形に曲がる
123	29	13		平場　6			B	2189	5.9	5.5	
123	30	29		平場　6			B	2234	4.9	6.6	
123	31	19		平場　6			A	2257	5	4.5	
123	32	30		平場　6			C	2509	4.2	2.9	
123	33	20		平場　6			C	2583	6.1	4.4	
123	34	26		平場　6			C	2643	3.6	2.9	
123	35	32		平場　6			C	2927	3.3	1	

第15表　金属製品計測表　銭貨（1）

挿図	掲載番号	拓影番号	平場	遺構番号	元遺構	出土層位面	遺物番号	枝番	銭種	書体	読み	鋳造地	初鋳年 元号	初鋳年 西暦	材質	縁外径	縁内径	郭外長	郭内長	縁厚	肌厚	重量	備考
124	1	29	平場　6	土坑　28	28	中	1	- 3	開元通宝		対読	唐	武徳4	621	銅	24.49	18.52	6.7	5.12	1.13	0.8	4.1	
124	2	75	平場　6			A	2251	- 1	開元通宝		対読	唐	武徳4	621	銅	23.81	19.61	8.13	6.58	1.03	0.85	2.2	
124	3	79	平場　6			B	2458		開元通宝		対読	唐	武徳4	621	銅	24.57	20.39	8.55	7.08	1.32	0.8	2.6	
124	4	82	平場　6			B	2466		開元通宝		対読	唐	武徳4	621	銅	23.13	20.12	8.85	6.92	1.39	1.1	2.3	
124	5	15	平場　6	土坑　91	091		1		開元通宝		対読	唐	武徳4	621	銅	24.59	21.15	8.23	6.67	1.21	0.65	2	
124	6	10	平場　6	堀　G	016	上	144	- 2	開元通宝		対読	唐	武徳4	621	銅	25.15	21.16	9.31	6.96	1.22	0.85	2.5	
124	7	97	平場　7			B	381	- 2	開元通宝		対読	唐	武徳4	621	銅	23.62	18.73	8.54	6.35	1.15	0.7	2.5	
124	8	105	平場　7			B	381	-10	開元通宝		対読	唐	武徳4	621	銅	24.19	19.48	8.66	6.81	1.11	0.55	2.8	
124	9	108	平場　7			B	381	-13	開元通宝		対読	唐	武徳4	621	銅	23.17	18.97	9.4	6.91	1.09	0.65	2.7	
124	10	110	平場　7			B	381	-15	開元通宝		対読	唐	武徳4	621	銅	23.11	19.13	8.8	6.95	1.23	0.85	3.2	
124	11	111	平場　7			B	381	-16	開元通宝		対読	唐	武徳4	621	銅	23.67	20.12	8.83	7.36	0.75	0.55	2.2	
124	12	142	平場　8			D	1171	- 1	開元通宝		対読	唐	武徳4	621	銅	23.5	20.42	8.16	6.83	1.36	0.85	3.2	
124	13	164	平場 11			I	1	- 1	開元通宝		対読	唐	武徳4	621	銅	23.37	19.76	8.32	6.37	1.17	0.85	2.5	
124	14	176	平場 12			中	159	- 3	開元通宝		対読	唐	武徳4	621	銅	24.46	21.28	8.16	6.82	1.25	0.65	3.1	
124	15	192	平場 12			中	161	- 7	開元通宝		対読	唐	武徳4	621	銅	24.68	20.51	8.37	7.15	1.04	0.5	2.2	
124	16	149	平場　8			D	1171	- 8	天福元宝	篆書	順読			938	銅	24.93	20.2	7.35	6.51	1.03	0.75	3.1	
124	17	98	平場　7			B	381	- 3	宋通元宝		順読	北宋	建隆元	960	銅	22.01	18.23	7.69	5.97	1.05	0.6	2.4	
124	18	187	平場 12			中	161	- 2	太平通宝		対読	北宋	太平興国	976	銅	23.19	20.07	7.53	6.56	0.87	0.5	2.6	
124	19	20	平場　6	土坑 235	235	?	2		淳化元宝	行書	順読	北宋	淳化元	990	銅	24.24	18.61	6.71	5.57	1.32	0.8	2.9	

第15表　金属製品計測表　銭貨（2）

挿図	掲載番号	拓影番号	平場	遺構番号	元遺構	出土層位面	遺物番号 枝番	銭種	書体	読み	鋳造地	初鋳年 元号	初鋳年 西暦	材質	縁外径	縁内径	郭外長	郭内長	縁厚	肌厚	重量	備考
124	20	173	平場 12			Ⅱ	3 - 4	至道元宝	草書	順読	北宋	至道元	995	銅	24.84	19.17	7.05	6.02	1.05	0.7	2.3	欠損
124	21	35	平場 6	土坑 28	28	中	1 - 9	咸平元宝		順読	北宋	咸平元	998	銅	25.47	18.73	7.64	5.73	1.16	0.6	3.4	
124	22	191	平場 12			中	161 - 6	咸平元宝		順読	北宋	咸平元	998	銅	24.35	18.95	7.78	6.43	1.25	0.7	3.2	
124	23	83	平場 6			E	3052	景徳元宝		順読	北宋	景徳元	1004	銅	24.37	19.69	7.32	6.15	1.37	0.7	2.6	
124	24	17	平場 6	土坑 111	111	上	1 - 1	祥符元宝		順読	北宋	大中祥符?	1009	銅	25.24	19.7	8.05	6.51	1.24	0.65	2.4	
124	25	196	平場 12			中	161 - 11	祥符元宝		順読	北宋	大中祥符元	1009	銅	24.79	19.5	7.34	6.57	1.33	0.75	3.5	
124	26	8	平場 6	堀 F	14	下	331	天禧通宝		順読	北宋	天禧年間	1017	銅	23.51	19.33	8.56	6.44	1.32	0.65	1.8	
124	27	66	平場 6			B	1960 - 1	天聖元宝	真書	順読	北宋	天聖元	1023	銅	24.62	21.35	8.27	7.45	1.49	0.85	2.5	
124	28	107	平場 7			B	381 - 12	天聖元宝	篆書	順読	北宋	天聖元	1023	銅	24.78	21.86	8.7	7.36	1.02	0.5	2.3	
124	29	124	平場 7			上	425 - 3	天聖元宝	真書	順読	北宋	天聖元	1023	銅	24.58	21.63	8.74	7	1.09	0.9	2.5	
124	30	125	平場 7			上	425 - 4	天聖元宝	真書	順読	北宋	天聖元	1023	銅	25.07	20.95	9.14	7.45	1.13	0.65	2.8	
124	31	154	平場 8			C	1357 - 1	天聖元宝	篆書	順読	北宋	天聖元	1023	銅	24.7	20.49	8.3	6.94	1	0.5	2.7	
124	32	156	平場 8			C	1357 - 3	天聖元宝	真書	順読	北宋	天聖元	1023	銅	25.18	21.22	8.36	7	1.11	0.7	2.9	
124	33	159	平場 8			D	1360	天聖元宝	篆書	順読	北宋	天聖元	1023	銅	24.1	19.48	8.02	6.15	1.09	0.8	3.1	
124	34	146	平場 8			D	1171 - 5	明道元宝	真書	順読	北宋	明道元	1032	銅	25.25	20.32	8.1	6.33	1.3	0.6	3.9	
124	35	161	平場 8			D	1431	明道元宝	篆書	順読	北宋	明道元	1032	銅	24.81	21.05	7.12	6.44	1.16	0.5	1.9	欠損
125	36	183	平場 12			中	160 - 4	景祐元宝	真書	順読	北宋	景祐元	1034	銅	24.73	19.94	7.49	6.3	1.1	0.7	2.7	
125	37	206	不明				5	皇宋通宝		対読	北宋	宝元元	1038	銅	20.48	16.58	8.19	6.56	0.92	0.7	1.3	
125	38	210	不明				9	皇宋通宝	真書	対読	北宋	宝元元	1038	銅	24.77	19.18	8.56	7.32	1.08	1	2.3	
125	39	62	平場 6			古	1715 - 4	皇宋通宝	真書	対読	北宋	宝元元	1038	銅	22.91	19.47	9.09	7.41	1.34	0.8	2.7	
125	40	57	平場 6			古	1665	皇宋通宝	真書	対読	北宋	宝元元	1038	銅	24.59	19.48	9.15	7.38	1.03	0.75	2.5	
125	41	13	平場 6	土坑 22	022	上	3	皇宋通宝	真書	対読	北宋	宝元元	1038	銅	23.06	19.52	7.89	6.1	1.33	1.1	2.2	欠損
125	42	16	平場 6	土坑 111	111	上	1 - 3	皇宋通宝	篆書	対読	北宋	宝元元	1038	銅	23.79	18.87	7.75	6.92	1.2	0.6	3.4	
125	43	19	平場 6	土坑 128	128	下	34	皇宋通宝	真書	対読	北宋	宝元元	1038	銅	24.71	20.01	8.01	6.74	1.11	0.8	2.5	
125	44	11	平場 6	堀 G	016	上	159	皇宋通宝	真書	順読	北宋	宝元元	1038	銅	24.81	20.03	8.16	6.05	1.47	1.25	4.1	
125	45	114	平場 7			B	381 - 19	皇宋通宝	篆書	対読	北宋	宝元元	1038	銅	24.05	20.38	8.83	7.56	1	0.9	2.2	
125	46	144	平場 8			D	1171 - 3	皇宋通宝	篆書	対読	北宋	宝元元	1038	銅	24.4	21.2	8.63	7.4	1.04	0.75	1.9	
125	47	145	平場 8			D	1171 - 4	皇宋通宝	真書	対読	北宋	宝元元	1038	銅	25.4	19.84	8.51	6.91	1.36	0.7	3.8	
125	48	150	平場 8			D	1171 - 9	皇宋通宝	真書	対読	北宋	宝元元	1038	銅	24.62	20.44	8.36	7.18	1.13	0.8	2.4	
125	49	63	平場 6			B	1715 - 5	嘉祐通宝	真書	対読	北宋	嘉祐元	1056	銅	23.92	20.59	9.36	7.71	1.34	1.05	3.3	
125	50	38	平場 6			A	182	嘉祐元宝	篆書	順読	北宋	嘉祐元	1056	銅	24.26	19.55	9.12	7.36	0.94	0.9	1.9	
125	51	117	平場 7			B	379 - 2	嘉祐通宝	真書	対読	北宋	嘉祐元	1056	銅	24.69	19.31	8.65	7.18	0.92	0.65	1.9	
125	52	152	平場 8			D	1171 - 11	嘉祐元宝	篆書	順読	北宋	嘉祐元	1056	銅	24.08	20.35	8.95	7.42	1.24	1.05	3.8	
125	53	64	平場 6			C	1772	治平元宝	真書	順読	北宋	治平元	1064	銅	24.06	19.44	7.92	6.42	1.32	0.95	2.8	
125	54	116	平場 7			B	379 - 1	治平元宝	篆書	順読	北宋	治平元	1064	銅	23.28	19.43	7.5	6.2	1.4	0.8	2.7	
125	55	120	平場 7			B	393 -	治平元宝	真書	順読	北宋	治平元	1064	銅	23.78	17.85	6.86	5.97	1.32	0.8	2.5	欠損
125	56	211	不明				10	熙寧元宝	真書	順読	北宋	熙寧元	1068	銅	22.54	19.08	8.79	7.36	1.12	0.55	1.3	欠損
125	57	31	平場 6	土坑 28	28	中	1 - 5	熙寧元宝	真書	順読	北宋	熙寧元	1068	銅	23.94	18.44	8.04	6.95	1.39	0.9	2.7	
125	58	32	平場 6	土坑 28	28	中	1 - 6	熙寧元宝	真書	順読	北宋	熙寧元	1068	銅	23.74	20.2	8.32	6.87	1.04	0.6	2.6	
125	59	36	平場 6	土坑 28	28	中	1 - 10	熙寧元宝	篆書	順読	北宋	熙寧元	1068	銅	24.29	19.05	7.48	5.86	1.1	0.65	3	
125	60	43	平場 6			A	483 - 1	熙寧元宝	真書	順読	北宋	熙寧元	1068	銅	24.95	20.76	7.35	5.98	1.13	0.85	3	
125	61	48	平場 6			B	1029	熙寧元宝	真書	順読	北宋	熙寧元	1068	銅	23.88	20.72	8.71	7.47	1.19	0.85	2	
125	62	49	平場 6			B	1176	熙寧元宝	篆書	順読	北宋	熙寧元	1068	銅	23.73	20.62	8.55	6.98	1.2	0.8	2.1	
125	63	45	平場 6			A	566	熙寧元宝	真書	順読	北宋	熙寧元	1068	銅	23.47	20.16	7.82	6.42	1.12	0.9	2.6	
125	64	112	平場 7			B	381 - 17	熙寧元宝		順読	北宋	熙寧元	1068	銅	24.17	21.38	7.76	5.95	1.22	0.9	3.9	
125	65	189	平場 12			中	161 - 4	熙寧元宝	真書	順読	北宋	熙寧元	1068	銅	24.11	20.17	8.33	7.26	1.31	0.8	3.5	
125	66	190	平場 12			中	161 - 5	熙寧元宝	真書	順読	北宋	熙寧元	1068	銅	24.31	20.12	8.26	6.69	1.14	0.8	3.6	
125	67	194	平場 12			中	161 - 9	熙寧元宝	篆書	順読	北宋	熙寧元	1068	銅	24.74	19.81	7.53	6.14	1.26	0.8	4	欠損
125	68	202	不明				1	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	24.88	19.86	8.28	6.35	1.2	0.85	2.8	
125	69	204	不明				3	元豊通宝	篆書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	22.95	18.2	6.98	5.96	1.23	0.75	2.7	
125	70	205	不明				4	元豊通宝	真書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	24.04	18.09	7.52	5.84	0.89	0.6	1.8	
126	71	27	平場 6	土坑 28	28	中	1 - 1	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	24.54	19.34	8.52	6.94	1.49	0.9	3.4	
126	72	28	平場 6	土坑 28	28	中	1 - 2	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	24.85	20.81	8.55	7.19	1.2	0.75	2.7	
126	73	34	平場 6	土坑 28	28	中	1 - 8	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	25.56	18.65	7.95	6.35	1.17	0.9	3.4	
126	74	54	平場 6			B	1567	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	24.93	20.87	7.97	6.64	1.21	0.9	3	
126	75	26	平場 6			下	16	元豊通宝	篆書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	23.73	19.46	8.71	7.42	1.06	0.6	1.1	欠損
126	76	71	平場 6			B	2157	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	24.96	21.16	7.75	6.28	1.54	1.15	2.7	欠損
126	77	2	平場 6	土坑 11	11	中	4	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	23.48	18.79	8.09	6.37	1.25	0.6	2.2	
126	78	14	平場 6	土坑 82	082		4	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	23.98	17.54	8.04	6.58	1.43	0.9	3	
126	79	3	平場 6	堀 F	14	中	12	元豊通宝	篆書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	24.55	19.78	8.8	7.63	0.89	0.65	1.8	

第15表　金属製品計測表　銭貨（3）

挿図	掲載番号	拓影番号	平場	遺構番号	元遺構	出土層位面	遺物番号 枝番	銭種	書体	読み	鋳造地	初鋳年 元号	初鋳年 西暦	材質	縁外径	縁内径	郭外長	郭内長	縁厚	肌厚	重量	備考
126	80	4	平場 6	堀　F	14	上	37	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	23.29	19.25	8.53	6.52	1.06	0.7	1.5	欠損
126	81	5	平場 6	堀　F	14	上	56	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	24.61	20.09	8.66	7.13	1.27	0.95	2.1	欠損
126	82	118	平場 7			B	385 - 1	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	23.84	19.66	8.57	7.22	1.17	0.65	2.2	欠損
126	83	119	平場 7			B	385 - 2	元豊通宝	篆書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	23.37	20.18	8.65	7.18	1.24	0.85	3.2	
126	84	123	平場 7			上	425 - 2	元豊通宝	篆書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	24.31	18.32	7.67	6.2	1.22	0.9	3.2	欠損
126	85	95	平場 7			B	375	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	24.57	21.46	8.36	7.23	1.21	0.75	2.2	
126	86	135	平場 8			C	972 - 1	元豊通宝	篆書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	24.58	20	8.39	7.13	1.07	0.8	2	
126	87	136	平場 8			C	972 - 2	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	23.99	19.35	8.28	6.87	1.05	0.7	1.6	欠損
126	88	137	平場 8			C	973 - 1	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	25.39	19.59	8.5	6.62	1.12	0.7	2.4	
126	89	158	平場 8			D	1359	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	25.09	17.87	7.46	6.66	0.94	0.6	2.6	
126	90	165	平場 11			I	1 - 2	元豊通宝	篆書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	24.14	18.37	7.8	6.11	1.31	1	2.4	欠損
126	91	174	平場 12			中	159 - 1	元豊通宝	行書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	24.13	20.26	8.24	6.92	1.12	0.7	3.1	
126	92	186	平場 12			中	161 - 1	元豊通宝	篆書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	23.82	18.6	8.55	7.46	1.13	0.65	3.2	
126	93	188	平場 12			中	161 - 3	元豊通宝	篆書	順読	北宋	元豊元	1078	銅	24.04	21.22	8.23	7.17	0.95	0.7	2.6	
126	94	59	平場 6			B	1715 - 1	元祐通宝	行書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	24.75	21.37	8.71	7.02	1.24	0.7	2.9	
126	95	74	平場 6			B	2206	元祐通宝	篆書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	24.33	18.44	7.09	5.82	1.25	0.8	1.9	欠損
126	96	21	平場 6	土坑 242	242	上	4	元祐通宝	篆書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	21.07	17.18	7.17	5.82	1.19	0.8	2.1	
126	97	22	平場 6	土坑 243	243		11	元祐通宝	篆書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	23.86	19.33	7.74	6.22	1.47	0.9	3.2	
126	98	102	平場 7			B	381 - 7	元祐通宝	行書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	24.61	21.43	8.58	6.67	1.17	0.8	3.3	
126	99	104	平場 7			B	381 - 9	元祐通宝	篆書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	24.22	19.75	7.75	6.58	1.5	1.15	4.4	
126	100	109	平場 7			B	381 - 14	元祐通宝	行書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	23.48	18.78	7.65	5.95	1.44	0.85	3.4	
126	101	113	平場 7			B	381 - 18	元祐通宝	行書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	24.35	19.48	8.3	7.46	1.38	0.9	2.9	
126	102	126	平場 7			上	425 - 5	元祐通宝	行書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	24.19	20.22	8.88	7.36	1.12	1	2.9	
126	103	90	平場 7			上	236	元祐通宝	行書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	23.78	19.37	8.04	6.81	1.32	0.8	2.5	
126	104	93	平場 7			中	309	元祐通宝	篆書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	23.98	20.48	8.61	6.92	1.17	0.85	1.9	
126	105	140	平場 8	土坑 39			1008 - 2	元祐通宝	行書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	24.16	19.42	8.26	6.7	1.43	0.9	3.5	欠損
127	106	148	平場 8			D	1171 - 7	元祐通宝	篆書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	24.31	20.09	8.83	6.92	1.25	0.9	3.5	
127	107	155	平場 8			D	1357 - 2	元祐通宝	行書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	24.33	21.02	8.46	6.97	1.22	1	3.3	
127	108	162	平場 8			中	1825	元祐通宝	篆書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	24.52	19.15	7.93	7.17	1	0.85	1.6	欠損
127	109	170	平場 12			Ⅱ	3 - 1	元祐通宝	行書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	23.7	18.47	7.16	6.41	1.15	0.9	2.2	
127	110	195	平場 12			中	161 - 10	元祐通宝	行書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	24.65	19.03	7.55	6.45	1.37	0.85	3.9	
127	111	197	平場 12			中	161 - 12	元祐通宝	篆書	順読	北宋	元祐元	1086	銅	24.53	20.57	8.88	7.43	1.16	0.7	3.4	
127	112	30	平場 6	土坑 28	28	中	1 - 4	紹聖元宝	篆書	順読	北宋	紹聖元	1094	銅	24.9	20.11	8.76	7.39	1.29	0.75	2.9	
127	113	12	平場 6	溝　18	018	中	17	紹聖元宝	篆書	順読	北宋	紹聖元	1094	銅	24.13	20.35	8.17	6.72	1.18	0.9	2.7	
127	114	9	平場 6	堀　G	016	上	144 - 1	紹聖元宝	篆書	対読	北宋	紹聖元	1094	銅	23.88	19.77	8.76	7.06	1.25	0.7	1.7	欠損
127	115	147	平場 8			D	1171 - 6	紹聖元宝	篆書	順読	北宋	紹聖元	1094	銅	24.3	20.04	8.69	6.62	1.08	0.7	2.6	欠損
127	116	178	平場 12			中	159 - 5	紹聖元宝	行書	順読	北宋	紹聖元	1094	銅	23.72	18.89	7.48	6.46	1.15	0.7	2.4	
127	117	94	平場 7			B	357	元符通宝	篆書	対読	北宋	元符元	1098	銅	24.65	19.75	8.83	7.16	0.99	0.7	2	欠損
127	118	24	平場 6	ピット 60	60	下	2 - 1	聖宋元宝	行書	順読	北宋	聖宋元	1101	銅	23.7	19.19	7.89	6.62	1.29	0.75	2.9	
127	119	100	平場 7			B	381 - 5	聖宋元宝	行書	順読	北宋	建中靖国元	1101	銅	24.66	19	7.03	5.68	1.3	0.9	3.7	
127	120	157	平場 8			D	1358	聖宋元宝	行書	順読	北宋	建中靖国元	1101	銅	23.75	18.82	8.14	6.44	1.27	1	2.9	
127	121	168	平場 11			上	25 - 2	聖宋元宝	行書	順読	北宋	建中靖国元	1101	銅	26.36	22.78	9.66	7.54	1.13	0.95	2.8	欠損
127	122	177	平場 12			中	159 - 4	聖宋元宝	行書	対読	北宋	建中靖国元	1101	銅	23.83	20.19	9.75	8.67	0.91	0.85	2.2	欠損
127	123	51	平場 6			B	1205	大観通宝		対読	北宋	大観元	1107	銅	25.15	21.53	8.27	6.72	1.39	0.7	2.2	
127	124	151	平場 8			D	1171 - 10	大観通宝		対読	北宋	大観元	1107	銅	24.39	21.08	7.29	6.12	1.48	0.8	3.3	
127	125	163	平場 8			上	1828	大観通宝		対読	北宋	大観元	1107	銅	24.01	21.75	7.5	5.91	1.28	0.7	2.2	
127	126	33	平場 6	土坑 28	28	中	1 - 7	政和通宝	隷書	対読	北宋	政和元	1111	銅	23.38	19.47	7.66	6.21	1.08	0.9	2.6	
127	127	160	平場 8			C	1396	政和通宝	篆書	対読	北宋	政和元	1111	銅	23.43	20.51	7.76	6.49	1.22	0.85	2	欠損
127	128	199	平場 12			中	161 - 14	政和通宝		対読	北宋	政和元	1111	銅	24.78	21.2	7.75	6.86	0.81	0.5	2.2	
127	129	61	平場 6			B	1715 - 3	宣和通宝	篆書	対読	北宋	宣和元	1119	銅	23.14	20.57	7.54	6.38	1.28	0.75	2.8	文字推定
127	130	25	平場 6	ピット 60	P60	下	2 - 2	宣和通宝	隷書	対読	北宋	重和2	1119	銅	27.35	21.72	8.34	7.01	1.44	1	4.7	
127	131	179	平場 12			中	159 - 6	宣和通宝	隷書	対読	北宋	重和2	1119	銅	23.61	21.43	7.05	6.27	1.18	0.8	3	
127	132	67	平場 6			B	1960 - 2	正隆元宝		順読	金	正隆元	1157	銅	24.94	21.51	7.93	5.84	1.21	0.8	2.8	
127	133	185	平場 12			中	160 - 6	大定通宝		対読	金	大定18	1178	銅	24.91	21.9	7.18	6.32	1.34	0.65	2.4	欠損
127	134	6	平場 6	堀　F	14	下	122	至元通宝		対読	元		1285	銅	24.49	19.12	7.61	6.4	1.21	0.8	3.4	
127	135	134	平場 8		12		672 -	至大通宝		対読	元	至大3	1310	銅	22.88	19.37	7.46	5.58	1.65	0.95	2.4	
127	136	212	不明				11	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	22.42	18.31	7.34	5.8	1.3	0.6	1.7	欠損
127	137	203	不明				2	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	22.55	18.57	7.41	6.03	1.84	1.2	3.2	
127	138	207	不明				6	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	24.4	20.05	7.25	5.29	1.45	0.75	2.7	
127	139	41	平場 6			A	266 - 2	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	23.36	18.76	7.58	5.9	1.56	0.75	3.7	

第15表　金属製品計測表　銭貨（4）

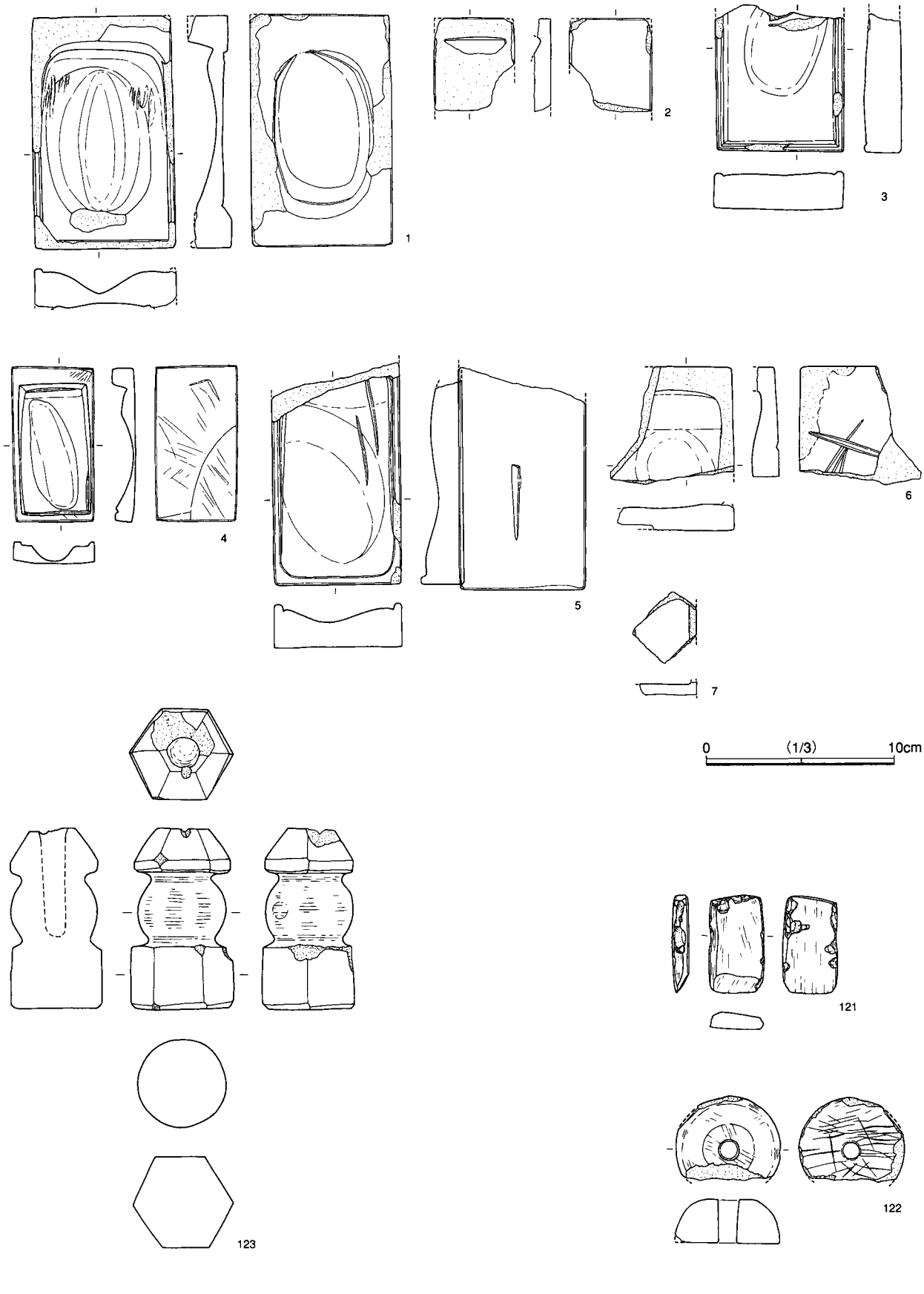
挿図	掲載番号	拓影番号	平場	遺構番号	元遺構	出土層位面	遺物番号 枝番	銭種	書体	読み	鋳造地	初鋳年 元号	初鋳年 西暦	材質	縁外径	縁内径	郭外長	郭内長	縁厚	肌厚	重量	備考
127	140	52	平場 6			地山面	1356	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	22.93	19.27	6.66	5.32	1.25	0.7	2.5	無背・重点通・マ頭通
128	141	39	平場 6			A	232	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	23.8	19.61	7.1	5.87	1.26	0.55	2.7	無背・重点通・マ頭通
128	142	81	平場 6			C	2691	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	23.48	19.38	7.27	5.74	1.9	0.75	3.1	欠損
128	143	86	平場 6			C	3124	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	22.71	19.04	7.23	6.03	1.51	0.65	2	
128	144	47	平場 6			A	704	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	24.18	19.43	7.26	5.19	1.18	0.75	3.3	
128	145	23	平場 6	土坑 253	253	下	3	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	23.29	20.47	7.67	6.41	1.48	0.7	2.8	
128	146	7	平場 6	堀 F	14	中	232	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	23.19	20.24	9.01	5.87	1.35	0.5	2.1	無背・重点通・□頭通 大錆
128	147	101	平場 7			B	381 - 6	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	24.09	20.32	7.4	5.69	1.71	1.3	4.4	無背・重点通・マ頭通
128	148	91	平場 7	土坑 39		中	291	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	21.99	19.12	6.93	5.59	1.22	0.9	1.9	
128	149	139	平場 8				1008 - 1	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	21.13	16.89	6.56	5.28	1.44	0.7	2.6	無背・重点通・□頭通
128	150	143	平場 8			D	1171 - 2	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	23.75	20.22	7.53	5.52	1.48	0.65	3.4	
128	151	40	平場 6			A	266 - 1	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.97	21.16	6.72	5.3	1.31	0.6	3	
128	152	60	平場 6			B	1715 - 2	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.66	20.89	7.73	5.94	1.01	0.75	2.5	
128	153	53	平場 6			B	1376	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	25.01	21.68	7.08	6.06	1.39	0.6	2.5	
128	154	55	平場 6			B	1568	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	25.14	20.25	7	5.38	1.35	0.6	3.4	
128	155	58	平場 6			B	1666	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.61	20.42	7.5	5.95	0.98	0.45	2.5	
128	156	65	平場 6			C	1812	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.82	20.76	7.09	5.72	1.28	0.7	2.3	
128	157	68	平場 6			C	1951	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	25.1	21.04	6.72	5.61	1.47	0.9	3.4	別個体付着（破片）
128	158	69	平場 6			B	1982	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.67	21.22	7.14	5.86	1.18	0.7	2.5	
128	159	70	平場 6			B	2123	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.77	21.74	6.7	6.07	1.06	0.4	1.3	欠損
128	160	80	平場 6			C	2623	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.93	21.8	6.86	5.63	1.5	0.95	3	欠損
128	161	84	平場 6			D層	3104	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.93	21.73	6.84	5.82	1.29	0.9	3.2	
128	162	87	平場 6			C	3149	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	23.41	19.92	6.97	5.56	1.07	0.6	2.5	
128	163	88	平場 6			E層	3165	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	25.03	21.02	6.79	5.71	1.71	0.9	2.6	
128	164	42	平場 6			A	352	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.83	21.09	6.97	5.8	1.12	0.65	2.5	
128	165	18	平場 6	土坑 111	111	上	1 - 2	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.31	21.21	7.64	6.1	1.35	0.4	2.4	
128	166	96	平場 7			B	381 - 1	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	25	21.02	7.35	5.52	1.14	0.6	3	
128	167	99	平場 7			B	381 - 4	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.52	21.23	6.91	5.87	1.34	0.75	3.5	
128	168	106	平場 7			B	381 -11	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	25.29	21.68	6.75	5.43	1.42	0.45	3.4	
128	169	122	平場 7			上	425 - 1	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.92	21.4	7.07	5.71	1.32	0.7	2.6	欠損
128	170	121	平場 7			C	421 -	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	25.21	21.33	7.31	5.66	1.57	0.85	1.9	欠損
128	171	153	平場 8			C	1327 -	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.91	21.19	6.74	5.94	1.28	0.7	2.6	
128	172	172	平場 12			Ⅱ	3 - 3	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.77	21.35	6.72	5.94	1.3	0.9	1.9	欠損
128	173	175	平場 12			中	159 - 2	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.79	21.04	7.02	5.48	1.24	0.6	3.3	
128	174	180	平場 12			中	160 - 1	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	25.24	21.42	7.1	5.44	1.28	0.85	4.1	
128	175	181	平場 12			中	160 - 2	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	25.16	21.44	7.03	5.44	1.65	0.95	4.3	
129	176	193	平場 12			中	161 - 8	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.64	21.08	7.3	5.66	1.21	0.4	3.6	
129	177	198	平場 12			中	161 -13	永楽通宝		対読	明	永楽6	1408	銅	24.94	21.39	6.81	5.6	1.24	0.7	3.4	
129	178	103	平場 7			B	381 - 8	朝鮮通宝		対読	朝鮮	世宗5	1423	銅	24.33	20.67	7.92	6.4	1.24	0.65	3.3	
129	179	167	平場 11			上	25 - 1	和銅開珎		順読	日本	和銅元	708	銅	24.46	21.54	7.42	6.59	0.97	0.45	1.5	
129	180	169	平場 11			上	25 - 3	和銅開珎		順読	日本	和銅元	708	銅	24.46	21.27	8.11	6.83	1.27	0.55	1.5	
129	181	209	不明				8	寛永通宝		対読	江戸		9000	銅	23.97	19.58	6.89	5.69	1.09	0.7	2.5	
129	182	85	平場 6			E	3118	寛永通宝		対読	江戸		9000	銅	23.53	19.14	6.8	5.5	1.19	0.8	2.7	
129	183	46	平場 6			A	680	寛永通宝		対読	江戸		9000	銅	23.62	19.29	7.97	6.37	1.11	0.75	2.7	
129	184	1	平場 6	土坑 1	1	下	3	寛永通宝		対読	江戸		9000	銅	24.68	19.77	7.25	5.84	1.26	0.45	2.6	
129	185	128	平場 8			I	9 - 1	寛永通宝		対読	江戸		9000	銅	24.45	19.95	7.33	6.21	1.43	1.05	3.7	
129	186	129	平場 8			I	9 - 2	寛永通宝		対読	江戸		9000	銅	23.57	19.06	7.46	6	1.02	1	2.5	
129	187	130	平場 8			I	9 - 3	寛永通宝		対読	江戸		9000	銅	23.61	20.21	9.16	6.43	1.5	1.2	3.4	
129	188	131	平場 8			I	10 - 1	寛永通宝		対読	江戸		9000	銅	25.86	21.68	7.01	5.93	1.48	0.65	4	
129	189	132	平場 8			I	10 - 2	寛永通宝		対読	江戸		9000	銅	22.89	18.87	8	6.29	1.1	0.85	2.3	
129	190	133	平場 8			I	12 -	寛永通宝		対読	江戸		9000	銅	23.51	19.57	7.53	6.33	1.06	0.8	2.6	
129	191	166	平場 11			I	1 - 3	寛永通宝		対読	江戸		9000	銅	24.43	19.82	7.45	5.94	1.3	0.85	3.6	
129	192	171	平場 12			Ⅱ	3 - 2	寛永通宝		対読	江戸		9000	銅	22.51	18.69	7.2	6.09	0.92	0.95	1.7	欠損
129	193	200	平場 14			A	67 - 1	寛永通宝		対読	江戸		9000	銅	24.75	19.56	6.97	5.43	1.28	0.65	2.9	
129	194	201	平場 14			A	67 - 2	寛永通宝		対読	江戸		9000	銅	23.91	19.97	7.11	6.01	1.05	0.7	1.8	欠損
129	195	213	不明				12	不明					10000	銅	22.03			7.56	0.95	1.1	1.3	欠損
129	196	208	不明				7	不明					10000	銅	24.58	21.03	8.48	6.68	0.99	0.55	2.5	
129	197	76	平場 6			A	2251 - 2	不明					10000	銅	24.81	20.46	8.22	6.97	1.21	0.9	1.4	欠損
129	198	50	平場 6			B	1172	不明					10000	銅	24.49	20.62	7.76	6.34	1.27	1.05	2.6	
129	199	37	平場 6			A	150	不明					10000	銅	23.89	20.62	9.52	8.41	1.1	0.95	2.2	

第15表　金属製品計測表　銭貨 (5)

挿図	掲載番号	拓影番号	平場	遺構番号	元遺構	出土層位面	遺物番号 枝番	銭種	書体	読み	鋳造地	初鋳年 元号	初鋳年 西暦	材質	縁外径	縁内径	郭外長	郭内長	縁厚	肌厚	重量	備考
129	200	56	平場 6			B	1601	不明					10000	銅	21.66		7.52	6.59	1.12	0.85	1.9	
129	201	72	平場 6			B	2185	不明					10000	銅	23.98	19.15	8.26	6.66	1.22	0.8	2.3	欠損
129	202	73	平場 6			B	2195	不明					10000	銅	25.38	21.44	8.29	6.47	1.29	0.95	3	
129	203	115	平場 7			B	381 - 20	不明					10000	銅	23.64	21.05	8.42	6.91	0.7	0.55	1.1	欠損
129	204	127	平場 7			上	425 - 6	不明					10000	銅	24.94	20.49	9.11	8.34	1.22	0.9	2.5	
129	205	89	平場 7			中	201	不明					10000	銅	22.86	19.68	8.66	7.03	1.06	0.7	1.4	欠損
129	206	92	平場 7			中	294	不明					10000	銅	24.63	21.84	9.04	6.74	1.07	0.8	1.4	欠損
129	207	138	平場 8			C	973 - 2	不明					10000	銅	22.24	18.97	9.72	8.58	0.75	0.5	0.9	背六　欠損
129	208	141	平場 8	土坑 39			1008 - 3	不明					10000	銅	24.62	19.57	8.17	7.54	1.07	0.7	2	欠損
129	209	182	平場 12			中	160 - 3	不明					10000	銅	24.84	17.91	7.08	5.74	1.17	0.85	3.7	
129	210	184	平場 12			中	160 - 5	不明					10000	銅	24.04	19.67	8.2	7.63	0.93	0.6	1.9	欠損
130	211	44	平場 6	裏		A	483 - 2	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	24.2	20.77	9.29	7.11	1.24	0.8	3	背一銭
130	212	77	平場 6	裏		C	2360	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	21.92	16.78	6.8	5.35	1.47	0.85	2.6	背一銭
130	213	78	平場 6	裏		B	2392	洪武通宝		対読	明	洪武元	1368	銅	23.01	17.96	7.39	6.01	1.7	0.8	3.3	背一銭
130	214	214	不明	裏			13	不明					10000	銅						0.9	0.9	計測不能　欠損

第16表　金属製品計測表　銅製品　　[　] 現存値，単位cm

挿図番号	掲載番号	実測番号	平場 No,	遺構番号	旧	出土層位面	遺物番号	製品名	長さ	幅	厚さ	重量 (g)	備考
131	1	1	平場 6			B	1145	金剛杵	15.3	1.65	1.6	96.1	独鈷杵
131	2	2	平場 6	土坑 125	125		12	分銅					
131	3	5	平場 8			D	1295	鈴形銅製品	[2.6]	2.25	0.07	5.7	
131	4	7	平場 6	土坑 2	2		15	刀装具	5.4	4.05	0.13	34.6	
131	5	16	平場 6			B	1433	不明	[4.15]	1.9	0.1	7.4	
131	6	5	平場 6	土坑 127	127		8	切羽	4.8	2.4	0.1	5.7	
131	7	6	平場 6			A	2264	切羽	3.9	2.3	0.15	3.1	
131	8	8	平場 8	土坑 39			1009	切羽	[3.5]	[2.25]	0.15	2.5	毛のようなもの付着
131	9	8	平場 6			C	2619	刀装具	3.8	2.75	0.1	9.2	
131	10	1	平場 7			B	408	小柄	8.85	1.55	0.18	8.7	
131	11	9	平場 6			A	940	不明	3.7	2.35	0.37	11.9	はばき？
131	12	1	平場 12			Ⅱ	3	不明	[2.85]	[1.8]	[2.5]	4.6	はばき？
131	13	27	平場 6	堀 F	14	上	96	板状銅製品	6.25	2.8	0.17	6.5	
131	14	15	平場 6				2703	板状銅製品	[4.3]	1.55	0.08	4.9	
131	15	28	平場 6	堀 F	14	中	10	板状銅製品	[4.25]	[2.25]	0.16	2.2	
131	16	23	平場 6			B	2398	目貫金具	4.4	1.35	0.05	3.3	
131	17	26	平場 6			C	1796	銅製飾金具	1	[0.85]	0.1	0.3	
131	18	17	平場 6			B	2399	不明	4.95	1	0.18	6.3	
131	19	6	平場 8			Ⅲ	47	筒状銅製品	[2.55]	1.28	0.1	6.2	
131	20	3	平場 6	堀 G	16	中	67	金銅製環					
131	21	7	平場 8			Ⅱ中	4	笠状銅製品					
131	22	22	平場 6	土坑 252	252	上	5	猿手金具	4.65	1.15	0.4	15.4	
131	23	2	平場 8			D	1132	銅製品					
131	24	11	平場 6	ピット 119			1	鋲金具	0.85	0.9		0.5	
131	25	4	平場 8			Ⅲ	49	鋲金具	[0.6]	[0.95]		0.8	
131	26	3	平場 8			Ⅲ	49	鋲金具	[0.85]	0.9		0.5	
131	27	1	不明					鋲金具	[1.4]	0.9		0.6	
131	28	18	平場 6			A'	834	キセル	[7.0]	1	0.08	6.3	
131	29	19	平場 6			A	212	キセル	[3.0]	0.45	0.08	1.4	
132	30	4	平場 6					簪か？	12.1	1.4	0.1	9.2	
132	31	10	平場 8			D	1384	銅製飾金具	2.4	1.8	0.2	0.6	耳飾様・鎧の一部
132	32	12	平場 6			C	3147	ボタン状銅製品	1.3	[1.28]	0.1	0.4	
132	33	24	平場 6			B	1233	銅製金具	[3.35]	0.95	0.15	1.2	
132	34	25	平場 6			C	1796	銅製金具	[4.15]	[1.15]	0.1	3.2	
132	35	2	平場 12			上	108	不明	2.78	0.82	0.08	2.6	
132	36	10	平場 6			Ⅱ	2926	鞆	3.1	0.8	0.28	2.6	こはぜ？
132	37	1	平場 8			D	1174	鞆	[4.8]	0.9	0.2	1.6	こはぜ？
132	38	20	平場 6			D	2569	ひも状銅製品	3.3	0.95	0.12	1.8	
132	39	21	平場 6			B	2569	ひも状銅製品	3.3	0.95	0.2	0.9	
132	40	14	平場 6			B	1408	筒状銅製品	[1.8]	0.65	0.08	1.2	
132	41	13	平場 6			B	1226	筒状銅製品	[1.8]	0.7	0.08	1.1	
132	42	9	平場 8			Ⅱ	157	筒状銅製品	[1.55]	[0.75]	0.18	1.1	

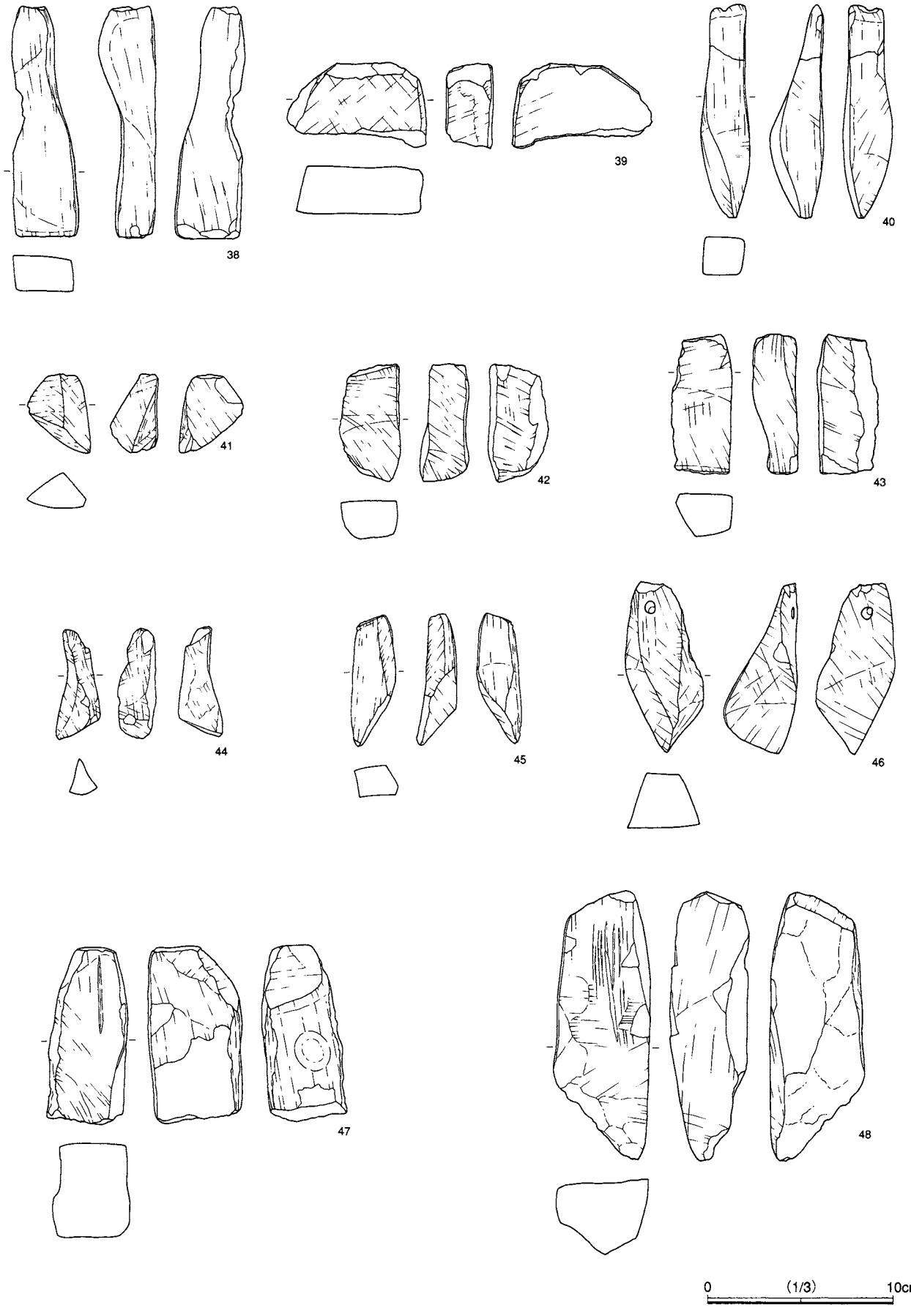


第133図　硯・磨製石斧・紡錘車・水晶製五輪塔

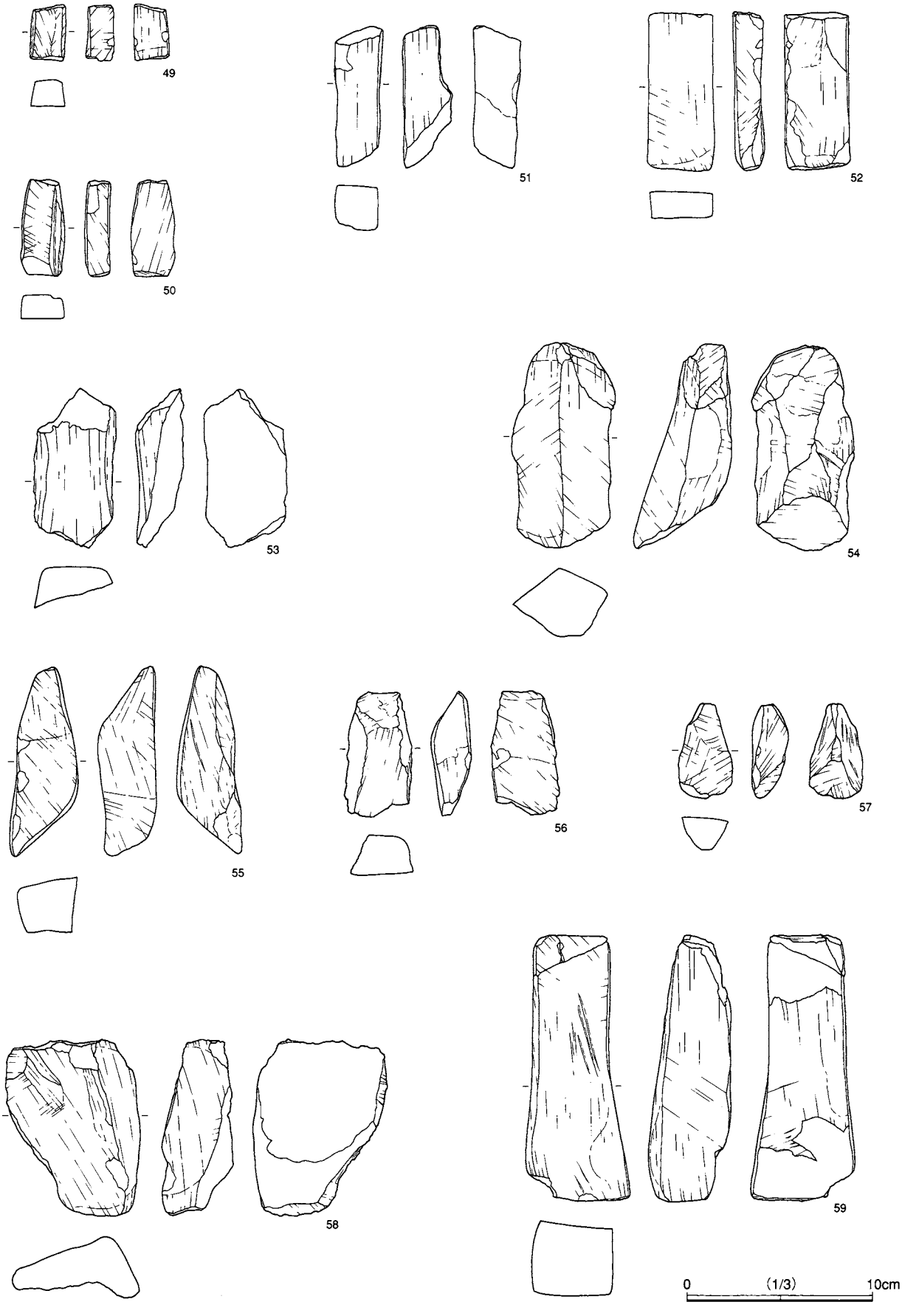
第134図　石製品　茶臼（1）

第135図　石製品　茶臼（2）

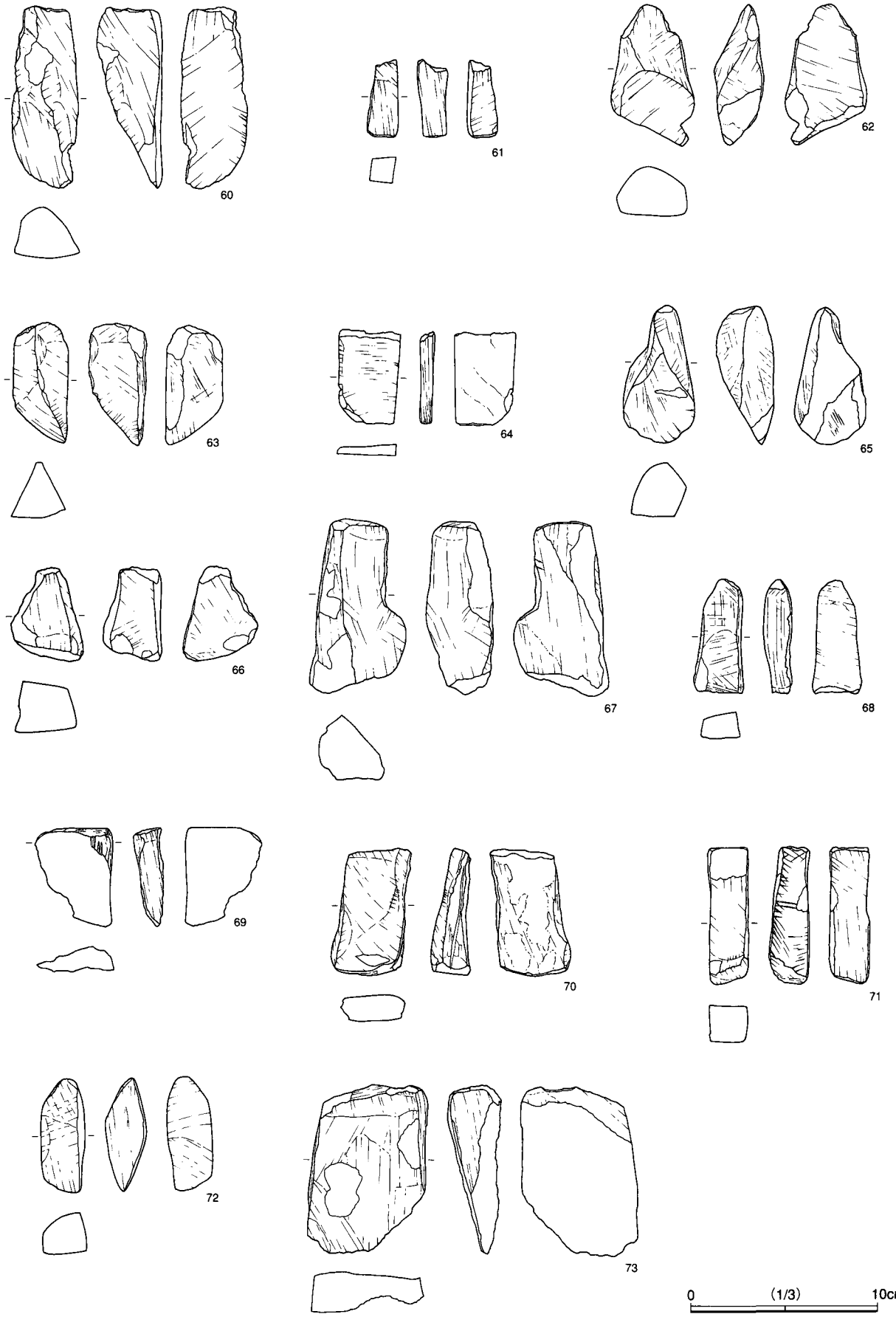
第136図　石製品　挽き臼



第137図　石製品　砥石（1）



第138図　石製品　砥石（2）

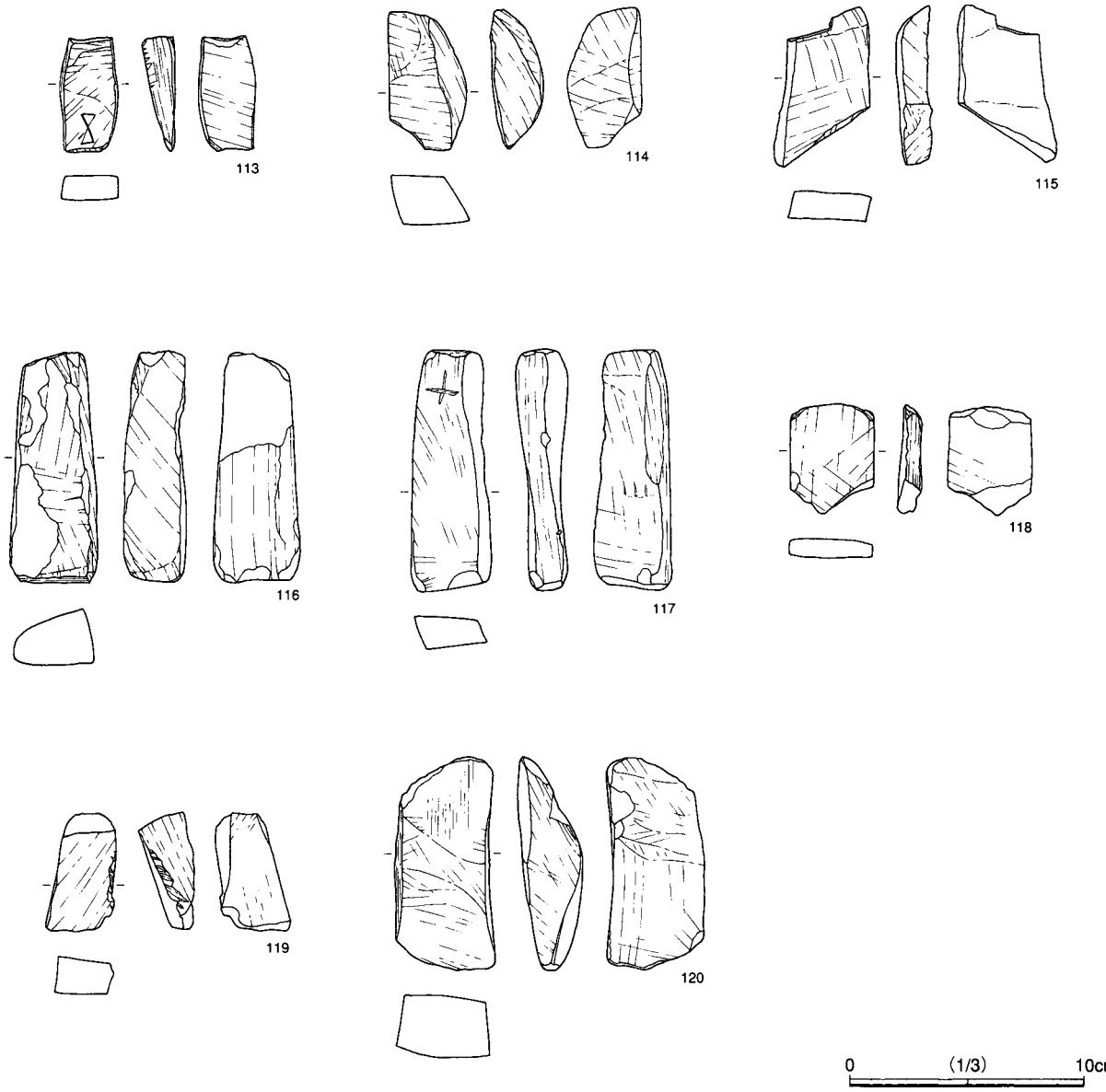


第139図　石製品　砥石（3）

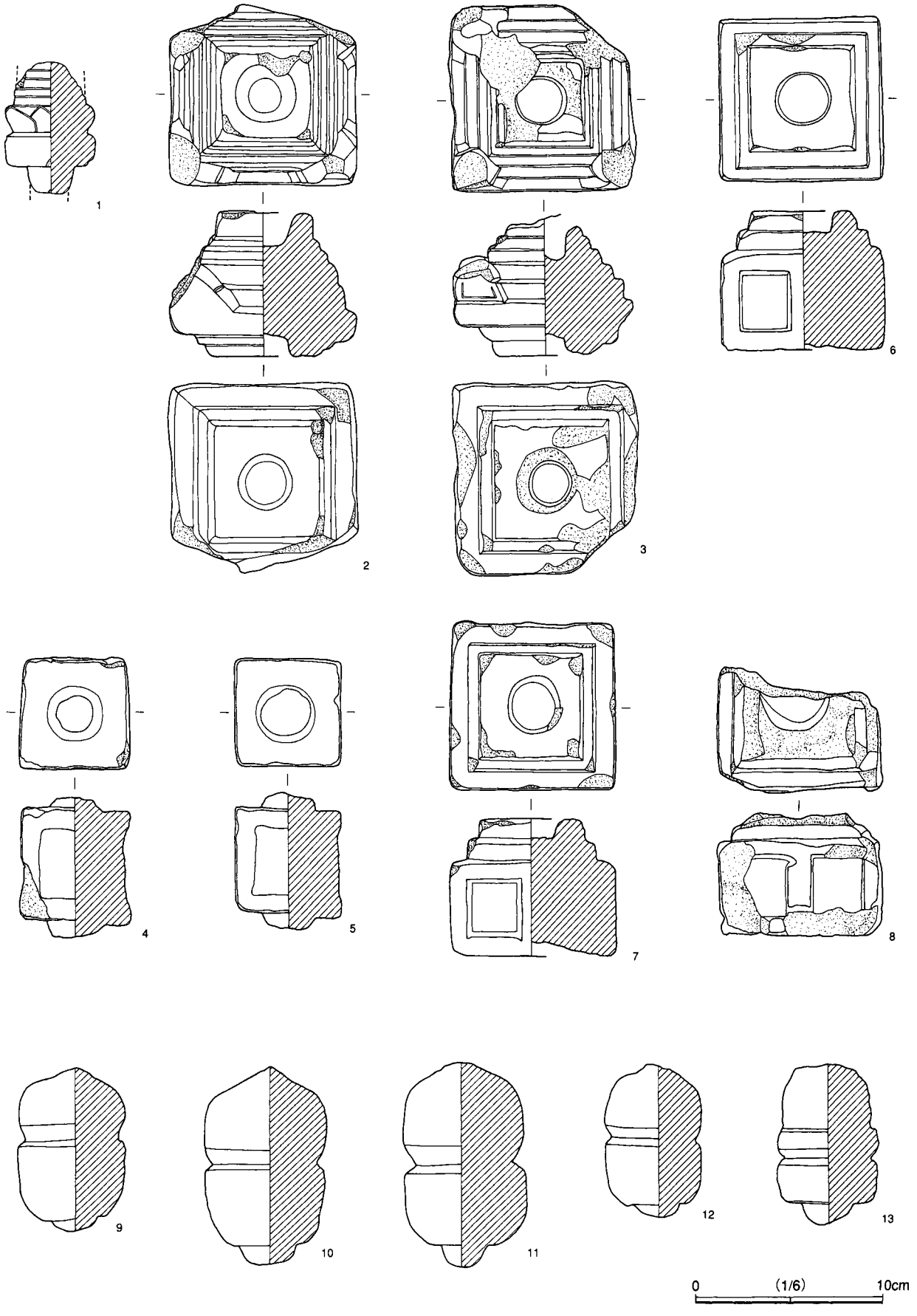
第140図　石製品　砥石（4）

第141図　石製品　砥石（5）

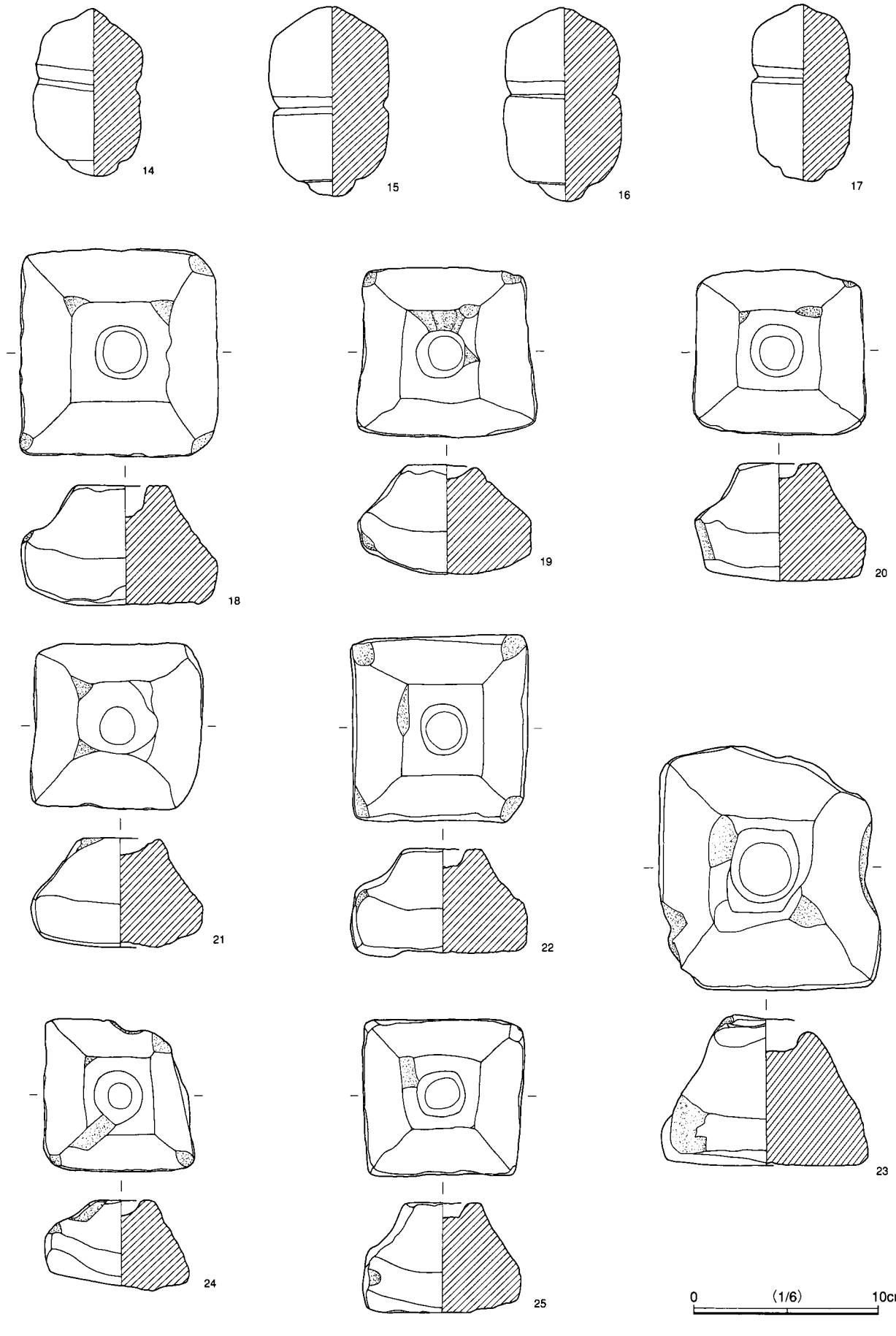
第142図　石製品　砥石（6）



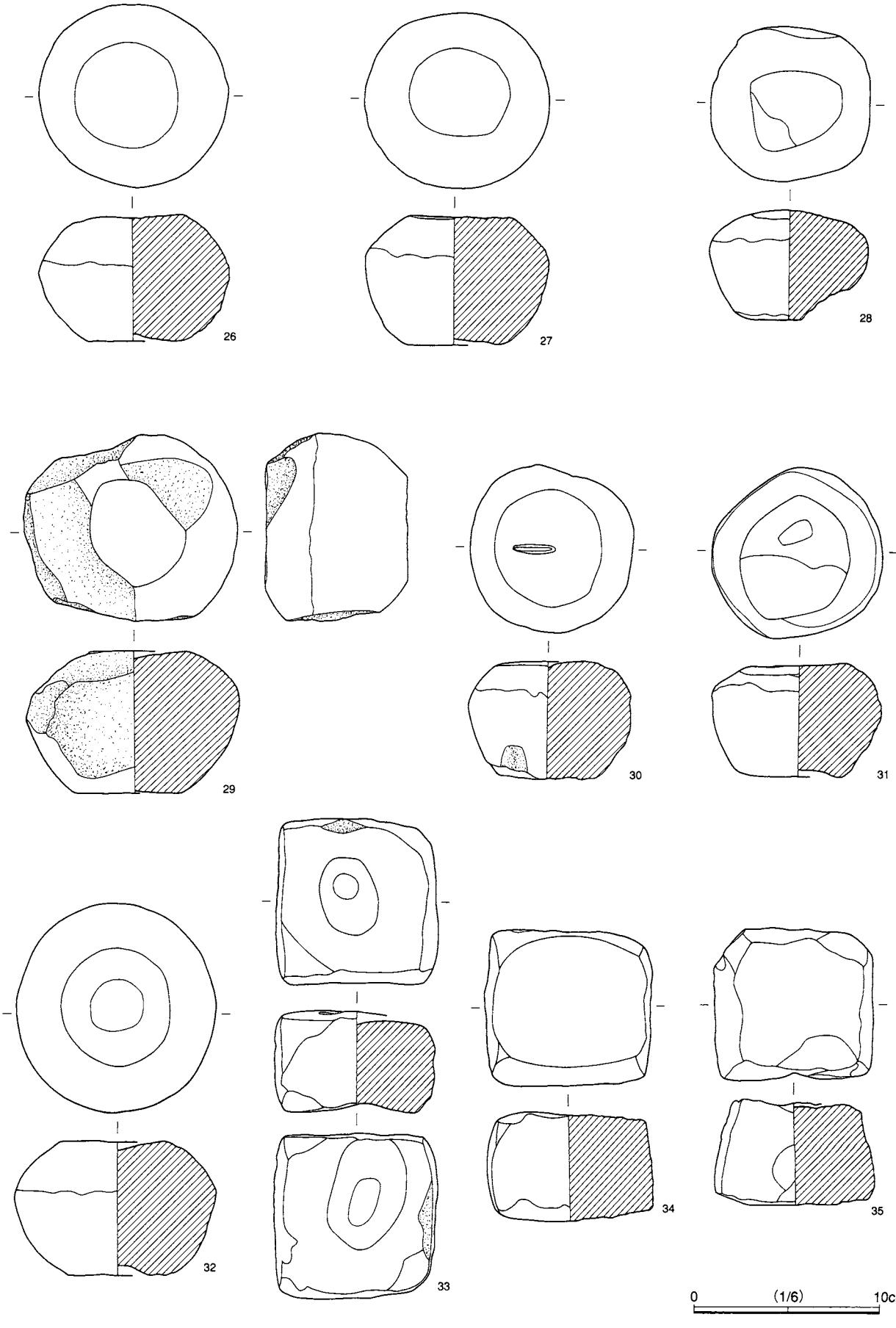
第143図　石製品　砥石（7）



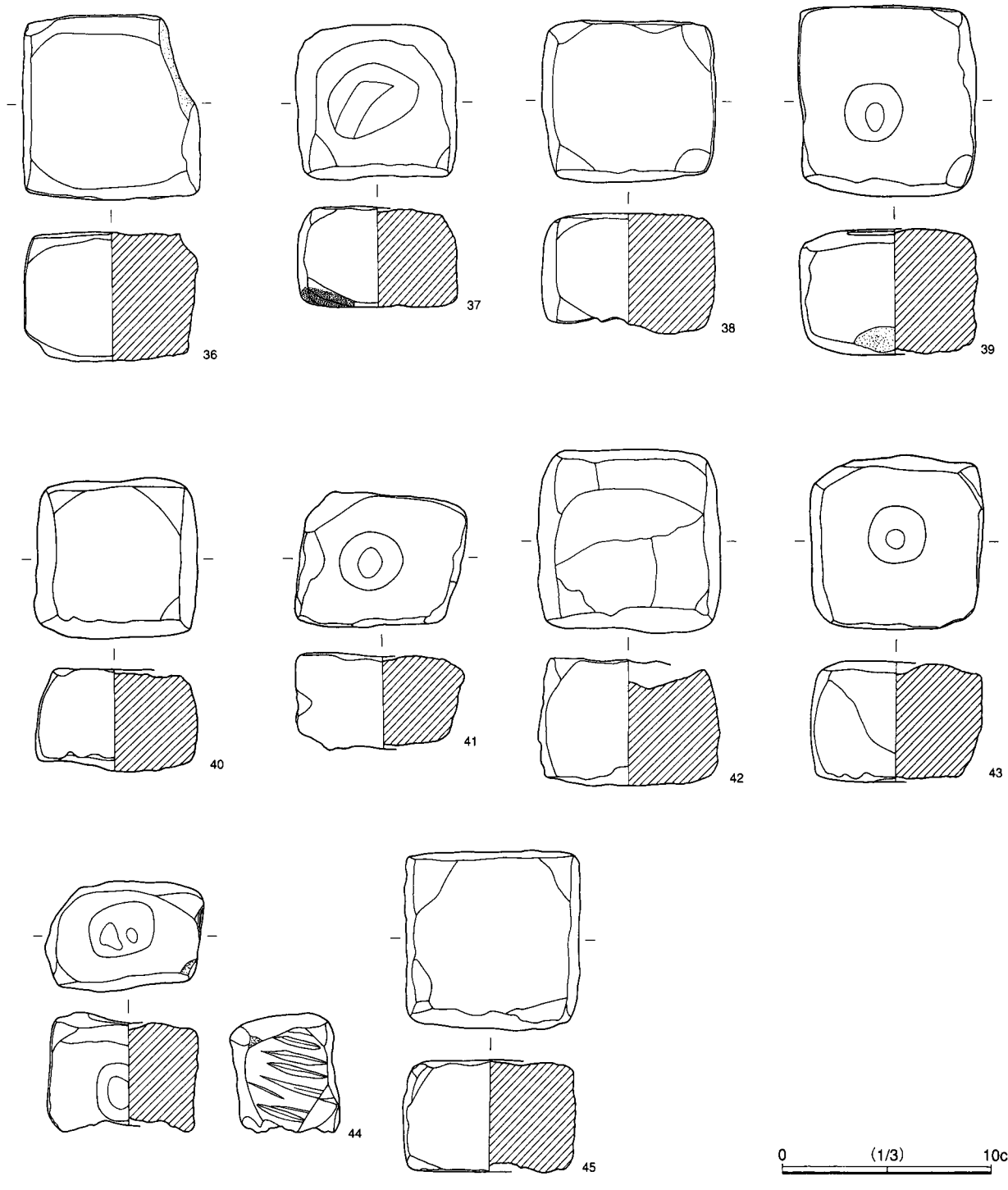
第144図　石製品　宝篋印塔・五輪塔（1）



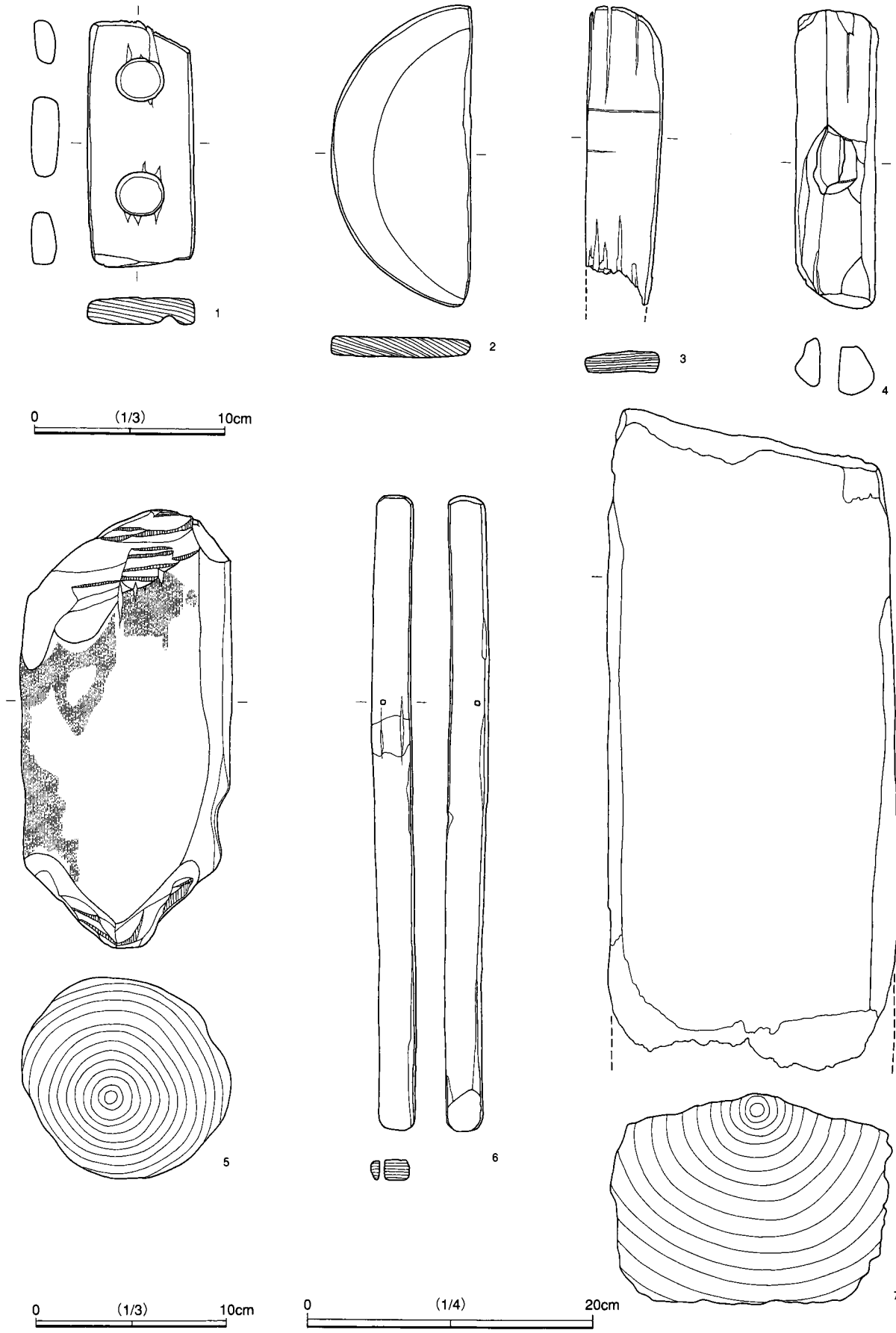
第145図　石製品　五輪塔（2）



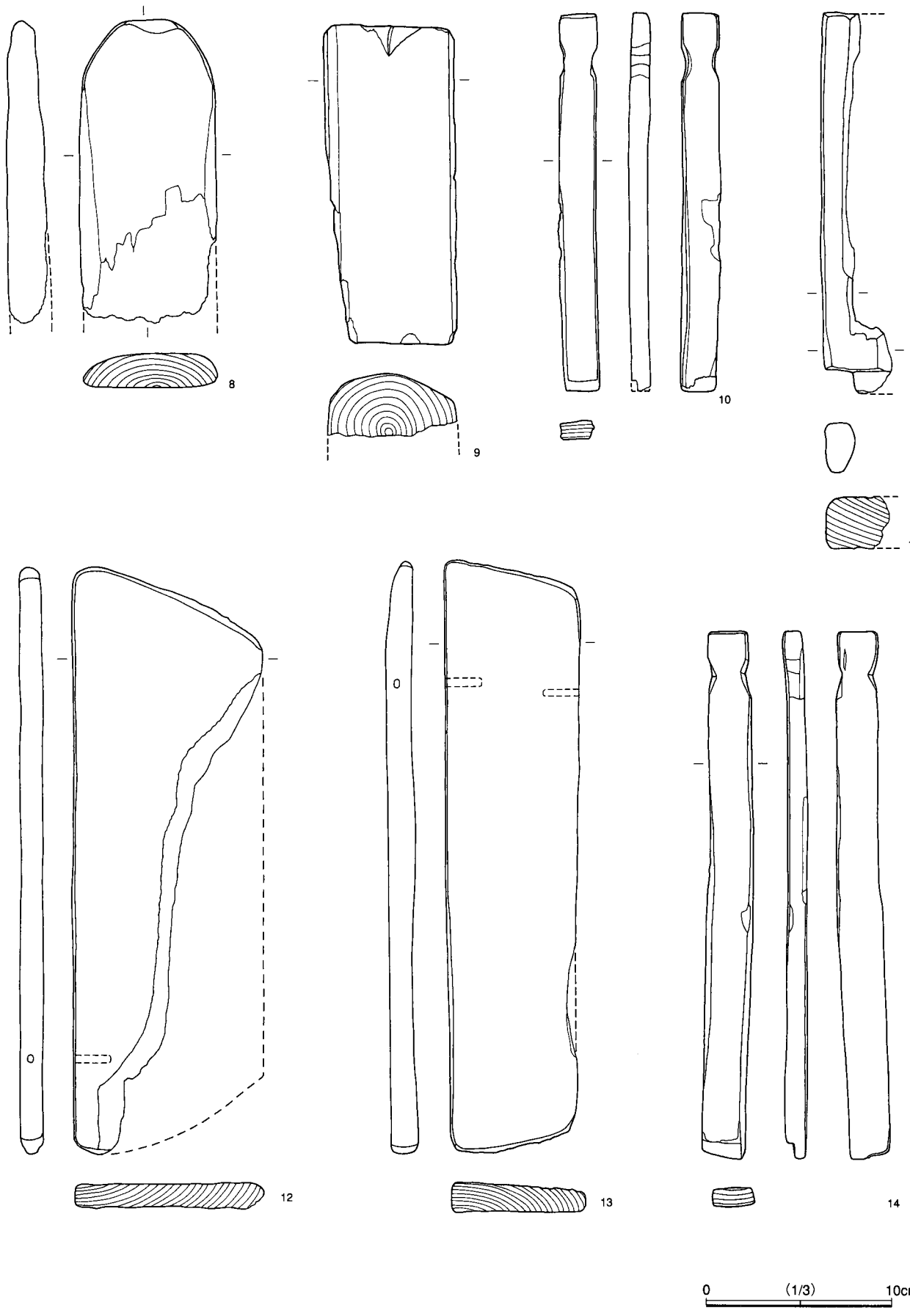
第146図　石製品　五輪塔（3）



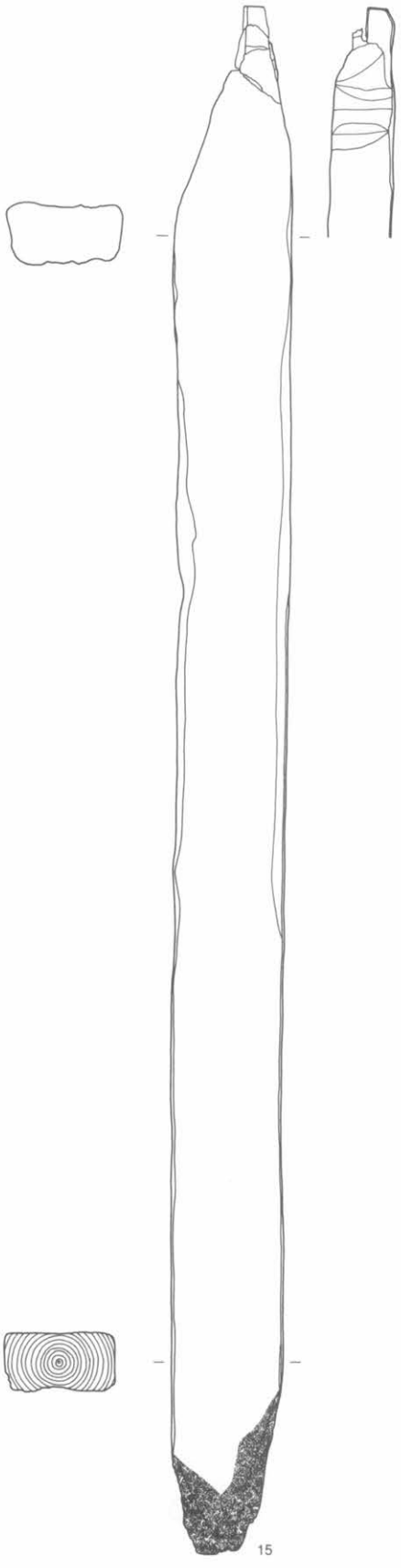
第147図　石製品　五輪塔（4）

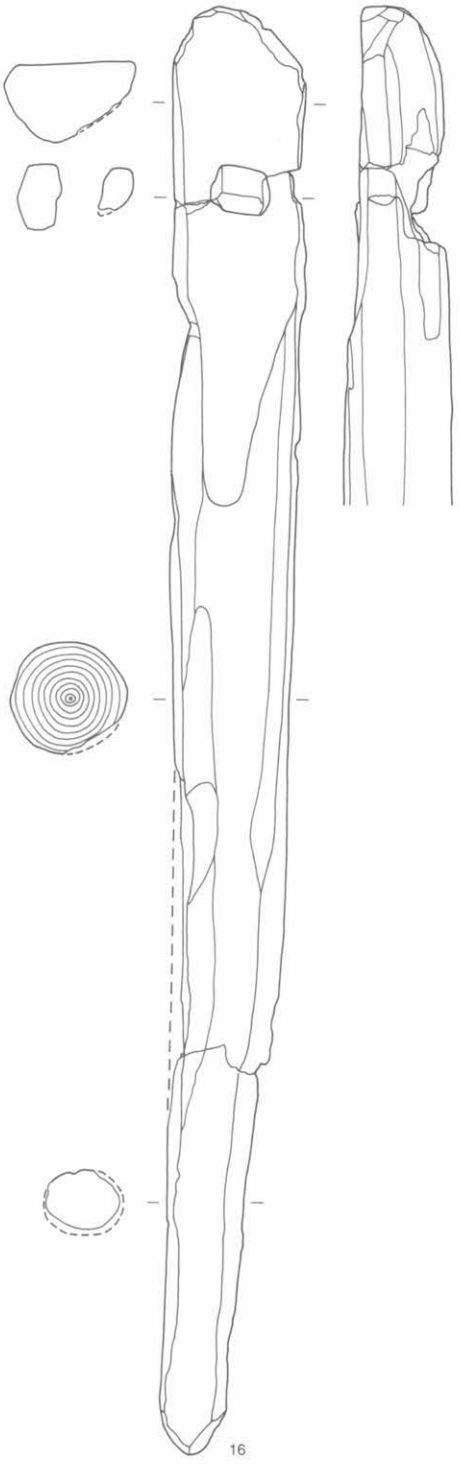


第148図　木製品（1）



第149図　木製品（2）





0 (1／6) 20cm

第150図　木製品（3）

第17表　石製品計測表　硯・磨製石斧・紡錘車・水晶製五輪塔（1）

挿図番号	掲載番号	実測番号	平場	遺構番号	旧	出土層位面	遺物番号	枝番	製品名	石質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
133	1	1	平場 6	堀 G	16	下	102	- 23	硯		12.35	7.35	2.1	288.8	
133	2	3	平場 6	堀 G	16	中	128	-	硯		[4.95]	[4.25]	0.88	24.7	
133	3	2	平場 6			B	2873	-	硯		[7.75]	[6.07]	1.09	212.6	
133	4	4	平場 8			C	765	-	硯		8.15	4.28	1.1	62.7	
133	5	5	平場 11			I	1	-	硯		[11.7]	6.7	2.3	230.3	
133	6	6	平場 14			表土	1	-	硯		[6.0]	[6.45]	1.35	70.6	
133	7	7	平場 14			A	112	-	硯		[3.8]	[3.25]	0.7	9.3	
134	8	21	平場 6	堀 F	14	下	160	-	茶臼		[13.5]	[10.6]	[11.5]	1640	
134	9	23	平場 6	堀 F	14	中	178	-	茶臼		[14.55]	[16.5]	[10.7]	2450	
134	10	22	平場 6	土坑 146	146	上	1	-	茶臼		[12.4]	[8.6]	[12.0]	1290	
134	11	1	平場 6			I	16	-	茶臼		[4.8]	[5.73]	[2.85]	110	
134	12	2	平場 6			I	16	-	茶臼		[8.1]	[3.0]	[2.5]	80	
134	13	15	平場 6			B	2451	-	茶臼		[34.5]	[12.05]	[15.35]	3260	
134	14	16	平場 7			B	174	-	茶臼		[11.85]	[17.3]	[6.75]	1420	
134	15	19	平場 7			B	331	-	茶臼		[12.75]	[19.9]	[9.95]	2030	
134	16	8	平場 7			下	488	-	茶臼		[11.8]	[6.2]	[3.8]	300	
134	17	10	平場 8	土坑 68	68	?	4	-	茶臼		[21.45]	[9.1]	[2.95]	630	
134	18	7	平場 8			I	1	-	茶臼		[5.65]	[7.5]	[3.28]	140	
134	19	17	平場 8			II	110	-	茶臼		[11.5]	[10.5]	[9.1]	870	
134	20	14	平場 8			B	272	-	茶臼		[9.65]	[12.5]	[9.3]	1260	
134	21	13	平場 8			D	396	-	茶臼		[11.7]	[9.9]	[5.45]	420	
134	22	12	平場 8			D	1205	-	茶臼		[18.5]	[3.3]	[2.85]	240	
135	23	24	平場 10	井戸 1	1	D	15	-	茶臼		[19.7]	[10.0]	[11.05]	2680	
135	24	5	平場 11			I	21	-	茶臼		[10.15]	[8.75]	[2.45]	270	
135	25	3	平場 11				189	-	茶臼		[6.95]	[8.65]	[4.0]	310	
135	26	4	平場 12			II	3	-	茶臼		[6.3]	[3.5]	[2.1]	60	
135	27	18	平場 12	堀 R	堀D	底面	190	-	茶臼		[15.25]	[19.8]	[12.7]	2840	
135	28	6	平場 12			中	88	-	茶臼		[11.4]	[8.25]	[2.2]	230	
135	29	11	平場 12			中	90	-	茶臼		[9.3]	[6.35]	[3.0]	230	
135	30	20	平場 12	堀 P	堀A	底面	189	-	茶臼		[27.4]	[15.45]	[12.0]	4630	
135	31	9	平場 14			A	213	-	茶臼		[14.5]	[6.9]	[3.8]	400	
136	32	27	平場 6	堀 G	16	下	79	-	挽き臼		[7.65]	[8.15]	[5.35]	390	
136	33	25	平場 6	土坑 130	130		6	-	挽き臼		[12.15]	[6.25]	[12.5]	1180	
136	34	28	平場 7			B	169	-	挽き臼		[22.85]	[11.25]	[12.85]	4510	
136	35	29	平場 7			B	170	-	挽き臼		[31.3]	[16.4]	[14.55]	9370	
136	36	30	平場 7				194	-	挽き臼		[23.25]	[15.4]	[12.0]	5930	
136	37	26	平場 11			上～中	77	-	挽き臼		[8.9]	[3.0]	[6.9]	240	
137	38	1	平場 4			A	1	-	砥石		[12.45]	3.5	1.9	145.5	
137	39	8	平場 6	堀 G	16	下	66	-	砥石		[4.55]	[7.45]	[2.55]	124.8	
137	40	12	平場 6	堀 G	16	中	269	-	砥石		11.45	2.6	2.05	79.3	
137	41	23	平場 6	土坑 47	47	中	2	-	砥石		[4.2]	3.15	1.9	25.3	
137	42	33	平場 6	土坑 94	94	中	3	-	砥石		[6.25]	[3.2]	[2.0]	67.6	
137	43	28	平場 6	土坑 98	98	上	1	-	砥石		[7.5]	3.18	2.25	80.5	
137	44	38	平場 6	土坑 110	110		1	-	砥石		5.9	2.4	[1.9]	21.2	
137	45	25	平場 6	土坑 172	172	B	5	-	砥石		6.09	2.2	1.65	31.7	
137	46	44	平場 6	ピット 26	26	中	1	-	砥石		[9.1]	4	2.95	102.1	
137	47	6	平場 6			I	7	-	砥石		[9.45]	[4.1]	4.95	331.6	
137	48	46	平場 6			I	8	-	砥石		[14.3]	5.1	[4.0]	370.3	
138	49	30	平場 6			I	12	-	砥石		[3.1]	1.75	1.38	13.6	
138	50	31	平場 6			A	374	-	砥石		[5.0]	2.3	1.32	25.6	
138	50	10	平場 6			I	20	-	砥石		[8.55]	3.55	1.44	82.8	
138	51	13	平場 6			I	12	-	砥石		[7.7]	2.55	[2.25]	61	
138	53	40	平場 6			A	50	-	砥石		[8.5]	[4.2]	[2.15]	82.2	
138	54	7	平場 6			A	241	-	砥石		[10.8]	[5.2]	[3.55]	219.4	
138	55	42	平場 6			A	264	-	砥石		10	3.45	2.95	115.6	
138	56	37	平場 6			A	343	-	砥石		[6.55]	[3.5]	2.1	52.6	
138	57	22	平場 6			A	462	-	砥石		[5.0]	2.9	[1.65]	27.6	
138	58	5	平場 6			A	383	-	砥石		[9.35]	[7.5]	[3.2]	202.8	
138	59	47	平場 6			A	469	-	砥石		[16.9]	4.95	3.15	414.2	
139	60	2	平場 6			A	480	-	砥石		[9.7]	[3.55]	[2.7]	104.3	
139	61	29	平場 6			A	484	-	砥石		[4.2]	1.6	1.35	14.9	
139	62	41	平場 6			A	497	-	砥石		7.7	4.45	2.65	74.3	
139	63	18	平場 6			B	998	-	砥石		9.35	3.1	2.95	51.5	

石製品計測表　硯・磨製石斧・紡錘車・水晶製五輪塔（2）

挿図番号	掲載番号	実測番号	平場	遺構番号	旧	出土位置層面	遺物番号	枝番	製品名	石質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
139	64	11	平場 6			A	1002	-	砥石		[4.9]	3.25	0.6	18.6	
139	65	19	平場 6			A	1037	-	砥石		[7.2]	3.8	[2.85]	65.2	
139	66	17	平場 6			B	1063	-	砥石		[4.95]	[3.9]	2.35	49.6	
139	67	43	平場 6			B	1120	-	砥石		[9.2]	[4.75]	[3.4]	147.3	
139	68	21	平場 6			B	1141	-	砥石		[5.95]	2.7	[2.15]	23.6	
139	69	1	平場 6			B	1247	-	砥石		[5.28]	[4.15]	[1.2]	27.5	
139	70	36	平場 6			A	1313	-	砥石		[6.7]	[3.8]	1.35	62.9	
139	71	26	平場 6			地山面	1350	-	砥石		[7.25]	2.05	1.95	60.3	
139	72	24	平場 6			B	1463	-	砥石		6.05	2.35	2.2	33.6	
139	73	3	平場 6			B	1467	-	砥石		[8.9]	6.2	[2.1]	151.7	
140	74	27	平場 6			B	1545	-	砥石		[6.09]	[2.5]	[2.2]	40.8	
140	75	20	平場 6			B	1584	-	砥石		[5.6]	[3.88]	2.05	62.6	
140	76	4	平場 6			B	1616	-	砥石		[10.85]	[4.7]	[3.1]	131.5	
140	77	35	平場 6			C	1872	-	砥石		7.3	3.4	1.95	72	
140	78	15	平場 6			A	2545	-	砥石		3.2	3.35	1.05	22.8	
140	79	48	平場 6			B	2149	-	砥石		14.05	5.5	3.95	310.9	
140	80	34	平場 6			A	2544	-	砥石		[7.0]	[3.55]	2.55	59.9	
140	81	45	平場 6			B	2215	-	砥石		[9.2]	[5.25]	[3.5]	158.8	
140	82	39	平場 6			C	2935	-	砥石		8.65	2.75	2.4	63.6	
140	83	9	平場 6			E層	3284	-	砥石		6.3	3.9	1.75	74.7	
140	84	32	平場 6			D層	3097	-	砥石		[3.4]	[2.2]	1.4	17.3	
140	85	16	平場 6			E層	3111	-	砥石		[4.3]	3.45	1.1	27.9	
140	86	14	平場 6			E層	3294	-	砥石		[3.2]	2.7	2.05	23.7	
141	87	2	平場 7			A	114	-	砥石		7.3	2.15	2.65	39.7	
141	88	1	平場 7			上	484	-	砥石		[3.8]	2.2	1.82	29.5	
141	89	7	平場 8	ピット 3	3		105	-	砥石		7.15	3.35	1.95	39.3	
141	90	12	平場 8			Ⅱ	21	-	砥石		[11]	3.25	1.95	115.7	
141	91	6	平場 8			Ⅲ	86	-	砥石		[6.5]	3.85	2.35	70.6	
141	92	8	平場 8			Ⅲ	99	-	砥石		8.15	3.95	[2.2]	75.1	
141	93	13	平場 8			Ⅱ	134	-	砥石		[8.85]	5	3.25	164.4	
141	94	5	平場 8			Ⅱ	238	-	砥石		[7.15]	3.55	[1.85]	55.8	
141	95	14	平場 8	土坑 12			657	-	砥石		[10.05]	[5.4]	[3.05]	158.7	
141	96	9	平場 8	土坑 25			793	-	砥石		[9.0]	[2.25]	1.5	43.5	
141	97	2	平場 8	土坑 26			908	-	砥石		[5.2]	2.9	1.45	31.7	
141	98	3	平場 8			C	957	-	砥石		[4.5]	2.65	[1.0]	12.3	
142	99	11	平場 8			D	1466	-	砥石		[8.2]	5.9	1.5	129	
142	100	1	平場 8	土坑 66			1786	-	砥石		[5.1]	[1.7]	0.95	9.9	
142	101	4	平場 8	土坑 69			1804	-	砥石		7.1	2.05	2.15	36.9	
142	102	10	平場 8	溝 62			1675	-	砥石		[6.1]	3.45	1.65	49	
142	103	15	平場 8	土坑 56			1655	-	砥石		[12.1]	3.6	2.8	131.1	
142	104	3	平場 9			Ⅱ	2	-	砥石		[7.7]	2.8	3.1	61.1	
142	105	2	平場 9			Ⅱ	3	-	砥石		[5.0]	[2.65]	2.6	46.6	
142	106	1	平場 9			Ⅱ	3	-	砥石		[5.4]	3.45	1.45	39.3	
142	107	1	平場 11			Ⅰ	1	-	砥石		[3.6]	5.05	1.1	26.7	
142	108	3	平場 11			Ⅰ	1	-	砥石		[9.0]	3.35	3.4	201.5	
142	109	2	平場 11			Ⅰ	2	-	砥石		[5.35]	4	2.15	94.1	
142	110	6	平場 12	土坑 2			1	-	砥石		[9.35]	[4.5]	[2.65]	105.6	
142	111	1	平場 12			Ⅱ	4	-	砥石		[7.8]	2.95	[2.85]	45.4	
142	112	3	平場 12			中	12	-	砥石		[5.5]	2.9	1.15	34.2	
143	113	5	平場 12			上	15	-	砥石		5	2.45	1.05	20	
143	114	4	平場 12			上	53	-	砥石		6.05	3.3	2.1	46.2	
143	115	2	平場 12			上	171	-	砥石		[6.9]	[4.1]	[1.1]	44	
143	116	2	平場 16				1	-	砥石		[9.75]	3.75	2.45	118.2	
143	117	3	平場 16				2	-	砥石		10.2	3.4	1.45	84.5	
143	118	1	平場 16				2	-	砥石		[4.65]	3.55	[0.75]	20.1	
143	119	1	平場 不明					-	砥石		4.95	2.9	[2.55]	32.1	
143	120	2	平場 不明					-	砥石		9	4.2	2.65	100.7	
133	121	8	平場 6			B	1054	-	紡錘車		[4.4]	5.5	2.28	85.9	
133	122	9	平場 6			A	205	-	磨製石斧		5.15	2.75	0.9	26.1	
133	123		平場 8				45	-	水晶製五輪塔	水晶	3.2	1.8	1.6		

第18表　石製品計測表　五輪塔・宝篋印塔計測表

挿図番号	掲載番号	実測番号	平場	遺構番号	元遺構	出土層位面	遺物番号	製品名		石質	高さcm	幅cm	厚さcm	重量g	備考
144	1	2 －	平場 6	堀 F	14	中	334	宝篋印塔	相輪		14.4	9.6			
144	2	7 －	平場 7			上	468	宝篋印塔	笠		15.0	19.7	(18.8)		
144	3	8 －	平場 7			A	93	宝篋印塔	笠		14.3	19.4	19.9		
144	4	6 －	平場 12	堀 R	堀D			宝篋印塔	塔身		14.9	11.4	11.8		
144	5	7 －	平場 8			B	816	宝篋印塔	塔身		14.2	11.2	11.4		
144	6	9 －	平場 7					宝篋印塔	基礎		14.5	17.5	17.4		
144	7	10 －	平場 7	土坑 3			19	宝篋印塔	基礎		14.4	17.8	17.6		
144	8	2 －	平場 11			下	134	宝篋印塔	基礎		12.7	17.6	(10.6)		
144	9	1 －	平場 6	堀 G	16	下	99	五輪塔	空輪		17.5	11.4			
144	10	1 －	平場 7			上	486	五輪塔	空輪		21.1	12.7			
144	11	1 －	平場 8			Ⅱ上	1302	五輪塔	空輪		21.9	12.9			
144	12	2 －	平場 8			C	1707	五輪塔	空輪		16.1	10.0			
144	13	3 －	平場 8			C	866	五輪塔	空輪		17.0	10.6			
145	14	1 －	平場 11			下	147	五輪塔	空輪		18.6	11.5			
145	15	1 － 1	平場 12	堀 R	堀D			五輪塔	空輪		20.8	12.3			
145	16	2 － 2	平場 12	堀 R	堀D			五輪塔	空輪		21.1	12.6			
145	17	3 － 3	平場 12	堀 R	堀D			五輪塔	空輪		19.4	10.7			
145	18	3 －	平場 6	堀 D	堀A			五輪塔	火輪		12.7	21.2	21.8		
145	19	5 －	平場 6			B	3014	五輪塔	火輪		11.6	18.1	17.9		
145	20	2 －	平場 7					五輪塔	火輪		12.5	18.1	17.5		
145	21	3 －	平場 7			B	516	五輪塔	火輪		11.5	18.0	17.6		
145	22	5 －	平場 7			上	477	五輪塔	火輪		11.6	19.0	19.6		
145	23	6 －	平場 7			B	168	五輪塔	火輪		16.0	22.5	25.4		
145	24	4 －	平場 7	土坑 3			20	五輪塔	火輪		9.6	15.6	16.0		
145	25	5 －	平場 12	堀 R	堀D			五輪塔	火輪		11.6	17.2	16.4		
146	26	16 －	平場 7					五輪塔	水輪		13.0	20.4	19.8		
146	27	17 －	平場 7			B	182	五輪塔	水輪		13.4	20.0	18.9		
146	28	18 －	平場 7			上	476	五輪塔	水輪		11.5	17.2	16.6		
146	29	19 －	平場 7			B	175	五輪塔	水輪		15.0	20.0	22.6		
146	30	1 －	平場 10	土坑 1		中	7	五輪塔	水輪		12.5	17.6	17.5		
146	31	10 －	平場 12	堀 R	堀D			五輪塔	水輪		11.7	18.3	18.0		
146	32	1 －	平場 14			表土層	4	五輪塔	水輪		14.2	21.4	22.0		
146	33	4 －	平場 6			B	3011	五輪塔	地輪		10.6	17.5	17.4		
147	34	12 －	平場 7			B	165	五輪塔	地輪		11.3	17.9	16.4		
147	35	14 －	平場 7					五輪塔	地輪		10.8	17.1	15.1		
147	36	11 －	平場 7	土坑 11		上	7	五輪塔	地輪		12.1	17.0	17.8		
147	37	15 －	平場 7	土坑 11		上	3	五輪塔	地輪		9.4	14.5	15.2		
147	38	13 －	平場 7	堀 D	堀A		191	五輪塔	地輪		11.2	16.8	15.4		
147	39	4 －	平場 8			Ⅱ	106	五輪塔	地輪		11.7	17.0	18.1		
147	40	5 －	平場 8			Ⅱ	447	五輪塔	地輪		9.7	15.4	14.7		
147	41	6 －	平場 8			C	374	五輪塔	地輪		8.8	15.6	12.2		
147	42	7 －	平場 12			下	144	五輪塔	地輪		11.8	17.6	16.9		
147	43	8 －	平場 12	堀 P	堀A東	底面	189	五輪塔	地輪		11.3	16.4	16.2		
147	44	9 －	平場 12	堀 R	堀D			五輪塔	地輪		10.3	14.5	10.1		
147	45	1 －	平場 不明				?	五輪塔	地輪		10.6	16.6	16.6		

第19表　木製品計測表

挿図番号	掲載番号	実測番号	平場	遺構番号	元遺構	出土位置層面	遺物番号	枝番	製品名	長さ	幅	厚さ	備考
148	1	3	平場 10	井戸 1		A	17	-	板状木製品	(12.6)	5.6	1.4	長方形の薄板で，径2.5cmの孔が2個あり，全体に黒漆の塗布が認められる
148	2	2	平場 10	井戸 1		A	19	-	曲げ物底板	(16.1)	(7.4)	1	内面に黒漆の塗布あり
148	3	1	平場 10	井戸 1		A	16	-	定規？	(15.9)	3.9	1	目盛り状の刻線がある
148	4	4	平場 10	井戸 1		A	20	-	不明	15.8	4.4	2.5	中央に柄穴状の孔がある
148	5	5	平場 10	井戸 1		A	3	-	杭状木製品	(22.9)	11	11	杭状で在るが両端を加工施す。樹皮がみられる
148	6	6	平場 12	堀 P	堀A	底面	189	- 6	角状製品	44.1	2.7	1.5	中位より上に径4mmの孔がある
148	7	10	平場 12	堀 P	堀A	底面	189	- 10	不明	(46.1)	20.7	20.7	
149	8	3	平場 12	堀 P	堀A	底面	189	- 3	不明	(16.4)	7.2	1.8	
149	9	8	平場 12	堀 P	堀A	底面	189	- 8	丸太状製品	17.1	7.1	7.1	
149	10	1	平場 12	堀 P	堀A	底面	189	- 1	木簡状木製品	20.3	1.9	8	
149	11	7	平場 12	堀 P	堀A	底面	189	- 7	角状製品	20.3	1.6~3.4	2.7	
149	12	4	平場 12	堀 P	堀A	底面	189	- 4	板状木製品	31.5	10.1	1.4	1.5mm×1.9mmの木釘の穴がある
149	13	5	平場 12	堀 P	堀A	底面	189	- 5	板状木製品	31.6	7.2	1.8	3.5mm×2mmの木釘の穴がある
149	14	2	平場 12	堀 P	堀A	底面	189	- 2	木簡状木製品	28	2.3	9	
150	15	6	平場 10	井戸 1		下	24	-	杭状木製品	131.3	10.2	10.2	先端部は焦げているが，反対側は浅く細かい加工を施す
150	16	9	平場 12	堀 P	堀A		189	- 9	不明	112.7	5	10.5	

第4章　まとめ

1　笹子城について(第3表)

笹子城跡は，調査段階でA面，B面，C面，D面と4面の遺構検出面を把握し，遺物の取り上げおよび遺構の調査を実施している。遺物の取り上げ・記録はこの面を所属面(帰属面)として調査を実施した。また，笹子城跡は大規模な整地作業を実施しており，堀を全面的に埋め戻したり，新たに掘削したりして，平場，堀，土坑などを造成している。その結果，別々の平場や堀から出土した遺物が接合している場合が多く発生した。このような場合には遺物一覧に記載したように，個々の遺物の出土平場，遺構，所属面を記載し，最もさかのぼる所属面をその遺物の本来の帰属面とした。この場合，遺物の出土位置が「帰属面」か「帰属文化層」かで，笹子城跡の存続時期の把握に影響が生ずるが，表3のとおりに遺物の時期と遺構の時期，出土面の時期が考えられる。

「障子堀り」については井上哲朗氏の分類による「堀底内に障壁が単独或いは一列に連続するもので障壁が単独或いは二ケ所に存在する物」に該当し，「BⅠ類」に分類される。県内の障子堀の調査例から，このような障子堀は「15世紀第二四半期～第四四半期末まで」に構築されていたとされている。このことから笹子城跡から検出された堀H，堀Pの障子堀も15世紀第2四半期から第4四半期頃に構築されたものと考えられる。

研究連絡誌では，笹子城跡の各整地面および先述したA面からD面までの遺構検出面をもとに，各平場毎に時期をわけている。これらの各平場の変遷と発掘成果を元に，次のように笹子城跡の全体の時期変遷を考える事が出来る。

堀Dの中位から五輪塔が廃棄された状態で出土したことや，堀Pの覆土からも同じく五輪塔が廃棄された状況で出土している。このことから両者の存続期は同時期とすることが推定され，かつ五輪塔などの出土状況から，堀Dと堀Pは覆土の下位(古)と中位(新)に2分される。つまり，五輪塔などを廃棄する行為(城わり・城却)を境いにして堀Dと堀PのⅡ期は2時期に分けられる。また，平場12・13のⅢ期と同時期とすることが出来る。一方，堀Hから堀E，堀Dと時代が下がるにしたがって平場1に向かって堀が新たに掘られることから，堀K，堀J，堀Iは同様にこの順序で変遷をたどる事ができる。これらを整理したものが表25と第165図～第170図である。

2　出土遺物について

各遺物の出土状況を示したのが第151図から第163図である。この図からは平場を越えて遺物が接合することが分かる。遺物の分離が平場の造成によって生じたものであれば，平場を越えて土砂を移動したことになり，その造成工事は大規模なものであったことを示している。第152図18の白磁は，平場6と平場12から出土した破片が接合したことを示している。第153図65の青磁は平場6と平場12から出土した破片が接合したことを示している。このことからも平場の造成作業は大規模かつ計画的にされたことが伺われる。

笹子城跡から出土した遺構別の出土数量を第20・21表に掲載し，第23表にその割合を掲載した。第20表の数量は笹子城跡出土の遺物のうち「実測図を掲載した遺物と接合を行った破片数」で5.036片が対象となる。第21表の数量は「接合作業のみおこない，図化しなかった破片数」で，5.036個に2.192個は含まれている事になる。この集計数から，笹子城跡の遺物の生産地における遺物の組成表を作成したものが第24

表である。笹子城に関するこのような分析は既に研究連絡誌等において発掘担当者も行っており，山谷遺跡の報告書の「小櫃川流域中世遺跡陶磁器組成比較」で行っている。今回で3回目の集計となる。前2者が整理作業途中での集計であったのに対して今回はすべての遺物を対象とした。

陶磁器の中で最も出土量の多い瀬戸美濃窯製品は，5.036片中1.944片で約39%を占め最も多量に出土している。その大部分は古瀬戸後期様式Ⅳ期と大窯Ⅰ期に属しており，大窯Ⅱ期(古)と唯一1点出土した大窯Ⅲ期に属すると推定される第85図235の初山窯製品が出土している。このことからも，笹子城跡の存続年代は15世紀中葉から16世紀前葉を主体とし，16世紀中葉には廃城となったと推定される。

貿易陶磁では，白磁D群の割高台小皿が15世紀中葉から中央を中心とした年代を示すほかは，いずれも15世紀後葉から16世紀前葉の年代が与えられる。染付(第81図130～133)は漳州窯産で，C群，C3に属する。この年代も16世紀前半から見られ後半期に増加することから，笹子城跡の存続年代とほぼ一致する。

このことから，瀬戸美濃窯製品と貿易陶磁器は年代的にもほぼ一致する事がいえる。笹子城跡に先行する芝野遺跡，荒久遺跡，山谷遺跡と比較すると，渥美製品は出土していない。常滑製品は10型式から11型式で15世紀後半～16世紀前半が多い。今回の集計は，先述したとおりすべての土器片を集計したが，前2者の集計が同一遺構内出土遺物で接合したものについては1個として集計したのに対して，本書では破片数すべてを集計している。その意味では，単純に比較する事は出来ない。

出土銭貨については，214枚33種の銭貨が出土している。和同開珎が2枚出土している事は先にふれたが，これら出土銭の性格については不明である。土坑から出土したものもあるが，整地された土層中からの出土が多い。銭種の多さや永楽通宝が27枚も出土していることからも，中国銭の流通が頻繁に行われていた事が伺われる。214枚の銭貨のうち，最も多く同一場所から出土したのは平場7で20枚がある。次に平場12で14枚，平場8で11枚，平場6で10枚の出土がある。このような10枚以上の銭貨の出土は銭差によって蓄銭されていた可能性がある。一方，これらの銭貨が墓に埋葬された六道銭であるとすれば，笹子城跡Ⅱ期に行われた廃棄にともなう破壊によって攪乱されたものとも考えられる。ちなみに，同一場所から6枚前後の出土は平場6で5枚で1か所，平場7で6枚が3か所，平場12で6枚が2か所等が見られる。特に平場12に多く見られる傾向がある。出土遺構が明らかなのは平場6の土坑28の10枚，土坑111で3枚の出土があり，平場8の土坑39で4枚等がある。それ以外でも土坑からの出土の銭貨もあり，これらも墓に埋葬されたものと考える事も出来る。六道銭として銭貨6枚が墓に副葬されるの15世紀後半以降であり，16世紀になると銭種に永楽通宝が加わる傾向があることを考慮すると，笹子城跡の存続時期も大まかに15世紀後半から16世紀代におくことができようか。

平場6からは寛永通宝のみが近接して5枚，平場12から寛永通宝を含む銭貨が4枚出土している。これは近世に入ってからの墓跡などと思われる。近世に入ると笹子城跡はその機能を完全に失ったものの，耕作地として利用されていたものと推定され，遺構は検出されていないが，近世陶器が出土している。

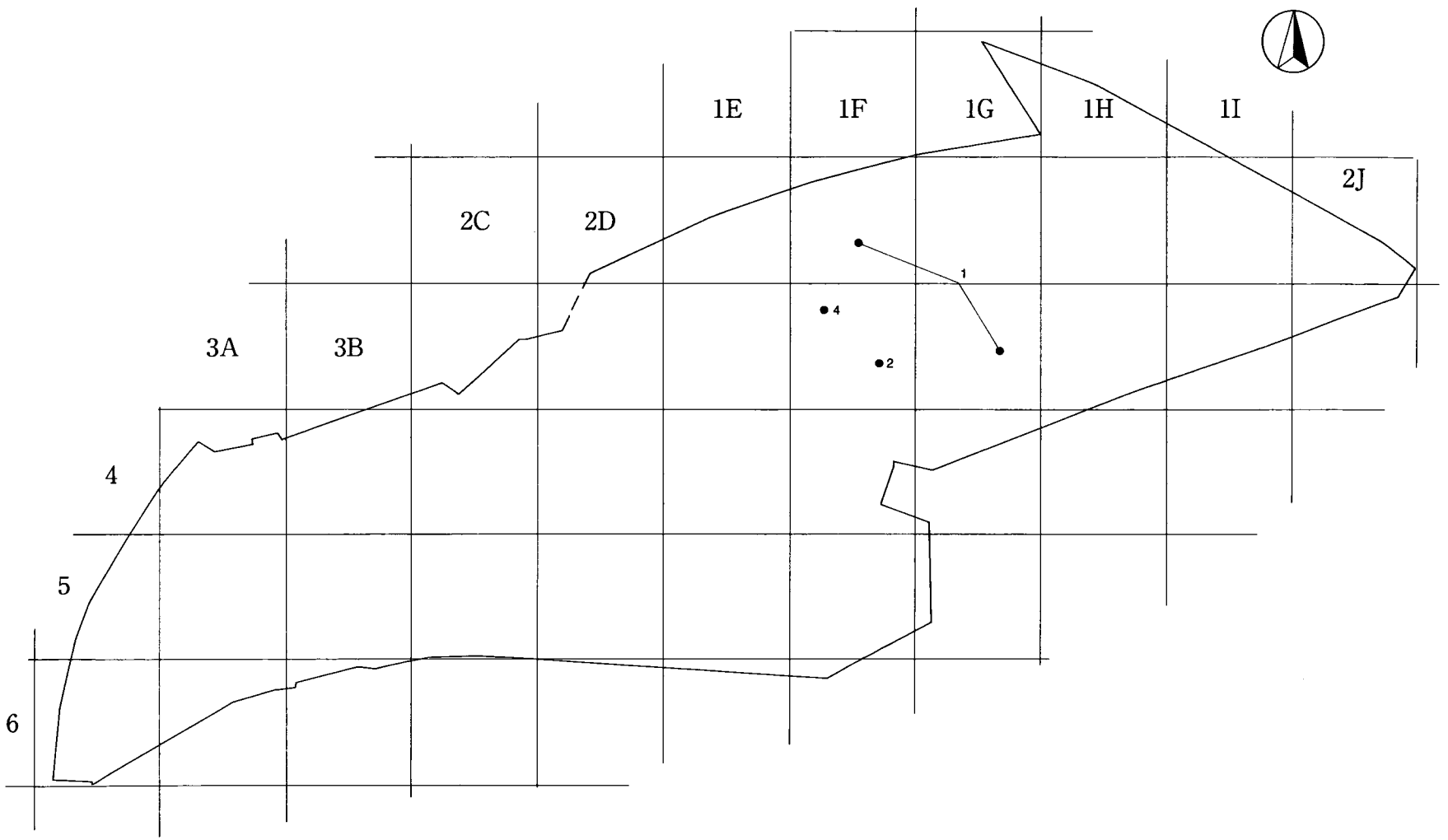
3　笹子城の存続年代

笹子城跡に関する直接的な文献および第一資料は存在していない。後世の軍記物などに見られるだけである。その中で，「群書類従」合戦部に収録されている「ささごおちぞうし」(「笹子落草子」)は唯一のものである。それによると，笹子城は真里谷武田氏一族であった武田信茂が城主であったが，天文12年(1543)の一族の内紛にまきこまれ滅亡した事が描かれている。

発掘調査によってえられた成果からは明確に時期を示すものはない。しかし，堀K，堀Pなどで調査された障子堀がBⅠ類に分類され，この障子堀が15世紀第2四半期から第4四半期頃に盛行すると考えられること，出土した白磁D群の割高台小皿が15世紀中葉から中央を中心とした年代を示すこと。瀬戸・美濃窯産の灰釉平碗が瀬戸・美濃後期Ⅳ(新)段階のものであること。カワラケによる分類からは，Ⅰ類は15世紀中葉以前，Ⅱ類は古瀬戸後期Ⅳ期新段階で15世紀後半に位置ずけることがわかった。このことから笹子城跡の初現は遅くとも15世紀前葉と考えられ，先に時期区分した笹子城の第Ⅴ期は15世紀前葉頃とすることができる。また，堀P下層出土遺物に大窯2期と思われる灰釉底部片(第84図227)があり，また，平場6の土坑38から大窯2～3期の砥石か硯に転用された盤類(第103図351)が出土している。この土坑38は検出面がA面であり，この土坑と遺物が出土したA面が有機的なものとすることができれば，これらA面の時期を16世紀中葉頃に比定する事が出来る。

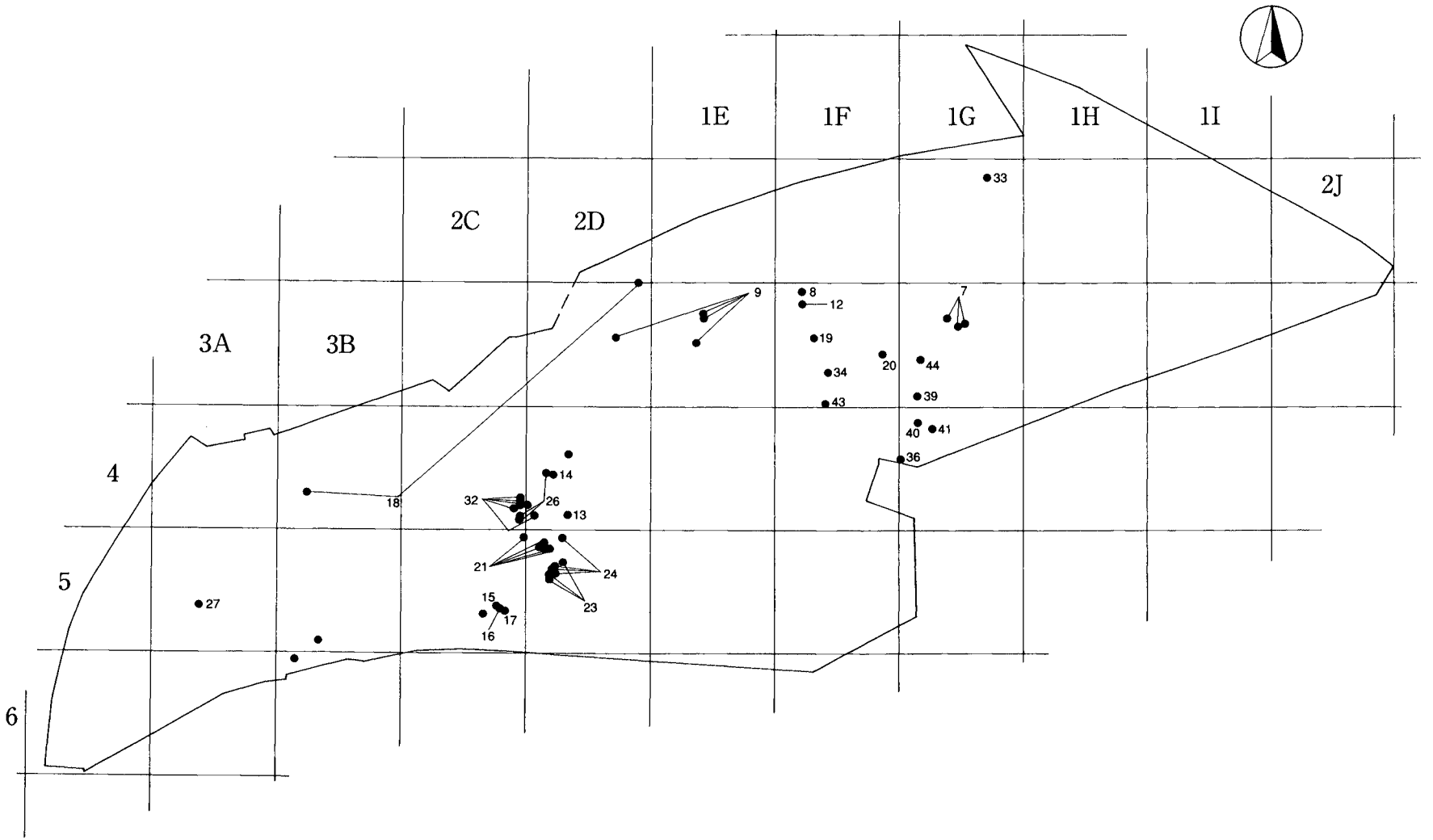
今回の笹子城跡の調査結果から堀の変遷をたどることができ，5期6段階が確認された。Ⅴ期・Ⅳ期・Ⅲ期・Ⅱ期(古)・Ⅱ期(新)・Ⅰ期である。堀全体からの大まかな変遷は，調査担当者がふれたように外側から内側へ堀を新規に掘削する事実が見られる。最も堀の完備されるのはⅢ期(第167図)で，内枡形虎口が造られるのがこの時期である。Ⅱ期になると，この間に堀D，堀Pの堀が再掘削され，平場1方向から五輪塔などが廃棄されたことがわかった。この行為を「城わり」「城却」と考えれば，笹子城のⅡ期の段階において，Ⅱ期(古)の主とは別にする勢力が入城したか，あるいは在城者の性格・系統を異にする必要が生じ，Ⅱ期(新)の段階を迎えたことが分かる。Ⅱ期においては，平場11で堀Oが埋められ堀Nが掘削されている。このことは，基本的には従前の笹子城を利用して城域を構成したことがわかる。

そこで，今回調査を実施した「笹子城」は，その初現を14世紀末～15世紀前葉に，廃城を16世紀中葉から末とすることが考えられる。



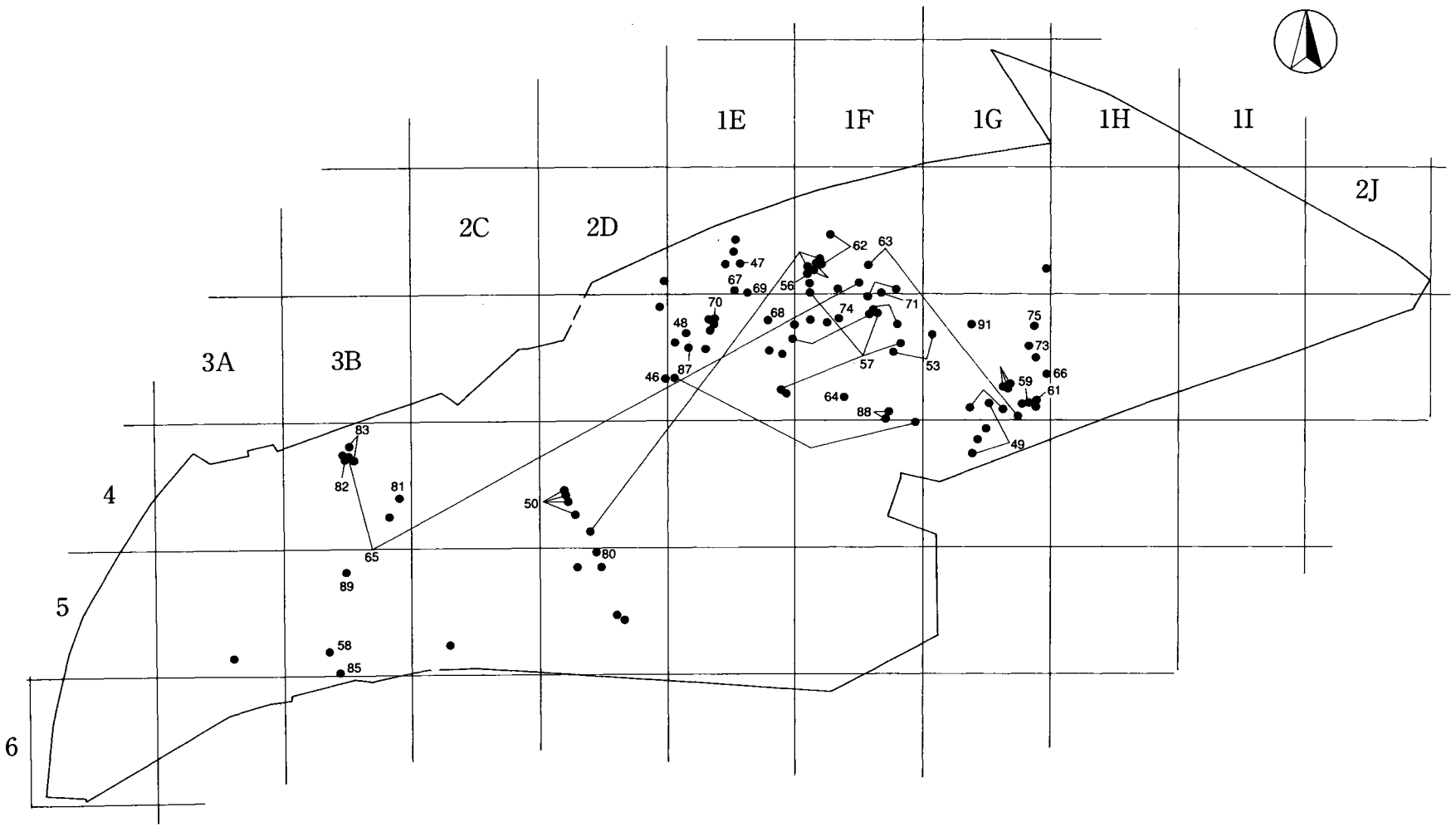
第151図　遺物出土状況図（中国製陶磁器）

0　(1/1,000)　40m

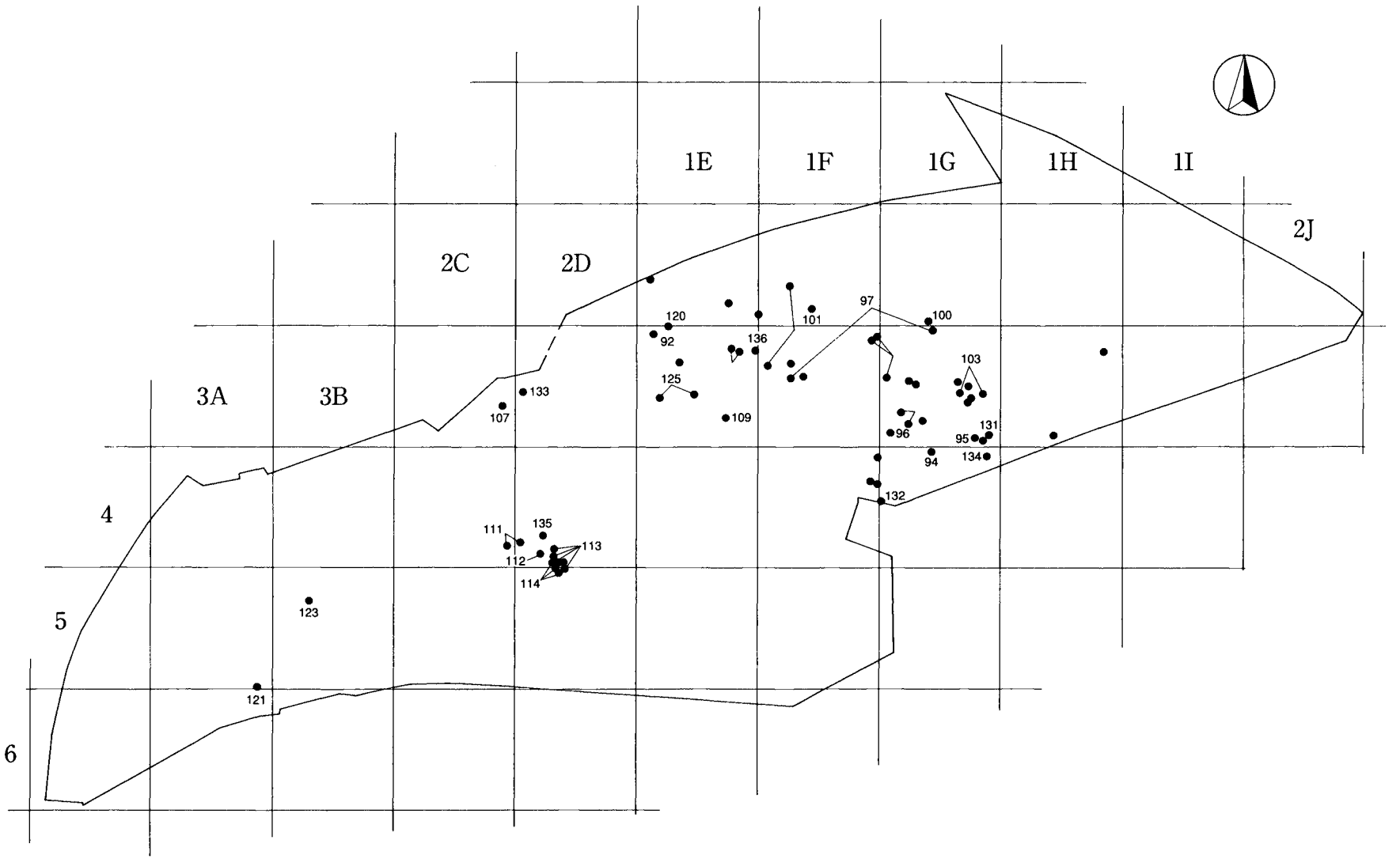


第152図　遺物出土状況図（白磁）

0　(1/1,000)　40m

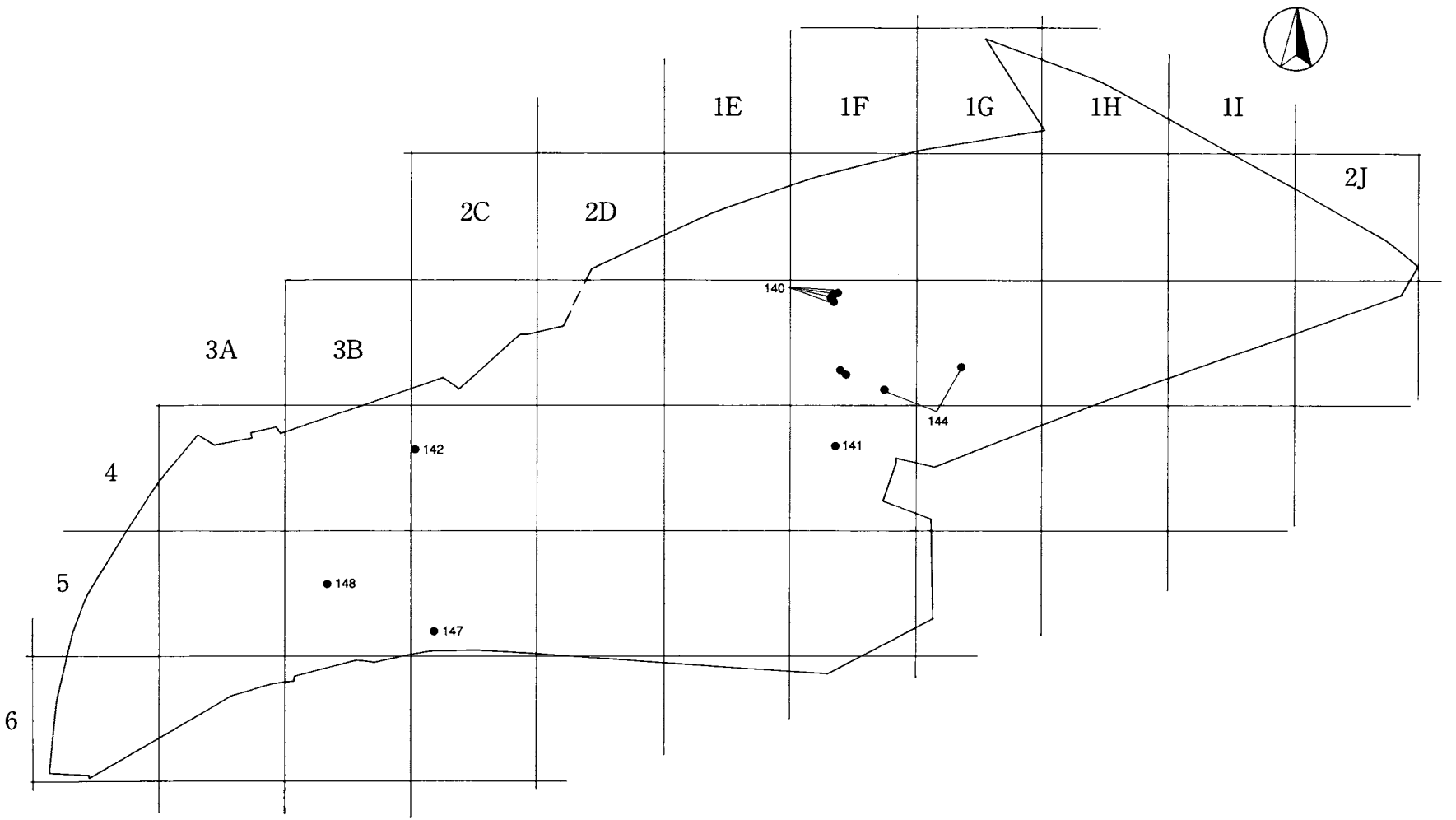


第153図　遺物出土状況図（青磁）



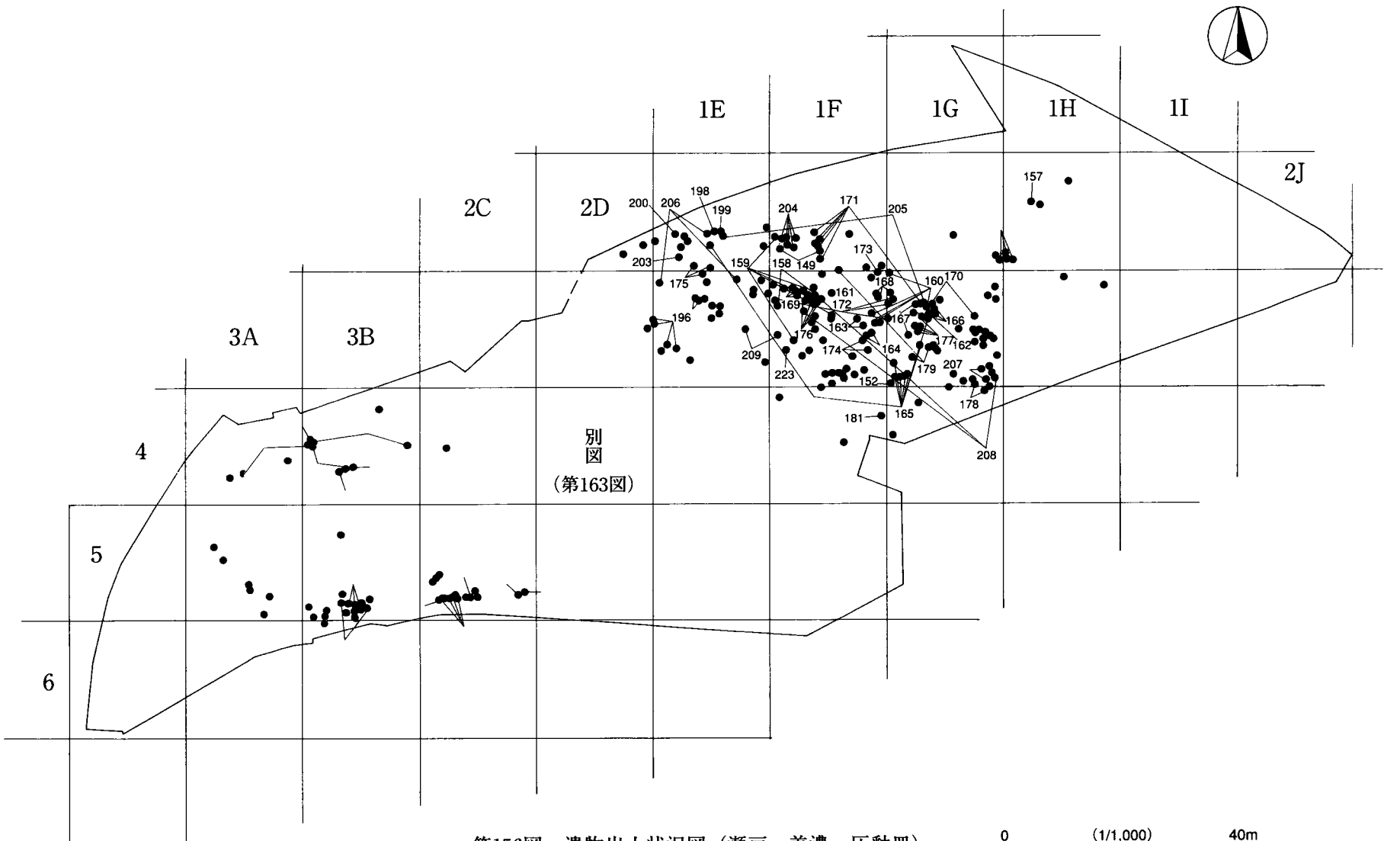
第154図　遺物出土状況図（染付）

0　(1/1,000)　40m

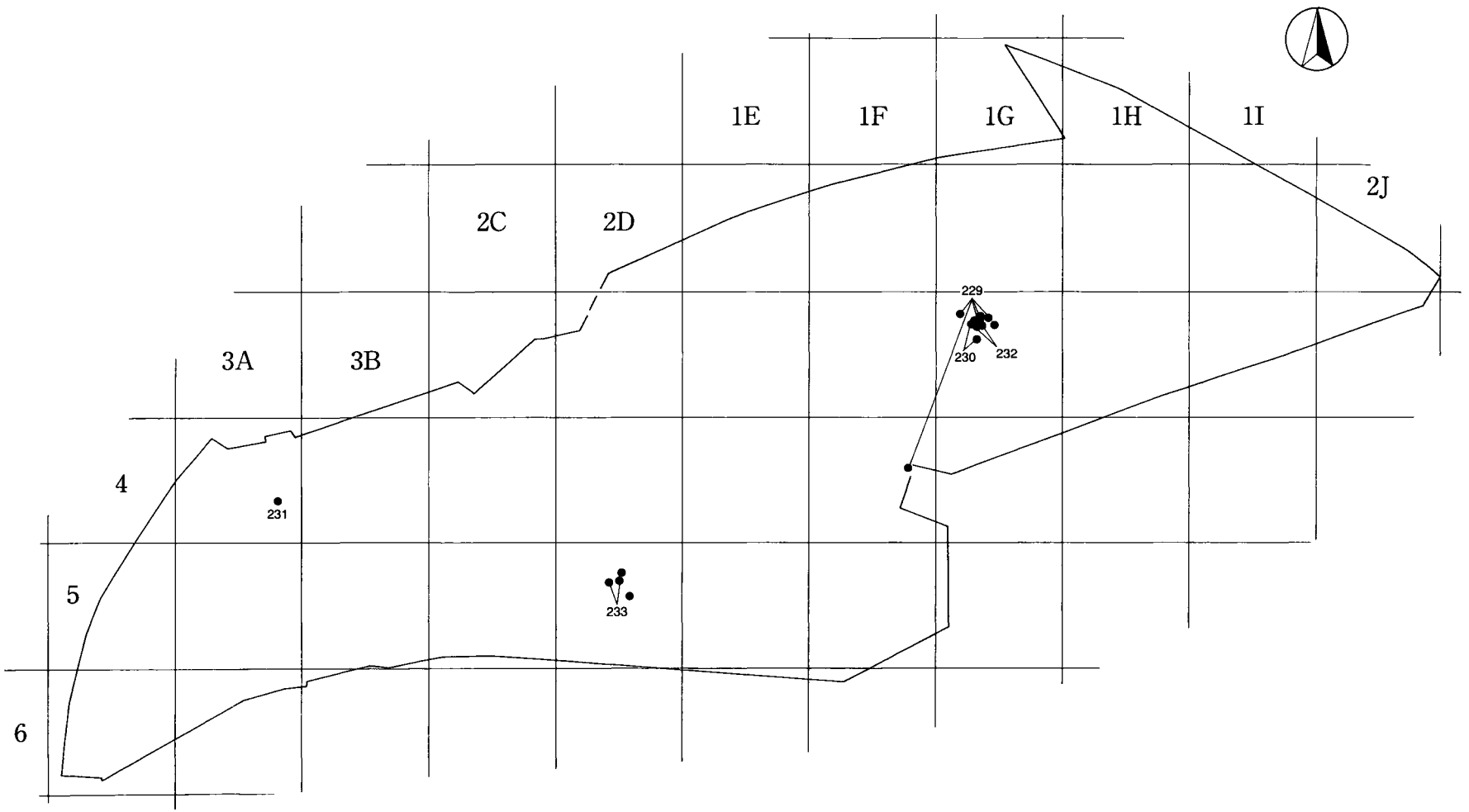


第155図　遺物出土状況図（瀬戸・美濃　灰釉碗）

0　(1/1,000)　40m

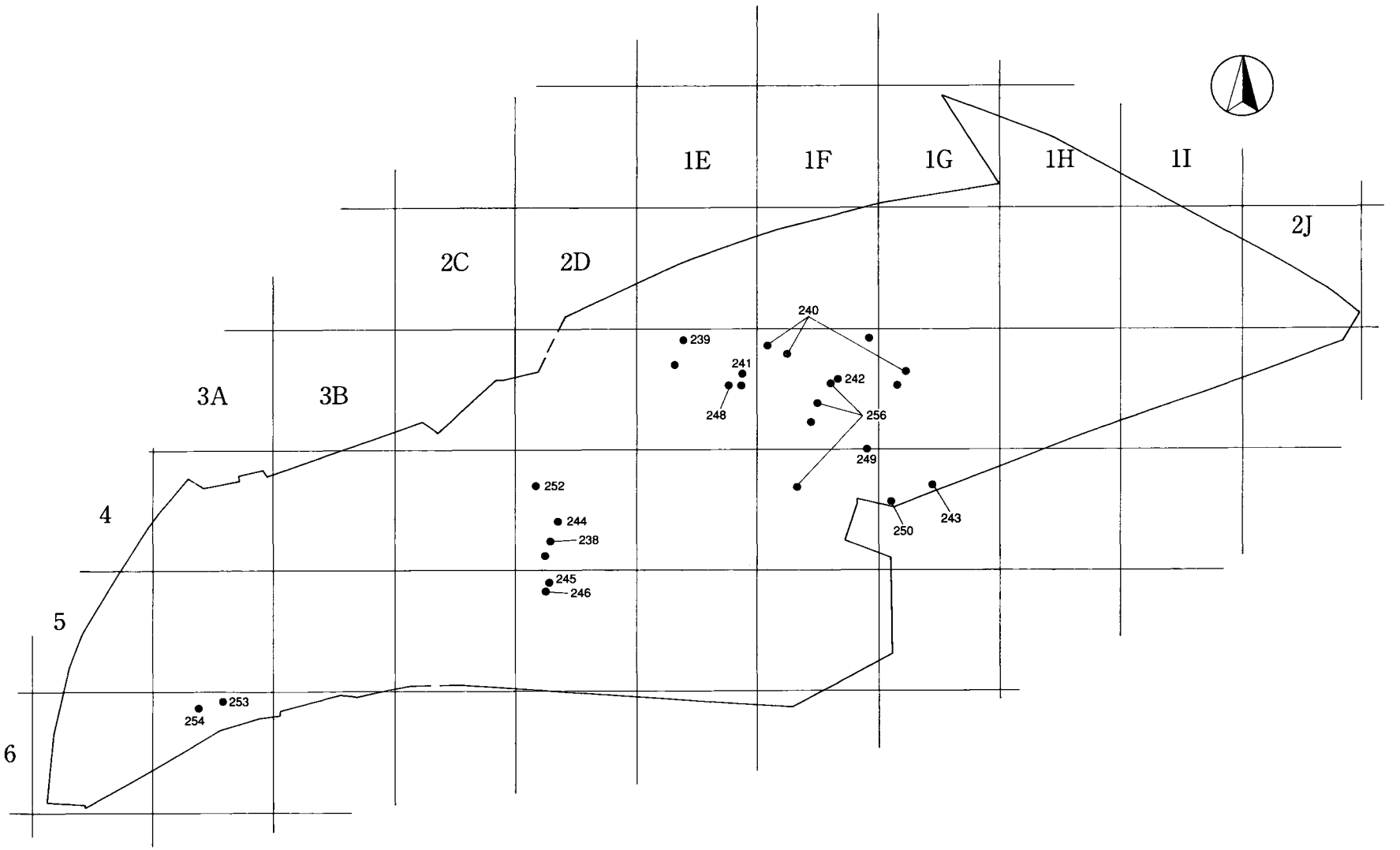


第156図　遺物出土状況図（瀬戸・美濃　灰釉皿）



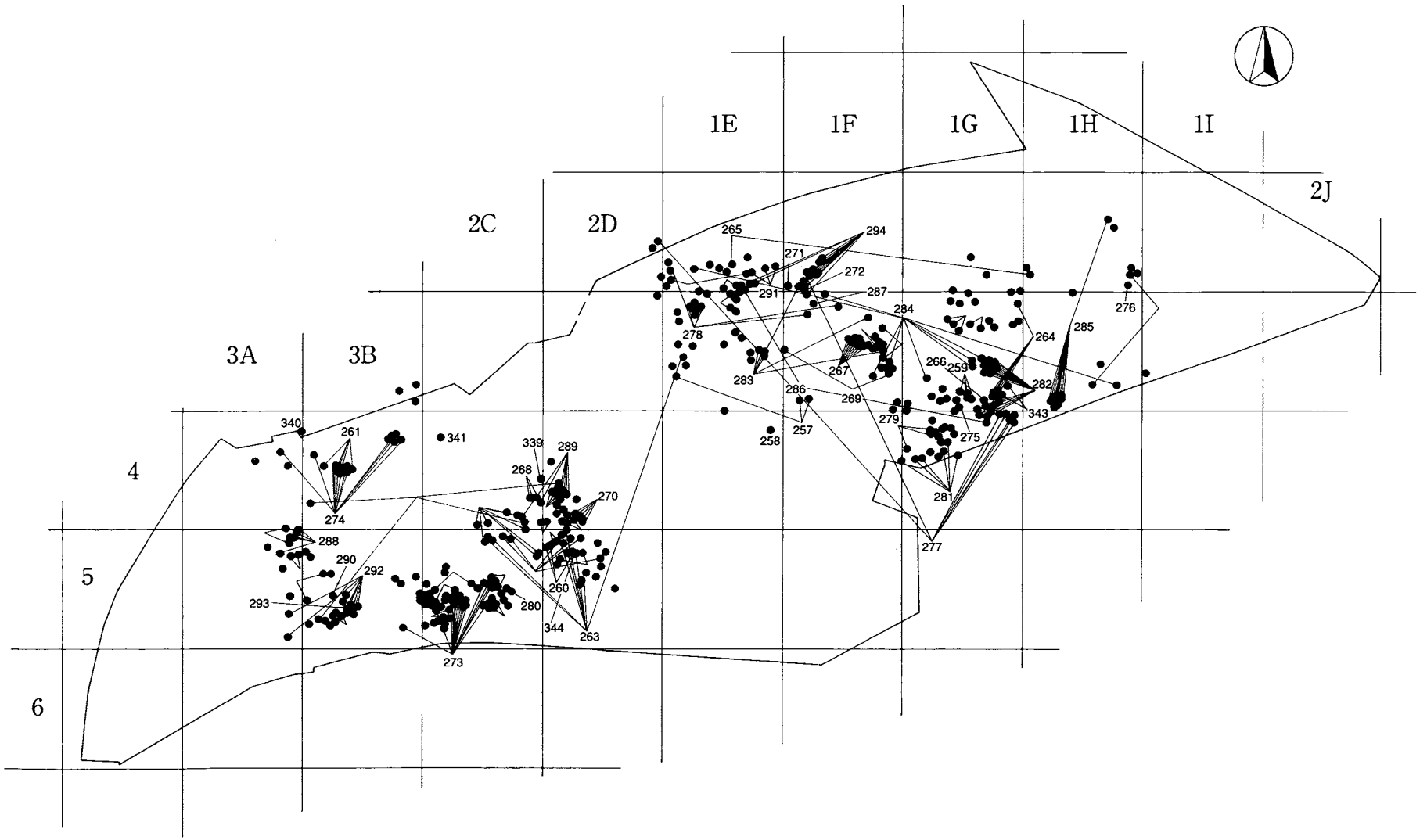
第157図　遺物出土状況図（瀬戸・美濃　鉄釉皿）

0　(1/1,000)　40m



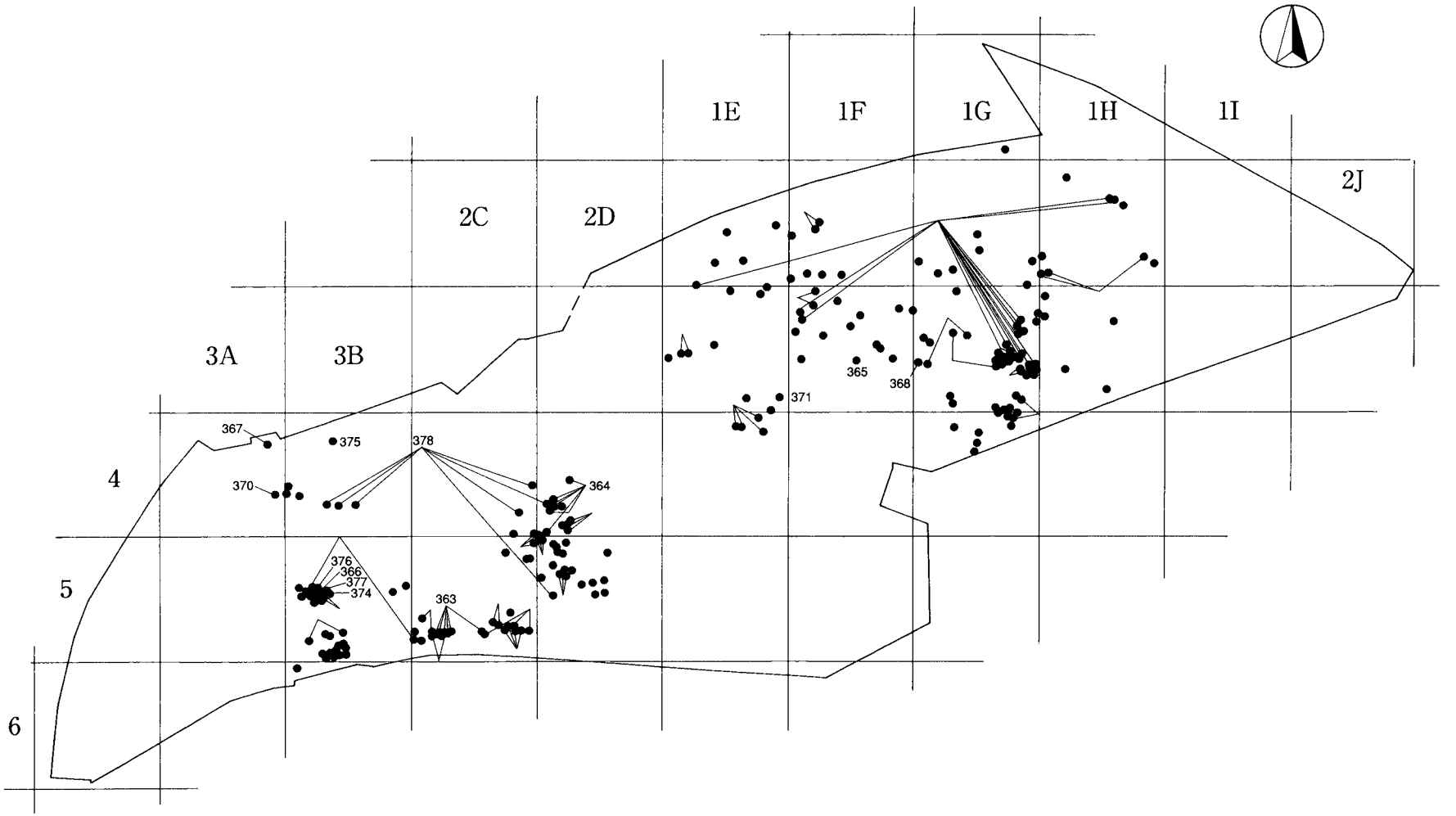
第158図　遺物出土状況図（瀬戸・美濃　天目茶碗）

0　(1/1,000)　40m



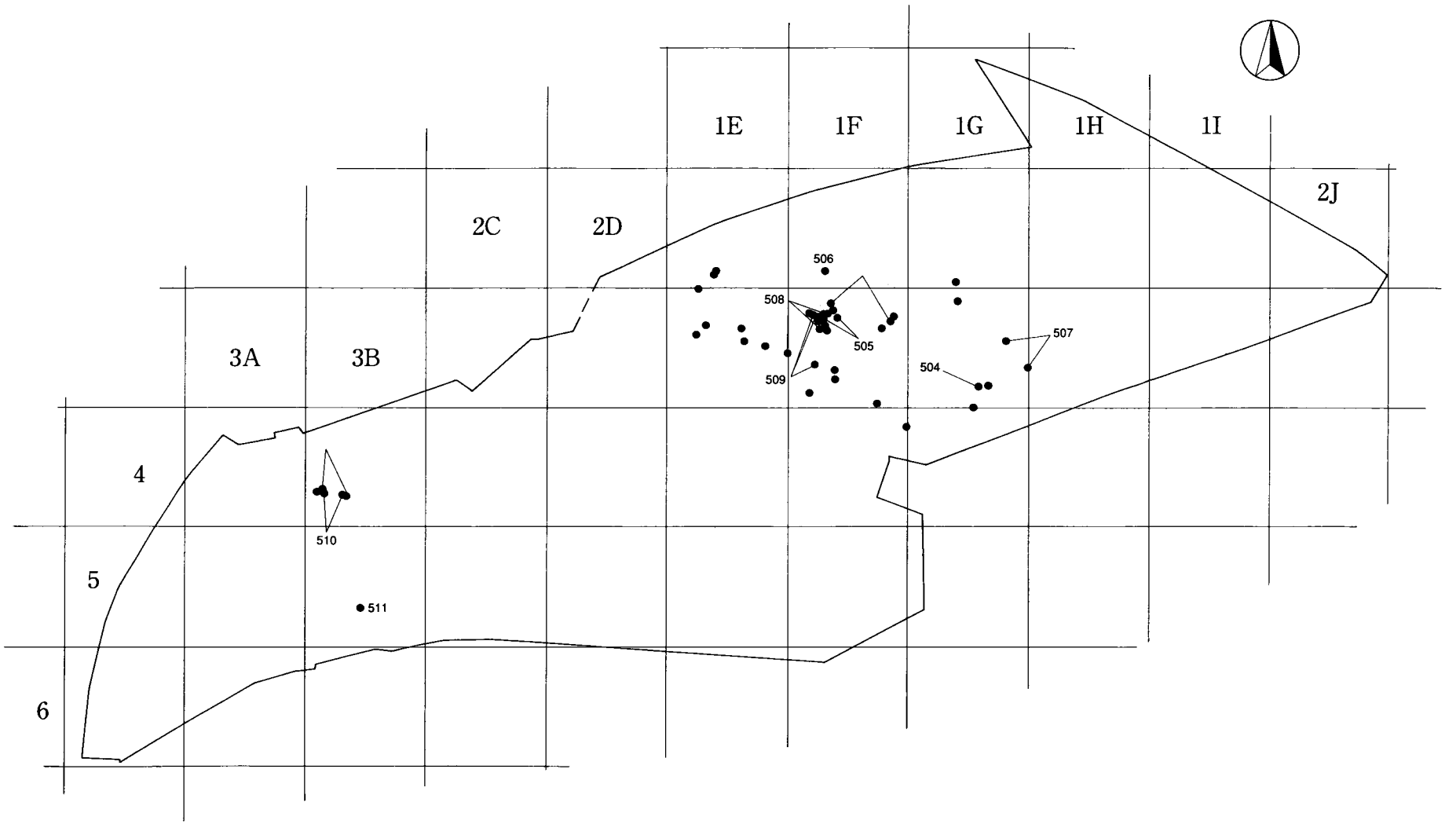
第159図　遺物出土状況図（瀬戸・美濃　擂鉢）

0　(1/1,000)　40m



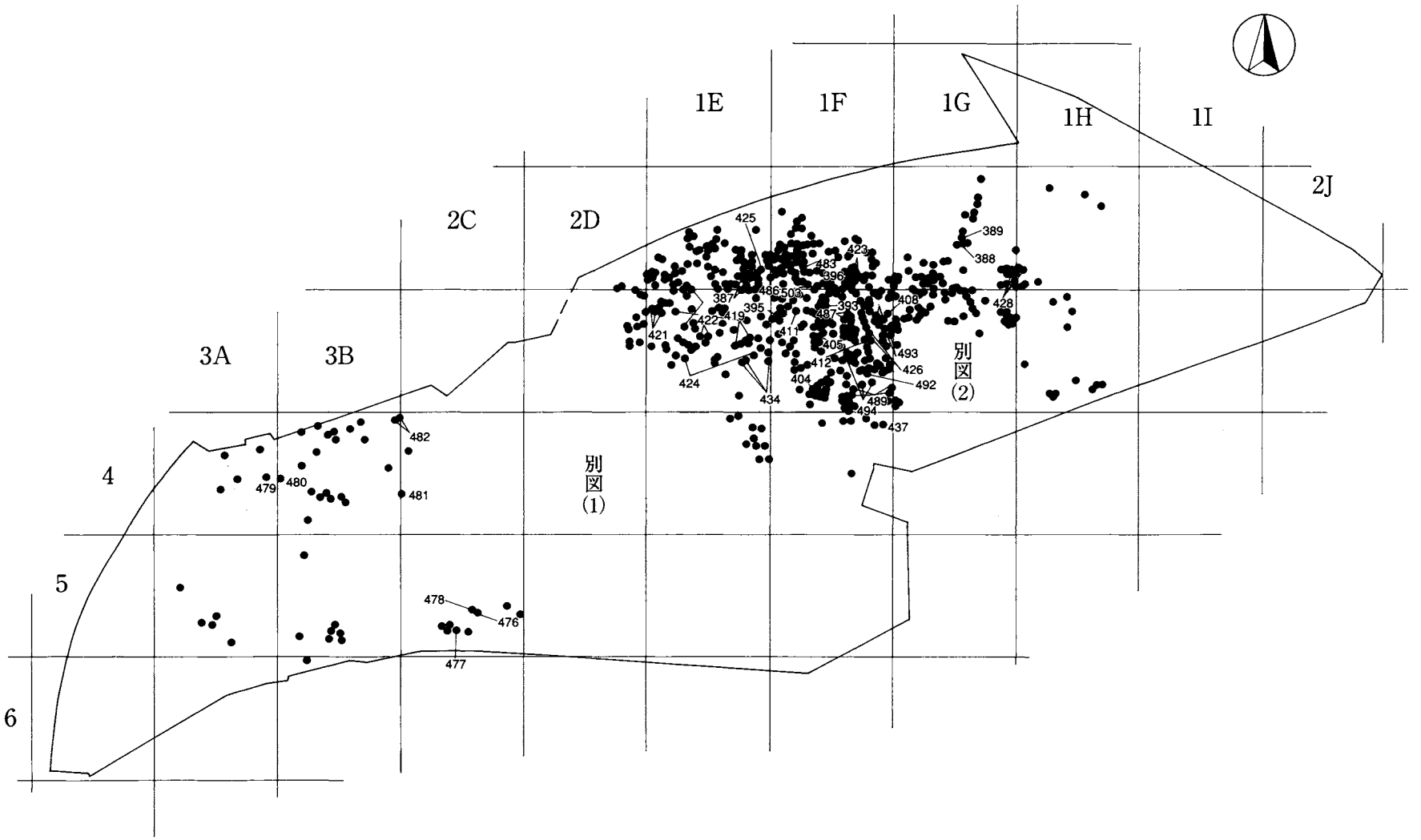
第160図　遺物出土状況図（常滑）

0　(1/1,000)　40m



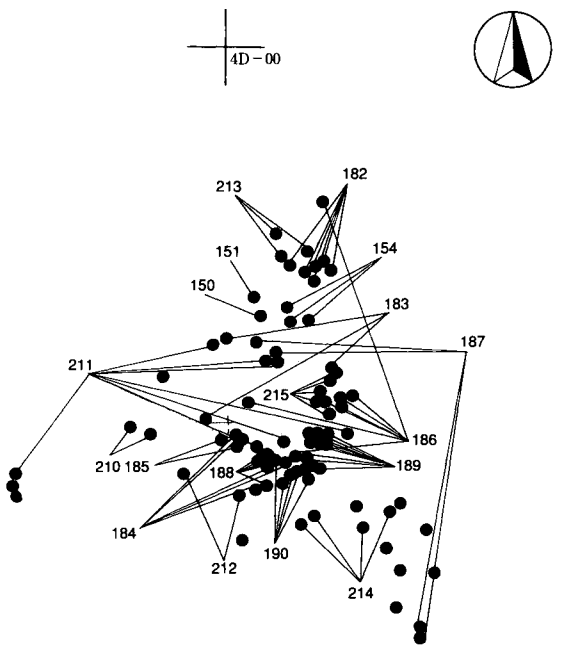
第161図　遺物出土状況図（東海系羽釜）

0　(1/1,000)　40m

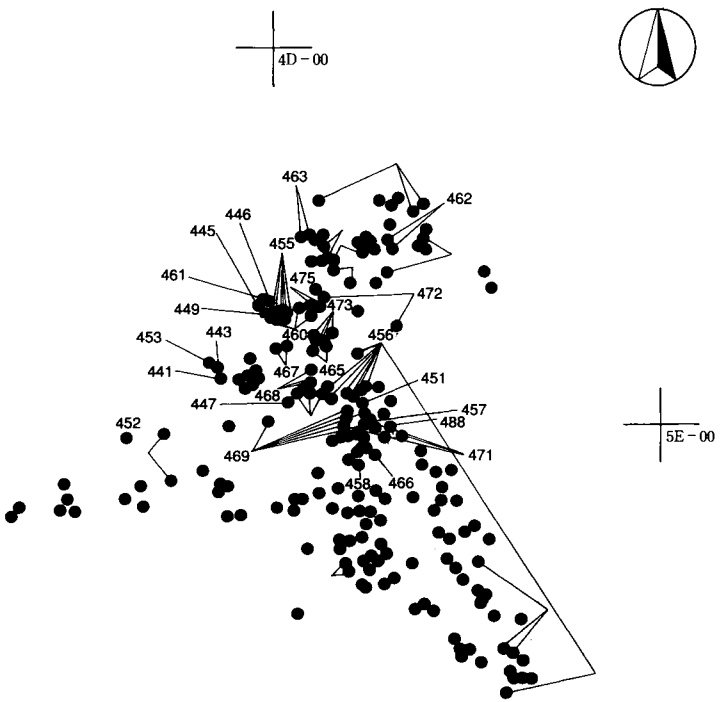


第162図　遺物出土状況図（カワラケ）

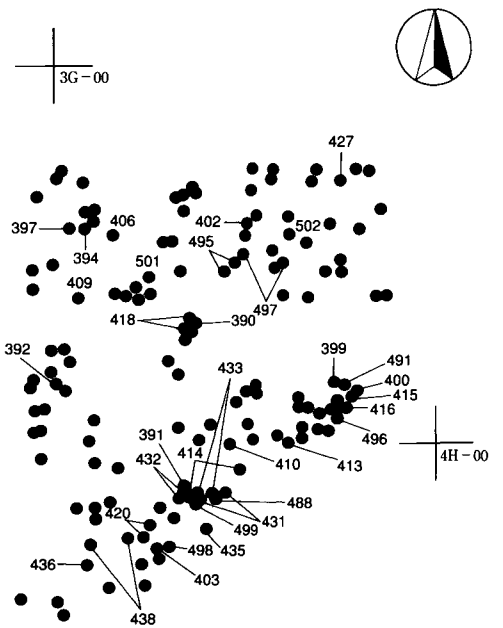
0　(1/1,000)　40m



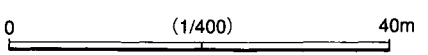
別図　灰釉皿



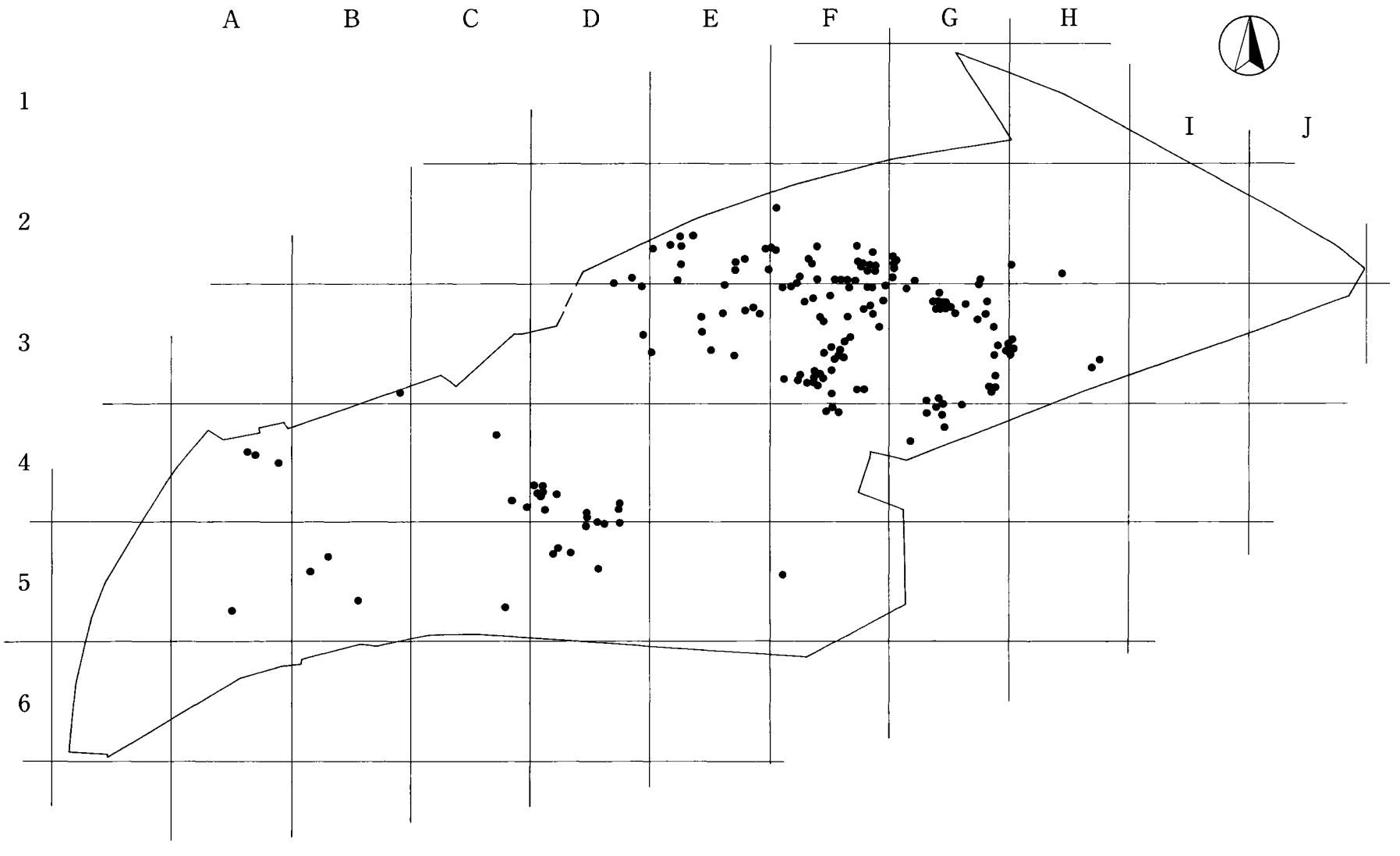
別図　(1)カワラケ



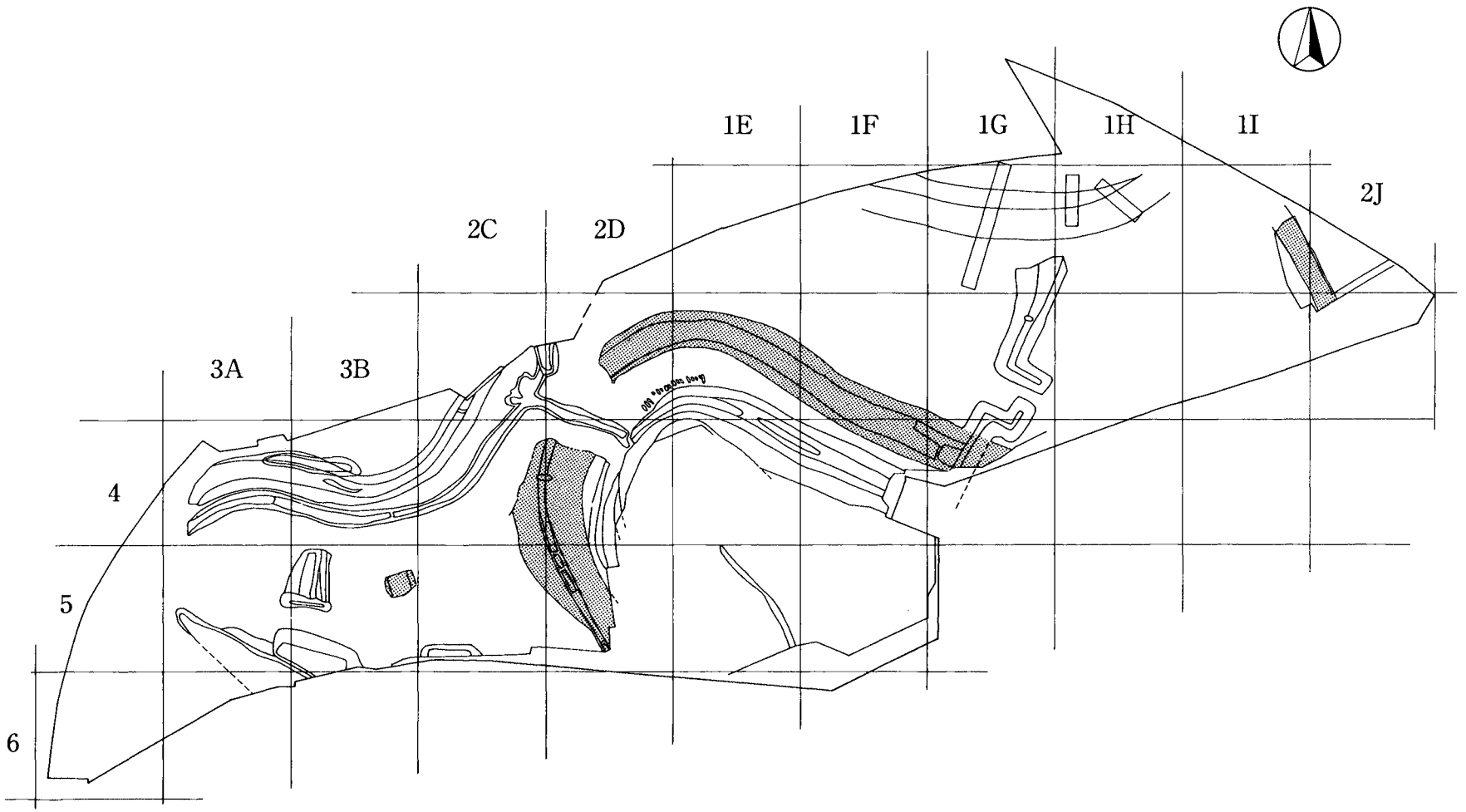
別図　(2)カワラケ



第163図　遺物出土状況図　別図（カワラケ・灰釉皿）

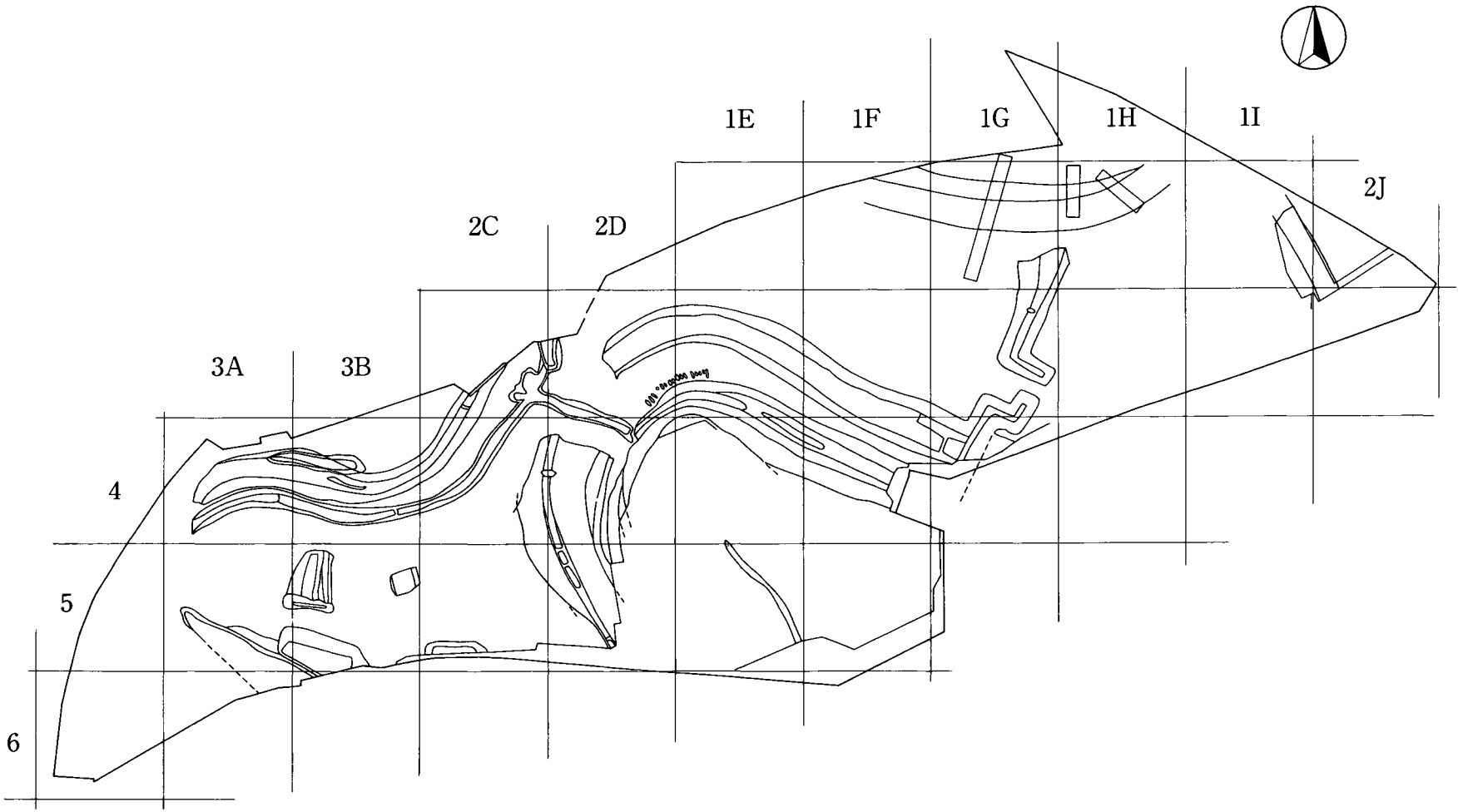


第164図　遺物出土状況図（銭貨）



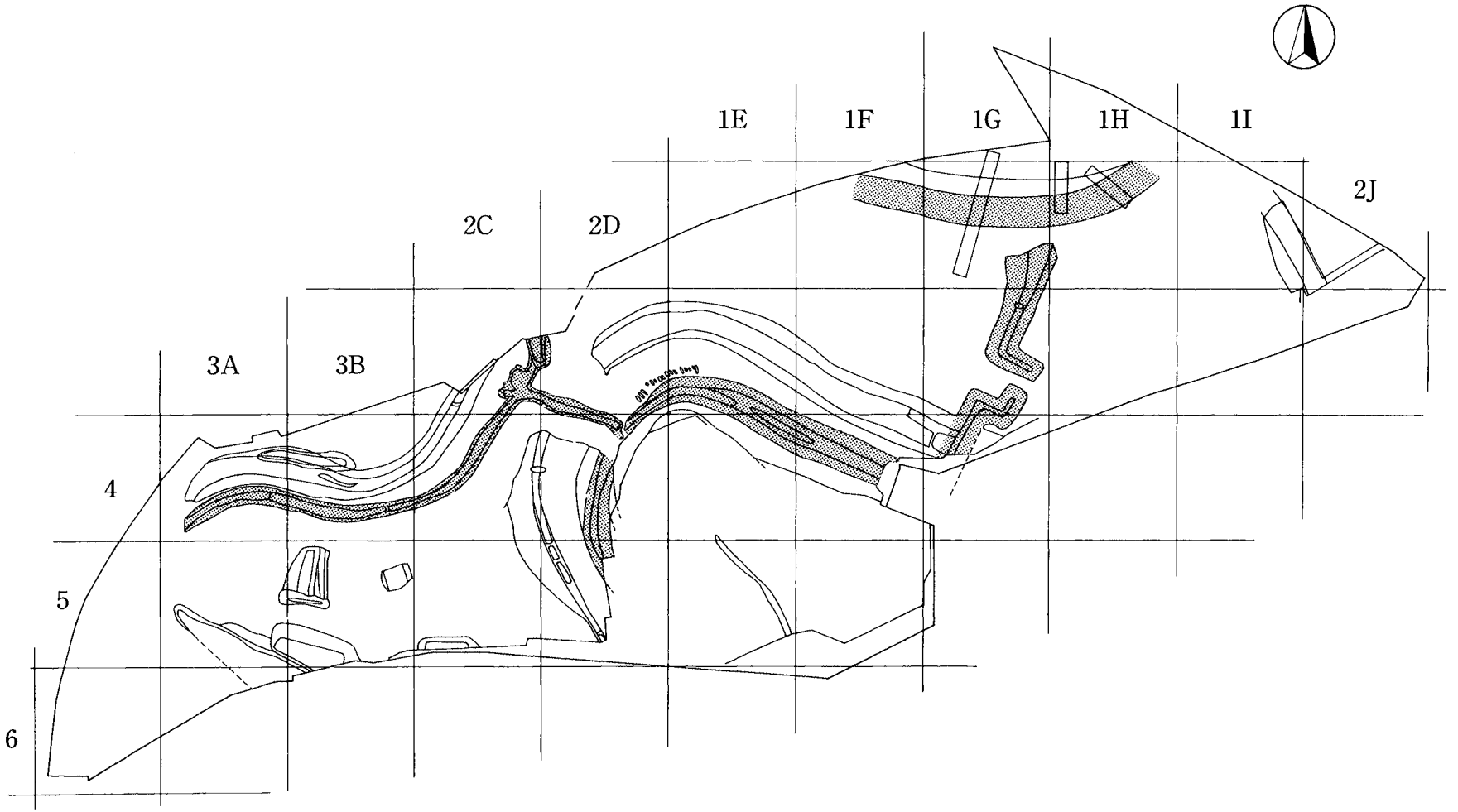
第165図　Ⅴ期堀状況図

0　(1/1,000)　40m



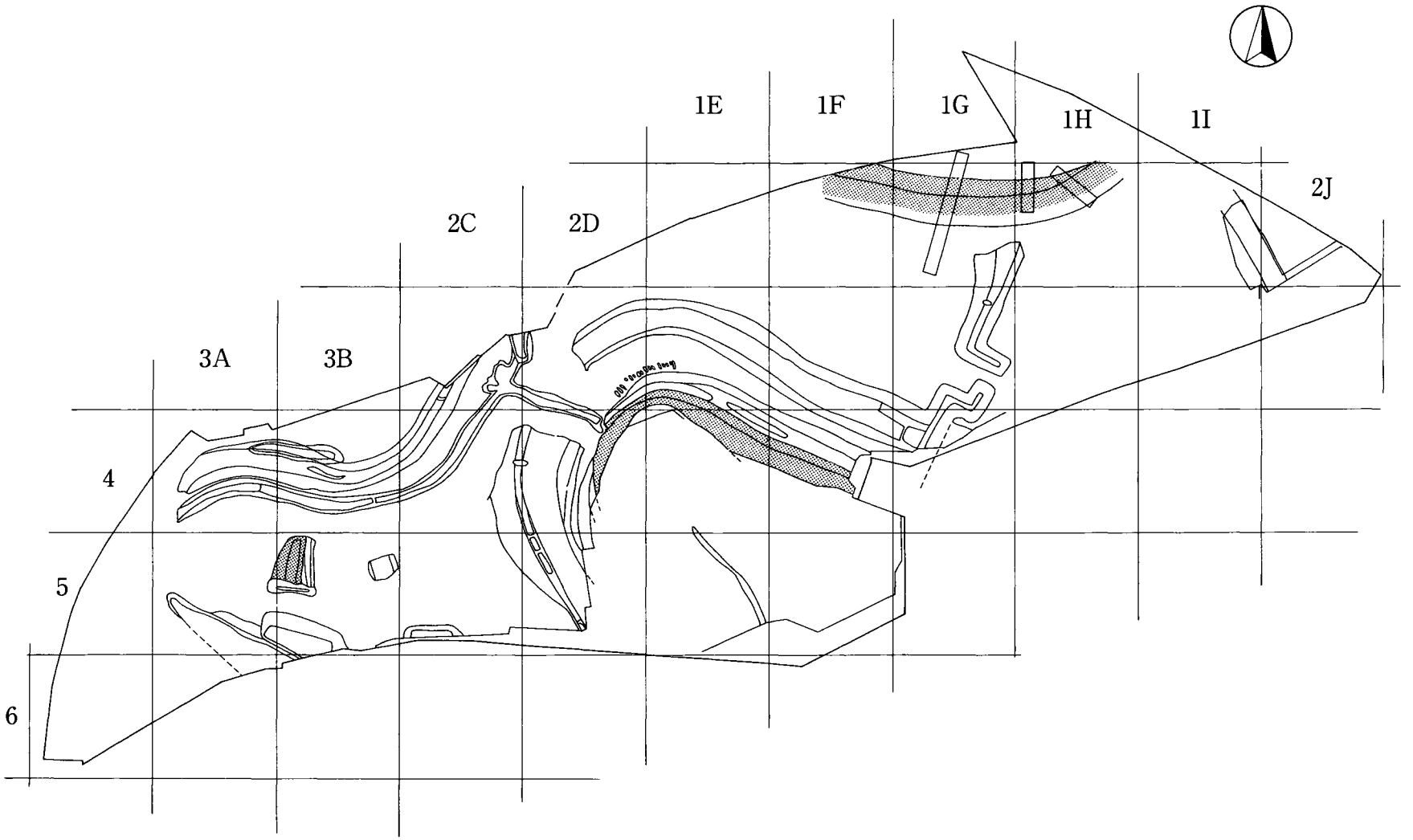
第166図　Ⅳ期堀状況図

0　(1/1,000)　40m



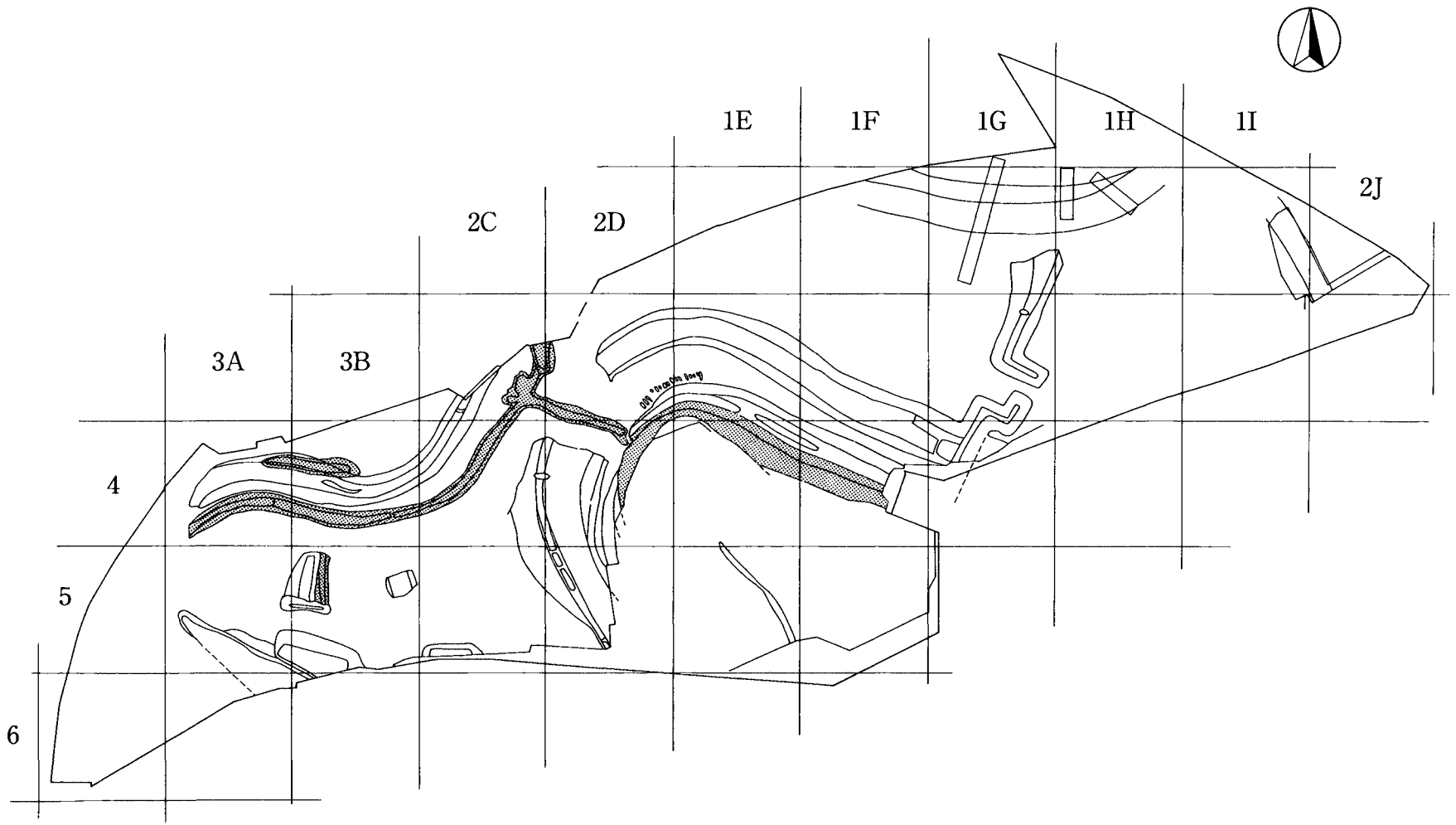
第167図　Ⅲ期堀状況図

0　(1/1,000)　40m



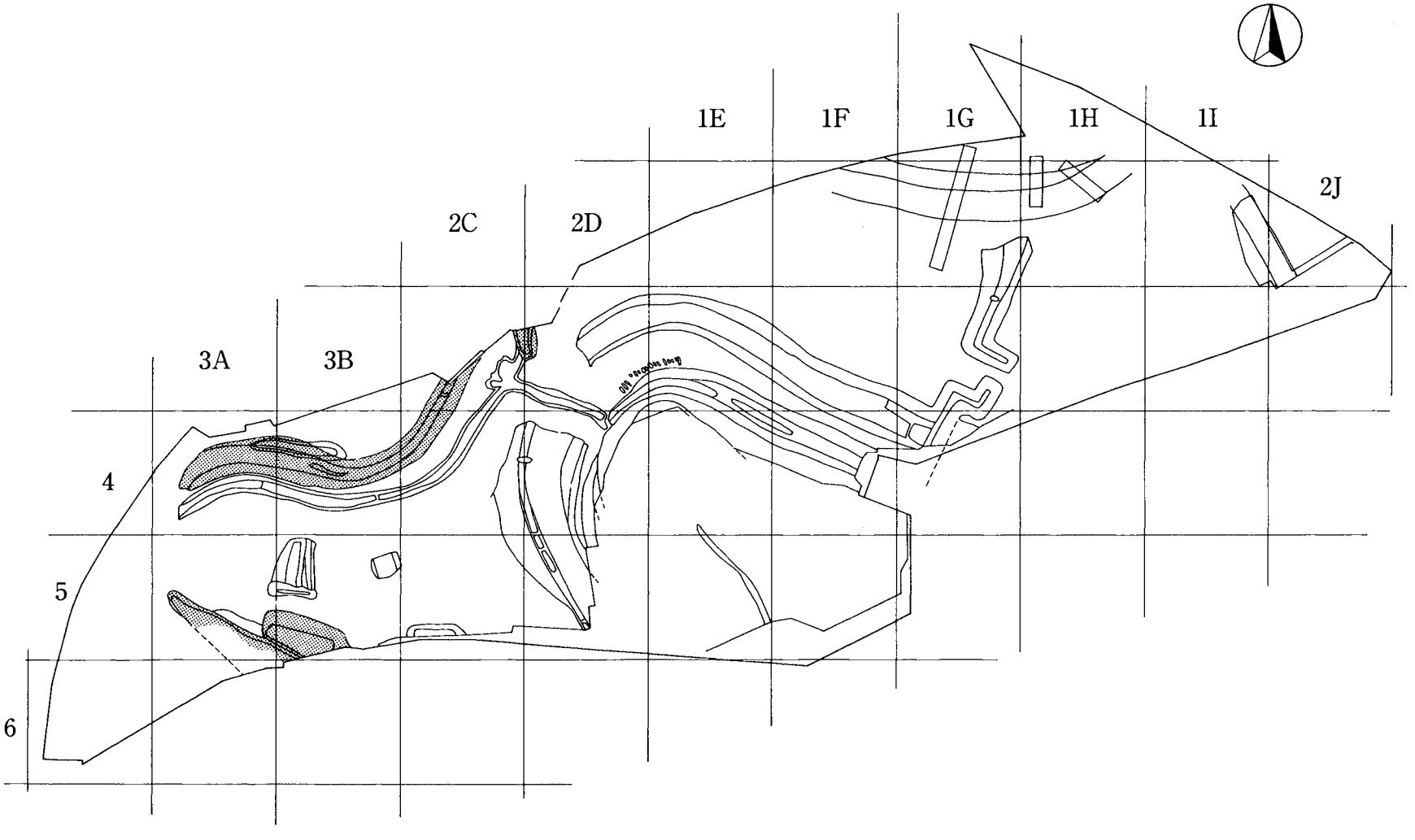
第168図　Ⅱ期（古）堀状況図

0　(1/1,000)　40m



第169図　Ⅱ期（新）堀状況図

0　(1/1,000)　40m



第170図　Ⅰ期堀状況図

0　(1/1,000)　40m

第20表　遺構別　実測・接合遺物破片総数一覧（1）

平場	遺構種	遺構番号	データ	所属	貿易陶磁				瀬戸・美濃							常滑		瓦質土器		土器				近世磁器	近世陶器	近世土器	近世他	合計	瀬戸・美濃その他の内訳
					白磁	青磁	染付	その他・茶入	灰釉碗	灰釉皿	鉄釉皿	天目茶碗	擂鉢 鉄釉	鉄釉盤	その他	捏鉢	壺・甕	摺鉢	その他	カワラケ	東海系羽釜	内耳鍋	合計						
1	平場	1			5	2	8		1	1	2		2				3			27			51	22	7	6		35	
2	平場	2								1							1						2	2	3			5	
3	平場	3															1						1					0	
4	平場	4			1		1			3			2				3			21			31		1			1	
5	平場	5			1																		1					0	
6	平場	6			22	52	56	4	2	206	16	23	429		20	1	81	27	18	928	10		1895	81	131	3		215	灰釉小壺5，鉄釉小壺4，花瓶1，香炉2，瓶子，餌目付大皿1，茶入3，双耳小壺
6	ピット	1																		2			2					0	
6	ピット	12		B・C							1						1						2					0	
6	ピット	13		B・C																1			1					0	
6	ピット	14		B・C		9											11			2			22					0	
6	ピット	16		B・C													35						35					0	
6	ピット	17		B・C	1																		1					0	
6	ピット	18		A									1							6			7					0	
6	ピット	19		B・C			1																1					0	
6	ピット	21		B・C													1						1					0	
6	ピット	22		B・C						1													1					0	
6	ピット	23		B・C													1			1			2					0	
6	ピット	24		B・C						2													2					0	
6	ピット	27		B・C																1			1					0	
6	ピット	28		B・C			1																1					0	
6	ピット	30		B・C		4														1			5					0	
6	ピット	32		B・C																1			1					0	
6	ピット	39		A																1			1					0	
6	ピット	40		B・C																9			9					0	
6	ピット	41		B・C									2										2					0	
6	ピット	52		B・C						1													1					0	
6	ピット	53		B・C						1													1					0	
6	ピット	54欠番？																		1			1					0	
6	ピット	61		B・C																	1		1					0	
6	ピット	117		B・C						1													1					0	
6	ピット	118		B・C									1										1					0	
6	ピット	119		A																1			1					0	
6	ピット	122		A																			0		1			1	
6	溝	1		A	1					1			2		1	1				10		1	17	3	1			4	香炉1
6	溝	1a											9							5			14					0	
6	溝	18		B・C	3				1				1		1								6					0	鉄釉小壺1
6	溝	19		A						1													1					0	

遺構別　実測・接合遺物破片総数一覧（2）

平場	遺構種	遺構番号	データ	所属	貿易陶磁				瀬戸・美濃							常滑		瓦質土器		土器				近世磁器	近世陶器	近世土器	近世他	合計	瀬戸・美濃その他の内訳
					白磁	青磁	染付	その他・茶入	灰釉碗	灰釉皿	鉄釉皿	天目茶碗	擂鉢 鉄釉	鉄釉盤	その他	捏鉢	壺・甕	摺鉢	その他	カワラケ	東海系羽釜	内耳鍋	合計						
6	溝	44		A																1			1					0	
6	溝	51		B・C														1					1					0	
6	溝	113		B・C	1												1			1			3					0	
6	溝	118		B・C																1			1					0	
6	溝	168		B・C																1			1					0	
6	溝	206		A									1				1						2					0	
6	土坑	2		B									9										9					0	
6	土坑	5		A									1							1			2					0	
6	土坑	9		A																			0		1			1	
6	土坑	11		A									1										1					0	
6	土坑	18											1										1					0	
6	土坑	20		A						1			9					2		15			27	9	3			12	
6	土坑	22		A					1														1					0	
6	土坑	24		A									1							1			2					0	
6	土坑	23		A													1			3			4					0	
6	土坑	25		A							1		1							3			5					0	
6	土坑	26		A						1			1										2					0	
6	土坑	27		A						1			1		5					2			9					0	瓶子5
6	土坑	28		A																2			2					0	
6	土坑	29		A																		1	1					0	
6	土坑	33		A																1			1					0	
6	土坑	36		B・C						1													1					0	
6	土坑	38		B・C							1				1								2					0	
6	土坑	40		A																5			5					0	
6	土坑	41		A									1							6			7					0	
6	土坑	42		A			1																1					0	
6	土坑	45		A									1										1					0	
6	土坑	63		A													3						3					0	
6	土坑	68		B・C									1							1			2					0	
6	土坑	69		B・C									1							1			2					0	
6	土坑	70		B・C									1										1					0	
6	土坑	71		B・C																1			1					0	
6	土坑	74		B																1			1					0	
6	土坑	75		B						2										2			4					0	
6	土坑	76		B	1							1			1					1			4					0	香炉1
6	土坑	78		B						3			1							3			7					0	
6	土坑	79		B									3							2			5					0	
6	土坑	80		A																1			1					0	
6	土坑	82		B・C						1													1					0	

遺構別　実測・接合遺物破片総数一覧（3）

平場	遺構種	遺構番号	データ	所属	貿易陶磁				瀬戸・美濃							常滑		瓦質土器		土器				近世磁器	近世陶器	近世土器	近世他	合計	瀬戸・美濃その他の内訳
					白磁	青磁	染付	その他・茶入	灰釉碗	灰釉皿	鉄釉皿	天目茶碗	擂鉢	鉄釉盤	その他	捏鉢	壺・甕	摺鉢	その他	カワラケ	東海系羽釜	内耳鍋	合計						
													鉄釉															
6	土坑	98欠番?			1																						0	
6	土坑	99		A																1			1					0	
6	土坑	100		B・C													1						1					0	
6	土坑	102		B		1			4	1			1							3	1		11					0	
6	土坑	104		B									3										3					0	
6	土坑	105		B	1					2													3					0	
6	土坑	106		B									1										1					0	
6	土坑	108		A						1													1					0	
6	土坑	109		B	1															3			4					0	
6	土坑	111		B・C																2			2					0	
6	土坑	112		B・C		1							6										7					0	
6	土坑	116		B・C	1								1										2					0	
6	土坑	119		B・C						1													1					0	
6	土坑	124		A						5										1			6					0	
6	土坑	125		B・C						5			2							4			11					0	
6	土坑	126		A						1										1			2					0	
6	土坑	127		A						2			3		1					3			9					0	香炉1
6	土坑	128		A						3	1				1					2			7	1				1	香炉1
6	土坑	129		A						1										2			3					0	
6	土坑	130		B・C		1							1				1						3					0	
6	土坑	131		B・C						1										14			15					0	
6	土坑	140		A						1													1					0	
6	土坑	141		A																4			4					0	
6	土坑	142		A																1			1					0	
6	土坑	143		A									1										1					0	
6	土坑	144		A																1			1					0	
6	土坑	145		A																1			1					0	
6	土坑	146欠番																		1			1					0	
6	土坑	149		A						1													1					0	
6	土坑	150		B・C																3			3					0	
6	土坑	152		B・C																			0					0	
6	土坑	153		B・C						1			3							4			8					0	
6	土坑	154欠番																		1			1					0	
6	土坑	155欠番																		2			2					0	
6	土坑	156		A													1						1					0	
6	土坑	158		B・C																1			1					0	
6	土坑	160		B・C						1			3							6	1		11					0	
6	土坑	161		A																2			2					0	
6	土坑	162		B・C									3							2			5					0	

遺構別　実測・接合遺物破片総数一覧（4）

平場	遺構種	遺構番号	データ	所属	貿易陶磁				瀬戸・美濃							常滑		瓦質土器		土器				近世磁器	近世陶器	近世土器	近世他	合計	瀬戸・美濃その他の内訳
					白磁	青磁	染付	その他・茶入	灰釉碗	灰釉皿	鉄釉皿	天目茶碗	擂鉢	鉄釉盤	その他	捏鉢	壺・甕	摺鉢	その他	カワラケ	東海系羽釜	内耳鍋	合計						
													鉄釉															
6	土坑	165		A												2		3			1		6					0	
6	土坑	166		A									4										4					0	
6	土坑	169		B・C						1							2						3					0	
6	土坑	174		C									1				3			9			13	1				1	
6	土坑	176		B						2			1							3			6					0	
6	土坑	177		B・C																2			2					0	
6	土坑	182		A																1			1					0	
6	土坑	184		A																1			1					0	
6	土坑	186		B・C									1										1					0	
6	土坑	203		B・C						1													1					0	
6	土坑	204		−			1						1				1						3					0	
6	土坑	207		B・C																1			1					0	
6	土坑	213		C																1			1					0	
6	土坑	216		C		1																	1					0	
6	土坑	222		C																1			1					0	
6	土坑	224		B								1											1					0	
6	土坑	225		B					2	2													4					0	
6	土坑	226		D						3													3					0	
6	土坑	233		C																2			2					0	
6	土坑	235		C																1			1					0	
6	土坑	240		B・C						1			1										2					0	
6	土坑	241								1													1					0	
6	土坑	242		B・C		1																	1					0	
6	土坑	251		B・C																5			5					0	
6	土坑	257		B・C																1			1					0	
6	堀	D			1	3			2	3		2	10		2		15	1		2			41	1				1	片口碗2,鉄釉小壺1
6	堀	E															2						2					0	
6	堀	F	14	A		8	5		1	19	2		30				8		2	140	2	1	218					0	
6	堀	G	16	A		4	2	1		13	1		37		2	1	33	1	1	21	3		120					0	水注1,片口碗1,双耳小壺1
6	堀	H											1										1					0	
7	平場	7			4	5	8		1	20	1	4	38		4		7			132	2		226	9	3			12	鉄釉小壺1,壺3
7	土坑	3		A									3							1			4					0	
7	土坑	4		A									1							2			3					0	
7	土坑	11								2	1												3					0	
7	土坑	12											2										2					0	
7	土坑	14																		1			1					0	
7	土坑	25																		1			1					0	

遺構別　実測・接合遺物破片総数一覧（5）

平場	遺構種	遺構番号 データ	所属	貿易陶磁 白磁	貿易陶磁 青磁	貿易陶磁 染付	貿易陶磁 その他・茶入	瀬戸・美濃 灰釉碗	瀬戸・美濃 灰釉皿	瀬戸・美濃 鉄釉皿	瀬戸・美濃 天目茶碗	瀬戸・美濃 擂鉢（鉄釉）	瀬戸・美濃 鉄釉盤	瀬戸・美濃 その他	常滑 捏鉢	常滑 壺・甕	瓦質土器 擂鉢	瓦質土器 その他	土器 カワラケ	土器 東海系羽釜	土器 内耳鍋	合計	近世磁器	近世陶器	近世土器	近世 他	合計	瀬戸・美濃 その他の内訳
7	土坑	27																	1			1					0	
7	土坑	33											2									2		2			2	
8	平場	8		29	13	27	1		175	24	11	160		2	1	74	6	1	602			1126	7	27			34	錆釉小壺1,盤1,卸目付大皿1
8	溝	62							2										5			7					0	
8	土坑	1																	1			1					0	
8	土坑	2							1	1									2			4					0	
8	土坑	3										2										2					0	
8	土坑	5										1							3			4					0	
8	土坑	10	C	1					6			4										11					0	
8	土坑	12 a	C	1	1				7			12				13			5			39					0	
8	土坑	12 b	D	2					3	1		7				4			2			19					0	
8	土坑	14	C																1			1					0	
8	土坑	18															1					1					0	
8	土坑	25欠番?	－						1							1						2					0	
8	土坑	36	D	1					12													13					0	
8	土坑	38	D									2										2					0	
8	土坑	39	D	1					1			1										3					0	
8	土坑	40	D																1			1					0	
8	土坑	41							2													2					0	
8	土坑	42	D																			0					0	
8	土坑	47	C						2										2			4					0	
8	土坑	49	D									4							2			6					0	
8	土坑	51	D						1			1							1			3					0	
8	土坑	52	D						1			1							1			3					0	
8	土坑	54	D																1			1					0	
8	土坑	56	D						1	2									3			6					0	
8	土坑	61欠番			2														5			7					0	
8	土坑	62								2									1			3					0	
8	土坑	64				1																1					0	
8	土坑	65	A～C						1	1									1			3					0	
8	土坑	67																	9			9					0	
8	堀 I															1						1					0	
8	堀K															1						1					0	
8	堀L				1				1			2				1						5					0	
9	平場	9										2				1			1			4	1		1		2	
10	平場	10		4	1			1	37	1	1	54		1		37	5		10	2		154		4			4	大皿 1
10	井戸	1	A	1								4				1			1			7					0	
10	溝	6	A																1			1					0	
10	溝	12	A																1			1					0	
10	溝	16	A																1			1					0	
10	土坑	1		1								5				1						7					0	

遺構別　実測・接合遺物破片総数一覧（6）

平場	遺構種	遺構番号 データ	所属	貿易陶磁				瀬戸・美濃							常滑		瓦質土器		土器			合計	近世磁器	近世陶器	近世土器	近世他	合計	瀬戸・美濃その他の内訳
				白磁	青磁	染付	その他・茶入	灰釉碗	灰釉皿	鉄釉皿	天目茶碗	擂鉢	鉄釉盤	その他	捏鉢	壺・甕	摺鉢	その他	カワラケ	東海系羽釜	内耳鍋							
												鉄釉																
10	土坑	9	A									6				4						10					0	
10	土坑	14	A						3													3					0	
10	堀	M																	3			3					0	
11	平場	11		1	1	1		1	2			22	1			2		3	2			36	33	44			77	深皿1
11	堀N											13				7						20	7	12	1		20	近世土器は内耳鍋1
11	堀O				1	1						1				1						4		3			3	
12	平場	12		2	10	3	1	2	28	8		60		1		24	2	3	51		3	198	45	36	1		82	近世天目茶碗1，大皿1
12	土坑	4																				0	1				1	
12	土坑	10														1						1					0	
12	土坑	13										1										1					0	
12	堀P								6	4		22		1		11			3	4	1	52		2			2	
12	堀Q											2										2					0	
12	堀R											1										1					0	
13	平場	13					4		4		2	3		1		2		1			1	18	76	42	3		121	
14	平場	14		6	2	1			27	1	4	67		1		5			14	1	1	130	25	58	1		84	鉄釉碗1
14	堀U											1										1					0	
16	平場	16			2				1			1		1							3	8	24	48	2		74	折縁深皿1，近世土器は内耳鍋2
	合計			95	126	118	11	19	649	72	49	1106	3	47	6	410	49	29	2207	28	12	5036	348	429	18	0	795	

	平場別集計	中世遺物																			近世遺物					
1	平場 1	5	2	8	0	1	1	2	0	2	0	0	0	3	0	0	27	0	0	51	22	7	6	0	35	
2	平場 2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	3	0	0	5	
3	平場 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
4	平場 4	1	0	1	0	0	3	0	0	2	0	0	0	3	0	0	21	0	0	31	0	1	0	0	1	
5	平場 5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
6	平場 6	34	85	67	5	13	297	23	27	596	0	35	5	203	35	21	1285	19	3	2753	96	137	3	0	236	
7	平場 7	4	5	8	0	1	22	2	4	44	2	4	0	7	0	0	138	2	0	243	9	5	0	0	14	
8	平場 8	35	17	28	1	0	217	31	11	197	0	2	1	95	7	1	648	0	0	1291	7	27	0	0	34	
9	平場 9	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4	1	0	1	0	2	
10	平場 10	6	1	0	0	1	40	1	1	69	0	1	0	43	5	0	17	2	0	187	0	4	0	0	4	
11	平場 11	1	2	2	0	1	2	0	0	36	1	0	0	10	0	3	2	0	0	60	40	59	1	0	100	
12	平場 12	2	10	3	1	2	34	12	0	86	0	2	0	36	2	3	54	4	4	255	46	38	1	0	85	
13	平場 13	0	0	0	4	0	4	0	2	3	0	1	0	2	0	1	0	0	1	18	76	42	3	0	121	
14	平場 14	6	2	1	0	0	27	1	4	68	0	1	0	5	0	0	14	1	1	131	25	58	1	0	84	
16	平場 16	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	8	24	48	2	0	74	
17	出土平場不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	95	126	118	11	19	649	72	49	1106	3	47	6	410	49	29	2207	28	12	5036	348	429	18	0	795	

全体数に対する%

数量／総破片数　1.9　2.5　2.3　0.2　0.4　12.9　1.4　1.0　22.0　0.1　0.9　0.1　8.1　1.0　0.6　43.8　0.6　0.2　100.0

第21表　平場別実測・接合遺物破片数一覧

	平場	貿易陶磁				瀬戸・美濃							常滑		瓦質土器		土器			合計	近世磁器	近世陶器	近世土器	近世他	合計
		白磁	青磁	染付	その他・茶入	灰釉碗	灰釉皿	鉄釉皿	天目茶碗	擂鉢 鉄釉	鉄釉盤	その他	捏鉢	壺・甕	摺鉢	その他	カワラケ	東海系羽釜	内耳鍋						
1	平場　1	5	2	6	0	1	1	1	0	2	0	1					1			20	1	0	0	0	1
2	平場　2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		1						2	0	0	0	0	0
3	平場　3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1						1	0	0	0	0	0
4	平場　4	1	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0		3			2			10	0	0	0	0	0
6	平場　6	27	67	47	4	9	214	29	19	346	0	36	2	148	12	6	153	19	2	1140	8	4	0	0	12
7	平場　7	3	4	6	0	0	6	1	2	21	2	0		7			10	2		64	0	2	0	0	2
8	平場　8	30	13	14	1	0	116	31	7	121	0	5		90	1		180			609	0	1	0	0	1
10	平場　10	4	0	0	0	1	16	1	1	46	0	1		35	5		4	2		116	0	0	0	0	0
11	平場　11	0	1	1	0	1	0	0	0	15	0	0		8						26	7	17	1	0	25
12	平場　12	1	9	3	1	2	8	12	0	49	0	1		30	1		6	4	4	131	1	3	1	0	5
13	平場　13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		2					1	3	2	2	0	0	4
14	平場　14	5	2	1	0	0	7	0	3	43	0	0		5			2	1	1	70	0	21	0	0	21
16	平場　16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								0	0	6	2	0	8
17	出土平場不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								0	0	0	0	0	0
	合計	76	98	79	6	14	370	75	32	645	2	44	2	330	19	6	358	28	8	2192	19	56	4	0	79

第22表　中世陶磁器時期判明破片組成表（1）

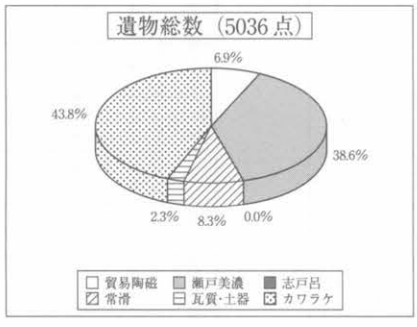
時期						15後～16前				15後～16前						古瀬戸後Ⅳ(新)		古瀬戸後～大窯		古瀬戸後Ⅳ(新)～大窯2		大窯1～2		大窯1～3		大窯2前半		大窯3前半		大窯3後半		大窯3以降		大窯1		大窯1後半		大窯1前半		古瀬戸後Ⅳ(新)～大窯1前半		古瀬戸後Ⅳ(新)～大窯1		古瀬戸後Ⅳ(新)		古瀬戸後Ⅳ(新)		古瀬戸後Ⅳ(新)		大窯1		大窯1		大窯1		大窯1～2		大窯1		大窯1前半	
釉・器種		白磁		青磁		染め付け		在地系摺鉢		瓦質香炉		東海系羽釜		在地系羽釜		カワラケ		常滑甕・壺		錆釉摺鉢		錆釉摺鉢		錆釉摺鉢		錆釉摺鉢		錆釉摺鉢		錆釉摺鉢		錆釉摺鉢		錆釉摺鉢		錆釉摺鉢		錆釉摺鉢		錆釉摺鉢		錆釉摺鉢		錆釉摺鉢		灰釉・緑釉小皿		灰釉 腰折Ⅲ		灰釉・緑釉小皿or腰折皿		灰釉端反皿		灰釉丸碗		灰釉挟み皿		灰釉 端反Ⅲor丸碗		灰釉卸Ⅲ		灰釉丸碗	
接合後	接合前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	全	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前
平場	1	4		2		8										27	28	4	4	1	1	8	8										1	1					3	3									4	4													1	1		
平場	2・3	0		0		0										0		1	2			9	9																									1	1																
平場	4・5	2		0		0		1	1							19	19	5	5											1	1															2	2																
平場	6・7	24		0		1		29	33	12	15	54	59	3	3	1357	1502	155	212	59	75	168	192	36	49			2	2	5	18	2	2					25	35	20	37	25	45			4	16	55	68	112	170	9	9	10	14	10	14	19	31	2	2	1	1		
平場	8	29		13		3		6	6							490	646	63	125	17	38	56	71													5	6	7	15	8	30	1	15			15	34	38	120	6	6							1	1				
平場	9	0		0		0										1	1	0		1	1																																									
平場	10	4		0		0		3	8			7	7			12	17	20	51	5	27	14	15	2	4					1	1					1	1	3	3	2	2					7	7	8	28							3	3				
平場	11	0		1		0										1	1	18	19			5	9			1	1													2	9					1	1														
平場	12・13	0		9		0		3	3			8	8	36	36	58	63	45	64	17	36	22	23	1	4											1	1	3	7	4	4					15	20	6	6							2	2				
平場	14	5		2		0						2	2			12	13	22	24	8	13	20	21			1	1			2	2					1	1	4	4	7	21					6	7	9	9												
平場	15	0		2		0										0		1	1	1	1	0																																								
合計		68	0	29	0	12	0	42	51	12	15	71	76	39	39	1977	2290	334	507	109	192	302	348	39	57	2	2	2	2	8	21	3	3	1	1	1	1	35	46	38	74	47	103	1	15	4	16	99	137	179	339	16	16	10	14	10	14	19	31	9	9	1	1	1	1
																灯明皿14																																															
																溶銅付着1																																														

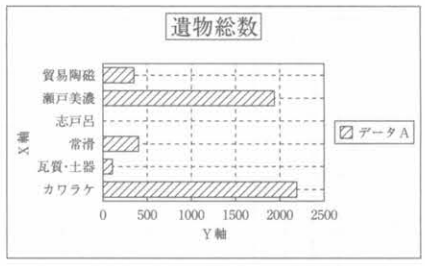
時期		大窯1前半		大窯1前半		大窯1前半		古瀬戸後Ⅳ(新)		古瀬戸後Ⅳ(新)		古瀬戸後Ⅳ(新)		古瀬戸後Ⅳ(新)		古瀬戸後Ⅱ～Ⅲ		古瀬戸後Ⅳ(古)		古瀬戸後Ⅳ(古)		古瀬戸後Ⅳ～大窯1		古瀬戸後Ⅲ		古瀬戸後Ⅲ～Ⅳ(古)		古瀬戸後Ⅳ(新)		古瀬戸後Ⅰ～Ⅱ		大窯		古瀬戸後Ⅳ(新)		古瀬戸後Ⅳ		古瀬戸後期		古瀬戸後期		古瀬戸後期		大窯		古瀬戸後Ⅳ(新)～大窯1		大窯1後半		古瀬戸後Ⅳ(新)		大窯1		古瀬戸後Ⅳ(新)		大窯2～3		大窯3後半		古瀬戸後Ⅳ(古)		古瀬戸後Ⅳ(新)		合計	
釉・器種		灰釉 挟み皿		灰釉 端反Ⅲ		灰釉 稜花Ⅲ		灰釉 平碗		灰釉卸目付大皿		灰釉盤類		灰釉卸皿		灰釉盤類		灰釉緑釉小皿		灰釉平碗		灰釉皿		灰釉将軍形香炉		灰釉双耳小壺		灰釉緑釉小皿		灰釉梅瓶		鉄釉 小壺or小瓶		鉄釉小皿		鉄釉花瓶		祖母懐壺		錆釉壺		鉄釉小壺		錆釉壺		天目茶碗		天目茶碗		天目茶碗		天目茶碗		鉄釉緑釉小皿		鉄釉小皿		天目茶碗		鉄釉筒形香炉		鉄釉盤類			
接合後	接合前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	接合後	接合前
平場	1													1	1																																			1	1	1	1					67	54
平場	2・3			1	1																																																						12	13
平場	4・5	1	1																																																						31	29
平場	6・7									1	1	3	3			1	1					3	3	1	3	1	6	3	3	6	16	2	4			2	2							2	2	6	6	1	1	11	13	5	7	5	10					1	1	2	3	2281	2663
平場	8			3	3	1	1			2	3	4	4							1	1													1	1			1	1	1	1	1	1	2	2	2	2			3	3	2	3	4	5									789	1141
平場	9																																																										2	2
平場	10			1	1			1	1	1	1							1	1																	1	1													1								98	179
平場	11							1	1									1	1																																							31	42
平場	12・13					1	1																																			1	2							1	1							198	316
平場	14					4	8	1	1			2	2																							1	1							1	1			2	2									116	129
平場	15					1	1																																																		5	3
合計		1	1	5	5	7	11	3	3	4	5	9	9	1	1	1	1	2	2	1	1	3	3	1	3	1	6	3	3	6	16	2	4	1	1	2	2	3	3	1	1	1	1	4	4	10	11	1	1	14	16	9	13	10	16	1	1	1	1	1	1	2	3	3630	4571
																												志戸呂窯																																初山窯							

第23表　出土遺物組成表

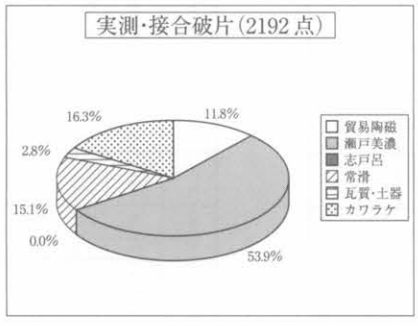
	貿易陶磁				瀬戸美濃							常滑		瓦質土器		土器			
	白磁	青磁	染付	その他・茶入	灰釉碗	灰釉皿	鉄釉皿	天目茶碗	擂鉢 鉄釉	鉄釉盤	その他	捏鉢	壺・甕	摺鉢	その他	カワラケ	東海系羽釜	内耳鍋	合計
総破片数	95	126	118	11	19	649	72	49	1106	3	47	6	410	49	29	2207	28	12	5036
	1.9	2.5	2.3	0.2	0.4	12.9	1.4	1.0	22.0	0.1	0.9	0.1	8.1	1.0	0.6	43.8	0.6	0.2	100.0
実測・接合破片数	76	98	79	6	14	370	75	32	645	2	44	2	330	19	6	358	28	8	2192
	3.5	4.5	3.6	0.3	0.6	16.9	3.4	1.5	29.4	0.1	2.0	0.1	15.1	0.9	0.3	16.3	1.3	0.4	100.0

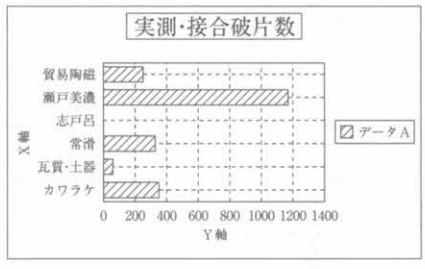
	数量	%
貿易陶磁	350	6.95
瀬戸美濃	1944	38.60
志戸呂	1	0.02
常滑	416	8.26
瓦質・土器	118	2.34
カワラケ	2207	43.82
	5036	100





	数量	%
貿易陶磁	259	11.82
瀬戸美濃	1181	53.88
志戸呂	1	0.05
常滑	332	15.15
瓦質・土器	61	2.78
カワラケ	358	16.33
	2192	100

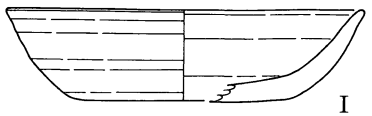




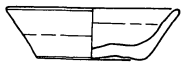
築瀬氏作成

第24表　カワラケ集計表

	Ⅰ類	Ⅱ類					Ⅲ類					Ⅳ類								特殊	耳カワラケ	細片	合計
		1類	2類	3類	4類	細片	1類	2類	3類	4類	細片	1類	2類	3類	4類	5類	6類	7類	細片				
平場1										1												26	27
平場4				2		2					2											13	19
平場6	1	2		5		2	16	6	5		4	1	3	1	9	1	2	1		4	1		64
平場6・7						38					229								99	10	1	988	1365
平場7								1	3														4
平場8		3	3		2	6	11	7	5	6	94								35			332	504
平場9																						1	1
平場10		1									5								5	1			12
平場11																						1	1
平場12			1					1	2		6								48				58
平場14						1					1								1			10	13
合計	1	6	4	7	2	49	27	15	15	7	341	1	3	1	9	1	2	1	188	15	2	1371	2068



I

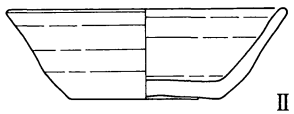


特殊

特殊

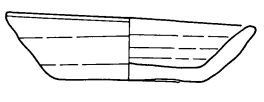
特殊

Ⅰ類

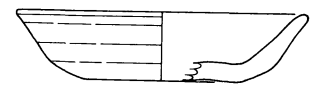


Ⅱ－1

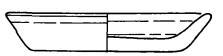
Ⅱ類



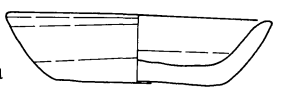
Ⅲ－1a



Ⅲ－1b



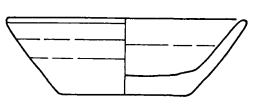
Ⅲ－2a



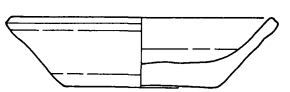
Ⅲ－2b

Ⅲ－3

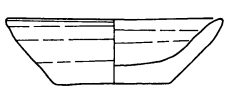
Ⅲ類



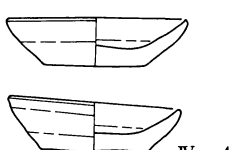
Ⅳ－1



Ⅳ－2



Ⅳ－3



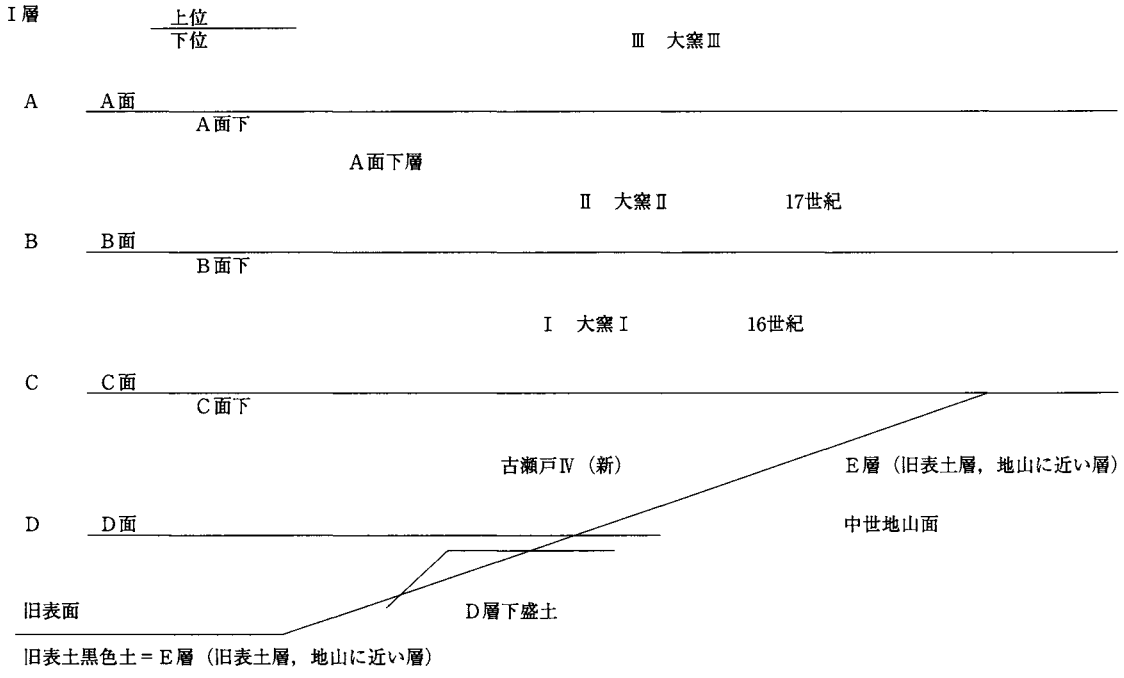
Ⅳ－4

Ⅳ類

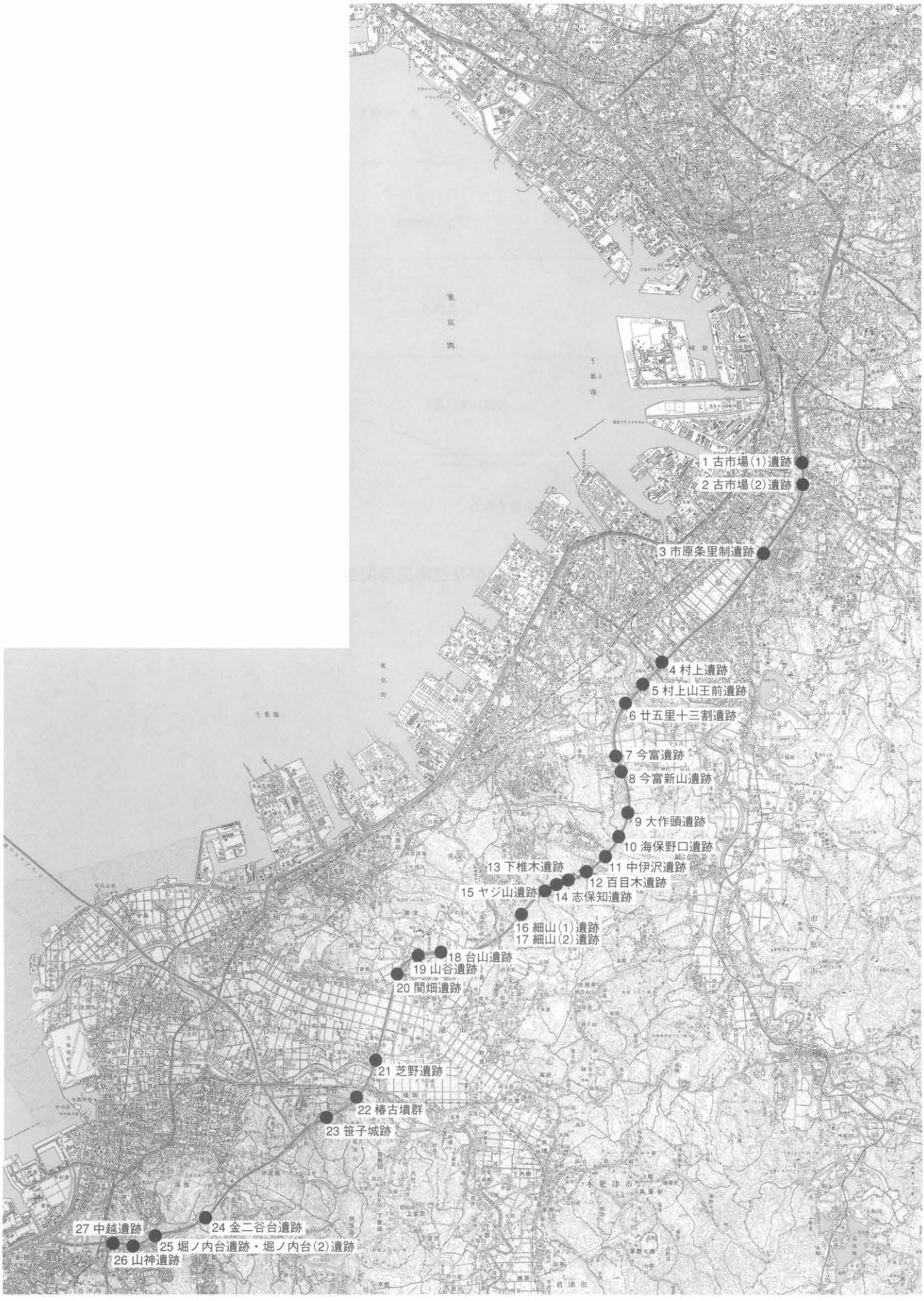
第171図　カワラケ編年表

第25表　平場別関連図

	平場６・７	平場８		平場12・13	平場14	
Ⅴ	自然地形を生かした城 築造段階 堀Ｈ 自然地形面	Ⅵ期 堀Ｋ・堀Ｌ （平場６・７のⅣ～Ⅴ期）	Ⅵ期			Ｄ面（地山を含む）
Ⅳ	縁辺部に盛り土を行い，広い平坦面を作る 堀は伴わない 堀Ｈを版築状に埋め戻した 遺構が多い 日常空間として機能が強い 地山整地面・縁辺部盛り土整地面	堀ＫとＨを版築状に埋める 堀は伴わない 下位整地面と地山 空堀は伴わない・堀はない （平場６・７のⅣ期）	Ⅴ期			
Ⅲ	堀Ｅ・Ｆ・Ｇが機能していた 堀Ｅは虎口・二脚門 堀Ｅは堀Ｄに切られる 日常空間として機能が強い 堀Ｅから階段状の虎口 下位盛土整地面	土坑・ピット多い 出土遺物多い 居住性の高い空間 中位盛土整地面 （平場６・７のⅢかⅣ）	Ⅳ期	Ⅳ期 堀Ｅと堀Ｊは同時期 堀Ｐは埋められる前 堀Ｐの下層は大窯Ⅰ（前）が多い 堀Ｐは大窯Ⅰ前後		Ｃ面
		掘Ｊが機能していた時 古期上位盛土整地面 （平場６・７のⅡかⅢ）	Ⅲ期			
Ⅱ	堀Ｄが機能している 堀Ｄは堀Ｅを埋めて作る 堀Ｄの外側に高さ１ｍの土塁あり 堀Ｄ覆土に下中上位がある 堀Ｄ中・上位の間から五輪塔・宝ぎょう印塔出土	掘Ｉが機能している時期 ＩはＪを切る 堀以外の遺構は検出されない 新規上位整地面 （平場６・７のⅡ期）	Ⅱ期	Ⅲ期 掘Ｓが機能していた 掘Ｐ（五輪塔出土） 掘Ｄの中位と同時期	掘Ｕ	Ｂ面 堀Ｐの下層は大窯Ⅰ（前） 埋め戻す前と埋土も大窯Ⅰ（前）
	堀Ｄを埋めて平場７を造成 土坑・ピットは散漫 中位盛土整地面					
Ⅰ	堀Ｄが人為的に埋められる 土坑が若干あるのみ 城郭としての機能停止 上位盛り土整地面	掘Ｉを人為的に埋めた 城郭としての機能は停止 平場６・７のⅠ期	Ⅰ期	Ⅱ期 掘Ｐは通路として機能 掘Ｑ・Ｒが機能していた 堀Ｑは堀Ｓをうめた	掘Ｔ（Ｕを切る） 掘Ｖ（Ｕを切る）	堀Ａ・Ｂは大窯Ⅰ（前）が主
				Ⅰ期 掘Ｐ・Ｑ・Ｎ・Ｏが人為的に埋められた（通路・排水溝として使用？） 土坑10基あり	Ｈ２・５の堀Ａ・Ｂは大窯Ⅰ（前）が主	平場14出土遺物は殆どが大窯Ⅰ（前） Ａ面
					宝永火山灰検出	



第172図　平場面及び陶磁器関連図



第173図　東関東自動車道（千葉・富津線）調査遺跡位置図

第26表　東関東自動車道調査遺跡一覧

No.	遺跡名	規模	調査期間	遺跡の内容	備考
1	古市場(1)	18,700㎡	H2.1～H4.5	古墳時代及び中世の遺構・遺物を検出。	
2	古市場(2)	6,800㎡	H2.10～H2.11	奈良・平安時代から中世の遺構・遺物を検出。木材集中個所を検出。	
3	市原条里制	294,750㎡	S63.1～H5.9	河川の低位段丘面に所在する遺跡で，縄文時代から中世までの遺構・遺物を検出。特に縄文時代中期後半から後期前半の貝塚，弥生時代の水田跡，奈良・平安時代の官道と考えられる古道跡の検出。下駄，曲物など多数の木製品の出土は注目される。	
4	村上	135,500㎡	H2.4～H6.5	河川の低位段丘面に所在する遺跡で，古墳時代から奈良・平安時代までの遺構・遺物を検出。特に奈良・平安時代の堀立柱建物跡が多数発見され，遺跡の立地条件や出土遺物から当時の役所的な性格をもった遺跡と考えられる。	3遺跡合わせて『市原市村上遺跡群』として平成8年度に報告書刊行
5	村上山王前				
6	廿五里十三割				
7	今富	25,100㎡	H元.2～H3.2	古墳時代から奈良・平安時代の遺構・遺物を検出。特に古墳時代後期から平安時代までの住居跡，掘立柱建物跡を多数検出。	
8	今富新山	5,500㎡	H元.5～H2.2	旧石器時代から古墳時代までの遺構・遺物を検出。特に弥生時代後期から古墳時代前期の住居跡を多数検出。	
9	大作頭	46,700㎡	H元.3～H2.11	旧石器時代から奈良・平安時代までの遺構・遺物を検出。特に縄文時代早期の炉穴跡を多数検出。焼礫も多量に出土。	
10	海保野口	21,900㎡	S63.5～H2.3	旧石器時代から奈良・平安時代までの遺構・遺物を検出。特に縄文時代早期の炉穴跡，中期の住居跡を多数検出。	
11	中伊沢	6,000㎡	H2.4～H2.5	縄文時代早期の土坑及び遺物を検出。	
12	百目木	12,700㎡	H3.4～H3.7	縄文時代早期の遺構・遺物を検出。	
13	下椎木	3,800㎡	H3.1～H3.2	旧石器時代から縄文時代早期の遺構・遺物を検出。	
14	志保地	7,000㎡	H2.11～H3.1	旧石器時代から縄文時代早期の遺構・遺物を検出。	
15	ヤジ山	17,700㎡	H2.1～H3.12	旧石器時代から縄文時代早期の遺構・遺物を検出。特に旧石器時代の石器集中地点，縄文時代早期の炉穴跡を多数検出。	
16	細山(1)	3,800㎡	H2.11～H3.1	旧石器時代の遺構・遺物を検出。	
17	細山(2)	8,000㎡	H2.11～H3.3	旧石器時代から縄文時代の遺構・遺物を検出。	
18	台山	9,800㎡	H4.11～H5.3	旧石器時代から古墳時代の機構・遺物を検出。特に弥生時代終末から古墳時代前期の住居跡を多数検出。	
19	山谷	20,100㎡	H4.1～H6.6	旧石器時代から中世の遺構・遺物を検出。特に14世紀から15世紀の街道跡と市跡は注目される。	
20	関畑	43,700㎡	H3.4～H5.3	旧石器時代から奈良・平安時代までの遺構・遺物を検出。特に旧石器時代の石器集中地点を多数検出。	
21	芝野	8,100㎡	H元.4～H3.11	小櫃川北岸の自然堤防上に所在する遺跡で，弥生時代から中世の遺構・遺物を検出。特に弥生時代の小区画水田跡は注目される。	
22	椿古墳群	4,000㎡ 古墳11基	H3.1～H4.7	弥生時代後期から古墳時代の遺構・遺物を検出。古墳の主体部はすべて木棺直葬。直刀，刀子，銅鏃，鉄鏃，耳環，玉類が出土。	
23	笹子城跡	9,900㎡	H3.4～H5.2	中世城郭に関係する遺構・遺物を検出。特に空堀跡，掘立柱建物跡，虎口跡，曲輪，土坑等を多数検出。中世陶磁器も多量に出土。	
24	金二矢台	7,800㎡	H3.7～H4.7	旧石器時代から中世の遺構・遺物を検出。特に縄文時代前期の土坑を伴う集石群を検出。	
25	堀ノ内台 堀ノ内台(2)	1,300㎡ 1,200㎡	H4.2～H4.3 H5.3～H5.18	旧石器時代から奈良・平安時代の遺構・遺物を検出。奈良・平安時代には火葬墓を主体とした墓域と考えられる。	
26	山神	8,200㎡	H5.3～H5.10	旧石器時代から奈良・平安時代の遺構・遺物を検出。弥生時代の集落跡と墓域跡が明確に分離して検出。	
27	中越	3,500㎡	H6.1～H6.5	旧石器時代から奈良・平安時代までの遺構・遺物を検出。古墳時代前期の住居跡から小銅鐸が出土。	

第27表　東関東自動車道（千葉～木更津）　調査遺跡一覧・報告書一覧

No.	遺跡名	市町	コード	（財）千葉県文化財センター報告書名			
1	古市場（1）遺跡	201	－ 090	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書4	第	356	集
2	古市場（2）遺跡	219	－ 094	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書4	第	356	集
3	市原条里制遺跡			東関東自動車道（千葉・富津線），市原市道80号線埋蔵文化財調査報告書	第	354	集
4	村上遺跡			村上遺跡群埋蔵文化財調査報告書	第	309	集
5	村上山王前遺跡			〃	第	309	集
6	廿五里十三割遺跡			〃	第	309	集
7	今富遺跡	219	－ 042	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書2	第	336	集
8	今富新山遺跡	219	－ 044	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書4	第	356	集
9	大作頭遺跡	219	－ 043	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書3	第	355	集
10	海保野口遺跡	219	－ 038	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書1	第	335	集
11	中伊沢遺跡	219	－ 049	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書5	第	383	集
12	百目木遺跡	219	－ 057	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書5	第	383	集
13	下椎木遺跡	219	－ 056	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書5	第	383	集
14	志保知遺跡	219	－ 055	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書5	第	383	集
15	ヤジ山遺跡	219	－ 046	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書5	第	383	集
16	細山（1）遺跡	219	－ 053	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書5	第	383	集
17	細山（2）遺跡	219	－ 054	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書5	第	383	集
18	台山遺跡	481	－ 014	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書10	第	435	集
19	山谷遺跡	481	－ 012	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書9	第	411	集
20	関畑遺跡	481	－ 010	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書13	第	485	集
21	芝野遺跡	206	－ 002	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書7	第	409	集
22	椿古墳群	481	－ 008	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書8	第	410	集
23	笹子城跡	206	－ 005	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書14	第	486	集
24	金二谷台遺跡	206	－ 006	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書6	第	384	集
25	堀ノ内台遺跡	206	－ 008	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書6	第	384	集
25	堀ノ内台遺跡（2）	206	－ 008	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書12	第	456	集
26	山神遺跡	206	－ 010	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書12	第	456	集
27	中越遺跡	206	－ 011	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書11	第	436	集

写　真　図　版

遺跡周辺航空写真（平成 5 年・1993年撮影）　1：10,000

図版２

遺跡周辺航空写真（昭和42年・1967年撮影）　1：13,000

1　城跡全景（北から）

2　城跡全景（北東から）

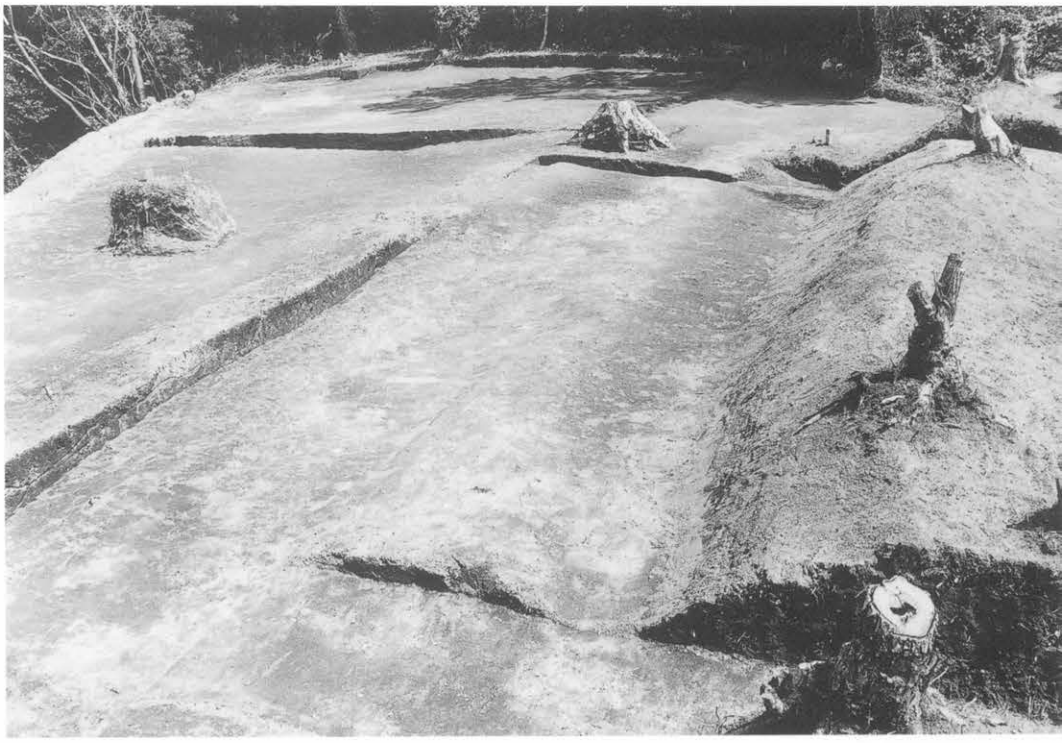
図版4

1　調査区全景（北から）

2　調査区全景（北西から）

3　調査区全景（北西から）

1　平場1　全景（東から）



2　平場1　近景（北西から）

3　平場1　土塁全景
（北西から）

図版6

1　平場1　先端部（南東から）

2　平場1　土塁断面
（北東から）

3　平場1　土塁断面（東から）

1　平場２・３　調査前現況
（北東から）

2　平場２・３　調査中状況
（北東から）

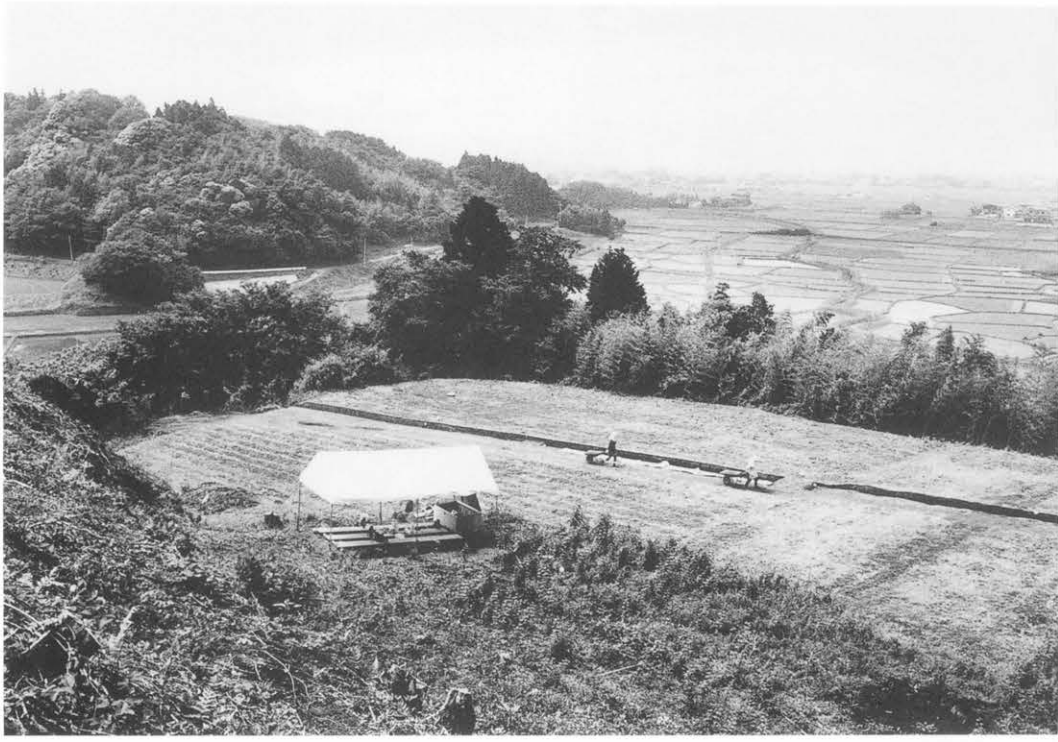
3　平場２・３　完掘状況
（北東から）

1　平場5　調査状況（西から）

2　平場5　調査状況（東から）

3　平場5　調査状況（南から）

1　平場６・７　調査開始時現況
（北東から）



2　平場６・７　西側
調査開始時現況（南東から）

3　平場６・７東側
調査開始時現況（南西から）

1　平場６・７
堀Ｄ・Ｅ調査状況
（南東から）

2　平場６・７
堀Ｄ・Ｅ調査状況
（南東から）

3　平場６・７
堀Ｄ・Ｅ調査状況（西から）

1　平場６・７
堀Ｄ・Ｅ・Ｈ西側完掘状況
（南東から）

2　平場６・７
堀Ｄ・Ｅ・Ｈ中央部完掘状況
（南から）

3　平場６・７
堀Ｄ・Ｅ・Ｆ・Ｇ・Ｈ
東側完掘状況（南西から）

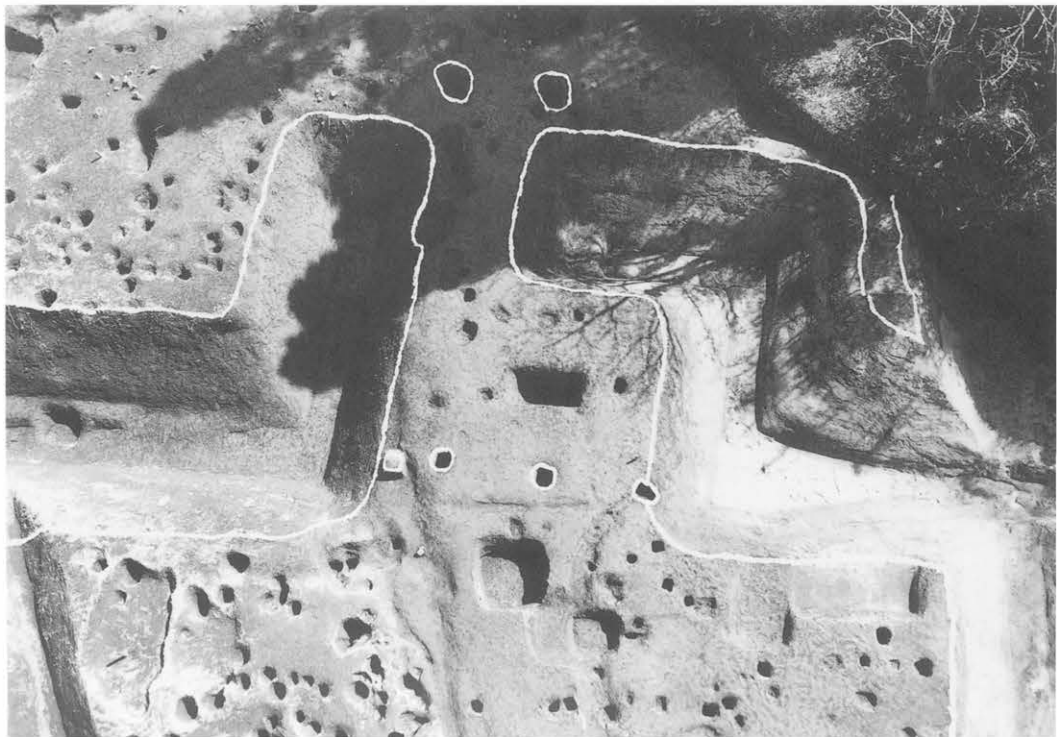
1　平場 6 ・ 7　完掘状況遠景
（東から）

2　平場 6 ・ 7　完掘状況近景
（東から）

3　平場 6 ・ 7
東側完掘状況（北東から）

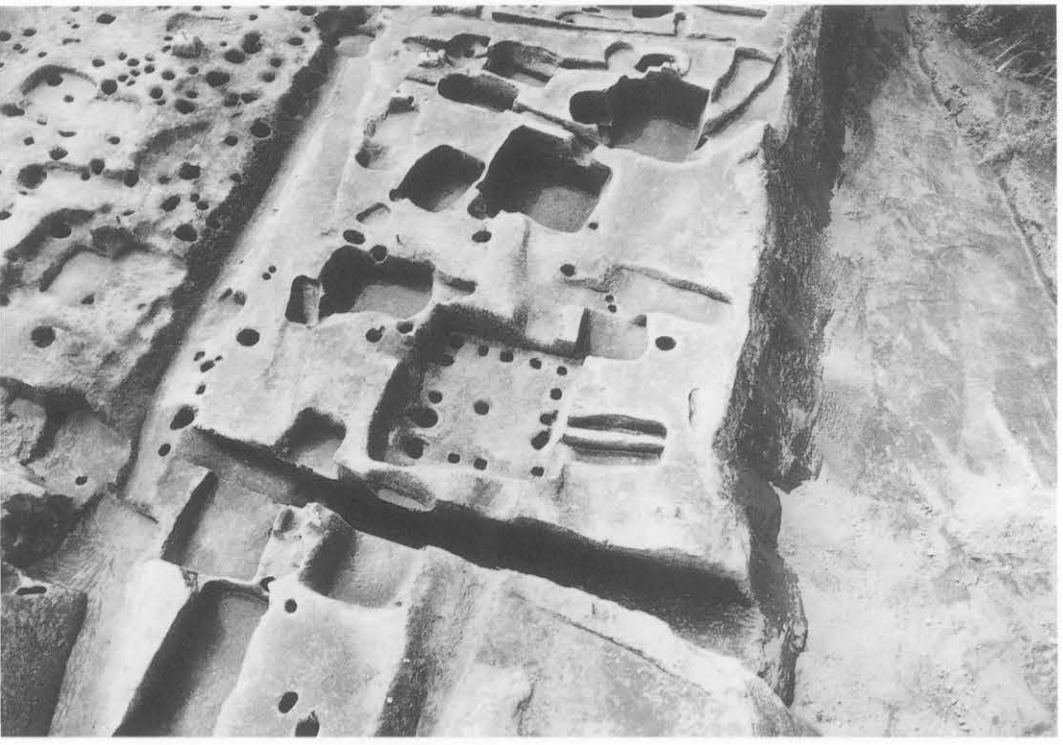
1　平場 6 ・ 7
堀 F ・ G（内枡形虎口）
全景（北西から）

2　平場 6 ・ 7
堀 F ・ G（内枡形虎口）
全景（真上から）



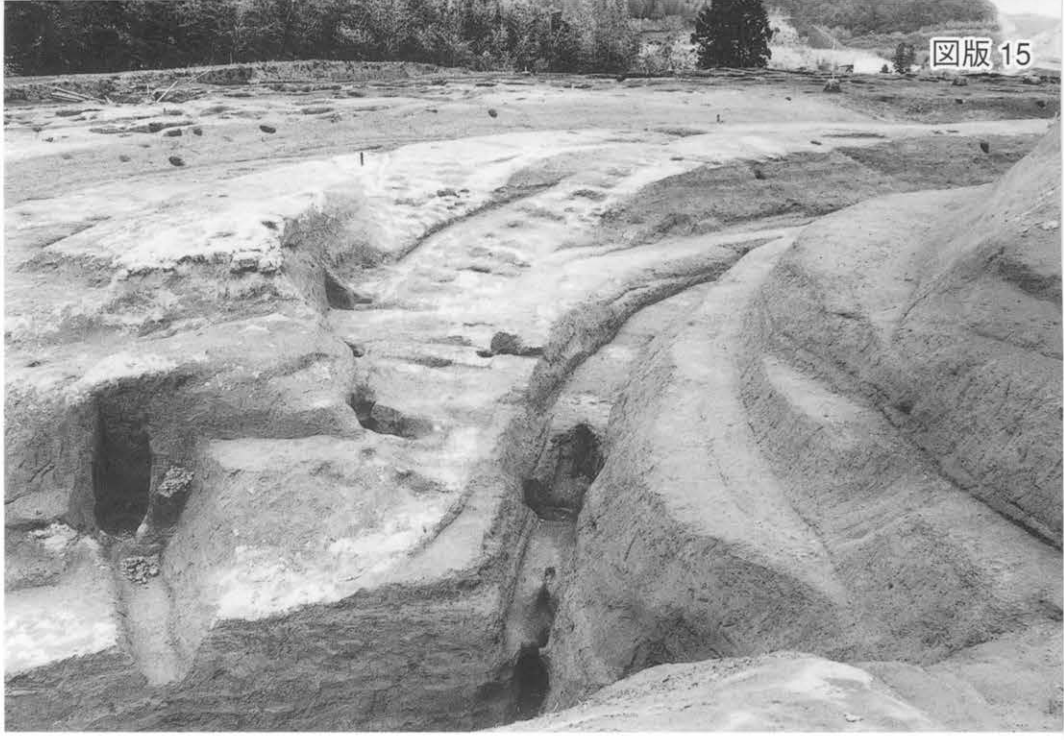
3　平場 6 ・ 7
堀 F ・ G（内枡形虎口）
全景（真上から）

1　平場 6 ・ 7　竪穴状遺構
（西から）



2　平場 6 ・ 7　竪穴状遺構
（東から）

3　平場 6 ・ 7　竪穴状遺構
（真上から）



1　平場 6 ・ 7
階段状虎口完掘状況
（南西から）

2　平場 6 ・ 7
階段状虎口完掘状況
（西から）

3　平場 6 ・ 7
階段状虎口完掘状況
（東から）

1　平場６・７　堀Ｄ
五輪塔出土状況（北西から）

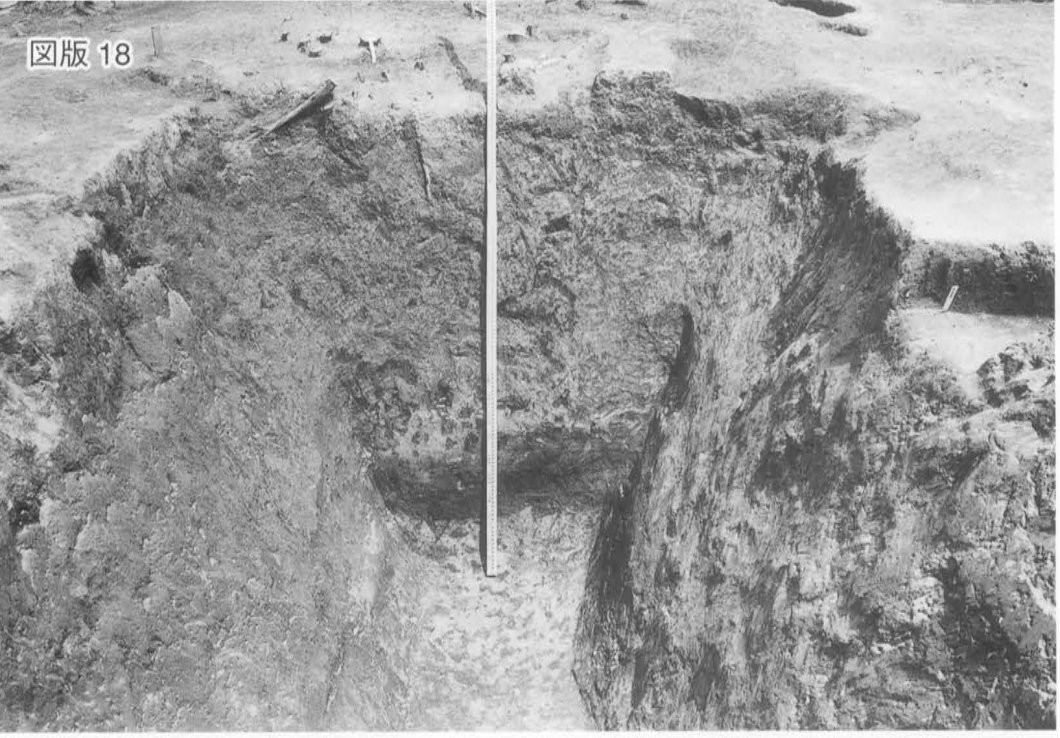
2　平場６・７　堀Ｄ・Ｅ
土層断面（南東から）

3　平場６・７　堀Ｄ・Ｅ
土層断面近景（南東から）

1　平場６・７　堀Ｄ・Ｅ
　　土層断面（北西から）

2　平場６・７
　　堀Ｈ完掘状況（北西から）

3　平場６・７
　　堀Ｆ　土層断面



1　平場 6 ・ 7　堀 G
端部完掘状況

2　平場 6 ・ 7
堀 F　土層断面

3　平場 6 ・ 7
堀 G　土層断面

1　平場 6 ・ 7　鉄鍋出土状況

2　平場 6 ・ 7
鉄鍋出土土坑土層断面

3　平場 6 ・ 7　瓦質蓋香炉出土状況

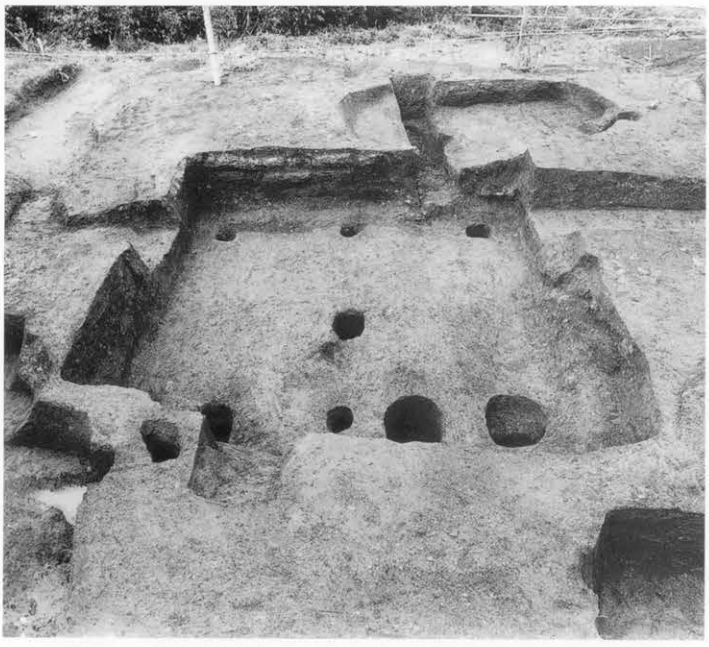
4　平場 6 ・ 7　瓦質蓋香炉出土状況

1　平場 6　SK102・162

2　平場 6　SK111A・B

3　平場 6　SK130・153・160

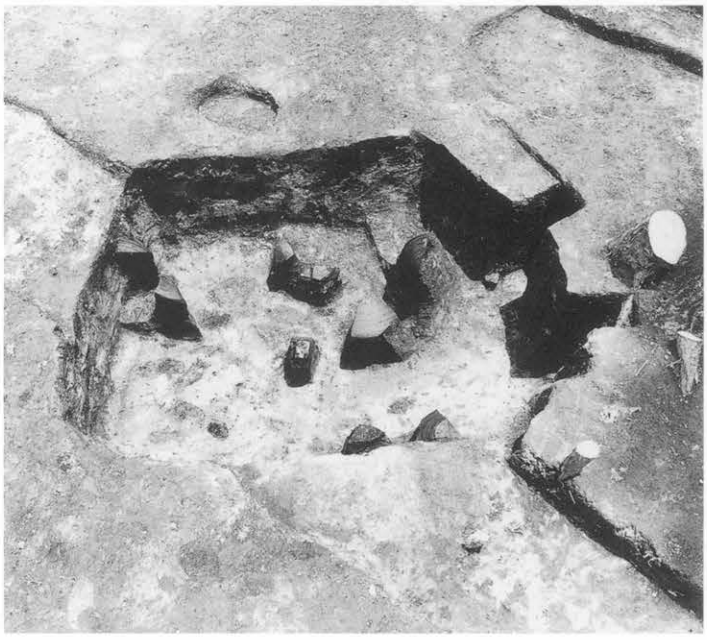
4　平場 6　SK131



5　平場 6　SK174

6　平場 6　SK187

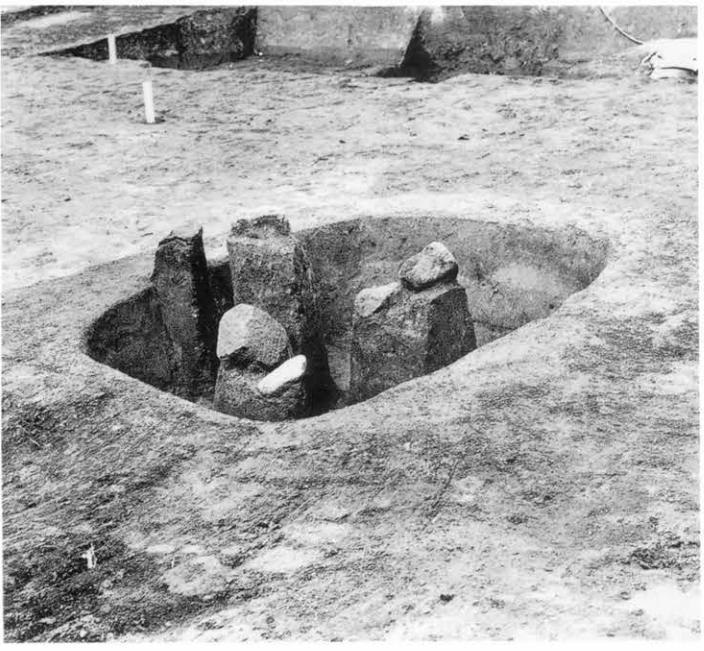
1　平場 6　SK198



2　平場 6　SK002

3　平場 7　SK003

4　平場 7　SK003



5　平場 7　SK011

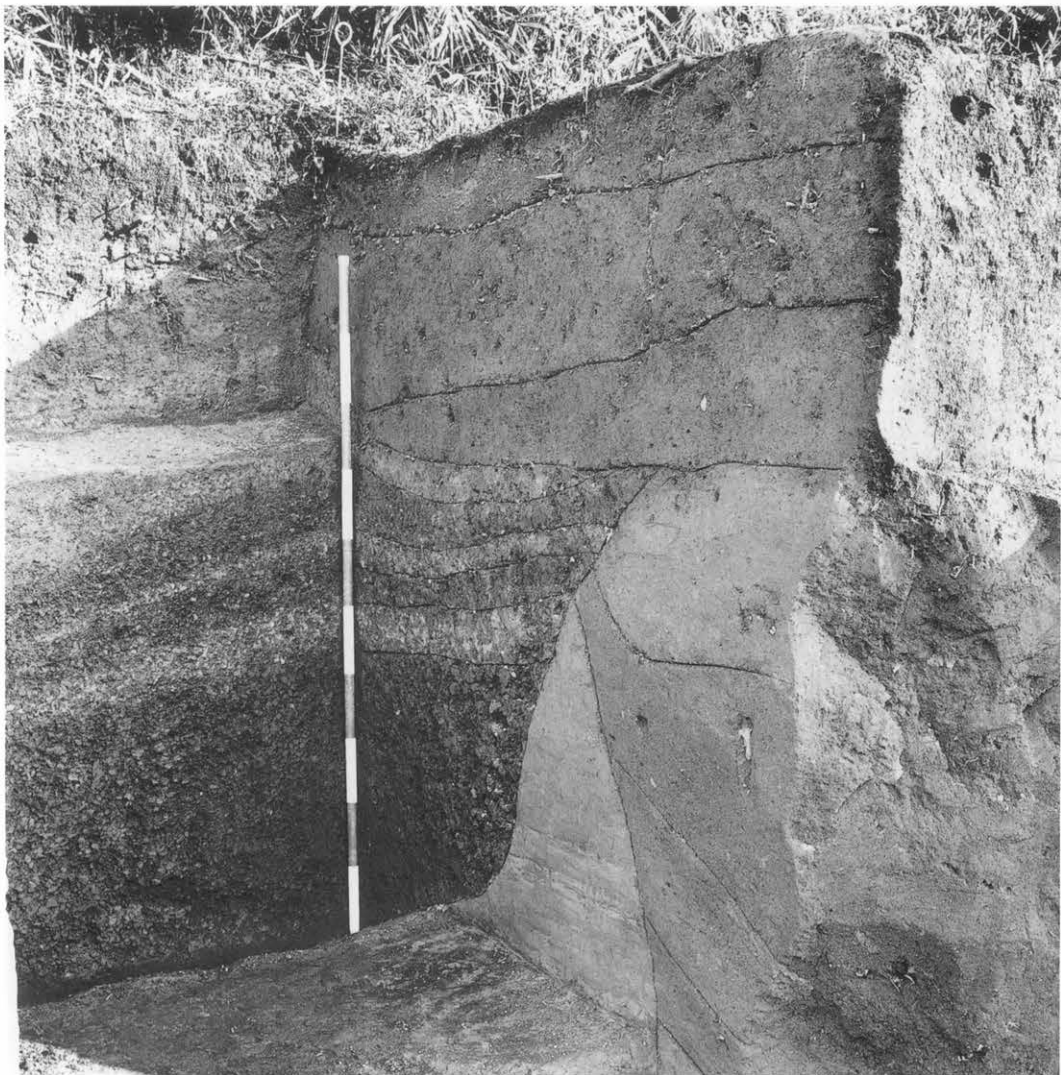
6　瀬戸・美濃窯・縁釉小皿出土状況

1　平場 8　調査状況（東から）

2　平場 8　B・C 面完掘状況
（東から）

3　平場 8　最終時完掘状況
（東から）

1　平場８　堀Ⅰ・Ｊ完掘状況
（北から）

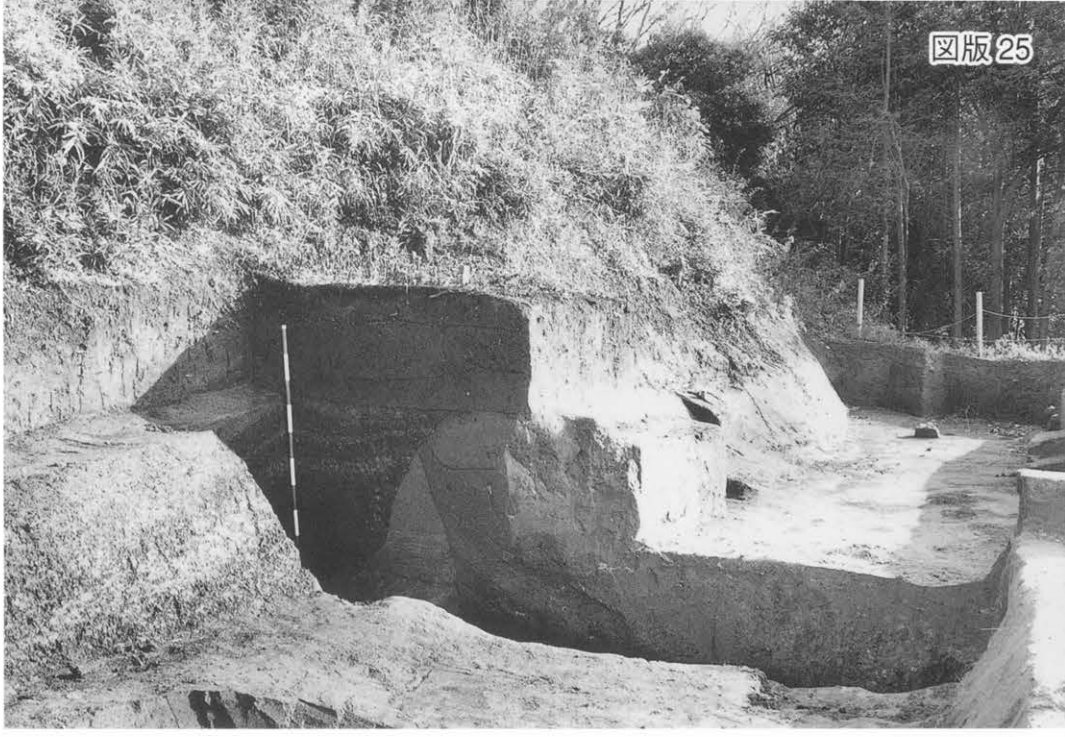


2　平場８　堀Ⅰ土層断面
（北西から）

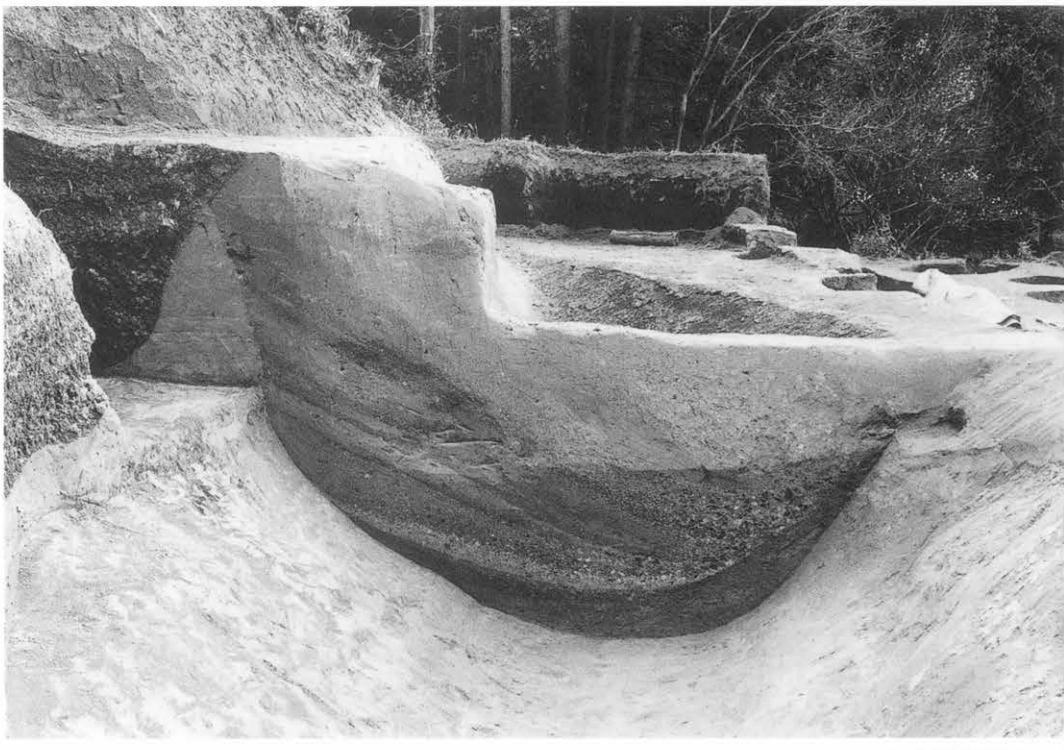
1　平場 8　調査状況（西から）

2　平場 8　西側完掘状況
（東から）

3　平場 8　堀 L 完掘状況
（東から）



1　平場８　堀Ｉ土層断面
（北から）



2　平場８　堀Ｊ土層断面
（北から）

3　平場８　堀Ｋ土層断面
（北から）

1　平場８　堀Ｋ土層断面
（北東から）

2　平場８　堀Ｊ・Ｋ土層断面
（北東から）

3　平場８　堀Ｊ・Ｋ
土層断面遠景（北東から）

1　平場８　堀Ｋ北端部
　　完掘状況（北東から）

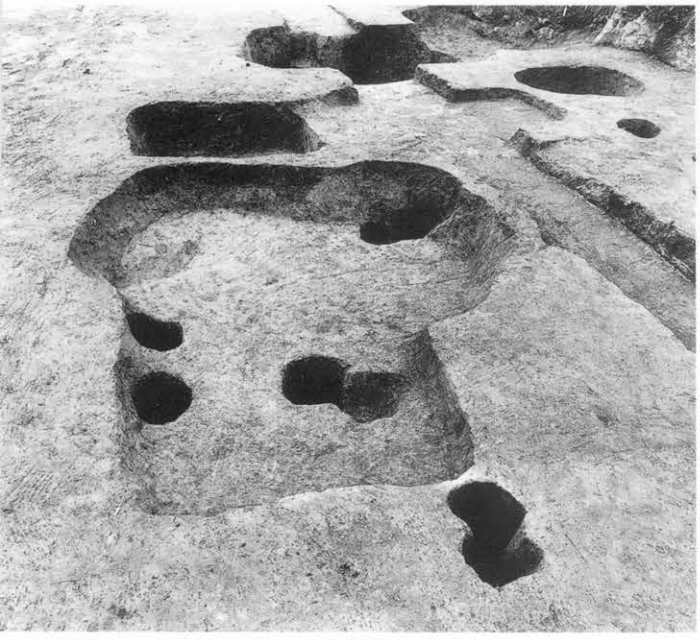
2　平場８　堀Ｋ中央部
　　完掘状況（北西から）

3　平場８　堀Ｋ北側完掘状況（南から）

1　平場 8　D面遺物出土状況
（北東から）

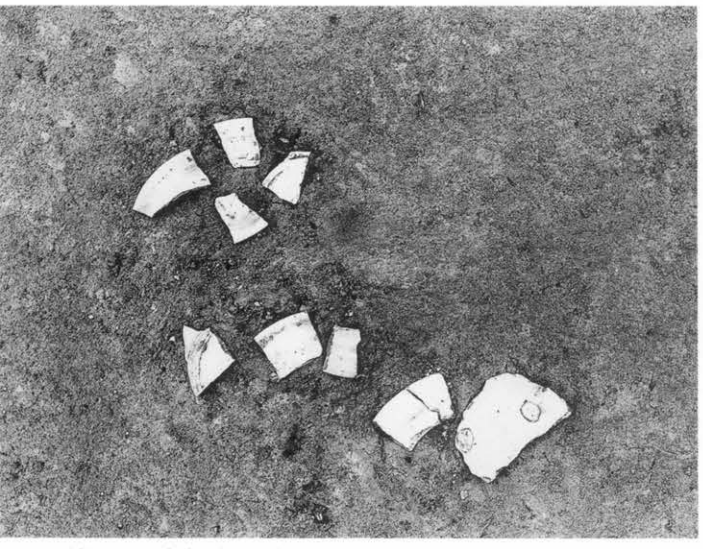
2　平場 8　D面遺物出土状況
（西から）

3　平場 8　SK049
遺物出土状況



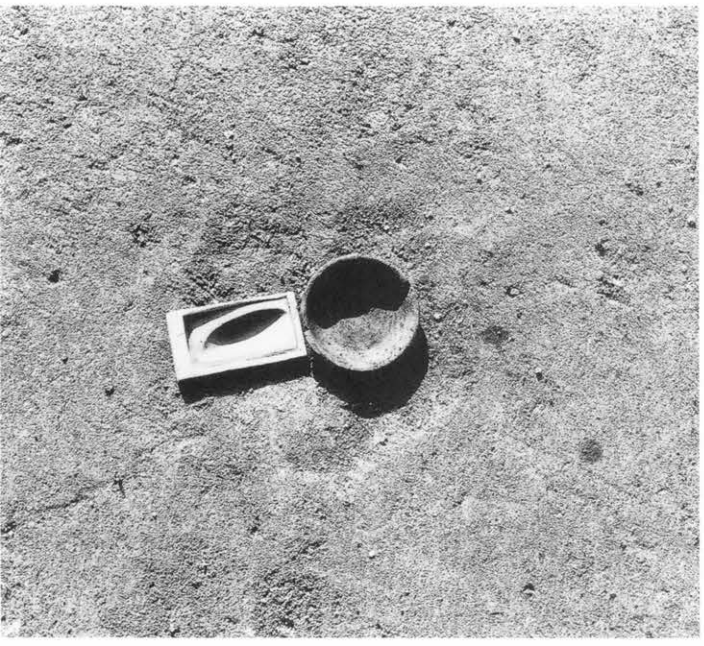
1　平場 8　SK005・006完掘状況

2　平場 8　SK012遺物出土状況



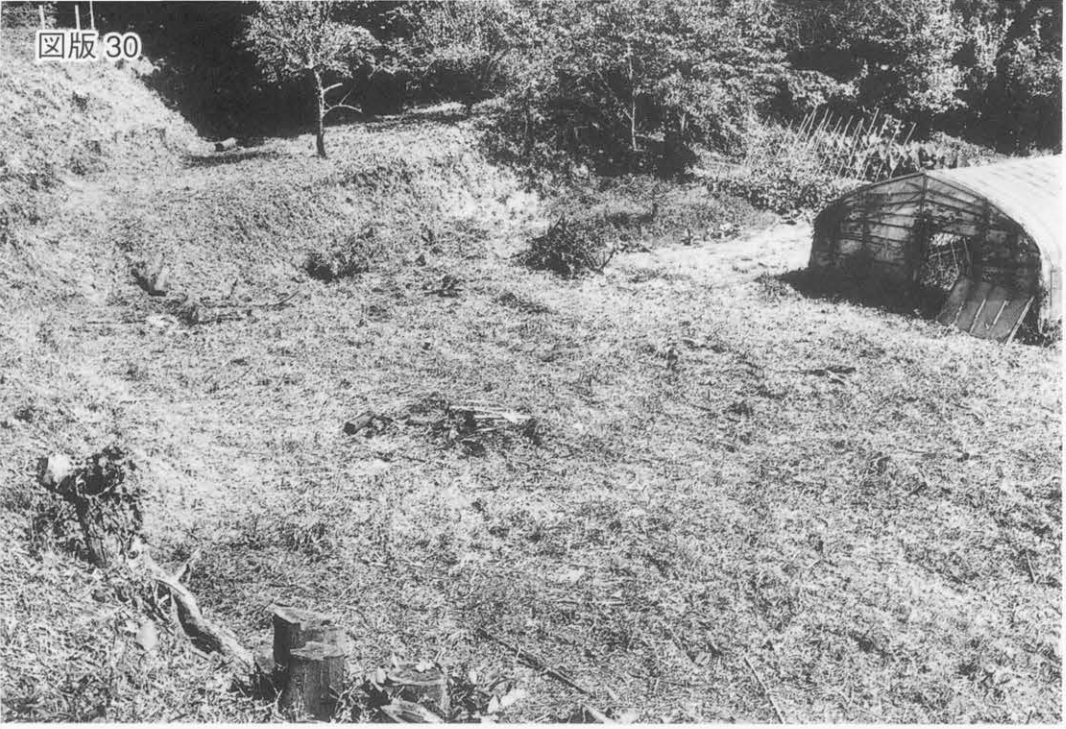
3　平場 8　染付出土状況

4　平場 8　カワラケ出土状況



5　平場 8　硯・カワラケ出土状況

6　平場 8　鎌出土状況

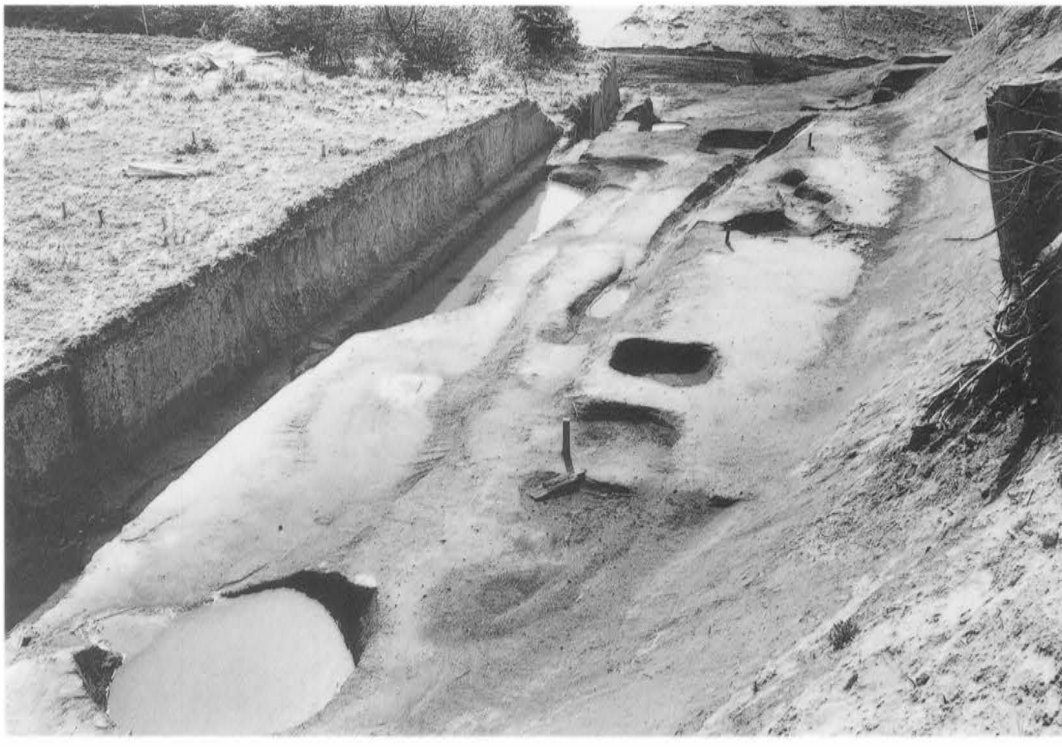


1　平場 9 ・10　調査前現況
（北西から）

2　平場 9 ・10　完掘状況
（北西から）

3　平場10
西側調査前現況（北から）

1　平場10　調査前現況
（東から）

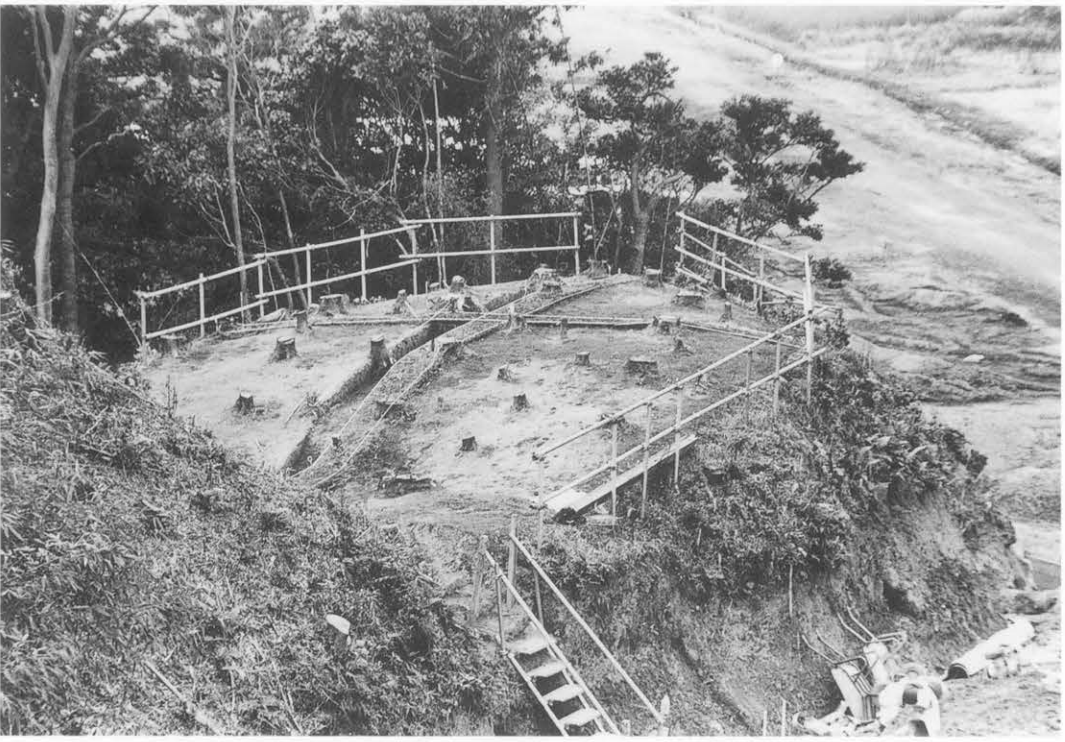


2　平場10　完掘状況（東から）

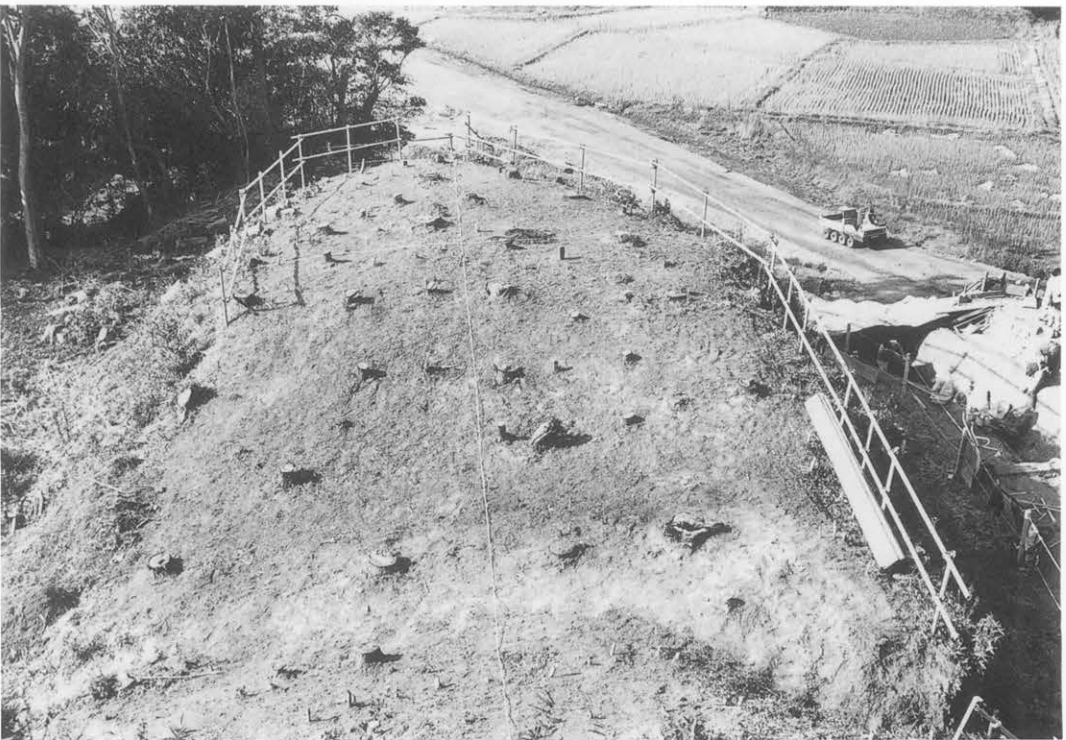
3　平場10　SK001木材片出土状況

4　平場10　SK001完掘状況

1　平場11　完掘状況遠景
（南西から）



2　平場11　完掘状況
（北東から）



3　平場11　調査前現況
（東から）

1　平場12・13
調査開始時現況（西から）

2　平場12・13
西側完掘状況（北西から）

3　平場12・13
西側完掘状況（西から）

1　平場12
西側調査開始時現況
（北東から）

2　平場12　西側調査現況
（北西から）

3　平場12　西側完掘状況
（北西から）

1　平場12
西側調査開始時現況
（西から）

2　平場12　西側完掘状況
（西から）

3　平場12　東側完掘状況
（西から）

1　平場12
堀Q・S土層断面（西から）

2　平場12　完掘状況
（北東から）

3　平場12　東端部完掘状況
（北西から）

1　平場13　調査開始時現況
（南東から）

2　平場13　調査途中現況
（西から）

3　平場13　土層断面（南から）

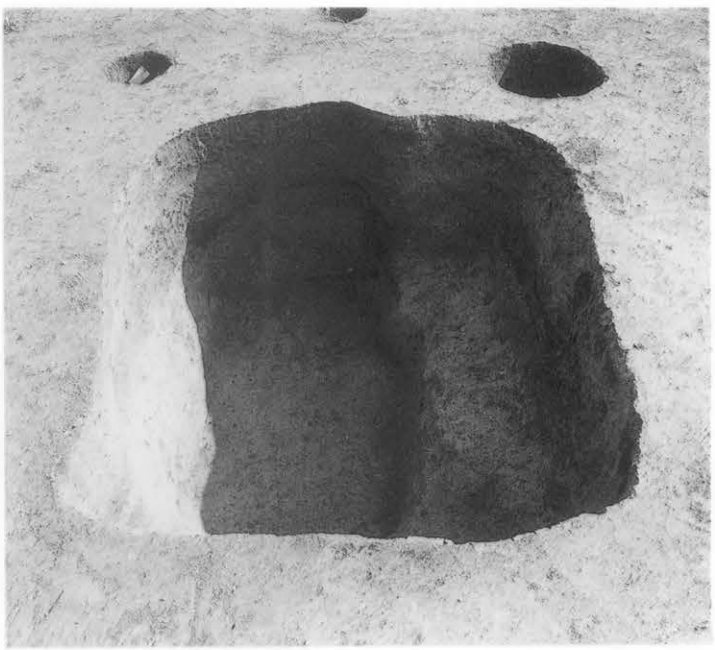
図版38

1　平場12・13
西端部完掘状況（西から）

2　平場12　SK002

3　平場12　SK007

4　平場12　SK010



5　平場 8　SK012

1　平場 6 ・ 8 ・ 12
接合部完掘状況（南西より）

2　平場 6 ・ 8 ・ 12
接合部完掘状況（北から）

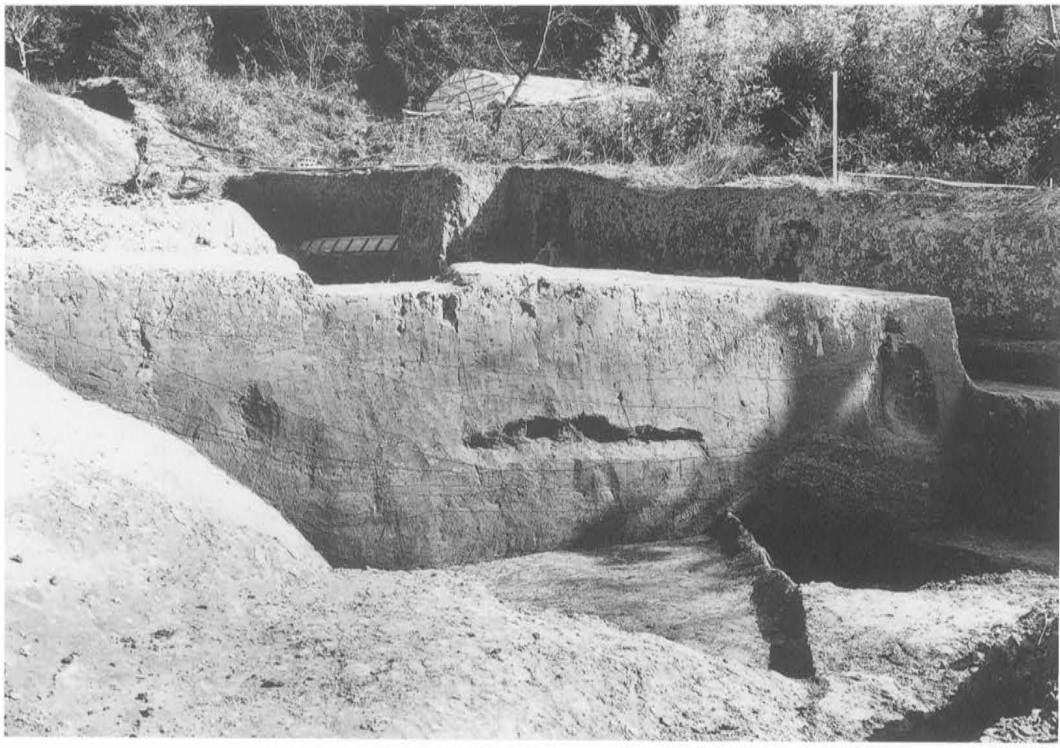
3　平場 6 ・ 8 ・ 12
接合部完掘状況（北から）

1　平場6・8・12
接合部完掘状況（真上から）

2　平場6・8・12
接合部完掘状況（真上から）

3　平場6・8・12
接合部完掘状況（北西から）

1　平場14　完掘状況
（南西から）

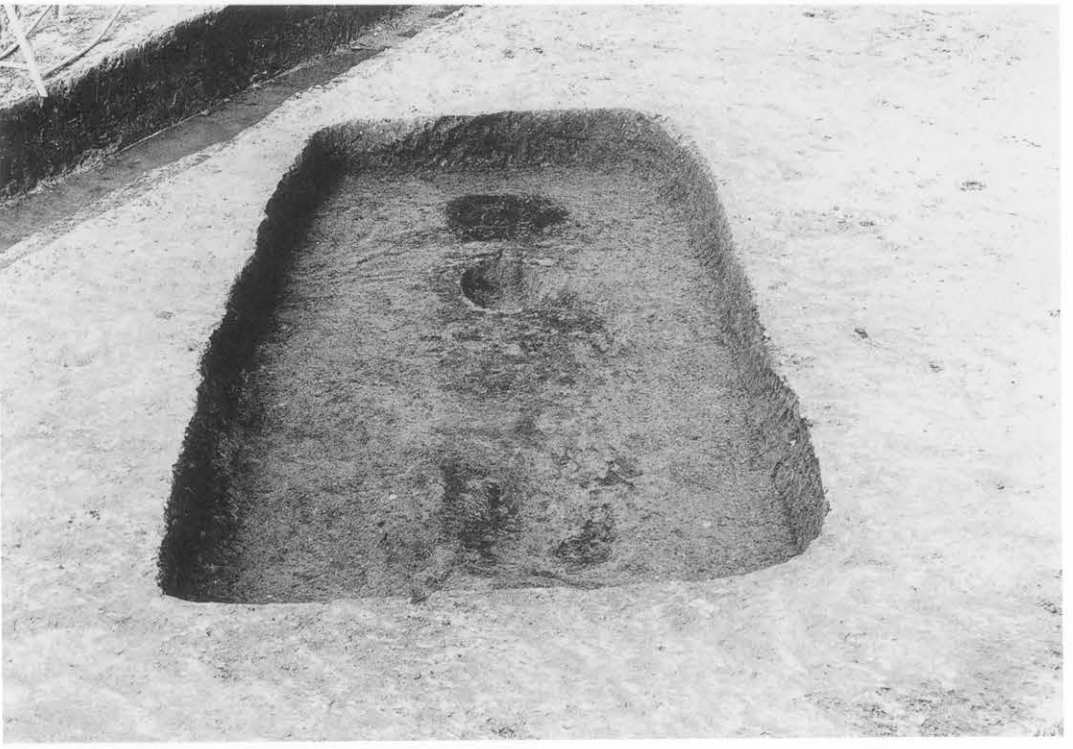


2　平場14　堀Ｔ土層断面
（西から）

3　平場14　堀Ｖ土層断面
（西から）

図版 42

1　平場15　調査途中状況
（南西から）



2　平場15　SK001

縄文土器

4

5

6

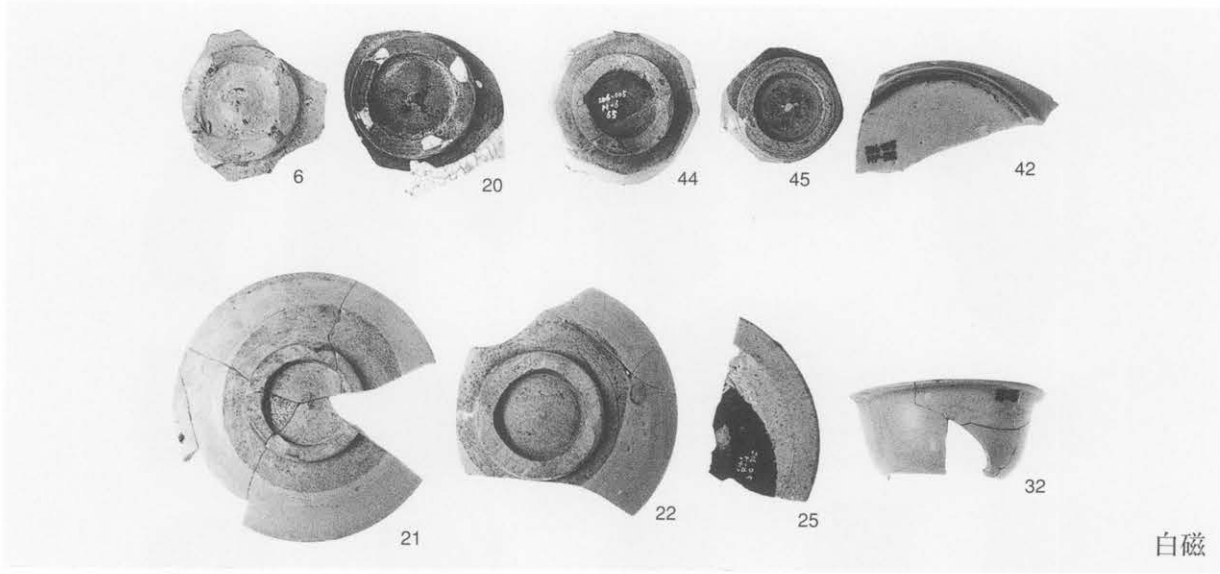
7

8

9

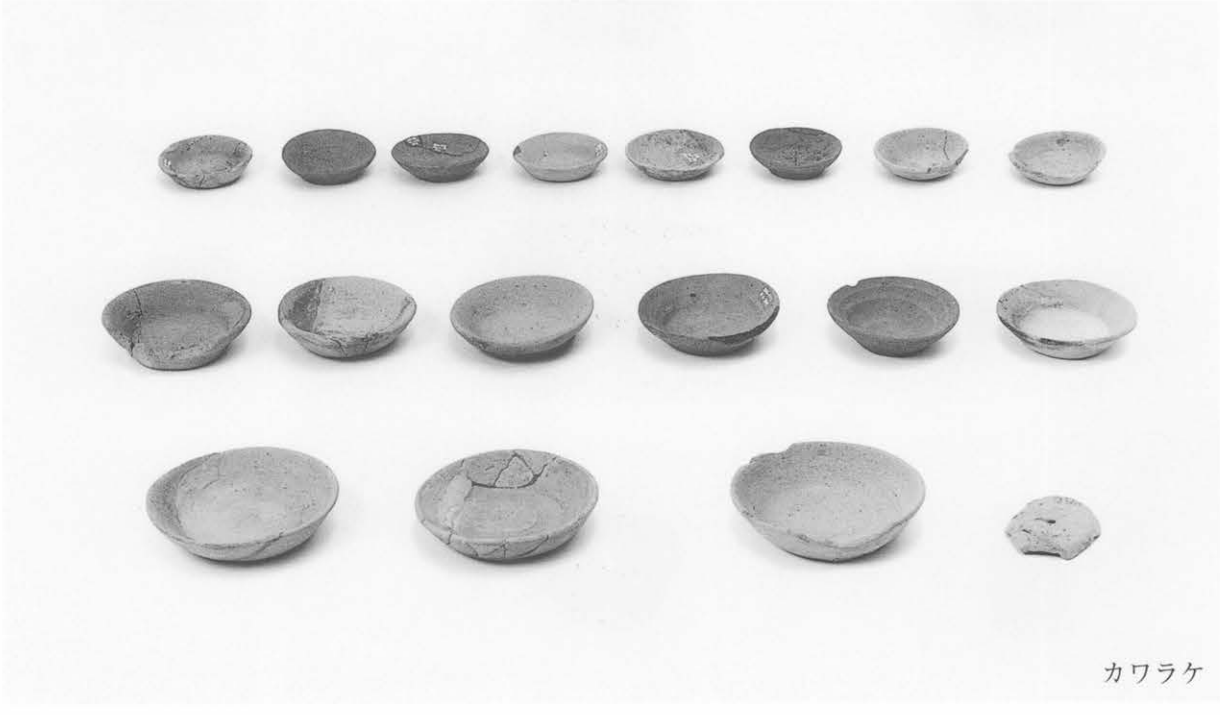
121

122

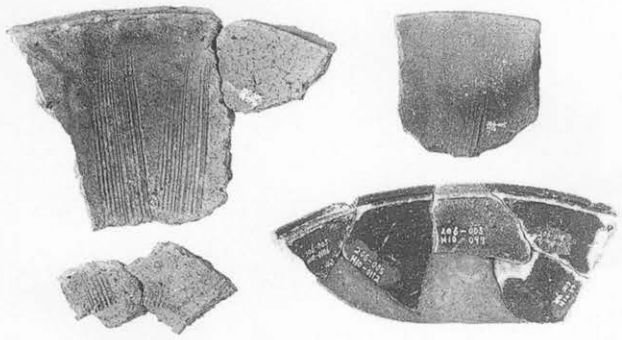


白磁

瀬戸美濃窯
鉄釉皿天目椀



カワラケ



瓦質土器擂鉢

140

347

345

346

384

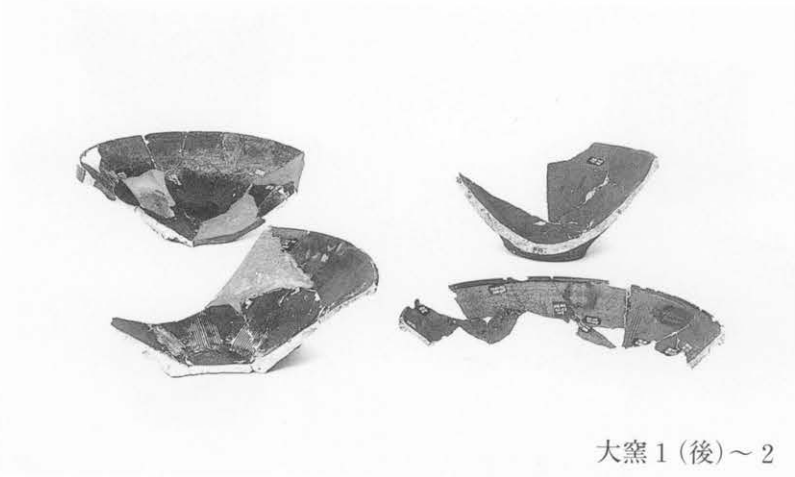
385

386

359

古瀬戸Ⅳ(新)

大窯 1 (前)



大窯 1（後）～ 2

289

263

268

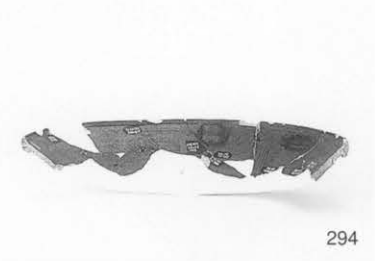
272

283

284

291

292



294

278

281

261

285

282

363

363　常滑

504

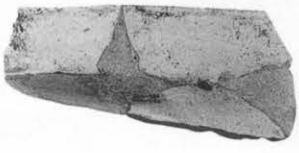
505

506

507

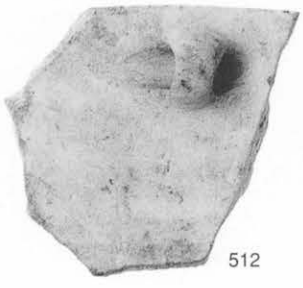
509

511

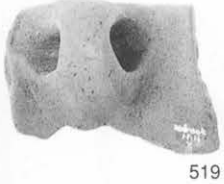


508

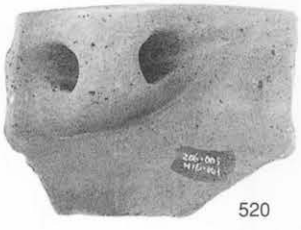
510



512



519

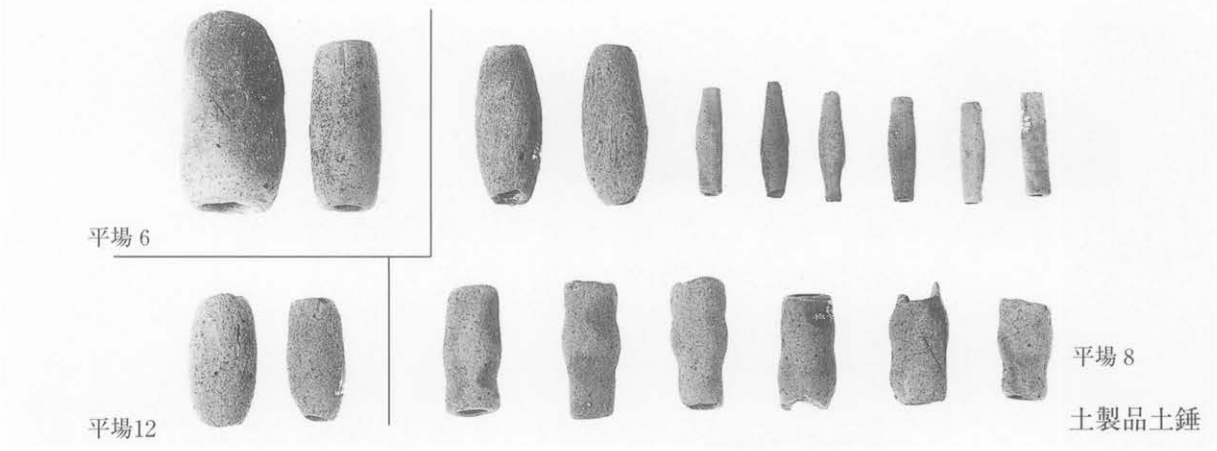


520

521

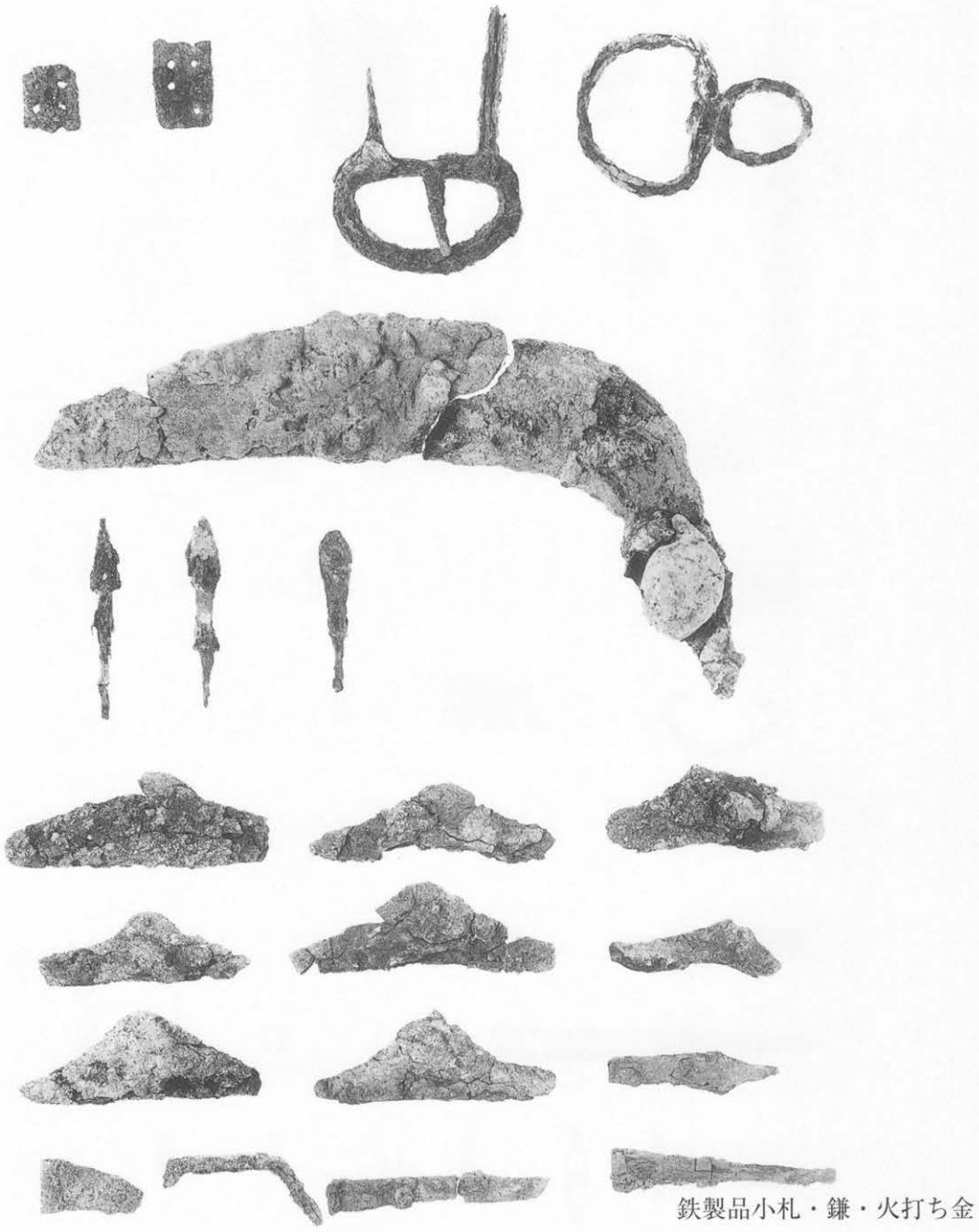
522

東海系羽釜，内耳鍋

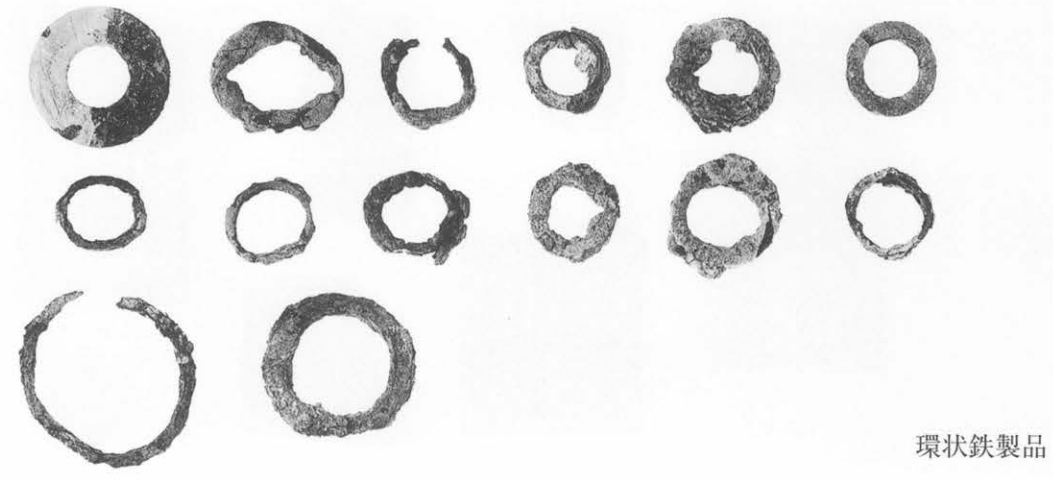


土製品土錘

鉄製品刀子・釘

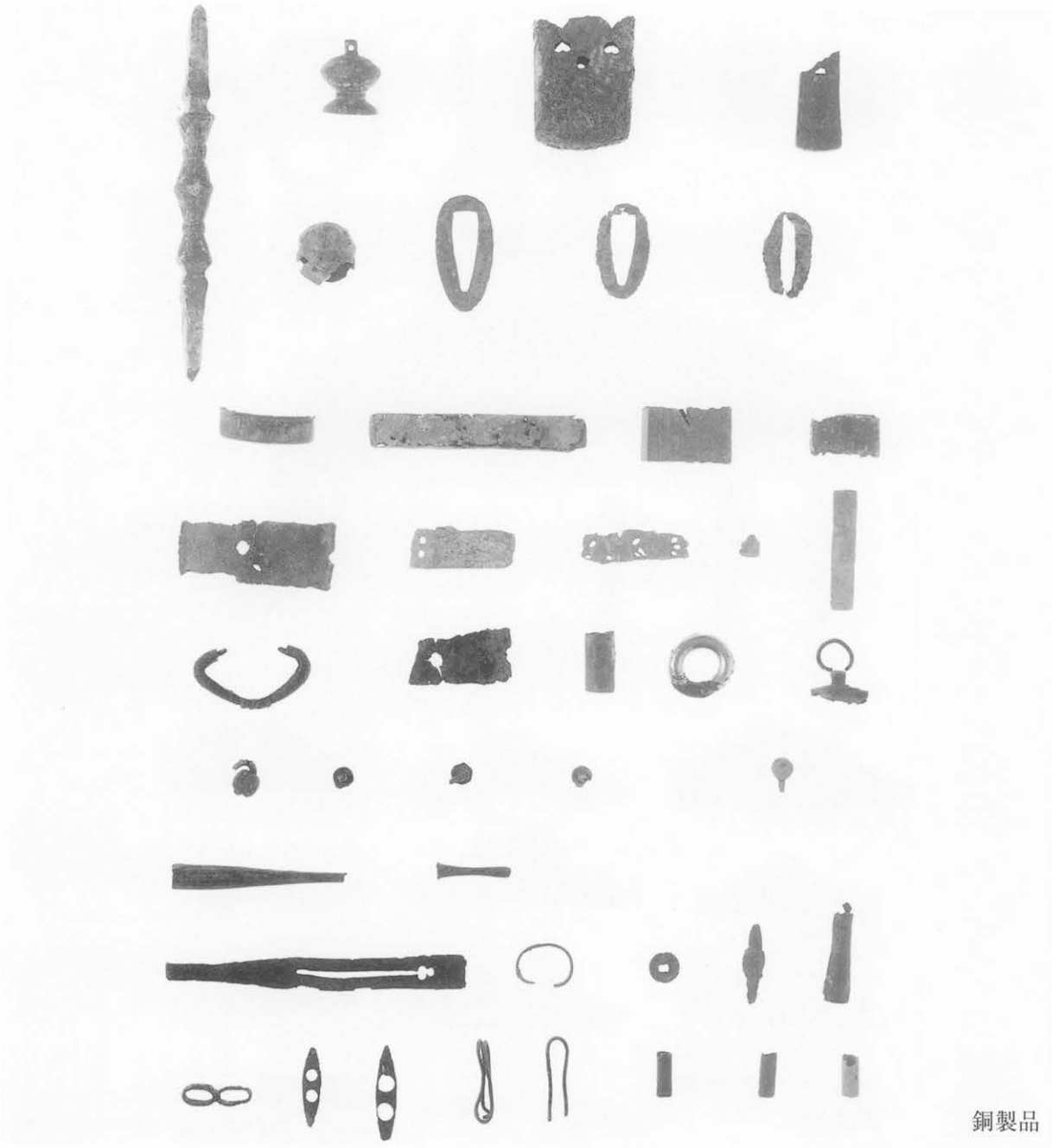


鉄製品小札・鎌・火打ち金

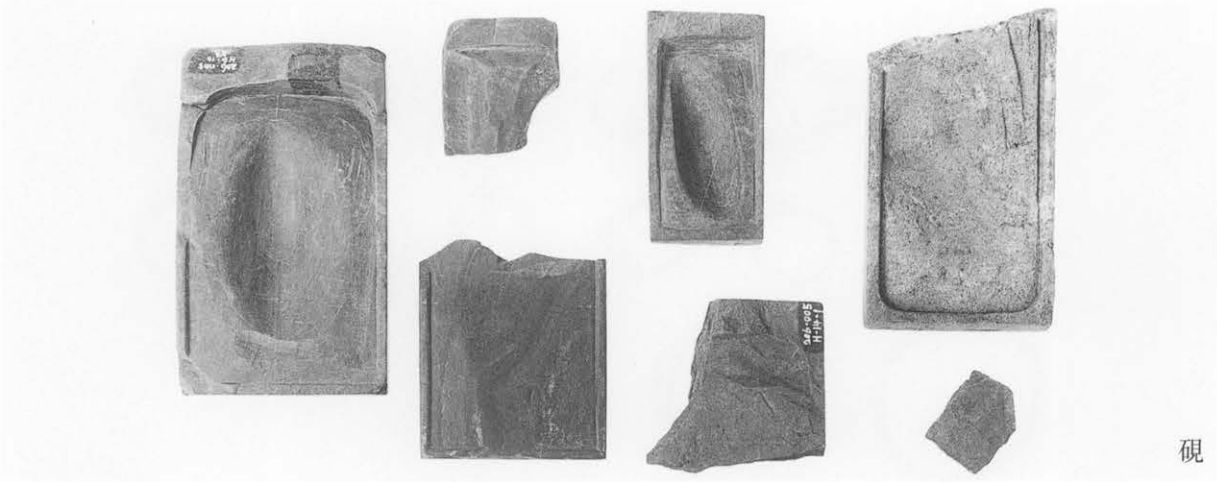


環状鉄製品

図版 50



銅製品



硯

砥石

図版 52

8

13

14

15

17

23

27

30

35

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

30

31

32

40

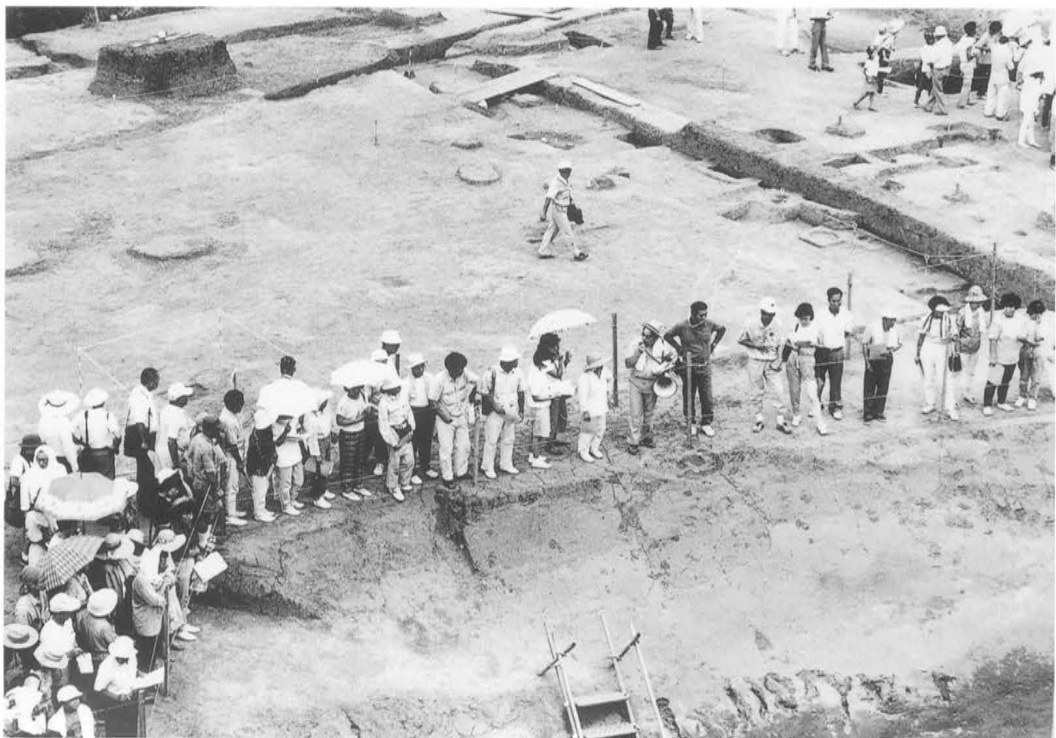
41

42

43

45

現地説明会の様子



現地説明会の様子

報告書抄録

ふりがな	ひがしかんとうじどうしゃどう(ちば・ふっつせん)まいぞうぶんかざいちょうさほうこくしょ
書名	東関東自動車道(千葉・富津線)埋蔵文化財調査報告書14
副書名	木更津市笹子城跡
巻次	14
シリーズ名	財団法人千葉県文化財センター調査報告
シリーズ番号	第486集
編著者名	相京邦彦
編集機関	千葉県文化財センター
所在地	〒284－0003　千葉県四街道市鹿渡809－2　TEL　043－422－8811
発行年月日	西暦2004年3月25日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
ささごじょうあと 笹子城跡	ちばけんきさらづしささご 千葉県木更津市笹子 あざうらきたさく 字裏北作409－1 ほか	206	005	35度 23分 50秒	140度 3分 8秒	19910401～ 19930226	9,900㎡	道路建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
笹子城跡	集落跡	縄文時代		縄文土器	
	集落跡	弥生時代		弥生土器	
	集落跡	古墳時代		土師器	
	城跡	中・近世	堀 土坑 ピット 溝	陶磁器(白磁，青磁，瀬戸美濃，常滑)，土器(東海系羽釜，カワラケ)，石製品(五輪塔，茶臼，砥石)，金属製品(釘，金具，銭貨)	銭貨(和同開珎2枚) 水晶製五輪塔ミニチュア

千葉県文化財センター調査報告第486集
東関東自動車道(千葉・富津線)埋蔵文化財調査報告書　14
－木更津市笹子城跡－

平成16年３月25日発行

編　　集　　財団法人　千葉県文化財センター
発　　行　　日　本　道　路　公　団
東京都港区虎ノ門1-18-1
財団法人　千葉県文化財センター
四街道市鹿渡809-2
印　　刷　　大和美術印刷株式会社
木更津市潮浜2-1-10